



PORSCHE



Macan

取扱説明書

「Porsche」、「Porsche クレスト」、「Macan」、「PCCB」、「PCM」、「PDK」、「PSM」、「PTM」、「テクノロジーメント」および他の商標はポルシェ社の登録商標です。

Printed in Germany.

本書の一部または全部の複製は、ポルシェ社の文書による許可がない限り禁止いたします。

© Dr. Ing. h.c. F. Porsche AG

Porscheplatz 1

70435 Stuttgart

Germany

車載マニュアル

取扱説明書や整備手帳など、車両に付属の印刷物は車内に常備してください。車両を売却するときは、次に購入されるお客様にお渡しください。

ご質問、ご提案

車両本体または車載マニュアルについてのご質問、ご提案がございましたら、下記までご連絡ください。

Dr. Ing. h.c. F. Porsche AG

Vertrieb Customer Relations

Porscheplatz 1

70435 Stuttgart

Germany

車両の装備について

ポルシェ社では絶えず製品の開発と改良を行っており、お客様の車両の装備品や仕様等がこの取扱説明書の内容と一部異なる場合があります。あらかじめご了承ください。装備品はオプションである場合や、車両が販売される国によってこの取扱説明書の内容と異なる場合があります。追加装備品の詳細については、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

各国の法律等の違いにより、この取扱説明書の内容が車両の仕様と異なる場合があります。

この取扱説明書に記載されていない装備品等の取り扱いにつきましては、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。ポルシェ正規販売店はすべての装備品の取り扱い方法とメンテナンスについてご説明いたします。

警告およびシンボル

この取扱説明書には様々な警告およびシンボルが使用されています。

危険

重傷注意または致命傷を負う危険があります

「危険」の欄の警告を守らなかった場合、重傷または致命傷を負う危険があります。

警告

重傷または致命傷を負う恐れがあります

「警告」の欄の警告を守らなかった場合、重傷または致命傷を負う危険があります。

注意

ケガまたは軽傷を負う恐れがあります

「注意」の欄の警告を守らなかった場合、ケガまたは軽傷を負う恐れがあります。

知識

「知識」の欄の警告を守らなかった場合、車両を損傷する恐れがあります。

インフォメーション

補足情報は「インフォメーション」の表示を使って記載しています。

- ✓ 機能を使用するために満たす必要のある前提条件

▶ お守りいただく必要のある指示

1. 指示が複数のステップに分かれる場合は、番号が付けられています。
- ▶ トピックに関する詳しい重要情報が記載されている参照先を示します。

エアバッグ警告ラベル

危険

チャイルド・シートの助手席での使用

チャイルド・シートを助手席に取り付けた場合、助手席エアバッグが作動したときに重傷または致命傷を負う危険があります。

- ▶ 後ろ向きに着座するタイプのチャイルド・シートは使用しないでください。フロント・エアバッグが作動した場合、お様が重傷または致命傷を負う危険があります。

- ▶ 「チャイルド・シート」(177ページ)を参照してください。



台湾のみ：

- ▶ 台湾の関連法規に則り、「乳幼児や子供を助手席シートに乗せることはできません」。
- ▶ 「チャイルド・シート」(177ページ)を参照してください。



本書の構成

目次



M000_38

本書の目次から確認したいトピックを探することができます。
▷ (3ページ) ~

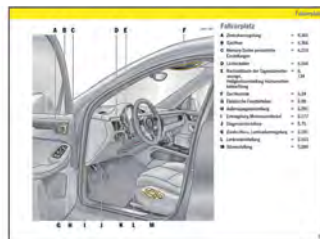
ドライビング・プレジャーと安全性



M000_39

安全にドライビング・プレジャーを満喫していただくための方法を記載しています。
▷ (5ページ) ~

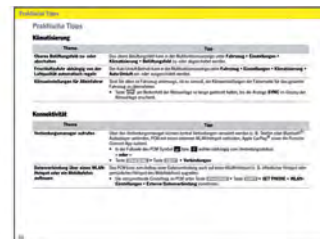
外観図



M000_40

構成部品や操作系について十分にご理解ください。
▷ (19ページ) ~

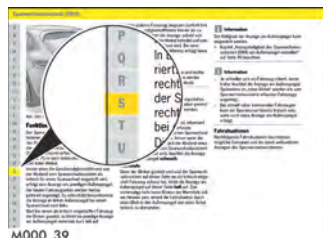
実用的なヒント



M000_41

新しい機能に関する補足情報を記載しています。
▷ (32ページ) ~

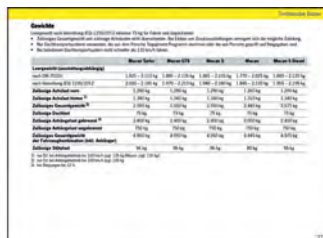
五十音順トピック



M000_39

構成部品や操作系の機能および操作方法についてお読みください。
▷ (36ページ) ~

テクニカル・データ



M000_42

車両固有データについて記載されています。
▷ (373ページ) ~

索引



M000_43

探したい情報を簡単に見つけることができます。
▷ (388ページ) ~

目次

ドライビング・プレジャーと安全性	5	サン・バイザー	130	盗難防止	201
概観図		シートベルト	131	トランスミッション	208
PCMドライブ	29	シート	134	トランスミッションおよびシャーシ・	
PCMの各操作部	28	ステアリング・ホイール	143	コントロール・システム	212
PCMの基本操作	30	チャイルド・シート	177	パーキング・アシスタント	222
運転席	20	パーソナル設定	226	ブレーキ	244
ステアリング・ホイールおよびインストル		補助ヒーター*	263	フロント・ワイパー	248
メント・パネル	21	ミラー	315	ボルシェ・アクティブ・サスペンション・	
センター・コンソール	22	リヤ・ウィンドウ・ヒーター/ドア・		マネージメント(PASM)	271
コントロール・パネル	23	ミラー・ヒーター	344	ボルシェ・カー・コネクト	272
エアコン (2ゾーンおよび3ゾーン・		運転/ドライバー・アシスタンス・		ボルシェ・ヒル・コントロール(PHC)	283
エアコン)	24	システム		ボルシェ・スタビリティ・マネージメント	
オーバーヘッド・コンソール	25	ETCアンテナ	367	(PSM)	284
後部座席	26	HOLD機能：発進アシスタント、		ボルシェ車両追跡システム・プラス	
リヤ・エアコン (3ゾーン・エアコン)	27	停止制御	368	(PVTSプラス) *	288
テキストおよび文字をPCMに入力する	31	アダプティブ・クルーズ・コントロール		ライト	325
実用的なヒント	32	(ACC)	37	レーン・キープ・アシスト	349
開閉操作とロック		インストルメントおよびインテリア・		レーン・チェンジ・アシスト(LCA)	352
ウィンドウ	51	ライト	46	ログブック	361
ガレージ・ドア・オープナー		エア・サスペンションおよびレベル・		インストルメント・パネルおよ	
(ホームリンク®) *	82	コントロール付きボルシェ・アクティブ・		びマルチファンクション・ディス	
ナビゲーション	85	サスペンション・マネージメント(PASM)	66	プレイ	
セントラル・ロック	162	エンジンの始動および停止	71	インストルメント・パネル	48
パノラマ・ルーフ	236	オフロード・モード	77	警告およびインフォメーション・	
ボンネット	261	オート・スタート/ストップ機能	78	メッセージ	98
リヤ・リッド	357	クルーズ・コントロール	95	マルチファンクション・ディスプレイ	296
エアコンおよび人間工学		警報システム	97	マルチファンクション・ディスプレイを	
エアバッグ・システム	55	車線逸脱警告システム	122	使用した車両設定	305
エアコン (2ゾーンおよび3ゾーン・		スポーツ・クロノ・ストップウォッチ	144	エンターテイメントおよ	
エアコン)	57	スポーツ・エキゾースト・システム	149	びコミュニケーション	
		「スポーツ」および「スポーツ・プラス」		テレビ (TV)	187
		モード	150	電話	192
		スピード・リミッター*	154		
		制限速度表示*	157		

ボイス・コントロール	265	タイヤとホイール	170
ポルシェ・コミュニケーション・マネー		テスト・スタンドでの点検	190
ジメント (PCM) の操作	273	バッテリー	229
メディア	320	パンクしたとき	232
ラジオ	340	ヒューズ	240
ナビゲーションおよび接続		ブレーキ・フルード	247
Apple CarPlay®	365	ヘッドライト	252
Porsche Connect App	371	ワイパー・ブレード	364
接続マネージャー	159	テクニカル・データ	373
接続	160	索引	388
ナビゲーション	213		
ポルシェ・コミュニケーション・マネー			
ジメント (PCM) の操作	273		
荷物および運搬			
カップ・ホルダー	81		
スモーカーズ・パッケージ	152		
電気ソケット	191		
保管	293		
ラゲッジ・コンパートメント	330		
ルーフ・トランスポート・システム	345		
モビリティおよび軽修理			
PDKセレクター・レバーの解除	370		
ウォッシュ液	54		
エンジン・オイル	69		
給油	88		
クーラント (冷却水)	93		
けん引およびけん引によるエンジンの			
始動	119		
故障診断用ソケット	121		
車両のお手入れ	124		
ジャッキおよびリフティング・プラット			
フォーム	140		
ジャンパー・ケーブルによる始動	141		
消火器*	142		

ドライブング・プレジャーと安全性

ポルシェ。それは、スポーティな実力の極致。駆るもののみが知る興奮。その味わいを常に大切にしたい。そのためポルシェ社では、安全とは究極の品質であると考えます。

この章では、ポルシェ車に安全にお乗りいただくためにお守りいただきたいことを記載しています。

完璧な技術 – これこそが、安全の前提条件です。

高品質な材料と優れたワークマンシップにより、この車両は今後何年間もお乗りいただくことができるでしょう。そのため、確かな性能を維持するにはお客様による車両のお手入れと思いやりが不可欠となります。それによって、危険な状況においてもポルシェ車の信頼できる走行性能が保証されます。

損傷および正常な作動状態の点検



技術的な不備のある車両は予期せぬ挙動に陥り、事故を引き起こす恐れがあります。

- ▶ 車両を定期的に点検し（少なくとも1か月に1度および長時間のドライブの前）、良好な状態であることを確認してください。特に、以下の点に注意してください。
 - タイヤに損傷がなく空気圧は適正で、トレッドの残り溝も十分にある

- ヘッドライト、ブレーキ・ライトおよび方向指示灯がすべて正常に機能している
 - 空力部品に損傷がない
 - ワイパー・ブレードに損傷がない
 - ウィンドウに亀裂や損傷がなく、視界が遮られていない
 - ドア・ミラーおよびルーム・ミラーに損傷がなく、適切な位置に調整されている
 - アダプティブ・クルーズ・コントロール (ACC) のレーダー・センサーに亀裂や損傷がない
 - クーリング・エア・ダクトが（フィルム、ストーン・ガードなどで）覆われていない
- ▶ 自動車電話や無線装置は必ず外部アンテナに接続して使用し、車内の電磁波のレベルが限界値を超えないようにしてください。

タイヤの損傷点検



損傷したタイヤは走行中にバースト（破裂）する恐れがあります。運転操作を誤る恐れがあります。

- ▶ 走行頻度や状態に応じて少なくとも1か月に1度は定期的にタイヤを点検し、異物の噛み込み、欠損、切り傷、亀裂、膨れなどがなければ確認してください。タイヤの側面も必ず点検してください。
- ▶ 損傷の疑いがある場合は、ポルシェ正規販売店でタイヤおよびホイール全体の点検を受けてください。

- ▶ 損傷したタイヤを装着したままで運転を続け**ない**でください。損傷したタイヤは速やかに交換してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

タイヤ空気圧の調整



タイヤ空気圧が低いまたは高いと、タイヤおよびホイールに修復不可能な損傷を与えるばかりか、制動距離が長くなったり、事故を起こす危険が大幅に高まります。タイヤ空気圧が低すぎる場合は、燃費が著しく低下する恐れがあります。

- ▶ ご使用のタイヤの種類および積載重量に適したタイヤ空気圧に調整してください。
- ▶ 「タイヤ空気圧」(381ページ) を参照してください。
- ▶ マルチファンクション・ディスプレイのタイヤ圧力 (TPM) メニューの設定が、車両に装着されているタイヤおよび積載重量と一致していることを確認してください。
- ▶ 「タイヤ空気圧メニュー (タイヤ空気圧モニタリング、TPM)」(301ページ) を参照してください。

- ▶ マルチファンクション・ディスプレイに赤色のタイヤ空気圧警告が表示された場合は：速やかに適切な場所に停車し、タイヤに損傷がないか点検してください。損傷したタイヤを装着したままで運転を続けないでください。必要に応じてパンク修理剤で応急処置を行ってください。
- ▶ 「パンクしたとき」(232ページ)を参照してください。

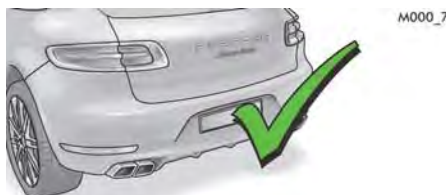
ライト類の点検



ライトが故障すると、周囲が暗いときに視界を確保できなくなります。他のドライバーがあなたの車両に気づくのが遅れ、事故を引き起こす恐れがあります。

- ▶ すべてのライト類が正常に機能していることを確認し、故障したライトは速やかに修理してください。以下のライト類を点検してください：
 - パーキング・ライト、ロービーム、ドライビング・ライト、ハイビーム
 - 方向指示灯、ブレーキ・ライト、リバーズ・ライト
 - フォグ・ライト

空力部品の点検



スポイラーやアンダー・パネルなど、空力部品が損傷または欠損すると、走行安定性に悪影響を及ぼす恐れがあります。

- ▶ 損傷していないか車両を点検してください。
- ▶ 構成部品が損傷または欠損している場合は、速やかに交換してください。

ウィンドウおよびワイパー・ブレードの清掃およびメンテナンス



ウィンドウの汚れやワイパー・ブレードに不具合があると、事故を起こす危険が著しく高まります。

- ▶ 車両およびウィンドウは常にきれいな状態に維持してください。
- ▶ ワイパー・ブレードの凍結を溶かしてから、フロント・ウィンドウから剥がしてください。
- ▶ ワイパー・ブレードは定期的に交換してください。特にフロント・ウィンドウに筋が残るようになったら交換が必要です。
- ▶ 「ワイパー・ブレード」(364ページ)を参照してください。

ポルシェ正規販売店によるメンテナンスおよび仕様変更



車両を改造すると、安全機能に悪影響を与えるばかりでなく、その機能が失われる恐れがあります。保証期間内に不適切なメンテナンス作業を実施すると、保証が適用されないことがあります。

- ▶ 車両のすべてのメンテナンスおよび仕様変更は必ずポルシェ正規販売店で行ってください。これにより、車両の信頼性と走行安全性を保証し、損傷を防ぐことができます。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ポルシェ車に使用するスペア・パーツ



M000_10

i インフォメーション

他社製のスペア・パーツまたはアクセサリを使用し、それにより損傷などが発生した場合、ポルシェ社はいかなる責任も負いかねます。スペア・パーツやアクセサリを供給しているメーカーが認定メーカーであっても、車両の安全性が損なわれる恐れがあります。ポルシェ社の承認していないスペア・パーツまたはアクセサリを使用すると、車両の保証が適用されないことがあります。

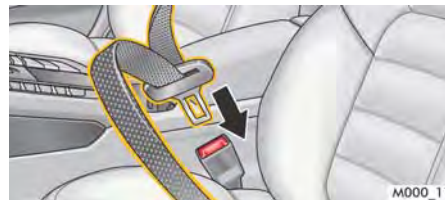
- ▶ 部品交換やアクセサリの取り付けには、ポルシェ純正部品、またはポルシェ社が要求する性能、品質基準に適合する同等部品のみを使用してください。これにより、車両の信頼性と走行安全性を保証し、損傷を防ぐことができます。これらの部品は、ポルシェ正規販売店から入手できます。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ アクセサリを取り付けるときは、Porsche Tequipment製品またはポルシェ社がテストを実施し、承認した部品のみをお選びください。Porsche Tequipmentに関するインフォメーション：ポルシェ正規販売店にご相談ください。

荷物、安全装備、車両に子供をのせるとき：ポルシェ・ドライバーへの注意事項

ポルシェ車は、100km/hまでわずか数秒という加速タイムを誇ります。このパワーを思いのままに操るには、走行前に万全の準備をして安全性を確保する必要があります。

このため、走行前の準備にも走行するときと同等の情熱を注いでください。

あなたの命を守るもの：シートベルトの適切な着用



M000_11

シートベルトは適切に着用し、正常に機能している場合のみ乗員保護効果を発揮できます。

i インフォメーション

例えば30km/h程度での走行中であっても、シートベルトを着用していないと重大な傷害を負う恐れがあります。安全装備はシートベルトと組み合わせることで乗員を保護します。例えば、エアバッグはシートベルトも適切に着用している場合にのみ、適切な保護効果を発揮することができます。

- ▶ 短時間の運転であっても、シートベルトは必ず着用してください。
- ▶ 乗員1名に対して必ず1つのシートベルトを使用してください。
- ▶ コートなどの厚手の衣類は脱いでください。

- ▶ ボールペンや眼鏡など、堅い物や壊れやすい物の上にシートベルトがかからないようにしてください。
- ▶ シートベルトがねじれていないことを確認してください。
- ▶ 使用していないシートベルトは完全に格納されていることを必ず確認してください。
- ▶ 妊娠中の方は、腰部ベルトを腹部を避けて腰骨の低い位置にかけ、肩ベルトは胸部に密着させてください。
- ▶ 摩耗または損傷したベルトやバックル、固定具などは交換してください。
- ▶ 「シートベルト」(131ページ)を参照してください。

エアバッグ・システム



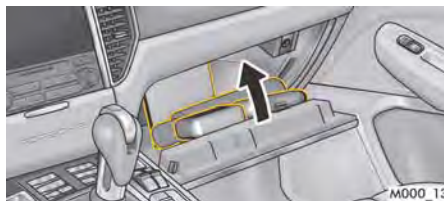
すべての乗員がシートベルトを着用し、正しいシート位置を維持している場合のみ、エアバッグ・システムは保護効果を発揮することができます。荷物は必ず安全に収納してください。

- ▶ 乗員とエアバッグが膨らむ空間との間に人や動物を座らせたり、物を置いたりしないでください。
- ▶ エアバッグから一定の距離を保ち、ドアの内側にもたれかからないでください。走行中、足は常に足元の空間に置いてください。ダッシュボードやシート・クッションの上に足を乗せないでください。

変更を加えたエアバッグ・システムは保護機能が機能しません。エアバッグが不意に作動したり、全く機能しなかったりする危険があります。エアバッグが不意に作動した場合、重傷を負う恐れがあります。

- ▶ シートに保護カバーを装着しないでください。
- ▶ ステアリング・ホイール、助手席エアバッグ付近、サイド・エアバッグ付近、ヘッド・エアバッグ付近にアクセサリを取り付けたり、ステッカーなどを貼り付けたりしないでください。
- ▶ エアバッグの配線の近くには、アクセサリ類の配線を取り付けしないでください。
- ▶ エアバッグ構成部品(ステアリング・ホイール、フロント・シート、ヘッドライナーなど)を取り外さないでください。
- ▶ エアバッグ・システムの配線や構成部品を改造しないでください。
- ▶ 「エアバッグ・システム」(55ページ)を参照してください。

車内の荷物はすべて固定



荷物を固定しなかったり不適切な位置に載せると、ブレーキやステアリングを操作したとき、または事故の際に荷物が飛び出すことがあります。これにより、乗員に危害が及んだりケガをする恐れがあります。

i インフォメーション

例えば50km/hで走行中に衝突した場合は、固定されていない荷物がその重量の50倍の力で前方に放り出されます。例えば、1.5リットルの水が入っているペットボトルは75kgの力で車内に放り出されます。

- ▶ 荷物を載せるときは必ず固定してください。
- ▶ 荷物は常にラゲッジ・コンパートメントやルーフ・トランスポート・システムなどに安全に収納してください。
- ▶ 小物類は小物入れに収納し、確実に閉じてください。必ず小物入れから荷物が飛び出さないようにしてください。
- ▶ ダッシュボード、格納式ラゲッジ・コンパートメント・カバーまたは固定式ラゲッジ・コンパートメント・カバーの上に物を載せないでください。
- ▶ タイダウン・ベルトで荷物を固定する(ベルトの強度は最低でも700kgのものを使用)：
- ▶ 重量物を開いたままの小物入れの中に入れて運搬しないでください。
- ▶ すべての乗員に安全対策を周知させてください。

荷物の適切な運搬および収納については：

- ▶ 「荷物の積載」(330ページ)を参照してください。

狭み込みの防止

M000_14



人や動物が以下の車両部品の作動範囲内にいると、身体などが挟み込まれたりケガをする恐れがあります。特に以下の部品が挙げられます：

- 調整式フロント・シート
- ドア
- ウィンドウ
- トレーラー・ヒッチ
- フラップおよびリッド
- 小物入れのフタ

▶ これらの車両部品を操作する際は、人や動物が作動範囲内にいないことを確認してください。

お子様の動きの監視

9000_265



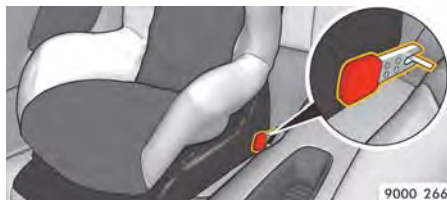
多くの場合、お子様は危険を判断したり、危険な状況で正しく振る舞うことができません。

お子様がシート調整などの自動設定を誤って作動させると、ケガをする原因になります。お子様は密閉された車内が高温になった場合な

ど、緊急時に車外に脱出することができません。このような状況では、特に小さいお子様の場合、生命に関わる恐れがあります。

- ▶ テールパイプなどの高温部品や作動中の部品にお子様を近づけないでください。
- ▶ バンク修理剤やエンジン・オイルなどの有害物質は、お子様の手の届かない場所に保管してください。
- ▶ お子様のみを車内に残さないでください。

チャイルド・シートの安全な使用



チャイルド・シートは適切に装着した場合のみ機能します。

- ▶ ポルシェ社で承認されたチャイルド・シートのみを使用してください。
- ▶ チャイルド・シートを使用する前に：この取扱説明書に加え、チャイルド・シートに付属の取扱説明書をよく読み、指示に従ってください。
- ▶ 「チャイルド・シート」(177ページ)を参照してください。

安全で適切な運転：常に正しい判断をする

ポルシェ車はオールラウンダーです。ローンチ・コントロールから緊急ブレーキ機能まで、走り出せばすべてが可能になります。その一方で、最終的にこの能力を常に制御下におく責任はドライバーにあります。

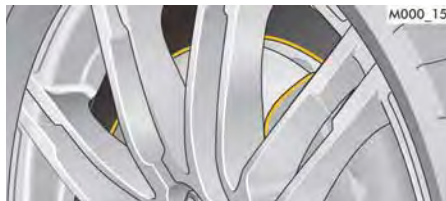
注意力低下の防止



運転中にPCMやその他の装置を操作すると、周囲の交通状況に対する注意力が低下し、危険な状況に素早く反応できなくなる恐れがあります。

- ▶ 走行中は決してミラーやシート、ステアリング・ホイールの位置を調整しないでください。シートやステアリング・ホイールが予期せず大きく移動する恐れがあります。車両のコントロールを失う恐れがあります。ミラーやシート、ステアリング・ホイールは、お出かけ前に適切な位置に設定してください。
- ▶ マルチファンクション・ステアリング・ホイール、ラジオ、ナビゲーション・システムなどは、交通状況が許す場合に限り操作することができます。安全を確保できない場合は、停車してから操作してください。
- ▶ 運転中に携帯電話やその他の携帯機器を使用しないでください。
- ▶ 常にハンズフリー機器を使用してください。
- ▶ 運転中にステアリングのスポークの間からボタンを押さないでください。危険な状況に素早く反応することができなくなります。

雨天時や積雪時のブレーキ挙動への注意



激しい降雨時や水たまりを通過したとき、または洗車後などは、ブレーキ表面に水膜が形成されブレーキの効きが悪くなり、ブレーキ・ペダルの踏力が重くなる恐れがあります。

また、凍結防止剤（融雪塩）が撒かれた道路や砂塵の多い道路を長距離にわたって走行すると、ブレーキ・ディスクやパッドが塩や砂で覆われて摩擦力が大幅に低下し、ブレーキの効きが悪くなる場合があります。

- ▶ 特に駐車する前には何回かブレーキをかけ、ブレーキを乾燥させてください。これにより腐食を防ぐことができます。
- ▶ 腐食したブレーキは「引きずり」が発生しやすくなります。ブレーキに気になるほどの不快感がある場合は、ブレーキ・システムの点検を受けてください。

適切なタイヤと適切な運転スタイル



▷ 「タイヤとホイール」(170ページ)を参照してください。

走行中にハンドルをとられたり、振動が発生した場合の適切な反応

走行時にハンドルをとられたり、振動が発生したりして、タイヤや車両が損傷する恐れがあります。運転操作を誤る恐れがあります。

- ▶ 直ちに減速してください。ただし急ブレーキをかけないでください。
- ▶ 停車してタイヤを点検してください。不具合原因がわからないときは、慎重に運転し不具合の修理を受けてください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

タイヤの安全な状態

タイヤが損傷すると、特に高速走行時にタイヤがバースト（破裂）する恐れがあります。タイヤを保護するように運転し、タイヤの損傷を防いでください。

- ▶ 縁石を乗り越えるときは、速度を下げ、できるだけ直角に通過してください。
- ▶ 段差が大きな縁石や、尖った縁石を乗り越えないでください。

新しいタイヤの慣らし運転

新しいタイヤはグリップ性能を十分に発揮できず、スリップしやすくなります。

- ▶ 新品のタイヤを装着してから最初の200kmは、ゆっくりとした速度で慣らし運転を行ってください。

ウインター・タイヤでの走行

ウインター・タイヤには最高速度が指定されています。最高許容速度を超えると、タイヤがバースト（破裂）する恐れがあります。

- ▶ 装着しているタイヤの許容最高速度を超えて走行しないでください。
- ▶ 最高許容速度を示すステッカーを、ドライバーの目に付く場所に貼り付けてください。法定速度を遵守してください。
- ▶ マルチファンクション・ディスプレイで最高許容速度を制限速度として設定する：
 - ▷ 「制限速度の設定」(300ページ)を参照してください。

サマー・タイヤでの走行

外気温が15℃以下のときに駐車操作やステアリング操作を行うと、ノイズが発生する場合があります。

- ▶ 外気温が7℃を下回った場合、冬用タイヤに交換してください。

アシスタンス・システムとその限界



車両には、安全性と乗り心地を高めるアシスタンス・システムが装備されています。

ただし、これらのシステムのいずれも物理的限界を超えて車両を制御することはできません。

- ▶ 走行安全性は向上しますが、無謀な運転は避けてください。アシスタンス・システムは、不適切な運転スタイルによる事故の危険性を低減することはできません。
- ▶ アシスタンス・システムを過信せず、安全運転を心がけてください。周囲の交通状況に適切な反応ができるように、常に慎重な運転をしてください。
- ▶ 使用する前に、アシスタンス・システムについて十分に理解してください。

アシスタンス・システムの参照先は次の通りです。

	ページ
アンチロック・ブレーキ・システム (ABS)	285
HOLD機能	368
ポルシェ・アクティブ・サスペンション・マネージメント(PASM)・ボタン	271
ポルシェ・トラクション・マネージメント(PTM)	212
ポルシェ・スタビリティ・マネージメント(PSM)	284
ポルシェ・トルク・ベクトリング (PTVプラス)	212
タイヤ空気圧モニタリング(TPM)	301
レーン・チェンジ・アシスト(LCA)	352
レーン・キープ・アシスト	349
車線逸脱警告システム	122
オートマチック・ドライビング・ライト、ダイナミック・ハイビーム	325
駐車アシスト、リバース・カメラ、サラウンド・ビュー	222
クルーズ・コントロール、アダプティブ・クルーズ・コントロール (ACC)	37
スピード・リミッター*	154
制限速度表示*	157
ナビゲーション・システム	213
ポルシェ・ヒル・コントロール	283

緊急ブレーキ機能



例えば、フット・ブレーキが故障した場合はエレクトリック・パーキング・ブレーキを使用して急制動をかけることができます。

緊急ブレーキ機能は非常に高い制動力を発揮するため、後続車を危険にさらす場合があります。

- ▶ 緊急ブレーキ機能は通常の制動時ではなく、緊急時にのみ使用してください。
- ▶ 緊急ブレーキをかけるには、(P)ボタンを引き続けてください。ブレーキを解除するには、ボタンから手を放してください。
- ▶ 「緊急ブレーキ機能を作動させる」(244ページ)を参照してください。

荷物積載時の運転



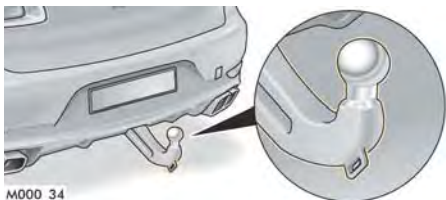
車両の操縦性は積載量によって変化します。ルーフ・トランスポート・システムを使用しているときは、空気抵抗も大きくなります。

- ▶ ハンドリング特性の変化に合わせた運転をしてください。

* 日本仕様に設定はありません。

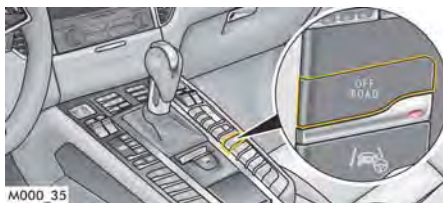
- ▶ ルーフ・トランスポート・システムを装着して荷物を積載しているときは、130km/h以上の速度で走行しないでください。
- ▶ ルーフ・トランスポート・システムを装着して荷物を積載していないときは、180km/h以上の速度で走行しないでください。
- ▶ 最大総重量および最大軸荷重を超過しないでください。
- ▶ ルーフ・トランスポート・システムを装着して走行する前に、本取扱説明書の以下のセクションをお読みください。
- ▶ 「ルーフ・トランスポート・システム」(345ページ)を参照してください。

トレーラーを連結しての運転



- トレーラー車両やアクセサリ（自転車ラック・システムなど）のけん引は車両のハンドリング特性に大きく影響します。ドライバー・アシスタントシステムがOFFに切り替わるか、その挙動が変わることがあります。
- ▶ 状況の変化に対処し、事故を防止できるよう慎重に運転してください。
 - ▶ トレーラーを連結し、けん引して運転する前に：
 - ▶ 「トレーラー・ヒッチ（トレーラー・カップリング）」(203ページ)を参照してください。

オフロード走行



オフロードを走行する場合、事故やケガ、車両の破損を防止するため、慎重に運転してください。

- ▶ 凹凸、盛土、斜面、坂などで転覆しないように注意してください。
- ▶ 水たまりや浅瀬を走行する場合は、流れの速さ、底の状態、水の深さを確認してください。
- ▶ 障害物を超えるとき、車両の地上高を必ず点検してください。
- ▶ 「オフロード・モード」(77ページ)を参照してください。

ローンチ・コントロールを使用した発進



発進時にローンチ・コントロールが作動していると車両は非常に早く加速します。特定の状況では（路面状態が悪いとき、集中力が低下したときなど）、車両の制御が失われたり、他のドライバーに危険がおよぶ恐れがあります。

- ▶ 路面状況や周囲の交通状況から判断して、安全が確保できる場合に限ってローンチ・コントロールを使用してください。

- ▶ ローンチ・コントロールを使用して発進するときは、他の通行者に危険がおよばないようにしてください。

警告シグナルへの適切な反応

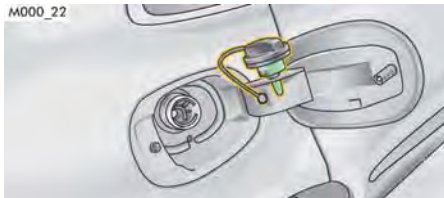


センサーが異常や部品の不具合を検出すると、ライトやメッセージを使用して警告を発します。車両の警告シグナルを無視すると、事故やケガを招く危険性が高まります。

- ▶ 走行前に警告灯およびメッセージの意味を理解し、警告に対して適切に対処できるようにしてください。必要であれば停車してください。
- ▶ 「警告灯および表示灯」(49ページ)を参照してください。
- ▶ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」(98ページ)を参照してください。

給油時の危険

M000_22



燃料は強燃性であり、燃焼または爆発が発生する恐れがあります。また、燃料と燃料蒸発ガスは人体に有害です。

- ▶ 燃料を給油する前に補助ヒーター*をOFFにしてください。
- ▶ 燃料を給油するときは、火気や裸火を近づけたり、喫煙したりしないでください。
- ▶ 燃料蒸発ガスを吸い込まないようにしてください。
- ▶ 皮膚や衣類に燃料が付着しないように注意してください。
- ▶ 「給油」(88ページ)を参照してください。

車両の燃料タンクが事故で損傷した場合は、燃料が流出して発火や爆発を起こす恐れがあります。

- ▶ 車両に予備燃料タンクを積載しないでください。

有害な液体類

9000_279



- ▶ 燃料だけでなく、エンジン・オイル、トランスミッション・オイル、バッテリー液、

* 日本仕様に設定はありません。

クーラントおよびブレーキ液も人体に有害です。

- ▶ メンテナンス作業は屋外か、または屋内の換気が良い場所でのみ実施してください。
- ▶ オイルや液体類の容器には適切なラベルを貼り、お子様の手が届かない所に保管してください。
- ▶ 残った液体類は、環境に考慮した方法および条例に遵守して処分してください。

エンジン・オイルは発火することがあります。エンジン・オイルが付着した布を投げ捨てたり、換気せずに保管したりすると自然発火して火災の原因になります。

- ▶ 飛散したエンジン・オイルを布で吸い取ってください。
- ▶ エンジン・オイルが浸み込んだ布は、廃棄するまで換気された場所で保管してください。

有毒な排気ガス

M000_23



排気ガスは無色無臭の一酸化炭素を含んでいます。一酸化炭素は少量でも人体に有害で、中毒を起こす恐れがあります。

- ▶ 停車中はエンジンを切ってください。密閉された空間でエンジンを不必要にアイドリングしないでください。
- ▶ エンジンを作動させた状態で作業するときは、必ず車両を屋外に駐車させるか、または換気の良い場所で行ってください。

安全な駐車

M000_24



車両を適切に駐車しなかった場合、不意に動き出し人や物に損傷を与える恐れがあります。車両から離れる前に、以下の点に注意してください。

- ▶ エレクトリック・パーキング・ブレーキを作動させてください。
- ▶ セレクター・レバーをP位置に入れてください。インストルメント・パネルのセレクター・レバー位置Pが点滅している場合、パーキング・ロックが正しくかかっていません。この場合は、セレクター・レバーをRの位置に動かしてからPの位置に入れ直してください。

エンジン作動中およびエンジンを停止してからしばらくの間は、エキゾースト・システムが非常に高温になっています。火傷を負ったり、火災に至る恐れがあります。

- ▶ 可燃物(乾燥した草や枯れ葉など)が高温のエキゾースト・システムに接触する恐れのある場所に駐車しないでください。
- ▶ 車両後方に近づくときは、テールパイプから安全な距離を保ってください。
- ▶ お子様やペットがテール・パイプの熱で火傷をしないように注意してください。

万有的时候には：故障および緊急時の安全確保

故障した場合は、安全を確保するために次の点に注意してください。

エンジン・コンパートメントで作業する際の注意事項

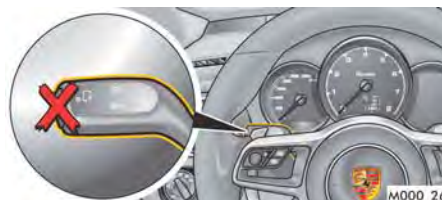


エンジンの作動中は、エンジン・コンパートメント内のエンジンおよび周辺部品が非常に高温になります。クーラント・リザーバー・タンクには圧力がかかっています。

エンジンをOFFにしてキーを抜き取っている状態であっても、ファンが自動的に作動を開始することがあります。

- ▶ エンジンをOFFにして、可能であれば冷やしてください。
- ▶ 身体の一部、衣服、長い髪、アクセサリなどは、ファンやドライブ・ベルトなどのすべての可動部品から遠ざけてください。
- ▶ 高温部品から守るため保護手袋を着用してください。
- ▶ 水平な場所に停車し、エンジンが冷えているときのみクーラントを補充してください。エンジンが熱いときにリザーバー・タンクを **開かない** でください。

緊急時はボイス・コントロールを使用しない



緊急時は緊張のために声が変わり、ボイス・コントロールが指示を認識できなくなる恐れがあります。

- ▶ 緊急時はボイス・コントロールを使用しないでください。

ジャンパー・ケーブルによるエンジンの始動



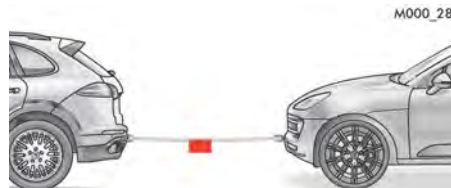
不適切なジャンパー・ケーブルを使用したり不適切な始動手順を行うと、回路がショートし火災が発生する恐れがあります。ジャンパー・ケーブルによるエンジンの始動中に、爆発性の高い電解質のガスがバッテリー周囲で発生します。

また、エンジン・コンパートメント内でバッテリー液に接触したり、ラジエーター・ファンなどの部品が自動的に作動するとケガをする恐れがあります。

- ▶ ジャンパー・ケーブルによるエンジンの始動を行う前に：

- ▶ 「ジャンパー・ケーブルによる始動」(141ページ)を参照してください。

けん引



けん引時は事故を起こす危険が高まります。パワー・アシスト機能が作動しないため、操舵力が增加します。ブレーキ・ブースターが作動しない場合は、ブレーキ操作に大きな踏力が必要となります。

- ▶ けん引時にエンジンが停止している場合、または油圧システムが作動しない場合は十分に注意してください。
- ▶ ブレーキが故障した車両をけん引しないでください。
- ▶ 「けん引およびけん引によるエンジンの始動」(119ページ)を参照してください。

パンクしたとき



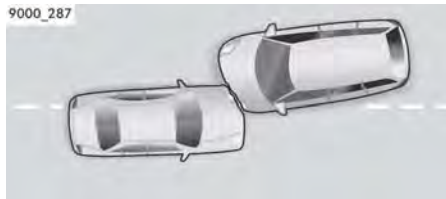
損傷したタイヤで走行するときは、速度によっては安全にステアリングを操作できなくなる恐れがあります。

- ▶ 決してパンクしたタイヤで走行しないでください。

- ▶ 安全な場所に正しく停車して、不具合を修理してください。
- ▶ 「パンクしたとき」(232ページ)を参照してください。

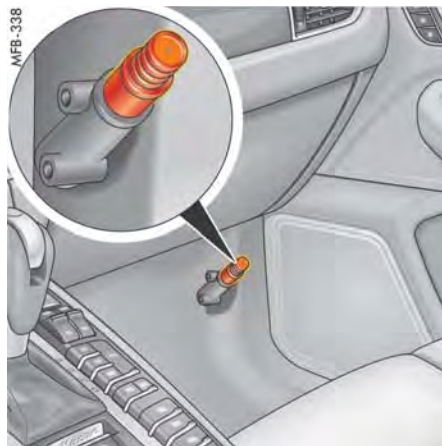
万一事故が起きたとき

9000_287



事故の後には、シートベルト・プリテンショナーやエアバッグなどの安全装備が作動しなくなる恐れがあります。その場合は、安全装備が乗員保護効果を発揮できなくなります。

- ▶ 安全装備が作動しなかった場合でも点検を受けてください。
- ▶ 作動した安全装備は交換してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。



発炎筒

発炎筒は、事故や故障で路上に停車したとき、周囲に危険を知らせるために使用します。発炎筒は、助手席足元前部のドア側に固定してあります。



警告

火傷や火災につながる恐れがあります

- ▶ 燃料などの可燃物の近くでは使用しないでください。引火する恐れがあります。
- ▶ 発炎筒を使用するときは、顔や身体に向けたり、近づけたりしないでください。火傷をする恐れがあります。
- ▶ お子様が見えないように注意してください。誤って使用すると火傷をしたり、車両を損傷する恐れがあります。



注意

トンネルの中などで使用すると、事故につながる恐れがあります

- ▶ トンネルの中など換気が悪い場所で使用すると、発炎筒の煙で視界が遮られて事故につながる恐れがあります。必要に応じてハザード・ライトを使用してください。

発炎筒の使い方

1. キャップを外してください。本体をひねりながら、ケースから取り出してください。
2. 本体を逆に向けて、ケースに差し込んでください。
3. 本体の点火部を、キャップの擦り葉でこすると着火します。

知識

- ▶ 発炎筒の燃焼時間は約5分間です。発炎筒には有効期限があります。表示してある有効期限が切れる前に、新しい発炎筒に交換してください。ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

お出かけの前に車両に関する重要な情報

車両の慣らし運転

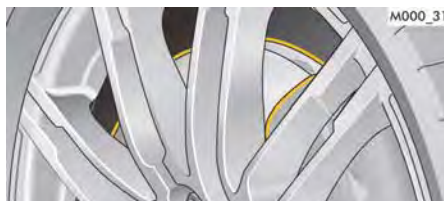


新車時は可動部品同士を馴染ませる慣らし運転を行う必要があります。走行距離が3,000kmに達するまでは慣らし運転が必要となります。この期間は、オイルと燃料の消費量が通常よりも若干多くなります。

慣らし運転中は、次の点に注意してください。

- ▶ 慣らし運転中はなるべく長距離を運転することを推奨いたします。できるだけ冷間始動と近距離運転の繰り返しは避けてください。
- ▶ 自動車レース、スポーツ・ドライビング・スクール等に参加しないでください。
- ▶ エンジン回転数が4,000rpmを超えないようにしてください。エンジン冷間時は低回転域で運転してください。

新しいブレーキ・パッドの慣らし運転



新品のブレーキ・パッドやブレーキ・ディスクも、エンジンと同様に慣らし運転が必要です。新しい部品を装着してから最初の数百kmは、ブレーキ性能を完全には発揮できません。

わずかながらブレーキの効きが弱くなるため、強めにブレーキを踏む必要があります。ブレーキ・パッドやブレーキ・ディスクを新品に交換した場合も、同様に慣らし運転が必要です。

サーキット走行の前に



公道走行とくらべ、サーキット走行には過度に大きな車両負荷を伴うため、純粋なレーシング・カーでは短い間隔でのメンテナンスおよび構成部品の整備を行うことでこれに対処しています。これには、サーキット走行後毎の点検の実施および必要な場合の各構成部品の交換、規定期間の経過後のアセンブリ全体のオーバーホールが含まれます。

ブレーキ・システムおよびタイヤ

ブレーキ液には吸湿性があり、長期間使用すると大気中の水分を吸収します。水分を吸収すると沸点が低下し、高温時にブレーキの効きが大幅に低下することがあります。

サーキット走行時はブレーキ・パッドおよびブレーキ・ディスクに高負荷がかかります。

- ▶ 使用開始から12か月以上経過したブレーキ・フルード：サーキット走行前に交換してください。
- ▶ サーキット走行の前後に、ブレーキ・パッドやブレーキ・ディスクに摩耗がないか点検を受けてください。

タイヤ

サーキット走行時はタイヤにも非常に高い負荷がかかります。

- ▶ サーキット走行の前後に、タイヤに摩耗がないか点検を受けてください。
- ▶ レース用タイヤは装着しないでください。ポルシェ社はレース用タイヤを承認していません。

エンジン・オイル

- ▶ サーキット走行の前後に、エンジン・オイル・レベルを点検してください。
- ▶ 「エンジン・オイル・レベルのチェックと表示」(299ページ)を参照してください。
- ▶ 「エンジン・オイル」(69ページ)を参照してください。

国外で走行する前に



すべてのポルシェ・モデルがすべての国で入手可能であるとは限りません。このため、スペア・パーツが入手できない、あるいは、ポルシェ正規販売店で修理作業が行えない場合があります。

国外で走行する前に以下の情報を確認してください。

- 車両が故障した場合、修理は可能ですか？
- 車両の技術的な調整が必要ではありませんか？
- 十分なオクタン価の燃料が入手可能ですか？
- ヘッドライトは左側/右側通行向けに変更する必要はありませんか？
- ▷ その場合は、「左側/右側通行でヘッドライトを切り替える」(310ページ)を参照してください。

車両へのテクニカル・データの保存



車両の各種電装部品は、車両の状態や事象、故障などに関する技術的な情報を一時的、または永久的に保存するデータ・メモリーを備えています。一般に、このデータには構成部品、モジュール、システムまたは環境の状態が保存されています：

- システム構成部品の作動状態（例：充填レベル）
- 車両および各構成部品に関するステータス・メッセージ（例：ホイール回転数/速度、減速度、横加速度）
- 重要なシステム構成部品（ライトやブレーキなど）の作動不良や故障
- 特別な走行状況での車両の反応（例：エアバッグの展開、スタビリティ・コントロール・システムの作動）
- 環境条件（例：温度）

このデータは常に技術的な性質のものであり、このデータを利用して故障の検出や修正、車両機能の最適化が行われます。

修理、サービス点検、保証での作業、品質保証などのサービスを受けるときは、サービス網の作業者（メーカーを含む）が専用の診断装置を使用して、事象および故障データ・メモリーからこの技術情報を読み出すことができます。作業者は必要に応じてより詳しい情報を提供いたします。不具合が解消すると、故障メモリーのデータが削除されるか、順次上書きされます。

車両を使用した際に、この技術情報およびその他の情報（事故報告書、車両の損傷、目撃者の証言など）を総合し、また専門家の指示のもとに個人とリンクさせ、個人データとなる状況が発生する場合があります。

ご要望に応じて、上記のデータを追加サービス・オプションのベースとして使用することもできます（例：ポルシェ車両追跡システム、ポルシェ・カー・コネクトなど）。データは、法律で認められている場合または明白な承諾が

ある場合にのみ、データ保護法を考慮した上で、車両からポルシェ社、または第三者に転送することができます

Porsche Connect App

お使いの携帯機器と組み合わせるPorsche Connect Appを使用することで、特定のマルチメディア、情報および通信サービスを車両で表示させて利用することができます。そのためには、Porsche Connect Appを使用して登録可能なサービス・プロバイダーにログインします。個人のログイン情報を使用して、これらのサービスのコンテンツにアクセスすることができます。情報のやり取りは、サービス・プロバイダー、お使いの携帯機器、そしてお客様の車両のインフォテイメント・システム間でのみ行われます。お使いの携帯機器で特定のルートや目的地をパーソナル設定するため、Porsche Connect Appはお客様の住所録、カメラおよび画像にアクセスし、お使いの携帯機器および車両のインフォテイメント・システムでこの情報を使用することができます。これらはお客様による明白な承諾があった場合のみ行うことができます。Porsche Connect Appは、サービスへのデータ接続を確立し、お客様がアプリを使用できるようにする目的のみ、ログイン情報やコンテンツなどの個人データを携帯機器や車両で局所的に収集、処理して使用します。Porsche Connect Appは、このデータをポルシェ社や該当するサービス・プロバイダー以外の第三者に送信することはありません。

PCMのオンライン機能

Google Earth[®]、Google Street View[®]およびリアルタイム交通情報などの特別な情報システムを使用可能にすることで、車両で追加の機能を利用することができます。このために、ポルシェ社は匿名のライセンス情報を該当するサービス・プロバイダーに送信します。その後、車両とサービス・プロバイダー間でのみの安全な接続を介して匿名情報をやり取りし、プ

ロバイダーのコンテンツを車両で表示させることができます。ポルシェ社はこのコンテンツへのアクセス権を持ちません。サービスの利用を可能にするためにポルシェ社が必要とする記録および利用データは、サービスの実施および適切に機能させる目的でのみ、該当する法律などの基準に従い処理して使用します。ポルシェ社がこのデータを第三者に転送することはありません。

位置情報

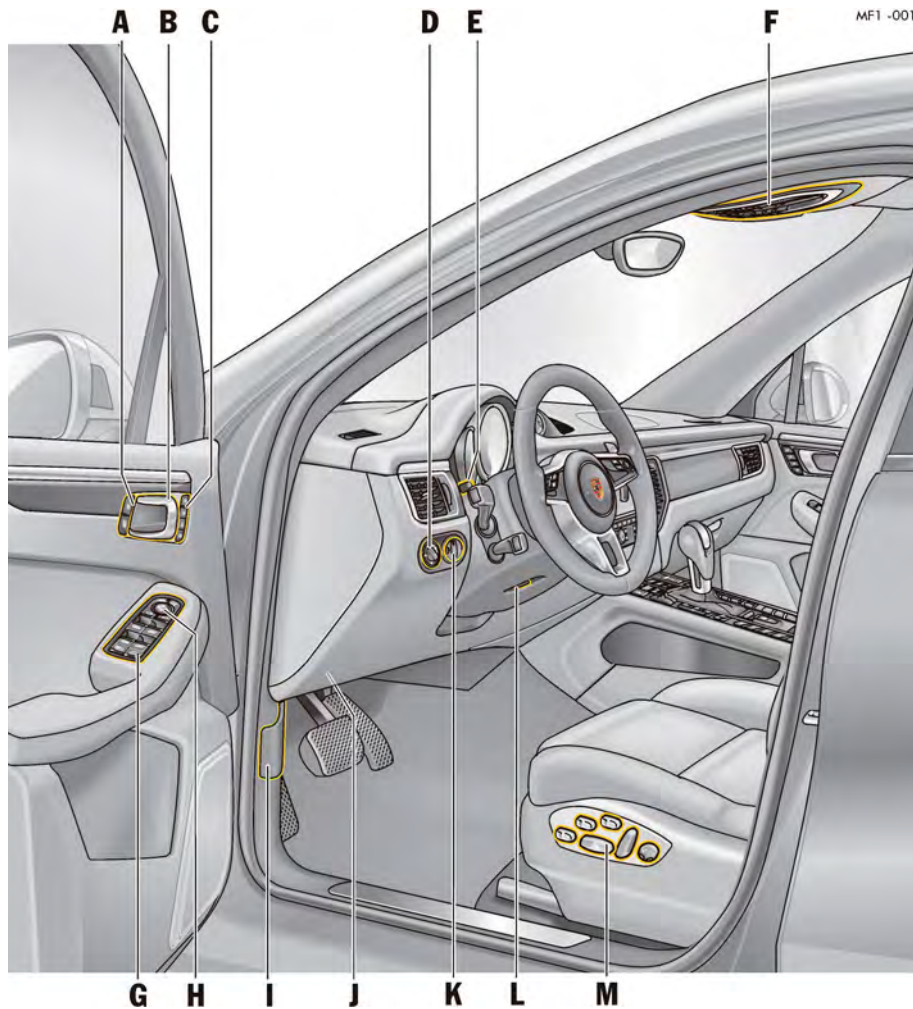
お使いの携帯機器の位置機能を有効にした場合は、Porsche Connect Appの使用中にサービス・プロバイダーはこの情報にアクセスすることができます。ポルシェ社は、Porsche Connect Appの使用中心にお客様の位置データを収集、処理または使用しません。

Google Earth[®]、Google Street View[®]およびリアルタイム交通情報などの統合的なサービスを有効にすることで、位置情報機能を車両で利用することもできます。この場合、車両とサービス・プロバイダー間の安全な接続を介して匿名の位置情報をやり取りし、位置情報についてのコンテンツを車両で表示させることができます。ポルシェ社は、これらのサービスの使用中に位置情報を収集、処理または使用しません。「オンライン検索（Google[®]検索）」機能を使用する場合は、位置情報および検索要求が車両からポルシェ社に匿名形式で送信され、これを使用して施設情報を検索します。このプロセスでは、匿名の検索要求がコンテンツ・プロバイダーにも送信されます。この場合、ポルシェ社は、サービスを実施し正しく機能させることのみを目的として、該当する法律などの基準に従ってお客様の位置情報を一時的に収集、処理および使用します。ポルシェ社が、個人的または潜在的に個人的な位置データをサービス・プロバイダーまたは第三者に転送することはありません。

「リアルタイム交通情報」を有効にすると、可能な限り正確に交通状況を把握して交通渋滞を予測するのに役立ちます。このために、車両の位置、進行方向および車速を含む匿名の位置情報が暗号化され、交通情報プロバイダーに送信され定期的に処理されます。この機能を希望しない場合は、いつでも「リアルタイム交通情報」をOFFにすることができます。

外観図

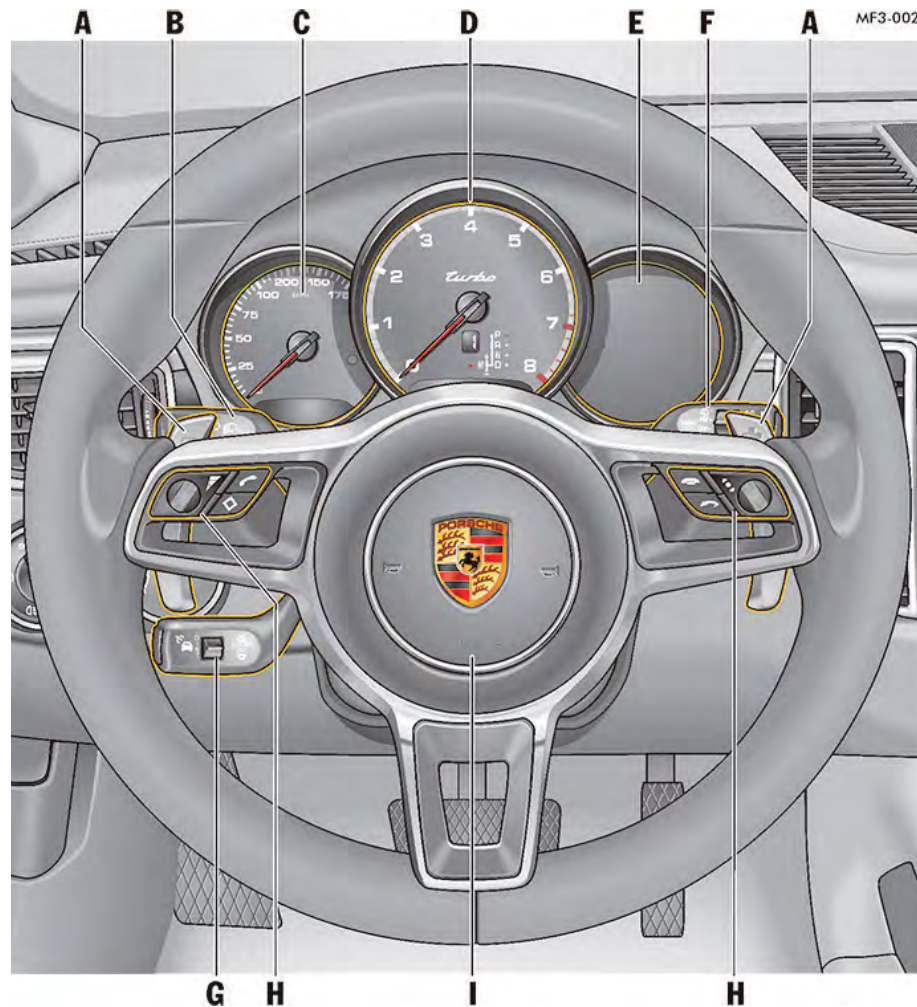
以降のページには、車両の全ての部位の外観図が簡略な説明とともに掲載されています。詳しい情報は該当するページをご覧ください。



MF1 -001

運転席

- A** センター・ロック ▶ P162
- B** インナー・ドア・ハンドル ▶ P163
- C** パーソナル設定用メモリー・ボタン ▶ P226
- D** ライト・スイッチ ▶ P325
- E** トリップ・メーター・リセット・ボタン/インストルメント・パネル明るさ調節ボタン ▶ P46
- F** オーバーヘッド・コンソール ▶ P25
- G** パワー・ウィンドウ ▶ P51
- H** ドア・ミラーの調整 ▶ P315
- I** ボンネットのロックを解除する ▶ P261
- J** 故障診断用ソケット ▶ P121
- K** イグニッション・ロック、ステアリング・ロック ▶ P71
- L** ステアリング・ホイール調節 ▶ P143
- M** シート調節 ▶ P134



ステアリング・ホイール およびインストルメント・ パネル

- | | | |
|----------|-----------------------------|--------|
| A | PDKシフト・パドル | ▷ P209 |
| B | 方向指示灯 | ▷ P328 |
| C | スピードメーター | ▷ P48 |
| | 警告灯および表示灯 | ▷ P49 |
| D | タコメーター（回転計） | ▷ P48 |
| | 警告灯および表示灯 | ▷ P49 |
| E | マルチファンクション・ディスプレイ | ▷ P48 |
| | 警告メッセージの概要 | ▷ P98 |
| F | フロント・ワイパー | ▷ P248 |
| G | クルーズ・コントロール | ▷ P95 |
| | アダプティブ・クルーズ・コントロール | ▷ P37 |
| H | 電話コントロール*、マルチファンクション・ディスプレイ | ▷ P296 |
| I | ホーン | |

* 日本仕様に設定はありません。

MH1-003



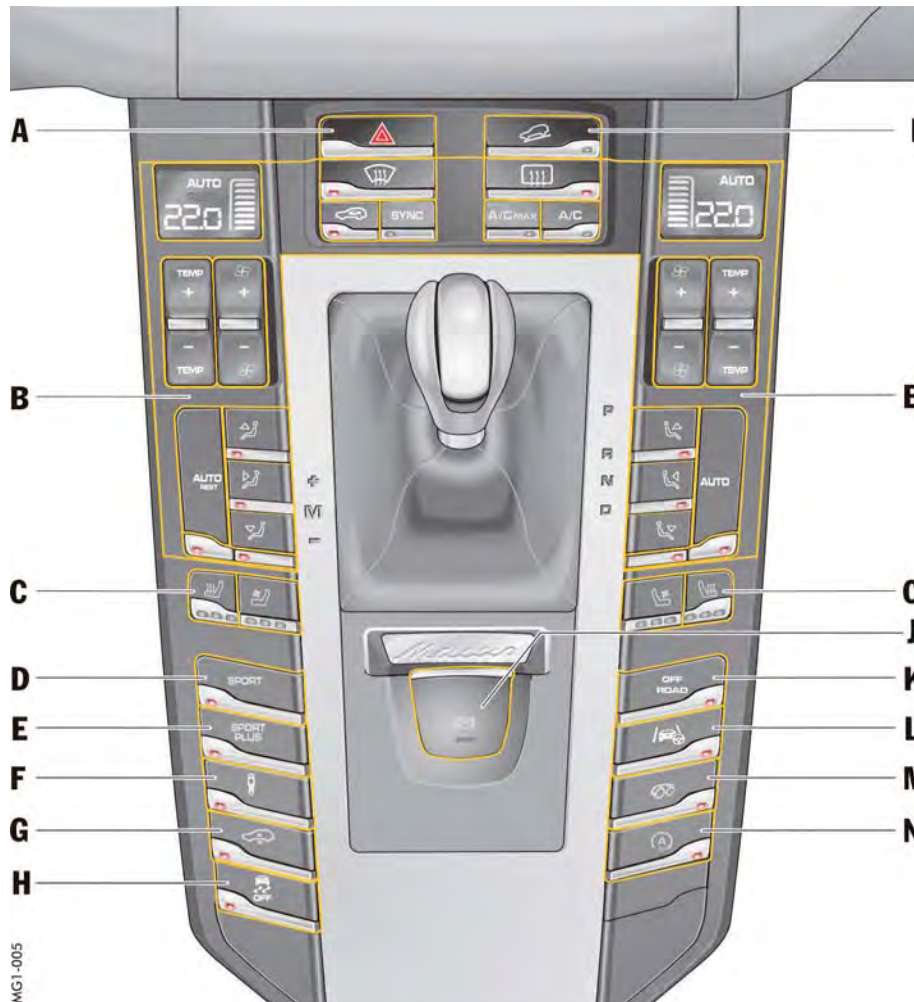
センター・コンソール

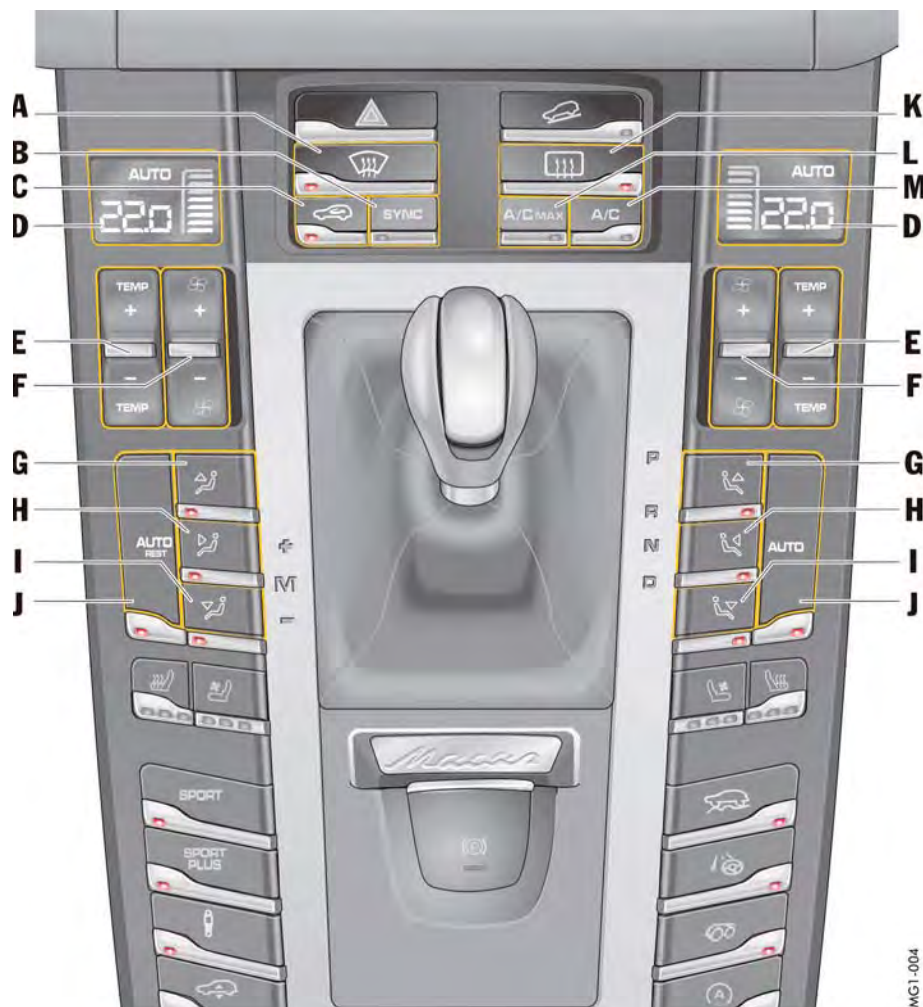
- A コンパス* ▷ P148
- スポーツ・クロノメーター ▷ P144
- B ボルシェ・コミュニケーション・
マネージメント(PCM) ▷ P28
- C エア・ベント ▷ P62
- D グローブ・ボックス ▷ P293
- E ボルシェ・コミュニケーション・
マネージメント(PCM)カバー(SIM
カードおよびCD/DVDスロット) ▷ P29
- F コントロール・パネル ▷ P23
- G エレクトリック・パーキング・
ブレーキ ▷ P244
- H 灰皿、シガー・ライター ▷ P152
- I ドリンク・ホルダー/カップ・
ホルダー ▷ P81
- J アームレスト、小物入れ ▷ P294

* 日本仕様に設定はありません。

コントロール・パネル

- A ハザード・ライト ▶ P329
- B エアコン・システム ▶ P57
- C シート・ヒーター、シート・ベンチレーター ▶ P138
- D スポーツ・モード ▶ P150
- E スポーツ・プラス・モード ▶ P151
- F ポルシェ・アクティブ・サスペンション・マネージメント (PASM) ▶ P271
- G ロー・レベル ▶ P67
- H ポルシェ・スタビリティ・マネージメント (PSM) ▶ P284
- I ポルシェ・ヒル・コントロール (PHC) ▶ P283
- J エレクトリック・パーキング・ブレーキ ▶ P244
- K 「オフロード」モード ▶ P77
- L レーン・キープ・アシスト車線逸脱警告システム ▶ P349 P122
- M スポーツ・エキゾースト・システム・ボタン ▶ P149
- N オート・スタート/ストップ機能、惰性走行モード ▶ P78





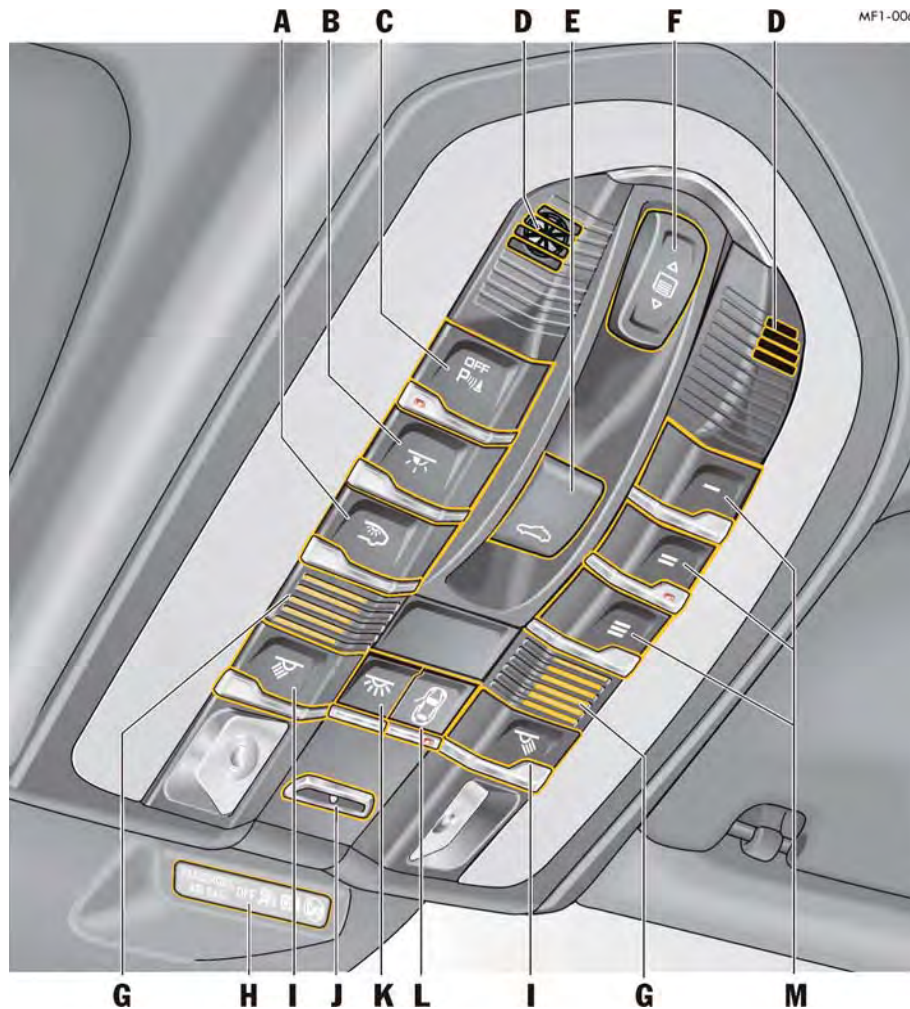
エアコン (2ゾーンおよび3ゾーン・エアコン)

- A** フロント・ウィンドウ・デフロスター ▶ P65
- B** SYNCモード (運転席のエアコン設定を車内全体に適用する) ▶ P64
- C** 内気循環モード ▶ P63
- D** エアコン・ディスプレイ
- E** 温度の設定 ▶ P60
- F** 送風量の設定 ▶ P60
- G** フロント・ウィンドウへの送風 ▶ P60
- H** 中央およびサイド・ベントからの送風 ▶ P60
- I** 足元への送風 ▶ P60
- J** AUTOモード ▶ P60
RESTモード (エンジン余熱を利用) ▶ P64
- K** リア・ウィンドウ/ドア・ミラー・ヒーター ▶ P65
- L** A/C MAXモード ▶ P63
- M** A/Cモード (エアコン・コンプレッサー ON/OFF) ▶ P62

MG1-004

オーバーヘッド・コンソール

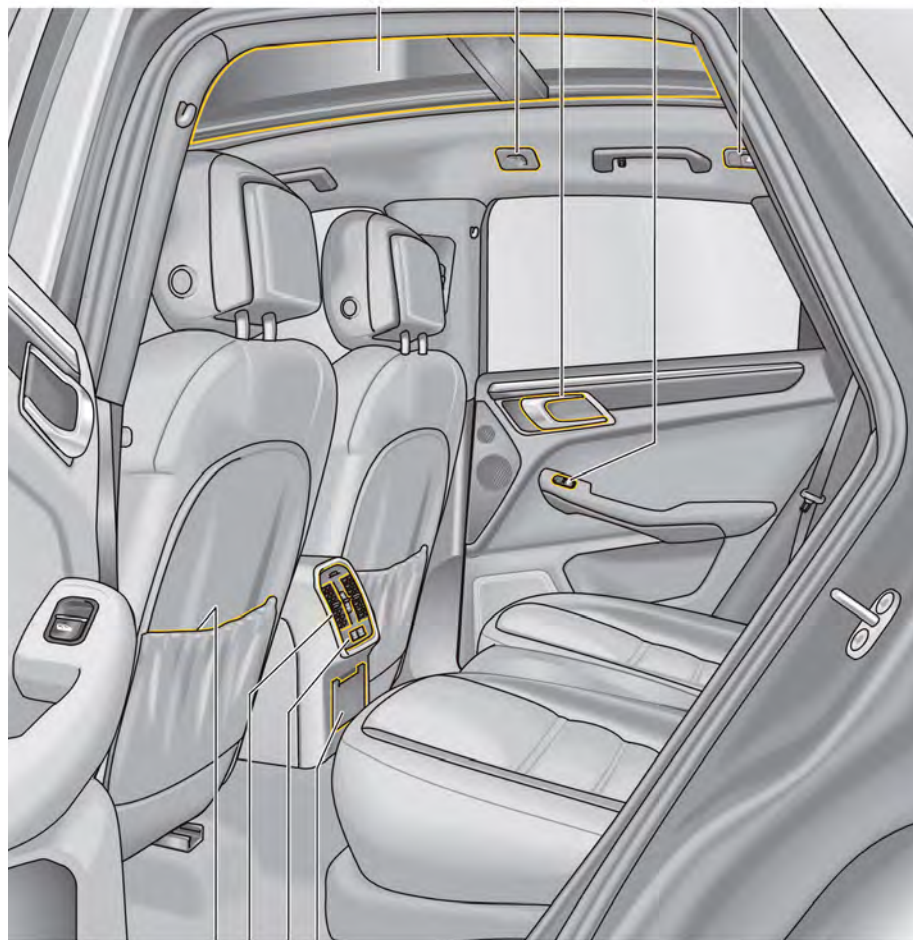
- A リヤ・インテリア・ライト ▶ P46
- B アンビエント・ライトの明るさ ▶ P47
調節
- C パーキング・アシスタントOFFボ ▶ P222
タン
- D 室内モニタリング・システム・セ ▶ P97
ンサー
- E パノラマ・ルーフ・システム ▶ P236
- F パノラマ・ルーフ用ロール・アッ ▶ P237
プ式ブラインド
- G ハンズフリー・マイク
- H 助手席エアバッグOFF/ON 警告灯 ▶ P56
- I 読書灯 ▶ P46
- J オリエンテーション・ライト ▶ P47
- K フロント・インテリア・ライト ▶ P46
- L ドア/リヤ・リッド連動インテリ ▶ P47
ア・ライト
- M ガレージ・ドア・オープナー ▶ P82
(ホームリンク®) *



* 日本仕様に設定はありません。

MF1-007

後部座席

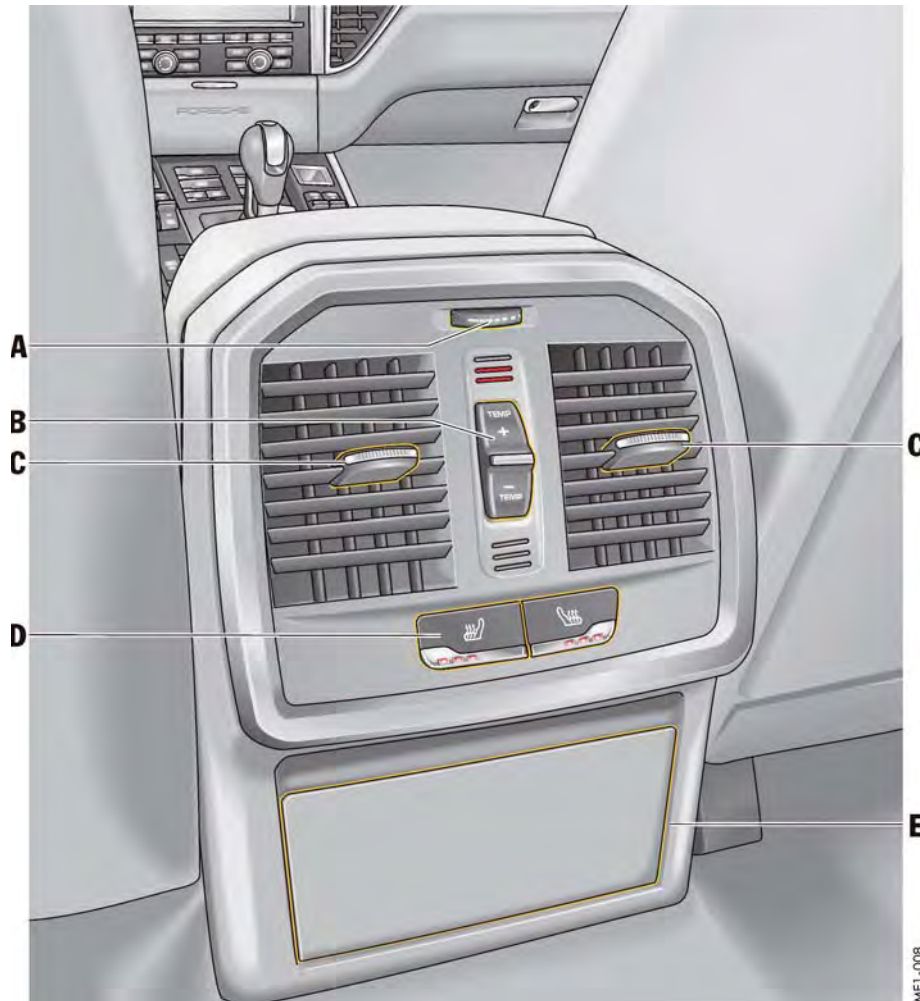


- A パノラマ・ルーフ・システム ▶ P236
- B ラゲッジ・コンパートメント・パーティーション・ネット用タイダウン・リング ▶ P295
- C インナー・ドア・ハンドル ▶ P166
- D パワー・ウィンドウ ▶ P51
- E 読書灯 ▶ P46
- F マップ・ポケット
- G エアコン ▶ P61
- H シート・ヒーター ▶ P139
- I 灰皿、シガー・ライター ▶ P152

F G H I

リヤ・エアコン (3ゾーン・エアコン)

- | | | |
|----------|-------------|--------|
| A | 送風量の設定 | ▷ P62 |
| B | 温度の設定 | ▷ P61 |
| C | エア・ベント | ▷ P62 |
| D | シート・ヒーター | ▷ P138 |
| E | 灰皿、シガー・ライター | ▷ P152 |



MF1-008

P110_40



PCMの各操作部

- A** 音量調節、PCM ON/OFFスイッチ ▶ P281
- B** ラジオ ▶ P340
- テレビ (TV) ▶ P187
- C** メディアおよびラジオ音源 ▶ P320
- D** ミュージックおよびビデオ ▶ P320
- E** 電話、メッセージおよびEメール ▶ P192
- F** ナビゲーション ▶ P213
- G** 車両およびシステムの設定 ▶ P281
- H** 地図および交通情報 ▶ P217
- I** メイン・メニュー、サウンド設定 ▶ P274
- Porsche Connect App、 ▶ P371
- Apple CarPlay®、 ▶ P365
- MyScreen ▶ P277
- J** ロータリー・プッシュ・ボタン ▶ P276
- (PCMの操作)
- K** バック・ボタン: 前の操作を取り消す、選択を中止する、または1つ前のメニューに戻る
- L** メイン・メニュー、サウンド設定に応じた設定
- M** 時刻の設定 ▶ P274
- N** タッチスクリーン (PCMの操作) ▶ P275
- O** 接続マネージャー (電話を接続する、WiFi設定を表示しWiFiホットスポットを設定する、Bluetooth®機器を接続する、Apple CarPlay®およびPorsche Connect Appの接続状態を表示する) ▶ P159
- P** スキップ・ボタン (曲/放送局の設定)

P110_41

PCMドライブ

- A CD/DVDドライブ ▷ P278
- B SDカード・リーダー1 ▷ P279
- C SIMカード・リーダー ▷ P194
- SIMカード経由でデータ接続を確
立する(コネクティビティ) ▷ P160
- D SDカード・リーダー2 ▷ P279
- E CD/DVDイジェクト・ボタン ▷ P278
- F ドライブ・カバー
カバーを開く
 - ▶ 自動的に固定されるまでカ
バーを押してください。
 カバーを閉じる
 - ▶ 固定されているカバーのハン
ドルを軽く押してください。
カバーが自動的に閉じます。



P070_42



PCMの基本操作

- A** メイン・メニューを開く
- ▶ ボタン (例: **TUNER**) を押してください。
 - または
メイン・**HOME** メニューの機能を選択してください。
- B** PCMの操作用ロータリー・プッシュ・ボタン
- ▶ ロータリー・プッシュ・ボタン **B** を回して機能を選択してください。
 - ▶ ロータリー・プッシュ・ボタン **B** を回して選択内容を確認してください。
- C** PCMの操作用タッチスクリーン
- ▶ タップ (指で軽く触れる)
 - ▶ 長押し (指を押し付けてそのままにする)
 - ▶ スクロール (上下にスワイプする)
 - ▶ スワイプ (左右にスワイプする)
 - ▶ ドラッグ&ドロップ (項目をタッチして、希望の位置までドラッグして放す)
 - ▶ ズーム (2本の指をディスプレイに触れたまま広げるまたは狭める)
- D** コントローラーの機能を開く (近接センサーが作動している場合は、PCMに手を近づける)
- E** バック・ボタン: 前の操作を取り消す、選択を中止する、または1つ前のメニューに戻る
- F** メイン・メニュー、サウンド設定に応じた設定
- G** 他のページを表示: 左右にスワイプして他のページを開く

テキストおよび文字をPCMに入力する

- A 現在のカーソル位置 ▶ P276
- B 候補のリスト ▶ P276
- C 大文字と小文字の切り替え ▶ P276
- D 文字、数字および特殊文字の入力を切り替える ▶ P276
- E キーボードを表示する/隠す ▶ P276
- F 手書き文字認識機能（タッチスクリーンを使用してアルファベットや文字を入力する） ▶ P276
- G キーボードを調整する（国別仕様による） ▶ P276
- H スペースの挿入（手書き文字認識：タッチスクリーン上で指を左から右にスワイプする） ▶ P276
- I 入力を決定する ▶ P276
- J 項目を削除する（手書き文字認識：タッチスクリーン上で指を右から左にスワイプする） ▶ P276
- K 手書き文字認識機能（英語、ひらがな、カタカナ、ローマ字、漢字）代替文字の表示/非表示の切り替え ▶ P276




実用的なヒント



以降のページには、車両の各エリアに関する実用的なヒントが掲載されています。

実用的なヒント

エアコン

項目	ヒント
空気の状態に応じて、外気導入と内気循環を自動的に切り替える	自動内気循環モードは、マルチファンクション・ディスプレイで 車両設定エアコン自動内気循環 の順に選択してON/OFFを切り替えることができます。
ドライバーが1人で乗車するときのエアコン設定	<p>ドライバーが1人で乗車するときは、運転席側のエアコン設定を車両全体に適用します。</p> <p>▶ エアコン・コントロール・パネルのボタン  を、エアコン・ディスプレイに SYNC が表示されるまで押し続けてください。</p>

接続

項目	ヒント
接続マネージャーを開く	<p>接続マネージャーは、機器の接続（例：電話またはBluetooth®オーディオ・プレーヤーの接続、PCMを外部WiFiホットスポットに接続、Apple CarPlay®およびPorsche Connect Appの使用）を集中管理します。</p> <p>▶ PCMのフッターの  または  を選択してください（接続状態により異なる）。</p> <p>または</p> <p>▶ PHONE ボタン ▶ OPT ボタン ▶ 接続</p>
WiFiホットスポットまたは携帯電話経由でデータ接続を確立する	<p>PCMは、WiFiホットスポット（公衆ホットスポットや携帯電話の個人向けホットスポットなど）にアクセスしてデータ接続を確立することもできます。</p> <p>▶ 必要に応じて、PHONE ボタン ▶ OPT ボタン SET PHONENET 設定外部データ接続を使用を選択して、PCMを設定してください。</p>

マルチファンクション・ステアリング・ホイール

項目	ヒント
マルチファンクション・ステアリング・ホイールのMFSボタンを割り当てる	マルチファンクション・ステアリング・ホイールのMFSボタンに、マルチファンクション・ディスプレイ、任意のPCMの機能または一般的な車両機能を個別に割り当てることができます。マルチファンクション・ディスプレイで希望の機能を選択してください。 車両 ▶ 設定 ▶ Steering wheel op. (ハンドル操作 ▶ MFSボタン ▶ PCM function (PCM機能) または Cluster function (組み合わせ機能) または車両機能

ナビゲーション

項目	ヒント
目的地の検索または入力	検索 または オンライン検索 (Google [®] 検索) 機能により、希望の目的地を入力または検索することができます。検索 機能では、PCMに内蔵されたデータベースにアクセスして目的地を検索します。インターネットで目的地を検索するには、 オンライン検索 (Google [®] 検索) 機能を利用してください。 ▶ ボタン NAV 検索 または オンライン検索 を押して、検索ワード (例: 市、通り、名前) を入力し、リストから希望の項目を選択して 開始 を押します。
制限速度表示*	PCMの制限速度表示を有効にするには、 MAP ボタン ▶ OPT ボタン ▶ SET Map ▶ 一般設定 ▶ 制限速度表示 を押します。 更に、マルチファンクション・ディスプレイに制限速度が表示されます。 車両 ▶ 設定 ▶ 表示 ▶ PCM表示

ボイス・コントロール

項目	ヒント
ボイス・コントロールの作動	ステアリング・ホイール左側のレバーにある MR ボタンを押すと、アプリケーションに応じて様々な機能が起動します。 - 短く押す: PCMのボイス・コントロールが有効になります。 - 長押しする: Siri [®] 音声認識機能が有効になります (Apple CarPlay [®] を組み合わせただけの場合のみ)。
乗員による音声操作	ボイス・コントロール用のハンズフリー・マイクロフォンはドライバー側に向いています。そのため、ドライバーのみがボイス・コントロールを使用してください。

* 日本仕様に設定はありません。


給油

項目	ヒント
フィルター・フラップ位置の表示	燃料計の矢印は、車両のフィルター・フラップの付いている側面を示しています。 ▶ 「インストルメント・パネル」(48ページ) を参照してください。

電話

項目	ヒント
対応しているBluetooth®プロフィール	携帯電話に表示されているプロフィールのリストを表示するには、 PHONE ボタン ▶ OPT ボタン ▶ SET PHONE ▶ Bluetooth ▶ Bluetoothデバイス ▶ 該当する機器を選択 ▶ 詳細 を押してください。 また、携帯電話の取扱説明書に記載されている情報にも注意してください。
複数の携帯電話を車内で同時に使用する	一度にPCMとの接続を有効にできるのは1台の携帯電話のみです。ただし、車内で複数の携帯電話をログオンすることができます。PCMをONにすると、最近接続された携帯電話を自動的に検索します。15秒以内に機器が見つからない場合は、システムは既にログオンされた他の携帯電話を検索します。
携帯電話の連絡先をPCMに転送する	どの携帯電話が接続されているか、またはSIMカードを使用しているかに関係なく、PCMの範囲内にある携帯電話からBluetooth®経由で連絡先を転送することができます。 ▶ PHONE ボタン ▶ OPT ボタン ▶ SET PHONE ▶ 連絡先 ▶ 連絡先を転送する ▶ 連絡先の転送に使用する携帯電話を選択してください。

センター・ロック

項目	ヒント
車両のロックを解除すると、1つのドアのみロックが解除されます。	ドアのロックおよびロック解除の設定が変更されました。 設定内容に関係なくすべてのドアを開くことができます。 ▶ キーの  ボタンを5秒以内に2回押してください。 設定を変更するには、マルチファンクション・ディスプレイで 車両 ▶ 設定 ▶ ロック を選択してください。

項目

以降のページには、五十音順に項目が掲載されています。

アダプティブ・クルーズ・コントロール (ACC)

アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)を使用すると、前走車のいない道路を走行する場合に、約30~210km/hの範囲でアクセルペダルを踏まなくても希望する速度を維持したまま走行できます。

アダプティブ・クルーズ・コントロールは自車と同一車線上に、設定した速度よりも遅い前走車を検出すると、あらかじめ設定した車間距離を自動的に維持するように速度を調節します。アダプティブ・クルーズ・コントロールは前走車との車間距離が短くなると減速し、車間距離が長くなると設定速度の範囲内で加速します。

警告 集中力の低下

アダプティブ・クルーズ・コントロールにより快適性は向上しますが、ドライバーは運転に責任を持ち、安全運転を心がけてください。ドライバーは、アダプティブ・クルーズ・コントロールが作動していても、安全な車間距離を保ち、適切なスピードで走行するなどの安全運転に努めてください。このシステムは、あくまでも補助的な機能のため運転時には細心の注意を払ってください。

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)の減速が不十分な場合は、直ちにフット・ブレーキをかけて車両を減速させてください。
- ▶ 常に車両がコントロールできるか確認してください。

警告

危険な交通状況や路面状態が悪い状況での走行

交通状況により前走車との安全な距離を保って走行できない場合、または一定の車速で走行できない場合は、クルーズ・コントロールを使用すると事故を起こす危険があります。

- ▶ 激しい渋滞、道路工事区域、市街地、カーブの多い道、路面状態が悪い場合（冬場の滑りやすい路面、濡れた路面、起伏の多い路面）などでは、アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)を使用しないでください。

警告

アダプティブ・クルーズ・コントロールにより他の車両や障害物を検出できない場合

アダプティブ・クルーズ・コントロールは、停車中または低速走行中の車両、歩行者、路上の障害物、同一車線上の対向車、前方を斜め方向に横切る車両などは検出できません。

- ▶ 必要に応じて適切な運転操作をしてください。
- ▶ 進行方向の状況に常に気を配ってください。

レーダー・センサー

アダプティブ・クルーズ・コントロールは、フロント・バンパー中央（矢印）のレーダー・センサーを使用します。

MF1-112



図1：レーダー・センサーの取り付け位置

情報 インフォメーション

- ▶ システムの正常な機能を維持するために、レーダー・センサーに付着した汚れ、氷、雪などを取り除いてください。

車両のお手入れについて：

- ▶ 「車両のお手入れ」(124ページ)を参照してください。

警告

レーダー・センサーの視界不良

雨水、雪、氷、多量の水しぶきなどでレーダー・センサーの機能が阻害される場合があります。前走車を正しく検出できないことや、全く検出できなくなることがあります。

- ▶ 上記のような状況下ではアダプティブ・クルーズ・コントロールを使用しないでください。

例外

レーダー・センサーの汚れが激しい場合や雪などで覆われているとき、豪雨など悪天候のとき、トンネルを通過中などにアダプティブ・クルーズ・コントロールが自動的に作動を停止することがあります。

マルチファンクション・ディスプレイにACCが停止中であることを示すメッセージが表示されます。

▷ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」(98ページ)を参照してください。

アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)の基本的な作動

前走車がないとき - 一般道路での運転

アダプティブ・クルーズ・コントロールはクルーズ・コントロールと同様に作動します。設定された希望の速度が常に維持されます。

前走車を検出したとき - フォロー・モード

アダプティブ・クルーズ・コントロールは、自車と同一車線上に希望した設定速度よりも遅い前走車を検出すると、あらかじめ設定した車間距離を自動的に維持するように速度を調節します。

前走車が停止すると、アダプティブ・クルーズ・コントロールの制御範囲内で減速して停車します。

アダプティブ・クルーズ・コントロールは前走車が発進するまで停車状態を維持します。

前走車が発進すると、アダプティブ・クルーズ・コントロール(自動車速制御および自動車間距離制御)を再開することができます。

オーバーライド

アクセル・ペダルを踏むことにより、いつでも加速することができます。

設定速度よりも高速で走行すると、アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)が解除されます。

マルチファンクション・ディスプレイにACCが停止中であることを示すメッセージが表示されます。設定された希望の速度は保存されています。

アクセル・ペダルを放すと、アダプティブ・クルーズ・コントロールは車両の速度を設定された希望の速度に調整し、自動車間距離制御を行います。

ACCの作動状態に関するインフォメーション:

▷ 「アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)のON時の作動モード」(39ページ)を参照してください。

アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)の操作

アダプティブ・クルーズ・コントロールは、ステアリング・コラム左下にあるレバーで操作してください。



図2: アダプティブ・クルーズ・コントロール (ACC) 操作レバー

- R クルーズ・コントロールのON/OFF
- 1 速度の設定/加速
- 2 減速
- 3 中断 (OFF)
- 4 クルーズ・コントロールの再開 (RESUME)

i インフォメーション

ブレーキ・ペダルまたはアクセル・ペダルを操作した場合、いつでもドライバーの意志が優先されます。

アダプティブ・クルーズ・コントロール (ACC) の表示

アダプティブ・クルーズ・コントロールに関するすべての重要な情報、メッセージおよび警告はマルチファンクション・ディスプレイのACCメイン・メニューに表示されます。

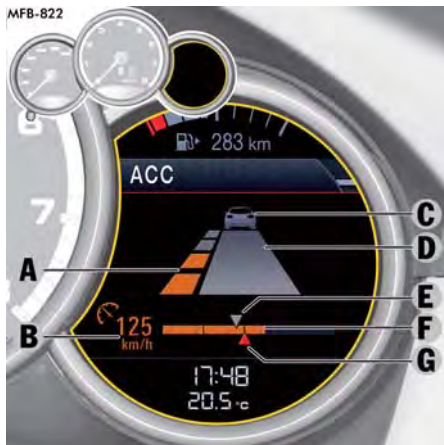


図3：マルチファンクション・ディスプレイのACC

- A 先行車両との目標距離
- B ステータス表示と目標速度
- C 先行車両の検知
- D 先行車両からの現在の距離
- E 先行車両の現在の速度
- F 速度制御範囲のバー表示 (0~210 km/h)
- G 実際速度

アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)をONにすると、マルチファンクション・ディスプレイ左下にステータス・ディスプレイBが表示されます。

アダプティブ・クルーズ・コントロールが作動すると、ステータス・ディスプレイBが橙色に変わります。

アダプティブ・クルーズ・コントロールの作動を中断すると、ステータス・ディスプレイBが灰色になります。



アダプティブ・クルーズ・コントロールをON (スタンバイ状態) にすると、クルーズ・コントロールのシンボル・マークが表示されます。ただし設定速度を設定するまでは、速度表示が空欄になります。



設定速度を設定した後、前走車を検出していないときは、クルーズ・コントロールのシンボル・マークと設定速度が表示されます。



設定速度を設定した後で前走車を検出した場合、車両のシンボル・マークと設定速度が表示されます。

アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)のON/OFF

アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)を

- ▶ クルーズ・コントロール操作レバーのボタンRを押してください。
マルチファンクション・ディスプレイに灰色のシンボル・マークが表示されます。
アダプティブ・クルーズ・コントロールはスタンバイ状態になります。

アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)をOFFにする

- ▶ クルーズ・コントロール操作レバーのボタンRを押してください。
マルチファンクション・ディスプレイにACCが停止中であることを示すメッセージが表示されます。
設定速度が消去されます。
設定車間距離が初期値 (デフォルト値) にリセットされます。

アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)のON時の作動モード

アダプティブ・クルーズ・コントロールON時には、3種類の作動モードがあります。

アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)の作動

アダプティブ・クルーズ・コントロールが、速度および前走車との車間距離を自動的に制御します。
ステータス・ディスプレイBが橙色になります。

アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)のスタンバイ

ブレーキ・ペダルを踏んだときや、クルーズ・コントロール操作レバーを下方 (3の位置、OFF) に押したときは、アダプティブ・クルーズ・コントロール (自動車速制御および自動車間距離制御) が解除されます。
設定された希望速度および設定距離は保存されています。
ステータス・ディスプレイBが灰色になります。
アダプティブ・クルーズ・コントロール (自動車速制御および自動車間距離制御) の再開に関するインフォメーション：
▶ 「RESUME (自動車速制御と自動車間距離制御の再開)」 (42ページ) を参照してください。

アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)の速度超過

アクセル・ペダルを踏むと、クルーズ・コントロールおよび車間距離制御が解除されます。
マルチファンクション・ディスプレイにACCが停止中であることを示すメッセージが表示されます。
設定された希望速度および設定距離は保存されています。
ステータス・ディスプレイBが灰色になります。
アクセル・ペダルを放した後、アダプティブ・クルーズ・コントロール (自動車速制御および自動車間距離制御) は再開されます。

速度の設定/設定速度の変更

- ✓ アダプティブ・クルーズ・コントロールがON
- ✓ 車両が動いている
- ✓ 前方に静止した物体を検出していない

速度の設定

1. ステアリング・コラムの操作レバーを前方 (図 2ページ38の1の位置) に押してください。そのときの走行速度が希望速度として保存され、自動的に維持されます (30~210km/hの制御範囲内)。ステータス・ディスプレイBが橙色になります。速度制御範囲のバー・グラフの下部に表示されている赤色の▲マークGが、現在の速度を示しています。
2. アクセル・ペダルから足を放してください。自車よりも遅い速度の前走車が検出されるまで、設定速度が自動的に維持されます。

i インフォメーション

停車中に操作レバーを前方 (1の位置) に倒すと、マルチファンクション・ディスプレイに「ACC is not possible when parked (停車中はACC不可)」のメッセージが表示されます。前方に静止した物体を検出すると、マルチファンクション・ディスプレイにメッセージが表示されます。

設定速度を上げる

- ▶ ステアリング・コラムのクルーズ・コントロール操作レバーを前方 (1の位置) に押してください。速度が1km/h単位で上がります。
または
ステアリング・コラムの操作レバーを前方 (1の位置) で保持してください。速度が10km/h単位で上がります。ステータス・ディスプレイBが新しく設定した速度を表示します。速度制御範囲のバー・グラフの下部に表示されている赤色の▲マークGが、現在の速度を示しています。

設定速度を下げる

- ▶ ステアリング・コラムのクルーズ・コントロール操作レバーを手前 (2の位置) に素早く引いてください。速度が1km/h単位で下がります。
または
ステアリング・コラムの操作レバーを希望の速度になるまで手前 (2の位置) で保持してください。速度が10km/h単位で下がります。ステータス・ディスプレイBが新しく設定した速度を表示します。速度制御範囲のバー・グラフの下部に表示されている赤色の▲マークGが、現在の速度を示しています。

車間距離の設定

前走車との車間距離を4段階に設定できます。



図4: 車間距離の設定

i インフォメーション

車間距離を設定すると、マルチファンクション・ディスプレイに「ACC」(アダプティブ・クルーズ・コントロール)のメイン・メニューが一時的に表示されます。最初にロッカー・スイッチZを操作すると、設定車間距離を変更することなく、「ACC」メイン・メニューが表示されます。

i インフォメーション

実際の車間距離は速度に応じて変化します。速度が低いときは車間距離が短くなり、速度が高くなると車間距離が長くなります。

車間距離を長くする

- ▶ スイッチZを上方向に押してください。
前走車との設定車間距離を示す橙色のセグメントAの数が増えます。



少し余裕のあるドライビングに適した車間距離です。前走車との車間距離は1.3秒です。この場合、120km/hのときに約43mの車間距離になります。

車間距離を短くする

- ▶ スイッチZを下方向に押してください。
前走車との設定車間距離を示す橙色のセグメントAの数が減ります。



デフォルト (初期設定値) 道路運行上の安全基準に即した車間距離です。前走車との車間距離は1.8秒です。この場合、120km/hのときに約60mの車間距離になります。

前走車との車間距離を表示する

前走車を検出すると、マルチファンクション・ディスプレイとステータス・ディスプレイBに車両のシンボル・マークCが表示されます。灰色のゾーンDが、前走車との現在の車間距離を示します。



郊外路を走行するときに適しています。前走車との車間距離は2.3秒です。この場合、120km/hのときに約77mの車間距離になります。



走行速度が高い道路での走行に適した車間距離です。前走車との車間距離は1秒です。この場合、120km/hのときに約33mの車間距離になります。

自動ブレーキ制御での停止

アダプティブ・クルーズ・コントロールが作動しているときに前走車が停止すると、制御範囲内で減速して停車します。

インストルメント・パネルのHOLDインジケータ・ライトが点灯します。

車両は前走車が発進するまで停止状態を維持します。

HOLD機能に関するインフォメーション：

- ▶ 「HOLD機能：発進アシスタント、停止制御」(368ページ)を参照してください。

i インフォメーション

周囲の交通の流れによっては (例えば、ゆっくりとした交通の流れの中では)、車両はゆっくりと徐行してから停車します。

i インフォメーション

アダプティブ・クルーズ・コントロールが正常に機能している場合や、HOLD機能が作動したときは、ブレーキ・ペダルの感触が変化したり、ブレーキ・システムの油圧作動音が聞こえることがあります。これはシステムの正常な作動であり、故障ではありません。

再発進

アダプティブ・クルーズ・コントロールの作動モードに応じて、停車後に再発進し、自動車速制御と自動車間距離制御を再開することができます。

アダプティブ・クルーズ・コントロール (ACC)の作動

- ▶ ステアリング・コラムの操作レバーを上方(4の位置、RESUME)に押してください。
または
アクセル・ペダルを短く踏んでください。
車両が自動的に再発進します。

i インフォメーション

前走車が停止しているときは発進できません。

アダプティブ・クルーズ・コントロール (ACC)のスタンバイ

車両が動いているときのみ、自動車速制御および自動車間距離制御を再開することができます。

1. 通常の運転操作で発進してください。
2. ステアリング・コラムの操作レバーを上方(4の位置、RESUME)に押してください。
または
速度を設定する、または設定速度を変更してください。

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

アダプティブ・クルーズ・コントロール (自動車速制御および自動車間距離制御) の中断と再開

OFF (自動車速制御と自動車間距離制御の中断)

- ▶ ブレーキ・ペダルを踏んでください。
または
ステアリング・コラムの操作レバーを下方(3の位置、OFF)に押ししてください。
アダプティブ・クルーズ・コントロールの制御が中断されます。
設定された希望速度および設定距離は保存されています。

RESUME (自動車速制御と自動車間距離制御の再開)

- ▶ ステアリング・コラムの操作レバーを上(4の位置、RESUME)に押しください。
自車よりも遅い速度の前走車を検出し、あらかじめ設定した車間距離よりも接近するまでは、設定速度まで加速します。
ステータス・ディスプレイBが灰色から橙色になります。
または
ステアリング・コラムの操作レバーを上(4の位置、RESUME)で保持してください。
通常よりもスポーティーなドライビング・スタイルで、設定速度まで加速します。

i インフォメーション

クルーズ・コントロール操作レバーを3の位置(OFF)に押し、自動車速制御および自動車間距離制御を中断した場合、発進後、前方に静止した物体を検出していないときのみ制御を再開できます。

警告メッセージ



図5: マルチファンクション・ディスプレイの警告メッセージ

アダプティブ・クルーズ・コントロール作動中(ACC active)のドライバーへの運転操作の要求

アダプティブ・クルーズ・コントロールが作動しているときに、ドライバーのブレーキ操作が必要であると判断された場合、警告音が鳴り、マルチファンクション・ディスプレイに警告メッセージが表示されます。

▲ 警告

アダプティブ・クルーズ・コントロールによるオート・ブレーキ時の不十分な制動力

このような場合、アダプティブ・クルーズ・コントロールによる制動力は衝突を回避するには不十分です。

- ▶ 直ちにブレーキをかけてください。

アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)の例外

次のような状況では、アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)は利用できません:

- イグニッションをOFFにしたとき
- PSMがOFFのとき
- 運転席ドアが開き、運転席シートベルトを着用していない
- 駐車するとき、または非常に狭い場所を運転するとき
- エレクトリック・パーキング・ブレーキが作動しているとき
- PDKセクター・レバーがN、RまたはPの位置にあるとき
- 上り坂や下り坂の傾斜が20%以上のとき
- ポルシェ・ヒル・コントロール(PHC)が作動中(またはスタンバイ状態)のとき

アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)ON時に、上記のいずれかの例外状況があてはまる場合、アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)がOFFになります。

マルチファンクション・ディスプレイに該当するメッセージが表示されます。

レーダー・センサーが前走車を正常に検出できない状況

アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)のレーダー・センサーは、自車正面の比較的狭い範囲を円錐状に監視します。

このため周囲の道路状況や、前走車の大きさによっては、レーダー・センサーが前走車を検出できない、または検知が遅れる場合があります。その結果、アダプティブ・クルーズ・コントロールの制動が遅れたり、ブレーキが突然かかることがあります。

停止中の車両は検出されません。アダプティブ・クルーズ・コントロールは停止中の車両に反応できません。

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ 必要に応じて減速してください。

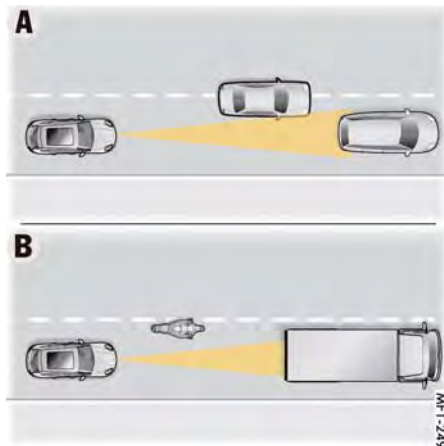


図6: 前方への割り込み、幅の狭い車両

A - 前走車の車線変更/前方への割り込み
他の車両が自車の車線に割り込んだときや自車の車線から離れる場合、その車両が自車の車線に完全に移動するまで検出しません。

B - 投影面積が小さな車両/幅の狭い車両
小さな車両や幅の狭い車両は検出できないか、または検出のタイミングが遅れます。

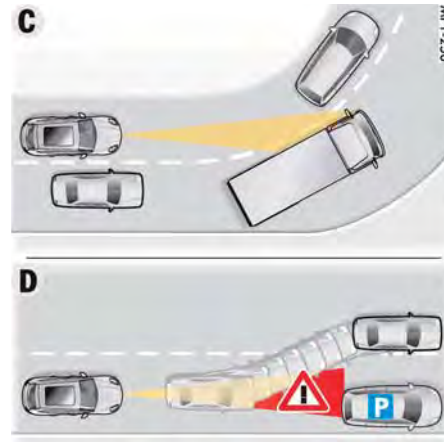


図7: コーナリングおよび停車中の車両

C - コーナーへの進入/脱出

コーナーにさしかかったときは、前走車を検出できなかったり、遅すぎるタイミングで検出する場合があります。また、隣の車線を走行する車両に反応する場合があります。

D - 停止中の車両

レーダー・センサーの監視エリアに突然停止中の車両が現れたとき(前走車が車線変更したときなど)は、アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)はその車両を検出しません。

警告 アダプティブ・クルーズ・コントロールの停止車両の不検出

アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)のレーダー・センサーは停止中の車両を検出しません。

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ 必要に応じて減速してください。

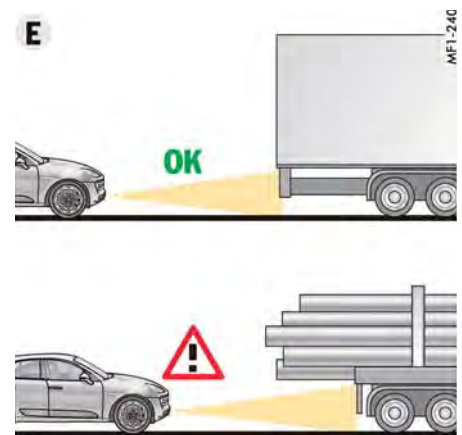


図8: オーバーハングの長い車両

E - オーバーハングの長い車両

木材運搬トラックなどの車両後端部は正しく検出できません。

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

警告

前走車の後端が正しく検出されない

前走車に長いオーバーハングがある場合、アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)のレーダー・センサーはその車両の後端を検出できないか、または正しく検出することができません。

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ 必要に応じて減速してください。

アクティブ・セーフティー - ポルシェ・アクティブ・セーフ (PAS)

アダプティブ・クルーズ・コントロール・センサーはポルシェ・アクティブ・セーフ(PAS)機能に使用されます。

機能内容：

- ブレーキ・システム・プレフィル

前走車に危険なほど近づいていることをレーダー・センサーが検出すると、ブレーキ・システムの圧力をあらかじめ少し高めてブレーキ・パッドをブレーキ・ディスクに軽く押し付け、制動時の応答性を向上させます。

- ブレーキ・アシスト

急ブレーキ操作時にブレーキ・ペダルを踏み込む力が弱いと、ブレーキ・ブースターが4輪すべてのブレーキ・システムの圧力を高め最大の制動力をかけます。

前走車に危険なほど近づいていることをレーダー・センサーが検出すると、ブレーキ・アシスト機能の作動開始が早まります。ブレーキ・アシストの作動は状況の危険度に応じて3段階で早まります。

- ターゲット・ブレーキ

前走車に危険なほど近づいていることをレーダー・センサーが検出し、更にブレーキ制動力が不十分な場合、状況に応じてブレーキ圧力を増加します（必要に応じて最大の制動力まで）。

i インフォメーション

すべてのポルシェ・アクティブ・セーフ (PAS) 機能は、約30km/h以上の速度で有効です。

潜在的な警告 (表示)



図9: 潜在的な警告 (表示)

車間距離が短い状態で長い時間走行している場合、前走車がブレーキをかけたときに衝突することを防ぐため、マルチファンクション・ディスプレイに潜在的な警告 (黄色のマーク) を表示してドライバーに警告します。

- ▶ 必要に応じて前走車との車間距離を十分に確保してください。

予期警告 (警告音、表示)



図10: 事前警告作動

前走車に危険なほど近づいており、前走車と衝突しそうなことをレーダー・センサーが検出すると、警告音と表示で予期警告を行います。ドライバーに警告を促し、ドライバーが適切に対応することで衝突を回避できます。

警告

車間距離の不足

前走車に追突する恐れがあります。

- ▶ 直ちにブレーキをかけてください。

緊急警告（表示、警告音、触知）

ドライバーが予期警告に対応せず、ブレーキをかけなかった場合、直ちに緊急警告が作動し、警告音と表示に加えてブレーキ振動で知らせます。

ブレーキ圧力を素早く高め、ブレーキ振動を発生させて警告します。これによりドライバーに交通状況を警告します。

この危険な状況では、ドライバーが適切に対応することで衝突を回避できます。

**警告****車間距離の不足**

前走車に追突する恐れがあります。

▶ 直ちにブレーキをかけてください。

**インフォメーション**

下記の状況ではドライバーは慎重に運転していると想定され、予期警告や緊急警告機能は作動しません：

- 急カーブを走行しているとき
- ドライバーがブレーキをかけているとき
- 追い越ししようとしている場合などドライバーが急加速したとき

**ポルシェ・アクティブ・セーフ (PAS)
警告のON/OFF**

潜在的および予期警告機能は初期設定ではOFFになっています。緊急警告機能は作動状態になっています。マルチファンクション・ディスプレイで潜在的および事前警告機能をONにする：

- ▷ 「ポルシェ・アクティブ・セーフ (PAS) のON/OFFを切り替える前の事前警告」(308ページ)を参照してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

インストルメントおよび インテリア・ライト

インストルメント・ライトの 明るさ調整

▲ 警告 走行中の輝度の調節

運転中に明るさ調節を行うと、車両のコントロールを失う恐れがあります。

- ▶ 運転中にステアリングのスポークの間からボタンを押さないでください。



図11: 照明ボタンとライト・センサー

ライト・センサー **B**により、周囲の明るさによって、ライトが自動的に調節されます。更に、車両のライト・スイッチがONのときはインストルメント・パネルおよびスイッチの照明を手動で調節することができます。

- ▶ 調節ボタン **A** (図11) を、お好みの明るさになるまで左右どちらかに回して保持してください。

インテリア・ライトの点灯/消灯と調光

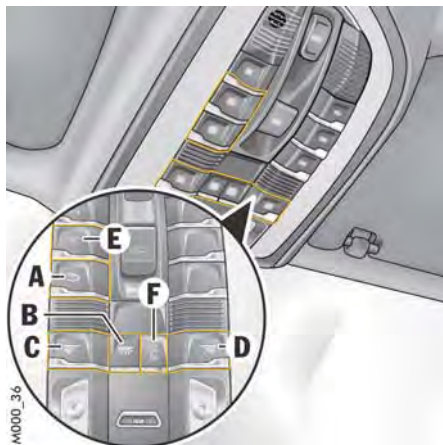


図12: オーバーヘッド・コンソールのインテリア・ライト・ボタン

- A** リヤ・インテリア・ライト用ボタン
- B** フロント・インテリア・ライト用ボタン
- C, D** フロント読書灯用ボタン
- E** アンビエント・ライト用ボタン
- F** 自動インテリア・ライト用ボタン



図13: リヤ読書灯とインテリア・ライト用ボタン

インテリア・ライトを点灯/消灯する フロント・インテリア・ライト

- ▶ ボタン **B** を押してください。

リヤ・インテリア・ライト

- ▶ ボタン **A** を押してください。
または
左右いずれかのドア上部のボタン **G** を押してください。

読書灯を点灯/消灯する

フロント読書灯

- ▶ ボタン **C** または **D** を押してください。

リヤ読書灯:

- ▶ 左右いずれかのドア上部のボタン **G** を押してください。

明るさを調節する（減光）

- ▶ フロント・オーバーヘッド・コンソールのボタン **B** (図12) またはリヤ・ドア上のボタン **G** (図13) を希望の明るさになるまで少なくとも1秒間押し続けてください。

ルーム・ランプの自動点灯/消灯機能

- ▶ ボタン **F** (46ページ：図12) を押してください。インテリア・ライトの自動点灯機能がOFFの場合、ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。

インテリア・ライトの自動点灯機能をONにする、以下の状態で周囲が暗いときに点灯します。

- ドアのロックが解除されているか、ドアが開いている
- リヤ・リッドのロックが解除されているか、リヤ・リッドが開いている
- イグニッション・キーが抜かれている
- ポルシェ・エントリー&ドライブ装備車で、ステアリング・コラムがロックされている

ドアまたはリヤ・リッドを閉じ、遅延消灯時間の約120秒が経過するとインテリア・ライトが消灯します。この遅延消灯時間は、インストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイで変更できます。

イグニッションをONにしたときや、車両をロックしたときは、直ちにインテリア・ライトが消灯します。

i インフォメーション

自動インテリア・ライトはインストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイでもON/OFFできます。

- ▶ 「ドアを開いたときのインテリア・ライト自動点灯の有効/無効」(310ページ)を参照してください。

バッテリー保護のためのインテリア・ライトの自動消灯機能

周囲が暗く、エンジンが停止しているときは、バッテリー上がりを防止するために約15分でインテリア・ライトが自動的に消灯します。周囲が明るいときは、インテリア・ライトを手動で点灯した後、3分が経過すると自動的に消灯します。

オリエンテーション・ライトの調整

オーバーヘッド・コンソールおよびイグニッション・ロック部のライトにより、周囲が暗いときに車両の主要な装備の位置を照らして乗降性を高めます。これらのライトは車両のロックを解除したときに点灯し、車両をロックすると自動的に消灯します。

オリエンテーション・ライトの明るさはマルチファンクション・ディスプレイで調節できます。

- ▶ 「オリエンテーション・ライトの明るさを調節する」(310ページ)を参照してください。

アンビエント・ライトを点灯/消灯する

夜間の運転中、控えめな明るさのライトが車内をやわらかく照らします。アンビエントライトは、車両をロックすると自動的に消灯します。

アンビエント・ライトを点灯/消灯する

- ▶ ボタン **E** を押してください(46ページ：図12)。

明るさを調節する（減光）

- ▶ アンビエント・ライトを調整するには、お好みの明るさになるまでボタン **E** (46ページ：図12) を1秒以上押し続けてください。

インストルメント・パネル

MH1-802



図14: インストルメント・パネルの表示

A - スピードメーター

B - タコメーター (回転計)

タコメーターの目盛りが赤色の部分は、エンジン回転数の許容上限を示しています。

C - マルチファンクション・ディスプレイ

▶ 「マルチファンクション・ディスプレイ」(296ページ)を参照してください。

D - トリップ・メーター・リセット・ボタン/インストルメント照明・PCM照明調節ボタン

▶ 「インストルメントおよびインテリア・ライト」(46ページ)を参照してください。

E - 積算距離計/トリップ・メーター

ディスプレイの上段は総走行距離を表示し、下段は区間走行距離を表示しています。トリップ・メーターの最大表示値は9,999kmとなっており、それを超えると「0」に戻ります。トリップ・メーターの手動リセット

▶ トリップ・メーター・リセット・ボタンDを約1秒間押し続けてください。トリップ・メーターが「0」に戻ります。

F - デジタル・スピードメーター

G - シフトアップ・インジケーター

エンジンに優しい運転を促すシフトアップ・インジケーターは、選択しているギヤ、エンジン回転数およびアクセル・ペダルの踏み込み量に応じて点灯し、1段高いギヤにシフトアップする適切なタイミングをお知らせします。マニュアル・モードでのみシフトアップ・インジケーターが使用可能です。

▶ シフトアップ・インジケーターが点灯したときは、1段高いギヤにシフトアップしてください。

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

H - PDKセクター・ポジション・インジケーターおよびギヤ・ポジション・インジケーター

I - フィラー・フラップの位置の表示

矢印は車両のフィラー・フラップの付いている側面を示しています。

J - 燃料計

イグニッションがONのときに燃料の残量を示します。

▶ 「給油」(88ページ)を参照してください。

坂道などで車体の傾きが変化すると、燃料計の表示位置が少し変化することがあります。

燃料残量警告灯

燃料タンクの残量が規定値(モデルにより異なる)または最小残可走距離を下回り、イグニッションがON、またはエンジンが作動している場合、燃料警告シンボルが表示されます。

▶ 最寄りの給油所で給油してください。

知識

燃料が不足した状態で走行を続けると、エミッション・コントロール・システムに損傷を与える恐れがあります。

- ▶ 燃料タンクが空になるまで走行しないでください。
- ▶ 警告灯が点灯したり、燃料警告シンボルが表示された場合は、カーブを曲がるときにスピードを出さないようにしてください。

警告灯および表示灯

知識

イグニッションをONにすると、警告灯およびインジケーター・ライトが短時間点灯します。不具合は警告灯により示されます。

次の場合は、必ずボルシェ正規販売店にご相談ください。


- イグニッションをONにしたときに警告灯が点灯しないとき
- エンジン作動中(走行中)に、警告灯が点灯または点滅するとき

ボルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。


インフォメーション

不具合の原因が解消した場合のみ、該当する警告灯が消灯します。

スピードメーター内


 トレーラー方向指示灯
インジケーター・ライト


HOLD HOLD機能インジケーター・ライト


-  **タイヤ空気圧警告灯**
警告灯が点滅または点灯し続ける原因:
- タイヤ空気圧の低下
 - タイヤ空気圧モニタリング・システム(TPM)の故障または一時的な不具合
 - 新しく装着したホイール(タイヤ空気圧センサー)を学習している、またはホイールを認識できない場合
- ▶ 適切な場所に停車して下さい。運転を続けしないでください。
- ▶ 必要な措置を講じて、タイヤ空気圧モニタリング・システムの不具合を解消してください。
- ▶ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」(98ページ)を参照してください。

 PDLS警告灯

 ディーゼル予熱インジケーター・ライト*

 ロー・ビーム・インジケーター・ライト

 ダイナミック・ハイ・ビーム・インジケーター・ライト

 リヤ・フォグ・ライト・インジケーター・ライト


* 日本仕様に設定はありません。


あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

タコメーター内

SPORT PLUS 「スポーツ」/「スポーツ・プラス」インジケーター・ライト


OFFROAD OFFROADインジケーター・ライト

 エレクトリック・パーキング・ブレーキ警告灯

 エミッション・コントロール警告灯 (チェック・エンジン)
警告灯が点滅または点灯する原因：汚染物質の排出量を増加させ、損傷を引き起こす原因となる作動不良（エンジンの失火など）


- ▶ 直ちにエンジンの回転数を下げ、エンジンの負荷を軽減してください。
- ▶ 必要に応じて、安全な場所に停車してください。可燃物（乾燥した草や枯れ葉など）が高温の排気システムに接触しないよう注意してください。
- ▶ 必要な措置を講じて、エミッション・コントロール・システムの不具合を解消してください。
- ▶ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」（98ページ）を参照してください。


 エアバッグ警告灯

 シートベルト警告灯

 ブレーキ警告灯

 方向指示灯、左

 ハイ・ビーム・インジケーター・ライト

 方向指示灯、右

 ABS警告灯

 PSM警告灯

 PSM OFF警告灯

ウィンドウ

ウィンドウの開閉



警告

ウィンドウの開閉

ウィンドウを開閉するときは、作動中のウィンドウと車両の固定部分に身体の各部が挟まれないように注意してください。特にワンタッチ操作で閉じるときは十分に注意してください。

- ▶ ウィンドウを開閉するときは、ウィンドウと車両の固定部分の間に身体の各部が挟まれないように十分注意してください。
- ▶ 車両を離れるときは必ずキーを抜いてください。またはポルシェ・エントリー&ドライブ装備車ではイグニッションをOFFにしてください。車両から離れるときは、必ずキーを携帯してください。乗員がパワー・ウィンドウを誤って操作し、ケガをする恐れがあります。
- ▶ 危険が生じた場合、直ちにイグニッション・キーのボタンを放してください。ポルシェ・エントリー&ドライブ装備車の場合は、直ちにドア・ハンドルのボタンを放してください。
- ▶ お子様のみを車内に残さないでください。

ウィンドウの開閉

- ✓ イグニッションをONにしてください。
または
- ✓ イグニッションをOFFにしてから10分以内
運転席/助手席ドアをまだ開いていない

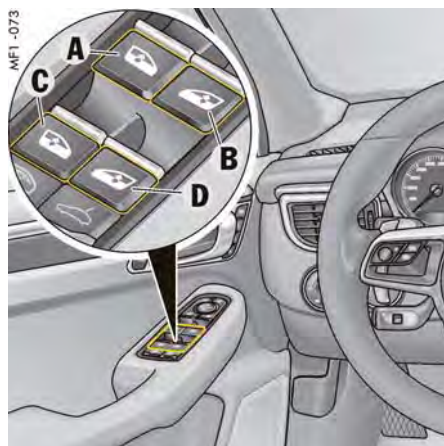


図15: 運転席ドアのパワー・ウィンドウ・スイッチ

- A 運転席のフロント・パワー・ウィンドウ・スイッチ
- B 助手席のフロント・パワー・ウィンドウ・スイッチ
- C 運転席のリア・パワー・ウィンドウ・スイッチ
- D 助手席のリア・パワー・ウィンドウ・スイッチ



図16: 助手席ドア・パワー・ウィンドウ・スイッチ



図17: リヤ・パワー・ウィンドウ・スイッチ

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

ウィンドウを開く

- ▶ ウィンドウが希望の位置になるまで希望のウィンドウのロッカー・スイッチを押してください。

ウィンドウを閉じる

- ▶ ウィンドウが希望の位置になるまでウィンドウのロッカー・スイッチを引いてください。

ロッカー・スイッチには**2段階の作動位置**があります。この2段階の作動位置は、スイッチを操作する際にははっきりと感じ取れます。

1段階目 - 手動操作

- ▶ 該当するスイッチを1段階目まで押すか、または引いてください。
ウィンドウが手動で開閉します。
スイッチを放すとウィンドウが止まります。

2段階目 - ワンタッチ操作

- ✓ イグニッションをONにしてください。
- ▶ 該当するスイッチを2段階目まで素早く押すか、または引いてください。
ウィンドウが完全に開閉します。
- ▶ ウィンドウを希望の位置で停止させたいときは、もう1度スイッチを操作してください。

警告

ウィンドウの手動開操作

ワンタッチ操作がウィンドウの抵抗を感じて無効になった場合、手動開機能を使用してウィンドウを閉じると、最大の力で閉じようとしてします。

- ▶ ウィンドウを閉じるとき、乗員が挟まれたり、圧迫されたりしないことを確認してください。

i インフォメーション

ドア・ウィンドウを閉じるときに障害物で作動が妨げられると、ウィンドウが停止した後、再び数センチ下がります。

ウィンドウの作動が約10秒以内に2回妨げられると、そのウィンドウのワンタッチ操作ができなくなります。

ウィンドウは手動で閉じることができます。ワンタッチ操作を再度有効にするには、ウィンドウを手動操作で1回完全に閉じてください。

キーによるウィンドウの開閉



図18: キーによるウィンドウの開閉

- ▶ ウィンドウが希望の位置になるまで車両キーの開閉ボタンを押し続けてください。
すべてのウィンドウおよびパノラマ・ルーフを閉じると、ハザード・ライトが1回点滅します。

ドア・ハンドルのタッチ・センサーでウィンドウを閉じる (ポルシェ・エントリー & ドライブ 装備車)



図19: ドア・ハンドルのタッチ・センサーでウィンドウを閉じる (ポルシェ・エントリー & ドライブ 装備車)

- ▶ 車両をロックするときにウィンドウが希望の位置になるまで、ドア・ハンドルのタッチ・センサーに触れ続けてください。
すべてのウィンドウおよびパノラマ・ルーフを閉じると、ハザード・ライトが1回点滅します。

ウィンドウ停止位置の保存

バッテリーを外したり、再接続したりしたときは、ウィンドウの停止位置が消去されます。ウィンドウのワンタッチ操作が無効になります。

すべてのウィンドウで以下の作業を行ってください：

1. スイッチを2段目まで引いて、一回完全にウィンドウを閉じてください。
2. ウィンドウが完全に閉じた後、スイッチを再度短く2段目まで引いてください。
3. スイッチを押して、1回ウィンドウを完全に開いてください。


リヤでの操作を無効にする - チャイルド・プロテクション



図20: リヤ・ドア操作を無効にする

運転席ドア、コントロール・パネルのセーフティ・ボタンを押すとリヤ・ドアのパワー・ウィンドウ・スイッチと、リヤ・センター・コンソールのコントロール・パネルの機能が無効になります。

チャイルド・プロテクションのON/OFF

- ▶  ボタンを押してください。
チャイルド・プロテクションが作動している場合、ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。

リヤ・サイド・ウィンドウのサンブラインドの使用

知識

180km/hを超える速度で走行中にリヤ・サイド・ウィンドウが開かれた場合、引き出されたロールアップ式サンブラインドが損傷する恐れがあります。

- ▶ 180km/hを超える速度で走行中にロールアップ式サンブラインドを引き出している時は、リヤ・サイド・ウィンドウを開かないでください。

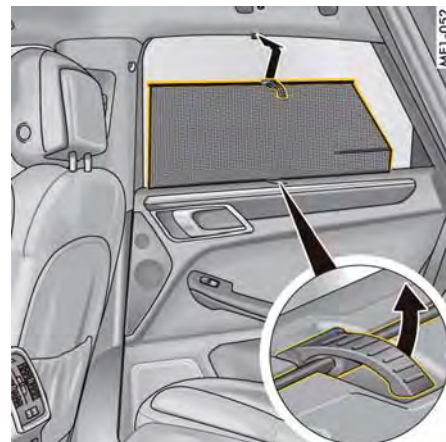


図21: ロール・アップ式サンブラインド (リヤ・サイド・ウィンドウ)

リヤ・サイド・ウィンドウのサンブラインドの引き出し

- ▶ ロールアップ式サンブラインドを引き出し、ドア・フレーム上部のブラケットに差し込んでください (図21)。

リヤ・サイド・ウィンドウのサンブラインドを下げる

- ▶ ドア・フレーム上部のブラケットからロールアップ式サンブラインドを取り外し、ドア・パネルを損傷させないようにハンドルを持ってゆっくりと下してください。

ウォッシャー液

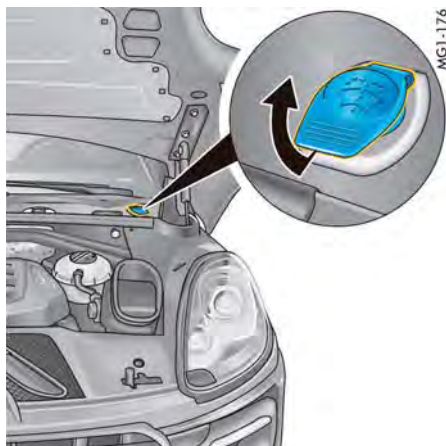


図22: フロント・ウィンドウ用ウォッシャー液タンクおよびヘッドライト・

下記の点を必ず守ってください：


- ▶ 季節に合わせて、水と適切な添加剤（ウィンドウ・クリーナー濃縮液、不凍液）を混ぜ合わせてください。正しい混合比を遵守し、使用する添加剤の容器に記載されている注意事項に従ってください。
- **夏季**：水とウィンドウ・クリーナー濃縮液を入れてください。
- **冬季**：水、不凍液、およびウィンドウ・クリーナー濃縮液を入れてください。

次の条件を満たしているウィンドウ・クリーナー濃縮液のみを使用してください：

- 濃度1:100
- 無リン
- プラスチック・ヘッドライト・レンズに適しているもの

ポルシェ社が推奨するウォッシャー液濃縮液についてはポルシェ正規販売店にご相談ください。

警告シンボルへの対応

ウォッシャー液のレベルが低下すると、マルチファンクション・ディスプレイに  シンボルが表示されます。

- ▶ 次の機会にウォッシャー液を補充してください。
- ▶ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」（98ページ）を参照してください。

ウォッシャー液の補充

知識

ヘッドライトを損傷する危険性

- ▶ ウォッシャー液を補充するときに、ヘッドライトに寄りかからないようにしてください。

1. ウォッシャー液タンクのキャップを開けてください。
2. ウォッシャー液を補充してください。ウォッシャー液タンクの容量は約4.5リットルまたはヘッドライト・ウォッシャー・システム装備車では約6リットルです。
3. キャップを慎重に閉じてください。

エアバッグ・システム

適切なシート位置の選択

▲ 危険

不適切なシート位置または適切に収納していない荷物

すべての乗員がシートベルトを着用し、正しいシート位置を維持している場合のみ、エアバッグ・システムは保護効果を発揮することができます。荷物は必ず安全に収納してください。

- ▶ 常にシートベルトを着用してください。
- ▶ 運転席と助手席の間、あるいは乗員とエアバッグが膨らむ空間に人や動物を座らせたり、物を置いたりしないでください。
- ▶ ステアリング・ホイールは、必ずリムの外側から持つようにしてください。
- ▶ エアバッグが保護効果を発揮するには、乗員との間に一定の空間が必要です。エアバッグに必要以上に近づきすぎない位置に、シート位置を調節してください。また、サイド・エアバッグ装備車では、ドア（エアバッグの拡張エリア）にもたれかからないでください。
- ▶ ドアの小物入れから中身がはみ出ないようにしてください。
- ▶ 重い荷物をシートの上や前方に積載して輸送しないでください。
- ▶ ダッシュボードの上に物を置かないでください。
- ▶ 走行中はグローブ・ボックスを閉じてください。
- ▶ 走行中、足は常に足元の空間に置いてください。ダッシュボードやシート・クッションの上に足を乗せないでください。
- ▶ 運転者はこの章で説明している内容を、すべての乗員に理解してもらってください。

機能

エアバッグは、シートベルトと併用することで衝突時の乗員の負傷を最小限に抑えるよう設計されています。

正面または側面から衝撃を受けた場合、エアバッグが作動し、運転者や乗員が受ける衝撃を吸収しつつ、頭部、骨盤、上半身を守ります。**フロント・エアバッグ**は、運転席側はステアリング・ホイール中央のパッド内警告、助手席はダッシュボードの中に取り付けられています。フロント・シートの**サイド・エアバッグ**はバックレストの側面に取り付けられています。リヤ・シートの**サイド・エアバッグ**（車両装備による）はホイール・ハウジング・トリム・パネルに取り付けられています。ヘッド**エアバッグ**はサイド・ルーフ・フレームに取り付けられています。それぞれのエアバッグは、衝突の角度および衝撃の大きさに応じて作動します。

▲ 危険

エアバッグ・システムに変更を加えたことが原因の不具合

変更を加えたエアバッグ・システムは保護機能が機能しません。エアバッグが不意に作動したり、全く機能しなかったりする危険があります。エアバッグが不用意に作動した場合、重傷を負う恐れがあります。

- ▶ エアバッグ・システムの配線や構成部品を改造しないでください。
- ▶ エアバッグの配線の近くには、アクセサリ類の配線を取り付けしないでください。
- ▶ ステアリング・ホイール、助手席エアバッグ付近、サイド・エアバッグ付近、ヘッド・エアバッグ付近にアクセサリを取り付けたり、ステッカーなどを貼り付けたりしないでください。
- ▶ シートに保護カバーを装着しないでください。
- ▶ エアバッグ構成部品を取り外さないでください。

▲ 危険

作動済みエアバッグ・システムの交換

エアバッグ・システムは1回のみ作動するように設計されています。

- ▶ 作動したエアバッグは直ちにポルシェ正規販売店で交換してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ

か

さ

た

な

は

ま


や

ら

わ

A-Z

故障を検出しています

エアバッグ・システムが故障した場合、タコメーターの赤い **エアバッグ警告灯**  によって表示されます。

- ▶ 次の場合は、必ずボルシェ正規販売店にご相談ください。
 - イグニッションをONにしたときに警告灯が点灯しない
または
 - イグニッションをONにしたときに警告灯が消灯しない
または
 - 走行中に警告灯が点灯する

ボルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

助手席エアバッグをOFFにする



図23: 助手席エアバッグ オフ/オン インジケータ

⚠ 危険

助手席エアバッグをOFFにする

チャイルド・シートを取り外した後も、助手席エアバッグをOFFにしたままにしておくと、事故の際にエアバッグが作動しません。

- ▶ チャイルド・シートを助手席に取り付けている場合のみ、助手席エアバッグをオフにしてください。
- ▶ チャイルド・シートを取り外した後は、必ず助手席エアバッグを再びONにしてください。

⚠ 危険

助手席エアバッグの故障と作動不良

助手席エアバッグをオフにして、イグニッションをオンにしたときに **助手席エアバッグ オフ/オン** 警告灯が点灯しなかった場合は、システムに不具合が発生している可能性があります。

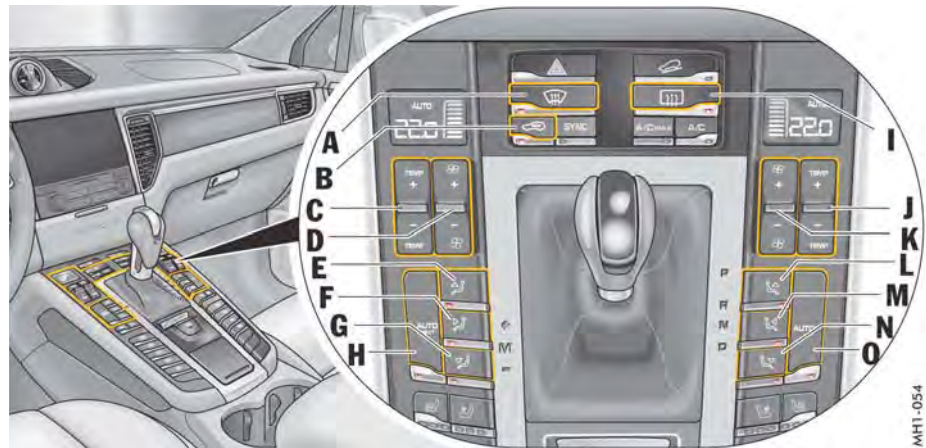
- ▶ 助手席にチャイルド・シートを取り付けないでください。
- ▶ ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

▶ 「助手席エアバッグのオン/オフ - 助手席エアバッグ オフ警告灯」(183ページ)を参照してください。

エアコン (2ゾーンおよび3ゾーン・エアコン)

概要 - フロント・コントロール・パネル

この概要説明は後述の「エアコン (2ゾーン/3ゾーン・エアコン)」章の詳細な説明 に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。



MHT-054

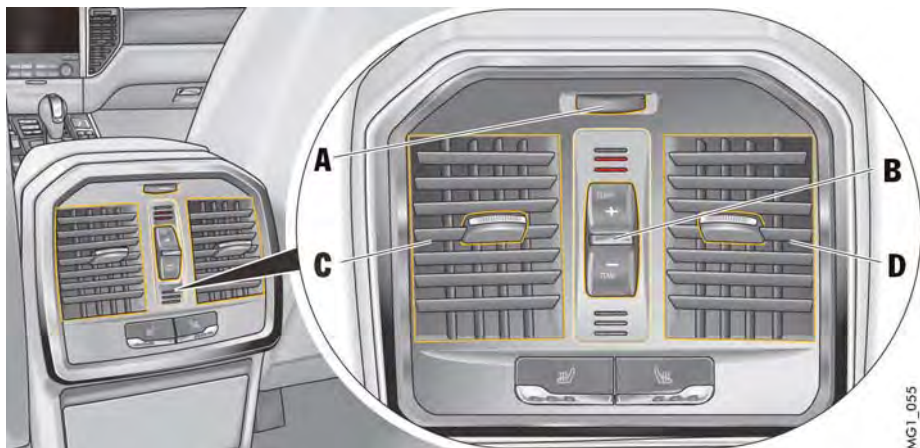
運転者が何をしたいか？	その操作方法は？	ページ
オート・エアコンを使用する	左側のボタン H または右側のボタン O を押してください。	60
温度の設定	車内左側：ボタン C を上（温度を上げる）または下（温度を下げる）に押してください。 車内右側：ボタン J を上（温度を上げる）または下（温度を下げる）に押してください。	60
送風量を手動で設定する	車内左側：ボタン D を上（風量を多くする）または下（風量を少なくする）に押してください。 車内右側：ボタン K を上（風量を多くする）または下（風量を少なくする）に押してください。	60
送風口を手動で切り替える	フロント・ウィンドウへの送風：ボタン E または L を押してください。 中央および左右のエア・ベントからの送風：ボタン F または M を押してください。 足元への送風：ボタン G またはボタン N を押してください。	61
フロント・ウィンドウ・デフロスター	ボタン A を押してください。	65
リヤ・ウィンドウ・ヒーター/ドア・ミラー・ヒーターをONにする	ボタン I を押してください。	344
手動で内気循環モードをオンにする	ボタン B を押してください。	63

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら

概要 - リヤ・コントロール・パネル (3ゾーン・エアコン)

この概要説明は後述の詳細説明「エアコン (2ゾーンおよび3ゾーン・エアコン)」に代わるものではありません。特に、安全に関する指示事項および警告の代わりになるものではありません。



WGL_055

運転者が何をしたいか？	その操作方法は？	ページ
温度の設定	ボタン B を上に (温度を上げる) または下に (温度を下げる) 押して調節してください。	61
送風量を手動で設定する	ロータリー・ノブ A を右 (風量を多くする) または左 (風量を少なくする) に回してください。	62
送風方向の設定	ルーバー C (左側) または D (右側) を希望の位置に回してください。	62

A-Z

一般的なインフォメーション

オート・モードでは、様々な環境条件（日射量、空気の状態など）に応じて室内の設定温度を維持するように、エアコン・システムが送風温度、送風量、送風口を全自動で制御します。エアコン・システムの設定を手動で変更すると、オート・モードが直ちに解除されます。ただし手動操作で変更しなかった機能については、自動制御を継続します。

2ゾーン・エアコン

また、車内を2つのゾーン **左側** **右側** に分けて、それぞれ車内温度、送風量および送風口を個別に設定できます。

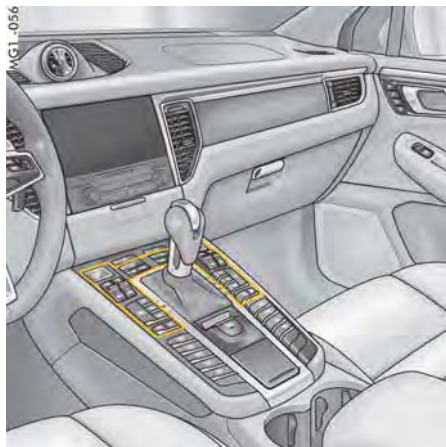


図24: エアコン、フロント・コントロール・パネル

3ゾーン・エアコン

車内を3つのゾーン **フロント左側**、**フロント右側**、**リア** エアコンゾーンに分けて、それぞれ車内温度、送風量および送風口を個別に設定できます。

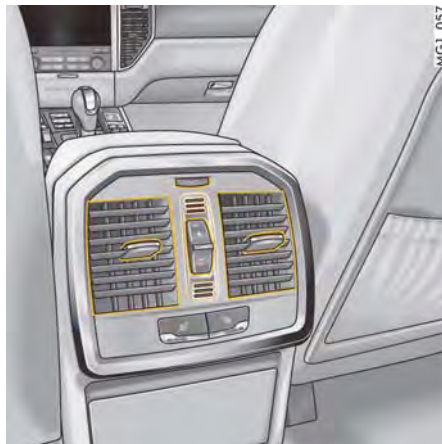


図25: リア・エアコン・コントロール・パネル

i インフォメーション

追加のエアコン設定は、マルチファンクション・ディスプレイで行うことができます：

▶ 「エアコン設定」(312ページ) を参照してください。

メモリー・パッケージ装備車では、エアコン・システムの設定がそのとき使用しているキーに保存されます。

▶ 「パーソナル設定」(226ページ) を参照してください。

センサーを覆わない



図26: エアコン用車内温度センサー

エアコン・システムの能力を維持するために、次のことを遵守してください：

▶ エアコン・システムの室内温度センサーの上にカバーを付けたり、ステッカー類を貼り付けたりしないでください。

冷房機能

冷房機能は空気を冷やしたり除湿します。

i インフォメーション

- エンジンの負荷が大きくなると冷房機能が一時的にOFFになり、エンジンの過熱を回避します。
外気温度が約3℃を下回るとコンプレッサーが自動的にオフになり、このときは手動操作でもコンプレッサーをオンにできません。
- 冷房機能は、ウィンドウを閉じた状態で最も効果的に作動します。ウィンドウを開いているときに車内に熱がこもった場合は、車内を短時間換気してください。
- このため、設定温度を一時的に希望の温度より上げ下げしても、希望する温度に到達する時間は変わりません。
- 外気温度および湿度によっては、除湿した水分により車両下部に水たまりができることがあります。これは正常な状態であり、故障ではありません。
- バッテリー電圧が極端に低い場合は、フレッシュ・エア・ブLOWERおよび冷房機能が最初に制限され、次にオフになります。

自動モードの作動

フロント・ゾーン (前席エリア) は、個別にオート・モードに切り替えることができます。

- ▶ フロント・コントロール・パネルの切り替えたいエアコン・ゾーンのボタン **AUTO** を押ししてください。
ボタンのインジケーター・ライトと、エアコン・ディスプレイの **AUTO** インジケーターが点灯します。
温度、送風量および送風口が自動的に制御されます。

i インフォメーション

必要であればオート・モードの制御を手動調節できます。手動で設定を変更すると、その機能の設定を再度変更するか、または**AUTO** ボタンを押すまで設定が維持されます。

フロントの温度の設定

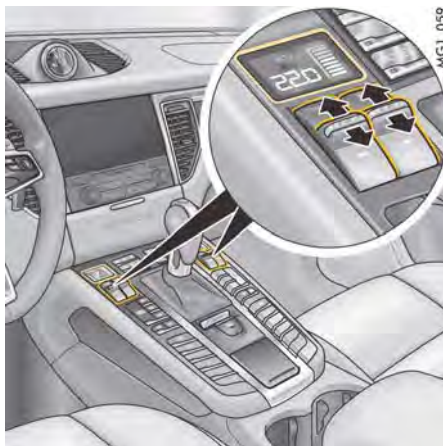


図27: フロント・エアコン・コントロール・パネルでの温度設定および送風量調節

温度は16℃~29.5℃の範囲に設定できます。
推奨: 22℃

ボタンの上部にあるエアコン・ディスプレイに設定温度が表示され **TEMP** れます。

フロントの温度を上げる/下げる

- ▶ 該当するゾーンの**TEMP**ボタンを上方向または下方向に押ししてください。

ディスプレイに **LO** または **HI** が表示された場合は、エアコンの作動は最大の冷房または暖房になっています。このときオート・モードはOFFになります。

i インフォメーション

エアコン制御がSYNCモードのとき、いずれかのゾーンで温度設定を **LO** または **HI** にすると、他のゾーンも **LO** または **HI** に設定されます。いずれかのゾーンで **AUTO** ボタンを押すと、初期設定温度(22℃)に切り替わります。

- ▶ 「運転席のエアコン設定を車内全体に適用する (SYNCモード)」(63ページ) を参照してください。

フロント送風量の設定

⌘ボタンの上部にあるエアコン・ディスプレイに設定した送風量がバーで表示されます。バーの数が多くなるほど、風量が多いことを示しています。

フロントの送風量を上げる/下げる

- ▶ ⌘ボタンを上方向または下方向に押しください。

AUTO ボタンを押すと、オート・モードに戻ります。

送風量を最小にすると、エアコン・ディスプレイに **OFF** と表示され、外気導入による送風が停止し、エアコンがオフになります。



警告

風量OFFによる視界の妨げ

送風量を **オフ** にした状態では、ウィンドウが曇りやすくなります。

- ▶ Press button ⌘ ボタンを上方向に押ししてください (送風量が増加します)。

リアの温度設定 (3ゾーン・エアコン)

複数の温度設定を選択できます。

選択した温度は、TEMPボタンの上下のインジケーター・ライトの点灯で表示されます。

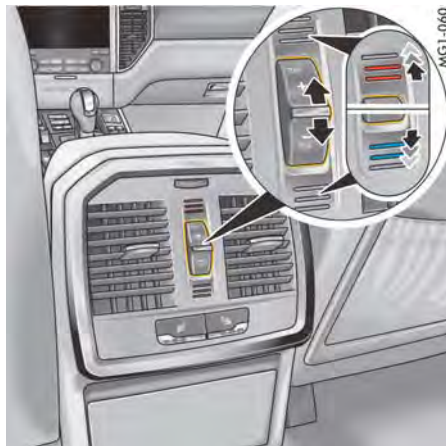


図28: 温度設定 (リア・エアコン・コントロール・パネル)

リアの温度を上げる/下げる

▶ Push the **TEMP** ボタンを上方向または下方向に押ししてください。

赤いインジケーター・ライトが暖房温度設定を3段階で表示します。

青いインジケーター・ライトが冷房温度設定を3段階で表示します。

i インフォメーション

エアコン制御がSYNCモードのとき、いずれかのゾーンで温度設定を **LO** または **HI** にすると、他のゾーンも **LO** または **HI** に設定されます。いずれかのゾーンで **AUTO** ボタンを押すと、初期設定温度(22°C)に切り替わります。

▶ 「運転席のエアコン設定を車内全体に適用する (SYNCモード)」(63ページ) を参照してください。

リア・コントロールの停止 - チャイルド・ロック (3ゾーン・エアコン)



図29: リヤ・ドア操作を無効にする

運転席ドア、コントロール・パネルのセーフティ・ボタンを押すとリア・ドアのパワー・ウィンドウ・スイッチと、リア・センター・コンソールのコントロール・パネルの機能が無効になります。

チャイルド・プロテクションのON/OFF

▶ ボタンを押してください。

ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。

リア・ゾーンの現在のエアコン設定が維持されます。

リア・エアコン・コントロール・パネルのボタンの機能が停止します。

送風口を切り替える

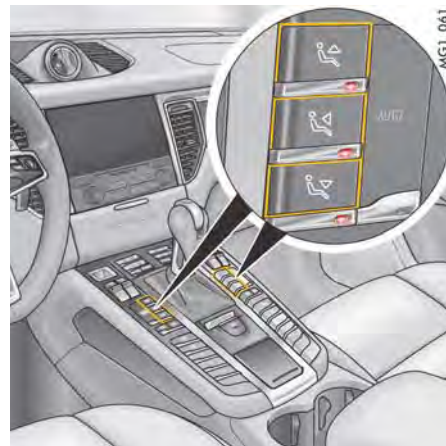


図30: 送風口切り替えボタン

送風口を手動で切り替える

✓ エア・ベントが開いている

▶ ボタンを押してください。

フロント・ウィンドウおよびサイド・ウィンドウへの送風を開始します。

▶ ボタンを押してください。

中央および左右エア・ベントからの送風を開始します。

あ
か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

- ▶ マフボタンを押してください。
足元への送風を開始します。
該当するボタンのインジケーター・ライト
が点灯します。

送風口の手動切り替えの解除

- ▶ インジケーター・ライトが点灯している(手
動で切り替えた)送風口切り替えボタンを
再度押してください。
該当するボタンのインジケーター・ライト
が消灯します。
または
AUTO ボタンを押してください。
送風量および送風口が自動的に制御されます。

風量調節

ダッシュボードとリヤ・センター・コンソール
にエア・ベントがあり、手動で開閉すること
ができます。送風方向も調節可能です。



図31: 風量調節

エア・ベントの開閉

- ▶ エア・ベントのロータリー・ノブを上方向
または下方向に回してください。

送風方向の調節

- ▶ ルーバーの角度を調節して希望の方向に風
を送ることができます。

外気導入口

外気の導入を確保するには：

- ▶ ボンネットとフロント・ウィンドウの間の
外気導入口に雪、氷、木の葉などによる詰
まりがないことを確認してください。

アッパー・ベンチレーション・パネル

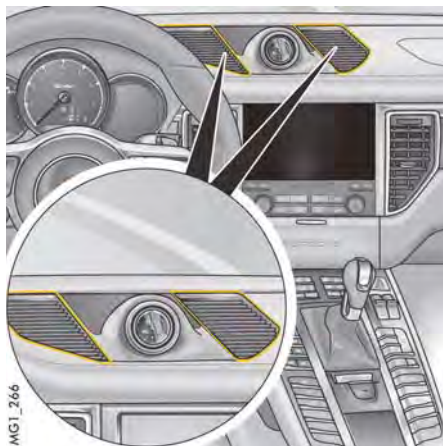


図32: アッパー・ベンチレーション・パネル

ダッシュボード上にあるベンチレーション・パ
ネルでも車内へ換気ができます。

エアコン・システムは送風量を自動的に調整し
ます。

冷房機能のオン/オフ

オート・モードでは、冷房機能が常にONにな
ります。冷房が自動調節されます。

- ▶ 「自動モードの作動」(60ページ)を参照し
てください。

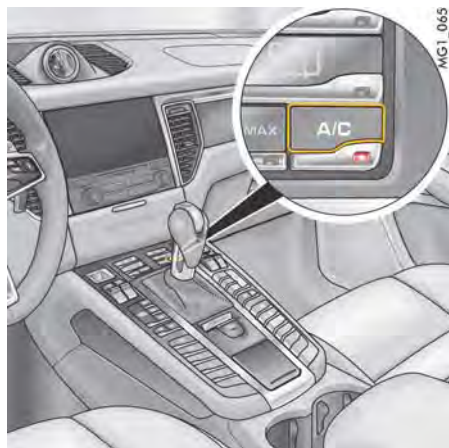


図33: 冷房機能のオン/オフ

冷房機能の作動

- ▶ **A/C** ボタンを押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが点灯し
ます。
または
- ▶ いずれかのエアコン・ゾーンの **AUTO** ボタ
ンを押してください。
冷房機能が作動します。

冷房機能の作動停止

例えば燃料を節約したいときなどには冷房機能を手動でオフにすることができます。

- ▶ **A/C** ボタンを押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが消灯します。
冷房機能が解除されます。

A/C MAXモード (最大冷房出力) のON/OFF

A/C MAXモードでは、エアコン・システムが最大出力で車内を冷房します。
このとき車内温度は自動調節されません。

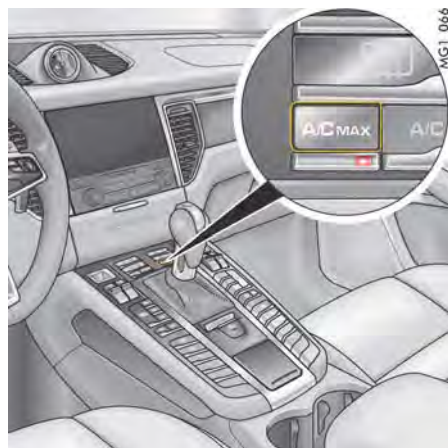


図34: A/C MAXモードをONにする

A/C MAXモードをONにする

- ▶ **A/C MAX** ボタンを押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。

A/C MAXモードをOFFにする

- ▶ **A/C MAX** ボタンを押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが消灯します。
または
- ▶ いずれかのエアコン・ゾーンの **AUTO** ボタンを押してください。

内気循環モードのON/OFF

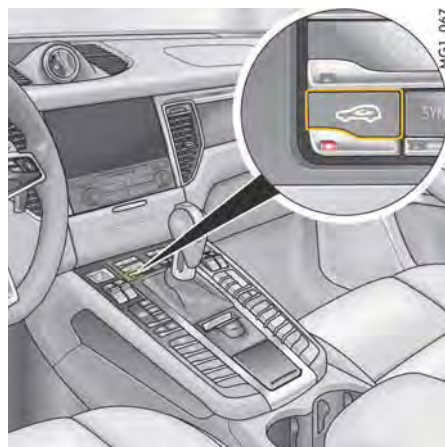


図35: 内気循環ボタン

手動で内気循環モードをオンにする




警告


手動内気循環モードでの視界の低下

手動内気循環モードを選択すると、ウィンドウが曇る恐れがあります。

- ▶ 手動内気循環モードは長時間ONにしないでください。

- ▶  ボタンを押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。

手動で内気循環モードをOFFにする

- ▶  ボタンを押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが消灯します。
または
- ▶ **スイッチAUTO** を押してください。

i インフォメーション

手動または自動で冷房機能をオフにすると、約3分後に内気循環モードが停止します。

自動内気循環モードの設定

自動内気循環モードでは、空気の状態に応じて自動的に外気導入と内気循環を切り替えます。外気温度が約5℃を下回ると、ウィンドウの曇りを防止するため、内気循環モードが自動的にOFFになります。

自動内気循環モードの設定に関するインフォメーション:

- ▶ 「エアコン設定」(312ページ) を参照してください。

i インフォメーション

通常は自動内気循環モード (初期設定) にしておくことを推奨いたします。

運転席のエアコン設定を車内全体に適用する (SYNCモード)

SYNCモードでは、運転席のエアコン設定が車内全体に適用されます。

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z




SYNCモードを

- ▶ **SYNC**ボタンを押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。
ディスプレイに表示される助手席のエアコン設定が、運転席の設定と同じになります。

SYNCモードをOFFにする

- ▶ **SYNC**ボタンを押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが消灯します。
または
- ▶ 他のエアコン・ゾーンの一つ設定を変更します。

SYNCモード作動時のリヤ・ゾーンのエア配分 (3ゾーン・エアコン)

フロント・コントロール・パネルの  ボタンまたは  ボタンを押すと、リヤ・センター・コンソールのエア・ベントから送風します。
フロント・コントロール・パネルの  ボタンを押すと、リヤ・ゾーンの足元に送風します。

1名乗車時に推奨するエアコン設定

- ▶ SYNC (同期) モードをONにすると、車内が最も快適な状態に維持されます。

3ゾーン・エアコン

リヤ・エアコン・ゾーンへの送風量を少なくしても、フロント・ゾーンの快適性は向上しません。
送風量の調節に関するインフォメーション：
▶ 「エア・ベントの開閉」(62ページ) を参照してください。

RESTモード - エンジン余熱を利用

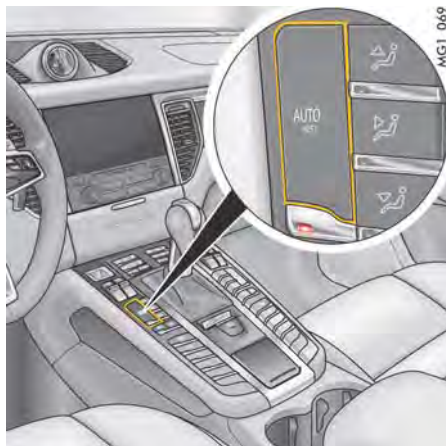



図36: RESTモードのオン/オフ


エンジンの余熱を利用して暖房する

イグニッションをOFFにしてから最大20分間は、エンジンの余熱を利用したヒーターで車内を暖めることができます。

✓ イグニッションがONのとき

- ▶ フロント・コントロール・パネルの  ボタンを押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。
RESTモードではエアコン・システムの設定を変更できません。

RESTモードを停止する

- ▶ フロント・コントロール・パネルの  ボタンを押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが消灯します。
または
イグニッションをONにしてください。
ボタンのインジケーター・ライトがそれまでの設定を表示します。

i インフォメーション

バッテリー電圧が低いときは、最初にRESTモードの作動が制限され、その後自動的にオフになります。

風量調節

オート・モードでは3段階で送風の強さを調節できます。
送風の強さ調節に関するインフォメーション：
▶ 「エアコン設定」(312ページ) を参照してください。

グローブ・ボックスの冷却 (3ゾーン・エアコン)



図37: グローブ・ボックスの冷却

グローブ・ボックスには冷気を直接送り込むためのエア・ベントがあります。このエア・ベントは手動で開閉できます。

i インフォメーション

グローブ・ボックスに送り込まれた冷気は、グローブ・ボックス・リッドのすき間から車内に流れ出します。


- ▶ 外気温度が低いときは、車内が出来るだけ暖房できるように、グローブ・ボックスのエア・ベントを閉じてください。

フロント・ウィンドウ・デフロスター




図38: フロント・ウィンドウ・デフロスター・ボタン

デフロスター・モードの作動

- ▶  ボタンを押してください。ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。フロント・ウィンドウおよびサイド・ウィンドウへの送風を開始します。フロント・ウィンドウの曇りや氷結を素早く取り除きます。

デフロスター・モードの作動停止

- ▶  ボタンを押してください。ボタンのインジケーター・ライトが消灯します。または
いずれかのエアコン・ゾーンの AUTO ボタンを押してください。

i インフォメーション

3ゾーン・エアコン：デフロスター・モードではリヤへのエアの供給が自動的にOFFになり、曇りを取り除く効果を最大にします。

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

エア・サスペンションおよびレベル・コントロール付きボルシエ・アクティブ・サスペンション・マネージメント(PASM)

エア・サスペンションおよびレベル・コントロール付きPASMはアクティブ・ショック・アブゾーバー調整および車高バランス・システムです。アジャスタブル・ダンパー・システムは、走行状態や条件に応じて各タイヤの適切なダンパー・レベルを選択します。レベル・コントロール・システムは自動的に負荷変化のバランスを取り、一定の車高を維持します。走行安全性、俊敏性、および快適性が最適化されます。ボタンの操作で、3種類のシャーン設定を選択できます：

- コンフォート
- スポーツ
- スポーツ・プラス

コンフォート・モードでは快適な乗り心地のシャーン設定になります。

「スポーツ」シャーン設定ではスポーティーなショック・アブゾーバー設定になります。

「スポーツ・プラス」モードでは、サーキットでの走行などに特化したよりスポーティーなショック・アブゾーバー設定になります。ロー・レベルに切り替えると、車両がノーマル・レベルより約10mm低く設定されます。

走行状況に合わせて、マニュアル・モードに加えて、PASMもショック・アブゾーバーを調整し、スポーティーまたは快適な走行を可能にします。

i インフォメーション

- 重い荷物を積んでいても、車高は自動的に一定の高さに調整されます。各レベルはエンジン作動中にのみ設定することができます。
- レベルを何度も切り替えると、コンプレッサーがオーバーヒートすることがあります。この場合、コンプレッサーが冷えるまで数分間待ってから、レベリング・システムを再度正常に機能させてください。コンプレッサーが冷えると、システムは選択したレベルに自動的に調整されます。

i インフォメーション

エア・サスペンション装備車を数週間停止したまま放置すると、車高が下がることがあります。エンジンが始動すると、自動的に適切な車高に再調整されます。これには、作動状態に応じて、数分かかる場合があります。車高を調整する間、地面からのクリアランスは小さくなります。

PASMモードをONにする

▷ 「PASMモードの選択」(271ページ)を参照してください。

i インフォメーション

ドアまたはリヤ・リッドが開いているか、またはエンジンがOFFの場合、モードの変更はできません。

停車中は車体の負荷のバランスを取るため、車高が自動的に調整されます。

ノーマル・レベルの使用

ノーマル・レベルの地上高は約190mmです。

オフロード・レベルの使用

オフロード・モードでの車高は、オフロード、野原、林道などの走行に適しています。車高はノーマル・レベルから約40mm高くなります。

オフロード・レベルのON/OFF切り替え

オフロード・レベルは車速約90km/h以下で走行している場合にマニュアルでのみ設定できます。

オフロード・モードを作動させると、車高が自動的にオフロード・レベルまで上昇します。

▷ 「オフロード・モード」(77ページ)を参照してください。

i インフォメーション

- オフロード・モードがONの状態では車速が約120km/hを超えると、車高は自動的にノーマル・レベルまで下がります。車速が約40km/hを下回ると、車高は自動的に再びオフロード・レベルまで上昇します。
- オフロード・モードを解除した場合、車速が約15km/hを超えると、車高はノーマル・レベルまで下がります。
- リフレクターの位置が法定取り付け高さを超えてしまうため、オフロード・モードは一般道では使用しないでください。

ロー・レベルの使用

ロー・レベルはすべての速度域でマニュアルで設定することができます。

車高がノーマル・レベルから約10mm低くなります。

ロー・レベルのON/OFF



図39: ロー・レベル・ボタン

✓ イグニッションをONにし、エンジンを作動させます。

▶ ボタンを押してください。

ロー・レベルを選択すると、ボタンのインジケータ・ライトが点灯します。マルチファンクション・ディスプレイにメッセージが表示されます。

i インフォメーション

- イグニッションをOFFにすると、そのとき選択しているレベルがメモリーに保存されます。「スポーツ・プラス」モードが作動している状態で、ロー・レベルが選択されている場合、イグニッションをOFFにしたときに車高レベルがメモリーに保存されません。
- 「スポーツ・プラス」モードでは車高が自動的にロー・レベルに切り替わります。
- ドアが開いていると、車高レベルは変更されません。ドアを閉じると、直ちに選択した車高レベルが設定されます。

レベル・コントロールのON/OFF



警告

タイヤ交換時のレベルリング・システムの作動

ジャッキから車両が滑り落ちる恐れがあります。身体の一部が挟まれたり、ケガをする恐れがあります。

リフトおよびジャッキで車両をリフト・アップする前に：

- ▶ 車高をノーマル・レベルにマニュアル設定します。
- ▶ レベル・コントロールをOFFにします。

レベル・コントロールをOFFにする

✓ 停車しているとき

1. イグニッションをONにしてください。
2. ボタンを約10秒間押し続けてください。マルチファンクション・ディスプレイにメッセージが表示されます。これで車両をジャッキ・アップできます。

レベル・コントロールをONにする

✓ 停車しているとき

1. イグニッションをONにしてください。
2. ボタンを約10秒間押し続けてください。マルチファンクション・ディスプレイにメッセージが表示されます。

i インフォメーション

車速が約7km/hを超えると、レベル・コントロール・システムは自動的にONになります。

警告シンボルへの対応

PASMの故障がマルチファンクション・ディスプレイに表示されます。

- ▶ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」(98ページ)を参照してください。

ローディング・レベルの使用

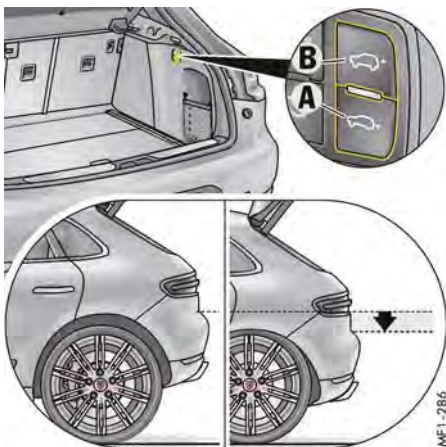


図40: ローディング・レベル

ラゲッジ・コンパートメントへの荷物の積載を容易にするため、車両後部をノーマル・レベルより約40mm下げることができます。

車両後部を下げるには、ラゲッジ・コンパートメント右側トリム・パネルのボタンAおよびBを使用してください。

知識

シャーン部品、アッセンブリーおよび車両下周りを損傷する恐れがあります。

車両をローディング・レベルにしたまま、縁石などから発進すると、地上高が不十分のため車両の下周りが地面に接触することがあります。

▶ 発進前に必ず車両後部をノーマル・レベルに調整してください。

車両後部を下げる

- ✓ すべてのドアが閉じている
- ✓ リヤ・リッドが開いている
- ▶ ボタンAを押し続けてください。ボタンAおよびBの間にあるインジケータ・ライトが点灯します。車両後部がローディング・レベルまで下がります。

車両後部を上げる

- ✓ すべてのドアが閉じている
- ✓ リヤ・リッドが開いている
- ▶ ボタンBを押し続けてください。ボタンAおよびBの間にあるインジケータ・ライトが点灯します。車両後部が初期レベルに切り替わるとインジケータ・ライトは消灯します。

i インフォメーション



- 重い荷物を積んでいても、車高は自動的に一定の高さに調整されます。
- ローディング・レベル機能が作動しているときは、その他のレベル・コントロールの調整はできません。
- ボタンAおよびBの間にあるインジケータ・ライトが点滅し続ける場合、(例えばドアが開いているなど) 車両後部を下げることはできません。

エンジン・オイル

エンジン・オイル・レベルの点検

オイル・レベルは定期的に点検してください（車両に燃料を補給するときなど）。

オイル・レベル警告への対応

オイル・レベルが低過ぎる場合、マルチファンクション・ディスプレイに  または  シンボルが警告メッセージとともに表示されますので、直ちにエンジンにオイルを補充して下さい。

▶ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」（98ページ）を参照してください。

マルチファンクション・ディスプレイのエンジン・オイル・レベルを確認してください。

知識

エンジンを損傷する恐れがあります。

オイル・レベルが下限マークを下回っている場合、エンジン・オイルが不足しており、適切な潤滑ができません。

- ▶ オイル・レベルを定期的に点検してください。
- ▶ オイル・レベルが下限マークを下回らないように注意してください。

▶ 「エンジン・オイル・レベルのチェックと表示」（299ページ）を参照してください。

エンジン・オイルの選択と補充

▲ 警告

エンジン・コンパートメント・ブロワーおよびエンジン付近の他の可動部品

エンジン・ルームで作業を行うときは、手、指、衣服の一部、ネックレス、長い髪などがエンジン・ルーム・ブロワやドライブ・ベルトなどの可動部品に絡まる恐れがあります。エンジン・コンパートメント・ブロワはエンジン・カバーに取り付けられています。エンジンを停止してから約30分間はエンジン・ルーム内の温度が監視されます。この間は、温度に応じてエンジン・ルーム・ブロワが作動し続けたり、作動し始めたりすることがあります。

- ▶ この付近で作業する場合は、エンジンをOFFにして身体の一部、衣服の一部、または装飾類がラジエーター・ファン、エンジン・コンパートメント・ブロワー、ドライブ・ベルト、またはその他の可動部品に引き込まれないよう十分に注意してください。

▲ 警告

エンジン・オイルの発火

エンジン・オイルが過熱したエンジン部品に触れると発火する恐れがあります。エンジン・オイルの残りが付着したまま換気せずに廃棄または保管された布は、自然発火して火災が発生する原因となる恐れがあります。

- ▶ 飛散したエンジン・オイルを布で吸い取ってください。
- ▶ エンジン・オイルが浸み込んだ布は、廃棄するまで換気の良い場所で保管してください。
- ▶ エンジン・オイルを補充する前にエンジンを冷ましてください。

▲ 警告

高温のエンジン部品

エンジン稼働中はエンジン、周辺部品、およびエキゾースト・システムが高温になります。

- ▶ 加熱した車両部品、特にエンジンやエキゾースト・システムの近くでは、十分注意して作業を行ってください。
- ▶ エンジン・ルーム内の作業を行う前に、エンジンをOFFにし、十分に冷やしてください。
- ▶ エンジン・コンパートメント内で作業するときは十分注意してください。
- ▶ エンジン・オイルの補充はエンジンを停止し、イグニッションをOFFにしてから行ってください。

知識

エンジン・オイルの過不足はエンジンに損傷を与えます。エンジン・オイルが多すぎると青煙の原因になり、長期的には触媒コンバーターに損傷を与えます。

- ▶ オイル・レベルが下限マークを下回らないように注意してください。
- ▶ 最大量の表示を超えないようにエンジン・オイルを補充してください。補充しすぎた場合、次の機会にオイル量を適正に戻してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

下記の点を必ず守ってください：

- ポルシェ社が認定したエンジン・オイルのみを使用してください。定期点検時期（サービス・インターバル）を遵守してください。
- エンジンに適合するオイルであれば、互いに混ぜ合わせるができます。
- オイル添加剤を混ぜないでください。

エンジン・オイルの選択

Porsche recommends **Mobil 1**

車両	認証オイル	SAE粘度等級
Macan Turbo, Macan GTS, Macan S	Porsche A40	SAE 0W-40 ¹⁾ SAE 5W-40 ²⁾ SAE 5W-50 ²⁾
Macan	Porsche C30 またはVW 504 00	SAE 0W-30 ¹⁾ SAE 5W-30 ¹⁾
Macan S ディーゼル*	Porsche C30 またはVW 507 00	SAE 0W-30 ¹⁾ SAE 5W-30 ¹⁾

1) すべての温度範囲に適用

2) -25°Cを超える温度範囲に適用

i インフォメーション

一般に、メーカーが認定するエンジン・オイルの仕様や規格は、オイル缶に記載されているかまたは販売店に表示されています。認定品かどうかを確認するには：ポルシェ正規販売店にご相談ください。

エンジン・オイルの補充

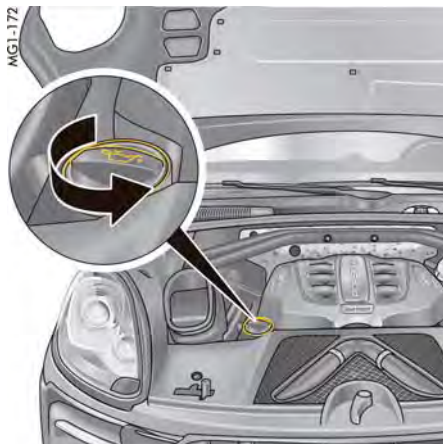


図41: Macan Turbo, Macan GTS, Macan Sのエンジン・オイル給油口

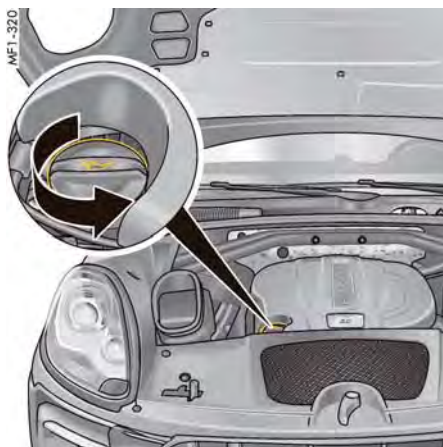


図42: Macanのエンジン・オイル給油口



図43: Macan S Dieselのオイル給油口

1. マルチファンクション・ディスプレイのエンジン・オイル・レベルを確認してください。
▷ 「エンジン・オイル・レベルのチェックと表示」(299ページ)を参照してください。
2. オイル・フィルター・キャップを緩めて取り外してください。
3. マルチファンクション・ディスプレイに表示されている量のエンジン・オイルを補充してください。
表示された補充量以上のエンジン・オイルを補充しないでください。
▷ 「エンジン・オイル・レベルのチェックと表示」(299ページ)を参照してください。
4. オイル・フィルター・キャップを慎重に取り付けてください。

* 日本仕様に設定はありません。

エンジンの始動および停止

イグニッション・ロック

キーは、ステアリング・コラム左側のイグニッション・ロックに差し込んでください。

ポルシェ・エントリー&ドライブ装備車では、キーは携行するだけでイグニッション・ロックに差し込む必要がありません。キーはイグニッション・ロック内のコントロール・ユニットに変更されました。このコントロール・ユニットは、けん引のときを除いて常時イグニッション・ロックに差し込んでおいてください。



図44: イグニッション・ロックへのキーの差し込み

i インフォメーション

キーを差し込んだまま放置するとバッテリーが消耗します。

バッテリー上がりの場合には、キー抜き取りの緊急操作を行った場合のみイグニッション・ロックからキーを抜き取ることができます：

▶ 「キー/コントロール・ユニットの緊急ロック解除」(86ページ)を参照してください。

イグニッション・ロックには3つのスイッチ位置があります。



図45: イグニッション・ロックの位置

- 0 初期位置
- 1 イグニッションON
- 2 エンジン始動

0-イグニッションOFF (初期位置)

イグニッション・ロックが位置0のときは、エンジンとイグニッションはOFFになっています。キーはこの位置で抜き取ることができます。

1-イグニッションON

すべての電装品が作動可能になります。インストルメント・パネルの警告灯が点灯し、ライトの作動を点検します。

i インフォメーション

イグニッションをONにしてから10分以上電装品をONにしなかった場合、再度イグニッションを必要があります。

まず、キーをロック位置0 (ニュートラル位置)に回してください。

イグニッションを、またはエンジンを始動すると、キーが抜き取れなくなります。

2-エンジン始動

エンジンが始動すると、キーがロック位置2から1に自動的に戻ります。

ステアリング・ホイールのロック/ロック解除

ポルシェ・エントリー&ドライブ非装備車

キーをイグニッション・ロックから抜き取ると、ステアリング・ホイールが自動的にロックされます。キーをイグニッション・ロックに差し込むと、ステアリング・ホイールが自動的にロック解除されます。

ポルシェ・エントリー&ドライブ装備車

イグニッションをOFFにして運転席ドアを開いた場合、または車両をロックした場合は、ステアリング・ホイールが自動的にロックされます。

警報システムをキーで無効にした場合、ポルシェ・エントリー&ドライブで運転席ドアを開いた場合、またはイグニッションをONにした場合は、ステアリング・ホイールが自動的にロック解除されます。

エンジンの始動

1. フット・ブレーキを踏んでください。
 2. PDK セレクター・レバーをPまたはN位置にしてください。
 3. アクセル・ペダルは踏まないでください。エンジン・コントロール・ユニットが、エンジン始動に適切な燃料補正を行います。
 4. キーまたはコントロール・ユニット（ポルシェ・エントリー&ドライブ装備車）をロック位置2に回してください。エンジン・スターターを約10秒以上連続して作動させないでください。
- ロック位置 2（エンジン始動）にすると、直ちにエンジン始動制御が実行され、エンジンが自動的に始動します。
- ▶ エンジンが始動しない場合は、10秒程度間をおいてから再度始動させてください。再始動する場合は、はじめにキーをロック位置 0（初期位置）に戻してください。停車した状態での暖機運転は行わず、直ちに発進してください。ただしエンジンが通常の作動温度になるまでは、スロットル操作を控えめにし、エンジン回転数を上げすぎないように注意して運転してください。

i インフォメーション


Macan Sディーゼル*：ディーゼル・エンジン車*の始動時（イグニッション・ロック位置 2）、の外気温やエンジン温度に応じて、グロー・プラグ予熱フェーズ中にマルチファンクション・ディスプレイにエンジンが始動していることを知らせるメッセージが表示されます。エンジンが始動すると、メッセージは消えます。*

- ▶ エンジン・スターターを約10秒以上連続して作動させないでください。

Macan Sディーゼル*：ガス欠後の始動

燃料タンクが完全に空になるまで走行し、その後ディーゼル燃料を給油した場合、燃料システムのエア抜きが行われるため、エンジンの始動に時間がかかる場合があります。

Macan Sディーゼル*：ディーゼル予熱インジケーター・ライト

イグニッション・スイッチをONにしたときにインジケーター・ライト  が点灯する場合は、グロー・プラグが予熱中であることを示しています。インジケーター・ライトが消灯したら、すぐにエンジンを始動してください。エンジンがすでに通常の作動温度にある場合、インジケーター・ライトはライト点検用に短い時間のみ点灯します。エンジンはすぐに始動することができます。

エンジンの停止



警告

車両が不意に動き出す恐れがあります

車両を正しく駐車しなかった場合、不意に動き出し人や物に損傷を与える危険があります。

- ▶ 車両から離れるときは、必ずエレクトリック・パーキング・ブレーキを作動させ、セレクター・レバーをPの位置にしてください。



警告

パワー・ステアリングおよびブレーキ・ブースターの作動が停止します。

パワー・ステアリングおよびブレーキ・ブースターは、エンジンが作動しているときのみ作動します。エンジンが停止しているときは、ステアリング・ホイールやブレーキ・ペダルの操作は通常よりも強く行うことが必要になります。

- ▶ イグニッションをOFFにする前に、必ず車両を停車させてください。

1. 停車してください。
 2. キーまたはコントロール・ユニットをイグニッション・ロック位置 0に戻してください。
- ▶ 車両から離れるときは、必ずキーを抜き取り、エレクトリック・パーキング・ブレーキを作動させ、セレクター・レバーをPの位置にしてください。

オフロード走行

このセクションでは、オフロード走行で発揮される特別な性能について説明します。

この車両でオフロード走行する前に：

- ▶ このセクションを注意してお読みください。まず、適度なオフロードで練習されることをお勧めします。

警告

車両のコンポーネントには高度のストレスが発生します

オフロード走行中には、砂粒、ほこりの粒子など研磨作用のある物質がブレーキなどのコンポーネント内に入り込むことがあります。これにより、過度の摩耗または予測不能なブレーキ作動を引き起こし、事故や車両の損傷につながる可能性があります。

- ▶ 正規ポルシェ販売店で定期的な点検や保守、修理を行ってください。

知識

損傷する恐れがあります。SportDesign/パッケージ装着車は、フロント、リヤ、サイド・スカートに塗装が施されています。

- ▶ オフロード走行時にこれらの部品が損傷しないよう注意してください。
- ▶ 障害物と車両下面の間に十分な空間があることを確認してください。
- ▶ 水たまりや浅瀬の走行は避けてください。
- ▶ サイド・スカートを足かけとして使用しないでください。

オフロード走行で注意すべき点

- ▶ 車両の地上高を常に念頭においてください。
- ▶ オフロード走行を開始する前に、オフロード・モードをONにしてください。
 - ▷ 「オフロード・モード」(77ページ)を参照してください。
- ▶ 荷物をしっかり固定してください。
 - ▷ 「荷物の積載」(330ページ)を参照してください。
- ▶ 路面状況が運転席から確認しづらい場合、障害物を前もって発見できるように、一度車外に出て歩いて状況を確認した上で慎重に運転してください。
- ▶ 必ずエンジンを作動させて走行してください。パワー・ステアリングはエンジン作動時のみ使用することができます。
- ▶ ゆっくり一定の速度で運転してください。
- ▶ 常に全ホイールが接地した状態で運転してください。
- ▶ 水たまりや浅瀬を走行する場合は、水の深さ、底の状態、流速を確認してください。
- ▶ 岩、穴、丸太、わだちなどの障害物に十分注意してください。
- ▶ 走行中には、パノラマ・ルーフおよびサイド・ウィンドウを必ず閉じてください。
- ▶ 路肩に目印がある場合は、そこから外れないようにしてください。
- ▶ 自然を大切にしてください。
- ▶ 進入禁止標識には必ず従ってください。

オフロード走行用ドライブング・システムについて

オフロード走行では特別仕様の走行プログラムまたはパワー・トランスミッションおよびシャーシ・コントロール・システムが使用できます：

- オフロードPTM
- オフロードPTVプラス (車両の装備仕様による)
- オフロードPSM
- オフロードABS
- ▷ 「トランスミッションおよびシャーシ・コントロール・システム」(212ページ)を参照してください。

オフロード走行の準備

タイヤおよびリムの点検

- ▶ トレッドの深さが十分あるか、タイヤ空気圧は適正か点検してください。
- ▶ 損傷がないか点検し、トレッドに異物(石など)がある場合は取り除いてください。
- ▶ バルブ・キャップが紛失している場合は新しいものを取り付けてください。
- ▶ ホイールにへこみや損傷がある場合はオフロード走行前に交換してください。

オフロード走行後の車両点検

オフロード走行では通常のオンロード走行時より車両に大きな負担がかかります。オフロード走行後には車両点検を行うことをお勧めします。見えない損傷でも事故の危険があり、走行快適性も損なわれます。車両点検を行うことにより、損傷の拡大を防ぐことができます。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

▲ 警告

車両の損傷

車両の損傷は後に乗員や通行者に事故を引き起こす原因になる恐れがあります。

- ▶ 故障の疑いがある場合は正規ポルシェ販売店で点検してください。
- ▶ タイヤの異常（亀裂、損傷、空気圧過多、異物の挟まり）がないか確認してください。必要な場合は、タイヤを交換してください。
- ▶ 損傷がある場合は正規ポルシェ販売店でお早めに修理してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

車両を点検する際は、以下の点をご確認ください。

- ▶ オフロード・モードをOFFにしてください。
- ▶ ヘッドライトおよびテールライトを清掃し、損傷していないか点検してください。
- ▶ フロントおよびリヤのナンバー・プレートを清掃してください。
- ▶ ウォーター・ジェットでタイヤ・トレッドを洗浄して異物を取り除いてください。
- ▶ ウォーター・ジェットでホイール、ホイール・ハウジング、車両下周りを洗浄してください。
- ▶ 車両に木の葉や枝などが挟まっていないか点検してください。これらは車両火災の原因となる恐れがあります。また、フェーエル・ライン、ブレーキ・ホース、アクスル・ジョイント・ブーツ、ドライブ・シャフトなどが損傷する原因になる場合があります。
- ▶ オフロード走行後にフロア部品全体、タイヤ、ボディ、ステアリング・システム、シャーシ、エキゾースト・システムが損傷していないか、必ず点検してください。
- ▶ ぬかるんだ道、砂道、水たまりや浅瀬などを長時間走行した場合は、ブレーキ・ディスク、ホイール、ブレーキ・パッド、ホイール、アクスル・ジョイントを点検して、清掃してください。

- ▶ オフロード走行後に振動が激しくなった場合は、ホイールに異物がないか点検してください。異物があるとホイール・バランスが損なわれ、振動の原因になる恐れがあります。異物を取り除くと、振動が解消する場合があります。

上り坂でのオフロード走行

▲ 危険

急な勾配

危険な急勾配では、車両が転覆することがあります。

- ▶ 上り坂走行時には方向転換しないでください。
- ▶ 勾配がきつくと登れない場合は、必ずリバース・ギヤに入れてバックしてください。
- ▶ 土手や上れそうにない急坂路には進入しないでください。
- ▶ 車両が傾きはじめた場合、すぐに傾いた側にステアリングを切ってください。
- ▶ 上り坂走行時にニュートラル状態やギヤを入れていない状態で車両を後退させないでください。この状態でフット・ブレーキを使用するのは非常に危険です。

急勾配を上る際は、以下の点をご確認ください。

- ▶ 急坂路を上り下りする場合は、その前にオフロード・モードを作動させてください。
- ▶ 走行中はマニュアルによるギヤ・チェンジは行わないでください。また、停車もしないでください。
- ▶ エンジンを過回転させないでください。

上り坂でのトラクション増加

坂でトラクションを増加する際は、以下の点をご確認ください。

- ▶ オフロード・モードをONにしてください。
- ▶ 上り坂走行時にはアクセル・ペダルの踏み込みを加減して、ホイールが十分なトラクションを得られる（スピンしない）ようにしてください。
- ▶ 坂道で車高レベルを調整しないでください。
- ▶ エンジンを過回転させないでください。
- ▶ スピードを落として運転してください。

下り坂でのオフロード走行

▲ 危険

危険な下り勾配

危険な急勾配では、車両が転覆することがあります。

- ▶ 土手や上れそうにない急坂路には進入しないでください。
- ▶ 下り坂はフロント・ホイールを直進位置に保ち、スピードを落として走行してください。
- ▶ 車両が傾きはじめた場合、すぐに傾いた側にステアリングを切ってください。
- ▶ 下り坂をアイドル状態の下りしないでください。
- ▶ エンジン・ブレーキを使用してください。
- ▶ エンジン・ブレーキでは十分な制動効果が得られない場合は、フット・ブレーキを軽く踏んでください。
- ▶ ポルシェ・ヒル・コントロール(PHC)を作動させてください。
 - ▶ 「ポルシェ・ヒル・コントロール(PHC)」(283ページ)を参照してください。

急勾配を下る際は、以下の点をご確認ください。

- ▶ オフロード・モードをONにしてください。オフロードABSが自動的に作動します。
- ▶ 走行中はマニュアルによるギヤ・チェンジは行わないでください。また、停車もしないでください。
- ▶ 坂道で車高レベルを調整しないでください。
- ▶ 舗装されていない急坂路を下る場合は、ブレーキ操作を慎重に行い、滑らないように注意してください。

i インフォメーション

オフロードABSの特別制御メカニズムにより、フロント・ホイールが意図的に短時間ロックアップされ、ゆるんだ路面に効果的に食い込みます。ロックされたホイールはスリップし、ステアリング操作ができなくなります。

隆起部分の走行

隆起を超えて走行する際は、以下の点をご確認ください。

- ▶ 車両の地上高を常に念頭においてください。
- ▶ オフロード・モードをONにしてください。
- ▶ 隆起部分にさしかかる前にアクセル・ペダルをゆるめて、慣性運動を利用して隆起を越えてください。隆起を越える際に車両がジャンプせず、下り部分への激しい着地を防ぐことができます。
- ▶ エンジンを過回転させないでください。

水たまりや浅瀬の走行

⚠ 危険

車内への水の浸入

車内への浸水により生命の危機につながる危険な状態となることがあります。また車両の損傷にもつながります。

- ▶ 水たまりや浅瀬を走行する場合は、水の深さ、底の状態、流速を確認してください。深さが300mmを超える水たまりや浅瀬を走行しないでください。
- ▶ 運転前にドア・シルおよびラバー・シールを清掃してください。
- ▶ 深く流れの速い場所には進入しないでください。山間部の小川など、深く流れの速い場所では、意図したコースから外れてしまう場合があります。
- ▶ 波をかぶらないように適切な速度で走行してください。
- ▶ 水たまりや浅瀬を走行中は絶対にドアを開かないでください。

⚠ 警告

ブレーキ・ディスクの水膜または汚れ

濡れた路面や泥でぬかるんだ路面を走行すると、ブレーキの効きが悪くなり、ペダルを強く踏まなければならない場合があります。

- ▶ ブレーキが汚れていないか点検し、必要に応じて清掃してください。

知識

電気系統が故障する恐れがあります。

- ▶ 塩水の中を走行するのは避けてください。

水たまりや浅瀬を渡るときは以下の点に注意してください。

- ▶ 車両の地上高を常に念頭においてください。
- ▶ オフロード・モードをONにしてください。
- ▶ エアコン・コンプレッサーをOFFにしてください。
- ▶ ヘッドライトをOFFにしてください。
- ▶ エンジンを過回転させないでください。
- ▶ 走行中はマニュアルによるギヤ・チェンジは行わないでください。また、停車もしないでください。水たまりや浅瀬では、抵抗が大きく地面がぬかるんでいるため、発進が困難になる場合があります。
- ▶ 水たまりや浅瀬を渡る場合は浅い場所から歩く速度で進入してください。
- ▶ 水の状態を確認した後、最短距離で渡ってください。
- ▶ 高速で水たまりや浅瀬に進入しないでください。波をかぶりエンジンやアクセサリが損傷する恐れがあります。
- ▶ 状況の変化に対処できるよう慎重に運転してください。
- ▶ 水たまりや浅瀬はゆっくり一定の速度で走行してください。
- ▶ 水たまりや浅瀬を渡る時は方向転換しないでください。
- ▶ 渡り切れない場合はリバース・ギヤに入れ、車両をバックさせて水から出てください。

i インフォメーション

長時間水たまりや浅瀬を走行すると、オルタネーターが故障する恐れがあります。

水上走行後の車両点検

水たまりや浅瀬を走行した後は特別な点検が必要になります。

- ▶ タイヤ・トレッドから泥を落とししてください。
- ▶ 水たまりや浅瀬を走行した後はブレーキを軽くかけて、ブレーキ・パッドを乾かしてください。

障害物の乗り越え

知識

障害物を乗り越える際に運転を誤ると、アンダーボディやシャーシ損傷する恐れがあります。

- ▶ 車両の地上高を常に念頭においてください。
- ▶ 切り株や岩などの障害物を乗り越える場合は、一方のフロント・ホイールが障害物の中央を通るようにゆっくり走行してください。
- ▶ リヤ・ホイールも同様にして障害物を乗り越えてください。

障害物を超えて走行する際は、以下の点をご確認ください。

- ▶ オフロード・モードをONにしてください。
- ▶ 必要に応じて同乗者の指示を受けてください。
- ▶ エンジンを過回転させないでください。
- ▶ スピードを落として運転してください。

砂上走行

柔らかい砂道はオフロード走行の中でも特に運転しにくい路面です。運転を誤ると、すぐに立ち往生することになります。

砂上を走行する際は、以下の点をご確認ください。

- ▶ オフロード・モードをONにしてください。
- ▶ すみやかに通過し、決して途中で停車しないでください。立ち往生することになります。

- ▶ 飛砂で覆われておらず深すぎない場合、そして地上高に余裕がある場合は、わだちに沿って走行してください。
- ▶ 車両の地上高を常に念頭においてください。
- ▶ 砂道の傾斜に停車する必要がある場合は、より容易に発進できるようにできるだけ下り坂を選択してください。

柔らかい砂道の傾斜を走行する場合：

- ▶ エンジンを高回転で維持するため、必要に応じてオフロード・モードを作動させ、マニュアル・モードMを使用してください。

万一車両の動きが取れなくなった場合：

- ▶ ホイール・スピンは避けてください。木の枝やマットなどを使用して、トラクションを確保し、脱出してください。

わだちでのオフロード走行

知識

深いわだちを走行する場合は、車両の下周りを損傷する恐れがあります。

- ▶ 車両の地上高を常に念頭においてください。
- ▶ 深すぎるわだちは走行しないでください。

オフロードや砂利道の多くにはわだちができています。

- ▶ 車両の地上高を常に念頭においてください。
- ▶ オフロード・モードをONにしてください。
- ▶ 必要であれば、車両の片方が脇の草の上を通過するように走行してください。
- ▶ エンジンを過回転させないでください。
- ▶ スピードを落として運転してください。

オフロード・モード

オフロード・モードでは、パワー・トランスミッションおよびシャーシ・コントロール・システム（ABSなど）が自動的にオフロード走行用のプログラムで作動します。このことで、可能な限り高度な動的性能と最高の安全が確保されます。

PASM（ボルシェ・アクティブ・サスペンション・マネージメント）は自動的にスポーツプラス・モードに切り替わります。

エア・サスペンションも車高がノーマル・レベルより40mm上昇します。

▶ 「オフロード・レベルの使用」（66ページ）を参照してください。

以下の状況ではオフロード・モードを使用してください：

- スノー・チェーンを装着して走行するとき
- 深雪やぬかるみを走行するとき
- 滑りやすい下り坂でブレーキをかけながら走行するとき
- ホイール荷重が減少するような凹凸路を走行するとき
- 雪や砂などでスタックした車両を脱出させるとき

警告シンボルへの対応

ギヤシフト・システムに故障がある場合、インストルメント・パネルに警告メッセージが表示されます。

▶ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」（98ページ）を参照してください。

オフロード・モードのON/OFF

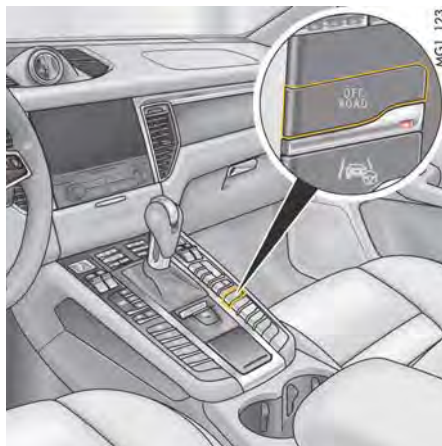


図46: オフロード・ボタン

オフロード・モードをONにする

- ✓ 車両が約90km/h以下の速度で走行している
- ▶ **OFF ROAD** ボタンを押してください。ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。選択した走行プログラムがマルチファンクション・ディスプレイにも数秒間表示されます。

オフロード・モードをOFFにする

- ▶ **OFF ROAD** ボタンを再度押してください。ボタンのインジケーター・ライトが消灯します。

i インフォメーション

走行条件が変化しても（車両が舗装路を走行する場合など）、選択したオフロード・モードは作動し続けます。トランスミッションおよびシャーシ・コントロール・システムは変化した走行条件に合わせて最適化されます。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

オート・スタート/ストップ機能

例えば信号待ちや渋滞などで停車した場合、エンジンを自動で停止するためのすべての条件が満たされると、オート・スタート/ストップ機能が作動してエンジンが自動停止します。車両が徐行中に停止した場合も、エンジンが自動的に停止することがあります。これにより燃料の消費を節約します。

エンジンが自動停止した後もイグニッションがONの状態が維持され、すべての安全機能が作動可能な状態になっています。

エンジンを自動停止するための条件

- ✓ オート・スタート/ストップ機能がONになっている
- ✓ ボンネットが閉じている
- ✓ ブレーキ・ペダルが踏み込まれている (Macan*およびMacan Sディーゼル*に適用：運転席シート・ベルトを着用しており、運転席ドアが閉じられている)
- ✓ セレクター・レバーが **D**、**N** または **P** の位置にあるか、ないしは **1速** または **2速** ギヤを手動で選択している
- ✓ エンジン、トランスミッション、エアコンが作動温度に達している
- ✓ 前回エンジンが自動停止してから、車両が徐行運転した

エンジンの停止/始動

エンジンの停止

1. ブレーキ・ペダルを踏んで停車してください。
2. ブレーキ・ペダルを踏み続けてください。
または
停車中にPDKセレクター・レバーを **P** の位置にしてください。

i インフォメーション

停車中にブレーキ・ペダルを素早くいっぱいまで踏み込むと、HOLD機能が作動します。この機能は、ブレーキ・ペダルを踏まなくても車両を停止した状態に維持します。

- ▷ 「HOLD機能：発進アシスタント、停止制御」(368ページ)を参照してください。

エンジンはアクセル・ペダルを踏む、またはエンジンを始動する必要が生じたときに自動的に始動します。

i インフォメーション

アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)がONの場合、前走車が停車すると車両は走行を停止し、エンジンが自動的に停止します。車両はHOLD機能によって停止状態に維持されます。

エンジン始動

- ✓ PDKセレクター・レバーが**P**、**D**または**N**の位置にある、あるいは**1速**または**2速**ギヤを手動で選択している
 - ▷ ブレーキ・ペダルを放してください (セレクター・レバーが**P**の位置にない)。
または
アクセル・ペダルを踏み込んでください。
または
ステアリング・ホイールを動かしてください。
または
PDKセレクター・レバーを **R** の位置にしてください。
- エンジンが始動した後は通常の運転操作で発進できます。

i インフォメーション

坂道などで車両が動き始めたときや、エアコンで乗員の快適性を確保するためなど、特定の条件でエンジンが自動的に始動します。

i インフォメーション

アダプティブ・クルーズ・コントロール (ACC) の作動中は、前走車が発進するとエンジンが自動的に始動します。

降車後の作動 (セレクター・レバーがPの位置にあるとき)

エンジンが自動的に停止した後、PDKセレクター・レバーが **P** の位置で降車した場合 (運転席ドアを開き、ブレーキ・ペダルを放した状態、またMacanおよびMacan Sディーゼルでも：ガレージ・ドアを開けるなどの理由で、シートベルトを外し、または運転席ドアを開けた場合) エンジンは自動的に**始動しません**。

ドライバーが30秒以内に車両に戻り、運転席ドアを閉じてブレーキを踏むと、オート・スタート/ストップ機能が再開します。MacanおよびMacan Sディーゼル*では、シートベルトの着用も作動条件です。

上記の条件が満たされなかった場合、エンジンは**手動操作**で始動する必要があります。エンジンを手動で始動する必要があることを示すメッセージが、マルチファンクション・ディスプレイに表示されます。

- ▷ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」(98ページ)を参照してください。

i インフォメーション

MacanおよびMacan Sディーゼル*では、降車するために運転席ドアを開いた、またはシートベルトを外した場合、エンジンは自動的に始動しません

エンジンを手動で始動する必要があることを知らせるメッセージがマルチファンクション・ディスプレイに表示されます。

▶ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」(98ページ)を参照してください。

降車後の作動（セレクター・レバーが、DまたはNの位置にあるとき）

エンジンが自動停止した後、PDKセレクター・レバーがD、MまたはNに入れてある状態で降車しようとした場合（運転席ドアが開かれ、ブレーキが解除されている場合）、エンジンが自動的に始動し、オート・スタート/ストップ機能がオンであることを運転者に知らせます（MacanおよびMacan Sディーゼル*には適用されません）。

セレクター・レバーがDまたはMの位置にある場合、エレクトリック・パーキング・ブレーキも作動します。

(P)ボタンのインジケーター・ライトおよびブレーキ警告灯(ⓘ)が点灯します。

▶ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」(98ページ)を参照してください。

オート・スタート/ストップ機能の例外

例えば次のような状況では、オート・スタート/ストップ機能は使用できません：

- 「スポーツ」/「スポーツ・プラス」モードが作動しているとき
- PSMがOFFのとき、またはPSMスポーツ・モードのとき
- クリーピング時

* 日本仕様に設定はありません。

- エアオンが「MAXモード（最大冷却出力）」で作動中の時
 - 「フロント・デフロスター」が作動しているとき
 - 標高が高いとき
 - 車高を調整しているとき
 - オフロード・モードがONのとき
 - 連結されたトレーラー車両が検出されたとき（バイク・ラック・コネクターまたはトレーラー・コネクターが接続されている状態）
- 他社製のトレーラー・ヒッチを車両に連結している場合はオート・スタート/ストップ機能を手動で停止してください。

例えば次のような状況では、オート・スタート/ストップ機能は一時的に制限されます：

- エアコンや車内ヒーターを高い設定で作動させているとき
- バッテリー電圧が低下したとき
- 上り坂や下り坂で停車したとき
- オート・エンジン・チェック機能など車両が内部点検を実行しているとき
- 外気温度やバッテリー温度が非常に低いまたは高いとき
- 渋滞中で短時間の停車を繰り返すとき（国別仕様により異なる）

i インフォメーション

エンジンが自動停止した後、上記のいずれかの条件が満たされると、エンジンが自動的に再始動します。

オート・スタート/ストップ機能および惰性走行モードのON/OFF



図47: オート・スタート/ストップ・ボタン

OFFにする

- ▶ (A)ボタンを押してください。ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。エンジンの自動停止が制限され、惰性走行モードがOFFになります。

ONにする

- ▶ (A)ボタンを押してください。ボタンのインジケーター・ライトが消灯します。車両が停車すると、自動的にエンジンが停止し、惰性走行モードがONになります。
- ▶ 「コスト走行モードで走行する」(211ページ)を参照してください。

オート・スタート/ストップ機能の表示

 エンジンの自動停止および再始動の準備

オート・スタート/ストップ機能でエンジンが自動停止した場合、マルチファンクション・ディスプレイのインジケーター・ライトが緑色に点灯します。

 エンジンが自動停止しない、または再始動可能な状態になっていない

オート・スタート/ストップ機能が利用できない、またはエンジンが自動停止した後に再始動しない場合は、停車中にマルチファンクション・ディスプレイのインジケーター・ライトが黄色に点灯します。

オート・スタート/ストップ・システムは、次の状態を検出します：

- エンジンを自動停止するための条件の少なくとも1つが満たされていない。
- または
- オート・スタート/ストップ機能の例外条件が、少なくとも1つ以上満たされている。
- ▷ 「エンジンを自動停止するための条件」(78ページ)を参照してください。
- ▷ 「オート・スタート/ストップ機能の例外」(79ページ)を参照してください。

故障の表示

故障したときは、オート・スタート/ストップ機能が解除されたことを示すメッセージがマルチファンクション・ディスプレイに表示されます。

- ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

カップ・ホルダー

カップ・ホルダーを使用する

センター・コンソールにはカップ・ホルダーが2つあります。



図48: フロント・アームレストのカップ・ホルダー

▲ 注意

熱い飲み物がこぼれる

熱い飲み物がこぼれて火傷をする場合があります。

- ▶ カップ・ホルダーに収まる容器のみを使用してください。
- ▶ 中身がいっぱい満たされた容器をカップ・ホルダーに置かないでください。
- ▶ 熱い飲み物を置かないでください。
- ▶ 運転中はカップ・ホルダーを収納しておいてください。

知識

飲み物がこぼれて車両を損傷する恐れがあります。

- ▶ カップ・ホルダーに収まる容器のみを使用してください。
- ▶ 中身がいっぱい満たされた容器をカップ・ホルダーに置かないでください。

リヤ・アームレストのカップ・ホルダーを開く

リヤ・アームレストには2個のカップ・ホルダーがあります。



図49: リヤ・アームレストのカップ・ホルダー

- ▶ アームレストを完全に倒してください。

ガレージ・ドア・オープナー（ホームリンク®）*

車両のガレージ・ドア・オープナーを使用する

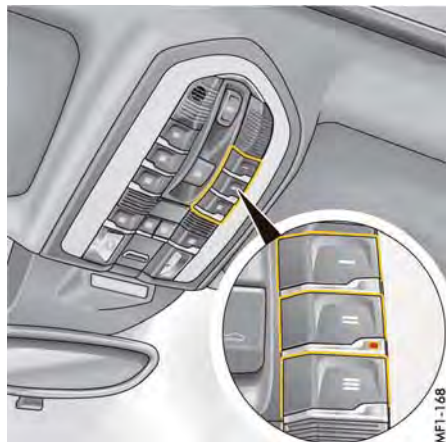


図50: ホームリンク®システムのボタン

ホームリンク®システムは、様々なリモート・コントロール装置（ガレージ・ドア、自宅の門や警報システム、家のライトなど）を車内から作動させることができます。

ホームリンク®は最大3種類のリモート・コントロールを登録することができます。オーバーヘッド・コンソールの3つのメモリー・ボタンに、リモート・コントロール信号を割り当てることができます。プログラミングしたメモリー・ボタンを操作して、各装置を作動させることができます。

- ▶ 各種装置のリモート・コントロールの取扱説明書をよくお読みください。

i インフォメーション

車両のホームリンク®システムと各種装置のリモート・コントロールの互換性に関するインフォメーション:

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。
- ▶ ウェブサイト www.homelink.com にアクセスするか、ホームリンク®のフリーコール (0)0800 046 635 465または (0)08000 HOMELINKまでお問い合わせください。

▲ 警告

操作した機器による挟み込み、締め付けまたは圧迫


ガレージ・ドア・オープナーの使用時またはプログラミング時に、ガレージ・ドア・オープナーで操作する装置の可動範囲に人や動物がいると、ケガを負わせる恐れがあります。

- ▶ ホームリンク®システムを操作またはプログラミングするときは、装置の可動範囲に人や動物がいないか、物がいないか確認してください。
- ▶ 装置のリモート・コントロール取扱説明書の注意事項を遵守してください。

i インフォメーション

- ▶ 車両を売却するときは、ガレージ・ドア・オープナーのプログラム信号を消去してください。

ガレージ・ドア・オープナー*の操作

- ✓ イグニッションをONにしてください。
- ✓ 車両を受信機の方向、かつ受信機のエリア内に向けます（信号は車両の進行方向前方に送信されます）。
- ▶ オーバーヘッド・コンソールの該当するホームリンク®ボタンを押したまま保持してください。
信号送信中は、ボタン  (図50) のインジケーター・ライトが点灯します。

ガレージ・ドア・オープナーのプログラミング

ホームリンク®システムは、オーバーヘッド・コンソールと車両の前方付近でプログラミングをします。

- ✓ イグニッションをONにしてください。
- ✓ 方向指示灯をOFFにしてください。
- ✓ エンジンをOFFにしてください。
- ✓ 車両を受信機の方向、かつ受信機のエリア内に向けます（信号は車両の進行方向前方に送信されます）。

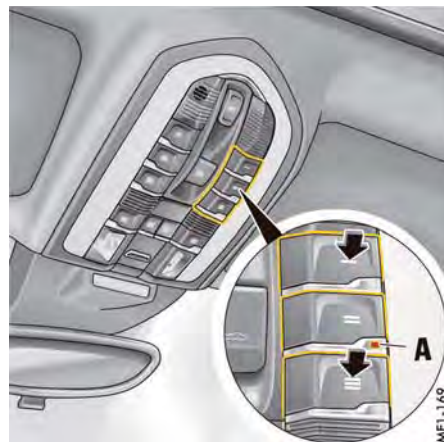


図51: ガレージ・ドア・オープナーのプログラミング

* 日本仕様に設定はありません。

プログラミングした信号をボタンから消去する

この操作では、ホームリンク®のすべてのプログラミングを消去します。各ボタンのプログラムを個別に消去することはできません。

▶ ボタンに信号を追加登録するときは、この操作を行わないでください。

1. オーバーヘッド・コンソールのインジケーター・ライト **A** が素早く点滅し始めるまで、2つの外側ボタン **B** および **A** を約20秒間押し続けてください（82ページ：図51）。
2. ボタンを放してください。
ホームリンク®ボタンの割り当てが消去されます。ホームリンク®ボタンを再プログラミングすることができます。

ガレージ・ドア・オープナー信号をボタンに登録する - 固定コード式システム

オーバーヘッド・コンソール：

1. プログラミング作業を初めて実施する前に、新車出荷時に設定されている標準コードを消去しなければなりません。
▶ 「プログラミングした信号をボタンから消去する」（83ページ）を参照してください。
2. インジケーター・ライト **A** がゆっくり点滅し始めるまで、オーバーヘッド・コンソールの希望のボタンを押し続けてください。
ボタンの登録作業は5分以内に完了しなければなりません（タイムアウト時間）。
3. プログラミングする装置のリモート・コントロールを持って車両の前方に移動してください。

MF1-170

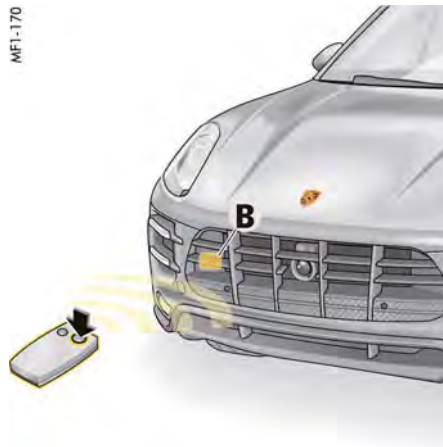


図52: 装置のリモート・コントロールを車両前方で持つ

車両の前方：

4. 受信部（図52）から約20cmの位置で、装置のリモート・コントロールを保持してください。車両の方向指示灯が3回点滅するまで、またはオーバーヘッド・コンソールのインジケーター・ライト **A** が素早く点滅し始めるまで、送信ボタンを押し続けてください（場合によっては約1分以上）。
新しい信号のプログラミングが完了すると、車両の方向指示灯が3回点滅し、インジケーター・ライト **A** が素早く点滅します。
車両と装置のリモート・コントロールの距離を変えて、数回実行しなければならない場合があります。
システムによっては、各種装置のリモート・コントロールのLEDを消灯するときに、各種装置のリモート・コントロールの送信ボタンをもう一度押す必要があります。

5. 登録作業開始から5分が経過すると、方向指示灯が1回点滅します。手順2~4を繰り返してください。
6. その他のボタンにも信号を登録するには：手順2~4を繰り返してください。

ガレージ・ドア・オープナー信号をボタンに登録する - 可変コード式システム

システムによっては、可変式コードもホームリンク®システムにプログラミングする必要があります。作業を2人で行うと、プログラミングが容易になります。

可変コード式を識別する

- ▶ プログラミング済みのホームリンク®ボタンを再度押し続けてください。
インジケーター・ライト **A** が素早く点滅し、約2秒後に常時点灯する場合、装置は可変コード式システムです。
- ▶ 同期に関するインフォメーションは、プログラミングするシステムの取扱説明書も参照してください。

ガレージ・ドア・オープナー信号をボタンに登録する

オーバーヘッド・コンソール：

1. プログラミング作業を初めて実施する前に、新車出荷時に設定されている標準コードを消去しなければなりません。
▶ 「プログラミングした信号をボタンから消去する」（83ページ）を参照してください。
2. インジケーター・ライト **A** がゆっくり点滅し始めるまで、オーバーヘッド・コンソールの希望のボタンを押し続けてください。
ボタンの登録作業は5分以内に完了しなければなりません（タイムアウト時間）。
3. プログラミングする装置のリモート・コントロールを持って車両の前方に移動してください。

車両の前方：

- 受信部（83ページ：図52）から約20cmの位置で、装置のリモート・コントロールを保持してください。車両の方向指示灯が3回点滅するまで、またはオーバーヘッド・コンソールのインジケーター・ライトAが素早く点滅し始めるまで、送信ボタンを押し続けてください（場合によっては約1分以上）。新しい信号のプログラミングが完了すると、車両の方向指示灯が3回点滅し、インジケーター・ライトAが素早く点滅します。車両と装置のリモート・コントロールの距離を変えて、数回実行しなければならない場合があります。
- システムによっては、各種装置のリモート・コントロールのLEDを消灯するときに、各種装置のリモート・コントロールの送信ボタンをもう一度押す必要があります。
- 登録作業開始から5分が経過すると、方向指示灯が1回点滅します。手順2～4を繰り返してください。
- その他のボタンにも信号を登録するには：手順2～4を繰り返してください。
- ガレージ・ドア・オープナーのモーター・ユニットなど、プログラムする装置の受信機のプログラミング・ボタンの位置を特定してください。

システムを同期する

- プログラムする装置の受信機のプログラミング・ボタンを押すか、別の人にボタンを押してもらってください。その後、約30秒以内（装置によって異なる）に次の手順に進んでください（通常、モーター・ユニットの設定インジケーターが点灯します）。
- 手順2で選択したオーバーヘッド・コンソールのボタンを3回押してください（装置によっては、登録を完了するまでにボタンを数回押さなければならない場合があります。）

- 上記の手順2～9を繰り返して、その他のボタンにも別の装置を登録してください。

プログラミングが完了した後、メモリー・ボタンを押すと速やかにホームリンク®信号を認識して起動することを確認してください。

キーパッドの各ボタンへの再プログラミング

ホームリンク®ボタンは、残りのボタンの登録を消去せずに個別に再プログラミングすることができます。

オーバーヘッド・コンソール：

- インジケーター・ライトAがゆっくり点滅し始めるまで、オーバーヘッド・コンソールの希望のボタンを押し続けてください。ボタンの登録作業は5分以内に完了しなければなりません（タイムアウト時間）。
- プログラミングする装置のリモート・コントロールを持って車両の前方に移動してください。

車両の前方：

- 受信部（83ページ：図52）から約20cmの位置で、装置のリモート・コントロールを保持してください。車両の方向指示灯が3回点滅するまで、またはオーバーヘッド・コンソールのインジケーター・ライトAが素早く点滅し始めるまで、送信ボタンを押し続けてください（場合によっては約1分以上）。新しい信号のプログラミングが完了すると、車両の方向指示灯が3回点滅し、インジケーター・ライトAが素早く点滅します。車両と装置のリモート・コントロールの距離を変えて、数回実行しなければならない場合があります。
- システムによっては、各種装置のリモート・コントロールのLEDを消灯するときに、各種装置のリモート・コントロールの送信ボタンをもう一度押す必要があります。

- 登録作業開始から5分が経過すると、方向指示灯が1回点滅します。手順2～3を繰り返してください。
- その他のボタンにも信号を登録するには：手順2～3を繰り返してください。

i インフォメーション

本書の手順、および各装置のリモート・コントロール取扱説明書の記述に従って慎重に登録作業を行ってもボタンに信号を登録できない場合は：

- ▶ ボルシェ正規販売店にご相談ください。
- ▶ ガレージ・ドア・オープナー*のリモート・コントロールに新品の電池が入っていることを確認してください。電池が弱っていると、信号の送信不良が生じることがあります。その結果、ガレージ・ドア・オープン機構が正しく認識できない誤ったコードが登録されます。

キー キーを使用する

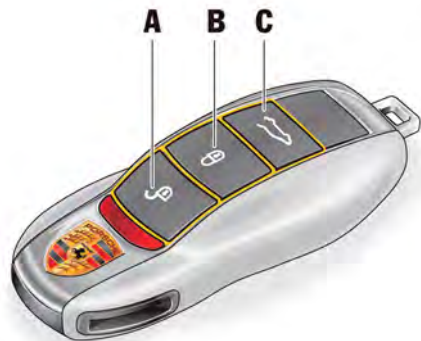


図53: キー

- A ロック解除
- B ロックする
- C リヤ・リッドを開く、および車両をロック解除する

各キーにはエマージェンシー・キーが内蔵されています。これらのキーを使用して、車両のすべてのロックを操作できます。

- ▶ キーの取り扱いには細心の注意を払ってください：特別な状況を除いて、キーを放置しないでください。
- ▶ わずかな時間でも車両から離れるときは、キーを抜き取り、携行してください。
- ▶ キーを車内に残さないでください。

UC1-009

エマージェンシー・キーを使用する場合

エマージェンシー・キーを取り外す

9000_233



図54: エマージェンシー・キーを取り外す

1. リリース・ボタンを横に押ししてください (図54)。
2. エマージェンシー・キーを抜き取ってください。

エマージェンシー・キーを元に戻す

- ▶ リリース・ボタンのロック音が聞こえるまで、エマージェンシー・キーを押し込んでください。

キーの電池を交換する

キーの電池が消耗し、交換が必要になると、インストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイに「キーのバッテリーを交換します」が表示されます。

i インフォメーション

- ▶ 電池の廃棄に関する指示を遵守してください。

9000_232



図55: 電池の交換

電池の交換(CR 2032、3V)

1. エマージェンシー・キーを取り出してください。
2. 適切な物(エマージェンシー・キーなど)を使用して、キー・ハウジング背面のカバーを持ち上げてください。
3. 電池を交換してください(電極の向きに注意してください)。
4. カバーを元通りにして、しっかりとはめ合わせてください。
5. エマージェンシー・キーを元に戻してください。

キー/コントロール・ユニットの緊急ロック解除

車両のバッテリーが上がった場合、キーを抜き取るには、緊急解除を行う必要があります。

車両とイグニッション・ロック間の電波通信が混信したときや、キーのバッテリー残量が低下すると、ボルシェ・エントリー&ドライブが正常に機能しなくなります。

このような場合、イグニッション・ロックからコントロール・ユニットを取り外し、キーで車両を始動することができます。

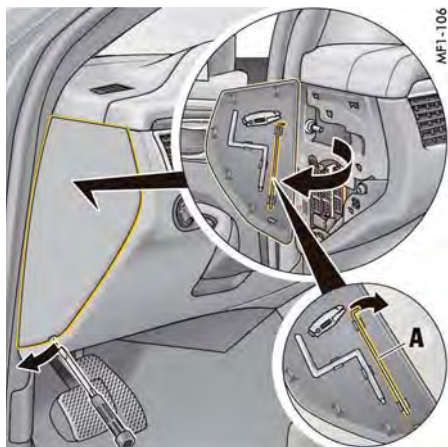


図56: メタル・フックの取り外し

1. 運転席側のヒューズ・ボックス・カバーをスクロイドライバーで慎重にこじ開け、取り外してください。
2. ヒューズ・ボックス・カバーの裏に収納してあるメタル・フックAを取り出してください。

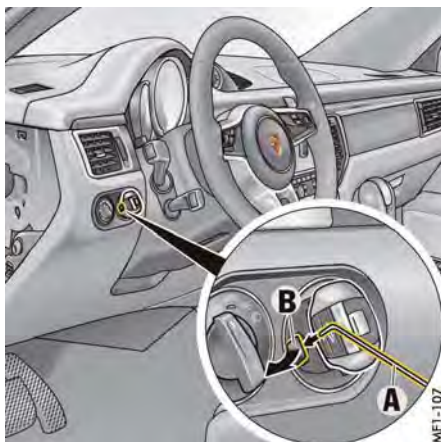


図57: イグニッション・ロックからのプラスチック・カバーの取り外し

3. メタル・フック A を使用して、イグニッション・ロックからプラスチック・カバー B を取り外してください。
4. 取り外したプラスチック・カバー B は紛失しないように十分注意してください。

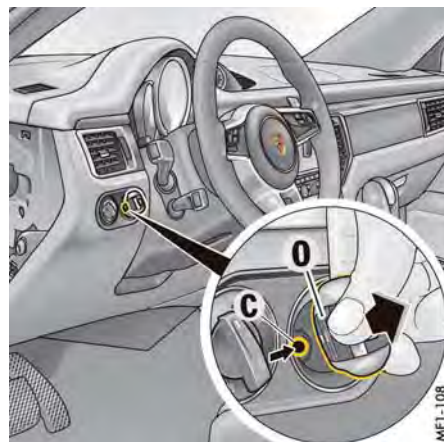


図58: 緊急ロック解除

5. コントロール・ユニット/キーをイグニッション・ロック位置 0 (初期位置) に回してください。
6. メタル・フック A を開口部 C に圧着します。キー/コントロール・ユニットの解除音がかかります。
7. 初期位置 0 でコントロール・ユニット/キーを取り外してください。
8. プラスチック・カバー B を元の位置に取り付けてください。

スペア・キーの注文と登録

車両のスペア・キーは、ポルシェ正規販売店のみでお求めいただくことができます。新しいキーを注文してからお手元に届くまでには大変時間がかかる場合がございますので、

- ▶ いつでもスペア・キーを使えるように、あらかじめご用意いただくことを推奨いたします。
- ▶ スペア・キーは安全な場所に保管し、決して車内や車両の近くには置かないでください。

新しいキーを車両に登録するには：

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ 車両のすべてのキーを再登録してください。

i インフォメーション

最大で8本のキーを登録することができます。

i インフォメーション

- ▶ キーを紛失した場合または盗難にあった場合は、ポルシェ正規販売店でこのキーを無効にし、必要に応じてメカニカル・ロックを交換してください。
- ▶ キーを紛失または盗難に遭われた際、スペア・キーを追加されり交換されたりした際は、ご契約の自動車保険会社にご連絡ください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

給油

⚠ 警告

給油時の火災の危険

燃料は強燃性であり、燃焼または爆発が発生する恐れがあります。

- ▶ 燃料を取り扱うときは、火気や裸火を近づけたり、喫煙をしたりしないでください。

⚠ 警告

燃料蒸発ガスの吸引、および燃料の皮膚への付着

燃料と燃料蒸発ガスは人体に有害です。


- ▶ 燃料蒸発ガスを吸い込まないようにしてください。
- ▶ 皮膚や衣類に燃料が付着しないように注意してください。

i インフォメーション

燃料によっては硫黄が多く含まれていることがあります。このため、エンジンで燃焼する際に特定の運転条件下で不快な臭い（いわゆる腐った卵の匂い）が発生する可能性があります。ポルシェ社にはこの特性に対する責任はなく、車の故障を示すものではありません。

イグニッションをと、インストルメント・パネルに燃料の残量が表示されます。

- ▶ 「J-燃料計」(49ページ)を参照してください。

タンク内の燃料残量が一定量(モデルによって異なる)を下回り、イグニッションがON、またはエンジンが作動している場合、マルチファンクション・ディスプレイの警告灯が点灯します。

- ▶ 最寄りの給油所で給油してください。
- ▶ 「充填容量」(376ページ)を参照してください。

適切な燃料の選択

知識

不適切な燃料を使用するとエンジン、燃料システム、およびエキゾースト・システムを損傷する恐れがあります。

- ▶ 下記の仕様に準拠する燃料のみを使用してください。
- ▶ **メタノールを含む燃料を使用**しないでください。

i インフォメーション

通常、燃料のオクタン価に関する情報は、ガソリン・スタンドの給油機に掲載されています。ガソリン・スタンドのスタッフからも情報が得られます。

エンジンは**金属系添加物を含まない無鉛ガソリン**の使用を前提に設計されています。

モデル	推奨燃料	代替燃料
	最低オクタン価：	
Macan Turbo、Macan GTS、Macan S	98 RON/88 MON	95 RON/85 MON
Macan	95 RON/85 MON	

この車両のエンジンはエタノール含有量10%以下の燃料の使用に対応しています。エタノール含有燃料を使用すると燃費が悪化することがあります。

i インフォメーション

推奨燃料が入手困難な場合は、緊急措置としてオクタン価**91 RON/82.5 MON**の金属系添加物を含まない無鉛ガソリンを使用することができます。ただし、この場合はエンジン出力が低下し、燃費が悪化することがあります。

- ▶ オクタン価が**91 RON/82.5 MON以上**の**金属系添加物を含まない無鉛ガソリン**を使用してください。
- ▶ オクタン価が91 RON/82.5 MONの無鉛ガソリンを使用した場合は、フルスロットルで走行**しないで**ください。

低品質な燃料と添加剤の使用

知識

ポルシェ社が承認していない添加剤を使用した場合、エンジン、燃料系統、エキゾースト・システムに損傷を与える恐れがあります。

- ▶ ポルシェ社が承認した添加剤のみを使用してください。
- ▶ 給油前に添加剤を投入してください。

地域によっては、燃料の析出挙動がポルシェ社の基準を満たしていないことがあります。ポルシェ社の基準を満たす燃料を入手できない場合は、推奨する添加剤を混ぜ合わせてください。詳しくはポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

ポルシェ部品番号：000 043 206 89

- ▶ 混合比率は、添加剤に付属の取扱説明書に従ってください。

定期点検時期(サービス・インターバル)、特にオイル交換時期を遵守してください。

適切なディーゼル燃料の選択*

知識

不適切なディーゼル燃料（バイオディーゼルなど）や品質の悪いディーゼル燃料を使用すると、エンジンや燃料システムを損傷する恐れがあります。

- ▶ **バイオディーゼル燃料（B100-diesel/FAME燃料）を使用しない**てください
- ▶ ヨーロッパ規格EN 590準拠または同等品質（セタン価が51以上）のディーゼル燃料のみを給油してください。
- ▶ 低品質な燃料を使用した場合は燃料フィルターの水抜き栓から指定されたサービス期間より頻繁に排水する必要があります。燃料フィルターに水がたまると、エンジンに問題が発生する場合があります。
- ▶ エンジントラブルの場合：ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

i インフォメーション

燃料添加剤（いわゆる「フロー・エンハンサー」）、燃焼促進剤または同様の添加剤などを燃料と混ぜないでください。

燃料の給油

知識

燃料が付着すると、デコラティブ・フィルムが損傷する恐れがあります。

- ▶ デコラティブ・フィルムに燃料が付着したときは、直ちに拭き取ってください。

i インフォメーション

ディーゼル車には、燃料給油ミス防止装置が装備されています。そのため、ディーゼル・ポンプ・ノズルを使用してのみ燃料タンクへ給油できます。

ポンプ・ノズルが摩耗または損傷すると、場合により燃料給油ミス防止装置が開かないことがあります。そのような場合：

- ▶ 給油口内でポンプ・ノズルを回転させるか、または他のポンプを使用してください。
- 予備燃料タンクから給油するときは、燃料給油ミス防止装置は開きません。
- ▶ ディーゼル燃料をゆっくり給油してください。

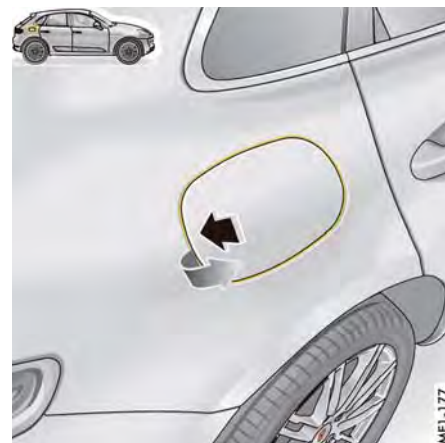


図59: フィラー・フラップを開く

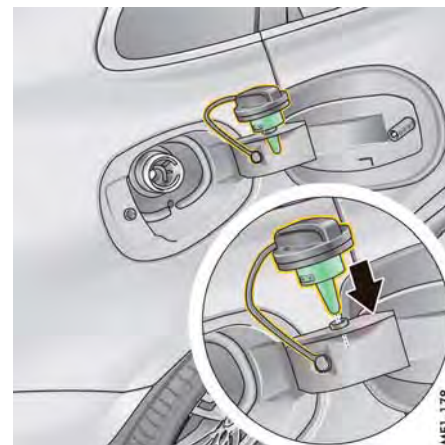


図60: タンク・キャップを開く

* 日本仕様には設定はありません。

- ✓ エンジンを停止します。
 - ✓ イグニッションをOFFにしてください。
 - ✓ 車両をロック解除します。
1. フィラー・フラップの後部 (図59) を押すと、フラップが開きます。
この車両に使用できる燃料の種類については、フィラー・フラップの裏のステッカーに明示されています。
 2. タンクのキャップをゆっくり開いて取り外してください。
 3. 取り外したキャップをホルダー (図60) にかけてください。
 4. 給油ノズルは確実にフィラーの奥まで差し込み、注入時はノズルを下に向けて給油してください。
 5. 給油ノズルを操作して、燃料を給油してください。給油ノズルが自動停止したら、それ以上給油を続けしないでください。無理に給油すると、タンクの燃料が吹き返したり、燃料が温まったときにあふれ出したりすることがあります。
- ▷ 「充填容量」(376ページ)を参照してください。
6. 給油後は直ちにキャップを取り付け、ロック音と手ごたえを感じるまで、しっかりと閉じてください。
 7. フィラー・フラップを閉じてフィラー・フラップの後部 (矢印) を押し、しっかりと閉じてください。

i インフォメーション

燃料タンクの給油キャップを紛失したときは、必ずボルシェ純正部品を使用してください。

フィラー・フラップの緊急操作

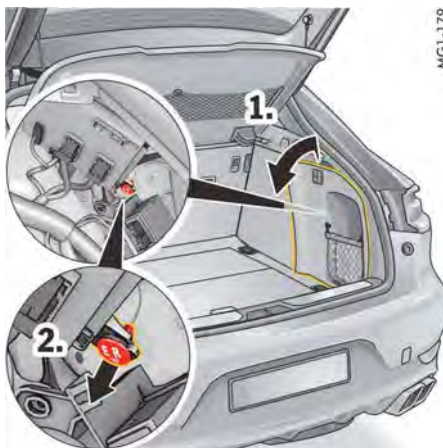


図61: 緊急時のフィラー・フラップの手動ロック解除

フィラー・フラップの電動ロック解除機構が故障したときは、手でフィラー・フラップを開くことができます。

1. 右側ラゲッジ・コンパートメント・トリム・パネルを慎重に取り外してください。
2. 赤色の緊急解除ボタンを引いてください。フィラー・フラップが開きます。

AdBlue® の使用®*

選択式触媒還元(SCR)装備車では、特殊尿素溶剤(AdBlue®)がNOx (窒素酸化物) の排出を低減するため、エキゾースト・システム内に噴射されます。

AdBlue® は German Association of the Automotive Industry (ドイツ自動車工業会) (VDA) の登録商標です。

AdBlue® は車両の独立したタンクに貯蔵されており、ディーゼル燃料給油口の右側にある AdBlue® フィラー・ネックから補充します。

▷ 「充填容量」(376ページ)を参照してください。
AdBlue® の消費量は、ドライバーの運転スタイル、システムの作動温度、外気温によって左右されます。タンクが空のときは、イグニッションを一旦OFFにすると、®以降エンジンを再度始動することは **できません**。この場合、エンジンはジャンパー・ケーブルによる始動もできなくなります。

AdBlue® の補充作業は、ボルシェ正規販売店で実施することを推奨いたします。

⚠ 警告

AdBlue® の不適切な保管

中毒を起こす危険があります。AdBlue® は空になった食品や飲料の容器に入れて保管しないでください。他の人が誤飲する恐れがあります。

- ▶ AdBlue® はボルシェ純正の AdBlue® 補充容器のみに入れて、安全な場所で保管してください。
- ▶ AdBlue® は常に、お子様の手が届かない場所に保管してください。

⚠ 警告

腐食性の液体による皮膚への刺激

AdBlue® は腐食性の液体です。皮膚に刺激を与えたり、目や粘膜、呼吸器を傷つけたりすることがあります。

- ▶ 皮膚や目、口などに触れた場合、速やかにきれいな多量の水で洗い流してください (約15分間)。必要に応じて医師の診察を受けてください。
- ▶ 飲み込んだ場合は、無理に嘔吐しないでください。直ちに医師の診察を受けてください。

* 日本仕様に設定はありません。

知識

AdBlue[®]タンクは、ポンプによる補充に適していません。ポンプで補給すると、AdBlue[®]が溢れ、車両の塗装部品、プラスチック部品、衣服やカーペットに損傷を与える恐れがあります。


- ▶ AdBlue[®]を補充する際は、ボルシェ純正のAdBlue[®]補充容器のみを使用してください。ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ AdBlue[®]がこぼれた場合、速やかに濡れた布と多量の水を使用して清掃してください。
- ▶ 乾いて結晶化した AdBlue[®] は温水とスポンジを使用して取り除いてください。

知識



不適切なAdBlue[®]を使用すると、エンジンに損傷を与える恐れがあります。

- ▶ ISO 22241-1要件に適合したAdBlue[®]のみを使用してください。承認されていないAdBlue[®]を使用した場合、エンジンに損傷を与える恐れがあります。
- ▶ AdBlue[®]に水や添加剤などを混ぜないでください。これによって生じた損傷については、メーカー保証の対象外となります。
- ▶ AdBlue[®]を絶対にディーゼル燃料タンクに補充しないでください。
- ▶ 補充容器を長時間に車内に放置しないでください。気温の変化により、補充容器からAdBlue[®]が漏れ出し、車内に損傷を与える恐れがあります。
- ▶ AdBlue[®] タンクが空になるまで走行しないでください。

警告シンボルへの対応

タンク内のAdBlue[®]残量が一定量（モデルによって異なる）を下回る場合、マルチファンクション・ディスプレイに  シンボルと補給の必要を知らせるメッセージが表示されます。

- ▶ 早めにAdBlue[®]を補充してください。
- ▶ 「充填容量」(376ページ)を参照してください。

AdBlue[®]システムが故障した場合、マルチファンクション・ディスプレイにシンボル  または  が表示されます。

- ▶ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」(98ページ)を参照してください。

AdBlue の補充[®]*

i インフォメーション

適切なAdBlue[®]補充容器についてのお問い合わせは：ボルシェ正規販売店にご相談ください。

AdBlue[®]フィルター・ネックを開く

- ✓ 車両を平坦な場所に駐車してください。
 - ✓ エンジンを停止します。
 - ✓ イグニッションをOFFにしてください。
 - ✓ 車両をロック解除します。
1. フィラー・フラップの後部 (89ページ：図 59) を押すと、フラップが開きます。

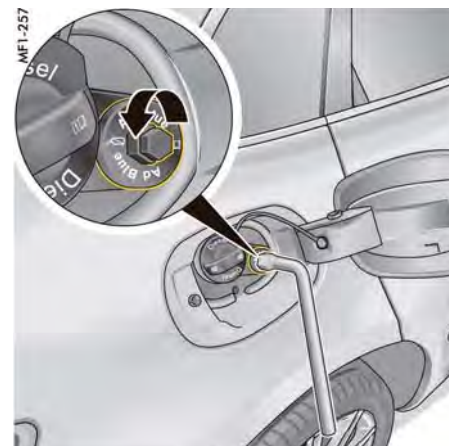


図62: AdBlue[®]フィルター・ネックを開く

2. AdBlue[®] フィラー・ネックのキャップを、レンチを使用して反時計回りに回して取り外してください。
 - ▶ 「工具セットの取り外し」(331ページ)を参照してください。

AdBlue®の補充

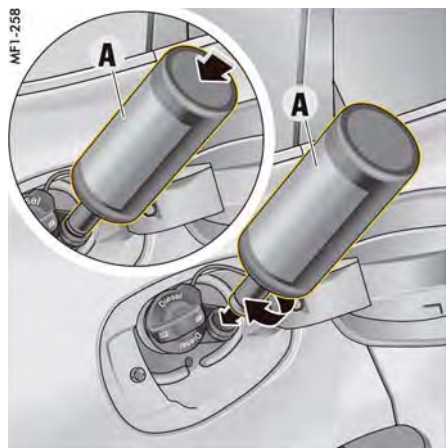


図63: AdBlue®の補充

- ▶ AdBlue®製造メーカーからのインフォメーションをよく読み、有効期限を確認してください。
- ▶ 最低5.7リットル以上のAdBlue®を補充してください（ボルシェが推奨するAdBlue®補充容器3個分）。

1. 補充容器のキャップを取り外してください。A
2. 補充容器AをAdBlue®フィルター・ネックに挿入し、手で時計回りに回して締め付けてください。
3. 補充容器Aを押してフィルター・ネックに軽く押し付け、しっかりと保持してください。強く押し付けしないでください。補充容器が損傷する恐れがあります。
4. 補充容器の中身が、AdBlue®タンクに充填されるまで待ってください。
AdBlue®タンク容量の上限に達すると、補充容器からAdBlue®が充填されなくなり、あふれ出すのを防止します。

5. 補充容器を反時計回りに回してゆるめ、慎重に取り外してください。

AdBlue®フィルター・ネックを閉じる

1. AdBlue® フィラー・ネックのキャップをホイール・ボルト・レンチを使用して時計回りに回し、既定の締め付けトルクに達したことを知らせるロック音がするまで締め付けてください。
2. フィラー・フラップを閉じてフィルター・フラップの後部を押し、確実に閉じてください。

AdBlue®補充後の測定*

1. AdBlue®を補充した後にのみ、イグニッションをONにしてください。
2. 30秒以上イグニッションをONにしたままにしてください。この間にシステムが補充作業が行われたことを検出します。
エンジンを始動 **しない** てください。
3. その後エンジンを始動できます。

クーラント（冷却水）

▲ 警告

エンジン・コンパートメント・ブローアおよびエンジン周りの可動部品

エンジン・ルームで作業を行うときは、手、指、衣服の一部、ネックレス、髪の毛などがエンジン・ルーム・ブローアやドライブ・ベルトなどの可動部品に絡まる恐れがあります。エンジン・コンパートメント・ブローアはエンジン・カバーに取り付けられています。エンジンを停止してから約30分間はエンジン・ルーム内の温度が監視されます。この間は、温度に応じてエンジン・ルーム・ブローアが作動し続けたり、作動し始めたりすることがあります。

- ▶ この付近で作業する場合は、エンジンをOFFにして身体の一部、衣服の一部、または装飾類がラジエーター・ファン、エンジン・コンパートメント・ブローア、ドライブ・ベルト、またはその他の可動部品に引き込まれないよう十分に注意してください。

知識

警告シンボルが表示された後も走行を続けると、エンジンを損傷する恐れがあります。



- ▶ 車両を停車してください。
- ▶ クーラント・レベルが適正でも警告が表示され続けるときは、運転を続けしないでください。
- ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。

エンジン・クーラントには年間を通じた腐食防止と、 -37°C までの凍結防止の働きがあります。クーラント・レベルを定期的に点検することは、メンテナンスの一部です。

- ▶ ポルシェ社が認証した凍結防止剤のみを使用してください。

ポルシェ社では、Glysantin® G40® または G12++/VW TL 774-Gに準拠した同等の不凍液の使用を推奨いたします。

警告シンボルへの対応

冷却水温度が高温になりすぎると、マルチファンクション・ディスプレイにシンボル  が表示されます。クーラント（冷却水）レベルが所定以下になると、マルチファンクション・ディスプレイにシンボル  が表示されます。

- ▶ エンジンをOFFにして冷やしてください。
- ▶ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」（98ページ）を参照してください。

クーラント・レベルの点検と補充

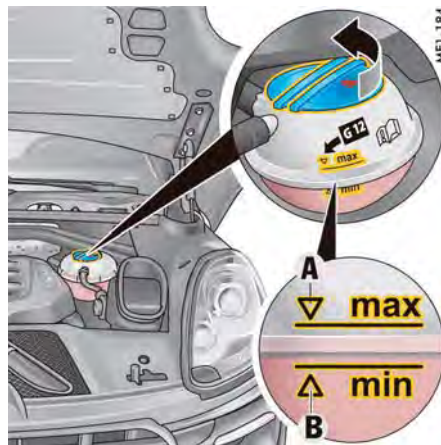


図64: クーラント・リザーバー・タンク

▲ 警告

高温のエンジン部品やクーラント

エンジン作動中は、エンジンと周辺の部品、エキゾースト・システム、クーラントなどが非常に熱くなっています。

クーラント・リザーバー・タンクには圧力がかかっています。リザーバー・タンク・キャップを開く場合、熱いクーラントが突然吹き出す恐れがあります。リザーバー・タンク・キャップを開くときは細心の注意を払ってください。

- ▶ 加熱した車両部品、特にエンジンやエキゾースト・システムの近くでは、十分注意して作業を行ってください。
- ▶ エンジン・コンパートメント内の作業を行う前に、エンジンをOFFにし、十分に冷やしてください。
- ▶ エンジン・コンパートメント内で作業するときは十分注意してください。
- ▶ クーラントの補充はエンジンを停止し、イグニッションをOFFにしてから行ってください。
- ▶ エンジンが熱いときは、クーラント・リザーバー・タンクのキャップを**開かない**でください。水温計の表示が 60°C を下回るまで待ってください。
- ▶ 「B - 冷却水温度」（306ページ）を参照してください。

- ✓ 車両を平坦な場所に駐車してください。
- ✓ エンジンが冷えていて、クーラント温度が 60°C 以下である場合

1. クーラント・レベルを読み取ってください。クーラント・レベルは常にMINマークAとMAXマークBの間に維持されなければなりません。
2. クーラント・レベルがMINマークB、より下にある場合はクーラントを補充してください。
3. 慎重にクーラント・リザーバー・タンクのキャップを開き（図64）、内部の圧力を逃がしてください。

4. キャップを完全に取り外してください。
5. クーラントを補充してください不凍液と蒸留水を同量混ぜ合わせた物のみを補充してください。Aマークを超えないように補充してください。
6. リザーバー・タンクのキャップがしっかりとロックするまでねじ込んでください。
7. 冷却システムを点検してください。
ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

i インフォメーション

緊急で水のみを補充した場合は、速やかに不凍液の混合比率を修正してください。

クーラントの減りが著しい場合は、冷却システムに漏れが発生しています。

- ▶ 早急に修理してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

クルーズ・コントロール

クルーズ・コントロールを使用すると、約30～240km/hの範囲でアクセル・ペダルを踏まなくても希望する速度を維持したまま走行できます。クルーズ・コントロールは、ステアリング・コラム左下にあるレバーで操作します。



図65: クルーズ・コントロール操作レバー

- A** クルーズ・コントロールのON/OFF
1 速度の設定/加速
2 減速
3 クルーズ・コントロールの中断(OFF)
4 RESUME (クルーズ・コントロールの再開)

i インフォメーション

アクティブ・ブレーキ機能は、特に下り坂などで設定速度を維持するため、自動的に作動します。

⚠ 警告

危険な交通状況や路面状態が悪い状況での走行

交通状況により十分な距離と一定の速度での走行に適さない場合、クルーズ・コントロールの使用が事故の原因となる場合があります。

- ▶ 激しい渋滞、カーブの多い道、路面状態が悪い場合（冬場の滑りやすい路面、濡れた路面、起伏の多い路面など）でクルーズ・コントロールを使用しないでください。

クルーズ・コントロールON (スタンバイ)

- ▶ クルーズ・コントロール操作レバーのボタン**A**を押してください。



クルーズ・コントロールON

マルチファンクション・ディスプレイのグレーのアイコンは使用可能状態を示します。

速度の設定 (維持)

1. アクセル・ペダルの操作で希望する速度まで加減速してください。
2. ステアリング・コラムのクルーズ・コントロール操作レバーを前方 (1の位置) に押しってください。



設定速度

オレンジ色に変わったクルーズ・コントロール・アイコンの下に走行中の速度が表示され、自動的に維持されます。

速度の変更

- ▶ 速度を上げる場合は、ステアリング・ホイールの操作レバーを前方に押します (95ページ: 図65, 1)。
短く押す = 1 km/h、長押し = 10 km/h
 - ▶ 速度を落とす場合は、ステアリング・ホイール側に操作レバーを引きます (95ページ: 図65, 2)。
短く引く = 1 km/h、引き続ける = 10 km/h
- 新しく設定した速度がマルチファンクション・ディスプレイに表示されます。

i インフォメーション

通常走行と同じようにアクセル・ペダルを踏みと加速します。これにより保存された速度は変更されません。アクセルを緩めると保存した速度に戻ります。

クルーズ・コントロールの中断 (OFF)

クルーズ・コントロールを中断したときは、直前の設定速度が保存され、クルーズ・コントロール操作レバーを押すと設定速度を呼び出すことができます。

- ▶ 「クルーズ・コントロールの再開 (RESUME)」 (96ページ) を参照してください。
- ▶ コントロール操作レバーを下に押しってください (95ページ: 図65, 3)。
または
- ▶ スピード・リミッター装備車では、クルーズ・コントロール操作レバーのボタン **B** を押しってください。*
- または**
- ▶ ブレーキ・ペダルを踏むか、またはPDKセレクター・レバーを **N**の位置にしてください。

* 日本仕様に設定はありません。

あ

次のような状況では、クルーズ・コントロールは自動的に中断されます。

か

– 設定速度より約25km/hを超える速度で、20秒以上走行した場合

さ

– 上り坂などで、設定速度より約60km/h以上遅い速度で60秒以上走行した場合

た

– ポルシェ・スタビリティ・マネージメント (PSM)が0.5秒以上作動した場合

な

クルーズ・コントロールの再開 (RESUME)

は

▶ 操作レバーを上を押してください (95ページ: 図65, 4)。
設定速度に加減速します。

ま

クルーズ・コントロールOFF

や

▶ クルーズ・コントロール操作レバーのボタンAを押してください。

ら

設定速度が消去され、シンボルマークが消灯します。

わ

i インフォメーション

イグニッションをOFFにすると保存した速度が消去されます。

A-Z

警報システム

警報システムは、次の警報接点を監視します：

- ドア、リヤ・リッド、ボンネット、およびヘッドライトの警報接点
- 室内モニタリング・システム：車両をロックした後の車内への侵入（例えばウィンドウを壊して車内に侵入したとき）
- 傾斜センサー（国別の装備仕様）：車両の傾き（例えば車両をけん引して盗難しようとしたとき）

これらの警報接点のいずれか1つでも不正な動きを検出すると、アラーム・ホーンが約30秒間鳴り、ハザード・ライトが点滅します。

それから5秒間警告が中断され、再度警報が作動します。この作動を最大10回繰り返します（国により異なる）。

i インフォメーション

国別の仕様によっては、キーをイグニッション・ロックから抜き取った場合は、最後のドアまたはリヤ・リッド/ボンネットを閉じてから30秒後に警報システムが自動的に作動します。車両をロックしていない場合も同様です。

室内モニタリング・システムと傾斜センサー*が解除されます。ドアまたはリヤ・リッド/ボンネットを開くと、警報が作動します。

- ▶ 降車時は常に車両をロックしてください。
- ▶ ドアを開いた場合、警報システムが作動することを車内に残る人に伝えてください。

作動した警報システムを解除するには：

- ▶ ドアをロック解除する**または**イグニッションをONにしてください。

警報システムのON/OFFを切り替える

- ▶ 車両をロックすると、警報システムが作動します。
- ▶ 車両をロック解除すると、警報システムが解除されます。

i インフォメーション

ドア・ロックにエマージェンシー・キーを差し込んで車両のロックを解除した場合、警報システムの作動を回避するため、15秒以内にイグニッションをON（イグニッション・ロックの1の位置）にしなければなりません。

警報システムが作動するまでの時間は、国によって異なる場合があります。

作動した警報システムをOFFにする

- ▶ ロック解除**または**イグニッションをONにしてください。

室内モニタリング・システムおよび傾斜センサー*をOFFにする


車内に人や動物を残して車両をロックするときや、鉄道または船舶などで車両を輸送する場合、室内モニタリング・システムと傾斜センサー*を一時的にOFFにする必要があります。

- ▷ 「ドアをロックする」(164ページ)を参照してください。
- ▶ ドアを開いた場合、警報システムが作動することを車内に残る人に伝えてください。

i インフォメーション

室内モニタリング・システムと傾斜センサー*は、ロック解除後いずれのドアも開かず、30秒後に自動的にロックされた場合、OFFの状態を維持します。

キーを使用する

- ▶ キーの  ボタンを2秒以内に2回押してください。ハザード・ライトがゆっくり1回点滅します。ドアはロックされますが、内側から開くことができます。

機能表示

ポルシェ・エントリー&ドライブ非装備車の場合、セントラル・ロッキング・ボタンのライトの点滅速度のより車両のロック状態が示されます。ポルシェ・エントリー&ドライブ装備車の場合、ドアのインジケーター・ライトの点滅速度により車両のロック状態が示されます。

警報システムを起動させたとき

車両をロックしたときにインジケーター・ライトが素早く点滅し、その後は通常の速さで点滅します。

警報システムを起動させたとき（室内モニタリング・システムと傾斜センサー*がOFFのとき）

車両をロックしたときにインジケーター・ライトが素早く点滅した後、10秒間消灯し、その後は通常の速さで点滅します。

セントラル・ロッキング・システムと警報システムの故障

インジケーター・ライトが10秒間点灯した後、通常の倍の速さで20秒間点滅し、その後は通常の速さで点滅します。

警告およびインフォメーション・メッセージ

警告メッセージが表示された際は、本書の該当する章を必ずお読みください。

警告灯とインジケータ・ライトが点灯する際には、信号音も発せられます。

すべての前提条件が満たされた場合にのみ、警告メッセージが表示されます。そのため、すべてのフルード・レベルは定期的に点検してください。

警告と情報メッセージの分類

赤色

システムの故障または警告








黄色

故障、システム故障、または情報

白色














故障、システム故障、または情報

安全

インストルメント・パネルの表示	マルチファンクション・ディスプレイのメッセージ	意味および必要な措置
 点灯	 安全ベルトを装着します	1つまたは複数のシート・ベルトが装着されていません。 ▶ すべての同乗者がシート・ベルトを装着していることを確認してください。
	 助手席 エアバッグ オン/オフ	助手席エアバッグがONまたはOFFです。
	 故障 エアバッグ表示灯 要修理	コショウ エアバッグ ケイコクトウ 継続走行可 ▶ 慎重な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	 ステアリングを解除します	ステアリング・ロックに大きく負荷がかかっています。 継続走行可 ▶ ステアリング・ホイールを左右に回して、ステアリング・ロックを解除してください。
	 完了するとハンドルがロックされます	ステアリング・ロックが作動していません。 ▶ ステアリング・ホイールをロックするには、車両をロックしてください。
	 故障 ステアリングサポート 上昇したエネルギー消費 継続走行可	パワー・ステアリングは利用できません。 継続走行可 ▶ 慎重な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z






安全		意味および必要な措置
インストルメント・パネルの表示	マルチファンクション・ディスプレイのメッセージ	
	 ステアリングサポート制限中 相応の継続走行可	パワー・ステアリングが一時的に制限されます。 継続走行可 ▶ 慎重な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	 ブレーキブースタ圧力低下 要修理継続走行可	ブレーキ・ブースターの故障 継続走行可 ▶ 慎重な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
 点灯	 ブレーキ液レベル 安全な場所に停車して下さい	ブレーキ液レベルが低すぎます。 ▶ 適切な場所に停車して下さい。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
 点灯	 故障 制動力配分 安全な場所に停車して下さい	ブレーキ力の配分に問題があります。 ▶ 適切な場所に停車して下さい。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
 点灯	 故障 ABS/PSM 相応の継続走行可	ABSまたはポルシェ・スタビリティ・マネージメントが故障しています。 継続走行可 ▶ 慎重な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	 摩耗限度 ブレーキング要交換 継続走行可能	ブレーキパッドが摩耗しています。 ▶ 直ちにブレーキ・パッドを交換してください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
 点滅	 緊急ブレーキ	エレクトリック・パーキング・ブレーキの緊急ブレーキ機能が作動しています。 緊急ブレーキの後、シンボルは消灯します。
 点灯	 故障 パーキングブレーキ	パーキング・ブレーキに故障があります。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

あ か	安全		
インストルメント・パネルの表示	マルチファンクション・ディスプレイのメッセージ	意味および必要な措置	
さ		電動パーキングブレーキがサービスモードです	パーキング・ブレーキがサービス・モードになっています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
た な	点滅	パーキングブレーキ 解除	パーキング・ブレーキが作動しています。 ▶ エレクトリック・パーキング・ブレーキのスイッチを引いてください。 ▶ 「エレクトリック・パーキング・ブレーキ」(244ページ)を参照してください。
は	点灯	ブレーキを 踏みます	パーキング・ブレーキが作動しています。 ▶ エレクトリック・パーキング・ブレーキを解除するときは、ブレーキ・ペダルを踏んでください。
ま や		雨/光センサー 故障 修理が必要です	雨/光センサーが故障しています。 ▶ フロント・ワイパーおよびライトを手動でONにしてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
ら	点滅	ベンディングライト 故障 要修理	コーナリング・ライト故障 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
わ	点灯	ビームライト制御 故障 要修理	ドライビング・ライト制御が故障しています。 ▶ 慎重な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
A-Z		ヘッドライトレベリング制御 故障 要修理	ヘッドライト・レベリング故障 ▶ 慎重な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
点滅		ヘッドライト制御 故障 要修理	ヘッドライト制御が故障しています。 ▶ 慎重な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	例：左前 ウィンカーを点検します	表示されたライトが点灯していません。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*	













* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

安全

インストルメント・パネルの表示	マルチファンクション・ディスプレイのメッセージ	意味および必要な措置
	故障 HbE-A アシスト HbE-A 手動で有効 要修理	ハイビーム・アシスタントが故障しています。 ▶ ハイビームを手動で点灯してください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	High beam assist currently restricted No camera view Clean glass if req (ハイビームアシスト現在不可、カメラ視野無 必要に応じてフロントウインドウ洗浄)	カメラの故障により、ハイビーム・アシスタントが一時的に使用できなくなっています。 ▶ 必要であればウインドウを清掃してください。 故障が継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	PDLS+ 制限中 加減視野 無 場合により 要ガラス洗浄	カメラの故障により、ポルシェ・ダイナミック・ライト・システム・プラス (PDLSプラス) は一時的に使用できません。 ▶ 必要であればウインドウを清掃してください。 故障が継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	故障 PDLS+ HbE-A 手動で 操作 要修理	ポルシェ・ダイナミック・ライト・システム・プラス (PDLSプラス) が故障しています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	ヘッドライト 点灯	ドライビング・ライトまたはパーキング・ライトが点灯しています。
	パーキングライト オン	左または右のパーキング・ライトが点灯しています。
	ワイパー故障 要修理	ワイパーが故障しています。 ▶ 慎重な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

あ	安全		
か	インストルメント・パネルの表示	マルチファンクション・ディスプレイのメッセージ	意味および必要な措置
さ			1つまたは複数のタイヤに著しい空気圧の低下があります。
た	 点灯		タイヤ 要点検
な			<ul style="list-style-type: none"> ▶ 適切な場所に停車して下さい。 ▶ 該当するタイヤに損傷がないか点検してください。 ▶ 「タイヤの損傷の検出」(172ページ)を参照してください。 ▶ 必要に応じてタイヤ・シーラントで応急処置を行ってください ▶ 「パンクしたとき」(232ページ)を参照してください。 ▶ 次の機会に正しいタイヤ空気圧に調整してください。 ▶ 「タイヤ空気の充填」(170ページ)を参照してください。
は			1つまたは複数のタイヤの空気圧が不足しています。
ま	 点灯		空気を充填
や			<ul style="list-style-type: none"> ▶ 次の機会に正しいタイヤ空気圧に調整してください。 ▶ 「タイヤ空気の充填」(170ページ)を参照してください。
ら	 点滅または点灯		故障 監視 タイヤ圧 要修理
わ			<p>タイヤ空気圧モニタリング・システム (TPM) が故障しています。タイヤ空気圧は監視されません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
A-Z	 点滅または点灯		監視 タイヤ圧 短時間 無効
			<p>タイヤ空気圧モニタリング・システム (TPM) に一時的な故障が発生しています。タイヤ空気圧は監視されません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	 点滅または点灯		監視無 タイヤ圧 学習 25 km/h 以上
			<p>タイヤ空気圧モニタリング・システム (TPM) がタイヤの登録を完了するまでには一定の時間が必要です。</p> <p>このプロセスを実行中は、マルチファンクション・ディスプレイに現在のタイヤ空気圧は表示されません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 後ほどタイヤ空気圧モニタリングを再実行してください。
	 点滅または点灯		ホイールを 交換しますか? 選択し直します
			<p>タイヤを交換した後は、タイヤ設定を更新する必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ マルチファンクション・ディスプレイのタイヤ設定を更新してください。 ▶ 「タイヤ空気圧メニュー (タイヤ空気圧モニタリング、TPM)」(301ページ)を参照してください。

* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

エンジン	インストルメント・パネルの表示	マルチファンクション・ディスプレイのメッセージ	意味および必要な措置
		油量最低以下 最大xx 要オイル充填 継続走行不可	<p>オイル・レベルが下限を下回っている</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 直ちに適切な場所に停車してエンジンをOFFにしてください。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ エンジンまたは車両下部に明らかなオイル漏れがないか点検してください。明らかなオイル漏れがあるときは走行を続けしないでください。 ▶ マルチファンクション・ディスプレイ上でオイル測定を選択してください： <ul style="list-style-type: none"> ▷ 「エンジン・オイル・レベルのチェックと表示」(299ページ)を参照してください。 ▶ 必要に応じてエンジン・オイルを補充してください。 ▷ 「エンジン・オイルの選択と補充」(69ページ)を参照してください。 ▶ オイル・レベルが適正でも警告メッセージが表示される場合は、運転を続けしないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		油量 上限超過 整備工場へ 継続走行可	<p>オイル・レベルが最大値を超過しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		故障 油量測定 整備工場へ 継続走行可	<p>オイル・レベル測定に故障があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		油量最低ライン	<p>最低オイル・レベルに達している</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ エンジン・オイルを補充してください。 ▷ 「エンジン・オイルの選択と補充」(69ページ)を参照してください。
		現在オイルレベルの情報信号は 利用できません	<p>状況により、オイル・レベルが表示されないことがあります。例えば、以下のような状況が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> - エンジン冷間時 - フルスロットで高速走行後の停車時 - エンジン油温が高すぎる場合 ▶ オイル・レベル測定を再度実施してください。 ▷ 「エンジン・オイル・レベルのチェックと表示」(299ページ)を参照してください。

* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

あ	エンジン		
か	インストルメント・パネルの表示	マルチファンクション・ディスプレイのメッセージ	意味および必要な措置
さ		油圧が低すぎます 停車して下さい	<p>エンジン・オイル圧力が低すぎます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 直ちに適切な場所に停車してエンジンをOFFにしてください。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ エンジンまたは車両下部に明らかなオイル漏れがないか点検してください。 ▶ マルチファンクション・ディスプレイ上でオイル測定を選択してください： ▷ 「エンジン・オイル・レベルのチェックと表示」(299ページ)を参照してください。 ▶ 必要に応じてエンジン・オイルを補充してください。 ▷ 「エンジン・オイルの選択と補充」(69ページ)を参照してください。 ▶ オイル・レベルが適正でも警告メッセージが表示される場合は、運転を続けしないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
た		故障 油圧測定 継続走行可 整備工場へ	<p>オイル圧力測定に故障があります。</p> <p>継続走行可</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
な		油温 高過ぎ 負荷軽減	<p>エンジン油温が高すぎます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 適切な場所に停車して下さい。エンジンをOFFにして冷やしてください。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ マルチファンクション・ディスプレイ上でオイル測定を選択してください： ▷ 「エンジン・オイル・レベルのチェックと表示」(299ページ)を参照してください。 ▶ 必要に応じてエンジン・オイルを補充してください。 ▷ 「エンジン・オイルの選択と補充」(69ページ)を参照してください。
は		故障 表示油温 整備工場へ 継続走行可	<p>エンジン油温計が故障しています。</p> <p>継続走行可</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

エンジン

インストルメント・
パネルの表示

マルチファンクション・ディスプレイの
メッセージ

意味および必要な措置

クーラント表示が
最高マーク



**すぐに冷却水を 充填して下さい
継続走行不可**

- クーラント・レベルが低すぎます。
- ▶ 直ちに適切な場所に停車して下さい。エンジンをOFFにして冷やしてください。
 - ▶ クーラント・レベルを点検してください：
 - ▷ 「クーラント（冷却水）」（93ページ）を参照してください。
 - ▶ 必要に応じてクーラントを補充してください。

故障が継続する場合：

- ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*



**冷却水 要充填
モーター温度 要監視**

- クーラント・レベルが低くなっています。
- ▶ クーラント・レベルを点検してください：
 - ▷ 「クーラント（冷却水）」（93ページ）を参照してください。
 - ▶ 必要に応じてクーラントを補充してください。

故障が継続する場合：

- ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

クーラントまたは
エンジン・オイル
の温度表示が最高
マーク



**モーター温度超過
停車して冷まして下さい**

- クーラント温度または油温が高すぎます。
- ▶ 直ちに適切な場所に停車して下さい。エンジンをOFFにして冷やしてください。
 - ▶ ラジエーターおよび車体周辺の空気取り入れ口がゴミなどで塞がれていないか点検してください。
 - ▶ クーラントおよびエンジン・オイルのレベルを点検してください：
 - ▷ 「クーラント（冷却水）」（93ページ）を参照してください。
 - ▷ 「エンジン・オイル・レベルのチェックと表示」（299ページ）を参照してください。
 - ▶ 必要に応じてクーラントを補充してください。
 - ▷ 「クーラント・レベルの点検と補充」（93ページ）を参照してください。
- 故障が継続する場合：
- ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*













**故障 表示 冷却水温
継続走行可
整備工場へ**

- 冷却水温度計が故障しています。
- ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

あ	エンジン			
か	インストルメント・パネルの表示	マルチファンクション・ディスプレイのメッセージ	意味および必要な措置	
さ		故障 冷却システム 整備工場へ 要修理	冷却システムが故障しています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*	
た		故障 エンジン ルームブロワ 全負荷 回避 継続走行可	エンジン・ルーム・ブロワーが故障しています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*	
な			Reduced engine power Consult a garage Driving permitted (エンジン出力低下 整備工場へ 継続走行可)	エンジン出力が低下します。 継続走行可 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
は			故障 エンジン制御 整備工場へ 継続走行可	エンジン制御システムが故障しています。 継続走行可 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
ま	水温計の警告灯が点滅します。		故障 エンジン制御	エンジン制御システムが故障しています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
や	* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。			
ら				
わ				
A-Z				

車両	インストルメント・パネルの表示	マルチファンクション・ディスプレイのメッセージ	意味および必要な措置
		故障 ジェネレーター 停車して下さい	オルタネーターが故障しています。 ▶ 適切な場所に停車してエンジンをOFFにしてください。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		バッテリー機能 制限中 整備工場へ	バッテリー機能が制限されます。 継続走行可 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		バッテリー 弱 エンジンを始動ししばらく稼働させて下さい	バッテリーの充電状態が低すぎます。 ▶ バッテリーを充電するため、エンジンを始動してください。
		バッテリー 弱 消費装置オフ	バッテリーの充電状態が低すぎます。 バッテリーの放電を防ぐため、コンフォート機能への電源供給が停止されます。 継続走行可
		停車中に バッテリー 保護が有効でした	バッテリー保護が有効です、または有効でした。 バッテリーの放電を防ぐため、停車時に電装品の作動が停止されました。 継続走行可
		Discharging safeguard battery empty, Capacity xx % (バッテリーの 放電保護が 有効です容量 xx%)	バッテリー放電保護が有効です、または有効でした。 バッテリーの放電を防ぐため、電装品の作動が停止されました。 継続走行可 ▶ バッテリー容量を確認してください。必要に応じてバッテリーを充電してください。 ▶ 「バッテリーの充電」(230ページ)を参照してください。
		バッテリー要充電 正しい極性に注意	バッテリーの充電状態が低すぎます。 ▶ バッテリーを充電してください。 ▶ 「バッテリーの充電」(230ページ)を参照してください。
		エンジンを 手動で 始動してください	▶ イグニッションを使用して、手動でエンジンを始動してください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

あ	車両			
か	インストルメント・パネルの表示	マルチファンクション・ディスプレイのメッセージ	意味および必要な措置	
さ		イグニッションをOFFにして下さい	バッテリー上がりを防止してください。 ▶ エンジンが自動停止した後、車両から離れるときはイグニッションをOFFにしてください。	
た		ブースト圧表示 故障要修理	ブースト圧計（過給圧計）に不具合があります。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*	
な	セレクター・レバー・ポジション・ディスプレイが点滅		セレクターレバー タグサイイチニソウサ	PDK装備車：セレクター・レバーが2つのポジションの間にある可能性があります。 ▶ ギアセレクト 正確に入れて下さい
ま		選択レバーを P 位置にします	PDK装備車：キーを抜き取る前や、駐車する場合はセレクター・レバーをPの位置にしてください。 ▶ セレクター・レバーをPの位置にしてください。	
や		選択レバーを P 位置または N 位置にします	PDK装備車：セレクター・レバーがPまたはNの位置にあるときのみ車両を始動することができます。 ▶ セレクター・レバーをP位置またはN位置にします。	
ら		ブレーキを 踏みます	PDK装備車：ブレーキ・ペダルが踏まれている時のみ車両を始動できます。 ▶ 始動時はフットブレーキを踏んでください。	
わ	セレクター・レバー・ポジション・ディスプレイが点滅		T/M故障 安全に停車 してください	PDK装備車：トランスミッションが故障しています。インストルメント・パネルにセレクター・レバーの位置が表示されなくなります。次に停車するまでは走行が可能です。運転を続けしないでください。 ▶ 直ちに適切な場所に停車してください。 ▶ ポルシェ正規販売店まで車両をけん引してください。 ▶ 「けん引およびけん引によるエンジンの始動」（119ページ）を参照してください。
A-Z	セレクター・レバー・ポジション・ディスプレイが点滅		Gearbox fault Poss. no R gear Drive on poss. (T/M故障 リバースギヤ不可 運転可能)	PDK装備車：トランスミッションが故障しています。リバース・ギヤに入らないことがあります。スムーズな変速ができなくなりますが、継続走行可能です。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。				

車両		
インストルメント・パネルの表示	マルチファンクション・ディスプレイのメッセージ	意味および必要な措置
	ギヤボックス オーバーヒート レイキャクノタメティヤスル	PDK装備車：トランスミッションの温度が高すぎます。 ▶ 適切な場所に停車して下さい。トランスミッションを冷やしてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	T/M温度 高すぎる 負荷を下げる	PDK装備車：トランスミッションの温度が高すぎます。 継続走行可車両発進時に異常を知らせる不自然な動きが感じられるとともに、エンジン出力が制限されます。 ▶ 適切な場所に停車して下さい。 ▶ エンジンにかかる負荷を小さくしてください。 ▶ アクセル・ペダルで車両を保持せず、ブレーキを使用してください。 ▶ 警告が消えるまでセレクター・レバーをPまたはNの位置にしてエンジンをアイドリングしてください。
	ディーゼル粒子フィルタ 要点検	ディーゼル・パティキュレート・フィルターがすすでいっぱいです。 ▶ フィルターを自動清掃するためのドライビング・スタイルで運転してください。約15分間、60km/h以上の速度と2,000rpm以上のエンジン回転数を維持して走行してください。法定速度を遵守してください。* 故障が継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	VTS 強化、コードを入力して 確定してください	ポルシェ車両追跡システム (PVTS) が作動しています。 ▶ PVTSプラスを停止するためにはリモート・キーパッドの数字キーを使用してコードを入力してください。
	VTS強化、X分以内にコード を入力してください	ポルシェ車両追跡システム (PVTS) が作動しています。 ▶ PVTSプラスを停止するためにはリモート・キーパッドの数字キーを使用してコードを入力してください。
	ドライバー カードが検知され ません	ドライバー・カードが検出されません。 ▶ ボタンを押してドライバー・カードを再度作動してください。 ▶ 必要に応じてセキュリティー・オペレーティング・センター (SOC)に連絡してください。*
	ドライバー カード電池不足 交換して下さい	ドライバー・カードの電池が消耗しています。 ▶ 電池を交換してください。

* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

* 日本仕様に設定はありません。

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

あ	車両		
か	インストルメント・パネルの表示	マルチファンクション・ディスプレイのメッセージ	意味および必要な措置
さ		リモートキー パッド電池不足 交換して下さい	リモート・キーパッドの電池が消耗しています。 ▶ 電池を交換してください。
た		コードが間違っています 再入力してください	リモート・キーパッドの数字キーを使用して入力したコードが間違っています。 ▶ ポルシェ車両追跡システム (PVTS) を停止するには、リモート・キーパッドの数字キーを使用してコードを入力し、決定します。
な		窃盗未遂が検知されました、 VTSアラーム有効	盗難未遂が検出されました。 ▶ コントロール・センターに連絡してください。
は		表示 外気温 故障 要修理	外気温表示に故障があります。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
ま		ドロップフレーム 有効	車両の後部を下げています。終端位置に達するとメッセージは消えます。
や		サンルーフ 完全に閉める	スライディング・ルーフが閉じていない ▶ スライディング・ルーフを完全に閉じてください。
ら		例： xxx kmでのメンテナンス	▶ 表示されている距離/期日を過ぎる前にメンテナンスを行ってください。 ただし、整備手帳に掲載されているサービス・インターバルを優先してください。
わ		故障 要修理 継続走行可	▶ できるだけ早くメンテナンスを行ってください。
A-Z	燃料計の警告灯が 点灯		ソウコウカノウ キョリ チュウイ
			燃料タンクが空です。 ▶ 最寄りの給油所で給油してください。 ▶ 「給油」(88ページ)を参照してください。
			Fault tank display service necessary (故障 燃料 計表示 要修理)
			燃料計が故障しています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*









* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

車両			
インストルメント・パネルの表示	マルチファンクション・ディスプレイのメッセージ		意味および必要な措置
 点灯		夕夕蓋 要点検	タンク・キャップが完全に閉じていません。 ▶ 燃料給油口のキャップを正しく取り付け、確実に閉じてください。 ▷ 「給油」(88ページ)を参照してください。
		燃料残量低下 補助ヒーター使用不可	燃料がリザーブ・レベルに下がっています。補助ヒーターは使用できません。*
		外気温 補助ヒーター 使用不可	外気温度が高すぎるため、補助ヒーターは使用できません。*
		補助ヒータータイマー <> <日付/時間> 有効化/無効化	補助ヒータータイマーに日付/時間を作動/停止が設定されました。*
		エンジン始動不可 AdBlue補充	AdBlue [®] レベルが低すぎます。 ▶ 直ちにAdBlue [®] を補充してください。* ▷ 「AdBlue の補充⑥*」(91ページ)を参照してください。
		AdBlueを充填してください。 xxx kmでエンジン始動不可	AdBlue [®] レベルが低すぎます。AdBlue [®] を補充するまで、エンジンを始動できません。 ▶ 表示の距離内でAdBlue [®] を補充してください。* ▷ 「AdBlue の補充⑥*」(91ページ)を参照してください。
		AdBlueを充填してください。 残り走行距離xxx km	AdBlue [®] を補充するまで、エンジンを始動できません。 ▶ 表示の距離内でAdBlue [®] を補充してください。* ▷ 「AdBlue の補充⑥*」(91ページ)を参照してください。
		AdBlue故障 エンジン始動不可	AdBlue [®] システムが故障しています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		AdBlue故障 xxx kmでエンジン始動不可	AdBlue [®] システムが故障しています。故障が修理されるまで、エンジンを始動できません。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		扉が開いています	▶ 該当する車両のドアまたはカバーを閉じてください。

* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

* 日本仕様に設定はありません。

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

あ	車両		
か	インストルメント・パネルの表示	マルチファンクション・ディスプレイのメッセージ	意味および必要な措置
さ		洗淨水を 補充します	ウォッシャー液が空です。 ▶ ウォッシャー液を補充してください。 ▷ 「ウォッシャー液」(54ページ)を参照してください。
た		故障 ポルシェエントリ&ドライブ	故障 ポルシェエントリ&ドライブ ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
な		キーが見つからない/障害あり キーの位置を変更して下さい	ポルシェ・エントリー & ドライブ 装備車 キー位置が正しくありません。 ▶ キーを携行するか、車内でのキーの位置を変えてください。
は		キーをトランクから 抜いて下さい	ポルシェ・エントリー & ドライブ 装備車 キーがラゲッジ・コンパートメント内にあります。 ▶ キーをラゲッジ・コンパートメントから取り出してください。
ま		車両内に複数の キーが 検知されました	ポルシェ・エントリー & ドライブ 装備車 車内に複数のキーがあります (同乗者がキーを持っている場合など)。
や		車両キー内の バッテリーを 交換します	キーの電池が消耗しています。 ▶ 電池を交換してください。 ▷ 「キーの電池を交換する」(85ページ)を参照してください。
ら		イグニッションキーを 抜いて下さい	▶ イグニッション・キーを抜いてください。
わ		スイッチ部：左へ回し、取り外し、キーを差し込む	ポルシェ・エントリー & ドライブ 装備車 車内には、キーは検出されませんでした。 イグニッションをONにできず、エンジンを始動できません。 ▶ コントロール・ユニットをイグニッション・ロック位置0に戻し、イグニッション・ロックから取り外してください。 ▶ キーを使用してイグニッションをONにしてください (エマージェンシー・キーは除く)。
















* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ドライビング・システム

インストルメント・
パネルの表示

マルチファンクション・ディスプレイの
メッセージ

意味および必要な措置

				
	点灯		PSMシステム 故障 安全な場所に停車して下さい	<p>ポルシェ・スタビリティ・マネージメント (PSM) システムが故障しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 適切な場所に停車して下さい。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
				
	点灯		ABS/PSM failure Consult a garage Adapted driving permitted (故障 ABS/PSM 整備工場へ 慎重に走行して下さい)	<p>ポルシェ・スタビリティ・マネージメントが故障しています。 継続走行可</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 慎重な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	点灯		PSM オフ	ポルシェ・スタビリティ・マネージメント (PSM) がOFFになっています。
			PSM オン	ポルシェ・スタビリティ・マネージメント (PSM) がONになっています。
				
	点滅		PSM が診断 モードです	ポルシェ・スタビリティ・マネージメント (PSM) が診断モードです。
				
			サスペンション・システムが 故障しています。	<p>故障 シャーシシステム</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 直ちに適切な場所に停車してください。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら









わ

A-Z

あ か	ドライビング・システム		意味および必要な措置
さ た	インストルメント・パネルの表示	マルチファンクション・ディスプレイのメッセージ	
な は		Suspension system fault Adapted driving permitted (故障 サスペンションシステム 慎重に走行して下さい)	故障 シャーシシステム ハンドリング性能に悪影響が出ます。 ▶ 慎重な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
ま や		No all-wheel sys. Only rear-wh drive Adapted driving permitted (故障 4輪駆動 後輪のみ駆動 慎重に走行して下さい)	ポルシェ・トラクション・マネージメント (PTM) に一時的な不具合が発生しています。 ▶ 負荷を小さくしてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
ら わ		All-wheel overload Only rear-wh drive Reduce load Driving permitted (4輪駆動過 負荷 後輪のみ駆動 負荷軽減 継続走行可)	ポルシェ・トラクション・マネージメント (PTM) に一時的な不具合が発生しています。 ▶ 負荷を小さくしてください。 故障が継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
A-Z		All-wheel function restricted Adapted driving permitted (4輪駆動機能 制限中 慎重に 走行して下さい)	ポルシェ・トラクション・マネージメント (PTM) は制限付きで利用可能です。 ▶ 負荷を小さくしてください。 故障が継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		All-wheel drive system fault Adapted driving permitted (故障 4輪駆動システム 慎重に 走行して下さい)	ポルシェ・トラクション・マネージメント (PTM) が故障しています。 ▶ 負荷を小さくしてください。 故障が継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		Fault differential lock Possible to drive on (故障 デフロック 継続走行 可能)	ポルシェ・トラクション・マネージメント (PTM) が故障しています。 ▶ 負荷を小さくしてください。 故障が継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		Differential lock overload (デフロック過剰負荷) 慎重に走行して下さい	ポルシェ・トラクション・マネージメント (PTM) の負荷が過大です。 ▶ 負荷を小さくしてください。 故障が継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*








* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ドライビング・システム

インストルメント・パネルの表示	マルチファンクション・ディスプレイのメッセージ	意味および必要な措置
	オフロード 使用不可 要減速	オフロード・モードは90km/h以下の速度でのみ選択できます。 ▶ 速度を落としてください。
	All-wheel system temperature limit Reduce load (4輪駆動システム 温度限界 負荷軽減)	ポルシェ・トラクション・マネージメント (PTM) の負荷が過大です。 ▶ 負荷を小さくしてください。 故障が継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	スポーツモード不可 オフロード 要無効化	▶ スポーツ・モードをONにするためにオフロード・モードをOFFにしてください。 ▶ 「オフロード・モード」(77ページ)を参照してください。
	故障 アシスタントシステム/ カメラ 要修理	アシスタンス・システムまたは車両カメラが故障しています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	視野 前面カメラ制限中 場合に より要ガラス洗浄	アシスタンス・システムまたはカメラが天候状態やウィンドウの汚れにより、一時的に使用できなくなっています。 ▶ 必要であればウィンドウを清掃してください。 故障が継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	ローンチ コントロールが 有効です	ローンチ・コントロールが作動しています。
	System fault Possible to drive on Visit garage (システムエラー 継続走行可能 要修理)	複数の電気系統のシステムが故障している可能性があります。 ▶ 慎重な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	故障 音声出力 コンビ機器/フ ントパークアシスタント 前 要修理	警告音および駐車アシストの距離信号などが使用できません。 ▶ 慎重な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

あ	ドライビング・システム		
か	インストルメント・パネルの表示	マルチファンクション・ディスプレイのメッセージ	意味および必要な措置
さ		故障 音声出力パークアシスタント 要修理	警告音およびパーキング・アシスタントの距離信号などが使用できません。 ▶ 慎重な運転を心がけてください。 ▶ 駐車時、車両の故障を考慮してください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
た		故障 パークアシスト	故障 パークアシスト ▶ 慎重な運転を心がけてください。 ▶ 駐車時、車両の故障を考慮してください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
な		車間距離ブレーキを操作	前走車との車間距離が十分ではありません。 ▶ 慎重な運転を心がけてください。 ▶ 前走車から離れて後方に下がってください。
は		ACC/PAS unavailable Sensor dirty Please clean (ACC/PAS 使用不可 センサーに汚れ 要洗浄)	車両前部のセンサーの汚れまたは天候によってアダプティブ・クルーズ・コントロール (ACC) が悪影響を受けている可能性があります。 ▶ 慎重な運転を心がけてください。 ▶ 必要であればセンサーを清掃してください。 故障が継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
ま		ACC/PAS 使用不可 要修理	アダプティブ・クルーズ・コントロール (ACC) が故障しています。 ▶ 慎重な運転を心がけてください。 故障が継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
や		ACC/Cruise control not possible Move gear selector to D/M (ACC/クルーズ・コントロール不可 ギヤセレクターをD/Mへ切替)	PDK装備車： アダプティブ・クルーズ・コントロール (ACC) はセレクターレバーがD位置またはM位置にある場合にのみ可能です。 ▶ セレクター・レバーをD位置またはM位置に入れてください。
ら		制限1/制限2を越えました	設定した速度制限1または2を超過しています。

* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ドライビング・システム

インストルメント・パネルの表示	マルチファンクション・ディスプレイのメッセージ	意味および必要な措置
	制限速度表示 制限中 カメラ視野無要ガラス洗浄	悪天候またはフロント・ウィンドウの汚れにより、制限速度表示が一時的に利用できなくなっています。* ▶ 必要であればウィンドウを清掃してください。 故障が継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	制限速度表示 現在制限中	ナビゲーション・データを一時的に受信できなくなっています。* 故障が継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	制限速度表示 現在 使用不可	一時的にカメラ画像を評価できなくなっています。* 故障が継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	故障 制限速度表示 要修理	カメラまたはナビゲーション・システムが故障しています。* ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	LCA 現在使用不可	レーン・チェンジ・アシスト (LCA) が天候状態や粉塵により一時的に利用できなくなっています。
	LCA 故障 要修理	レーン・チェンジ・アシスト (LCA) が故障しています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	LCA センサー遮断 リヤバンパー要洗浄	レーン・チェンジ・アシスト (LCA) センサーが、ステッカー、汚れ、-または氷結などにより遮断されています。 ▶ 必要であればセンサーを清掃してください。
	LCA トレーラー運転中 使用不可	けん引しているときはレーン・チェンジ・アシスト(LCA)を使用できません。
	LKS 中断要運転操作	ステアリング・ホイールが操作されていないため、レーン・キープ・アシストはOFFになっています。 ▶ ステアリング・ホイールを動かし、レーン・キープ・アシストを再作動させてください。
	LKS 現在 使用不可	LKS 現在 使用不可

* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

* 日本仕様に設定はありません。

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ

A-Z

あ か	ドライビング・システム		意味および必要な措置
さ た な	インストルメント・パネルの表示	マルチファンクション・ディスプレイのメッセージ	<p>レーン・キープ・アシストが天候状態やフロント・ウィンドウの汚れにより一時的に使用できなくなっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 必要であればウィンドウを清掃してください。 <p>故障が継続する場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
は		LKS 制限中 カメラ視野無要ガラス洗浄	<p>LKS 故障</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 慎重な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
ま や ら		Lane departure warning restricted, no camera view clean glass if required (LDW 制限、カメラ視野無 必要に応じてフロントウィンドウ洗浄)	<p>車線逸脱警告が天候状態やフロント・ウィンドウの汚れにより一時的に使用できなくなっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 必要であればウィンドウを清掃してください。 <p>故障が継続する場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
わ		シャセンイツダツ ケイコク ゲンザイ ショウフカ	<p>車線逸脱警告が一時的に制限されています。</p>
A-Z		故障 車線逸脱警告 要修理	<p>車線逸脱警告が故障しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 慎重な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		安全な場所に停車してトレーラー連結部をロック	<p>電動格納式トレーラー・ヒッチのボール・ヒッチが固定位置にありません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 適切な場所に停車して下さい。 ▶ ボール・ヒッチが固定位置に来るまでボタンを押してください。 ▶ 「トレーラー・ヒッチ (トレーラー・カップリング)」 (203ページ) を参照してください。
		監視無 トレーラーロック 安全な場所に停車して下さい	<p>電動格納式トレーラー・ヒッチの故障</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 適切な場所に停車して下さい。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

けん引およびけん引によるエンジンの始動

i インフォメーション

- けん引およびけん引によるエンジンの始動を行うときは、法規等を遵守してください。
- 車両をけん引するときは十分注意してください。発進する前に、けん引する車両とけん引される車両の両方のドライバーが、けん引によるエンジンの始動とけん引時の通常とは異なる運転特性をしっかりと理解しておくことが大切です。
- 電気系統の不具合が発生している場合、エレクトリック・パーキング・ブレーキやステアリング・コラム・ロックを解除するために外部電源の接続が必要なことがあります。

けん引ロープまたはけん引バーの使用

- けん引ロープ/けん引バーの規格と取り扱い方法は、製品メーカーの取扱説明書を参照してください。製品メーカーが指示する注意事項と取り扱い方法に従ってください。
- 必ずけん引ロープまたはけん引バーの定格荷重を遵守してください。けん引ロープまたはけん引バーの許容荷重が、けん引される車両の重量よりも大きいことを確認してください。製品メーカーが指定する定格荷重を超えてはなりません。
- ブレーキが故障した車両をけん引しないでください。

けん引ロープを使用する

- けん引するときは、けん引ロープをけん引フックに固定する前に、けん引フックを車両に取り付けてください。
- 「けん引フックの取り付け」(120ページ)を参照してください。
- けん引による走行中は、ロープがたるまないように注意し、ロープに急激な衝撃を与えないでください。

けん引バーを使用する

- けん引バーを斜め方向に取り付けしないでください。

けん引または押しがけによる始動

バッテリーに不具合があるとき、またはバッテリーが完全に上がってしまったときは、バッテリーを交換するか、ジャンパー・ケーブルを使用してエンジンを始動させてください。

- 「バッテリー」(229ページ)を参照してください。
- 「ジャンパー・ケーブルによる始動」(141ページ)を参照してください。
- Porsche Doppelkupplung (PDK) 装備車では、トランスミッションに重大な損傷を与える恐れがあるため、けん引または押しがけによるエンジンの始動はできません。

けん引

⚠ 警告

パワー・アシスト機能が作動しないことによる操舵力とブレーキ踏力の増加

けん引される車両のエンジンが停止している場合、ステアリング・アシストが働きません。ブレーキやステアリング操作に大きな力が必要となります。ステアリングやブレーキ操作に大きな力が必要となります。

- 車両をけん引するときは十分注意してください。

車両をけん引する場合、この車両より車両重量の大きい車両はけん引しないでください。

エンジンが停止している場合、トランスミッション・オイルが循環しません。トランスミッションの損傷を回避するため、次の点に注意してください：

PKD装備車に関する重要なインフォメーション：

- セレクター・レバーの緊急解除を行ったまたはPDKトランスミッションが緊急作動モードになっている場合（警告メッセージがトランスミッション故障を表示している）、車両を絶対にけん引しないでください。車両輸送専用車またはトレーラーを使用してください。
- 「PDKセレクター・レバーの解除」(370ページ)を参照してください。

4WD/ポルシェ・トラクション・マネージメントシステム (PTM) に関する重要なインフォメーション：

- けん引時は**4輪すべて**が接地するようにするか、車両輸送専用車で輸送しなければなりません。フロント、**リヤいずれかのアクスルを上げてのけん引はできません**

4輪が接地した状態でのけん引時の注意事項

- けん引される車はイグニッション・スイッチをONにして、ブレーキ・ライトや方向指示灯が機能し、ステアリング・ロックが解除されるようにしてください。

けん引

- PDK装備車：PDKセレクター・レバーを**N**の位置にしてください。セレクター・レバーの表示も含めて正しく**N**の位置にするには、車両をけん引する前にエンジンを一度始動しなければなりません。セレクター・レバーが**N**の位置にあり、ディスプレイ上でもセレクター・レバー位置が**N**になれば、車両をけん引できます。
- けん引されるときの速度は 50km/h 以下にしてください。けん引距離は50km以内にしてください。50kmを超える場合は、車両輸送専用車またはトレーラーを使用してください。

雪や砂などで立ち往生した車両の救援

- ▶ 立ち往生した車両を救出するときは十分に注意してください。
- ▶ 車両を急に引っ張ったり、角度を付けて斜め方向に引いたりしないでください。
- ▶ 可能な限り、立ち往生した車両を進入したタイヤの軌跡に沿って元の方向に引き出してください。

けん引フックの使用

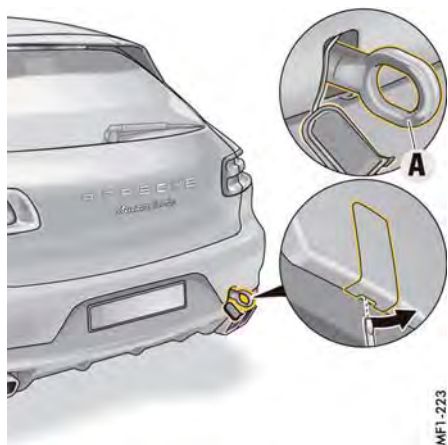


図66: リヤのけん引フック

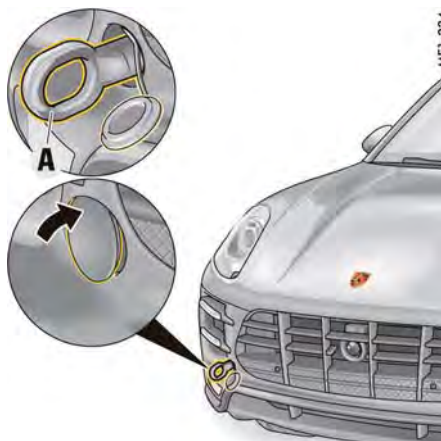


図67: フロントのけん引フック

けん引フックの取り付け

けん引フックは工具セットに収納されています。

- ▶ 「コンプレッサー/タイヤ・シーラントの取り外し」(332ページ)を参照してください。

1. プラスチック・カバーの下端をバンパー内に押し込む、またはドライバーで慎重にプラスチック・カバーを取り外してください。
2. カバーをバンパーから引き出し、カバーに付いているひもで吊り下げられた状態にしてください。
3. けん引フック A を反時計回りにいっぱいねじ込み(逆ねじ)、手で締め付けてください。

けん引フックの取り外し

1. けん引フック A を外してください(時計回りに回転させてください(逆ねじ))。
2. 開口部の下端にプラスチック・カバーを差し込んでください
3. カバーをかぶせ、上端を押してバンパーにはめ込んでください。
4. けん引フックを工具セットに収納してください。

鉄道、船舶、積載車での輸送

- ▶ ロープ等で車両を固定するときは、ホイールでのみ固定してください。
- ▶ 室内モニタリング・システムと傾斜センサー*を解除してください。
- ▶ 「室内モニタリング・システムおよび傾斜センサー*をOFFにする」(97ページ)を参照してください。

* 日本仕様に設定はありません。

故障診断用ソケット

故障診断用ソケット (J-20ページ) は、ポルシェ正規販売店で故障診断機器を接続するために使用されます。

⚠ 警告

車両電気リカル・システムへの不当な介入

外部装置 (ナビゲーション・ユニット、ヘッドアップ・ディスプレイなど) を故障診断用ソケットに接続した場合、車両システムの機能に支障をきたす恐れがあります。

- ▶ 故障診断用ソケットにはいかなる機器も接続しないでください。

⚠ 警告

運転席足元の機器がゆるんでいる、またはケーブルが垂れ下がっている場合

運転席足元の機器の取り付けがゆるんでいる場合、またはケーブルが垂れ下がっている場合、制動時またはカーブ走行時にペダル操作の障害となったり、ペダル間に挟まったりする可能性があります。

- ▶ 運転席の足元に、機器またはケーブルなどの物を置かないでください。

知識

イグニッションOFFの状態では故障診断用ソケットを使用して外部装置 (ナビゲーション・ユニット、ヘッドアップ・ディスプレイなど) を作動させると、バッテリーが上がる恐れがあります。車両を長期に渡って駐車したままにすると、バッテリーが完全に消耗し、損傷する (完全に上がる) 可能性があります。

- ▶ 故障診断用ソケットにはいかなる機器も接続しないでください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

車線逸脱警告システム

MF1-086

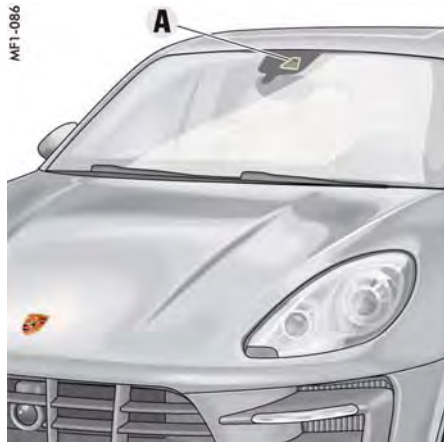


図68: ルーム・ミラー・カメラ

車線逸脱警告システムが運転者へ警告

車線逸脱警告システムは、気づかぬうちに車線を逸脱していることを検出すると、警告音および表示によりドライバーに知らせます。カメラ **A** が車線区分線を検出し、車線のコースを継続して再計算します。

約65km/h以上で走行中、システムが車線区分線との距離が危険な状態になったことを検出すると、警告音が鳴り、マルチファンクション・ディスプレイの該当する区分線がハイライトされます。

車線逸脱警告システムの例外

以下の場合、車線逸脱警告システムは利用できません：

- 方向指示灯がON
- PSM作動中
- 走行しているカーブの半径が小さすぎる(約300m以下)
- ブレーキを踏む力が強すぎる
- 車線区分線が隠れている、はっきり見えない、または消えている
- カメラの視界に汚れ、凍結、またはステッカーなどによる遮断がある
- 悪天候（豪雨、薄暮など）

⚠ 警告

集中力の低下

運転者は車両に対する完全な責任を引き続き負担します。システム自体は車両を正しい車線に維持することも、ドライバーの継続的な集中力の代わりになることもありません。

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ 交通状況と車両周囲には常に注意を払ってください。
- ▶ 交通状況に応じた速度で運転してください。

⚠ 警告

車線を検出するカメラの不良

雨水、雪、氷、多量の水しぶき、対向車のヘッドライト、障害物などでカメラの視界が低下すると、カメラは車線を検出できない、または正しく検出できない場合があります。そのため、システムが警告を出せなくなったり、誤って警告音を鳴らしたりする恐れがあります。

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ ハンドルをしっかりと持ち、車線区分線に常に注意を払ってください。
- ▶ ルーム・ミラーのカメラの視界（図68, **A**）をステッカーなどで遮らないでください。
- ▶ 正常な機能を維持するために、カメラの視界に付着した汚れ、氷、雪などを取り除いてください。
 - ▷ 車両のお手入れについて：「車両のお手入れ」（124ページ）を参照してください。

i

インフォメーション


車線逸脱警告機能は国によって異なり、すべての国別仕様に適用されるわけではありません。

車線逸脱警告システムのON/OFF



図69: 車線逸脱警告ボタン


車線逸脱警告システムをONにする

- ▶ / ボタンを押してください。

ボタンのインジケータ・ライトが点灯します。

ドライバーが気づかないうちに車線を逸脱すると、警告音が鳴り、マルチファンクション・ディスプレイの該当する区分線が橙色になります。

車線逸脱警告システムをOFFにする

- ▶ / ボタンを再度押してください。

ボタンのインジケータ・ライトが消灯します。

ドライバーが車線を逸脱しても警告は行われません。

車線逸脱警告システム・ディスプレイの呼び出しと読み上げ



図70: 車線逸脱警告表示

- A ACCメイン・メニュー
- B 車線区分線の表示
- C ステータス表示

アダプティブ・クルーズ・コントロール (ACC) 装備車

ACC メイン・メニュー (A) は車線区分線を表示します (B)。メイン・ACC メニューを選択していない場合、車線区分線はステータス・ディスプレイに表示されます (C)。

ACCメイン・メニュー呼び出し

- ▶ 「マルチファンクション・ステアリング・ホイールでのマルチファンクション・ディスプレイの操作」(296ページ) を参照してください。

- ▶ メイン・メニュー: ACC を選択してください。

アダプティブ・クルーズ・コントロール非装備車 (ACC):

車線区分線はステータス・ディスプレイ (C) のみ表示されます。

マルチファンクション・ディスプレイの読み上げ

マルチファンクション・ディスプレイのシンボル

ACC メイン・ステータス意味メニュー 表示



車線逸脱警告システムがONで、無効になっています。



車線逸脱警告システムがONで、有効になっています。



車両は、車線区分線から逸脱しました (オレンジ)。



車線逸脱警告とアダプティブ・クルーズ・コントロールは有効になっています。

警告タイミングおよび警告音量の調整

警告音が鳴るタイミングおよび音量は、マルチファンクション・ディスプレイで個別に調節できます。

- ▶ 「車線逸脱警告 - システムの設定」(309ページ) を参照してください。
- ▶ 「車線を逸脱しているときの警告音量の調整」(310ページ) を参照してください。

車両のお手入れ

▲ 警告

ブレーキ・ディスクの水膜

洗車後は、ブレーキの効きが悪くなり、ペダルを強く踏まなければならない場合があります。

- ▶ 洗車後は、ブレーキとステアリングの作動を点検してください。
- ▶ ブレーキを乾燥させるため、後方の安全を確認した上で定期的にブレーキをかけてください。このとき、後方の交通状況に注意してください。

i インフォメーション

適切な方法で定期的に車両のお手入れを行うことは、車両の価値を長持ちさせるだけでなく、保証を受ける際の有利な条件になります。ポルシェ社では、ポルシェ・テクニップメント製品のカー・ケア用品を使用することを推奨いたします。

- ▶ カー・ケア用品の使用に際しては、パッケージ等に記載された注意事項を必ず守ってください。
- ▶ これらの製品は、お子様の手が届かない安全な場所に保管してください
- ▶ 不要になった製品は、法規に従って適切な方法で廃棄してください。

車両の状態をしっかりと点検し、保証期間を最大限有効にするためには：ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店は状態レポートを発行し、小冊子「保証およびメンテナンス」の「長期保証状態レポート」にある車両のお手入れレベルを確認します。

知識

高圧洗浄機およびスチーム・クリーナーを使用すると、以下の構成部品に損傷を与える恐れがあります：

- タイヤ
- ロゴ、エンブレム
- 塗装面
- ウィング・エクステンション
- 電動格納式トレーラー・ヒッチのシール
- デコラティブ・フィルム
- オルタネーター、バルブ・カバー
- エンジン・コンパートメント内の電装部品とコネクタ
- パーキング・アシスタント・センサー
- アダプティブ・クルーズ・コントロール (ACC) 用レーダー・センサー
- リバース・カメラ
- ▶ 各装置に付属の取扱説明書をよくお読みください。
- ▶ デコラティブ・フィルムを洗浄するときは、高圧洗浄機またはスチーム・クリーナーを使用しないでください。
- ▶ 高圧洗浄機を使用する場合、ノズルから50cm以上離してください。
- ▶ 高圧洗浄機またはスチーム・クリーナーと丸型ジェット・ノズルを組み合わせ使用しないでください。高圧洗浄機またはスチーム・クリーナーと丸型ジェット・ノズルを組み合わせ使用すると、車両が損傷する原因になります。特にタイヤは損傷しやすいため、丸型ジェット・ノズルで洗浄しないでください。
- ▶ 高圧洗浄機を使用するときは、これらのコンポーネントにジェット・ノズルを直接向けないでください。
- ▶ エンジン・ルーム内の作業を行う前に、エンジンをOFFにし、十分に冷やしてください。
- ▶ 高圧洗浄機のジェットは絶対に開口部（スパークプラグ・シャフト、エア・クリーナー・ハウジング、エア・フィルターなど）に向けしないでください。洗浄前に開口部を覆ってください。

ドア・ロックの保護

適切なお手入れのため、以下の点に特に注意してください。

- ▶ ロック・シリンダーを無理に操作するなど、過大な力をかけないでください。
- ▶ 万一、ドア・ロックが凍結した場合は、市販の解凍剤を使用できます。

車両の洗浄

車両の外観を美しく保つには、日頃のお手入れが大切です。こまめに洗車し、ワックスで保護してください。解氷剤（塩分）、砂塵、ばい煙、昆虫の死骸、鳥の糞、樹液や花粉などは、車両に付着してからの時間が長くなるほど塗装に悪影響を与えます。

車両の塗装面に損傷を与えることなく洗車するために、次の点に注意してください：

- ▶ 車両下部は汚れが激しいため、遅くとも季節の変わり目には洗車して汚れを落としてください。
- ▶ ばい煙、油脂類、オイル、および重金属などが適切に処理できる洗車場でのみ洗車を行ってください。
- ▶ 直射日光の下や、塗装面の温度が高いときは洗車しないでください。
- ▶ 手洗いを行うときは、柔らかいスポンジ、洗車用ブラシ、カー・シャンプーを使用して多量の水で洗ってください。ポルシェ社では、ポルシェ・テクニップメント製品のカー・ケア用品を使用することを推奨いたします。
- ▶ 洗車を開始するときは、はじめに車両にたっぷり水をかけ、表面の主な汚れを洗い流してください。
- ▶ 洗剤を使った後は、水で十分にすすぎ、セームで拭き取ってください。ウィンドウには、ボディを洗ったときと同じセームを使用しないでください。

洗車機での洗車

知識

自動洗車機によっては、取り付けられたオプション部品やボディ表面から突出しているパーツが損傷する恐れがあります。

- ▶ 自動洗車機を使用する前に、洗車スタッフに確認してください。

以下の表を参考にし、車両を安全かつ慎重に洗車してください：

危険	以下の点をご確認ください。
洗車機で洗車中、不意のワイパー作動による損傷	<ul style="list-style-type: none"> ▶ フロント/リヤ・ウィンドウのワイパーをOFFにしてください。 ▶ 洗車機での洗車中はヘッドライト・ウォッシャーを操作しないでください。
外装部品への損傷	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ドア・ミラーを格納してください。 ▶ ルーフ・トランスポート・システムを完全に取り外してください。 ▶ 外部アンテナは取り外してください。
ホイールへの損傷	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 洗車機のガイド・レールに十分な寸法があるか確認してください。 ▶ タイヤのリム径が大きく高さが低くなるに従い、損傷のリスクも大きくなります。

危険	以下の点をご確認ください。
ハイグロスまたはシルクグロス・ホイールへの傷	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 洗車機のホイール用洗浄ブラシを使用しないでください。

塗装面のお手入れ

知識

塗装面に付着した汚れの粒子は、適切にお手入れをしないと塗装に損傷を与える場合があります。

- ▶ 乾いた布で汚れを拭きとらないでください。

知識

適切にお手入れを行わないと構成部品の艶消し効果が失われる場合があります。

- ▶ 艶消し仕上げの部品にワックスや光沢剤を使用しないでください。

塗装面の保護

塗装面は経年変化により光沢が失われていくため、洗車後は塗装保護剤等で定期的に保護する必要があります。この作業により塗装の光沢と強度を保つことができます。また、塗装面に新しい汚れが付着しにくくなり、ばい煙が浸透しにくくなります。

塗装面の艶出し

通常のワックスでは塗装の艶が戻らないときのみ、光沢剤を使用してください。ポルシェ社では、ポルシェ・テクニップメント製品のカーケア用品を使用することを推奨いたします。

汚れ、染みの除去

タール、油跡、昆虫の死骸などはインセクト・リムーバーなどを使用して速やかに取り除き、その後丁寧にそのエリアを洗います。放置すると、時間とともに塗装の色褪せの原因となることがあります。

小さな傷の補修

- ▶ 亀裂、引っかき傷、飛び石による塗装面の小さな傷は、ボディの腐食が進行する前に修理してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ボディが腐食したときは、はじめに錆を完全に除去してください。錆を取り除いたら、その箇所にプライマー（防錆剤）を塗布してから、上塗り塗装を施してください。ペイント・データは車両のデータ・バンクに表示されています。

- ▶ 「車両の識別データ」（374ページ）を参照してください。

ウィンドウの清掃

▷ 「ワイパー・ブレード」(364ページ)を参照してください。

i インフォメーション

フロント・サイド・ウィンドウには、ガラスの汚れを抑制する(疎水性の)撥水剤がコーティングされています。このコーティングは経年変化で徐々に劣化します。また新たにコーティングすることもできます。

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

適切なお手入れのため、以下の点に特に注意してください。

- ▶ 定期的にウィンドウ・クリーナーを使用して、ウィンドウの内側と外側を清掃してください。ポルシェ社では、ポルシェ・テックアップメント製品のカー・ケア用品を使用することを推奨いたします。
- ボディを拭き取ったセームで乾いたウィンドウを拭かないでください。ワックスや光沢剤がウィンドウに付着し、視界が悪くなる恐れがあります。
- ▶ 昆虫の死骸は、ポルシェ推奨のインセクト・リムーバーで取り除いてください。ポルシェ社では、ポルシェ・テックアップメント製品のカー・ケア用品を使用することを推奨いたします。

アンダーコーティングの補修



警告

エキゾースト・システム付近の可燃物

エキゾースト・システム部に防錆剤やアンダー・コーティング剤を塗布すると、運転中に過熱して発火する恐れがあります。

- ▶ エキゾースト・マニホールド、エキゾースト・パイプ、触媒コンバーター、ヒート・シールド、およびその周囲には、アンダー・コーティング剤や防錆剤を塗布しないでください。

車両下部は、化学的および物理的なダメージに耐えるよう保護されています。しかし、走行中に保護コーティングが損傷することは避けられません。

- ポルシェ正規販売店で定期的に車両下部の点検を受け、必要に応じて保護コーティングを修理してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。

デコラティブ・フィルムの清掃

知識

清掃中にデコラティブ・フィルムが剥がれて損傷する恐れがあります。

- ▶ ポリッシュやホット・ワックスを使用しないでください。
- ▶ 高圧洗浄機やスチーム・クリーナーを使用しないでください。
- ▶ 柔らかいスポンジ、中性洗剤、および多めの水を使用してください。

ヘッドライト、ライト類、プラスチック製部品と表面、アダプティブ・クルーズ・コントロール用レーダー・センサーおよび車両カメラの清掃

知識

洗剤がコントローラまたはスイッチに侵入し、損傷させる恐れがあります。不適切な洗浄剤を使用するとプラスチック面に損傷を与える場合があります。

- ▶ 車内のプラスチック部品に直接水や室内用ウィンドウ・クリーナーをスプレーしないでください。
- ▶ ヘッドライト、ライト類、プラスチック製部品とその表面、アダプティブ・クルーズ・コントロール用センサー、および車両カメラの清掃には、きれいな水と、少量の中性洗剤または室内用ウィンドウ・クリーナーのみを使用してください。このとき、柔らかいスポンジまたは柔らかい不織布を使用してください。
- ▶ 他の化学成分が入ったクリーナーや溶剤を使用しないでください。

ホイールのお手入れ

▲ 警告

クリーナーなどの溶剤によるブレーキ・ディスク上の膜の発生

ブレーキ・ディスクにホイール・クリーナーなどが付着したままにすると、ブレーキ・ディスクに膜ができて、ブレーキ性能を損なう恐れがあります。

- ▶ ブレーキ・ディスクにホイール・クリーナーなどの溶剤が付着しないようにしてください。
- ▶ ブレーキ・ディスクにホイール・クリーナーなどの溶剤が付着した場合、高压洗浄機などで完全に洗い流してください。
- ▶ 周囲の交通状況に注意してブレーキを作動させ、ブレーキ・ディスクを乾かしてください。

軽合金製ホイールの表面に付着した金属の微粒子（ブレーキ・ダストに含まれる真ちゅうや銅など）は長期間放置しないでください。金属同士の接触による腐食が発生し、小さな穴（ピッチング）が生じます。

塗装の被膜を破壊するような光沢剤やpH値が不適切なクリーナー、研磨機具、研磨剤などは使用しないでください。

- ▶ ポルシェ指定軽合金製ホイール・クリーナー（pH値9.5）をお使いください。pH値の不正な製品を使用すると、ホイールの表面を損傷する場合があります。ポルシェ社では、ポルシェ・テクニップメント製品のカー・ケア用品を使用することを推奨いたします。
- ▶ 可能であれば、2週間ごとにスポンジまたは洗車ブラシを使用してホイールを洗浄してください。冬季に凍結防止剤がまかれる地域や、ばい煙が多い地域では、毎週洗浄するようにしてください。
- ▶ 「洗車機での洗車」（125ページ）を参照してください。

ステンレス・スチール・テールパイプのお手入れ

ステンレス製テール・パイプは、ほこり、高温の熱、排気ガスの残留物で変色することがあります。

- ▶ 市販の金属光沢ワックスまたは金属用ポリッシュを使用することによって新車時の光沢を取り戻すことができます。

ドア、ルーフ、リッドとウィンドウ・シールの清掃

知識

インナー・ドア・シールをコーティングしている潤滑剤は、不適切な清掃や洗剤の使用によりダメージを受けることがあります。

- ▶ 合成洗剤や溶剤を使用しないでください。
- ▶ 防錆剤を使用しないでください。

適切なお手入れのため、以下の点に特に注意してください。

- ▶ シールの汚れ（傷、汚れ、凍結防止剤、砂塵など）は、温かい石鹸水で定期的に洗浄してください。
- ▶ 凍結する恐れがある場合は、適切なカー・ケア用品でアウター・ドア・シール、リッドやフラップのシールを保護してください。

革製品のお手入れ

知識

不適切なクリーナーやケア製品を使用したり、不適切な処理を行なうと革製品を痛める場合があります。

- ▶ 刺激性の強い洗剤や、硬い清掃用品を使用しないでください。
- ▶ 表面に小さな穴を開けたメッシュ加工の本革は、裏側まで湿らせないように注意してください。
- ▶ 革製品上の水滴は直ちに取除いてください。

適切なお手入れのため、以下の点に特に注意してください。

- ▶ 無色の柔らかい毛織物または市販のマイクロ・ファイバー布を湿らせて、表面の細かい汚れを拭き取り、すべてのタイプの本革を定期的にお手入れしてください。
- ▶ 汚れがひどいときは（水などによる染み（以外レーザー・クリーナーで取除いてください。容器にある使用上の注意を確認してください。ポルシェ社では、ポルシェ・テクニップメント製品のカー・ケア用品を使用することを推奨いたします。
- ▶ 清掃後は、本革専用のケア剤でお手入れしてください。ポルシェ社では、ポルシェ・テクニップメント製品のカー・ケア用品を使用することを推奨いたします。

シート・ベンチレーション付きシートの清掃

雨水や湿気により、表面に小さな穴を開けたメッシュ加工の本革シートに染みが付く可能性があります。

水染み/湿気による染みを取り除く

- ✓ シート・ヒーターとシート・ベンチレーションをOFFにしてください。
- ✓ 直射日光が当たらないようにしてください。
- 1. 清潔で、目の細かいスポンジと蒸留水を使用して、シート・クッションまたはバックレストの表面全体を拭き取ってください。表面に小さな穴を開けたメッシュ加工の本革は、裏側まで湿らせないように注意してください。

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

- シート・カバーは直射日光を避けて室温で完全に乾かしてください。シート・カバーを乾かす際、シート・ヒーターやシート・ベンチレーションをONにしないでください。
- 乾いた後、シート・カバーを乾燥した不織布で拭いてください。

カーペット、フロア・マットの清掃



警告

ペダル操作の妨げ

不適切なフロア・マットや正しく固定されていないフロア・マットはペダルの可動域を制限したり、ペダル操作を妨げたりする可能性があります。

- ▶ フロア・カーペットの上に敷くのみマットを使用しないでください。

適切なお手入れのため、以下の点に特に注意してください。

- ▶ 掃除機か、中程度の硬さのブラシで清掃してください。
- ▶ ひどい汚れや染みは、染み抜き剤で除去してください。ポルシェ社では、ポルシェ・テックアップメント製品のカー・ケア用品を使用することを推奨いたします。

フロア・カーペットの汚れや傷付きを防ぐため、この車両に適したサイズの固定具付きフロア・マットをカー・アクセサリーとして用意しています。

エアバッグ・カバーの清掃



危険

不適切な清掃

エアバッグの周りを不適切な方法で清掃すると、エアバッグ・システムが故障する恐れがあります。事故が起きた場合にエアバッグ・システムが作動しない危険があります。

- ▶ ステアリング・ホイールのパッド、インストルメント・パネル、フロント・シート、ドア・パネルなどの部品を改造しないでください。
- ▶ これらの部品を清掃するにはポルシェ正規販売店にご相談ください。

内張りの清掃

ピラー、ヘッドライナー、サンバイザーなどのファブリック・ライニングは、素材に適した洗剤やドライ・フォームと柔らかいブラシを使用して清掃してください。

Alcantara®のお手入れ

Alcantara®の清掃に、本革用のカー・ケア用品を使用しないでください。日常のお手入れとしては、表面を柔らかいブラシで拭けば十分です。研磨材を使用したり、強く擦ったりすると、アルカンターラの表面が傷むので注意してください。

- ▶ ライトの汚れは、柔らかい布を水または中性の石鹸水で濡らして、汚れを拭き取ってください。
- ▶ 汚れがひどい場合は、温めのお湯または薄めたクリーニング用溶剤で柔らかい布を濡らし、外側から汚れた部分を軽くたたいてください。

シートベルトの清掃

適切なお手入れのため、以下の点に特に注意してください。

- ▶ ベルトの汚れには中性洗剤を使用してください。
- ▶ シートベルトを乾燥させるときは、直射日光を避けてください。
- ▶ 適切な洗剤のみを使用してください。
- ▶ シートベルトを染色および脱色しないでください。シートベルト素材の強度が低下し、安全性が損なわれます。

ボルシェ・コミュニケーション・マネージメント (PCM) の清掃

知識

不適切なクリーナーやケア製品を使用したり、不適切な処理を行なうとPCMを痛める場合があります。

- ▶ PCMの清掃に変性アルコール、シンナー、ガソリン、アセトン、アルコール類（エタノール、メタノール、またはイソプロピルアルコール）などの溶剤、または研磨剤などを使用しないでください。
- ▶ PCM に直接クリーナーや他の液体を吹きつけないでください。水が入ると、PCMは修理不能になることがあります。液体を吹き付けるのではなく、布にしみこませて注意深くスクリーンを拭いてください。

適切なお手入れのため、以下の点に特に注意してください。

- ▶ 画面は傷が付きやすくなっています。時々、清潔で柔らかい乾いた布（マイクロファイバー・クロス）やクリーニング用ブラシで慎重にPCMを清掃してください。清掃の際、表面に大きな力を加えないでください。
- ▶ 指紋は少し湿らせた布や刺激性の少ない洗浄剤で取り除いてください。

車両の長期保管

車両を長期保管する場合ボルシェ正規販売店にご相談ください。腐食保護対策、お手入れとメンテナンス、および保管に関する情報およびアドバイスを提供いたします。

- ▶ 「バッテリー」(229ページ) を参照してください。

バッテリーを切り離れた状態で車両をロックする場合のインフォメーション：

- ▶ 「緊急ドア・ロック」(167ページ) を参照してください。

サン・バイザー

サン・バイザーの調節

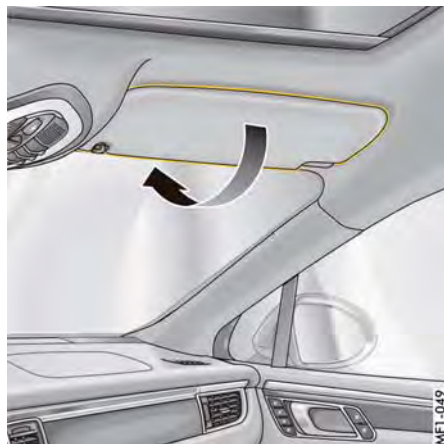


図71: サン・バイザーの調節

- ▶ サンバイザーを手で下げて、正面方向からの直射日光を遮ってください。

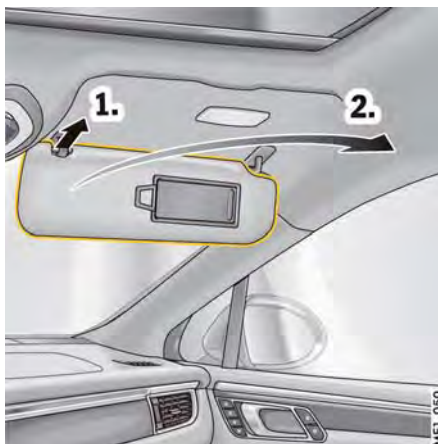


図72: 左右方向からの眩しい光を防ぐ

左右方向から眩しい光が入る場合：

1. サンバイザーを内側のブラケットから外してください。
2. サンバイザーをサイド・ウィンドウ側に回転させてください。

バニティー・ミラーを開く



注意

バニティー・ミラーの
カバーを開く

カバーを開いている状態で事故が起きた場合、ミラーが割れて車内にガラスの破片が散乱する恐れがあります。

- ▶ 走行中はスライド・カバーを閉じてください。

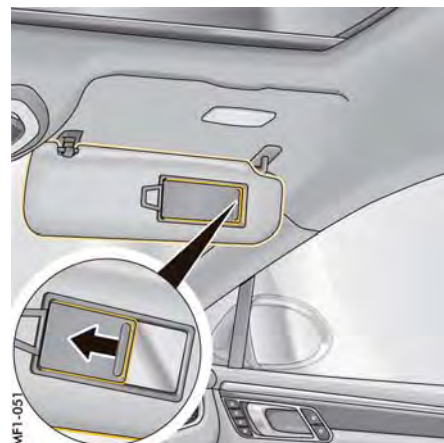


図73: バニティー・ミラーを開く

- ▶ サンバイザー内側にあるバニティー・ミラーのスライド・カバーを開きます。バニティ・ミラーのライトが点灯します。

シートベルト

シートベルトの適切な着用

⚠ 危険

シートベルトを着用していない、または正しく使用していない

シートベルトを着用していないと、事故の際に保護効果を発揮できません。シートベルトを正しく着用していない場合、事故の際に負傷する危険が高まります。

- ▶ 安全のため、すべての乗員がシートベルトを着用することが義務付けられています。
- ▶ 運転者はこの章で説明している内容を、すべての乗員に理解してもらってください。
- ▶ **1本のシートベルトを同時に2人で使うことは、絶対に避けてください。**
- ▶ だぶついた衣服はシートベルトが正しく着用できない上に、動作の自由を奪うこととなりますので、乗車時は必ず脱ぐようにしてください。
- ▶ 堅い物や壊れやすい物（眼鏡、ボールペン、煙草のパイプなど）の上にシートベルトがかからないようにしてください。これらは、衝突の際に乗員が負傷する危険性を高めます。
- ▶ シートベルトはねじれやたるみがないように着用してください。

⚠ 危険

損傷したシートベルトを使用した場合

損傷したシートベルト、強い負荷のかかったシートベルト、または摩耗したシートベルトは、事故の際に保護効果を十分に発揮できません。シートベルト・プリテンショナー・システムは一回のみ作動させることができます。一旦作動したシステムは、交換する必要があります。

- ▶ すべてのシートベルトを定期的に点検し、ベルトの帯が損傷していないか、またバックルと取り付け部が正常な状態にあるかどうかを確認してください。
- ▶ 損傷したシートベルトや事故などにより強い負荷のかかったベルトは早急に交換してください。同様に、フロント・シートに設置され、作動したシートベルト・プリテンショナー・システムとフォース・リミッターも早急に交換してください。更に、シートベルトのアンカー部分についても点検してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ シートベルトを使用しないときは、汚れや損傷を防ぐために完全にリトラクターに巻き取らせてください。

シートベルト・プリテンショナー

シートベルト・プリテンショナーは、事故時の衝撃の大きさに応じて作動します。

シートベルト・プリテンショナーの作動条件：

- 前方または後方から強い衝撃を受けた場合
- 側面から強い衝撃を受けた場合
- 車両が転倒した場合

i

インフォメーション

シートベルト・プリテンショナー・システムが作動すると煙が発生しますが、これは異常ではありません。この煙は車両火災の兆候ではありません。

シートベルト警告灯および警告シンボルを確認する

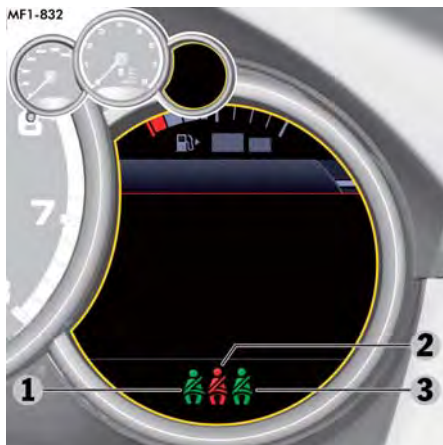




図74: マルチファンクション・ディスプレイのシート・ベルトのステータス表示

- 1 左リヤ・シート用のシートベルト・ステータス表示
- 2 中央リヤ・シート用のシートベルト・ステータス表示
- 3 右リヤ・シート用のシートベルト・ステータス表示

フロント・シート

イグニッションをONにすると、インストルメント・パネル内の赤色の警告灯  が機能点検のため、数秒間点灯します。

インストルメント・パネルの赤色の警告灯  は、運転席側および助手席側シート・ベルトが装着されるまで点灯し続けます。

更に、マルチファンクション・ディスプレイに警告シンボルが表示されます。

速度が約24km/hを超えると、インストルメント・パネルの赤色の警告灯[▲]が点滅し、警告音が鳴ります。

リヤ・シート（国別仕様により異なる）

車両が発進する時、リヤ・シート用シートベルトのステータス（131ページ：図74）が、インストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイに約30秒間表示されます。

緑色のシンボル・マーク[▲]は、そのシートに座った人がシートベルトを着用していることを示します。

赤色のシンボル・マーク[▲]は、そのシートに座った人がシートベルトを着用していない、または誰も着座していないことを示します。

運転中にリヤ・シートのシートベルトが外された場合は、警告音が鳴り、該当するシンボル・マークが赤色に変わって約30秒間点滅します[▲]。

シートベルトを着用する

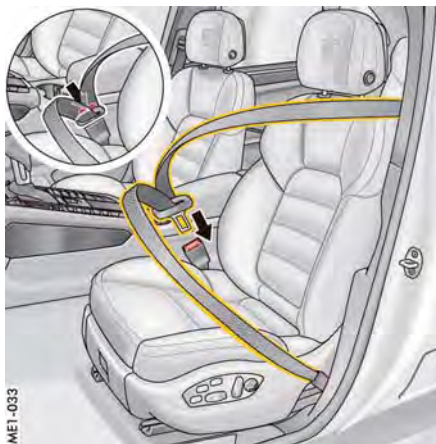


図75：シートベルトを着用する

1. 自然な姿勢で安全に運転できる位置に着座してください。
2. シートベルトを着用したときに、ベルトが肩の中央を通して上半身を斜めに横切るように、シートのバックレストを調節してください。
3. シートベルトのラッチを手で持ち、ゆっくりと一定の速さで引き出して、腰の低い位置および胸部にかかるように着用してください。

i インフォメーション

坂道など傾斜地に停車しているときや、シートベルトを急に引いたときは、シートベルトがロックされて引き出せないことがあります。加速中や減速中、コーナリング中、および上り坂を走行中はシートベルトがロックされて、引き出すことができません。

4. シートベルトのラッチは、着座しているシート側部のバックルにカチッと音がするまで確実に差し込んでください（図75）。
5. シートベルトが引っかかったり、ねじれたり、鋭利な物に擦れたりしないように注意してください。
6. 腰ベルトは必ず腰の低い位置（骨盤）にぴったりとかかるように確認してください。そのため、シート・ベルトを装着した後、肩ベルトを上引っ張ってください。妊娠中の方は腰ベルトをできる限り低い位置まで下げて、腹部の圧迫を避けるようにしてください。
7. 走行中も肩ベルトを定期的に引き上げ、腰ベルトが緩まないようにしてください。

シートベルト・バックルを解除してシートベルトを外す

1. シートベルトのラッチを手で持ってください。
2. バックルの赤色のボタンを押してください（図75）。
3. シートベルトをリトラクターに巻き取らせてください。

シートベルトの高さを調節する



図76: シートベルトの高さを調節する

フロント・シートのシートベルト引き出し口は、高さを調節できます。

- ▶ シートベルトを着用したときに首にかかることのないように、肩の中央を通して上半身を斜めに横切るようベルトの高さを調節してください。
- ▶ 上げる - シートベルト引き出し口を押し上げてください。
- ▶ 下げる - ロック・ボタンAを押しながらシートベルト引き出し口を下げてください。

シート

適切なシート位置の選択

安全で疲れにくい運転には、正しい姿勢が重要です。運転者にフィットするよう運転席シート位置を調整するには、以下の手順を実施してください。

1. シートの高さを頭上の空間に余裕があり、周囲がよく見える高さに調節してください。
2. シートの前後位置を調節し、ブレーキ・ペダルをいっばいに踏み込んだときに、足が伸びきらない状態になる位置に調節してください。
3. ステアリング・ホイールの上部分を握ってください。バックレストの角度とステアリング・ホイールの位置は、肩をバックレストに預けた状態で肘が少し曲がる位置に調節してください。
4. 必要に応じて、シートの前後位置を調節してください。
5. ヘッドレストの高さを、上端が目線より高くなる位置に調節してください。

シートの調節



警告

運転中のシート調節

運転中にシート調節を行うと、シートが必要以上に大きく動き、車両のコントロールを失う恐れがあります。

- ▶ 運転中はシート調節を行わないでください。



注意

シート調節

シート位置を調節するときに、シートが動く範囲に人や動物がいると、身体の一部が挟まれる恐れがあります。

- ▶ シートが動く範囲に人や動物がいないことを確認してからシート位置を調節してください。

知識

ヘッドレスト、ルーフ、またはサンバイザーなどを損傷する恐れがあります。

- ▶ ヘッドレスト、ルーフ、またはサンバイザーとの間に十分なスペースを確保してからシート位置を調節してください。



インフォメーション

チャイルド・シート・システム用ISOFIXリテーニング・ラグを助手席に取り付けた車両では、助手席シート・バックレストの調節範囲が制限され、

機械式シートの調節



図77: 機械式シートの調節

- 1 シートの高さ調節
- 2 バックレストの角度調節
- 3 前後の調節

シートの高さ調節

- ▶ レバー **1** を（数回）操作して、シートを希望の高さに調節してください。
 - レバーを上げる = 座面が上昇します。
 - レバーを下げる = 座面が下降します。

バックレストの角度調節

- ▶ バックレストが希望の角度になるまで、調節ホイール **2** を回してください。

シートの前後調節

- ▶ ロック・レバー **3** を引き上げてください。シートを希望の位置に移動させてから、レバーを放してください。シートがしっかり固定されていることを確認してください。

電動シートの調節



図78: アダプティブ・スポーツ・シート・プラスの調節

- 1 シートの角度調節
- 2 シートの高さ調節
- 3 座面の深さ調節
- 4 座面のサイド・サポートの調節
- 5 バックレストのサイド・サポートの調節
- 6 前後の調節
- 7 バックレストの角度調節
- 8 ランバー・サポートの調節

- ▶ 各スイッチを矢印の方向に押し、希望のシート位置、または終端位置まで調節してください。

シート設定の保存

シート設定の保存および呼び出しに関するインフォメーション:

- ▶ 「パーソナル設定」(226ページ)を参照してください。

ヘッドレストの調節

- ▶ ヘッドレストの高さを、上端が目線より高くなる位置に調節してください。
- ▶ ヘッドレストがしっかり固定されていることを確認してください。

フロント・シートのヘッドレストの調節
フロント・シートのヘッドレストは、高さと前後位置の調節が可能です。



図79: フロント・シートのヘッドレストの高さ調節

上げる

- ▶ ボタンAを押しながら希望の位置になるまでヘッドレストを押し上げてください。

下げる

- ▶ ボタンAを押しながら希望の位置になるまでヘッドレストを押し下げてください。



図80: フロント・シートのヘッドレストの前後位置調節

前方向

- ▶ 希望の位置になるまでヘッドレストを前方向に引いてください。

後ろ方向

- ▶ ボタンAを押しながら希望の位置になるまでヘッドレストを後ろに押しってください。

リヤ・シートのヘッドレスト調節

リヤ・シートのヘッドレストは、高さ調節が可能です。

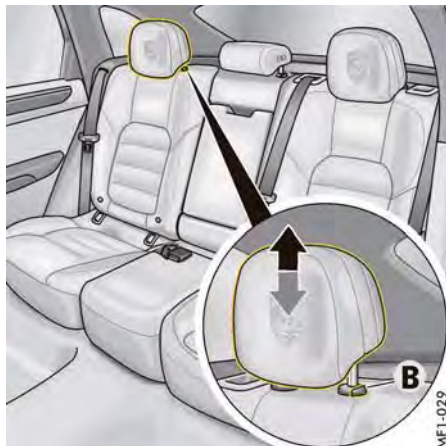


図81: リヤ・シートのヘッドレストの高さ調節

上げる

- ▶ 希望の位置になるまでヘッドレストを持ち上げてください。

下げる

- ▶ ボタン **B** を押しながら希望の位置になるまでヘッドレストを押し下げてください。

後方視界を確保するために、中央のリヤ・シートのヘッドレストの位置を通常より下げることができます。

▲ 警告

中央のリヤ・シートのヘッドレスト位置

ヘッドレストが正しく調節されていない場合、事故の際に負傷する恐れが高まります。

- ▶ 中央のリヤ・シートに乗員が座っている場合、ヘッドレストを格納位置から上部に動かし、正しい使用位置に調節してください。

リヤ・シートのヘッドレストの取り外しと取り付け

チャイルド・シートを正しく取り付けるために、リヤ・シートのヘッドレストを取り外さなければなりません。

- ▶ 「チャイルド・シート」(177ページ)を参照してください。

▲ 警告

リヤ・シートのヘッドレストを取り外している、または正しく調節されていない

ヘッドレストを取り外している、または正しく調節されていない場合、事故の際に負傷する恐れが高まります。

- ▶ チャイルド・シートを固定するために必要な場合のみ、ヘッドレストを取り外してください。
- ▶ リヤ・シートに乗員が座っている場合、ヘッドレストを取り付け、正しい位置に調節してください。



図82: リヤ・シートのヘッドレストの取り外しと取り付け

取り外し

1. ヘッドレストをいっぱい押し上げてください。
2. ボタン **A** と **B** を押しながら、ボタン **A** に噛み合うまでヘッドレストを持ち上げてください。
3. リヤ・シートのバックレストを半分前方に折りたたんでください。
4. ヘッドレストを取り外し、安全に格納してください。
5. 必要に応じて、リヤ・シートのバックレストを調整し、取り付けてください。

警告

ヘッドレストの交換

ヘッドレストは、それぞれのシートに合わせて特別に設計されています。ヘッドレストの再取り付け時に正しく装着されていないと事故の際に負傷する恐れが高まります。

- ▶ ヘッドレストが、誤った位置に取り付けられていないか確認してください。

取付け

1. リヤ・シートのバックレストを半分前方に折りたたんでください。
2. ヘッドレストをガイドに挿入し、ロック音がするまで押し下げてください。
3. ボタンAを押ししながら、ヘッドレストを完全に押し下げてください。
この状態になるとヘッドレストを引いてもバックレストから外れません。
4. リヤ・シートのバックレストを調整し、取り付けてください。

リヤ・シート・バックレストを前方に倒す

リヤ・シート・バックレストはラゲッジ・ルームをより広く使用するため、個々に倒すことができます。

知識

リヤ・シートが損傷する恐れがあります。

- ▶ バックレストを倒すときは、シートに物を置かないでください。

外側リヤ・シートのバックレストを倒す



図83: 外側リヤ・シートのバックレストを倒す

1. ヘッドレストを押し下げてください。
▶ 「リヤ・シートのヘッドレスト調節」(136ページ)を参照してください。
2. 解除ボタンAを押ししながらバックレストを倒してください。

i インフォメーション

左側と中央のリヤ・シートのバックレストは互いに接続されています。このため左側のバックレストを倒すと、中央のバックレストも一緒に倒れます。

中央のバックレストは個別に倒すことができます。

中央のリヤ・シートのバックレストを前方に折りたたむ



図84: 中央のリヤ・シートのバックレストを前方に折りたたむ

- ▶ 解除レバーAを矢印の方向に操作しながらバックレストを倒してください。

リヤ・シートのバックレストを垂直位置に戻す

警告

バックレストが正しく固定されていない

リヤ・シートのバックレストが正しく固定されていない場合、車両が動いているときに不意に倒れる恐れがあります。

赤いマークBが見えているときは、バックレストが正しくロックされていません。

- ▶ バックレストを起こした後、赤いマークBが見えていないことを確認してください。
- ▶ 必要な場合、再度バックレストを倒してもう一度固定してください。

- ▶ バックレストを接続音が聞こえるまで起こしてください。
シートベルトを挟み込まないように注意してください。

イージー・エントリー機能を使用する

イージー・エントリー機能は、車両への乗り降りをしやすくするための装備です。

- ▶ 「イージー・エントリーのON/OFF」(312ページ)を参照してください。

▲ 注意

運転席シートの自動調節

自動シート調節により、運転席の後ろにいる乗員や動物がシートに挟まれる恐れがあります。

- ▶ 運転席の真後ろに乗員がいるときはイージー・エントリー機能をOFFにしてください。

知識

リヤ・シートを前方に倒した状態で設定を呼び出すと、車両を損傷する恐れがあります。

シートが後退し、損傷する恐れがあります。

- ▶ リヤ・シートを前方に倒しているときはイージー・エントリー機能をOFFにしてください。

降車するとき

- ✓ 機能が作動していること。

ボルシェ・エントリー & ドライブ非装備車：

1. キーを抜き取ってください。
ステアリング・ホイールが上方に移動します。
2. 運転席ドアを開いてください。
以下の操作を行うと、シートが後方に移動します：

ボルシェ・エントリー & ドライブ装備車：

- ▶ イグニッションをOFFにし、さらに運転席ドアを開いてください。
ステアリング・ホイールが上方に移動します。
以下の操作を行うと、シートが後方に移動します：

乗車するとき

- ✓ 機能が作動していること。
- ✓ 乗車前、運転席シートおよびステアリング・ホイールはイージー・エントリー位置にあります。
- ▶ 運転席ドアを閉じてキーを挿入する、またはボルシェ・エントリー & ドライブ装備車の場合はイグニッションをONにしてください。
運転席シートとステアリング・ホイールが保存した位置まで戻ります。

i インフォメーション

キーを交換した場合、シートおよびステアリング・ホイールがキーに保存されているエントリー位置に動きます（「オート・メモリー」機能が有効な場合）。

- ▶ 「パーソナル設定」(226ページ)を参照してください。

i インフォメーション

シート設定を手動で変更すると、イージー・エントリー機能が中断します。

- ▶ ドライビング・ポジションを手動で調節してください。

シート・ヒーターをON/OFFにする



図85: シート・ヒーター/シート・ベンチレーター

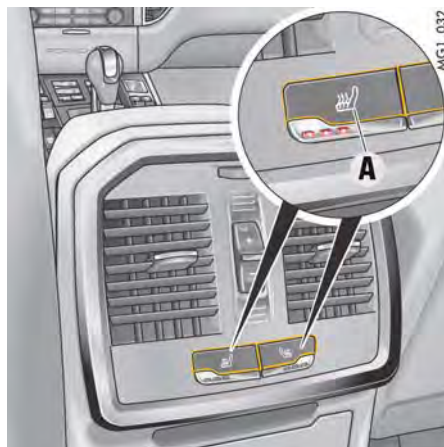


図86: シート・ヒーター (リヤ)

シート・ヒーターをONにする

- ✓ エンジンを作動状態にします。
- ▶ ボタンAを（繰り返し）押してください。
ヒーターの設定に応じた数のインジケータ・ライトが点灯します。

シート・ヒーターをOFFにする

- ▶ ボタンAをインジケータ・ライトが消灯するまで（繰り返し）押してください。

i インフォメーション

室内の温度が高いときはシート・ヒーターを使用できません。

バッテリー電圧が低すぎると、シート・ヒーターの作動が制限され、その後OFFになります。

シート・ベンチレーターをON/OFFにする**シート・ベンチレーターをONにする**

- ✓ エンジンを作動状態にします。
- ▶ ボタンBを（繰り返し）押してください。
ベンチレーターの設定に応じた数のインジケータ・ライトが点灯します。

シート・ベンチレーターをOFFにする

- ▶ ボタンBをインジケータ・ライトが消灯するまで（繰り返し）押してください。

i インフォメーション

室内の温度が低いときはシート・ベンチレーターを使用できません。


バッテリー電圧が低すぎると、シート・ベンチレーターの作動が制限され、その後OFFになります。

**リヤでの操作を無効にする -
チャイルド・プロテクション**

図87: リヤ・ドア操作を無効にする

運転席ドア、コントロール・パネルのセーフティ・ボタンを押すとリヤ・ドアのパワー・ウィンドウ・スイッチと、リヤ・センター・コンソールのコントロール・パネルの機能が無効になります。

チャイルド・プロテクションのON/OFF

- ▶  ボタンを押してください。
ボタンのインジケータ・ライトが点灯します。
リヤ・ゾーンの現在のエアコン設定が維持されます。
リヤ・コントロール・パネルのボタンの機能が停止します。

ジャッキおよびリフティング・プラットフォーム

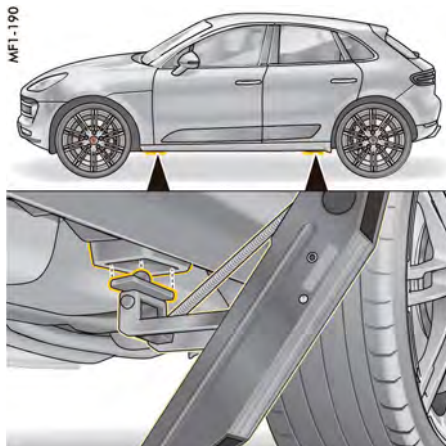


図88: フロントとリアのリフティング・プラットフォームおよびジャッキ用のジャッキ・ポイント

▲ 警告

不十分な車両の固定

車両がしっかり固定していない、または正しく固定されていない場合、予期せず動き出したり、ジャッキやリフトなどのリフト装置から落下したりする恐れがあります。これにより深刻な怪我や損傷を受ける場合があります。

- ▶ 車両をジャッキで持ち上げる場合、固く水平な場所でのみ行ってください。
- ▶ 車両は必ず、車両下回りにある規定のジャッキアップ・ポイント(図88)で持ち上げてください。
- ▶ 車両の下に入って作業する場合は、必ず強力なサポート・スタンドで車体を支えてください。
- ▶ 車両をジャッキアップ後は、エンジンを始動しないでください。エンジンの振動により車両が落下する恐れがあります。
- ▶ やむを得ずエンジンをかけたまま作業する場合は、必ずエレクトリック・パーキング・ブレーキを作動させ、さらに、ギヤ・レバーをニュートラル位置に入れるか、またはPDKセクター・レバーをPの位置にしてください。

- ▶ 「ホイールの交換」(174ページ)を参照してください。

▲ 警告

レベル・システムの操作

レベル・システムが作動している車両は不意に動いたり、ジャッキやリフトなどのリフト装置から落下したりする恐れがあります。これにより深刻な怪我や損傷を受ける場合があります。

- ▶ リフト・アップ前に、手動でノーマル・レベルに設定し、その後レベル・コントロール・システムをOFFにしてください。
- ▶ 「レベル・コントロールのON/OFF」(67ページ)を参照してください。

ジャッキによるリフト・アップ

i インフォメーション

ジャッキはコラプシブル・スペア・ホイール装備車の上に付属します。

ジャッキは工具セットと共に、ラゲッジ・コンパートメントの左側の床下に収納されています。
▶ 「工具セットの取り外し」(331ページ)を参照してください。

- ✓ レベル・コントロール装備車*: レベル・システムがOFFになります。
- ✓ 車両が動き出さないように固定してください。
- ✓ 車両下部のジャッキ・ポイントを清掃してください。

1. 指定されたジャッキ・ポイントにジャッキをセットしてください。このとき、ジャッキが傾かないように、ジャッキ・ポイントの真下にジャッキを置いてください。必要な場合、リジット・ラックを併用してください。
2. ジャッキが動かないように固定し、ジャッキの皿がジャッキ・ポイントに接するまでジャッキを伸ばしてください。このとき、ジャッキの皿がジャッキ・ポイントの切り欠き(図88)にしっかりと合はまるようにジャッキの位置を調整してください。
3. 取り外すタイヤが地面から離れるまで車両を持ち上げてください。
4. 車両を下げた後でジャッキを取り外してください。

* 日本仕様に設定はありません。

ジャンパー・ケーブルによる始動

バッテリーが上がったときは、他の車両のバッテリーを使用してエンジンを始動したり、ジャンパー・ケーブルを使用して外部電源を接続することができます。どちらの車両も12Vバッテリー搭載車でなくてはなりません。支援車側のバッテリーの容量(Ah)が、バッテリーが上がった車両のバッテリーの容量に比べ低すぎないように確認してください。上がったバッテリーを車両の電気系統に正しく接続する必要があります。

▶ 「バッテリー」(229ページ)を参照してください。

警告

ジャンパー・ケーブルや始動手順が不適切な場合

不適切なジャンパー・ケーブルを使用して車両を始動したり、ジャンパー・ケーブルによる始動を適切に行わなかった場合は、回路がショートする恐れがあります。回路のショートが原因で火災が発生する恐れがあります。

- ▶ ジャンパー・ケーブルはエンジン始動に適した製品を使用し、バッテリー容量に対して十分な断面積があることを確認してください。また、端子接続部のクリップが完全に絶縁体に覆われているものを使用してください。ジャンパー・ケーブルのメーカーが定めた取り扱い方法を遵守してください。
- ▶ 車両同士を接触させないでください。電流が流れ、ショートする恐れがあります。
- ▶ 指輪、ネックレス、時計バンドなど、電気を通す装飾品が通電部に触れないように注意してください。
- ▶ ジャンパー・ケーブルは絶対にバッテリーへ直接接続しないでください。ジャンパー・ケーブルは、必ずジャンパー・ケーブル接続用端子に接続してください。

警告

凍結したバッテリーの充電

凍結したバッテリーを充電すると、爆発や酸による火傷の危険があります。

▶ ジャンパー・ケーブルを接続する前に必ず凍結したバッテリーを解凍してください。

知識

鉛バッテリーには腐食性のあるバッテリー液が入っており、皮膚や衣服に付着すると損傷を負う恐れがあります。

▶ バッテリーを傾けないでください。

ジャンパー・ケーブルによるエンジンの始動

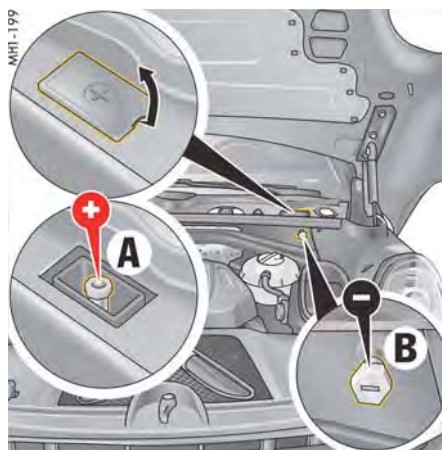


図89: バッテリー端子

A プラス端子+

B アース箇所(マイナス端子) -

1. ボンネットを開いてください。
2. ジャンパー・ケーブル接続用のプラス(+)端子のキャップを開いてください。
3. 充電器の赤色のプラス・ケーブルをバッテリーのプラス端子Aに接続してください。
4. 赤色のプラス・ケーブルを支援車バッテリーのプラス端子に接続してください。
5. 黒色のマイナス・ケーブルを支援車バッテリーのマイナス端子に接続してください。
6. 黒色のマイナス・ケーブルをアース・ポイントBに接続してください。
7. 支援車のエンジンを始動し、回転数を上げてください。
8. エンジンを始動してください。ジャンパー・ケーブルを使用してエンジンを始動するときは、スターターを15秒以上作動させないでください。始動に失敗したときは、1分以上待ってから再試行してください。
9. エンジンが作動状態のまま、最初に、黒色のマイナス・ケーブルをアース・ポイントBから外してください。次に、支援車のバッテリー・マイナス端子からケーブルを外してください。
10. エンジンが作動状態のまま、まず、赤色のプラス・ケーブルを支援車バッテリーのプラス端子から外してください。次に、上がったバッテリーのプラス端子Aからケーブルを外してください。
11. ジャンパー・ケーブル接続用のプラスA端子カバーを閉じてください。

消火器*

消火器を正しく安全に使用するために、以下の点に注意してください。

- ▶ 消火器の定期点検時期を遵守してください。定期点検の期間を過ぎた消火器は正しく作動しないことがあります。
- ▶ 必ず消火器の取扱説明書の指示に従ってください。
- ▶ 消火器のハンドルに貼付されている消火器メーカーの安全に関する指示に従ってください。
- ▶ 正しい作動を確認するため、消火器は1~2年毎にボルシェ正規販売店で点検を行ってください。
- ▶ 消火器を使用した後は消火剤を再充填してください。



図90: 助手席シートの下の消火器

消火器を取り外す

車両に消火器が装備されている場合、助手席シートの下に取り付けられています。

- ▶ 緊急時に消火器を取り外す場合、片手で消火器を押さえて、消火器ホルダーの**PRESS**ボタンをもう片方の手で押してください。

ステアリング・ホイール

ステアリング・ホイールの調節

▲ 警告

運転中のステアリング・ホイールの調節

運転中にステアリング・ホイール調節を行うと、ステアリングが予期せず大きく動き、運転操作を誤る恐れがあります。

- ▶ 運転中はステアリング・ホイールの調節を行わないでください。

ステアリング・ホイールの手動調節



図91: ステアリング・ホイール調節用ロック・レバー

1. キーをイグニッション・ロックに完全に差し込んでください。
2. ロック・レバーを押し下げてください。
3. シート・バックレスト角度や着座位置に合わせて、ステアリング・ホイールを前後上下に動かし、希望の位置に調節してください。

4. ステアリング・ホイールが確実に固定されるまで、ロック・レバーを元の位置まで戻してください。

ステアリング・ホイールの電動調節

▲ 注意

メモリー設定の不意の呼び出し

ステアリング・ホイールを調節するとき、人や動物がステアリング・ホイールの動く範囲にいと、身体の一部が圧迫されたり挟まれたりする恐れがあります。

- ▶ お子様のみを車内に残さないでください。



図92: ステアリング・ホイール調節用コントロール・スイッチ

- ▶ ステアリング・コラム下に取り付けられているコントロール・スイッチを前後上下に動かして、ステアリング・ホイールを希望の位置に調節してください。

ステアリング・ホイール設定の保存

メモリー・パッケージ装備車では、ステアリング・ホイールの設定を運転席ドアやキーのメモリー・ボタンに保存することができます。

- ▶ 「パーソナル設定」(226ページ)を参照してください。

ステアリング・ホイール・ヒーターのON/OFF

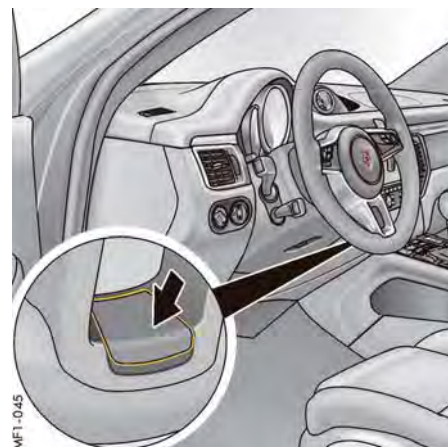


図93: ステアリング・ホイール・ヒーター・ボタン

- ✓ エンジンを作動状態にします。
- ▶ マルチファンクション・ディスプレイにメッセージ「(図93)、ステアリングホイールヒーターオン」または「or ステアリングホイールヒーターオフ」が短時間表示されるまで、ステアリング・ホイール・スポーク中央のボタンを押し続けてください

スポーツ・クロノ・ストップウォッチ

スポーツ・クロノ・ストップウォッチはレース・サーキットや業務上の走行時等の時間計測にご使用いただけます。計測した時間は保存したり、評価したりすることができます。

以下の情報を保存および評価することができます。

- ラップ回数
- ラップ距離
- ラップ・タイム
- オプション：その他の各種データ（車両位置、速度、または外気温度など）

記録中、以下の項目を表示することができます。

- 現在のラップ回数
- 最速ラップ・タイムおよび、それと比較した現在のラップ・タイム
- 基準ラップに関して走行した距離の割合
- 現在のラップ・タイムが最新のラップ・タイムより速いか、遅いか、または同一かを表示するカラー・レート
- 現在の燃費の残量で走行可能な残りの距離およびラップ回数
- まだ残っている記憶時間
- オプション：現在のラップのトラック進捗状態と基準ラップ

スイッチ・パネル上のストップウォッチ



図94: スイッチ・パネル上のスポーツ・クロノ・ストップウォッチ

ストップウォッチにはアナログ・ディスプレイとデジタル・ディスプレイがあります。

アナログ・ディスプレイ

- 大きい指針：秒
- 小さい指針：時間および分

このディスプレイは12時間が経過するとゼロから再スタートします。

デジタル・ディスプレイ

- 秒、1/10秒、および1/100秒

デジタル・ディスプレイおよびマルチファンクション・ディスプレイは99時間と59分まで表示できます。

ストップウォッチの明るさ調節

- ▷ 「インストルメント・ライトの明るさ調整」(46ページ) を参照してください。

スイッチ・パネルのストップウォッチ・ライトのON/OFF：

- ▷ 「スイッチ・パネルのアナログ時計照明のON/OFF：」(308ページ) を参照してください。

ストップウォッチ時刻の表示

- ▷ 「ダッシュボードのストップウォッチの時刻表示」(308ページ) を参照してください。

ストップウォッチ・タイムの表示

ラップ・タイムは異なる場所に表示することができます。

- スイッチ・パネル上のスポーツ・クロノ・ストップウォッチ
- マルチファンクション・ディスプレイのクロノメニュー
- PCMのメイン・メニュー **CAR** のSC

マルチファンクション・ディスプレイでの実行



図95: クロノメニュー

- A ラップ・カウンター - 現在のラップ回数
- B 現在のラップ・タイム (緑色: 最速ラップよりも速い、黄色: 最速ラップと同タイム、赤色: 最速ラップよりも遅い)
- C 最速のラップ・タイム
- D サークル・ダイアグラム (基準ラップの一部として走行した距離)

i インフォメーション

ストップウォッチ作動中にクロノメニューを終了しても、計測は続きます。ストップウォッチはイグニッションをOFFにすると停止します。約4分以内にイグニッションを再度ONにすると、ストップウォッチは作動を再開します。

計時の開始

▶ クロノ ▶ スタート

データの記録が開始されます。基準ラップがまだロードされていない場合は、記録の中の最初のラップが基準ラップとして使用されます。

計時の停止

✓ 計時が開始されていること。「ワイパー・ブレード」(364ページ)を参照してください。

▶ クロノ ▶ ストップ

計時の継続

✓ 計時が停止されていること

▶ クロノ ▶ ストップ ▶ 継続

ラップの停止/新しいラップの開始

現在のストップウォッチ・タイムはラップ・タイムとして保存されますが、ストップウォッチは停止しません。

✓ 計時が開始されていること。

▶ Chrono ▶ ラップ

ラップ・カウンターの値 (図95、A) が1ずつ増えます。最速で終了したラップのタイムが最速ラップ・タイム (図95、C) として保存されます。現在のラップ・タイム (図95、B) とサークル・ディスプレイ (図95、D) の色が変わることによって、現在のラップ・タイムが最速ラップより速いか、遅いか、または同一かを表示します。

i インフォメーション

1回のセッションで最大99ラップを保存することができます。

中間ラップの保存

✓ 計時が開始されていること。

▶ クロノ ▶ 中間ラップ

中間タイムが短時間表示されますが、保存はされません。時間測定はバックグラウンドで継続しています。

ストップウォッチ・タイムのリセット

✓ 計時が停止されていること。

▶ クロノ ▶ ストップ ▶ リセット

すべてのストップウォッチ・タイムをゼロにリセットすることができます。

PCMでの計時の表示

i インフォメーション

ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント (PCM) の操作に関するインフォメーション:
 ▷ 「ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント (PCM) の操作」 (273ページ) を参照してください。

ストップウォッチの表示

- ✓ 計時が開始されていること。
 ▷ 「計時の開始」 (145ページ) を参照してください。

1. **CAR** ボタン ▶ **SC**
2. ストップウォッチ・ディスプレイをブラウズ (スワイプ) してください。



図96: ストップウォッチ・ディスプレイ (記録中)

- A ラップ・カウンター - 現在のラップ回数
- B 現在のラップ・タイム (緑色: 最速ラップよりも速い, 黄色: 最速ラップと同タイム, 赤色: 最速ラップよりも遅い)
- C 最速のラップ・タイム
- D サークル・ダイアグラム (基準ラップの一部として走行した距離)
- E まだ残っている記憶時間
- F 現在の燃費の残量で走行可能なラップ回数

トラック進捗の表示

- ✓ 計時が開始されていること。
 ▷ 「計時の開始」 (145ページ) を参照してください。
- ✓ **CAR** ボタン ▶ **SC** ▶ **設定** **ストップウォッチ** により追加データを記録 機能が作動していること

1. **CAR** ボタン ▶ **SC**
2. トラック進捗ディスプレイをブラウズ (スワイプ) してください。



図97: 記録中 - トラック進捗ディスプレイ

- A 現在の車両位置
- B 現在のラップ (緑色: 最速ラップよりも速い, 黄色: 最速ラップと同タイム, 赤色: 最速ラップよりも遅い)
- C 基準ラップ (灰色)

記録の表示および編集

1回のセッションで最大99ラップを記録することができます。基準ラップがまだロードされていない場合は、記録の中の最初のラップが基準ラップとして使用されます。最大で10時間の記録が可能です。

記録の表示

- ✓ 計時が停止されていること。
 ▷ 「計時の停止」 (145ページ) を参照してください。



1. **CAR** ボタン ▶ **SC**
2. 記録ページにブラウズ (スワイプ) してください。
3. 記録フォルダーを選択してください。
4. 希望の記録を選択して (記録001など)、記録を表示させてください。

記録データの表示



1. **CAR** ボタン ▶ **SC**
2. 記録ページにブラウズ (スワイプ) してください。
3. 記録フォルダーを選択してください。
4. 希望の記録を選択して (記録001など)、記録を表示させてください。
5. コントローラーの **Statistics (統計情報)** を選択してください。個別のラップに関する情報が表示されます。




記録のトラック進捗の表示

- ✓ **CAR** ボタン ▶ SC ▶ 設定 ストップウォッチにより追加データを記録機能が作動していること

1. **CAR** ボタン ▶ SC 
2. 記録ページにブラウズ（スワイプ）してください。
3. 記録フォルダーを選択してください。
4. 希望の記録を選択して（記録001など）、記録を表示させてください。
5. コントローラーの地図を選択してください。
ラップのトラック進捗に関する情報が表示されます。


ラップの表示および編集

1. **CAR** ボタン ▶ SC 
2. 記録ページにブラウズ（スワイプ）してください。
3. 記録フォルダーを選択してください。
4. 希望の記録を選択して（記録001など）、記録を表示させてください。
5. コントローラーのStatistics（統計情報）を選択してください。
個別のラップに関する情報が表示されます。
6. 希望のラップを選択してください。
7. コントローラーの希望の設定を選択してください。

- 保存: 基準ラップとしてラップの保存
- 地図: ラップのトラック進捗を表示します
- 消去: ラップの削除


基準ラップの設定

- ✓ 計時が停止されていて、リセットされていること。
- ▷ 「マルチファンクション・ディスプレイでの実行」（145ページ）を参照してください。

1. **CAR** ボタン ▶ SC 
2. 記録ページにブラウズ（スワイプ）してください。
3. 基準ラップの中から希望の基準ラップを選択してください。
希望の基準ラップが表示されます。
4. コントローラーのSet Ref.（基準ラップの設定）を選択してください。


PCMの設定入力

記録および基準ラップの管理

1. **CAR** ボタン ▶ SC  ▶ **OPT** ボタン
2. 希望のオプションを選択してください。

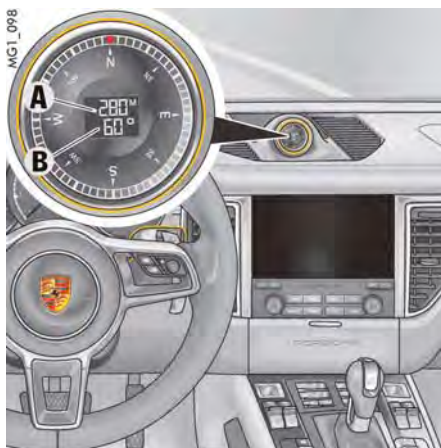
- データ名を変更する基準ラップおよび記録のデータ名を変更することができます。
- データを移動：記録および基準データを、SDカードまたはUSB大容量記憶装置にエクスポート、またはインポートすることができます。
 - インポート：データをインポートするには、データが記憶装置のスポーツクロノ・フォルダーに保存される必要があります。選択およびDeselect（選択解除）で、インポートするデータを選択してください。インポートで、選択したデータをインポートしてください。
 - エクスポート：選択およびDeselect（選択解除）で、エクスポートするデータを選択してください。エクスポートで、選択したデータをエクスポートしてください。
- データを削除：基準ラップおよび記録のデータ名を削除することができます。

その他の設定

1. **CAR** ボタン ▶ **SC**  ▶ **OPT** ボタン ▶ **設定 ストップウォッチ**
2. 希望の項目を選択してください。

- **追加データを記録** ラップの長さおよびラップ・タイムに加え、他の走行データ（速度など）を1秒間隔で記録することができます。トラック進捗も地図に表示させることが可能です。
 - ▷ 「記録の表示および編集」（146ページ）を参照してください。
- **許容距離差**：基準ラップの長さとは任意のラップの長さがどのくらい異なるかを表示します。長さの逸脱が大きいラップは評価に含まれません。
- **評価の最大タイム差**：記録時に速度が同一（黄色マーク）と評価されたラップ間の最大のタイム差を表示します。

ダッシュボードのコンパス



走行中にコンパスの外側のリングが回転し、四方の基本的な方向とその中間の方向を確認することができます。

ディスプレイの中ほどには、標高 (A) および気温 (B) が表示されます。

コンパスの測定単位を変更できます。

- ▷ 「スピードメーターおよびコンパスの単位設定」（313ページ）を参照してください。

ストップウォッチ・ディスプレイの明るさを調節できます：

- ▷ 「インストルメント・ライトの明るさ調整」（46ページ）を参照してください。

コンパスの表示形式を切り替えることができます。

- ▷ 「ダッシュボードのコンパス・ディスプレイを設定する」（312ページ）を参照してください。

コンパスの時刻の表示

コンパスの時間表示を設定できます：

- ▷ 「ダッシュボードのコンパスの時刻表示*」（308ページ）を参照してください。


スポーツ・エキゾースト・システム

スポーツ・エキゾースト・システムのON/OFF



図98: センター・コンソールのスポーツ・エキゾースト・システム操作ボタン

スポーツ・エキゾースト・システムはイグニッションがONのときに排気音最適化モードに切り替えることができます。

- ▶  ボタンを押してください。
スポーツ・エキゾースト・システムが作動すると、ボタンのインジケータ・ライトが点灯します。

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

「スポーツ」および「スポーツ・プラス」モード

「スポーツ」および「スポーツ・プラス」モードの使用

全体的によりスポーティーで多様なシャーシ設定の選択が可能です。

「スポーツ」モードは日常の走行において、躍動感とパフォーマンスを向上させるようコントロール・システムを切り替えます。

「スポーツ・プラス」モード、では、レース・サーキットでの走行に適した最高性能を発揮できる設定に切り替わります。

- エンジンはスロットル操作に対してより機敏に反応します。スポーツ・モードがONの状態でも車速が40km/hを下回った場合、この機能を作動させるには、アクセル・ペダルをいっぱいまで踏み込むか素早く放す必要があります。

- エンジン回転数リミッター特性は「よりハードな設定」になります。言い換えると、エンジンが性能限界に達したときにスロットルが直ちに反応します (PDKマニュアル・モードのみ)。

- ダイナミック・コーナリング・ライト(PDLS)およびダイナミック・ハイ・ビーム (PDLS プラス) は、コーナリング中または対向車があるときの走行などの場合により速く、よりダイナミックな制御を行います。

▷ 「ポルシェ・ダイナミック・ライト・システム(PDLS)」(326ページ)を参照してください。

▷ 「ポルシェ・ダイナミック・ライト・システム・プラス(PDLS Plus)」(326ページ)を参照してください。

- オート・スタート/ストップ機能および惰性走行モードは解除されます。

▷ 「オート・スタート/ストップ機能」(78ページ)を参照してください。

- アダプティブ・クルーズ・コントロールはよりダイナミックに速度と距離を制御します。

▷ 「アダプティブ・クルーズ・コントロール (ACC)」(37ページ)を参照してください。

- PDK トランスミッションがスポーティーなシフト特性に切り替わり、ギヤ・シフト時間が短くなります。

ギヤ・シフトがより高回転で行われます。シフトアップはより遅く始まり、シフトダウンはより早く行われます。ギヤ・シフトが素早く実行されます。

- PTM (ポルシェ・トラクション・マネージメント)は「スポーツ・プラス」モードがONのとき更にダイナミックな制御マップに切り替わります。

- PSM (ポルシェ・スタビリティ・マネージメント)コントロールは、「スポーツ・プラス」モードで更にスポーティーな設定になります。PSMの介入がノーマル・モードより遅めになります。ドライバーは緊急時のPSMの介入を無効にすることなく、性能限界域で車両をより俊敏に操ることが出来ます。これにより、特にドライ・コンディションのサーキットではラップ・タイムの短縮に貢献します。

▷ 「ポルシェ・スタビリティ・マネージメント(PSM)」(284ページ)を参照してください。

- PTVプラス (ポルシェ・トルク・ベクトリング・プラス)は「スポーツ・プラス」モードがONのとき更にダイナミックな制御マップに切り替わります。

▷ 「トランスミッションおよびシャーシ・コントロール・システム」(212ページ)を参照してください。

- PASM (ポルシェ・アクティブ・サスペンション・マネージメント)は自動的に「スポーツ」または「スポーツ・プラス」モードに変わり、サスペンションはハードな設定となります。スポーツ・プラス・モードのとき、PASMはエア・サスペンションおよびレベル・コントロールを制御して車高をロー・レベルまで約10mm下げます。

▷ 「ポルシェ・アクティブ・サスペンション・マネージメント(PASM)」(271ページ)を参照してください。

スポーツ・モードのON/OFF



図99: スポーツ・ボタン

- ✓ イグニッションをONにしてください。
- ▷ オフロード・モードをOFFにしてください。「オフロード・モード」(77ページ)を参照してください。
- ▶ SPORTボタンを押してください。ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。デジタル・スピードメーターに「SPORT」の文字が表示されます。
- PDK トランスミッションがスポーティーなシフト特性に切り替わり、ギヤ・シフト時間が短くなります。
- ドライバーのスポーティーなドライビング・スタイルをいち早く認識し、そのときのドライビング・パフォーマンスに応じたギヤ・シフト時間になります。
- 減速時のシフトダウンが早いタイミングで実行されます。またエンジン回転数が高いときでも、わずかな減速でシフトダウンされます。

「スポーツ・プラス」モードのON/OFF

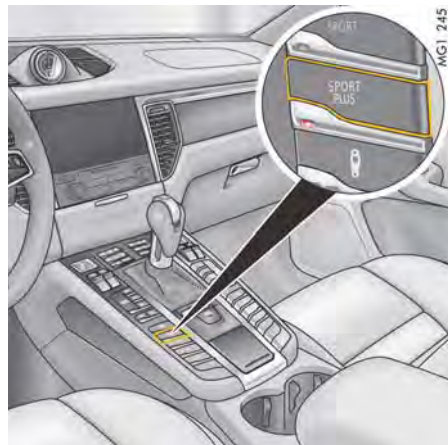


図100: 「スポーツ・プラス」ボタン

- ✓ イグニッションをONにしてください。
- ▷ オフロード・モードをOFFにしてください。「オフロード・モード」(77ページ)を参照してください。
- ▶ **SPORT PLUS** ボタンを押してください。ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。デジタル・スピードメーターに「SPORT PLUS」の文字が表示されます。スポーツ・プラス・モードでは、PDKトランスミッションがレース・サーキットでの走行に適したギヤ・シフト特性に切り替わります。


i インフォメーション

オフロード・モードがONのときに「スポーツ」または「スポーツ・プラス」モードの選択はできません。

「スポーツ」/「スポーツ・プラス」および「PASMスポーツ」/「PASMスポーツ・プラス」モード

「スポーツ」/「スポーツ・プラス」モードのON/OFFを切り替えると、それに対応してPASMモード(「PASMスポーツ」/「PASMスポーツ・プラス」)も同時にON/OFFされます。

「スポーツ」または「スポーツ・プラス」モードの特性を使用しながら、より快適なシャーシ設定を選択したい場合、PASMモードを手動操作で切り替えることができます。

- ▶ ボタン  を(繰り返し)押してください。選択したシャーシ設定のボタンのインジケーター・ライトが点灯します。更に、選択したシャーシ設定はマルチファンクション・ディスプレイに表示されます。
- ▷ 「「スポーツ」および「スポーツ・プラス」モードの使用」(150ページ)を参照してください。

i インフォメーション

イグニッションをOFFにすると、スポーツ・モードは自動的にノーマル・モードにリセットされます。

警告シンボルへの対応

PASMの故障がマルチファンクション・ディスプレイに表示されます。

- ▷ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」(98ページ)を参照してください。

スモーカーズ・パッケージ

灰皿の使用



警告

灰皿による火災の危険

灰皿に紙くずなどを入れると発火するおそれがあります。

▶ 絶対に灰皿を紙くず入れとして使用しないでください。

フロントの灰皿の使用

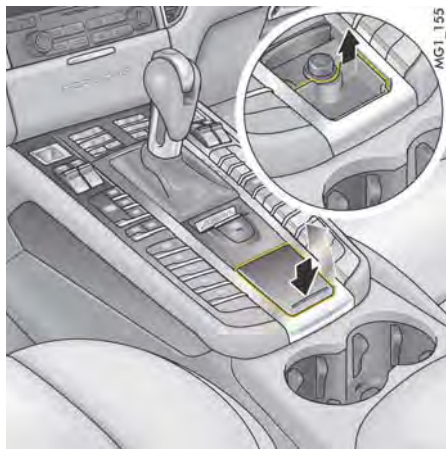


図101: フロントの灰皿の使用

灰皿を開く

▶ 灰皿のリッドを素早く押してください(図101)。リッドは自動で開きます。

灰皿を空にする

1. 灰皿のインサートを引き上げて取り外してください。
2. 灰皿を掃除した後は、元に戻してカチッと音がするまで所定の位置に押し込んでください。

リヤの灰皿の使用

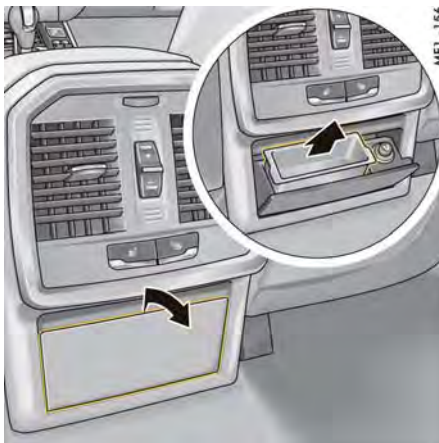


図102: リヤの灰皿の使用

灰皿を開く

▶ 灰皿の上端(矢印)を持って開いてください。

灰皿を空にする

1. 灰皿をいっぱいを開いてください。
2. 灰皿のインサートを取り外してください。

シガー・ライターを使用する



図103: フロント・シガー・ライター

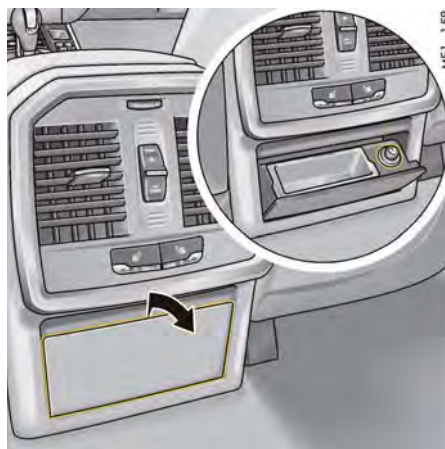


図104: リヤ・シガー・ライター

▲ 警告**高温のシガー・ライター**

使用中のシガー・ライターの先端は非常に熱くなります。

- ▶ お子様のみを車内に残さないでください。
- ▶ ヒーター・エレメントまたはシガー・ライターの側面部は絶対に触れないでください。
- ▶ 作動ボタン以外で高温のシガー・ライターを持たないでください。

シガー・ライターはイグニッションの位置に関係なく使用できます。

1. 前席ではリッドを短く押して開き、後席では灰皿を開いてください(図103, 図104, **矢印**)。
2. 作動ボタンをソケットに押し込んでください(図103, 図104)。ライターのフィラメントが赤熱すると、ライターが元の位置まで飛び出します。
3. シガー・ライターを取り外してください。

シガー・ライター・ソケットで充電アダプターを使用する際のインフォメーション:

- ▶ 「充電アダプターの接続」(191ページ)を参照してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

スピード・リミッター*

スピード・リミッターは、約30~240km/hの範囲内で選択された任意の速度に最高速度を制限することができます。例えば、市街地に定められた制限速度を車両が超えることを防止します。

スピード・リミッター作動時は、設定した最高速度を超えて車両が加速することを制限するため、フルスロットル位置までのアクセル開度が小さくなります。追い越し時などには、アクセル・ペダルを踏み込むことにより、いつでもフルスロットルで抵抗を感じる位置を超えて加速することができます（キックダウン）。

▲ 警告

集中力の低下

スピード・リミッターにより快適性は向上しますが、ドライバーは運転に責任を持ち、安全運転を心がけてください。スピード・リミッターが有効な場合であっても、ドライバーは走行中に車両が定められた制限速度を超えないよう、常に安全運転に努めてください。このシステムは、あくまでも補助的な機能のため運転時には細心の注意を払ってください。

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ 意図しない速度制限を防ぐため、使用後は必ずスピード・リミッターをOFFにしてください。
- ▶ 必要が無い場合はフルスロットルで走行しないでください。

▲ 警告

危険な交通状況や路面状態が悪い状況での走行

交通状況により前走車との安全な距離を保って走行できない場合、または一定の速度で走行できない場合、スピード・リミッターを使用すると事故を起こす恐れがあります。

- ▶ 激しい渋滞、カーブの多い道、路面状態が悪い場合（冬場の滑りやすい路面、濡れた路面、起伏の多い路面など）でスピード・リミッターを使用しないでください。

▲ 警告

下り坂走行中のスピード・リミッターの制限

下り坂を走行している時、スピード・リミッターは車両の最高速度を制限することはできません。車両本体の重量により速度が上昇します。

- ▶ シフトダウンするかブレーキ・ペダルを踏んで車両を減速してください。



インフォメーション

選択された最高速度を維持するために、エンジン・トルクが自動的に減少します。アクティブ・ブレーキ機能は作動しません。

ステータス・ディスプレイの表示

MFB-823



図105: マルチファンクション・ディスプレイ

速度制限がONの場合は、マルチファンクション・ディスプレイにステータス・ディスプレイBが表示されます(図105)。

- アダプティブ・クルーズ・コントロールが作動すると、ステータス・ディスプレイBが橙色に変わります。
- アダプティブ・クルーズ・コントロールの作動を中断すると、ステータス・ディスプレイBが灰色になります。

下の表にステータス・ディスプレイの例を示します。

シンボル 意味



- スピード・リミッター ON
- 最高速度が保存されていません



- 最高速度が保存されました
- 速度制限機能が無効です



- 最高速度が保存されました
- 速度制限機能が無効です



シンボルが点滅し、警告音が鳴ります:

- 保存した速度制限を超過しています。

* 日本仕様に設定はありません。

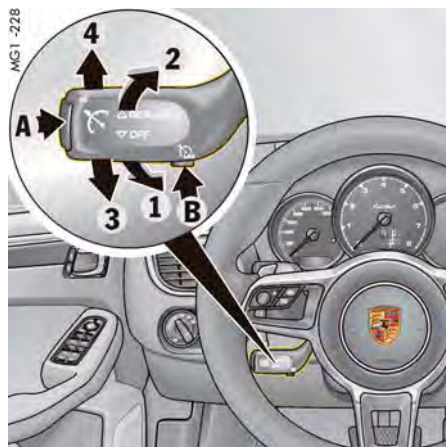


図106: クルーズ・コントロール操作レバー

- A クルーズ・コントロールのON/OFF
 B クルーズ・コントロール/スピード・リミッターの切り替え
 1 最高速度の設定/上昇
 2 最高速度の低下
 3 速度制限の中断(OFF)
 4 速度制限の再開(RESUME)

スピード・リミッターの作動

- ✓ クルーズ・コントロールをON (スタンバイ) にしてください。
 - ▷ 「クルーズ・コントロールON (スタンバイ)」(95ページ) を参照してください。
- ▶ クルーズ・コントロールがON (スタンバイ) の時に、操作レバーのボタンBを押してください。
 マルチファンクション・ディスプレイにメッセージが表示されます。

最高速度を設定する、保存する、上げる

オプション1

1. アクセル・ペダルの操作で希望する速度まで加速してください。
2. ステアリング・コラムのクルーズ・コントロール操作レバーを前方 (1の位置) に押してください。
 そのときの最高速度が保存され、自動的に維持されます。

オプション2

- ▶ ステアリング・コラムのクルーズ・コントロール操作レバーを前方 (1の位置) に押してください。
 最高速度が1km/h単位で上がります。
または
- ▶ ステアリング・コラムの操作レバーを前方 (1の位置) で保持してください。
 最高速度が10km/h単位で上がります。
 新しく設定した速度がマルチファンクション・ディスプレイに表示されます。

インフォメーション

最高速度は、車両が停止していてイグニッションがONのときにステアリング・コラムの操作レバーを使用して設定することもできます。

保存された最高速度を下げる

- ▶ ステアリング・コラムのクルーズ・コントロール操作レバーを手前 (2の位置) に素早く引いてください。
 最高速度が1km/h単位で下がります。
または
 ステアリング・コラムの操作レバーを希望の速度になるまで手前 (2の位置) で保持してください。
 最高速度が10km/h単位で下がります。
 新しく設定した速度がマルチファンクション・ディスプレイに表示されます。

スピード・リミッターの中断 (OFF)

- ▶ 操作レバーを下方 (3の位置) に押してください。
または
 操作レバーのボタンBを押してください。
 中断前に保存された最高速度はメモリに保存され、操作レバーを押して呼び出すことができます。
- ▷ 「保存された最高速度の再開(RESUME)」(156ページ) を参照してください。

キックダウンによるスピード・リミッターの一時的な解除

キックダウンによって設定された最高速度を超えた場合 (追い越し中など)、警告音が鳴りマルチファンクション・ディスプレイのステータス・ディスプレイ B の保存された最高速度とスピード・リミッターのシンボル・マークが橙色に点滅します。スピード・リミッターは一時的に解除されます。車両の速度が保存された最高速度を下回ると、スピード・リミッターが再度作動します。

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

下り坂の走行

下り坂を走行している時、車両本体の重量によりスピード・リミッターは設定された最高速度を維持することはできません。設定された最高速度を超えた場合、連続した警告音が鳴りマルチファンクション・ディスプレイのステータス・ディスプレイ **B** の保存された最高速度とスピード・リミッターのシンボル・マークが継続的に橙色に点滅します。

▶ シフトダウンするかブレーキ・ペダルを踏んで車両を減速してください。

車両の速度が保存された最高速度を下回ると、スピード・リミッターは設定された最高速度に車両の速度を調節します。

保存された最高速度の再開 (RESUME)

▶ 操作レバーを上方 (4の位置) に押してください。スピード・リミッターは保存された最高速度を設定します。

i インフォメーション

周囲の交通状況や路面状態が設定速度での走行に適しているときのみ、保存された最高速度を呼び出してください。

スピード・リミッターの解除

▶ 操作レバーのボタン**B**を押してください。
最後に選択した最高速度が保存されます。
スピード・リミッターのシンボル・マークが消え、クルーズ・コントロールがON (スタンバイ) になります。

ボタン **A** を押すか、またはイグニッションをOFFにすると保存した最高速度が消去されます。

自動

次のような状況では、スピード・リミッターは自動的に中断されます。

- スピード・リミッターの機能が損なわれるシステム故障が発生した場合
- エアバッグが作動した場合

i インフォメーション

システム故障によりスピード・リミッターが解除された場合、アクセル・ペダルを放すか、ボタン**A**または**B**を押してシステムをOFFにしたときのみ完全に解除されます。

制限速度表示*



図107: カメラの取り付け位置

制限速度表示は、カメラ A を使用して、制限速度と追い越し禁止ゾーンの始点と終点を検出します。

交通標識はナビゲーション・システムの地図データと連動して評価され、マルチファンクション・ディスプレイに表示されます。

濡れた路面、分岐レーン、または時限式標識などで制限速度が低くなる場合、車両から供給される情報（レイン・センサー、ナビゲーションの日時など）と比較して補助標識が表示されます。

制限速度表示は国によって異なるため、すべての国別仕様に適用されるわけではありません。ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント (PCM) の速度制限表示に関するインフォメーション：

- ▶ 「地図設定の変更」(220ページ) を参照してください。

警告

集中力の低下

ドライバーは、制限速度表示に関係なく、適切な速度で走行するなど安全運転に努めてください。このシステムは、あくまでも補助的な機能のため運転時には細心の注意を払ってください。

制限速度表示には、車両が制限速度を超過した場合の警告機能はありません。設定した制限速度に車両の速度を調整する機能でもありません。

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ 交通状況と車両周囲には常に注意を払ってください。
- ▶ 交通状況に応じた速度で運転してください。

警告

交通標識を検出するカメラの不良

雨水、雪、氷、多量の水しぶき、対向車のヘッドライトなどでカメラの視界が低下すると、カメラは交通標識を検出できない、または正しく検出できない場合があります。このような場合、制限速度が表示されなかったり、誤った制限速度が表示されたりします。マルチファンクション・ディスプレイに表示された制限速度よりも、実際の道路交通標識を常に優先して確認してください。

- ▶ 走行中は道路標識に常に注意を払ってください。
- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ 進行方向の状況に常に気を配ってください。

i

インフォメーション

例えば次のような状況では、制限速度表示機能が一時的に制限されます。

- カメラがひどく汚れている、氷で覆われている、あるいは（ステッカーなどで）塞がれている場合
- 悪天候（豪雨など）
- スピードの出し過ぎ
- 交通標識が見えにくい状態、または損傷している

i

インフォメーション

カメラの作動を干渉する物がないことを確認してください：

- ▶ ルーム・ミラーのカメラの視界（図107）をステッカーなどで遮らないでください。
 - ▶ 正常な機能を維持するために、カメラの視界に付着した汚れ、氷、雪などを取り除いてください。
- 車両のお手入れについて：
- ▶ 「車両のお手入れ」(124ページ) を参照してください。

i

インフォメーション

交通標識がカメラによって検出されない場合、ナビゲーション・システムに保存されている制限速度が自動的に表示されます。

制限速度の表示*

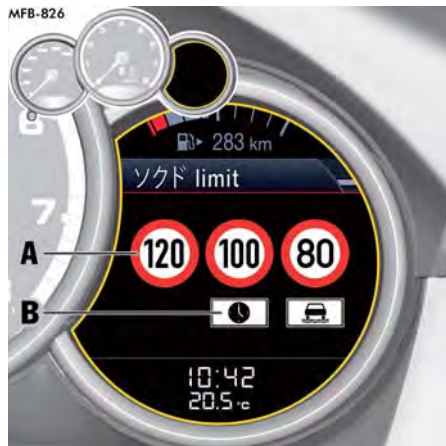


図108: マルチファンクション・ディスプレイの速度制限

- A 主要交通標識
- B 補助標識

マルチファンクション・ディスプレイの「A 制限速度 B」メイン・メニューに、補助標識を含む**主要交通標識***を最大3個まで表示することができます。最も優先順位の高い交通標識が左側に表示されます。

イグニッションをONにした後、マルチファンクション・ディスプレイに有効な最新の制限速度が表示されます。

制限速度が検出されない場合(制限速度がない高速道路など)、または現在地で速度制限表示が利用できない場合は、メッセージがマルチファンクション・ディスプレイに表示されます。

- ▷ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」(98ページ)を参照してください。

i インフォメーション



- 制限速度表示は、メイン・メニューまたはマルチファンクション・ディスプレイの上部ステータス・エリアに表示できます。
 - ▷ 「上部のステータス・エリアの表示を変更する」(305ページ)を参照してください。
- 交通静音化対策地域または住宅地では、制限速度表示は「5km/h」(「3 mph」)と表示されます。
- 交通標識のない高速道路や(中央分離帯のある)幹線道路の入口/出口では、郊外道路の該当する制限速度が表示されます。

接続マネージャー

接続マネージャーを開く



図109: 接続マネージャーを開く

- ▶ フッターの  または  を選択してください（接続状態により異なる）。
または
PHONE ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **接続** を選択してください。

以下の接続は、接続マネージャーを使用して集中管理することができます。

- **電話**：PCMを携帯電話にBluetooth®で接続してください。
 - ▷ 「携帯電話をBluetooth®で接続する（携帯電話の準備）」（193ページ）を参照してください。
- **データ接続**：SIMカードを挿入してください。
 - ▷ 「データ接続を確立する（接続）」（160ページ）を参照してください。
- **Bluetoothオーディオ**：PCMを外部Bluetooth®メディア・ソースに接続してください。
 - ▷ 「外部機器をBluetooth®を介して接続する」（280ページ）を参照してください。

- **Apple CarPlay**：Apple® CarPlayを使用してください。
 - ▷ 「Apple® CarPlay」（365ページ）を参照してください。
- **Porsche Connect App**：PCMのWiFi設定を表示し、Porsche Connect AppをWiFi経由でPCMに接続してください。
 - ▷ 「Porsche Connect App」（371ページ）を参照してください。

接続ステータスの表示

- ▷ 「接続ステータスの表示」（194ページ）を参照してください。

インフォメーション

- ポルシェ・コミュニケーション・マネジメント (PCM) の操作に関するインフォメーション:
- ▷ 「ポルシェ・コミュニケーション・マネジメント (PCM) の操作」（273ページ）を参照してください。

接続

データ接続を確立する（接続）

ポルシェ専用SIMカードを使用してデータ接続を確立する

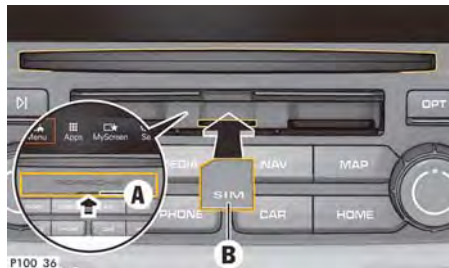


図110:SIMカードの挿入および取り出し

- ✓ SDおよびSIMカード・リーダーのカバーAが開いている

1. SIMカードBを挿入してください。
切り欠き部分を前方左側にして、チップ面を下にしてください。

2. データ接続が確立されます。

- ▶ SIMカードを取り出すには、挿入されたカードを押して抜き出します。

知識

SIMカードを正しく使用しないと、PCMを損傷する恐れがあります。

SIMカード・アダプターを使用すると、振動によりSIMカードがアダプターから外れ、カード・ピンスがPCMから取り出せなくなる恐れがあります。

- ▶ SIMカード・アダプターは使用しないでください。

データ接続の設定に関するインフォメーション：

- ▶ 「データ接続の設定」（200ページ）を参照してください。

電話の設定に関するインフォメーション：

- ▶ 「電話設定の変更」（199ページ）を参照してください。

Bluetooth[®]を使用した携帯電話のPCMへの接続に関するインフォメーション：

- ▶ 「電話」（192ページ）を参照してください。

接続の利用

「NAV」および「MAP」メイン・メニューでの接続

- ✓ 挿入されたSIMカードにより、データ接続が正常に確立されている
 - ▶ 「データ接続を確立する（接続）」（160ページ）を参照してください。
- ナビゲーション目的地の入力時のGOOGLE[®]検索
 - ▶ 「目的地の検索」（214ページ）を参照してください。
- GOOGLE[®] EarthおよびGOOGLE[®] Street Viewの地図画面
 - ▶ 「マップ・ビューを開いて設定する」（217ページ）を参照してください。

- インターネットから入手した事故、道路工事、交通量情報やその他の事象等に関するリアルタイム交通情報
 - ▶ 「交通情報の表示」（218ページ）を参照してください。

「アプリ」メニューでの接続

- ✓ Porsche Connect Appがお使いの携帯電話にインストール済みで、開かれている
- ✓ 携帯電話がPCMにWiFiで接続されている
- お使いの携帯電話の住所録またはPCMのカレンダーから、個人的なPOI（施設情報）および目的地を保存する
- PCM経由で音楽を再生する、またはオンライン・ラジオを聴く
 - ▶ 「Porsche Connect App」（371ページ）を参照してください。

i インフォメーション

- お使いの携帯電話の料金体系に応じて、また海外で使用する場合は、インターネットからデータ・パッケージを受信する際に追加料金が発生する場合があります。定額データ・プランのご利用をお勧めします。

サービス情報の表示

- ▶ **HOME** ボタン ▶ Apps ▶ **OPT** ボタン ▶ サービス情報
購入したサービスおよび契約期間に関する情報が表示されます。

PCMデータ接続（WiFiホットスポット）の使用

この機能により、機器（携帯電話など）をPCMにWiFi経由で接続してPCMのWiFiホットスポットを使用することができます。

✓ SIMカード経由でデータ接続が確立されている

1. **PHONE** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **SET PHONE** ▶ **WiFi設定**
2. 必要に応じて、WiFiを**作動**を選択して**WiFi機能を有効**にしてください。
3. **PCMのWiFiホットスポット設定**を選択してください。
PCMのWiFiアクセス・データ（機器名およびWiFiパスワード）が表示されます。
4. PCMのWiFiアクセス・データを機器のWiFi設定に入力してください。
PCMのWiFiホットスポットとの接続が確立します。

WiFi設定に関するインフォメーション：

- ▷ 「WiFi設定の設定」（199ページ）を参照してください。

i インフォメーション

- お使いの携帯電話の料金体系に応じて、また海外で使用する場合は、インターネットからデータ・パッケージを受信する際に追加料金が発生する場合があります。定額データ・プランのご利用をお勧めします。
- WiFiホットスポットを利用するときは、データ・セキュリティー・ソフト、ウイルス対策およびデータ損失対策用ソフトを各機器にインストールしてください。

セントラル・ロック

概要 - 車外からのドアの開閉 操作とロック

この概要説明は「セントラル・ロッキング・システム」に記載されているすべての情報に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。



図111: キー

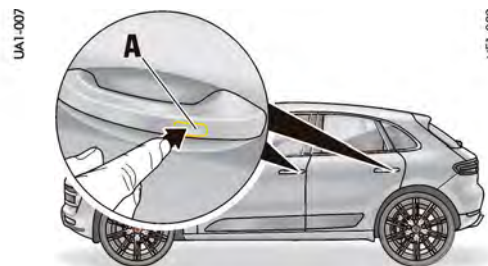






図112: ポルシェ・エントリー&ドライブ

運転者が何をしたいか?	その操作方法は?	その結果は?
ロック解除	キーによる操作: ▶ キーのボタン  を押してください。 ポルシェ・エントリー&ドライブ装備車: ▶ ドア・ハンドルをしっかりと握ってください。	ハザード・ライトが1回点滅します。 ドアを開くことができます。
ロック	キーによる操作: ▶ キーのボタン  を押してください。 ポルシェ・エントリー&ドライブ装備車: ▶ ドア・ハンドルのタッチ・センサー A に 触れてください。	ハザード・ライトが2回点滅します。ドアおよび リヤ・リッドはロックされますが、インナー・ ドア・ハンドルを引くことにより、車内からド アを開くことができます。 室内モニタリング・システム装備車の場合: ド アは、インナー・ドア・ハンドルを引いて車内 から開くことができません (セーフロック)。
人/動物を車両に残してロックする場合 (室内 モニタリング・システム装備車) - セーフロックの作動を無効にする および - 室内モニタリング・システムをOFFにする	キーによる操作: ▶ キーの  ボタンを2回押してください (約2秒以内)。 ポルシェ・エントリー&ドライブ装備車: ▶ ドア・ハンドルにある近接センサー A に 2回触れてください (約2秒以内)。	ハザード・ライトがゆっくり1回点滅します。 すべてのドアとリヤ・リッドがロックされます。 一方で、車内からは、インナー・ドア・ハンド ルを引くことにより開くことができます。
アラーム・システムのアラーム音をOFFにする	▶ キーのボタン  を押してください。 または イグニッションをONにしてください。	アラーム音がOFFになります。

セントラル・ロッキング・システムの使用

車両装備により、キーまたはポルシェ・エントリー&ドライブ装備車ではキーを使用せずにドアのロックおよびロック解除ができます。

セントラル・ロッキング・システムは、次の部位をロック/ロック解除します：

- ドア
- リヤ・リッド

キーを使用する

- ▶ キーのボタンを使用します。

i インフォメーション

ここでは初期設定の機能をもとに説明しています。

ロック/ロック解除の設定変更に関するインフォメーション：

- ▶ 「ドア・ロック機能を設定する」(312ページ)を参照してください。

ポルシェ・エントリー & ドライブ 装備車

ポルシェ・エントリー&ドライブ装備車の場合、ドライバー・キーを使用せずにロックおよびロック解除を行なうことができます。ドライバー・キーは、たとえばズボンのポケットなどに入れ、常に携帯してください。

- ▶ キーを強い電磁波にさらさないでください。ポルシェ・エントリー&ドライブに悪影響を与える場合があります。


ドア・ロックを解除してドアを開く

ドアのロック解除機能の設定

車両のロック解除で運転席ドアとリヤ・リッドのみを解除するか、またはすべてのドアを解除するかは設定に左右されます。

- ▶ 「ドア・ロック機能を設定する」(312ページ)を参照してください。


設定にかかわらず、すべてのドアのロックを解除します：

- ▶ キーの  ボタンを5秒以内に2回押してください。

ドライバー・キーによるドアのロック解除



図113: キーによるドアのロック解除

1.  ボタンを押してください。ハザード・ライトが1回点滅します。ドア・ロックが解除されます。
2. ドア・ハンドルを引いてドアを開いてください。

ポルシェ・エントリー & ドライブ (キーレス) によるドアのロック解除



図114: ポルシェ・エントリー & ドライブによるドアのロック解除

- ✓ ドアは、車内にキーがある場合は車内から、車外にキーがある場合は車外からロック解除できます。
1. ドア・ハンドルをしっかりと握ってください。ハザード・ライトが1回点滅します。ドア・ロックが解除されます。
 2. ドア・ハンドルを引いてドアを開いてください。

i インフォメーション

車両のロックを一定時間以内に解除しなかった場合、ポルシェ・エントリー&ドライブの作動待機がOFFになります。運転席ドアは96時間後、助手席ドアは36時間後に作動待機がOFFになります。

1. ドア・ハンドルを1回引くと、ポルシェ・エントリー & ドライブが作動待機状態に戻ります。
2. ドア・ハンドルをもう1回引くと、ドアが開きます。

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

i インフォメーション

ドア・ロックを解除してからドアまたはリヤ・リッドを開かなかった場合、30秒後に自動的にロックされます。警報システムは起動します。傾斜センサー*と室内モニタリング・システムは解除されます（盗難防止機能が制限されます）。この場合、インナー・ドア・ハンドルを引くことにより、車内からドアを開くことができます。

- ▶ ドアを開いた場合、警報システムが作動することを車内に残る人に伝えてください。再度ロックされた後は、室内モニタリング・システムおよび傾斜センサー*が再び作動します。

i インフォメーション

エアバッグが作動する事故が起きた場合、救助者が車両に入りやすくするためにドアが自動的にロック解除されます。ハザード・ライトも自動的に作動します。

ドアをロックする

セーフロック

セーフロックは、ロックされた車両のインナー・ドア・ハンドルとセントラル・ロッキング・ボタンを無効にし、不正な車内への侵入を難しくします。


▲ 警告

車外からのロック

車外からドアをロックすると、車内からドアやウィンドウを開くことができなくなります（セーフロック）。そのため、ロックする前に車両に人または動物が残っていないことを確認してください。ロックされたドアによって緊急時に救助者が車内に入ることが困難になります。

- ▶ 車両をロックするときは、車内に人や動物がいないことを確認してください。

ドライバー・キーによるドアのロック

1. ドアを閉じてください。
2.  ボタンを1回押してください。ハザード・ライトが2回点滅します。

室内モニタリング・システム（セーフロック）装備車の場合：


ドアをインナー・ドア・ハンドルを引いて車内側から開くことはできません。

室内モニタリング・システム非装備車：

ドアはロックされますが、インナー・ドア・ハンドルを引くことにより、車内からドアを開くことができます。

または

人や動物を車内に残してロックする場合（ロックされた車両のセーフロックの解除）：

- ▶  ボタンを2秒以内に2回押してください。ハザード・ライトがゆっくり1回点滅します。ドアはロックされますが、インナー・ドア・ハンドルを引くことにより、車内からドアを開くことができます。
- ▶ ドアを開いた場合、警報システムが作動することを車内に残る人に伝えてください。

i インフォメーション

- ドア、ボンネット、またはリヤ・リッドが完全に閉じていない場合、車両をロックできません。警告音が鳴り、マルチファンクション・ディスプレイにメッセージが表示されます。ハザード・ライトは点滅しません。
- 運転席ドアのみが閉じている状態でロックすると、車両はプリロックされます。
- ▶ 残りのドア、リヤ・リッドをロックするときは、キーが車外にあることを確認してください。キーを車内に残したままにすると、スペア・キーを使用しなければロックを解除することができなくなります。

ポルシェ・エントリー&ドライブ（キーレス）によるドアのロック

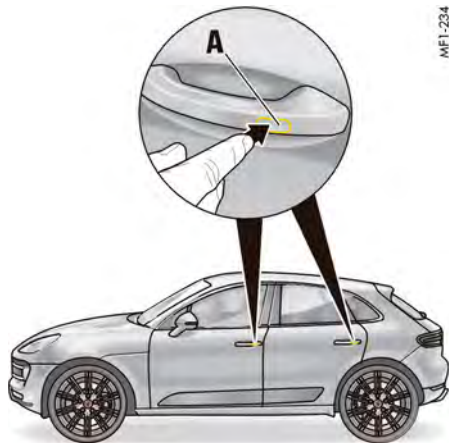


図115: ポルシェ・エントリー&ドライブによるドアのロック

* 日本仕様に設定はありません。

✓ キーはズボンのポケットなどに入れて携帯してください。

1. ドアを閉じてください。
2. ドア・ハンドルのタッチ・センサー **A** に触れてください。

ハザード・ライトが2回点滅します。

室内モニタリング・システム（セーフロック）装備車の場合：

ドアをインナー・ドア・ハンドルを引いて車内側から開くことはできません。

室内モニタリング・システム非装備車：

ドアはロックされますが、インナー・ドア・ハンドルを引くことにより、車内からドアを開くことができます。

または

人や動物を車内に残してロックする場合（ロックされた車両のセーフロックの解除）：

- ▶ ドア・ハンドルのタッチ・センサー **A** に2秒以内に2回触れてください。

ハザード・ライトがゆっくり1回点滅します。

ドアはロックされますが、インナー・ドア・ハンドルを引くことにより、車内からドアを開くことができます。

- ▶ ドアを開いた場合、警報システムが作動することを車内に残る人に伝えてください。

i インフォメーション

- ドア、ボンネット、またはリヤ・リッドが完全に閉じていない場合、車両をロックできません。警告音が鳴り、マルチファンクション・ディスプレイにメッセージが表示されます。ハザード・ライトは点滅しません。
- 運転席ドアのみが閉じている状態でロックすると、車両はプリロックされます。
- ドアをロックするときはキーを車外に持ち出してください。キーが車内にあるとドアをロックできません。

車内からのドアの開閉操作とロック

ドアをロックする

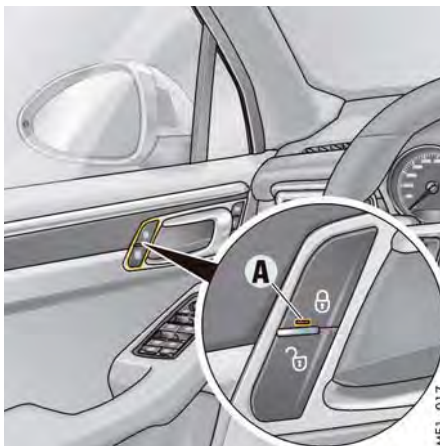


図116: セントラル・ロックング・ボタン

✓ ドアが閉じます。

- ▶ ボタンを押してください。

すべてのドアとリヤ・リッドがロックされます。フィラー・フラップはロックされません。

イグニッションをONにすると、インジケーター・ライト **A** が点灯します。

ドアはインナー・ドア・ハンドルを引くことにより、車内側から開くことができます。

自動ドア・ロック

この機能が作動しているときは、車両の速度が約5km/hを超えると自動的にロックされます。

- ▶ 「ドア・ロック機能を設定する」(312ページ)を参照してください。

ドア・ロックの解除

- ▶ ボタンを押してください。

すべてのドアとリヤ・リッドのロックが解除されます。

インジケーター・ライト **A** が消灯します。

自動ドア・ロック解除

ボルシェ・エントリー&ドライブ非装備車：キーを抜くと、車両のロックが自動的に解除されます。

ボルシェ・エントリー&ドライブ装備車
運転席ドアを開くと、車両は自動的にロック解除されます。

- ▶ 「ドア・ロック機能を設定する」(312ページ)を参照してください。

i インフォメーション

ドライバー・キーまたはエマージェンシー・キーで車両をロックした場合、車内の ボタンでロックを解除することはできません。

ドアを開く



図117: 車内からドアを開く

- ▶ インナー・ドア・ハンドルAを引いてください (図117)。

i インフォメーション

ドアがロックされ、セーフロックが作動している場合、車内からドアを開くことはできません。

リヤ・ドアのチャイルド・ロック機能の作動/解除

室内からリヤ・ドアが開かないようにできます。リヤ・ドア開口部のキャッチの近くに、チャイルド・ロックを作動/解除するためのキー・スイッチがあります。



図118: 右リヤ・ドアのチャイルド・ロック

ロックする:

- ▶ エマージェンシー・キーを使用して、右リヤ・ドアのチャイルド・ロックを約45°反時計回り (図118)に回してください。左リヤ・ドアのチャイルド・ロックは約45°時計回りに回してください。
- チャイルド・ロックが作動すると、ロック・シリンダーが縦位置になります。
- リヤ・ドアを内側から開くことはできません。

ロックを解除するには:

- ▶ エマージェンシー・キーを使用して、右リヤ・ドアのチャイルド・ロックを約45°時計回り (図118)に回してください。左リヤ・ドアのチャイルド・ロックは約45°反時計回りに回してください。
- リヤ・ドアを内側から開くことができます。
- ▶ 「エマージェンシー・キーを使用する場合」 (85ページ) を参照してください。

緊急ドア操作

キーのリモコンが機能しない場合、リモコンなしでもドアを開閉することができます。リモコンが作動しない場合は、以下の原因が考えられます。

- 送信中に電磁波が干渉している (ポルシェ・エントリー&ドライブの場合、ドライバー・キーと車両間の無線通信)。
- キーと電源の入った電子機器 (携帯電話、ノートパソコン、充電ケーブルなど) と一緒に保管しないように注意してください。必要な場合、キーを他の場所へ保管してください。
- リモコンが作動しない場合は、故障が考えられます。
- キーのバッテリーが切れている場合があります (「キーの電池を交換する」 (85ページ) を参照してください)。

緊急ドア・ロック解除

- ▶ リヤ・ウィンドウの右上にドライバー・キーを置き、同時に ボタンを押してください。
- 車両のロックがまだ解除できない場合:
1. エマージェンシー・キーをキーから取り外してください。
 - ▶ 「エマージェンシー・キーを使用する場合」 (85ページ) を参照してください。

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z



図119: 緊急ロック解除

2. ドア・ハンドルを引いたまま保持してください。
3. ドア・ロックのカバーを取り外してください。
4. エマージェンシー・キーをドア・ロックに差し込み、90°反時計回りに一定の力をかけて回したあと、元の位置にもどし、キーを再度抜き取ってください。
5. ドア・ロックにカバーを取り付けてください。
6. ドア・ハンドルから手を離し、もう1回引いてドアを開いてください。
7. 盗難防止警報システムの作動を回避するため、ドアを開いてから15秒以内にイグニッションをONにしてください。

ポルシェ・エントリー & ドライブ装備車の追加作業：

イグニッションをONにできない場合、またはエンジンが始動しない場合、キーが車内不在ことを知らせるメッセージがインストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイに表示されます。

8. コントロール・ユニットをイグニッション・ロック位置0に戻してください。
9. エンジンを再度始動してください。
またはエンジンが始動しない場合、キーが車内不在ことを知らせるメッセージがインストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイに再度表示されます。
10. 約1秒後、メッセージ「**部品の操作：左に回す、取り外、カギをさす**」が表示されます。
11. コントロール・ユニットをイグニッション・ロック位置0に戻し、イグニッション・ロックから取り外してください。
▷「キー/コントロール・ユニットの緊急ロック解除」(86ページ)を参照してください。
12. キーを使用してイグニッションをONにしてください(エマージェンシー・キーは除く)。

緊急ドア・ロック

1. エマージェンシー・キーをキーから取り外してください。



図120: 緊急ロック

2. ドアを開き、ドア・ハンドルを引いたまま保持してください。
3. ドア・ロックからカバーを取り外してください。
4. エマージェンシー・キーをドア・ロックに差し込み、90°時計回りに一定の力をかけて走行方向から回したあと、元の位置にもどし、キーを再度抜き取ってください。
5. ドア・ロックのカバーを再度取り付けてください。
6. ドア・ハンドルから手を離し、ドアを閉じてください。
7. 車両がロックしていることを確認してください。

i インフォメーション

セントラル・ロッキング・システムに異常があるときは、運転席ドアのドア・ロックにエマージェンシー・キーを差し込んでロックすると、正常に機能しているロックのみが作動します。

▷ 「セントラル・ロッキング・システムが故障した場合のドアの緊急ロック」(168ページ)を参照してください。

▷ セントラル・ロッキング・システムの故障を修理してください。

▷ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

セントラル・ロッキング・システムが故障した場合のドアの緊急ロック

1. 右側ドアを開いてください。

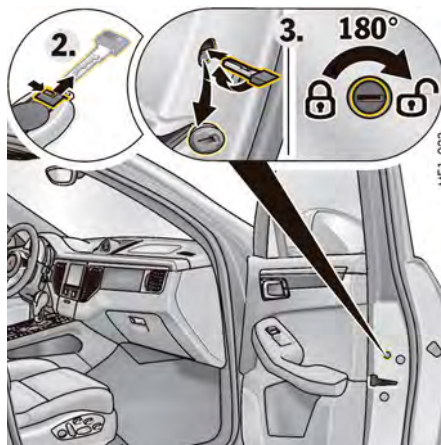


図121: 助手席ドアの緊急ロック

2. エマージェンシー・キーをキーから取り外してください。
3. カバーを取り外してください。エマージェンシー・キーを使用して、キー・スイッチを車両の外側方向に回してください。
4. リヤ・ドアについても同様の作業を行ってください。
5. すべてのドアを開けてください。



図122: 運転席ドアの緊急ロック

6. ドアを開き、ドア・ハンドルを引いたまま保持してください。
7. ドア・ロックのカバーを取り外してください。
8. エマージェンシー・キーをドア・ロックに差し込み、90°時計回りに一定の力をかけて走行方向から回したあと、元の位置にもどし、キーを再度抜き取ってください。
9. ドア・ロックのカバーを再度取り付けてください。
10. ドア・ハンドルから手を離し、ドアを閉じてください。
11. すべてのドアがロックしているか確認してください。

ドアはインナー・ドア・ハンドルを引くことにより、車内側から開くことができます。

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

ポルシェ・エントリー&ドライブ

MFB_337



ポルシェ・エントリー&ドライブのアンテナの取り付け位置

ポルシェ・エントリー&ドライブ装備車は、リモート・コントロール付きキーと車両のアンテナが電波で通信することで、ドアやリヤ・リッドをロック/ロック解除できます。

植え込み型心臓ペースメーカーまたは植え込み型除細動器を装着されているお客様へ

⚠ 警告

植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を装着されている方は、車室外アンテナAおよび車室内アンテナBから約22cm以内の範囲に、植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を近づけないでください。

- ▶ 植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を装着されている方は、車室外アンテナ A および車室内アンテナ B から約 22cm 以内の範囲に近づかないでください。アンテナからは電波が出ており、植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器の作動に影響を与える恐れがあります。
- ▶ 植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器以外の医療用電気機器を使用されている方は、医師や医療用電気機器製造業者などに電波の影響の有無について事前に確認してください。電波により医療用電気機器の作動に影響を与える恐れがあります。

タイヤとホイール

タイヤの寿命は、適切な空気圧やシャシー設定以外に、お客様の運転スタイルにも大きく左右されます。

急加速や高速でのコーナリング、ブレーキを酷使用する運転スタイルは、タイヤの摩耗を早めます。また、外気温が高いときや悪路での走行も、タイヤの摩耗を早める原因です。

積載重量と速度に注意する

- ▶ 適切な速度で運転してください。
- ▶ 過積載を避け、ルーフに積載する場合は注意してください。
- ▶ 「重量（メーカー発表値）」（378ページ）を参照してください。

タイヤ空気圧の点検

知識

タイヤ空気圧が不足していると、タイヤが過熱して目に見えない損傷が発生します。

- ▶ このような損傷が発生した場合は、空気圧を調整しても正常な機能を回復できません。
- ▶ タイヤの温度が高い状態で空気圧を調整しない（空気を抜かない）でください。タイヤの温度が上昇すると、空気圧も高まります。温度が下がったときに空気圧が不足する原因になります。



図123: ドア・シル（ドア開口部）のタイヤ空気圧プレート

規定の空気圧を維持してください。タイヤ空気圧は運転席側ドア・シル（ドア開口部）にあるタイヤ空気圧プレート（図123）、および本書のテクニカル・データの章に記載されています。381ページ。タイヤ空気圧の規定値は、タイヤが冷えているとき(20℃)を基準にしています。

- ▶ 少なくとも2週間に1回はタイヤの冷間時にタイヤ空気圧を点検してください。
- ▶ 「タイヤ空気圧メニュー（タイヤ空気圧モニタリング、TPM）」（301ページ）を参照してください。

タイヤ空気の充填

▲ 注意

高温充填ホース

タイヤに空気を充填する間、コンプレッサーの充填ホースが高温になり、やけどの原因となります。

- ▶ 作業用手袋を着用してください。

タイヤ・シーラントおよび空気圧計付きコンプレッサーは左サイド・トリム・パネル内に収納されています。

- ▶ 「工具セットの取り外し」（331ページ）を参照してください。
- ▶ コンプレッサーの取扱説明書に従ってください。

1. 充填ホースをタイヤ・バルブにねじ込んでください。

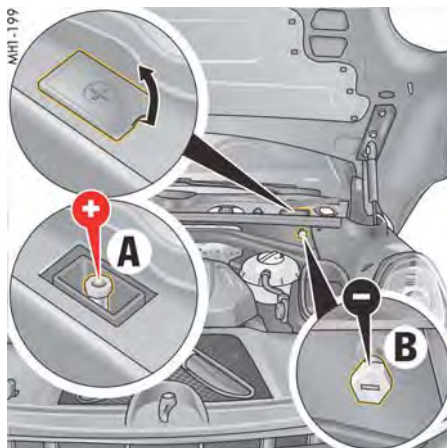


図124: バッテリー端子

- A プラス端子+
- B アース箇所（マイナス端子）-

2. コラプシブル・スベア・ホイール非装備車コンプレッサーの電源クリップをジャンパー・ケーブル接続用の端子に接続してください。必ず下記の手順に従ってください:

- ジャンパー・ケーブル接続用のプラス(+)端子のキャップを開いてください。
- ジャンパー・ケーブル接続用のプラス(+)端子にコンプレッサーのプラス・ケーブル(赤)を接続してください。
- ジャンパー・ケーブル接続用のマイナス(-)端子にコンプレッサーのマイナス・ケーブル(黒)を接続してください。

または

コラプシブル・スベア・ホイール装備車コンプレッサーを車両の12Vソケットに接続してください。

▷ 「電気ソケット」(191ページ)を参照してください。

- コンプレッサーをONにしてください。
タイヤに空気が充填されます。
- 空気圧計で充填した圧力を点検し、必要であれば調整してください。もう1回タイヤ空気圧を点検してください。
- コンプレッサーをOFFにしてください。
- コンプレッサーの充填ホースをタイヤ・バルブから取り外してください。

i **インフォメーション**

また、ガソリンスタンドでもタイヤ空気圧の点検、およびタイヤに空気の充填ができます。

タイヤ空気圧を下げる

- コンプレッサーをOFFにしてください。
- 充填ホースのエア抜きスクリューを規定のタイヤ空気圧になるまで開いてください。

ラジアル・タイヤ表記の読み取り



図125: ラジアル・タイヤの見方

- A タイヤ幅 (mm)
- B 扁平率 (%)
- C タイヤの構造記号 (ラジアル)
- D リム径 (インチ)
- E ロード・インデックス
- F 速度記号

速度記号Fは、そのタイヤの許容最高速度を示します。この記号はタイヤの側面(サイド・ウォール)に表示されています。

- | | | | |
|-----|-----------------------|--|-----------|
| T | 190km/hまで | W | 270km/hまで |
| H | 210km/hまで | Y | 300km/hまで |
| V | 240km/hまで | | |
| (Y) | 300km/hまで (Y記号タイヤの場合) | タイヤのロード・インデックス(最大積載容量)の85%までを積載した状態で300km/h以上の速度で走行することも可能です(300km/h以上で走行する場合はタイヤ・メーカーの確認が必要です)。 | |

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

合金製ホイール記号の読み取り

ホイールの情報は、タイヤ・バルブの近くのホイール・スポーク裏面に刻印されています。



図126: 軽合金製ホイールの記号

- A リム幅 (インチ)
- B リムフランジ形状記号
- C ドロップ・センター・リム記号
- D リム径 (インチ)
- E ダブル・ハンブ
- F リム・オフセット (mm)

タイヤの損傷の検出

⚠ 警告

見えないタイヤ損傷とリム・フランジの損傷

タイヤが損傷すると、特に高速走行時にタイヤがバースト（破裂）する恐れがあります。

- ▶ 定期的にタイヤの状態（側面も含めて）を点検し、異物の噛み込み、欠損、切り傷、亀裂、側面の膨れなどがなく確認してください。
- ▶ 縁石を乗り越えるときは、速度を下げ、できるだけ直角に通過してください。傾斜が大きく縁が尖った縁石や角ばった物体（石など）に強くぶつかったり乗り上げたりしないように注意してください。
- ▶ ホイールを損傷した可能性があるとき（特に内側）は、専門家による点検を受けてください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ いかなる場合も、タイヤを修理しないでください。パンク修理剤を使用したタイヤのシーリングは、緊急の場合に限り1回のみ、最寄りの修理工場までの短距離移動を可能にします。

タイヤに次のような損傷を受けた場合は、安全のためにタイヤを交換してください：

- タイヤ内部の構造物の層が損傷した可能性があるとき
- タイヤ空気圧が不足しているときや、損傷箇所がある場合など、それらが原因でタイヤが過熱したり、異常な負荷がかかったりした可能性があるとき

タイヤおよびリムの交換

- ▶ ホイールを交換するときは、イグニッションをOFFにしてください。

⚠ 警告

不十分なグリップ

新品のタイヤはグリップ性能を十分に発揮できません。

- ▶ 最初の200kmは、控えめな速度で走行して新しいタイヤを慣らししてください。これによりタイヤ寿命を伸ばし性能を最大限に引き出すことができます。
- ▶ 4輪に装着するタイヤは同一メーカーの同一仕様(MQ、NI...)に統一してください。
- ▶ 新しいタイヤを取り付ける前に、最新の認可事情についてポルシェ正規販売店にお尋ねください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。
- ▶ ポルシェ社がテストを行い、承認したメーカーのタイヤのみを使用してください。
- ▶ 同一アクスル上のトレッド溝の深さの差は30%を超えないようにしてください。
- ▶ 使用経歴が不明な中古タイヤは使用しないでください。
- ▶ トレッド溝の深さの差を原因とする車両操作への不必要な影響を避けるため、同一アクスル上の両方のタイヤは同時に交換してください。
- ▶ タイヤの交換は、必ず専門の整備工場で実施してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ ハンドリング特性の変化に合わせた運転をしてください。

i インフォメーション

新しいホイールには、タイヤ空気圧モニタリング (TPM) のタイヤ空気圧センサーを取り付けなければなりません。

- ▶ この車両のTPMシステムに適合するホイールであることを確認してください。適正ホイールとTPMに関する情報：ポルシェ正規販売店にご相談ください。
- ▶ タイヤを交換する場合、タイヤ空気圧センサーのバッテリー充電状態を点検してください。

i インフォメーション

フロントまたはリア・タイヤのみを交換した場合は、前後タイヤのトレッド溝の深さに差があるため、それまでの走行とはっきりした違いが感じられます。この違和感は特にリア・タイヤを交換した場合に顕著になります。この違和感は、走行距離が伸びるにつれて次第に減少します。

バルブおよびバルブ・キャップの点検と交換

- ▶ タイヤ空気圧モニタリング (TPM) 用のポルシェ純正バルブのみを使用してください。
- ▶ タイヤを交換する場合は必ずバルブを点検し、必要に応じて交換してください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

バルブ・キャップがない場合、ほこりや汚れからバルブを保護することができないため、漏れの原因になることがあります。

- ▶ バルブ・インサートの汚れを防ぐため、必ずバルブ・キャップをしっかりと閉めてください。バルブが汚れると、タイヤ空気圧減少の原因となります。
- ▶ 紛失した場合は、直ちに新しいバルブ・キャップを取り付けてください。
- ▶ プラスチック製のバルブ・キャップのみを使用してください。

ウィンター・タイヤを使用する

▲ 警告 最高許容速度の超過

最高許容速度を超えると、タイヤがバースト(破裂)する恐れがあります。

- ▶ タイヤの最高許容速度を確認してください。
- ▶ タイヤの側面に「M+S」の表示があるタイヤに限り、許容最高速度がこの車両の最高速度に満たないウィンター・タイヤを装着できません。オール・シーズンおよびオールラウンド・タイヤも速度制限の対象となり、これが表示されています。
- ▶ 最高許容速度を示すステッカーを、ドライバーの目に付く場所に貼り付けてください。法定速度を遵守してください。
- ▶ マルチファンクション・ディスプレイで最高許容速度を制限速度として設定する：
- ▶ 「制限速度の設定」(300ページ)を参照してください。

- ▶ 積雪や凍結の恐れがある時期が近づいたら、早めにウィンター・タイヤを装着してください。
- ▶ ポルシェ社がテストを行い、承認したメーカーのタイヤのみを使用してください。
- ▶ 新しいタイヤを取り付ける前に、最新の認可事情についてポルシェ正規販売店にお尋ねください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。

i インフォメーション

このようなタイヤを気温が低い時に使用し続けると、ドライ/ウェット路面に関係なく、走行中やコーナリング後の加速中にジャダー・ノイズが発生することがあります。

サマー・タイヤの走行性能は、気温が7℃を下回ると低下し、快適性も損なわれます。このため、ポルシェ社では気温が7℃を下回る時期にはウィンター・タイヤへの交換を推奨しています。更に外気温度が極端に低くなると(-15℃以下)、サマー・タイヤに恒久的な損傷が生じることがあります。

ウィンター・タイヤは、トレッド溝の深さが4mm以下になると性能が低下します。

スノー・チェーンを使用する

スノー・チェーンはリア・タイヤのみに装着してください。また「テクニカル・データ」の章を参照して、スノー・チェーンの装着に適したタイヤ/ホイールを使用しなければなりません。

- ▶ スノー・チェーンとホイール・ハウジングのクリアランスを十分に確保するため、ポルシェ社が承認したファイン・リンク・スノー・チェーンのみを使用してください。
- ▶ 認定スノー・チェーンに関するインフォメーション：「タイヤとホイール」(380ページ)を参照してください。
- ▶ スノー・チェーンを装着する前に、ホイール・ハウジングの内側にこびりついた雪や氷を取り除いてください。最高速度については各国の法規に従ってください。
- ▶ スノー・チェーンを装着する前に、ホイール・ハウジングの内側にこびりついた雪や氷を取り除いてください。最高速度については各国の法規に従ってください。

タイヤ・トレッドの点検

- ▶ タイヤのトレッドを定期的に点検してください。特に長距離走行の前後は、入念に点検してください。
- ▶ 多くのタイヤはトレッド中央分にウェア・インジケータを備えています。ウェア・インジケータは主要なトレッド溝に設けられており、トレッド溝の深さが最少の1.6mmになると現れます。安全のため、ウェア・インジケータが見られる前にタイヤを交換してください。ウインター・タイヤは、トレッド溝の深さが4mm以下になると性能が低下します。

トレッド溝の深さの測定

- ▶ 市販のトレッド溝ゲージをタイヤ・トレッドの中央に挿入し、タイヤ・トレッドの深さを測定してください。

i インフォメーション

タイヤの摩耗に偏りがある場合、車両の不具合が考えられます：

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

タイヤの保管

- ▶ タイヤは、常に乾燥した冷暗場所に保管してください。ホイールに装着していないタイヤは、立たせた状態で保管してください。
- ▶ 外気温が-15℃以下の場所にサマー・タイヤを保管したり、またはサマー・タイヤ装備車を駐車したりしないでください。
- ▶ 燃料、オイル、グリースなどがタイヤに触れないようにしてください。

- ▶ 製造から6年以上が経過したタイヤは使用しないでください。年数が経過すると、ゴムに伸縮性を与えるために添加している化学薬品の効果が弱まり、ゴムがもろくなります。タイヤの製造時期は、タイヤ側面のDOTコードでわかります。例えば、コードの下4桁が「3015」の場合、2015年の第30週に製造されたタイヤです。

ホイールのバランス調整

安全で快適なドライブを楽しんでいただくために、サマー・タイヤは春に、M+S タイヤは冬に入る前にホイール・バランスの調整を受けてください。

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ホイールの交換



警告

車両の下に入ってから作業

- ジャッキから車両が滑り落ちる恐れがあります。
- ▶ ジャッキ・アップしてタイヤを交換する前に、すべての乗員を降ろしてください。
 - ▶ 車両は必ず、車両下側にある規定のジャッキアップ・ポイントで持ち上げてください。
 - ▶ 車両が斜面（上り坂や下り坂など）や道路脇に駐車されている場合は絶対にジャッキ・アップしないでください。
 - ▶ ジャッキは、タイヤ交換時に車両を持ち上げるためのみに使用してください。
 - ▶ やむを得ず車体の下に入って作業する場合は、必ず強固なサポート・スタンドで車体を支えてください。ジャッキで車体を支えるのは危険ですのでおやめください。

i インフォメーション

ホイール交換に必要な工具（ジャッキ、ホイール・ボルト・レンチ、組み付け補助工具など）は車両に標準装備されておりません。必要な工具に関するインフォメーション：ポルシェ正規販売店にご相談ください。

i インフォメーション

前輪と後輪のタイヤ/ホイール・サイズは異なります。

ホイールを取り外す場合は、各ホイールの回転方向や取り付け位置をマーキングしておき、取り付け時はこれを目印にしてください。

- ▶ 認可されたサイズの前輪/後輪用ホイール/タイヤを必ず使用してください。

ホイール取り付け面のお手入れ

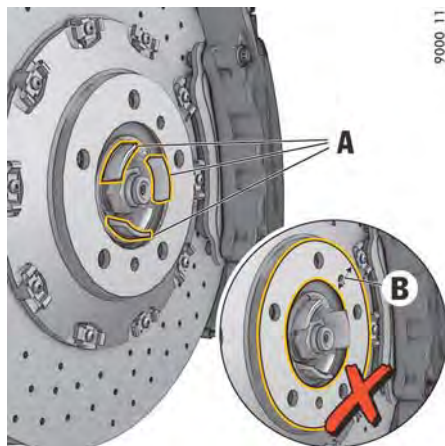


図127: ホイール取り付け面

知識

ホイールおよびホイール取り付け面を損傷する恐れがあります。

- ▶ ブレーキ・ディスクのホイール取り付け面Bおよびホイール本体の取り付け面に**油脂類を塗布しないでください。**
- ▶ **A部分のみに油脂類を塗布**できます。この部分にはOptimoly®TAグリースを薄く塗布してください。他の油脂類は使用しないでください。

ホイール・ボルトのお手入れ

- ▶ ホイール・ボルトは取り付けの前に、必ず清掃してください。
- ▶ ホイール・ボルトには油脂類を塗布しないでください。
- ▶ 損傷したホイール・ボルトは交換してください。この車両専用のボルシェ純正ホイール・ボルト、またはボルシェ仕様と生産要件を満たす同等品質の部品を必ず使用してください。
- ▶ ホイール・ボルトは160Nmの締め付けトルクで締め付けてください。

盗難防止ホイール・ボルトの使用



図128: 盗難防止ホイール・ボルト・アダプター

盗難防止ホイール・ボルト用アダプターは、工具セットに収納されています。

- ▶ 盗難防止ホイール・ボルトを脱着するときは、このアダプターをホイール・ボルトとホイール・ボルト・レンチの間に入れて使用してください。
- ▶ アダプターを取り付けるときは、ホイール・ボルトの歯がしっかり噛み合っていることを確認してください。

UA1-340

ホイールの交換

車両の準備

1. PDKセレクトター・レバーをPの位置にシフトしてください。
2. キーを抜き取ってください。
ボルシェ・エントリー&ドライブ装備車：リモート・コントロール・ユニット
3. 交換するタイヤの反対側の車輪に輪止めをするなどして、車両が不意に動き出さないようにしてください。
▶ 「車両が動き出さないように固定してください。」(232ページ)を参照してください。
4. 取り外すホイールのボルトを少しだけゆるめてください。

▲ 警告

レベル・システムの操作

レベル・システムが作動している車両は不意に動いたり、ジャッキやリフトなどのリフト装置から落下したりする恐れがあります。これにより深刻な怪我や損傷を受ける場合があります。

- ▶ リフト・アップ前に、手でノーマル・レベルに設定し、その後レベル・コントロール・システムをOFFにしてください。
 - ▶ 「レベル・コントロールのON/OFF」(67ページ)を参照してください。
5. 車両のリフト・アップは必ず所定のジャッキアップ・ポイントで行ってください。
▶ 「ジャッキおよびリフティング・プラットフォーム」(140ページ)を参照してください。
 6. 車両を持ち上げ、ホイールを地面から浮かせてください。

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

ホイールの交換

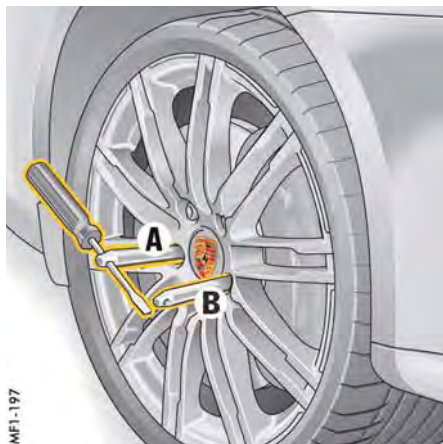


図129: 組み付け補助工具

1. PCCB非装備車：ホイール・ボルト **A** を取り外してください(図129)。
または
PCCB装備車：ホイール・ボルト **A** および **B** を取り外してください(図129)。
2. 必要に応じて、取り外したホイール・ボルト **A** の代わりに、ホイール取り付け補助工具 **B** をねじ込んでください(図129)。

知識

正しくホイール交換を行わないと、ブレーキ・ディスクを損傷する恐れがあります。特にPCCB装備車の場合は注意してください。

▶ ホイールを交換する場合は、組み付け補助工具を取り付けてください。

3. 残りのホイール・ボルトを取り外してください。

4. 交換するタイヤを外し、新品のタイヤを取り付けてください。
 - ▶ 「ホイール取り付け面のお手入れ」(174ページ)を参照してください。
 - ▶ 「ホイール・ボルトのお手入れ」(175ページ)を参照してください。
5. ホイール・ボルトを挿入し、手で仮締めしてください。
6. ホイール取り付け補助工具を外し、残りのホイール・ボルトを仮締めしてください。すべてのホイール・ボルトを対角線方向の順に少し締め付け、ホイールの中心位置を合わせてください。
7. 必要に応じてタイヤの空気圧を調整してください。
 - ▶ 「タイヤ空気圧」(381ページ)を参照してください。
8. 車両を完全に下げた後、ジャッキを取り外してください。
9. ホイール・ボルトを対角線方向の順に完全に締め付けてください。
ホイール・ボルトを締め付けたら、直ちにトルク・レンチを使用してホイール・ボルトを160Nmの締め付けトルクで増し締めしてください。

i インフォメーション

ホイール交換後、タイヤ空気圧モニタリング・システム(TPM)の設定をマルチファンクション・ディスプレイで更新する必要があります。

▶ 「タイヤ空気圧メニュー(タイヤ空気圧モニタリング、TPM)」(301ページ)を参照してください。

チャイルド・シート

安全に関する注意事項

▲ 危険

チャイルド・シート装置の誤った使用

チャイルド・シートを正しく使用しなかった場合、重傷または致命傷を負う危険があります。車種に適さないチャイルド・シートを使用した場合、またはチャイルド・シートを車両に正しく取り付けしていない場合は、事故の際に保護効果を十分に発揮できません。

- ▶ チャイルド・シートに付属の取扱説明書をよく読み、注意事項を必ず遵守してください。
- ▶ チャイルド・シートは道路交通法に従って使用してください。
- ▶ ポルシェ社が推奨するチャイルド・シートのみを使用してください。ポルシェ社推奨のチャイルド・シートは、ポルシェ社がテストを実施し、この車両のインテリアやお子様の体重グループに適するように調整されています。推奨外のISOFIXシステム付きチャイルド・シートを使用すると、万一のときに負傷する危険性が高まります。
- ▶ チャイルド・シートを助手席に取り付けている場合は、助手席エアバッグをオフにしてください。

ポルシェ社では、ポルシェ・テクニク製品製品のチャイルド・シートを使用することを推奨いたします。

取り付け方法に関するインフォメーション：

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。
- ▶ 「チャイルド・シートの使用（シートベルトによる固定）」(179ページ)を参照してください。
- ▶ 「チャイルド・シートの使用 - ISOFIXシステムによる固定」(181ページ)を参照してください。

▲ 危険

チャイルド・シートの助手席での使用

助手席エアバッグは、ある程度の体格と最低限の体重のある乗員にのみ保護効果を発揮します。チャイルド・シートを助手席に取り付けた場合、または体格が小柄な乗員が助手席に乗車している場合、助手席エアバッグが作動することにより重傷またはいた命傷を負う危険があります。

- ▶ チャイルド・シートを助手席に取り付けるときは、必ず助手席エアバッグをOFFにしてください。
- ▶ 「助手席エアバッグのオン/オフ - 助手席エアバッグ オフ警告灯」(183ページ)を参照してください。
- ▶ 助手席シートとチャイルド・シートが確実に接するように助手席シートのバックレスト角度を調節すること。

- ▶ チャイルド・シートを取り付けるときは、常にシート・ヒーターのスイッチをOFFにしてください。
- ▶ 前向きに着座するタイプのチャイルド・シートを取り付ける前に、ヘッドレストを可能な限り高く調節してください。リヤ・シートのヘッドレストを最も高い位置に調節してもチャイルド・シートが取り付けられない場合は、ヘッドレストを取り外す必要があります。チャイルド・シートを取り外した後は、必ずヘッドレストを取り付けてください。

- ▶ 「リヤ・シートのヘッドレストの取り外しと取り付け」(136ページ)を参照してください。

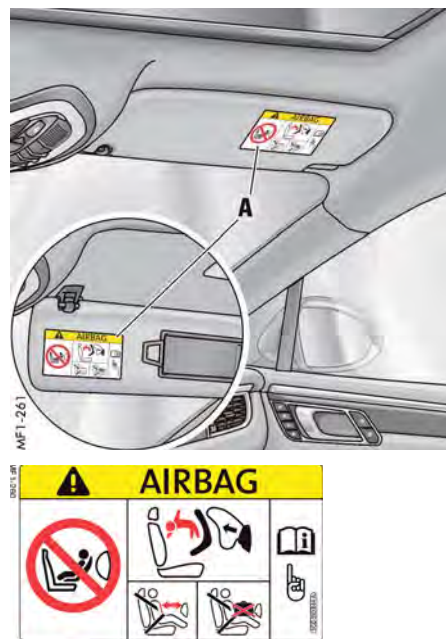


図130: サンバイザーのエアバッグ警告ラベル

台湾のみ：

- ▶ 台湾の関連法規に則り、「乳幼児や子供を助手席シートに乗せることはできません」。



- ▶ どのような場合でも、エアバッグの警告ラベルや警告表示の表面を汚したり読み取りできない状態にしないでください。

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

あ	チャイルド・シートの体重グループによる分類
か	体重グループ0、0+のお子様：13kgまで この体重グループのお子様は、 後ろ向きに着座するタイプ のチャイルド・シートを必ず使用してください。
さ	このタイプのチャイルド・シートは、可能な限りリヤ・シートに取り付けてください。
た	体重グループIのお子様：9～18kg この体重グループのお子様は、 前向きに着座するタイプ のチャイルド・シートを必ず使用してください。
な	特別な状況に限り、後ろ向きに着座するタイプのチャイルド・シートを使用することができます。
は	このタイプのチャイルド・シートは、可能な限りリヤ・シートに取り付けてください。
ま	体重グループIIのお子様：15～25kg この体重グループのお子様は、 前向きに着座するタイプ のチャイルド・シートを必ず使用してください。
や	このタイプのチャイルド・シートは、可能な限りリヤ・シートに取り付けてください。
ら	体重グループIIIのお子様：22～36kg この体重グループのお子様は、 前向きに着座するタイプ のチャイルド・シートを必ず使用してください。
わ	このタイプのチャイルド・シートは、可能な限りリヤ・シートに取り付けてください。
A-Z	このタイプのチャイルド・シートは、可能な限りリヤ・シートに取り付けてください。

チャイルド・シートの使用（シートベルトによる固定）

推奨するチャイルド・シート（シートベルトによる固定）

「チャイルド・シートの使用 - シートベルトによる固定」（180ページ）を参照してください。

体重グループ	メーカー	形状	承認番号	ポルシェ部品 番号	助手席への取り付け	リヤ・シートへの取り付け	
						リヤ・シート 外側 ¹⁾	センター 側
グループ0および0+ 13kgまで	Britax-Römer	ポルシェ・ ベビー・ シート G0+	E1 04301146	955.044.802.94	- 後ろ向きに取り付けること。 - 助手席エアバッグをOFFにすること。 - 助手席シートを後方、上方に調節すること。 ¹⁾	可能	可能
グループI: 9~18kg	Britax-Römer	ポルシェ・ ジュニア・ シート ISOFIX G1	E1 04301199	955.044.802.88	- 前向きに取り付けること。 - 助手席エアバッグをOFFにすること。 - 助手席シートを後方、上方に調節すること。 ¹⁾	可能	取り付け不可 ²⁾
グループII: 15~25kg	Britax-Römer	ポルシェ・ ジュニア・ プラス G2 + G3	E1 04301169	955.044.802.90	- チャイルド・シートのベルト・ガイドが助手席シートベルト・デフレクター前側および下側に位置していることを確認すること。 - 助手席シートとチャイルド・シートが確実に接するように助手席シートのバックレスト角度を調節すること。	可能	可能
グループIII: 22~36kg	Britax-Römer	ポルシェ・ ジュニア・ プラス G2 + G3	E1 04301169	955.044.802.90	- 助手席シートとチャイルド・シートが確実に接するように助手席シートのバックレスト角度を調節すること。	可能	可能

1) フロント・シートとその後方に座っている乗員との間に十分な距離を確保すること。

2) 中央のリヤ・シートは、サポート・レッグ付きのチャイルド・シートの取り付けに適していません。

チャイルド・シートの使用 - シートベルトによる固定

下表は、ECE-R16規格を遵守し、シートベルトで固定して使用できるチャイルド・シートの概要です。
「汎用（ユニバーサル）」のマークは、チャイルド・シートのECEラベル（オレンジ色）に表示されています（図131を参照）。

体重グループ	チャイルド・シートの 助手席での使用 ¹⁾	リヤ・シートで使用できる チャイルド・シート	
		リヤ・シート 外側	中央の シート ²⁾
グループ0： 10kgまで	U/L	U/L	U/L
グループ0+： 13kgまで	U/L	U/L	U/L
グループI： 9～18kg	U/L	U/L	U/L
グループII： 15～25kg	U/L	U/L	U/L
グループIII： 22～36kg	U/L	U/L	U/L



SF1-529

図131: ECEラベル。

- A サイズ分類
- B 「汎用（ユニバーサル）」または「準汎用（セミ・ユニバーサル）」マーク
- C 体重グループ

1) 助手席エアバッグをOFFにすること。（179ページ）の助手席へのチャイルド・シート取り付けに関する注意事項を参照してください。

2) 中央のリヤ・シートは、サポート・レッグ付きのチャイルド・シートの取り付けに適していません。

U: この体重グループに属する「汎用（ユニバーサル）」のチャイルド・シートの取り付けに適しています。

L: に記載され、「準汎用（セミ・ユニバーサル）」（179ページ）と表示されている特別なチャイルド・シートの取り付けに適しています。

チャイルド・シートに付属の適応車種一覧表、およびインターネット上でチャイルド・シート・メーカーが公開している適応車種一覧表を参照してください。

チャイルド・シートの使用 - ISOFIXシステムによる固定

推奨するチャイルド・シート - ISOFIXシステムによる固定

「チャイルド・シートの使用 (ISOFIXシステムによる固定)」(182ページ) を参照してください。

体重グループ	メーカー	形状	承認番号	ボルシェ部品番号	助手席への取り付け ¹⁾	リヤ・シートへの取り付け	
						リヤ・シート 外側 ²⁾	中央のシート ³⁾
グループ0 および0+ : 13kgまで	Britax-Römer	ボルシェ・ ベビー・シート GO+	E1 04301146	955.044.802.94 使用部品 : 955.044.802.95	- 後ろ向きに取り付けること。 - 助手席エアバッグをOFFにすること。 - 助手席シートを後方、上方に調節すること。 ¹⁾	可能	ISOFIX非装備の場合、ISOFIXベースを使用せずに、車両のシートベルトで取り付けが可能。 ⁴⁾
グループI : 9~18kg	Britax-Römer	ボルシェ・ ジュニア・ シート ISOFIX G1	E1 04301199	955.044.802.92	- 前向きに取り付けること。 - 助手席エアバッグをOFFにすること。 - 助手席シートを後方、上方に調節すること。 ¹⁾	可能	取り付け不可 ⁴⁾
グループII : 15~25kg	Britax-Römer	ボルシェ・ ジュニア・ プラス ISOFIT G2 + G3	E1 04301198	955.044.802.96	- チャイルド・シートのベルト・ガイドが助手席シートベルト・デフレクター前側および下側に位置していることを確認すること。	可能	ISOFIX非装備車の場合、シートベルトでのみ取り付けが可能。
グループIII : 22~36kg	Britax-Römer	ボルシェ・ ジュニア・ プラス ISOFIT G2 + G3	E1 04301198	955.044.802.96	- 助手席シートとチャイルド・シートが確実に接するように助手席シートのバックレスト角度を調節すること。	可能	ISOFIX非装備車の場合、シートベルトでのみ取り付けが可能。

1) 助手席シートにISOFIX用のリテーニング・ラグが装備されている車両では、「準汎用 (セミ・ユニバーサル)」のチャイルド・シートを助手席に取り付けることができます。

2) フロント・シートとその後方に座っている乗員との間に十分な距離を確保すること。

3) 中央のシートにチャイルド・シートを取り付ける場合、すべてのボルシェ ISOFIXチャイルド・シートをシートベルトで固定する必要があります。

4) 中央のリヤ・シートは、サポート・レッグ付きのチャイルド・シートの取り付けに適していません。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

チャイルド・シートの使用 (ISOFIX システムによる固定)

下表は、ECE-R16規格に従ってISOFIXシステムで固定して使用できるチャイルド・シートの概要です。

「汎用 (ユニバーサル)」または「準汎用 (セミ・ユニバーサル)」のマークは、チャイルド・シートのECEラベル (オレンジ色) に表示されています。

体重グループ	サイズ分類	固定具	車両のISOFIXリテーニング・ラグ			
			助手席シート	外側のリヤ・シート ¹⁾	中央のリヤ・シート ^{2) 3) 4)}	
ベビー・シート (左向きまたは右向きチャイルド・シート)	F	ISO/L1	X	X	X	
	G	ISO/L2	X	X	X	
グループ0: 10kgまで	E	ISO/R1	IL	X	IL	
	グループ0+: 13kgまで	E	ISO/R1	IL	X	IL
		D	ISO/R2	IL	X	IL
C		ISO/R3	IL	X	IL	
グループ1: 9~18kg	D	ISO/R2	IL	X	IL	
	C	ISO/R3	IL	X	IL	
	B	ISO/F2	IL/IUF	X	IL	
	B1	ISO/F2X	IL/IUF	X	IL	
	A	ISO/F3	IL/IUF	X	IL	
グループII: 15~25kg			IL	IL	IL	
グループIII: 22~36 kg			IL	IL	IL	

1) 中央のリヤ・シートは、サポート付きのチャイルド・シートの取り付けに適していません。

2) 助手席エアバッグを OFF にすること。

3) (181 ページ) の助手席へのチャイルド・シート取り付けに関する注意事項を参照してください。

4) 助手席シートに ISOFIX 用のリテーニング・ラグが装備されている場合、「準汎用 (セミ・ユニバーサル)」のチャイルド・シートの取り付けに適しています。チャイルド・シートに付属の車両リストおよびボルシェ社が推奨するチャイルド・シート (181 ページ) を参照してください。

X: このサイズ分類のチャイルド・シートには適していません。

IL: に記載されている特定のチャイルド・シート、および「準汎用 (セミ・ユニバーサル)」(181 ページ) ISOFIX システム認証のチャイルド・シートの取り付けに適しています。チャイルド・シートに付属の適応車種一覧表、およびインターネット上でチャイルド・シート・メーカーが公開している適応車種一覧表を参照してください。

IUF: この体重のクラスへの使用が認可され、ISOFIX システムおよび「トップ・テザー」固定ストラップで固定する「汎用 (ユニバーサル)」分類の前向きタイプのチャイルド・シートに適しています。
「ISOFIXチャイルド・シート・システムの取り付け」(184 ページ) を参照してください。

チャイルド・シートの取り付け

ベビー・シート

サイズ分類FおよびGの左向きまたは右向きタイプのチャイルド・シート（ベビー・キャリアなど）は、通常いかなるシートにも使用してはけません。

- ▶ 「チャイルド・シートの使用（ISOFIXシステムによる固定）」（182ページ）を参照してください。

ポルシェ社では、ポルシェ・テクニクアップメント製品のチャイルド・シート（ポルシェ・ベビー・シートISOFIX GO+など）を使用することを推奨いたします。

- ▶ 「推奨するチャイルド・シート（シートベルトによる固定）」（179ページ）を参照してください。
- ▶ 「推奨するチャイルド・シート - ISOFIXシステムによる固定」（181ページ）を参照してください。

助手席エアバッグのオン/オフ - 助手席エアバッグ オフ警告灯



図132: 助手席エアバッグのON/OFF

台湾のみ：

助手席エアバッグのON/OFF用キー・スイッチは、装備されていません。

- ▶ 台湾の関連法規に則り、「乳幼児や子供を助手席シートに乗せることはできません」。

1. イグニッションをOFFにしてください。
2. グローブ・ボックスを開いてください。
3. エマージェンシー・キーをキーから取り外してください。
 - ▶ 「エマージェンシー・キーを使用する場合」（85ページ）を参照してください。

知識

助手席エアバッグ・スイッチまたはエアバッグ・システムが損傷することがあります。

- ▶ エマージェンシー・キーはキー・スイッチに挿入したときに、2回抵抗を感じる位置でのみ回してください。
- ▶ 助手席エアバッグはイグニッションが OFF のときのみ、ONまたはOFFに切り替えてください。

4. キー・スイッチにエマージェンシー・キーを2回抵抗を感じる位置まで挿入してください。
キーの歯がキー・スイッチ内に約3/4まで挿入されます。
5. エマージェンシー・キーに大きな力をかけずに回し、助手席エアバッグを**オフ（解除）**または**オン（作動）**、にしてください。

⚠ 危険

助手席エアバッグの不意の作動により重傷または致命傷を負う危険

キー・スイッチにエマージェンシー・キーを挿入したまま走行した場合、振動によってエマージェンシー・キーが不意に回転してエアバッグが作動する恐れがあります。

- ▶ エマージェンシー・キーを助手席エアバッグ・スイッチに挿入したまま走行しないでください。
6. エマージェンシー・キーをキー・スイッチから抜き取ってください。
 7. グローブ・ボックスを閉じてください。

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z



危険

助手席エアバッグを
OFFにする

チャイルド・シートを取り外した後も、助手席エアバッグをOFFにしたままにしておく、事故の際にエアバッグが作動しません。

- ▶ チャイルド・シートを助手席に取り付けている場合にのみ、助手席エアバッグをオフにしてください。
- ▶ チャイルド・シートを取り外した後は、必ず助手席エアバッグを再びONにしてください。

助手席エアバッグ オフ/オン インジケータ
はルーフ・コンソールにあります。



ライト作動点検

イグニッションをオンにすると、ライト作動点検のために **助手席エアバッグ オフ/オン** インジケータが約5秒間点灯します。



助手席エアバッグをOFFにする

助手席エアバッグの作動をOFFにしたときにイグニッションをオンにするか、エンジンが回転しているときは、**助手席エアバッグ オフ** インジケータが常時点灯します。



助手席エアバッグをONにする

助手席エアバッグがオンになったとき、**助手席エアバッグ オン** インジケータが約1分点灯した後、イグニッションがオンになると消灯します。



危険

助手席エアバッグの
故障と作動不良

助手席エアバッグをオフにして、イグニッションをオンにしたときに **助手席エアバッグ オフ/オン** インジケータが点灯しなかった場合は、システムに不具合が発生している可能性があります。

- ▶ 助手席にチャイルド・シートを取り付けないでください。
- ▶ ポルシェ正規販売店で早急に故障を修理してください。
ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ISOFIXチャイルド・シート・システムの 取り付け

- ▶ 「推奨するチャイルド・シート - ISOFIXシステムによる固定」(181ページ)を参照してください。
- ▶ チャイルド・シートに付属の取扱説明書をよく読み、注意事項を必ず遵守してください。

チャイルド・シートの助手席への取り付け



図133: 助手席シートのISOFIXアタッチメント・ブラケット

ISOFIXチャイルド・シートを固定するリテーニング・ラグAの位置を示すマークは、助手席のシート面にあります（装備によって異なります）。

1. エマージェンシー・キーを使用して、助手席エアバッグを **オフ** にしてください。オーバーヘッド・コンソールの **助手席エアバッグ オフ** 警告灯が点灯します。
 ▶ 「助手席エアバッグのオン/オフ - 助手席エアバッグ オフ警告灯」（183ページ）を参照してください。
2. チャイルド・シートを付属の説明書に従ってリテーニング・ラグAに固定してください。
3. チャイルド・シートを引っ張って、両側のリテーニング・ラグに確実に固定されているか点検してください。

チャイルド・シートのリヤ・シートへの取り付け



図134: リヤ・シート外側のISOFIXアタッチメント・ブラケット

ISOFIXチャイルド・シートを固定するリテーニング・ラグAの位置を示すマークは外側のリヤ・シートの座面にあります。

1. 必要に応じて ISOFIX アンカー・ポイントのキャップを引いて取り外し、紛失しないように保管してください。
2. チャイルド・シートを付属の説明書に従ってリテーニング・ラグAに固定してください。
3. チャイルド・シートを引っ張って、両側のリテーニング・ラグに確実に固定されているか点検してください。

台湾のみ：

助手席シートのISOFIXアタッチメント・ブラケットは装備されていません。

▶ 台湾の関連法規に則り、「乳幼児や子供を助手席シートに乗せることはできません」。

ISOFIXトップ・テザー付きチャイルド・シートの上部固定位置

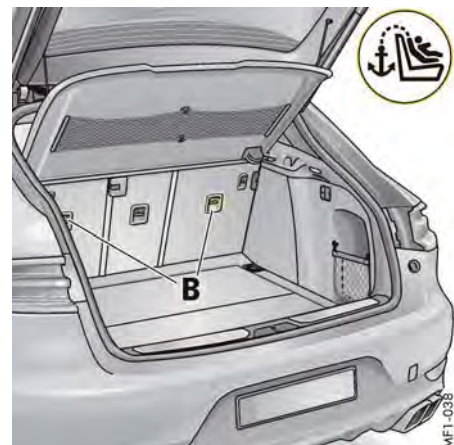


図135: トップ・テザー

ISOFIXトップ・テザー付きチャイルド・シートを使用するときは、外側リヤ・シートのバックレスト後方の固定位置Bを使用してトップ・テザーを固定してください。

i インフォメーション

中央のリヤ・シートの固定位置はISOFIXトップ・テザーの固定には使用しないでください。

中央のリヤ・シートの固定位置はラゲッジ・コンパートメントの荷物の移動を防止するためのみに使用してください。

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

1. チャイルド・シートを付属の説明書に従ってリテーニング・ラグAに固定してください。



図136: ISOFIXリテーニング・ラグが装備されているチャイルド・シートのリヤ・シートへの取り付け

2. チャイルド・シートを引っ張って、両側のリテーニング・ラグに確実に固定されているか点検してください。
3. ISOFIXトップ・テザーCをヘッドレストに通してください。

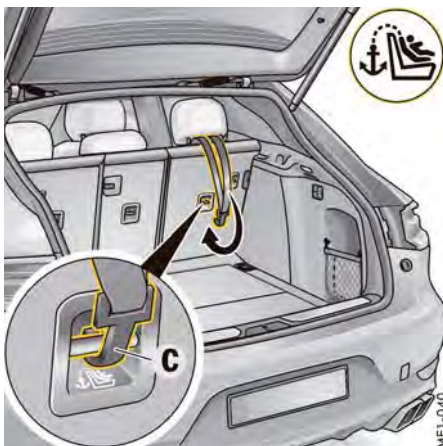


図137: ISOFIXトップ・テザーが装備されているチャイルド・シートのリヤ・シートへの取り付け

4. ISOFIXトップ・テザーCをバックレスト後方の固定箇所(図137)に取り付け、テザー・ストラップを締め付けてください。

テレビ (TV)

概要

この概要説明は「テレビ (TV)」に記載された情報に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく安全に関する指示および警告を必ずお読みください。

ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント (PCM) の操作に関するインフォメーション:

- ▷ 「ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント (PCM) の操作」(273ページ) を参照してください。



図138:放送局の選択

運転者が何をしたいか?	その操作方法は?	ページ
テレビ (TV) の呼び出し	▶ ヘッドラインに TUNER と表示されるまで、 TV ボタンを押してください (を参照 A)。	188
放送局リストから放送局を選択する	▶ TUNER ボタン ▶List (リスト) ▶放送局を選択してください。	188
放送局リストから放送局を保存	▶ TUNER ボタン ▶List (リスト) ▶Store (保存) ▶Store (保存) / 放送局ボタン	188
保存した放送局を選択	▶ TUNER ボタン ▶Presets (プリセット) ▶希望の放送局ボタンを押してください (を参照 B)。	188
放送局リストをスクロール	▶ 希望の放送局が表示されるまで または を繰り返し押してください。	
プログラム・ガイド (EPG) の呼び出し	▶ TUNER ボタン ▶ OPT ボタン ▶を選択してください EPG。	189

テレビ (TV) の選択

1. **SOURCE** ボタンを押してください。

2. **TV** を選択してください。

または

▶ TVチューナーが選択されるまで

TUNER ボタンを押してください。

または

1. **TUNER** ボタンを押してください。

2. ヘッドラインに表示された周波数帯を選択してください。

3. 機能を選択してください **TV** メニューの **SOURCE** menu.

PCMのTVチューナーにより、12セグTVまたはワンセグTVで暗号化されていない地上波デジタルISBD放送TVチャンネルを選局することができます。

法的要件により、走行中は画像を表示することはできません。走行中は音声信号のみとなります。

選局

保存した放送局を表示および選択する (プリセット)



図139:TVチャンネルを含む放送局ボタン (プリセット)

1. **TUNER** ボタン ▶TV ▶Presets (プリセット)

2. TV画像を表示するには、コントローラーで **TV** を選択してください。

TVおよびラジオ放送局を保存するために合計15個の放送局ボタン (プリセット、**B**を参照) が用意されており、最初の3ページに自由に割り当てることができます (現在選択されているページの表示については、**C**を参照)。

受信電波の最も強い5つのラジオ放送局が、自動的に4ページの放送局ボタンに割り当てられます (「ベストFMレベル」)。

▶ 「放送局の保存」(188ページ) を参照してください。

放送局リストから選局する

▶ **TUNER** ボタン ▶TV ▶List (リスト)

現在の周波数帯にあるすべてのTV放送局が、放送局リストに表示されます (最高100局まで)。設定に応じて、放送局リストは電波品質または最後に選択した放送局に従ってアルファベット順に並べ替えられます。

インフォメーション

選択した放送局がEPG情報を提供している場合は、TV放送局をEPGから選択することもできます。

▶ 「プログラム・ガイド (EPG) の呼び出し」(189ページ) を参照してください。

放送局の保存

選局した放送局を保存する

1. **TUNER** ボタン ▶TV ▶Presets (プリセット)

2. **Store (保存)** を3秒間押し続けてください。
放送局が選択した放送局ボタンに保存されます。

放送局リストから放送局を保存する

1. **TUNER** ボタン ▶TV ▶List (リスト)

2. 放送局を選択して、 を選択してください。

3. **Store** または希望の放送局ボタンを選択してください。

設定から放送局を保存する

1. **TUNER** ボタン ▶ TV ▶ **OPT** ボタン ▶ **放送局を保存**
2. 希望の放送局ボタンを押してください。

プログラム・ガイド (EPG) の呼び出し

放送局がEPG情報を提供している場合、PCMはデジタル番組に関する様々な情報を含む電子プログラム・ガイド (EPG) を備えます。番組は時間順に掲載されます。

プログラム・ガイドを表示する

- ▶ **TUNER** ボタン ▶ TV ▶ **OPT** ボタン ▶ **電子プログラムガイド**

プログラム・ガイド内を移動する

- ✓ プログラム・ガイド (EPG) を表示してください。



図140:電子プログラム・ガイド

- A 矢印ボタンを操作して、ページを移動
 B 詳細：黄色でマーキングされた番組情報の詳細表示

- C **View (ビュー)**：番組情報の詳細ビューと全体ビューの切り替え
 D **Play (再生)**：選択した番組の表示
 E 番組プレビュー +/-24hの表示

設定の変更

1. **TUNER** ボタン ▶ TV ▶ **OPT** ボタン ▶ **SET TV**
2. 希望の項目を選択してください。

- **放送局トラッキング**：機能が有効になっていて電波品質が低い場合は、システムが自動的に選局した放送局の代替周波数に切り替えます。
- **暗号化 (CAS)**：B-CAS IDがPCMディスプレイに表示されます。これはライセンスの有効化や延長に必要となります。
- **TVノルム**：納車時に、該当する国向けのTVノルムが設定されます。
- **緊急警報システム (EWS)**：緊急メッセージのON/OFFを切り替えます。
- **イメージパラメーター**：サイド・メニューのコントロールを操作して、明るさ、コントラスト、色調を希望の値に設定してください。
 - **Brightn.**(明るさ設定), **Contrast** (コントラスト設定) または **Color** (色調設定) を選択してください。
- **アスペクト比**：TV 放送局の希望のフォーマット、**自動**、**16:3**または**4:3**を設定してください。
- **オーディオチャンネル**：オーディオ・チャンネルを選択してください。
- **字幕**：機能を有効化すると、字幕が表示されます (利用可能な場合)。

i インフォメーション

無効なまたは損傷したB-CASカードを使用すると、TV受信ができなくなります。

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

テスト・スタンドでの点検

▲ 警告

有毒な排気ガスの吸引

排気ガスを吸引して中毒を起こす恐れがあります。

排気ガスは無色無臭の一酸化炭素を含んでいます。一酸化炭素は少量でも人体に有害で、中毒を起こす恐れがあります。

- ▶ エンジンを作動させた状態で作業するときは、必ず車両を屋外に駐車させるか、または換気の良い場所で行ってください。

▲ 警告

しっかり固定されていない車両

車両がしっかり固定していない、または正しく固定されていない場合、不意に動いたり、ジャッキやリフトなどのリフト装置から落下したりする恐れがあります。これにより深刻な怪我や損傷を受ける場合があります。

- ▶ 車両をジャッキで持ち上げる場合、固く水平な場所でのみ行ってください。
- ▶ 車両は必ず、車両下回りにある規定のジャッキアップ・ポイント(140ページ：図88)で持ち上げてください。
- ▶ 車両の下に入って作業する場合は、必ず強固なサポート・スタンドで車体を支えてください。
- ▶ 車両をジャッキアップ後は、エンジンを始動しないでください。エンジンの振動により車両が落下する恐れがあります。

テスト・スタンドでの点検

パフォーマンス・テスト

ポルシェ社ではローラー・タイプ・テスト・スタンドでのパフォーマンス・テストを承認していません。

ブレーキ・テストの実施

- ▶ ブレーキ・テストには、ローラー・タイプ・テスト・スタンドのみを使用してください。以下の制限値を超えないでください。
 - 測定速度：7.5km/h以下
 - 測定時間：20秒以内

エレクトリック・パーキング・ブレーキのテスト

- ▶ ブレーキ・テスト・スタンドでエレクトリック・パーキング・ブレーキを測定するときは、**イグニッションをONにし、セレクター・レバーをNの位置にしなければなりません。**

車両が自動的にブレーキ・テスト・モードに切り替わり、エレクトリック・パーキング・ブレーキのテストが可能になります。マルチファンクション・ディスプレイにメッセージが表示されます。

電気ソケット

12Vプラグ・ソケットの使用

12Vプラグ・ソケットには、12V仕様の電装品（アクセサリ）を接続できます。

車両の装備仕様により、次のいずれかの位置にソケットが取り付けられています：

- フロント・センター・コンソール内
- フロント・シート間センター・コンソールの小物入れ内の右側
- リヤ・センター・コンソール内
- ラゲッジ・コンパートメントの進行方向左側

充電アダプターの接続

i インフォメーション

- 12Vプラグ・ソケットおよび接続している電装品（アクセサリ）は、イグニッションがOFFのときでも、キーを抜いた状態でも使用できます。

エンジンを停止したままアクセサリを使用すると、バッテリー上がりの原因になります。車両のバッテリーを保護するため、30分後に電源の供給が遮断されます。電装品への電源供給を再開するには、イグニッションをONにしてください。

- 電装品が1つだけ作動している場合、12Vプラグ・ソケットまたはシガー・ライターの最大電流値は20Aです。複数の電装品を同時に使用する場合は、12Vプラグ・ソケットまたはシガー・ライター1つ当たりの電流値が10Aを超えないようにしてください。
- シールドされていない機器を使用すると、ラジオ、TVおよび車両電装品に対する電波干渉の原因となることがあります。

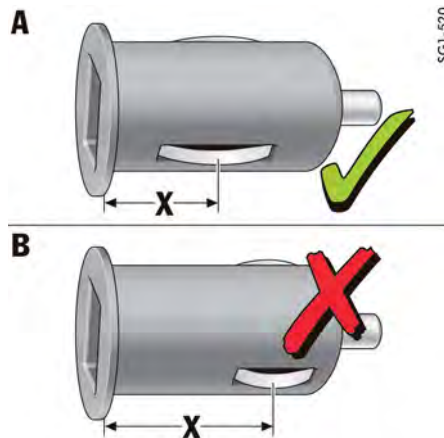


図141: 12Vプラグ・ソケットおよびシガー・ライターの充電アダプター

- A 使用可能な充電アダプター
B 使用できない充電アダプター

知識

電気系統を損傷する恐れがあります。

- ▶ 適切な充電アダプター（A）のみを使用してください：**グラウンド端子部から充電アダプター上端までの寸法Xは約16mm以下である必要があります。**
- ▶ グラウンド端子部から充電アダプター上端までの（B）寸法Xが**16mm以上の不適切な充電アダプター**を使用すると、12Vプラグ・ソケットが損傷することがあります。

電話

概要

この概要説明は「電話」に記載された情報に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全に関する指示」および「警告」を必ずお読みください。

ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント (PCM) の操作に関するインフォメーション：

- ▶ 「ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント (PCM) の操作」(273ページ) を参照してください。



P070_14

A

図142: 電話番号を入力する (キーパッド)



P070_53

D E F

図143: 電話番号を入力する (キーパッド)

運転者が何をしたいか？	その操作方法は？	ページ
携帯電話をBluetooth®で接続する (携帯電話の準備)	▶ PHONE ボタン ▶ 接続 ▶ 新しい電話を検索	193
データ接続を確立する (接続)	▶ SIMカード経由でデータ接続を確立する。	160
番号をダイヤルする	▶ PHONE ボタン ▶ Keypad (キーパッド) ⌨ (Aを参照) ▶ 数字フィールドBを使用して番号を入力 ▶ 選択 ☑ (Cを参照)	195
着信に応答する/拒否する	▶ ☑ 応答または ❌ キャンセルを選択してください。	195
通話を終了する	▶ フッターまたは電話メニューの ❌ を選択してください。	195
電話会議を開始する*	▶ PHONE ボタン ▶ 番号をダイヤルする ▶ Keypad (キーパッド) ⌨ ▶ ☎ ▶ 他の参加者の番号をダイヤルする ▶ ☑ ▶ 👤	196
ボイスメールを聞く	▶ PHONE ボタン ▶ Keypad (キーパッド) ⌨ ▶ 押し続けます 1 📧 。	195
通話履歴を表示する	▶ PHONE ボタン ▶ Calls (通話) ☎ (Dを参照) ▶ 通話履歴を選択します。	196
メッセージを表示する*	▶ PHONE ボタン ▶ メッセージ 📧 (Eを参照) ▶ SMS またはEメール ▶ フォルダーを選択します。	198
連絡先を表示する	▶ PHONE ボタン ▶ 連絡先 👤 (Fを参照) を選択します。	197

* 日本仕様に設定はありません。

⚠ 警告

事故を起こす恐れがあります

走行中に携帯電話を使用すると、交通状況に対する注意力が低下する恐れがあります。運転操作を誤る恐れがあります。

▶ 必ずハンズフリー機器を使用してください。

⚠ 警告

ケガをする恐れがあります

ガソリン・スタンド、燃料貯蔵所、化学工場、およびの爆破作業の近くなど、危険な場所では携帯電話の電源を切ってください。携帯電話は車両の装備品と電波干渉を起こすことがあります。

▶ 常に法律および各地域の規定、および取扱説明書に従ってください。

i インフォメーション

適合する携帯電話の一覧はウェブサイト (www.porsche.com) から入手することができます。


**携帯電話をBluetooth®で接続する
(携帯電話の準備)****新しい携帯電話を接続する**

- ✓ 携帯電話のBluetooth®機能を有効にし、他の機器から探索可能な状態にしてください。
- ✓ PCMのBluetooth®機能を有効にしてください。
 - ▶ 「PCMのBluetooth®機能を有効にする」(193ページ)を参照してください。

1. PHONE ボタン ▶ 電話を接続します

2. 新しい電話を検索を選択し、機器リストから携帯電話を選択してください。

6桁のBluetooth®コードが生成され、PCMおよび携帯電話に表示されます。

3. PCMおよび携帯電話のBluetooth®コードを確認し、一致していれば確定してください。
電話の接続に成功すると、数字入力(メニュー **Keypad (キーパッド)** )が表示されます。

i インフォメーション

Windows®およびiOS®オペレーティング・システムを搭載した携帯電話については、携帯電話から接続を開始することをお勧めします。

- ▶ 携帯電話の Bluetooth® メニューから利用可能な機器を検索してください。**PHONE** ボタンを押してPCMを探索可能な状態にしてください。接続作業にはディスプレイに**Search for phone (電話を検索)**を表示する必要があります。
- ▶ 利用可能な機器リストからPCMを選択してください。PCMのBluetooth®デバイス名を表示させるには、**PHONE** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **SET PHONE** ▶ **Bluetooth** ▶ **名前**を選択してください。
 - ▷ 「Bluetooth® 機能およびデバイスの管理」(199ページ)を参照してください。

PCMのBluetooth®機能を有効にする

1. PHONE ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **SET PHONE**

2. Bluetooth ▶ **BluetoothをON**を選択して、PCMのBluetooth®機能を有効にしてください。

i インフォメーション



Bluetooth®接続の場合、ハンズフリー・プロファイル (HFP) またはSIMアクセス・プロファイル (SAP) *を介して、携帯電話をPCMに接続することができます。

ハンズフリー・プロファイルを使用すると、PCMは接続された携帯電話のBluetooth®ハンズフリー・ユニットとして機能し、携帯電話によっては電話帳、通話履歴、およびメッセージの内容にアクセスすることができます。そのため、車両を停車した後に現在の通話を携帯電話に転送し、車両の外でも通話を継続することができます。

それに対して、SIMアクセス・プロファイル (SAP) を使用すると、携帯電話のSIMはBluetooth®を介して直接PCMに接続されます。このように、携帯電話はPCMで利用可能なデータにアクセスするネットワークを構築します。*

- ▷ Bluetooth®のプロファイルに関する詳細な情報は、携帯電話の取扱説明書を参照してください。

携帯電話を再接続する

1. フッターの  または  を選択してください（接続状態により異なる）。
または

PHONE ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **接続**

2. **PHONE（電話）** を選択してください。登録されている携帯電話のリストが最大20件表示されます。

3. リストから携帯電話を選択してください。携帯電話がBluetooth®経由で接続されます。

Bluetooth®デバイスの削除、またはBluetooth®インフォメーションの表示

1. **PHONE** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **SET PHONE ▶ Bluetooth ▶ Bluetoothデバイス**

2. リストから携帯電話を選択してください。

3. 登録されたBluetooth®デバイスのリストから任意の携帯電話を削除するには、**消去**を選択してください。

または

Bluetooth®デバイスのインフォメーションを見るには、**詳細**を選択してください。Bluetooth®アドレス、接続ステータス、および利用可能なBluetooth®プロファイルが表示されます。

または

Bluetooth®デバイスとPCM間の接続を確立する、または切断するには、**接続を確立する/切断**を選択します。

i インフォメーション

- 携帯電話の準備について、接続可能な携帯電話は1台のみです。
- 他の携帯電話をPCMに登録するためには、現在の接続を切断した後、新しい携帯電話を接続します（「携帯電話をBluetooth®で接続する（携帯電話の準備）」（193ページ）を参照してください。）。
- PCM起動後、Bluetooth®デバイスは最初に電話プロファイル（SIMアクセスまたはハンズフリー・プロファイル）で接続され、その後オーディオ・プロファイル（A2DP、AVRCP）で接続されます。電話機能無しのBluetooth®オーディオ・プレーヤーを使用するときは、起動後に手動で接続する必要があります。

PCMでのSIMカードの使用

アジア諸国では、挿入したSIMカードはデータ転送に使用されます。

データ接続に関するインフォメーション：

- ▶ 「データ接続を確立する（接続）」（160ページ）を参照してください。

接続ステータスの表示

以下のアイコンがフッターに表示されます（接続状態により異なる）。

シンボル 意味



電話が接続されていません



SIMカードが挿入されています、またはSIMアクセス・プロファイル（SAP）による接続が確立されています。データ接続を確立することができます。



SIMカードが挿入されています、またはSIMアクセス・プロファイル（SAP）による接続が確立されています。LTE携帯電話ネットワークなどを經由してデータ接続が確立されています。



UMTS/HSPA 携帯電話ネットワーク（3G）経由でデータ接続が確立されています。



EDGE携帯電話ネットワーク（GSM）経由でデータ接続が確立されています。





電話機能用の携帯電話ネットワーク受信強度を示しています。

接続マネージャーを開く

- ▶ 「接続マネージャー」（159ページ）を参照してください。

電話番号をダイヤルする


電話番号を入力する（キーパッド）

1. **PHONE** ボタン ▶ Keypad（キーパッド）
2. 数字キーパッドから番号を入力してください。
電話番号が既知の場合は、選択が提示されます（vCardが表示されます）。
3. を選択してください。

インフォメーション

DTMF（デュアル・トーン・マルチ周波数）トーンおよび付加サービス（*及び#キーによるコード・サービス）に対応しています。

リダイヤル機能を開く



1. **PHONE** ボタン ▶ Keypad（キーパッド）
2. キーパッドで前回ダイヤルした電話番号を表示するには、を選択してください。
3. を選択してください。

インフォメーション

リダイヤルのメモリーはイグニッションをOFFにすると消去されます。



通話履歴から番号をダイヤルする

▶ 「通話履歴を表示する」（196ページ）を参照してください。


1. **PHONE** ボタン ▶ Calls（通話）
2. 希望の通話履歴を選択し、項目を選択してください。
3. を選択してください。

連絡先から番号をダイヤルする

▶ 「連絡先を使用する」（197ページ）を参照してください。

1. **PHONE** ボタン ▶ 連絡先 
2. 希望の連絡先を検索し、選択してください。
3. 希望の電話番号をダイヤルしてください。
4. を選択してください。

ボイスメールを聞く

1. **PHONE** ボタン ▶ Keypad（キーパッド）
2. ボイスメールを聞くには、**1**を押し続けてください。



インフォメーション

この機能を最初に使用するとき、ボイスメール番号の入力プロンプトが1回表示されます。
▶ 「電話設定の変更」（199ページ）を参照してください。

着信に応答する/通話を終了する

着信に応答する/拒否する


✓ 着信が入ったとき

- ▶  応答を選択してください。
または
携帯電話の通話ボタンを押してください。
または
ステアリング・ホイールの通話ボタンを押してください。
- ▶ 着信を拒否するには、 拒否を押してください。

インフォメーション

携帯電話で「ミュート」または「会議」プロファイルを設定している場合、一部のデバイスでは、着信があった場合にもPCMの呼び出し音が鳴らないことがあります。


通話を終了する

- ▶ フッターまたは電話メニューのを選択してください。
または
携帯電話の終話ボタンを押してください。
または
ステアリング・ホイールの終話ボタンを押してください。

通話中の各種機能


マイクのミュート

✓ 通話中であること。

- ▶ マイクをミュートするには、を選択してください。


通話の保留

✓ 通話中であること。

▶ 接続アイコンの隣にあるを選択してください。

または

OPT ボタン ▶ **通話を保留** を選択してください。

▶ 通話を再開するには、**保留中**アイコンの隣にあるを選択してください。

電話会議の開始*

✓ 通話中であること

1. **PHONE** ボタン ▶ Keypad (キーパッド)

2. を選択して、新たな会議を追加してください。

3. 新しい会議を追加するには：
数字キーパッドを使用して新しい電話番号をダイヤルします。


または

通話履歴から電話番号を選択します。

または

電話帳にある既存の連絡先を選択します。

4. を選択してください。

5. 会議を開始するにはを選択してください。
または

PHONE ▶ **OPT** ▶ **会議**

▶ 会議を保留するには、**PHONE** ▶

OPT ▶ **会議を保留** を選択してください。

2つの会議間の切り替え(スワッピング)*

✓ 通話中であること。

✓ 通話が保留中であること。

▶ 保留中の通話を選択して有効にし、それまで有効だった通話を保留にします。

または

PHONE ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **通話を切り替え**

通話履歴を表示する**通話の表示**

1. **PHONE** ボタン ▶ Calls (通話)

2. 希望のページをブラウズ(スワイプ)してください。

- すべての通話
- 不在着信
- 発信
- 着信

3. 通話履歴から項目を選択してください。
詳細画面が表示されます。

通話を消去

✓ 携帯電話がBluetooth® SIMアクセス・プロフィールを介して接続されていること。

1. **PHONE** ボタン ▶ Calls (通話)

2. 希望の通話履歴を選択し、発信者を選択してください。

3. **OPT** ボタンを押してください。

4. PCMの通話履歴から通話を消去するには、**通話を消去**を選択してください。

i インフォメーション

車両から発信された通話のみが消去されます。

マルチファンクション・ディスプレイで電話を使用する

マルチファンクション・ディスプレイの使用に関するインフォメーション：

▶ 「マルチファンクション・ステアリング・ホイールでのマルチファンクション・ディスプレイの操作」(296ページ)を参照してください。

電話番号をダイヤルする

1. 電話メニューを選択してください。
2. リストから希望の番号を検索し、項目を選択してください。

- 電話帳電話帳から電話番号をダイヤルしてください。
- 発信履歴通話履歴から電話番号を選択してください。

着信に応答する/拒否する

✓ 着信が入ったとき

▶ 電話メニューを選択してください。

- **Accept (応答)**：着信に応答します。
- **Reject (拒否)**：着信を拒否します。

複数の通話を同時に受ける/通話を終了する

✓ 通話中であること。*

▶ 電話メニューを選択してください。

- 新しい通話：通話中に別の参加者に電話します。
- Switching calls（電話の切り替え）：個別に通話を行うために、参加者間を切り替えます。
- 会議：電話会議に参加者を追加します。
- 通話終了：通話中の電話を終了します。


連絡先を使用する

連絡先の表示


1. **PHONE** ボタン ▶ 連絡先 

連絡先の検索


右側のアルファベット・ストリップを使用して、希望の相手を最初の文字から検索することができます。テキストを入力して検索することも可能です。

1. **PHONE** ボタン ▶ 連絡先  ▶ 連絡先を検索
2. 入力フィールドに名前を入力してください。結果リストが表示されます。
3. 希望の項目を選択してください。

連絡先の送信

1. **PHONE** ボタン ▶ 連絡先 
2. 連絡先を選択してください。連絡先詳細が表示されます。
3. **OPT** ボタンを押してください。
4. **vCardで送る**を選択してください。
5. 利用可能な状況に応じて、送信（SMS、Eメール）またはメモリー・オプション（SD、USB）を選択してください。

連絡先リストの並び替え

1. **PHONE** ボタン ▶ 連絡先  ▶ **OPT** ボタン ▶ ソート順序
2. ソート順序姓、名または名、姓を選択してください。

MyScreenにお気に入りを追加

1. **HOME** ボタン ▶ MyScreen  ▶ **OPT** ボタン ▶ 設定 MyScreen
2. MyScreen 1、MyScreen 2、または MyScreen 3を選択してください。
3. カテゴリー **PHONE（電話）** を選択してください。
4. タイル Smith, John を左プレビュー側にある任意のコンテナーにドラッグ&ドロップしてください。タイルは、緑色のエッジが見えたとすぐにコンテナーに挿入することができます。
5.  または  を使用して、MyScreenを設定メニューを終了します。
6. 連絡先を選択するにはここをタッチ。連絡先リストが開きます。
7. 希望する連絡先を選択してください。連絡先詳細が表示されます。
8. 電話番号をダイヤルしてください。選択した画面に連絡先がお気に入りとして保存されます。

MyScreenのお気に入りを消去

▶ 「MyScreenからタイルを削除する」（278ページ）を参照してください。

* 日本仕様に設定はありません。

メッセージの表示および消去*

メッセージ機能により、文字メッセージ(SMS)やEメールを読んだり、音声によりメッセージを読み上げたり、文字メッセージに含まれる電話番号を他の機能で使用したりすることができます。



この機能は、携帯電話がBluetooth®メッセージ・アクセス・プロファイルに対応している場合のみ利用することができます。携帯電話はSMS機能に対応していても、Eメール機能には対応していないことがあります。

この設定に関する詳しい情報は、お使いの携帯電話の取扱説明書を参照してください。



インフォメーション

- 接続されている携帯電話がSIMアクセス・プロファイルに対応している場合、受信したSMSはSIMカードに保存されます。*
- 携帯電話がデバイスのメモリーに保存されているSMSしか表示できない場合、車両で受信したSMSは携帯電話メッセージ・リストには表示されません。
- PCM はマルチメディア・メッセージング・サービス (MMS) に対応していません。

SMSの表示

1. **PHONE** ボタン ▶ **メッセージ**  ▶ **SMS**
2.  ▶ フォルダーを選択してください。
3. 希望のSMSを選択してください。




Eメールの表示

1. **PHONE** ボタン ▶ **メッセージ**  ▶ **Eメール**
2. Eメール・アカウントを選択してください。受信トレイが開きます。最大で100件のEメールが表示されます。
3. 必要に応じて、 ▶ フォルダー選択を選択してください。
4. 希望のEメールを選択してください。



インフォメーション

多く携帯電話は、複数のアカウントからのPCMへのEメール転送に対応していません。多くの場合、メーカー固有のアプリによって管理されたEメールのみが転送されます。

メッセージを聞く (SMS、Eメール)

1. **PHONE** ボタン ▶ **メッセージ** 
2. メニュー **SMS**または**Eメール**を選択してください。
3.  ▶ フォルダーを選択してください。
4. 希望のSMSまたはEメールを選択してください。
5. **読み出し**  を選択してください。



メッセージの消去 (SMS、Eメール)

1. **PHONE** ボタン ▶ **メッセージ** 
2. メニュー **SMS**または**Eメール**を選択してください。
3.  ▶ フォルダーを選択してください。

4. 希望のSMSまたはEメールを選択してください。
5. **OPT** ボタンを押してください。
6. **消去**を選択してください。メッセージが消去されます。SIMアクセス・プロファイルによる接続では、PCM内で消去されたSMSも携帯電話のSIMカードから消去されます。



メッセージの作成*

SMSの作成

1. **PHONE** ボタン ▶ **メッセージ**  ▶ **SMS**
2.  ▶ **新しいSMS**を選択してください。
3. 以下の方法で宛先を追加してください。数字キーボードから番号を入力します。
または
電話帳にある既存の連絡先を選択します。
または
入力フィールドから連絡先の名前を入力します (これを実行可能にするためには、電話帳に連絡先および電話番号が登録されている必要があります)。
4. **テキスト・ボックス**を選択してください。
5. 入力フィールドにメッセージを入力し、決定してください。
6. **OK**を選択してください。
7. **送信**を選択してください。メッセージが送信されます。

* 日本仕様に設定はありません。

Eメールの作成

1. **PHONE** ボタン ▶ **メッセージ**  ▶ Eメール
2.  ▶ **新しいEメール**を選択してください。
3. 以下の方法で宛先を追加してください。
電話帳にある既存の連絡先を選択します。
または
入力フィールドから連絡先の名前を入力します（これを実行可能にするためには、電話帳に連絡先および電話番号が登録されている必要があります）。
4. テキスト・ボックスを選択してください（件名など）。
5. 入力フィールドにメッセージを入力し、**OK**で確定してください。
6. **送信**を選択してください。
Eメールが送信されます。

設定の変更

通話中の設定（プライベート・モード）

✓ 通話が確立されていること。

1. **PHONE** ボタン ▶ **OPT** ボタン
2. 以下から希望の設定を選択してください。

プライベート・モードを作動：通話はハンズフリー機器から携帯電話に転送されます。

電話設定の変更

1. **PHONE** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **SET PHONE** ▶ **PHONE（電話）**
2. 以下から希望の設定を選択してください。

- **通信事業者検索**：通信事業者を選択するか、または自動通信事業者選択を作動します。
- **メールボックス・ナンバー**：接続している携帯電話のメールボックス電話番号を表示または変更します。
- **シリアル・ナンバー**：PCM 電話モジュールのIMEIシリアル・ナンバーを表示します。

Bluetooth®機能およびデバイスの管理

1. **PHONE** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **SET PHONE** ▶ **Bluetooth**
2. 以下から希望の設定を選択してください。
 - **新しいデバイスを追加する**：新しいBluetooth®デバイスを検索し、PCMに登録します。
 - **Bluetoothデバイス**：登録したBluetooth®デバイスを管理し、登録したBluetooth®デバイスをPCMに接続します。
 - ▷ 「Bluetooth®デバイスの削除、またはBluetooth®インフォメーションの表示」（194ページ）を参照してください。
 - **Bluetoothを有効/無効にする**：Bluetooth®機能を作動/停止します。
 - **注：電話を忘れないでください**：車両を離れるときは、接続したBluetooth®デバイスのリマインダーを作動させてください。
 - **名前**：PCMのBluetooth®名を設定します。

WiFi設定の設定

1. **PHONE** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **SET PHONE** ▶ **WiFi設定**
2. 以下から希望の設定を選択してください。
 - **WiFiを作動/停止**：PCMのWiFi機能をON/OFFします。
 - **PCMのWiFiホットスポット設定**：PCMのWiFiアクセス・データを表示し、設定します。このデータはデバイス（携帯電話など）をWiFi経由でPCMに接続したり、PCMのホットスポットを使用するために必要です。

データ接続の設定

1. **PHONE** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **SET**
PHONE ▶ データ接続
2. 以下から希望の設定を選択してください。

- **データ接続** :
 - **PSM オン**常にデータ接続を許可します。
 - **OFF** : データ接続をOFFにします。
 - **プロンプト** : データ接続を使用する前に、データ接続を許可するかを確認するメッセージが表示されます。
- **Share data connections (データ接続を共有する)** : WiFiデバイス用のデータ接続を可能にします。
- **ローミング** : 他のネットワークのデータ接続を許可する/許可しません。

連絡先の管理

1. **PHONE** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **SET**
PHONE ▶ 連絡先
2. 以下から希望の設定を選択してください。

- **連絡先メモリー** : 使用している連絡先メモリーを表示します。
- **ソート順序** : 姓または名で、携帯電話に保存されている連絡先を並び替えます。
- **連絡先の移動** : Bluetooth®経由で接続されている携帯電話、またはSIMカードの連絡先をPCMに手動で移動することができます。

着信音設定の変更

✓ 携帯電話がPCMに接続されていること。

1. **PHONE** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **SET**
PHONE ▶ 着信音設定
2. 以下から希望の設定を選択してください。

以下のオプションが設定可能です。

- **着信音を選択** : 接続している携帯電話がBluetooth®経由で着信音を送信しない場合、PCMの着信音を設定します。
- **着信音量** : 着信音量を設定します。
- **マイク音量** : 電話マイクの音量を設定します。
- **メッセージの受信音** : メッセージの受信音を設定またはOFFにします。

電話設定の設定

✓ 携帯電話がBluetooth® SIMアクセス・プロフィールによって接続されていること。

1. **PHONE** ボタン ▶ **OPT** ボタン
2. 以下から希望の設定を選択してください。

- **電話転送** : 電話転送を設定します。
- **キャッチホン** : 通話中に別の電話がかかってきた場合、この機能が作動していると、キャッチホン信号が鳴ります。
- **Display phone number (電話番号の表示)** : この機能が作動している場合、お使いの電話番号が相手先に表示されます。

盗難防止

盗難防止

車両から離れるときは、必ず次のことを守ってください：

- ▶ ウィンドウを閉じてください。
- ▶ パノラマ・ルーフを閉じてください。
- ▶ エレクトリック・パーキング・ブレーキを作動させてください。
- ▶ キーを抜き取ってください（またはポルシェ・エントリー&ドライブ装備車ではイグニッションをOFFにしてください）。
- ▶ グローブ・ボックスを閉じてください。
- ▶ すべての小物入れを閉じてください。
- ▶ 貴重品、車両の登録書類、携帯電話機、自宅の鍵などを車内に残さないでください。
- ▶ リヤ・リッドを閉じてください。
- ▶ ボンネットを閉じてください。
- ▶ ドアをロックしてください。

イモビライザー

各キーには、コード信号が保存されたトランスポンダー（電子回路）が組み込まれています。イグニッションを前に、イグニッション・ロックがコードを照合します。あらかじめ登録されているキーを使用したときのみイモビライザーが解除され、エンジンを始動することができます。

ステアリング・コラムのロック解除/ロック

ポルシェ・エントリー&ドライブ非装備車
ステアリング・コラムを自動的にロック解除する

- ▶ キーのリモート・コントロールで車両をロック解除してください。
または
イグニッション・キーをイグニッション・ロックに差し込んでください。

ステアリング・コラムを自動的にロックする

- ▶ キーを抜き取ってください。

ポルシェ・エントリー & ドライブ装備車
ステアリング・コラムを自動的にロック解除する

- ▶ キーのリモート・コントロールで警報システムを解除し、運転席ドアを開いてください。
または
ポルシェ・エントリー & ドライブを使用して、運転席ドアを開いてください。
または
イグニッションをONにしてください。

ステアリング・コラムを自動的にロックする

- ▶ イグニッションをOFFにした状態で、運転席ドアを開いてください。
または
車両をロックしてください。

ドライビング・データの表示（トリップ情報）

トリップ・メニューには、走行時間、走行距離、平均車速、平均燃費などの一連のドライビング・データが表示されます。

i インフォメーション

ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント (PCM) の操作に関するインフォメーション：
 ▷ 「ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント (PCM) の操作」 (273ページ) を参照してください。

マルチファンクション・ディスプレイの使用に関するインフォメーション：


▷ 「マルチファンクション・ステアリング・ホイールでのマルチファンクション・ディスプレイの操作」 (296ページ) を参照してください。

マルチファンクション・ディスプレイにドライビング・データを表示する

1. トリップ・メニューを選択してください。
2. リストから項目を選択してください。

- **以降**: 現在運転中のドライビング・データです。イグニッションOFFで2時間以上停車すると、ドライビング・データが自動的にリセットされます。
- **合計**: 手動でリセットするまでデータが蓄積されます。イグニッションをOFFにしてもデータはリセットされません。
- **目的地まで**: ルート案内を開始すると目的地までのドライビング・データが計算され、表示されます。


PCMにドライビング・データを表示する

1. **CAR** ボタン▶トリップ 
2. 希望の表示レベルへスワイプしてください。

- **パーソナル・トリップ**: 必要に応じて、ドライビング・データを4つのデータ・フィールドにグループ分けできます。
- **Trip since (からのトリップ)**: イグニッション・キーを抜き取って2時間以上停車すると、ドライビング・データが自動的にリセットされます。
- **トリップ合計**: 手動でリセットするまでデータが蓄積されます。ドライビング・データは、イグニッション・キーを抜き取って長時間駐車した場合でも保持されます。

PCMのパーソナル・ディスプレイの内容を設定する

パーソナルトリップ・メニューでは、個々のデータ・フィールドの内容を個別に設定することができます。日付、時刻、外気温、到着時刻、平均車速、燃費データなどの一般情報、およびナビゲーション・エリアから選択された様々なデータ・フィールドの車両パラメーターから選択することができます。

1. **CAR** ボタン▶トリップ ▶パーソナルトリップ▶Adapt (調整)
2. 変更したいデータ・フィールドを選択してください。
3. データ・フィールドの希望のコンテンツを選択してください。

i インフォメーション


メニュー項目 **次のガソリン・スタンドまでの距離** をデータ・フィールドに指定した場合、タッチスクリーンに表示されたシンボルを素早く押すと、このガソリン・スタンドまでのルート計算が開始されます。
 を選択してください **ルート案内の開始** このガソリン・スタンドまでのルート案内を開始するには、

マルチファンクション・ディスプレイでドライビング・データをリセットする

1. トリップ▶リミット▶リセット
2. リストから項目を選択してください。

- **すべて**: 以降 および 合計 のドライビング・データをリセットします。
- **最新**
- **累積**
- **最大値**

PCMでドライビング・データをリセットする

1. **CAR** ボタン▶トリップ ▶パーソナルトリップ▶リセット
2. リストから項目を選択してください。

- **すべて**: をリセットします **以降** および **合計** のドライビング・データ
- **最新**
- **累積**

トレーラー・ヒッチ(トレーラー・カップリング)

- ▶ トレーラー車両の取扱説明書をよくお読みください。
- ▶ トレーラー・ヒッチを改造および修理しないでください。

重要な定義

- **車両のけん引能力** (トレーラー車両の総重量) とは、トレーラー車両の空車重量と積載重量を合算したものです。
- **垂直連結荷重** とは、トレーラー・ドロワーの重量 (この車両のトレーラー・ヒッチが支える重量) です。
- **リヤ軸荷重** とは、この車両のリヤ・アクスルの軸荷重、積載重量、およびトレーラー車両の垂直連結荷重を合算したものです。
- **車両およびトレーラー車両の総重量** とは、この車両 (けん引する車両) の重量とトレーラー車両の重量を合算したものです。
 - ▶ 「重量 (メーカー発表値)」 (378ページ) を参照してください。

トレーラー・ヒッチの後付け

トレーラー・ヒッチの後付けは、ポルシェ正規販売店でのみ行ってください。ポルシェ正規販売店は、取り付けが許可されているトレーラー・ヒッチ、メーカー仕様、必要な変換作業について熟知しています。

ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

電気接続の使用

この車両には、トレーラー車両の電気系統を接続するために13ピンのプラグが用意されています。

- ▶ トレーラー車両のプラグが7ピンの場合、適切なアダプターを使用してください。

知識

トレーラー・ヒッチにアダプターが接続された状態でトレーラー・ヒッチを格納すると、車両またはトレーラー・ヒッチに損傷を与える恐れがあります。

- ▶ トレーラー・ヒッチを格納する前に必ずアダプターを取り外してください。

車両がトレーラーを検出できないようにする

車両がトレーラー車両の連結を検出した場合、オート・ストップ/スタート機能が無効になるなど様々な点で車両操作に影響を与えます (イグニッションをONにした後、マルチファンクション・ディスプレイにメッセージが表示されます)。スピードメーターのインジケーター・ライトがトレーラー車両が検出されているかどうかを表示します。このインジケーター・ライトは方向指示灯を操作した際に点滅しなければなりません。

トレーラーけん引の準備

- ▶ 車両のけん引能力、垂直連結荷重、リヤ軸荷重の仕様を必ず遵守してください。
 - ▶ 「重量 (メーカー発表値)」 (378ページ) を参照してください。
- ▶ 車両にトレーラー車両を連結した状態で、トレーラー車両が水平になるよう調整してください。必要に応じて調整可能なドロワーを使用してください。

- ▶ 山岳地帯を走行する場合、高度 (標高) が上がるにつれてエンジン出力が低下します。テクニカル・データの許容重量は海拔0mでの数値です。ルート計画では、車両とトレーラーを組み合わせた総重量を考慮してください。

荷物の配置

- ▶ トレーラー車両に積載する荷物はできるだけアクスルの近くに配置してください。すべての荷物を動かないように、必ず確実に固定してください。
- ▶ トレーラー車両に荷物を積載するときは、トレーラー・ヒッチの許容垂直連結荷重を絶対に超過しないようにしてください。

適切なタイヤ空気圧の確保

- ▶ トレーラー車両をけん引するときは、タイヤ空気圧を全積載時の値に調整してください。
 - ▶ 「タイヤ空気圧」 (381ページ) を参照してください。
- ▶ トレーラー・メーカーの取扱説明書に従って、トレーラー車両のタイヤ空気圧を点検してください。

ドア・ミラーの視野の確認

- ▶ トレーラー車両の幅が広く、後方視界が妨げられる場合は、補助ドア・ミラーを装着する必要があります。

ヘッドライトや他のライトの点検

- ▶ トレーラー車両をけん引する前は、必ずヘッドライトの光軸を点検してください。必要であればヘッドライトの光軸を調整してください。
- ▶ トレーラー車両のプラグが正しく接続されており、すべてのライトが正常に作動するか点検してください。

電動格納式トレーラー・ヒッチの使用

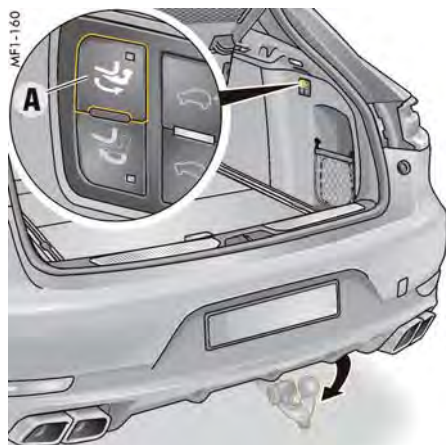


図144: トレーラー・ヒッチの取り出し

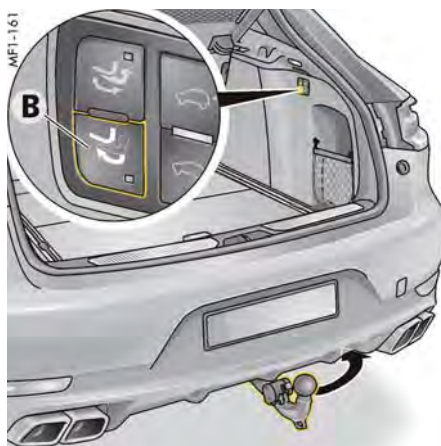


図145: ボール・ヒッチの格納

電動式トレーラー・ヒッチのボタンAまたはBの該当するインジケター・ライトが点灯していれば、該当する機能が作動します。

▲ 警告

トレーラー・ヒッチの
拡張/格納

トレーラー・ヒッチの拡張/格納の際に、動いているトレーラー・ヒッチと車両の固定パーツの間に身体の一部が挟まれる恐れがあります。

- ▶ ボール・ヒッチの作動を緊急停止するときは、ボタンAまたはBを再度押してください。作動の途中位置でトレーラー・ヒッチを使用しないでください。
- ▶ ボール・ヒッチの可動範囲に人や動物がいないか、物がいないか確認してください。

知識

ボール・ヒッチの拡張や格納時に車両を損傷する恐れがあります。

- ▶ トレーラー車両をけん引しているときや、バイク・キャリアなどがボール・ヒッチに取り付けられている場合、またはボール・ヒッチにより支えられている場合は、ボール・ヒッチを回転させないでください。
- ▶ トレーラー・ヒッチは、ボール・ヒッチを完全に拡張した状態で使用してください。
- ▶ 補助具やツールなどを使用してボール・ヒッチの作動を妨げないでください。ロック機構が損傷します。この場合、トレーラー・ヒッチの安全性が保証できません。
- ▶ 運転する前にボール・ヒッチが所定の位置に正しくロックされているか確認してください。

ボール・ヒッチの拡張

知識

トレーラー・ヒッチにアダプターが接続された状態でトレーラー・ヒッチを格納すると、車両またはトレーラー・ヒッチに損傷を与える恐れがあります。

- ▶ トレーラー・ヒッチを格納する前に必ずアダプターを取り外してください。

- ✓ 停車しているとき
- ✓ リヤ・リッドが開いている
- ▶ ボタンAを押してください。
ボール・ヒッチが自動的に拡張して、けん引位置になります。
ヒッチの格納中は、ボタンのインジケター・ライトが点滅します。
作動位置になると、ボタンのインジケター・ライトが点灯します。

ボール・ヒッチの格納

- ✓ 停車しているとき
- ✓ リヤ・リッドが開いている
- ✓ トレーラーを切り離してください。
- ✓ プラグ(および、すべてのアダプター)をソケットから切り離してください。
- ✓ ボール・ヒッチの保護キャップ、バイク・キャリアなど、ボール・ヒッチに取り付けられているものがあれば必ず取り外してください。
- ▶ ボタン **B** を押してください(204ページ:図145)。

ボール・ヒッチが自動的に格納します。

ヒッチの拡張中は、ボタンのインジケーター・ライトが点滅します。

ヒッチが完全に格納されると、ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。

i インフォメーション

- ボール・ヒッチの格納中、ボール・ヒッチのロックは自動的に解除されます。格納中に音が発生する場合がありますが、これは正常で故障ではありません。
- ボール・ヒッチを使用しないときは格納してください。
- トレーラー・ヒッチを使用するときは、トレーラー(バイク・キャリアなど)のプラグを必ず接続してください。
- トレーラー・ヒッチに問題がある場合、マルチファンクション・ディスプレイに警告シンボルが表示されます。
 - ▶ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」(98ページ)を参照してください。

トレーラー・ソケット

ソケットは拡張したボール・ヒッチの右側にあります。

オーバーロード・プロテクションを考慮に入れる

動きを妨げる抵抗を検知するとボール・ヒッチの作動が中断されます。

オーバーロード・プロテクションの一時的な停止

- ▶ ボール・ヒッチが作動位置または格納位置になるまで、ボタン **A** または **B** を押し続けてください。

i インフォメーション

高圧洗浄機、スチーム・クリーナーなどを使用して車両を洗浄するときは、回転アームのシール部分やトレーラー・ソケットに直接噴射ノズルを向けないでください。ボール・ヒッチに水分が入ります。

トレーラー・カップリングの固定位置の保存

バッテリーの接続を切り離れたときや故障の後では、電子回路に保存されているトレーラー・ヒッチの固定位置が消去されます。

この場合は、ボタン **A** および **B** のインジケーター・ライトが同時に点滅します。

固定位置の保存方法:

- ▶ ボール・ヒッチが1回作動位置になり、次に完全に格納されるまで、ボタン **A** または **B** を押し続けてください。

固定位置が保存されます。

ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。

取り扱い中に問題があった、異常に気づいた場合、あるいは故障した場合は:

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

トレーラーを連結しての運転

▲ 警告

トレーラー車両けん引時の車両のハンドリング特性の変化

トレーラー車両のけん引は車両のハンドリング特性に大きく影響します。

- ▶ トレーラー車両を連結したときのハンドリング特性やブレーキ特性に慣れるまでは、特に慎重に運転してください。
- ▶ ブレーキング、コーナリング、追越し、駐車をするときなど、車両のハンドリング特性や車両寸法がいつもと異なることを常に念頭に置いてください。
- ▶ 急なステアリング操作やブレーキ操作は避けてください。
- ▶ トレーラー車両のみに荷物を積まないでください。重量バランスを考慮し、けん引する車両にも荷物を積んでください。やむを得ず、トレーラー車両のみに荷物を積載する場合は、低速で走行してください。

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

▲ 警告

速度超過

トレーラー車両をけん引するときは、道路条件、交通状況、路面状態、車両/トレーラー車両重量に合わせて適切な速度で運転してください。トレーラーけん引中の速度の出し過ぎは、車両およびトレーラーのコントロールを失う可能性があります。

- ▶ 地域の法律等を遵守してトレーラー車両をけん引してください。
- ▶ トレーラー車両を連結した場合の走行安定性は、速度が上がるにつれて悪化します。下り坂や悪路、悪天候（強風）のときは特に速度を落として運転してください。
- ▶ 長い下り坂では適切な低速ギヤに入れ、エンジン・ブレーキを使用してください。
- ▶ トレーラー車両のみに荷物を積まないでください。重量バランスを考慮し、けん引する車両にも荷物を積んでください。やむを得ず、トレーラー車両のみに荷物を積載する場合は、低速で走行してください。
- ▶ トレーラー車両が軌道から外れたときは、直ちに減速してください。カウンターステアで走行姿勢を保たないでください。必要に応じてブレーキをかけてください。車両とトレーラー車両の姿勢をまっすぐに立て直すために加速しないでください。

▲ 警告

後退時に距離警告が利用できないことによる事故

後退中、トレーラー車両の接続（トレーラー・コネクタの接続）を検出すると、リヤ・駐車アシストが自動的に解除されます。

- ▶ 十分注意して運転してください。
 - ▷ 「パーキング・アシスタント」(222ページ)を参照してください。

▲ 警告

車線変更時に警告が利用できないことによる事故

トレーラー車両の接続（トレーラー・コネクタの接続）を検出すると、レーン・チェンジ・アシストが自動的に解除されます。

- ▶ 十分注意して運転してください。
 - ▷ 「レーン・チェンジ・アシスト(LCA)」(352ページ)を参照してください。

▲ 警告

車両を動かす際には

動いているトレーラー・ヒッチと車両の間に身体の一部が挟まれ、押しつぶされる恐れがあります。

- ▶ 車両が動いているときに、車両とトレーラーの間に人、動物、物が入らないようにしてください。

i インフォメーション

トレーラー車両を連結すると、車両のあらゆる部分に大きな負荷がかかります。車両の機能を正常かつ安全に作動させるには、トレーラー車両をけん引するたびに、専門家による点検およびメンテナンスが必要です。

- ▶ 急な坂道の走行には、オフロード・モードを作動させてください。
 - ▷ 「オフロード・モード」(77ページ)を参照してください。

トレーラーの連結と切り離し

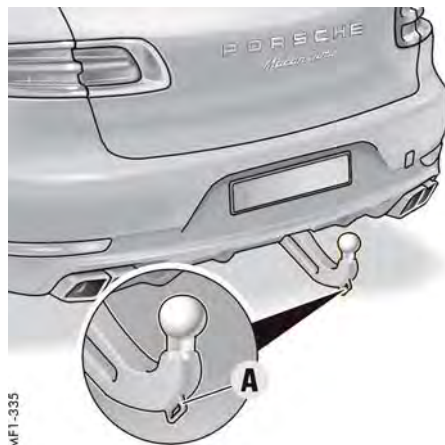


図146: トレーラー・ヒッチのボール・ヒッチにラグ A を装着する

トレーラーの連結

- ▶ トレーラー車両を連結する前に、必ず警報システムをOFFにしてください。傾斜センサー*が作動して、警報が鳴ることがあります。
 - ▷ 「室内モニタリング・システムおよび傾斜センサー*をOFFにする」(97ページ)を参照してください。
- ▶ 連結しているときに車両からトレーラーが外れることを防ぐため、セーフティー・ワイヤーをトレーラー・ヒッチのボール・ジョイントにある固定用フック A に取り付けてください。

トレーラーの切り離し

- ▶ トレーラー車両を切り離す前に、必ず警報システムをOFFにしてください。プラグを外すときに警報が鳴ることがあります。

* 日本仕様に設定はありません。

- ▶ トレーラー車両にオーバーラン (惰性走行用)・ブレーキが装着されている場合、トレーラー車両のブレーキがかかっているときにトレーラー車両を切り離さないでください。

i インフォメーション

トレーラー車両のすべてのライトがLEDの場合、トレーラー・プラグを切り離しても警報は鳴りません。

アタッチメントおよびアクセサリ の使用

▲ 警告

不適切なアタッチメント

不適切なアタッチメントを使用すると、トレーラー・ヒッチが破損する恐れがあります。

- ▶ アタッチメントおよびアクセサリのメーカーがトレーラー・ヒッチでの使用を承認していることを確認してください。
- ▶ アタッチメントおよびアクセサリがポールシェ車での使用に適合しており、承認されていることを確認してください。

アタッチメントおよびアクセサリ (バイク・ラック・システムなど) 使用時には以下に注意してください：

- 荷物を含むキャリア・システムの許容最大総重量は75kgです。ただし、負荷の重心とポール・ヒッチ間の距離が長くなると、許容最大総重量は減少します (図147)。
- ▶ 「荷物を含むキャリア・システムの許容最大総重量の遵守。」 (207ページ) を参照してください。

- バイク・ラックは最大3台まで積載できるもののみが許可されています。
- アクセサリ/アタッチメントからポール・ヒッチ (図147, 1) までの最大長さは700mmを超えてはいけません。

荷物を含むキャリア・システムの許容最大総重量の遵守。

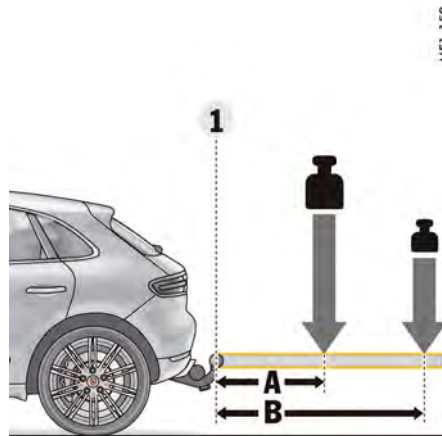


図147: アタッチメントおよびアクセサリの負荷配分図

ポール・ヒッチ (図147, 1) から荷物の重心までの距離が長くなると、キャリア・システムの許容最大総重量は減少します。許容値は以下の通りです：

重心までの距離	荷物を含めたキャリア・システムの許容最大総重量
A = 300 mm	75 kg
B = 600 mm	35kg

トランスミッション

Porsche Doppelkupplung (PDK) を使用した走行

Porsche Doppelkupplung(PDK)はオートマチック・モードとマニュアル・セレクション・モードを備えた7段変速トランスミッションです。オートマチック・モード（セレクター・レバーがD)の位置)では、変速が自動的に行われます。ステアリング・ホイールのシフト・パドルを操作することにより、一時的にオートマチック・モードからマニュアル・モードに切り替えることができます。

マニュアル・モード（セレクター・レバーがM)の位置)では、ステアリング・ホイールのシフト・パドルの操作、またはPDKセレクター・レバーで変速できます。

セレクター・レバーのDとMは、走行中でも切り替えることができます。

- ▶ オートマチックとマニュアルのどちらのモードにあるときでもステアリング・ホイールのシフト・パドルを誤って操作しないように注意してください。トランスミッションが思わぬタイミングで変速されます。



図148: セレクター・レバーの操作

セレクター・レバーの操作

イグニッションがOFFのとき、セレクター・レバーは動かないようにP位置に固定されます。イグニッションがONのとき、リリース・ボタンを押し、ブレーキ・ペダルを踏んでいるときのみ、セレクター・レバーをPおよびNの位置から動かすことができます。

ロック解除ボタン

セレクター・レバーのロック解除ボタン（矢印）は、ギヤ・シフトの誤操作を防止するための機構です。

セレクター・レバーをRまたはPの位置にシフトするときは、このロック解除ボタンを押さなければなりません。

エンジンの始動

セレクター・レバーがPかNの位置にあり、ブレーキ・ペダルを踏んだ状態でないとエンジンを始動することはできません。

車両の発進

- ▶ エンジンがアイドリング状態で、ブレーキ・ペダルを踏んでいるときのみ、走行位置(D、M、R)にシフトしてください。
- ▶ セレクター・レバーを走行位置に動かすと車両がゆっくりと動き出します。発進の準備が整うまでブレーキ・ペダルから脚を放さないでください。

坂道での発進

発進アシスタントにより坂道で発進しやすくなります。ドライバーがフット・ブレーキを解除した直後にブレーキ・ペダルからアクセル・ペダルに踏み替える時間を確保するため、短時間のみ車両がその位置に保持されます。

- ▶ 「HOLD機能：発進アシスタント、停止制御」(368ページ)を参照してください。

車両の停止

- ▶ 信号待ちなど短時間の停車時は、セレクター・レバーを走行位置のまま保持し、ブレーキ・ペダルを踏んでください。
- ▶ 上り坂ではアクセル・ペダルを踏みながら停止位置を保つようなことはしないでください。ブレーキ・ペダルを踏むか、エレクトリック・パーキング・ブレーキを作動させてください。
- ▶ 車両から離れるときは、必ずエレクトリック・パーキング・ブレーキを作動させ、セレクター・レバーをPの位置にしてください。

駐車

- ▶ アクセル・ペダルは慎重に操作してください。
- ▶ 特に、狭い場所で駐車や移動をする場合は、フット・ブレーキを使用して速度を調節してください。

MFB-828



図149: セレクター・レバー・ポジション・インジケータおよびギヤ・ポジション・インジケータ

セレクター・レバー・ポジション・インジケータおよびギヤ・ポジション・インジケータを読み取る

エンジン作動中に、セレクター・レバー位置および選択されたギヤが表示されます。

セレクター・レバーが2つのポジションの間にある場合

原因:

- 該当するセレクター・レバーの位置が点滅し **加えて**
- マルチファンクション・ディスプレイに警告が表示されます。

処置:

- ▶ フット・ブレーキを踏んで、セレクター・レバーを正しい位置に動かしてください。ブレーキを踏んでいない状態から不意にセレクター・レバーがPまたはN位置から動いてギヤに入ってしまった場合(故障または誤った操作で)、シフト・インジケータが点滅し、駆動力がカットされます。

- ▶ 発進するには、ブレーキ・ペダルを踏み、セレクター・レバーを再びPまたはNから希望のギヤに入れてください。

インストルメント・パネルのセレクター・レバー位置RまたはDが点滅する

駆動力が伝達されません。

原因:

- フット・ブレーキを踏まずにセレクター・レバーを切り替えた
- 最高許容速度以上でセレクター・レバーをRにシフトした

処置:

- ▶ ブレーキ・ペダルを踏み、セレクター・レバーを再びPまたはNから希望するギヤに入れてください。

セレクター・レバー・ポジション

P-パーキング・ロック

- ▶ 車両が完全に停止してからパーキング・ロックをかけてください。セレクター・レバー・ポジションPが点滅している場合、パーキング・ロックがかかっています。車両が不意に動き出す恐れがあります。セレクター・レバーを再びRからPの位置に入れてください。

ボルシェ・エントリー & ドライブ非装備車:

キーは、セレクター・レバーがPの位置にあるときのみ、抜き取ることができます。

R-リバース・ギヤ

- ▶ 車両が完全に停止し、ブレーキをかけてからシフトしてください。

N-ニュートラル

けん引するときや自動洗車機を使用するときなどは、セレクター・レバーをNの位置にしてください。

- ▶ エンジンがアイドル状態、ブレーキ・ペダルを踏んでいるときのみ、走行位置(D、M、R)にシフトしてください。

D-オートマチック・モード

- ▶ 「通常」の走行時には、セレクター・レバーのDの位置を使用してください。車速とアクセル・ペダルの踏み込み方により、ギヤが自動的に切り替わります。

i インフォメーション

ステアリング・ホイールのシフト・ボタンを操作することにより、一時的にオートマチック・モードDからマニュアル・モードMに切り替えることができます。

例:

- カーブや市街地に入る前にシフトダウンしたいとき
 - 下り坂でエンジン・ブレーキをかけるためにシフトダウンしたいとき
 - 急加速時にシフトダウンしたいとき
- 次の場合は、マニュアル・モードが維持されます:
- オーバーラン・モードのとき
 - 車両が交差点などで停車した場合
- 次の場合は、オートマチック・モードに戻ります:
- オーバーラン時以外は、自動的に約6秒後、
 - 発車後:

M-マニュアル・モード

- ▶ 「マニュアル・モード」(209ページ)を参照してください。

マニュアル・モード

ステアリング・ホイールのシフト・パドルまたはPDKセレクター・レバーの操作により、7速前進ギヤを快適かつ正確に選択することができます。

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z



図150: オートマチック・モード

- ▶ セレクター・レバーを **D** から **M** の位置に押してください。
現在のギヤは、**D** から **M** にシフトしてもそのまま維持されます。

M から **D** にシフトした場合は、現在のドライブング・スタイルに適した変速特性が選択され、適切なギヤにシフトされます。



図151: シフト・パドル付きステアリング・ホイール

セレクター・レバーまたは右「+」シフト・パドルでのシフトアップ

- ▶ PDKセレクター・レバーを前方に押してください。または右側シフト・パドルを手前に引いてください。

セレクター・レバーまたは左「-」シフト・パドルでのシフトダウン

- ▶ PDKセレクター・レバーを後方に押してください。または左側シフト・パドルを手前に引いてください。

シフト・パドルを使用してN - ニュートラルにシフトする

- ▶ 両方のシフト・パドルを同時に引いて、すぐに放してください。
トランスミッションは **N** - ニュートラルにシフトします。

車両はエンジンを切り離れた状態でアイドル回転数で走行し、エンジン・ブレーキの効果は得られません。ギヤ・インジケータの数値は消灯し、セレクター・レバー・ポジションが点滅します。

いずれかのシフト・パドルを引くか、セレクター・レバーを操作すると、再びギヤが締結します。

低燃費走行のためのシフトアップ・インジケータ

燃費重視の運転を促すシフトアップ・インジケータ **A** は、ドライバーが経済的な運転をできるように支援します。

現在選択しているギヤ、エンジン回転数、アクセル・ペダルの踏み込み量に応じてこのインジケータが点灯し、1段高いギヤにシフトアップする適切なタイミングをお知らせします。

- ▶ シフトアップ・インジケータが点灯したときは、1段高いギヤにシフトアップしてください。

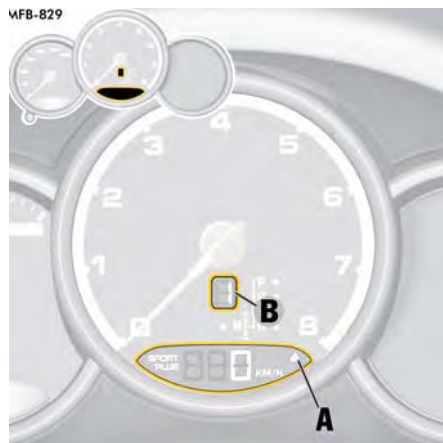


図152: シフトアップ・インジケータ **A**, およびギヤ・インジケータ **B**

キックダウン機能を作動させる

キックダウン機能はセレクター・レバーが **D** のときに作動します。

- ▶ 追い越し時などで大きな加速力が必要な場合は、アクセル・ペダルを素早くいっぱい（キックダウンの位置まで）踏み込んでください。


車速とエンジン回転数に応じて、トランスミッションがシフトダウンされます。

そのギヤでのエンジン回転数の許容上限に達するまで、シフトアップされません。

コースト走行モードで走行する

惰性走行とは、車両がエンジンを切り離れた状態でアイドル回転数で走行し、エンジン・ブレーキの効果が得られない状態をいいます。この標準機能は、燃費と乗り心地の向上を目的として自動的に作動します。アクセル・ペダルを通常通り完全に放すと惰性走行モードになります。加速するためにアクセル・ペダルを踏み込むと、エンジンが素早く再始動し、惰性走行が終了します。

自動惰性走行モードの作動条件

- ✓ セレクター・レバー **D**位置で走行している
- ✓ オート・スタート/ストップ機能/惰性走行モードがONである
- ボタンのインジケーター・ライト  が消灯している
- ✓ スポーツ、スポーツ・プラス・モードおよびオフロード・モードがOFFである
- ✓ PSMが作動している
- ✓ クルーズ・コントロールまたはアダプティブ・クルーズ・コントロールが作動していない
- ✓ エンジン、トランスミッション、バッテリーが作動温度に達している
- ✓ 穏やかな/エコ走行スタイル
- ✓ ゆるやかな上り/下り勾配
- ▶ ゆっくりとアクセル・ペダルから足を放してください。
エンジンは切り離され、アイドル回転数で走行します。走行中、エンジン・ブレーキの効果は得られません。

* 日本仕様には設定はありません。

惰性走行モードを手動で開始する

交通状況に応じて、惰性走行を手動で開始し、慎重に運転することで効率を向上することができます。このためには、シフト・パドルまたはセレクター・レバーを操作して、可能な限り高いギヤに手動でシフトアップしてください。例えば、前走車や赤信号に接近するときは、エンジン・ブレーキを積極的に使用してください。ブレーキをより強く踏むか、シフト・パドルまたはセレクター・レバーを操作することで、エンジンへの燃料供給を効果的に節約できます。

オート・スタート/ストップ・ボタンを使用した惰性走行モードのON/OFF

- ▶ 「オート・スタート/ストップ機能および惰性走行モードのON/OFF」(79ページ)を参照してください。

ローンチ・コントロールを使用した発進

ローンチ・コントロールは停車状態から最大加速度で発進することができるシステムです。

警告

車両のコントロールの喪失、または他の通行者への危険

特定の状況（路面状態が悪いとき、集中力が低下したときなど）では、車両の制御が失われたり、他のドライバーに危険がおよぶ恐れがあります。

- ▶ 路面状況や周囲の交通状況から判断して、安全が確保できる場合に限ってローンチ・コントロールを使用してください。
- ▶ ローンチ・コントロールを使用して発進するときは、他の通行者に危険がおよばないようにしてください。

インフォメーション

通常の発進に比べて、最大加速での発進が構成部品に与える負荷は劇的に増大します。

- ✓ エンジンが作動温度に達している
- ✓ スポーツ・プラス・モードをONにしている
- 1. 左足でブレーキ・ペダルを踏んでください。
- 2. 素早くアクセル・ペダルをいっばいに踏み込んで、そのまま保持してください。
エンジン回転数が約5,000rpm (Macan Sディーゼル*では約3,400rpm) に維持されます。
マルチファンクション・ディスプレイにローンチ・コントロールが有効であることを示すメッセージが表示されます。
- 3. 数秒以内にブレーキを解除してください。

オフロード・モードでの走行

トランスミッションがオフロード用の変速特性に切り替わります。

変速ポイントは様々な地形に対応して最適なコントロールができるように選択されます。急な下り坂では、エンジン回転数が中速域に達するまでシフトアップは行われません。

インフォメーション

オフロード・モード中のマニュアル・モード **M** では、エンジン回転数がレプリミットに達しても、自動的なシフトアップは行われません。

トランスミッションおよびシャーシ・コントロール・システム

システム/名称	適用	ページ
PSM ポルシェ・スタビリティ・マネージメント	<ul style="list-style-type: none"> - ドライビング・スタビリティ・コントロール - アンチロック・ブレーキ・システム(ABS) - ブレーキ・システム・プレフィル - ブレーキ・ブースター (油圧ブレーキ・アシスト) - オートマチック・ブレーキ・ディファレンシャル (ABD) - アンチ・スリップ・コントロール (ASR) - エンジン・ドラッグ・トルク・コントロール (MSR) - ステアリング・トルク・パルス - HOLD機能：発進アシスタント、停止制御 	284
PASM ポルシェ・アクティブ・サスペンション・マネージメント	<ul style="list-style-type: none"> - 無段階補正コントロール付きショック・アブソーバー・システム 	271
PTVプラス ポルシェ・トルク・ベクトリング・プラス	<ul style="list-style-type: none"> - より俊敏なコーナリングのためのラテラル・ダイナミック・ブレーキ制御 - 可変電子制御式リヤ・ディファレンシャル・ロック 	-
PTM ポルシェ・トラクション・マネージメント	<ul style="list-style-type: none"> - マップ・コントロール多板クラッチ付き電子制御4WDシステム 	-
エア・サスペンション レベル・コントロールおよび車高調整機能付き	<ul style="list-style-type: none"> - インテグレートッド・ショックアブソーバー付きフルロード・ベアリング・エア・スプリング・ストラット (フロント・アクスル)、セパレート・ショックアブソーバー付きフルロード・ベアリング・エア・サスペンション (リヤ・アクスル) - スポーツ・プラス・モードのロー・レベル設定付き車高調整機能、およびオフロード・モードのレベル設定 - プレッシュャー・アキュムレーター付きエア・サプライ・システム 	66

ナビゲーション

概要

この概要説明は「ナビゲーション」に記載された情報に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全に関する指示」および「警告」を必ずお読みください。ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント (PCM) の操作に関するインフォメーション：

- ▶ 「ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント (PCM) の操作」(273ページ) を参照してください。



070_21

E

図153: Destination input (目的地入力)



P070_54

F G H I

図154: マップ・ビュー

運転者が何をしたいか？	その操作方法は？	ページ
目的地を検索する	▶ NAV ボタン ▶ 検索 を参照) A) ▶ 目的地を入力/選択してください。	214
目的地住所を入力する	▶ NAV ボタン ▶ 県、市/区 を参照) B) ▶ 目的地住所を入力してください。	214
前回の目的地を選択する	▶ NAV ボタン ▶ 前回の目的地 ▶ リストから項目を選択してください。	214
施設情報を入力する	▶ NAV ボタン ▶ 施設 を参照) C) ▶ 施設情報を選択 ▶ 施設情報を選択してください。	215
地図コードを入力する	▶ NAV ボタン ▶ 地図コード 参照) D) ▶ 地図コードの入力	215
連絡先から目的地を選択する	▶ NAV ボタン ▶ Fav (お気に入り) ★ を参照) E) ▶ 連絡先ページをブラウズ (スワイプ) する リストから項目 ▶ を選択してください。	214
ルート案内を開始または停止する	▶ MAP ボタン ▶ 開始 または 停止 (Iを参照) を選択してください。	215
経由地を入力する/ツアーを計画する	▶ NAV ボタン ▶ 目的地を入力する ▶ 新規 (Fを参照) ▶ 経由地を入力する ▶ Add (追加) を選択してください。	215
保存したツアーを開始する	▶ NAV ボタン ▶ Fav (お気に入り) ★ (Eを参照) ▶ 保存した目的地ページをブラウズ (スワイプ) する ▶ ツアー ▶ ツアーを選択する ▶ 開始 を選択してください。	215
交通情報を表示する	▶ NAV ボタン/ MAP ボタン ▶ VICS (Gを参照) を選択してください。	218
ルートを表示および編集する	▶ NAV ボタン/ MAP ボタン ▶ ルート (Hを参照) を選択してください。	216
道路通行料自動徴収システム (ETC) を設定する	▶ CAR ボタン ▶ Toll (通行料)	221

警告

事故を起こす恐れがあります

ポルシェ・ナビゲーション・システムは、目的地まで快適に到着できる走行ルート案内し、ドライバーを補助します。案内されたルートが実際の交通規則と反する場合は、必ず実際の交通規則に従って走行してください。ドライバーは常に安全運転に努める責任があります。

- ▶ 常に周囲の交通状況に注意して下さい。
- ▶ 視界、天候、路面、および交通状況に合わせたドライビング・スタイルと速度で走行してください。



1070_21

図155: Destination input (目的地入力)

目的地の検索

検索機能を使用して検索すると、PCMの内部データベースにアクセスします。

1. **NAV** ボタンを押してください。
2. **検索** を選択してください (A図155参照)。
3. 検索語を入力してください (県、市/区、施設情報など)。
4. 候補のリストから希望の項目を選択してください。
5. **開始** を選択してください。


目的地住所の入力

1. **NAV** ボタンを押してください。
2. **県**または**市/区**を選択してください (B 図155参照)。
3. 住所を入力してください (県、市/区、施設情報、または地図コードなど)。
4. リストから希望の項目を選択してください。
5. **開始** を選択してください。


保存した目的地または連絡先の使用 (前回の目的地)

1. **NAV** ボタンを押してください。
2. **前回の目的地**を選択してください (C図155参照)。
3. 希望のページをブラウズ (スワイプ) してください。
 - **前回の目的地**: 前回使用した目的地
 - **保存した目的地**: お気に入りとして保存した目的地。「保存した目的地の呼び出し (お気に入り)」(216ページ)を参照してください。
 - **連絡先**: 接続している電話に保存されている連絡先住所
4. リストから項目を選択してください。
5. **開始** を選択してください。

施設情報の入力

1. **NAV** ボタン ▶ **施設**
2. 希望する施設情報オプションを選択してください（**目的地周辺検索**など）。
3. 施設情報カテゴリーまたは施設情報を入力または選択してください。
4. **開始**  を選択してください。



地図コードを使用した目的地の入力


1. **NAV** ボタン ▶ **地図コード**
2. 希望する目的地の**地図コード**を入力してください。
3. ポップアップ・リスト内から希望の地図コード位置を選択してください。
 - Toll gate（料金所）
 - Ferry（フェリー）
 - 高速道路
 - Others（その他）
4. **開始**  を選択してください。

ツアーの計画（経由地の入力）

ツアーは1つの目的地、および1つ以上最大10までの経由地で構成されます。


ツアーの入力および保存

1. **NAV** ボタンを押してください。
2. 目的地を入力し、ルート案内を開始してください。
3. **ルート**  を選択してください。
4. **ツアー** を選択してください。
5. **新規**  を選択してください。

6. 経由地を入力してください。
7. **追加**  を選択してください。
8. ツアー名を入力し、**OK** をクリックして確定してください。
ツアーが保存されます。

保存したツアーの呼び出し

✓ ツアーが保存されます。

1. **NAV** ボタン ▶ **Fav（お気に入り）** ★
2. 保存した目的地ページをブラウズ（スワイプ）してください。
3. **ツアー** を選択してください。
4. 希望するツアーを選択してください。
5. **開始**  を選択してください。

マルチファンクション・ディスプレイでの目的地の入力

マルチファンクション・ディスプレイの使用に関するインフォメーション：

- ▷ 「マルチファンクション・ステアリング・ホイールでのマルチファンクション・ディスプレイの操作」（296ページ）を参照してください。

1. **ナビゲーション** ▶ **目的地入力**
2. 希望のリストを選択してください。
 - **前回の目的地**：前回使用した目的地
 - **保存した目的地**：恒久的に保存した目的地
3. リストから項目を選択して、ナビゲーションを開始してください。

ルート案内の開始/停止


目的地入力メニューでのルート案内の開始

- ✓ 目的地データが入力されていること。
- ✓ ルート案内がまだ開始されていないこと。

- ▷ **NAV** ボタン ▶ **開始**


目的地入力によるルート案内の開始

- ✓ 目的地データが入力されていること。
- ✓ ルート案内がまだ開始されていないこと。
- ✓ 詳細画面で目的地が表示されていること。

- ▷ **開始**  を選択してください。

目的地入力メニューでのルート案内の停止

- ✓ ルート案内を開始していること。

- ▷ **NAV** ボタン ▶ **終了**
または
停止  を選択してください

マルチファンクション・ディスプレイによるルート案内の開始および停止

- ✓ 目的地データが入力されていること。
- ✓ ルート案内がまだ開始されていないこと。

1. **ナビゲーションメニュー** を選択してください。
2. 希望の項目を選択してください。

- **ルート案内の開始**：ルートを計算します。
- **ルート案内の停止**：ルート案内を停止します。

目的地の保存、および保存した目的地の呼び出し（お気に入り）

目的地の保存（お気に入り）

- ✓ 目的地データが入力されていること。
- ✓ ルート案内が開始されていないこと。

1. **保存** を選択してください。
2. **OK** をクリックして目的地名を確定してください。
目的地が保存されます。
または
目的地名を変更し、**OK** をクリックして確定してください。
目的地は、入力した名前前で保存されます。
または
すでに割り当てられている名前（自宅など）をリストから選択し、**OK** をクリックして確定してください。
既存の名前の目的地情報は、新しい情報で上書きされます。

インフォメーション

目的地は、ボタン **NAV** ▶Fav（お気に入り） ▶保存した目的地 ▶お気に入りとして保存を使用して保存することもできます

保存した目的地の呼び出し（お気に入り）

1. **NAV** ボタン、または **MAP** ボタン ▶Fav（お気に入り）
2. 希望のページをブラウズ（スワイプ）してください。
 - 前回の目的地：前回使用した目的地
 - 保存した目的地：お気に入りとして保存した目的地またはツアー
 - 連絡先：接続している電話に保存されている連絡先住所
3. リストから項目を選択してください。

目的地およびツアーの消去または編集

1. **NAV** ボタン、または **MAP** ボタン ▶Fav（お気に入り）
2. 希望のページをブラウズ（スワイプ）してください。
 - 前回の目的地：前回使用した目的地
 - 保存した目的地：お気に入りとして保存した目的地。
 - 連絡先：接続している電話に保存されている連絡先住所
3. リストから項目を選択してください。
4. **OPT** ボタンを押してください。
5. 希望の項目を選択してください。
 - 名前の変更
 - 消去
 - お気に入りを地図上に表示

インフォメーション

保存したすべての目的地またはツアーを消去するには、リストから項目を選択する前に、**NAV** ボタンまたは **MAP** ボタン ▶Fav（お気に入り） ▶**OPT** ボタンを選択してください。

ルートの表示および編集

✓ ルート案内が開始されていること。

1. **NAV** ボタン ▶ルート または **MAP** ボタン ▶ルート
2. オプションを選択して、設定を変更してください。
 - ルートオプション：
 - ルートの種類：ルートの計算方法（推奨は有料道路を含めない、最短時間）を設定します。
 - 回避オプション：ルート計算をするとき、フェリーおよび季節的な制限を除外するか、または含めるかを設定します。
 - ダイナミックリルート：動的なルート管理を使用して、渋滞や障害を回避します。
 - 手動ダイナミック・リルート：確認後に、動的なルート管理が作動します。
 - リスト表示：特徴的なルート地点（POI、分岐点）が図およびリスト内の両方に表示されます。
 - ツアー：開始されたツアー・ルート案内の目的地および距離が表示されます。
 - 代替ルート：このオプションは経由地のあるツアーでは選択できません。
 - ここでは、現在の案内中のルートに代わるルートを選択することができます。代替ルートを開始するには、**開始** を選択してください。

インフォメーション

現在のルート案内は、PCMで代替ルートが計算されると速やかに取り消されます。

マップ・ビューを開いて設定する

マップ・ビューを開く



図156: マップ・ビュー地図表示および機能要素

- ▶ **MAP** ボタンを押してください。
地図メニューおよび現在地のマップ・ビュー、およびルート案内中の場合は、現在のルートが表示されます。

- **A**: ルート案内情報、目的地までの時間および距離、または到着時間
- **B**: 縮尺表示とオートズームを切り替える
- **C**: 車両位置を地図の中央に置く
- **D**: 地図の向きを北向きまたは進行方向に切り替える
- **E**: 地図サイド・メニューを開く
 - ▶ 「地図コンテンツの設定」(217ページ)を参照してください。

地図コンテンツの設定



図157: 地図サイド・メニューを含む地図コンテンツ

1. **MAP** ボタン ▶ サイド・メニュー
☰ を選択してください。
2. 希望の地図コンテンツを選択してください。必要に応じてロータリー・プッシュ・ボタン、またはタッチスクリーンを使用してサイド・メニュー内をスワイプ・ダウン（スクロール）し、追加メニューを表示してください。

有効な地図コンテンツは赤色、無効なコンテンツは白色で表示されます。

- **A (3D)**: 3Dビュー（または2Dビュー）
- **B (交通)**: 地図上の交通情報の表示/非表示を切り替える
- **C (交通量)**: インターネットから入手した事故、道路工事、交通量情報やその他の事象等に関する交通情報の表示/非表示を切り替えます。必要条件: データ接続が確立されていること。
 - ▶ 「データ接続を確立する（接続）」(160ページ)を参照してください。
- **D (GOOGLE® Earth)**: GOOGLE® Earthを使用したオンライン・データを地図表示します。据え付けのアイコンを使用して、GOOGLE® Street Viewを開くことができます。必要条件: データ接続が確立されていること。

- ▶ 「データ接続を確立する（接続）」(160ページ)を参照してください。

- **E (Show POI (POI表示))**: 地図上の施設情報の表示/非表示を切り替える
- **ルート情報**: 現在計算されているルートを地図に表示する
- **コンパス**: 地図上のコンパスの表示/非表示を切り替える
- **オートズーム**: 地図上のオートズーム機能の表示/非表示を切り替える

i インフォメーション

地図のサイド・メニューは各種機能へのアクセスを容易にします。これは次のように設定することも可能です。**MAP** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **SET MAP** ▶ **マップビュー** ▶ **レイヤー**

GOOGLE® Street Viewの起動

✓ 停車していること（走行中は利用できません）。

1. **MAP** ボタン ▶ サイド・メニュー
☰ を選択してください。
2. **Google Earth** 地図画面を起動してください。
3. 地図の縮尺を100m未満に設定してください。
4. シンボルを選択してください。
GOOGLE® Street Viewが起動します。タッチスクリーンを使用して、周囲の状況を少しずつ探索することができます。

マルチファンクション・ディスプレイによるマップ・ビューの表示および設定

マルチファンクション・ディスプレイの使用に関するインフォメーション：

- ▷ 「マルチファンクション・ステアリング・ホイールでのマルチファンクション・ディスプレイの操作」(296ページ)を参照してください。

1. 地図メニューを選択してください。
2. 希望する表示オプションを選択してください。

- **オートズーム**：現在地点から次の注意点までの距離に応じて、地図の縮尺が自動的に切り替わります。
- **3D地図**：3次元地図を表示します。
- **北向き**：常に地図の上方が北になります。
- **ズーム手動**：地図の縮尺を地図画面に合わせて調節します。
- **目的地を表示**：地図上でナビゲーション目的地を選択し、拡大表示します。
- **現在地を表示**：地図上で車両の現在地を選択し、拡大表示します。

交通情報の表示

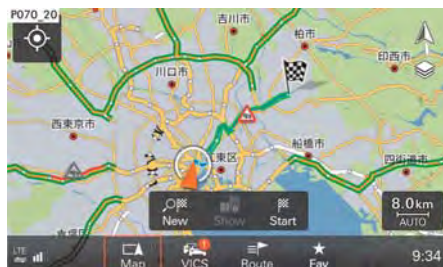


図158: 地図上に交通情報を表示

NAV メニューおよび **MAP** メニューで、現在地または選択したルートに関する交通情報を取得することができます。

以下の情報が表示されます。

- 斜線区間：交通渋滞の長さを示します。
- 色付き警告シンボル：選択したルート上に差し迫った交通渋滞。
- グレー表示の警告シンボル：選択したルート上ではない交通渋滞。

VICS交通情報の表示




図159: DSRC/VICS交通情報

1. **NAV** ボタンまたは **MAP** ボタンを押してください。
2. **VICS** アイコンを選択してください。
VICS メニューに表示されている数字は、選択したルートに関連する現在の交通情報の数を示しています。

希望する交通情報のカテゴリーを選択してください。

- **DSRC/VICS交通情報**：**VICS** アイコンを選択したときは、交通情報が読み上げられます。ミニマップ（「DSRC/VICS交通情報」(218ページ)を参照してください。）はエリア内の交通情報の概要を提供します。
- **FM図形情報**：ラジオ局によって提供される地図形式、またはスクロール可能なテキスト概要形式のFM交通情報を表示します。
- **FMテキスト情報**：個別のスクロール可能なテキスト形式で提供されるFM交通情報を表示します。
- **突発的な事象**：予期せず発生した交通渋滞を図形で表示/非表示します。
- **DSRC交通ボイス・メッセージ**：DSRC交通情報の自動アナウンスのON/OFFを切り替えます。

交通情報は、動的なルート管理により渋滞や障害を避けるのに役立ちます。**MAP** ボタン ▶ ルート  ▶ **ダイナミックリルート** を使用して迂回を有効にすることができます。


手動ダイナミック・リルートにより、動的なルート計画の作成を手動で開始することができます。

インフォメーション

ラジオ局には交通情報に対する責任がありません。従って、この情報の完全性および正確性に対してポルシェ社では責任を負いかねます。

交通情報の表示

- ✓ 有効なデータ接続が利用可能なこと。
 - ▷ 「データ接続を確立する（接続）」（160ページ）を参照してください。

1. **MAP** ボタン ▶ サイド・メニュー  を選択してください。
2. **交通量** を選択してください。

以下の交通量情報が表示されます。

- 緑色のライン：円滑に流れる交通状態
 - 橙色のライン：流れの遅い交通状態
 - 赤色のライン：渋滞
- ▷ 「地図コンテンツの設定」（217ページ）を参照してください。

オフロード・モード・ナビゲーション



警告 事故を起こす恐れがあります

システムに関連する精度および人工衛星ベースのナビゲーションの不具合リスクのため、コンパス誤差と不具合の可能性は排除できません。ドライバーは常に安全運転に努める責任があります。

- ▷ オフロード・ナビゲーションのみに依存することのないようにしてください。
- ▷ 常にオフロードの状態に注意して下さい。

オフロード・モードでは、デジタルデータ化されていない区間を走行するときでもルートを記録（トレース、追跡）することができます。この記録は複数の通過点を設定することにより行います。





オフロード・モードの作動/解除

オフロード・モードは、データとして記録されている道やルートから離れ、自由にナビゲーションを行います。

1. **NAV** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **SET NAV**
2. 必要に応じて**オフロード・モード**を選択し、プロンプトで決定してください。オフロード・モードを有効または無効にする。



記録の開始と通過点の設定

✓ オフロード・モードが作動しているとき

1. **MAP** ボタン ▶ **開始** 
2. **追加**  を選択してください。
現在の通過点が記録されます。通過点(最大10まで)を追加できます。
3. 記録を停止するには**停止**  を選択してください。
4. **保存** を選択してください。
5. 名前を入力し、**OK** をクリックして確定してください。
入力は **NAV** ▶ **Fav**  ▶ **保存した目的地** ▶ **ツアー** に保存されます

通過点のトレース

✓ オフロード・モードが作動しているとき

1. **NAV** ボタン ▶ を使用して **Fav**  ▶ **保存した目的地** ▶ **ツアー** から希望するツアーを呼び出します。
2. **開始**  を選択してください。
3. 希望の項目を選択してください。

- **前方にトレース**：通過点は開始点から終点までトレースされます。
- **後方にトレース**：通過点は開始点から終点までトレースされます。
- 「**最初から**」出発地点は開始点です。
- **ここからは**：出発地点は現在の車両位置です。

ナビゲーション設定の変更

1. **NAV** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **SET NAV**
2. 希望の項目を選択してください。

- **ロケーション情報**：位置情報に関するインフォメーションが表示されます。
- **SET NAV**
 - **ルート案内音量**：ナビゲーション案内の音量を調節、および案内のON/OFFを切り替えます。
 - **ナビゲーションデータベースアップデート**：地図データを再読込または更新します。
- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。
- **燃料警告**：残可走距離情報を表示/非表示します。
- **ナビ情報非表示**：ナビゲーション情報を表示/非表示します。
- **オフロードモードを隠すオフロード情報**を表示/非表示します。



地図設定の変更

1. **MAP** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **SET MAP**
2. 希望の項目を選択してください。

- **お気に入り**に**保存**：目的地、経由地、ツアー、または現在位置をお気に入りとして保存します。
- **位置情報**：位置情報に関するインフォメーションが表示されます。
- **マップビュー**：マップ・ビュー（北向き、3D地図、3D建築物）を適合し、地図コンテンツ（レイヤー）を適合します。
 - **交通情報**：交通情報を表示/非表示します。
 - **交通量**：交通量を表示/非表示します。
 - **交通量の設定**：交通量情報を自動的に、または通りのカテゴリーごとに表示/非表示します。
 - **施設情報の設定**：希望のPOIカテゴリを選択してください。
 - **施設情報**：POIを表示/非表示します。
 - **ルート情報**：地図サイド・ビュー内のルートに関する情報を表示/非表示します。
 - **コンパス**：地図サイド・ビュー内のコンパスを表示/非表示します。
- **ズーム**：拡大縮小の適用。
 - **オートズーム**：現在のルート案内におけるズーム・レベルの自動選択
 - **交差点拡大**：現在のルート案内で交差点に接近したときのズーム・レベルの自動選択
 - **交差点詳細地図**：交差点に到達した際に、より詳細な走行案内を表示

- **警告**: 警告カテゴリーを選択してください。
 - **燃料警告**: 燃料レベル低下の警告
 - **DSRC/VICS交通情報**: 現在の交通警告を表示します。
 - **交通事象通知マップ**: 表示の ON/OFF を切り替えます。
 - **合流**: 表示の ON/OFF を切り替えます。
 - **踏み切り**: 踏み切りの表示
 - **レーン警告**: 表示の ON/OFF を切り替えます。
 - **スピード・カメラ**: 地図上の現在の速度制限を表示/非表示します。
- **初期設定**
 - **デイ/ナイトビュー**: 日中/夜間表示の切り替え
 - **フッターを表示**: マップ・ビューにタッチスクリーン・フッターを表示します。
 - **レイヤー表示**: マップ・ビューにレイヤー・サイド・バーのボタンを表示します。
 - **到着時刻表示**: 到着時刻と残りの走行時間の切り替え
- **立ち寄り地までの走行データ**: 経由地までの時間および距離を表示
- **オフロード・モード**: モード(記録された道やルートから離れた追跡を容易にします)を有効または無効にする。
 - 「オフロード・モード・ナビゲーション」(219ページ)を参照してください。

全般的なVICS設定の変更

1. **NAV** ボタン ▶ **VICS**  ▶ **OPT** ボタン
または
2. **MAP** ボタン ▶ **VICS**  ▶ **OPT** ボタン
3. 希望の項目を選択してください。

- **ポップアップ時間**: 交通情報をポップアップ表示する時間を選択してください。5秒、10秒、15秒
- **Pop up message interruption (ポップアップ・メッセージの停止)**: ポップアップの ON/OFF 切り替え、および:
 - **DSRC 運転支援情報**
 - **DSRC 一般**
 - **DSRC 交通ボイス・メッセージ**
- **VICS サービス・ステータス**
- **DSRC 更新機能**: ON/OFF 切り替え
- **SET NAV**: 「ナビゲーション設定の変更」(220ページ)を参照してください。
- **SET MAP**: 「地図設定の変更」(220ページ)を参照してください。
- **SET Sound/SET Volume**

道路通行料自動徴収システム (ETC) の使用

ETCカード・リーダーにカードを挿入/取り出し

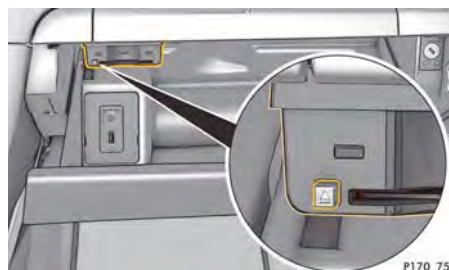




図160: グローブ・ボックス内のETCカード・リーダー

1. 有効なETCカードを、グローブ・ボックス内のカード・リーダー (A) にロックされるまで差し込んでください。
2. ETCカードを取り出すには、 ボタンを押してください。

支払履歴の表示

✓ ETCカードが挿入されていること

- ▶ **CAR** ボタン ▶ **Toll (通行料)**  ▶ **通行料履歴** 通行料履歴は、このカードを使用して以前に支払われたすべての金額を表示します。

インフォメーション

車両から離れるときは、カードをカード・リーダーから抜き取ることを推奨いたします。これには**カード取り忘れリマインダー**機能が役に立ちます。(「一般的なETC設定」(221ページ)を参照してください。)

一般的なETC設定

✓ ETCカードが挿入されていること。

1. **CAR** ボタン ▶  ▶ **設定**  ▶ **設定 ETC**
2. 希望の項目を選択してください。

- **通行料通知**: 現在支払が必要となっている通行料金を表示します。
- **通行料アナウンス**: 通行料の音声アナウンスの ON/OFF を切り替えます。
- **ETC 警告**: 現在のルート上にある、支払いが必要な通行料に関する警告を表示/非表示します。
- **カード取り忘れリマインダー** 車両を離れるときに、ETCカードをカード・リーダーから抜き取ることを促すメッセージの ON/OFF を切り替えます。

パーキング・アシスタント

ドライバーが駐車操作をしているとき、パーキング・アシスタントが車両と障害物の間の距離を表示（車両装備により異なる）と音で知らせます。

パーキング・アシスタントのパーキング・エイドがPCMに表示されます。車両前後の障害物が色別にフィールド表示されます。このフィールドにより障害物の形や車両との距離が分かります。



警告

運転中または駐車中の不注意

パーキング・アシスタントにより操作の快適性は向上しますが、無謀な運転は避けてください。パーキング・アシスタントを使用している場合も、ドライバーには駐車時や障害物に注意を払う責任があります。このシステムは、あくまでも補助的な機能のため運転時には細心の注意を払ってください。

▶ 移動範囲内に人、動物、障害物がないか必ず十分に確認してください。

距離を測定する

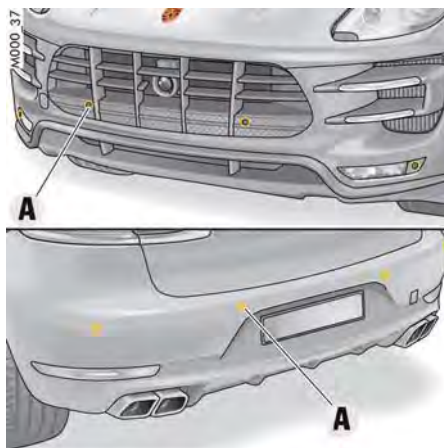


図161: 距離測定用超音波センサー

フロントおよびリア・バンパーの超音波センサーAが障害物との距離を測定します（車両装備により異なる）。障害物を検出すると**警告音が断続的に**鳴ります。障害物との距離が近づくにつれて警告音の断続間隔が短くなります。障害物との距離が約30cm以下になると、**警告音が連続して**鳴ります。

天井から吊り下がっている物体や地面の近くにある障害物など、センサーの検出範囲よりも上または下にある物体は、センサーの死角になります。このためパーキング・アシスタントが障害物として検出できません。

警告音の音量をマルチファンクション・ディスプレイで変更できます。

▶ 「警告音量およびパーキング・アシスタントの調節」（312ページ）を参照してください。

パーキング・アシスタントの作動

自動作動（約15km/hの速度まで）

- ✓ イグニッションをONにしてください。
- ✓ リバース（後退）ギヤを選択してください。
- ✓ 前方との距離が約80cm以下である。
- ✓ パーキング・アシスタントが、車両が後退していることを検出したとき。

手動での作動

▶ **CAR** ボタン ▶ **アシスト** ▶ **パーキング・アシスタント**を表示する

PCMの表示

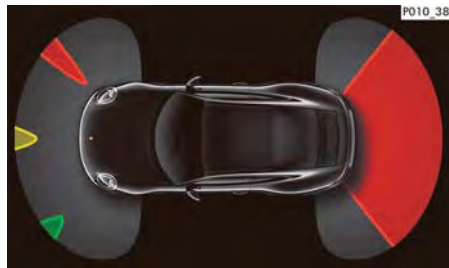


図162: 色で距離を知らせる

カラー	フロント側の距離	リア側の距離
緑	< 120 cm	< 180 cm
黄色	< 80 cm	< 80 cm
赤色	< 40 cm	< 45 cm
赤色と連続音	< 30 cm	< 30 cm

i インフォメーション

ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント (PCM) の操作に関するインフォメーション:

- ▶ 「ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント (PCM) の操作」(273ページ) を参照してください。

タルガ・モデルのリヤ・パーキング・アシスタントの警告作動

知識

タルガ・ルーフを開閉するときリヤ・ウィンドウがボディ面から突出します。タルガ・ルーフまたはリヤ・ウィンドウを損傷する恐れがあります。

- ▶ タルガ・ルーフの開閉または操作を行う前に、車両の上方および後方に十分な空間があることを確認してください。ガレージなどでは特に注意が必要です。

タルガ・ルーフを開くとリヤ・パーキング・アシスタントが作動します。センサーが40cm以下の距離に障害物を検出すると、警告メッセージがマルチファンクション・ディスプレイに表示されます。

- ▶ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」(98ページ) を参照してください。

パーキング・アシスタントの停止

自動停止

- ✓ リバースから前進にギヤを切り替えてください (障害物が検出されない場合は約2分後)。
- ✓ セレクター・レバーがPの位置にある。

手動での停止

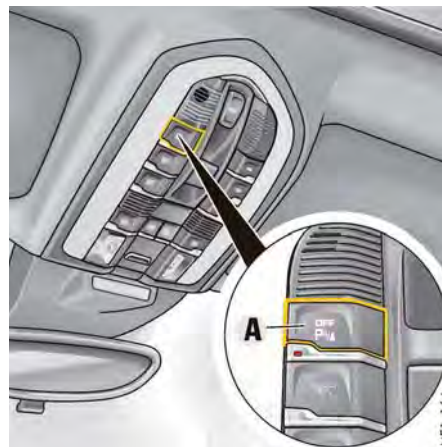


図163: オーバーヘッド・コンソールのボタン

- ▶ オーバーヘッド・コンソールのボタンAを押してください。ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。PCMには何も表示されません。PCMの表示を手動で起動させることはできません。

リバース・カメラ



図164: リヤビュー・カメラはバンパーのライセンス・プレート・ライトの間に取り付けられています。

リバース・カメラは、駐車操作時に車両後方の確認を補助するシステムです。リバース・カメラの映像がPCMに表示されます。

リバース・カメラの作動

自動

- ✓ リバース・ギヤに入れてイグニッションをONにしてください。
- ✓ パーキング・アシスタントが、車両が後退していることを検出したとき。

手動

- ▶ **CAR** ボタン ▶ アシスト ▶ パーキング・アシスタントを表示する

リバース・カメラの停止

自動

- ✓ リバースから前進にギヤを切り替えてください（障害物が検出されない場合は約2分後）。
- ✓ セレクター・レバーがPの位置にある。

サラウンド・ビュー (RTV)



図165: サラウンド・ビュー・カメラの位置

- A センターおよびフロント・エプロンのカメラ
- B 両方のドア・ミラーのカメラ
- C バンパーのライセンス・プレート・ライトの間にあるカメラ

▲ 警告

ケガをする恐れがあります

リバース・カメラに映し出される障害物は実際とは異なって見えます。多くの場合、画面の映像では、車両周辺全体を映し出すことはできません。

- ▶ 常に車両周囲の状況に十分注意を払ってください。
- ▶ 移動範囲内に人、動物、障害物がないか必ず十分に確認してください。

Surround View (サラウンド・ビュー) は車両を上面からみた映像で、車両周辺の全域を映し出したものです。複数のカメラで障害物や路面のマーキングを捉え、視野が狭い状態でも車両の正確な位置を検出します。

Surround View (サラウンド・ビュー) を有効にする

自動

- ✓ パーキング・アシスタントが再び作動します。
 - ▷ 「パーキング・アシスタント」(222ページ)を参照してください。

手動

1. **CAR** ボタン ▶ **アシスト** ▶ **パーキング・アシスタント**を表示する
2. シンボルで希望するビューを選択します (トップビューなど)。有効になっているビューのシンボルは赤色で強調されます。

シンボル

ビュー



トップビュー (車両の周囲と位置)



フロントビュー :



リヤビュー



サイドビュー



フロント・コーナービュー



リヤ・コーナービュー



インフォメーション

フロントおよびリヤ・カメラのビューにはガイドラインが重ねられて表示されます。これらのガイドラインは現在、ステアリング操作で進むことのできる方向を示しています。ガイドラインは前輪の位置により変わります。

Surround View (サラウンド・ビュー) を無効にする

- ▶ パーキング・アシスタントの停止
 - ▷ 「パーキング・アシスタント」(222ページ)を参照してください。

超音波センサーの限界

構造上、パーキング・アシスタントは以下のものを検出できません。

- 音波を吸収する物体（粉雪などの雪、布地や毛皮の衣類など）
- 音波を反射する物体（ガラスの表面や平らな塗装面など）
- 非常に細い物体（細い支柱など）
- その他、排気ブレーキ、清掃機やエア・ジャッキなどを近くで使用したときも、超音波が乱れて正常な作動が妨げられることがあります。

メンテナンス上の諸注意

- ▶ センサーの正常な機能を維持するため、センサーに付着した汚れ、氷、雪などは取り除いてください。
- ▶ センサーを擦ると故障の原因になります。
- ▶ 高圧洗浄機を使用して清掃するときは、センサーとの距離を十分に確保してください。圧力が高すぎるとセンサーが損傷します。
- ▶ ナンバー・プレート・ホルダーの改造、またはナンバー・プレートの移設、曲がり、取り付け不良などはシステムに悪影響を及ぼす恐れがあります。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

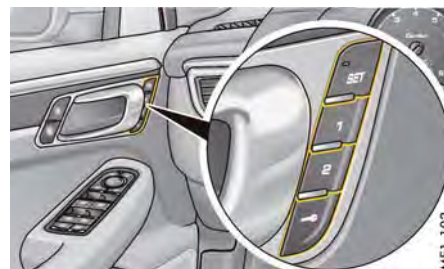
わ

A-Z

パーソナル設定

概要

この概要説明は「パーソナル設定」に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく安全に関する指示および警告を必ずお読みください。



どこでパーソナル設定の保存/呼び出しができますか？

メモリー・パッケージでは、どのようなパーソナル設定の保存/呼び出しができますか？

キーを使用して車両をロック/ロック解除すると自動的に行われます。


✓ マルチファンクション・ディスプレイで、**オート・メモリー** 機能を有効にしてください。
▷ 「オート・メモリーのON/OFF」(312ページ) を参照してください。

人間工学に基づいた設定

- 運転席シートおよびドア・ミラー (運転席メモリー・パッケージ)
- 運転席シート、ドア・ミラー、助手席シート、ステアリング・コラム (コンフォート・メモリー・パッケージ)

コンフォート設定 (コンフォート・メモリー・パッケージ)


- エアコン・システム、マルチファンクション・ディスプレイ

知識: オート・メモリー 機能を有効にした場合、キーまたはキー・ボタン  に保存した設定は、車両をロックするたびに更新されます。

運転席ドアのメモリー・ボタン **1** or **2**、または **3** (助手席ドア) による手動の呼び出し

人間工学に基づいた設定

- 運転席シートおよびドア・ミラー (運転席メモリー・パッケージ)
- 運転席シート、ドア・ミラー、助手席シート、ステアリング・コラム (コンフォート・メモリー・パッケージ)

運転席ドアのキー・ボタン  を使用して手動で行います。

人間工学に基づいた設定

- 運転席シートおよびドア・ミラー (運転席メモリー・パッケージ)
- 運転席シート、ドア・ミラー、助手席シート、ステアリング・コラム (コンフォート・メモリー・パッケージ)

コンフォート設定 (コンフォート・メモリー・パッケージ)

- エアコン・システム、マルチファンクション・ディスプレイ

設定は運転席ドアのキー・ボタン  およびキーに保存されます。

パーソナル設定の保存と呼び出し

▲ 注意

シート、ミラー、およびステアリング・ホイールの自動設定の呼び出し

メモリー設定が予期せぬタイミングで起動した場合、身体の一部が挟まれたり、圧迫される恐れがあります。

- ▶ メモリー・ボタンまたはシート調節ボタンのいずれかを押しと、必要に応じて設定の自動呼び出し機能をキャンセルできます。
- ▶ お子様のみを車内に残さないでください。

運転席メモリー



図166: 運転席ドア・メモリー・ボタン (運転席メモリー・パッケージ)

車両の装備仕様により、運転席メモリー・パッケージでは様々な設定をキーおよび運転席ドアのメモリー・ボタンに保存することができます。

人間工学に基づいた設定:

- 運転席シート
- ドア・ミラー

コンフォート・メモリー・パッケージ

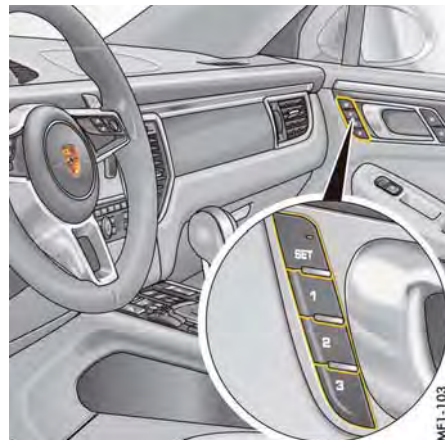


図167: 助手席ドア・メモリー・ボタン (コンフォート・メモリー・パッケージのみ)

車両の装備仕様により、コンフォート・メモリー・パッケージでは、様々な設定をキーおよび運転席・助手席ドアのメモリー・ボタンに保存することができます。

人間工学に基づいた設定:

- 運転席シート
- 助手席シート
- ドア・ミラー
- ステアリング・ホイール

コンフォート設定:

- エアコン・システム
- マルチファンクション・ディスプレイ

キーへの設定の保存

人間工学に基づいた設定とコンフォート設定をキーに個別に割り当てることができます。

i インフォメーション

各メモリーの情報は最大で4本のキーに保存することができます。更にキーを追加する場合は、最後に車両に登録されたキーのメモリー情報が適用されます。

車両ロック時の自動保存

- ✓ オート・メモリー 機能を有効にします。
- ▶ 「オート・メモリーのON/OFF」(312ページ)を参照してください。
- ▶ 車両をロックしてください。
設定が使用中のキーに保存されます。

「オート・メモリー」機能が役立つ状況

各ドライバーは個別のキーを使用しています。車両をロックすると、最後に選択した設定がキーに保存されます。ドライバーが交代すると、パーソナル設定が個々のキーから呼び出されます。

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

i インフォメーション

オートメモリー機能を有効にした場合、手動操作でキーに保存した設定は、車両をロックするたびに更新されます。

運転席ドアの **→** 運転席キー・ボタンを押す

✓ イグニッションをONにしてください。

1. SETボタンを押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。
2. 10秒以内にキー・ボタン **→** を押してください。
人間工学に基づいた設定およびコンフォート設定（キー特定）が保存されます。
保存されると確認音が鳴り、SETボタンのインジケーター・ライトが消灯します。

設定をキー・ボタンに保存することが役立つ状況 **→**?

車両のロック/ロック解除時に加えて、停車中に設定の保存/呼び出しを行いたい場合があります。

- ▶ オートメモリー機能を無効にします。
有効のままだと、車両ロック時に設定が更新されます。

キーから設定を呼び出す

車両ロック解除による自動呼び出し

- ▶ 車両をロック解除し、運転席ドアを開いてください。
使用中のキーの設定が呼び出されます。

運転席ドアの運転席キー・ボタン **→** を押す

- ▶ すべての設定が呼び出されるまでキー・ボタン **→** を押し続けてください。

または

- ✓ イグニッションをOFFにしてください。
- ✓ 運転席ドアを開いてください。
- ▶ キー・ボタン **→** を短く押してください。
使用中のキーの設定が呼び出されます。

キー・ボタン **→** の設定が保存した内容と違う場合

オート・メモリー機能をマルチファンクション・ディスプレイで有効にした場合、人間工学に基づいた設定およびコンフォート設定は車両ロック時にキーに保存されます。このとき、キー・ボタン **→** に保存された設定が更新されます。

メモリー・ボタン1、2または3への設定の保存

人間工学に基づいた設定を運転席ドアのメモリー・ボタン1と2に割り当てることができます。

助手席シートの設定を助手席ドアのボタン1、2および3に個別に割り当てることができます。

- ✓ イグニッションをONにしてください。
1. SETボタンを押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。
 2. 10秒以内にメモリー・ボタン1、2または3（助手席ドアのみ）を押してください。
設定が保存されます。
保存されると確認音が鳴り（運転席ドアのみ）、SETボタンのインジケーター・ライトが消灯します。

メモリー・ボタン1、2または3による設定の呼び出し

運転席ドアのメモリー・ボタン1または2による人間工学に基づいた設定の呼び出し

- ▶ すべての設定が呼び出されるまでメモリー・ボタン1または2を押し続けてください。

または

- ✓ イグニッションをOFFにしてください。
- ✓ 運転席ドアを開いてください。
- ▶ メモリー・ボタンまたは1を2短押ししてください。
設定が自動的に呼び出されます。

助手席ドアのメモリー・ボタン1、2、または3による助手席シートの設定の呼び出し

- ▶ すべての設定が呼び出されるまでメモリー・ボタン1、2または3を押し続けてください。

または

- ✓ イグニッションをOFFにしてください。
- ✓ 運転席ドアを開いてください。
- ▶ メモリー・ボタン1、2または3を短く押してください。
設定が自動的に呼び出されます。

バッテリー

▲ 警告

感電、ショートまたは火災

車両の通電部品に触れると、感電する恐れがあります。車両電気系統への作業が原因で、ショートする恐れがあります。回路のショートが原因で火災が発生する恐れがあります。

- ▶ 電気系統の作業を行うときは、必ずバッテリー・マイナスケーブルの端子を外してください。
- ▶ 工具や電気を通す装身具（指輪、ネックレス、時計バンドなど）が、車両の電気部品と接触しないように注意してください。

▲ 警告

火災または爆発

燃料、エンジン・オイル、トランスミッション・オイルなど、車両に使用される油脂類の多くは非常に引火しやすい性質を持っています。燃料蒸発ガスは発火、爆発する恐れがあります。バッテリー充電中は爆発性の高い混合ガスが発生することがあります。

- ▶ 電気系統の作業を行うときは、必ずバッテリー・マイナスケーブルの端子を外してください。
- ▶ 静電気の帯電を防ぐため、乾いた布でバッテリーを拭かないでください。
- ▶ バッテリーを取り扱う前に、車両などに触れて静電気を逃がしてください。
- ▶ バッテリーの近くで喫煙したり、裸火を近づけないでください。ケーブル接触等による火花にも注意してください。
- ▶ メンテナンス作業は屋外か、または屋内の換気が良い場所でのみ実施してください。

知識




回路のショート、火災またはオルタネーターおよび電気系統を損傷する恐れがあります。

- ▶ バッテリーの脱着は、必ずボルシェ正規販売店で実施してください。ボルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ 電気系統の作業を行うときは、必ずバッテリー・マイナスケーブルの端子を外してください。

バッテリーは、ラゲッジ・コンパートメント・フロア下にあります。

- ▶ ジャンパー・ケーブルによるエンジン始動時は、黒色のマイナス・ケーブルを絶対にバッテリーへ直接接続しないでください。必ず充電器の黒色のマイナス・ケーブルをアース箇所（マイナス端子）B (230ページ：図168)に接続してください。
- ▶ バッテリー取り扱い上の注意
ジャンパー・ケーブルによるエンジンの始動に関するインフォメーション：
▶ 「ジャンパー・ケーブルによる始動」（141ページ）を参照してください。

警告シンボルへの対応

バッテリーの充電状態が低いときは、マルチファンクション・ディスプレイにまたはのシンボルが表示されます。のシンボルは、オルタネーターの故障を示します。

- ▶ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」（98ページ）を参照してください。

バッテリー取り扱い上の注意



作業の前に取扱説明書をお読みください。



保護眼鏡を必ず着用してください。



お子様を絶対に近づけたりしないでください。



爆発の危険があります。

バッテリー充電中は爆発性の高い電解質のガスが発生します：



火気、火花、裸火を近づけたり、そばで喫煙したりすることは絶対に避けてください。

電気配線や電装品を取り扱うときは、火花を発生させたり、ショートさせたりしないでください。

ガス抜きホースが付いたバッテリーは、ホース出口から高濃度の電解質ガスが放出されます。ガス抜きホースによじれや詰まりがないようにしてください。



酸による火傷の危険があります。

バッテリー液には極めて強い腐食性があります。保護手袋と保護眼鏡を必ず着用してください。

ガス抜き穴からバッテリー液が漏れる恐れがあるため、バッテリーを傾けないでください。

応急処置

バッテリー液が目にかかった場合は、直ちに水で数分間洗い流し、至急医師の診察を受けてください。皮膚、衣服にかかった場合、直ちに石鹼水で中和し、多量の水で洗い流してください。万一バッテリー液を飲み込んでしまった場合は、直ちに医師の診察を受けてください。



廃棄

古いバッテリーは、適切な廃棄場にて廃棄してください。



古いバッテリーを家庭ごみと一緒に廃棄しないでください。

バッテリーのお手入れ

i インフォメーション

バッテリーの凍結を防ぐため、常に完全な充電状態を維持してください。バッテリーが充電不足だと-5℃程度の温度でも凍結することがあります。完全に充電されている場合は-40℃まで凍結しません。

- ▶ ジャンパー・ケーブルを接続する前に凍結したバッテリーを解冻してください。

運転者が何をしたいか？

バッテリー上がりを防ぐには

- ▶ 短距離の運転時は、不要な電気装備類をOFFにしてください。
- ▶ 車両から離れるときはイグニッションをOFFにし、キーを抜いてください。
- ▶ エンジン停止時には、PCMを使用しないでください。

バッテリーのお手入れ

- ▶ バッテリー表面は清潔で乾いた状態に保ってください。
- ▶ バッテリー端子は必ず確実に接続してください。
- ▶ 冬になる前に、ポルシェ正規販売店でバッテリーの点検を受けてください。

冬季の走行に備えて

車両を保管するとき

- ▶ 車両を使用せず、車庫や修理工場に長期間保管する場合は、ドアヤリッド類を確実に閉じてください。
- ▶ キーを抜き、必要に応じてバッテリーの端子を外してください。またはポルシェ・エントリー & ドライブ装備車ではイグニッションをOFFにしてください。

i インフォメーション

バッテリーを切り離している場合、警報装置は作動しません。バッテリーを切り離す前に車両がロックされていた場合、バッテリーを再接続したときに警報システムが作動します。

- ▶ 「警報システム」(97ページ)を参照してください。

i インフォメーション

車両を使用していない間でも、バッテリーは常に放電しています。

- ▶ バッテリーの機能を正常に保つには、約6週間ごとに充電するか、または充電器に接続してください。ポルシェ社では、ポルシェ・テクニクアップメントの充電器およびトリクル充電器を使用することを推奨いたします。
- ▶ 取り外したバッテリーは、湿気がなく風通しの良い冷暗所に保管し、凍結に注意してください。

バッテリーの充電

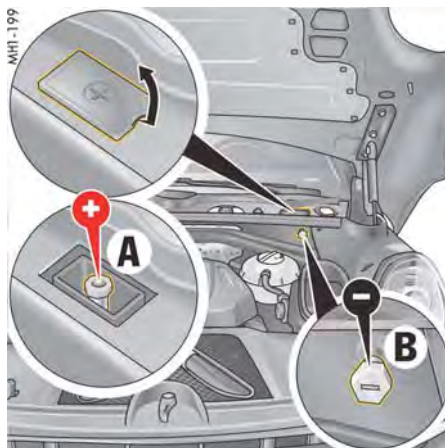


図168: バッテリー端子

- A プラス端子+
- B アース箇所(マイナス端子)-

- ▶ 充電器メーカーの取扱説明を順守してください。
- ▶ バッテリーが凍結している場合は、充電する前に解冻してください。

- ▶ 十分に換気ができる場所でバッテリーを充電してください。
- 1. ボンネットを開いてください。
- 2. ジャンパー・ケーブル接続用のプラス (+) 端子のキャップを開いてください。
- 3. 充電器の赤色のプラス・ケーブルをバッテリーのプラス端子Aに接続してください。
- 4. 充電器の黒色のマイナス・ケーブルをアース箇所 (マイナス端子) Bに接続してください。
- 5. 充電器のスイッチをONにしてください。
- 6. バッテリーの充電が完了したら、充電器の電源をOFFにしてから、ケーブルを外してください。
- ▶ 「バッテリー交換後の車両の作動復帰」(231ページ) を参照してください。
- ▶ 適切な充電器についてのお問い合わせは：ポルシェ正規販売店にご相談ください。

バッテリーの交換

バッテリー本体に表示された規格/仕様のみでは、そのバッテリーがポルシェ社の要求する基準を満たしているかどうかを判断することができません。

- ▶ バッテリーを交換するときは、車両の所定の要件を満たしたAGM (Absorbent Glass Mat) バッテリーのみを使用してください。ポルシェ純正バッテリーの使用を推奨いたします。
- ▶ バッテリーの廃棄に関する指示を遵守してください。
- ▶ バッテリーの取り外しは、必ずポルシェ正規販売店で実施してください。
- ▶ 新しいバッテリーを取り付けた後は、コントロール・ユニットでの初期化が必要です。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

バッテリー交換後の車両の作動復帰

バッテリーの接続を切断した後、または完全に上がってしまったバッテリーを充電した場合、以下の作業を行う必要があります：

1. パワー・ウィンドウの停止位置を保存してください。
 - ▶ 「ウィンドウ停止位置の保存」(53 ページ) を参照してください。
2. タイヤ空気圧モニタリング・システム (TPM) にタイヤを登録してください。
 - ▶ 「タイヤ空気圧メニュー (タイヤ空気圧モニタリング、TPM)」(301ページ) を参照してください。
3. 電動格納式トレーラー・ヒッチ装備車は、固定位置を保存してください。
 - ▶ 「トレーラー・カップリングの固定位置の保存」(205ページ) を参照してください。
4. パノラマ・ルーフ・システムの停止位置を保存してください。
 - ▶ 「パノラマ・ルーフ・システムおよびサン・ブラインドの停止位置の保存」(239ページ) を参照してください。

パンクしたとき

モデルと装備に従って、車両にはタイヤ・シーラント/工具セットまたはコラブシブル・スペア・ホイールが付属します。

タイヤ・シーラント/工具セットが付属する車両:

- ▷ 「損傷したタイヤの補修」(233ページ)を参照してください。

コラブシブル・スペア・ホイール装備車

- ▷ 「コラブシブル・スペア・ホイールの装着」(234ページ)を参照してください。

警告シンボルへの対応

! シンボルが警告メッセージとともにマルチファンクション・ディスプレイに表示された場合、タイヤ空気圧モニタリング・システムが著しい空気圧低下を検出しています。空気圧の低下はタイヤの損傷を示している可能性があります。

- ▷ 安全な場所に停車し、表示されたタイヤの損傷を点検してください。
- ▷ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」(98ページ)を参照してください。

安全な駐車

1. 走行車線からできるだけ離れた安全な場所に停車してください。地面が固くて水平な場所を選んでください。
2. ハザード・ライトを点滅させてください。
3. パーキング・ブレーキを作動させてください。
4. PDKセクター・レバーをPの位置にシフトしてください。
5. フロント・ホイールを直進位置にしてください。
6. ステアリングのロックおよびエンジン始動の防止：キーを抜き取ってください。
ボルシェ・エントリー&ドライブ装備車：リモート・コントロール・ユニット

7. すべての乗員を安全な場所に避難させてください。このとき、周囲の交通状況に注意してください。
8. 停止表示板を適切な場所に設置してください。
9. 交換するタイヤの反対側の車輪に輪止めをするなどして、車両が不意に動き出さないようにしてください。

車両が動き出さないように固定してください。

✓ コラブシブル・スペア・ホイール装備車

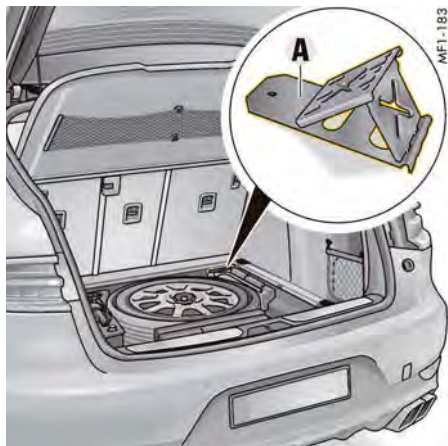


図169: 輪止めの取り外し

1. 輪止め A を取り外します。
2. 折り畳まれている両方の輪止め A を起こして固定してください。

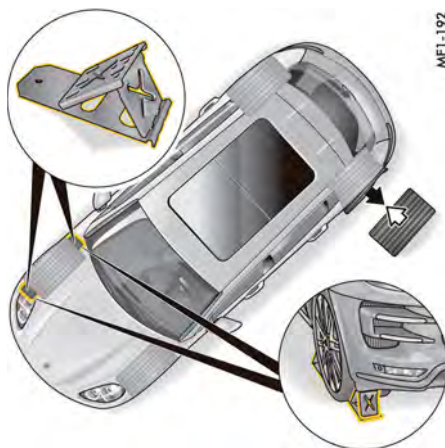


図170: 輪止めの配置

3. 取り外すタイヤと対角線上にあるタイヤの前後に輪止めを設置してください。

損傷したタイヤの補修

▲ 警告

一時的なタイヤの補修

タイヤ・シーラントで補修した損傷タイヤのまま不適切な速度、または連続的な負荷状態で走行すると、バースト（破裂）または空気圧が低下する恐れがあります。

- ▶ タイヤ・シーラントを使用したタイヤの補修は、緊急の場合の応急処置であり、最寄りの修理工場までの短距離の移動のみに使用してください。
- ▶ タイヤ・シーラントは4mm以下の切傷や刺傷のみに使用してください。
- ▶ ホイール・リムが損傷している場合は、タイヤ・シーラントを使用しないでください。
- ▶ 速やかにポルシェ正規販売店でタイヤを交換してください。タイヤ・シーラントを使用したことを専門整備工場に伝えてください。
- ▶ タイヤを修理しないでください。
- ▶ 急加速や高速でのコーナリングは避けてください。
- ▶ 許容最高速度 80km/h を超えて走行しないでください。
- ▶ タイヤ・シーラントおよびコンプレッサーに添付されている安全および取り扱い上の注意事項を遵守してください。

タイヤがパンクした場合、車両に装備されているタイヤ・シーラントで損傷したタイヤを応急処置することができます。損傷したタイヤを適切に補修するには以下が必要です。

- **タイヤ・シーラント・セット** はラゲッジ・コンパートメントに収納され、以下が含まれます。
 - 充填ボトル
 - 充填ホース
 - バルブ回し
 - 交換バルブ・インサート
 - 許容最高速度表示用ステッカー
 - 操作説明
- **コンプレッサー** はトランク・ルームにあります
 - ▶ 「コンプレッサー/タイヤ・シーラントの取り外し」(332ページ)を参照してください。

タイヤ・シーラントの充填

▲ 警告

人体に有害な可燃性
シーラント

- シーラントは強燃性であり、人体に有害です。
- ▶ タイヤ・シーラントの近くで喫煙したり、裸火を使用しないでください。
 - ▶ 皮膚、目、衣服に付着しないように注意してください。
 - ▶ お子様の手の届かない場所に保管してください。
 - ▶ シーラントの蒸発ガスを吸い込まないようにしてください。

▲ 注意

タイヤ・シーラントに
触れた場合

タイヤ・シーラントが付着すると炎症やアレルギーを引き起こすことがあります。

- ▶ 皮膚、目、衣服に付着しないように注意してください。
- ▶ タイヤ・シーラントが皮膚に付着したり目に入ったときは、直ちに多量の水で洗い流してください。
- ▶ 衣服に付着したときは、すぐに着替えてください。
- ▶ パンク修理剤でアレルギー反応を起こしたときは、直ちに医師の診察を受けてください。
- ▶ タイヤ・シーラントを誤って飲み込んだときは、すぐに口を多量の水でゆすぎ、多量の水を飲んでください。無理に嘔吐しないでください。直ちに医師の診察を受けてください。

▲ 警告

タイヤの空気圧が検出
されない

タイヤ・シーラントが付着したタイヤ空気圧センサーでは、タイヤ空気圧を正しく検出できません。

- ▶ 損傷したタイヤを交換するときは、タイヤ空気圧センサーも必ず一緒に交換してください。

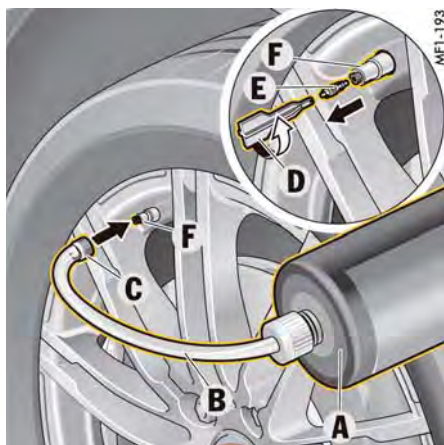


図171: タイヤ・シーラントの充填

- A 充填ボトル
- B 充填ホース
- C 充填ホース・プラグ
- D バルブ回し
- E バルブ・インサート
- F タイヤ・バルブ

充填作業の準備

1. タイヤの空気が抜けた原因である異物は取り除かず、そのままタイヤに残しておいてください。
2. ラゲッジ・コンパートメントからタイヤ・シーラントおよび付属のステッカーを取り出してください。
 - ▷ 「コンプレッサー/タイヤ・シーラントの取り外し」(332ページ)を参照してください。
3. 許容最高速度を示すステッカーを、ドライバーの目に付く場所に貼り付けてください。

タイヤ・シーラントの充填

- ▷ タイヤ・シーラントに添付されている取り扱い上の注意事項を遵守してください。

1. 充填ボトルAをよく振ってください。
2. 充填ホースBを充填ボトルに取り付けてください。充填ボトルを開封してください。
3. タイヤ・バルブFからバルブ・キャップを外してください。
4. バルブ回しDを使用して、バルブ・インサートEをタイヤ・バルブから取り外してください。バルブ・インサートは、乾いた汚れない場所に置いてください。
5. 充填ホースBのプラグCを取り外してください。
6. 充填ホースをタイヤ・バルブに押し付けてください。
7. 充填ボトルをタイヤ・バルブより上方に持ち上げ、ボトルを強く握って中身をすべてタイヤに充填してください。
8. 充填ホースをタイヤ・バルブから引き抜いてください。
9. バルブ回しDを使用して、バルブ・インサートEをタイヤ・バルブにしっかりねじ込んでください。

タイヤへの空気充填

- ▷ コンプレッサーの取扱説明書に従ってください。
- ▷ 「タイヤ空気の充填」(170ページ)を参照してください。

1. コンプレッサーを車両のソケットに接続し、圧力が2.5 bar以上になるまでタイヤに空気を入れてください。タイヤ空気圧がこの規定値に達しない場合は、タイヤが激しく損傷しています。このようなタイヤで運転を続けしないでください。
2. バルブ・キャップをタイヤ・バルブFに取り付けてください。

タイヤ空気圧の点検

- ▷ 約10分間走行してからタイヤ空気圧を点検してください。タイヤ空気圧が1.5bar以下の場合、運転を中止してください。タイヤ空気圧が1.5bar以上の場合、指定のタイヤ空気圧に調整してください。
- ▷ 「タイヤ空気圧」(381ページ)を参照してください。

タイヤ交換

- ▷ 「タイヤおよびリムの交換」(172ページ)を参照してください。

ホイールを交換した後は、マルチファンクション・ディスプレイのタイヤ設定を必ず更新してください。

- ▷ 「タイヤ空気圧メニュー (タイヤ空気圧モニタリング、TPM)」(301ページ)を参照してください。

コラプシブル・スペア・ホイールの装着

▲ 警告

車両操縦性の変化

コラプシブル・スペア・ホイールを装着すると車両の挙動が乱れる場合があります。

- ▷ コラプシブル・スペア・ホイールは緊急時に短距離を走行する場合にのみ使用してください。走行安全性を維持するため、トレッドのスリップ・サインが現れる前にタイヤを交換してください。スリップ・サインは、溝深さが1.6 mmまで摩耗すると現れます。
- ▷ ポルシェ・スタビリティ・マネージメント (PSM)システムを解除しないでください。
- ▷ 急加速や高速でのコーナリングは避けてください。

コラプシブル・スペア・ホイールを装着すると車両の走行特性が大きく変化します。また、タイヤの摩耗を避けるためにも80km/hの最高速度を厳守してください。

- ▷ 他車用のコラプシブル・スペア・ホイールを使用しないでください。
- ▷ この車両用のコラプシブル・スペア・ホイールを他車で使用しないでください。
- ▷ 同時に複数のコラプシブル・スペア・ホイールを使用しないでください。



図172: ラゲッジ・コンパートメント内のコラプシブル・スペア・ホイール

コラプシブル・スペア・ホイールはラゲッジ・コンパートメントのフロア下に収納されています。

1. スクリューを矢印の方向にゆるめて外し、コラプシブル・スペア・ホイールを取り出してください。
2. 車両をジャッキ・アップした状態で車両に空気が入っていないコラプシブル・スペア・ホイールを取り付けてください。
 - ▶ 「ホイールの交換」(174ページ)を参照してください。
3. タイヤに空気を入れてください。
 - ▶ 「タイヤ空気圧」(381ページ)を参照してください。
 - ▶ 「タイヤ空気の充填」(170ページ)を参照してください。

コラプシブル・スペア・ホイールを使用した後は

- ▶ コラプシブル・スペア・ホイールを収縮させます。そのためには、コラプシブル・スペア・ホイールのバルブをゆるめます。

i インフォメーション

コラプシブル・スペア・ホイールは元の形状に戻るのに空気を抜いてから数時間かかります。コラプシブル・スペア・ホイールは元の形状に戻ってからでないと、ラゲッジ・コンパートメントのフロア下に収納できません。

- ▶ コラプシブル・スペア・ホイールに不具合が発生した場合は：ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

パノラマ・ルーフ

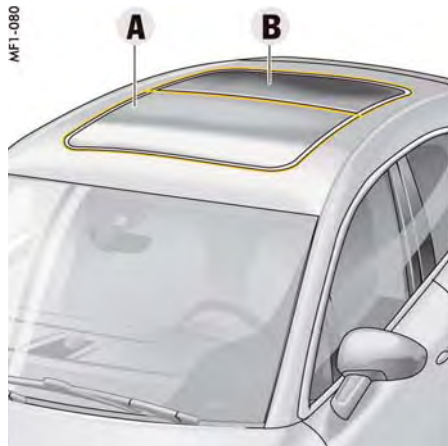


図173: パノラマ・ルーフ・システム

- A スライディング/チルト・ルーフ
- B 固定式ガラス・ルーフ

ルーフ **A** は前後方向に動かすことができます。チルト・アップすることも可能です。ルーフ **B** は固定式ガラス・ルーフです。

パノラマ・ルーフの開閉操作



警告

パノラマ・ルーフの開閉操作

パノラマ・ルーフ・システムの開閉時、特にワンタッチ操作で閉じるときは、動いている部分と車両の固定部分に身体の各部が挟まれないように十分注意してください。

- ▶ パノラマ・ルーフ・システムを操作するときは、ウィンドウと車両の固定部分の間に身体の各部が挟まれないように十分注意してください。
- ▶ 車両を離れるときは必ずキーを抜いてください。またはポルシェ・エントリー&ドライブ装備車ではイグニッションをOFFにしてください。車両から離れるときは、必ずキーを携帯してください。同乗者（お子様など）がパノラマ・ルーフを誤って操作し、ケガをする恐れがあります。
- ▶ 危険が生じたときは、パノラマ・ルーフ・スイッチを反対方向に操作してください。ルーフ開閉時では、直ちにキーのボタンをリリースしてください。

知識

ルーフ・アタッチメントの取り付けに不具合があると、パノラマ・ルーフを操作したときに損傷する恐れがあります。

- ▶ 走行前にルーフ・アタッチメントが正しく取り付けられていることを確認してください。
- ▶ パノラマ・ルーフとルーフ・アタッチメントの間に十分なスペースがあることを確認してください。



インフォメーション

- パノラマ・ルーフは、挟み込み防止機能を備えています。これらの閉操作中に障害物があると、すぐにもう1回開きます。
- パノラマ・ルーフは、極端に走行速度が高い場合や気温が極端に低い場合には作動しません。


パノラマ・ルーフの操作

- ✓ イグニッションをONにしてください。または
- ✓ イグニッションをOFFにしてから10分以内


パノラマ・ルーフの開閉操作





図174: パノラマ・ルーフの開閉操作

パノラマ・ルーフの操作  スイッチ (236ページ: 図174) には、すべての操作方向で**2段階の機能**があります。この2段階の作動位置は、スイッチを操作する際にははっきりと感じ取れます。


1段目 - 手動操作

- ▶ 希望の位置になるまで、 スイッチをいずれかの方向に1段目まで操作してください。スイッチを放すとルーフが止まります。

2段目 - ワンタッチ操作

- ▶  スイッチをいずれかの方向に2段目まで操作してください。
パノラマ・ルーフ・システムが自動的にいっぱいまで開閉します。
- ▶ この作動を中断するには、 スイッチを再度いずれかの方向に操作してください。

パノラマ・ルーフを全開にする

- ▶  スイッチを開く方向にもう一度押ししてください。
ルーフ・システムが完全に開きます。
速度によっては、風の音がすることがあります。


▲ 警告

パノラマ・ルーフの緊急閉操作

- パノラマ・ルーフを緊急操作で閉じる際、必要に応じて自動的に閉じる力が段階的に強くなります。
- ▶ パノラマ・ルーフを閉じる前に、乗員が挟まれたり圧迫されたりする恐れがないか確認してください。


挟み込み防止機能が繰り返し作動した後の閉操作

スライディング/チルティング・ルーフの開作動が障害物に妨げられた場合、パノラマ・ルーフ・システムは力を入れれば手動で閉じることができます。


1. 障害物を取り除いてください。
2. スライディング/チルティング・ルーフまたはパノラマ・ルーフが停止位置まで完全に閉じた状態で、スイッチ  を閉じる方向に繰り返し押しすか押し続けてください。

キーによるパノラマ・ルーフの開閉

パノラマ・ルーフを開く

- ▶ パノラマ・ルーフが希望の位置になるまでキーのボタン  を押し続けてください。

パノラマ・ルーフを閉じる

- ▶ パノラマ・ルーフが希望の位置になるまでキーのボタン  を押し続けてください。
すべてのウィンドウおよびパノラマ・ルーフを閉じると、ハザード・ライトが1回点滅します。

ドア・ハンドルのタッチ・センサーでパノラマ・ルーフを閉じる (ポルシェ・エントリー & ドライブ 装備車)

- ▶ パノラマ・ルーフが希望の位置になるまでドア・ハンドルのタッチ・センサーに触れてください。
すべてのウィンドウおよびパノラマ・ルーフを閉じると、ハザード・ライトが1回点滅します。

サン・ブラインドの開閉

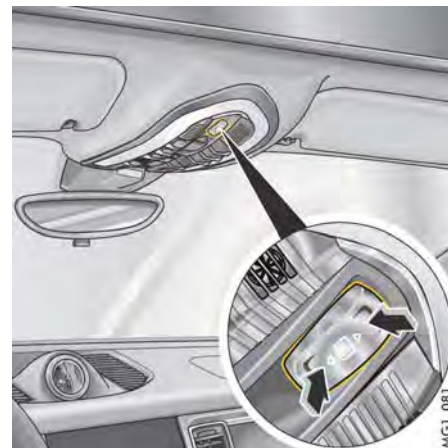


図175: サン・ブラインドの開閉

サンブラインドを開く

- ▶ 戻す位置へスイッチを押してください (図175)。

サンブラインドを閉じる

- ▶ スイッチを前方に押してください (図175)。

1段目 - 手動操作

- ▶ 希望の位置になるまで、スイッチを1段目まで押して保持してください。
スイッチを放すとサンブラインドが止まります。

2段目 - ワンタッチ操作

- ▶ ボタンを2段目まで押します。
サン・ブラインドが自動的にいっぱいまで開/閉します。
- ▶ スイッチをもう1回押すと作動が中断します。

パノラマ・ルーフおよびサンブラインドを開く

- パノラマ・ルーフを車両の前後方向に開いた場合、サンブラインドも自動的に開きます。
- パノラマ・ルーフをチルト位置にした場合、サンブラインドも自動的に約10cm開きまです（換気位置）が、全開することは手動でもできません。

パノラマ・ルーフおよびサンブラインドを閉じる

ルーフとサンブラインドは同時に閉じることができません。

- パノラマ・ルーフの開作動中にサンブラインド・スイッチを2段目まで押した場合（ワンタッチ操作）、パノラマ・ルーフが完全に閉じてからサンブラインドが停止位置まで閉じます。
- サンブラインドの開作動中にスイッチを押してパノラマ・ルーフを閉じた場合（ワンタッチ操作）、サンブラインドの開作動が中断されます。サンブラインドはパノラマ・ルーフが停止位置まで閉じた後、停止位置まで閉じます。

ドライブ・メカニズムが故障している場合のパノラマ・ルーフ・システムの操作

ルーフ・ドライブ・メカニズムが故障した場合、車載工具の六角キー・レンチを使用して手動で開閉作動を行えます。

- ▶ 緊急操作を行う前に、ヒューズが切れていないか点検してください。
- ▶ 「ヒューズの点検および交換」（240ページ）を参照してください。

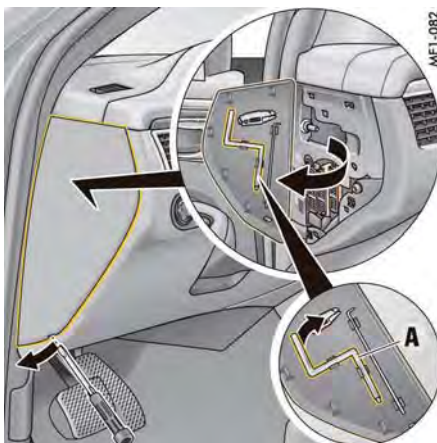


図176: 六角レンチを抜き取る

1. 運転席側インストルメント・パネルのカバーから六角キー・レンチ **A** を取り出してください(図176)。

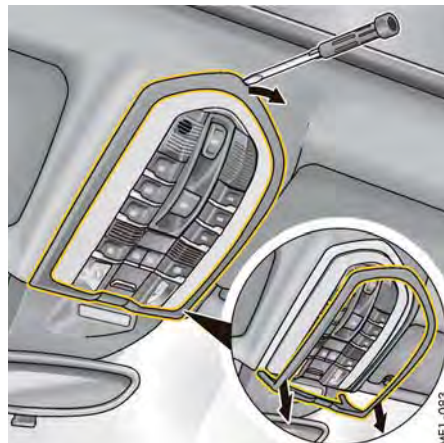


図177: オーバーヘッド・コンソールのフレームを取り外す

2. 適切な道具（ドライバーなど）を使用してルーフ・コンソールのフレームを外し、注意して引き下げてください(図177)。フレームを損傷しないように注意してください。

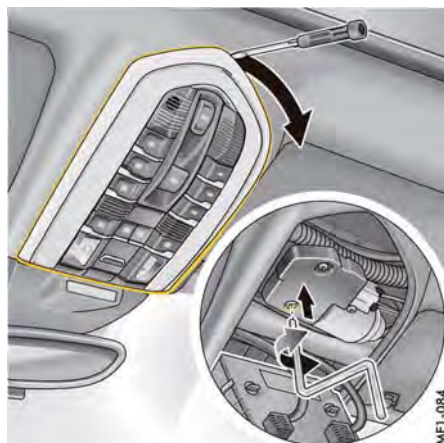


図178: 六角キー・レンチによるパノラマ・ルーフの操作

3. 適切な道具（ドライバーなど）を使用してルーフ・コンソールのフレームを外し、注意して引き下げてください(図178)。
 4. 六角キー・レンチをモーターの奥まで差し込み、開閉の希望の方向に応じて左右どちらかに回してください(図178)。六角キー・レンチが滑って損傷しないように、六角キー・レンチを押し上げながら回してください。
 5. 六角キー・レンチを取り外し、保管場所に戻してください。
 6. オーバーヘッド・コンソールとフレームを取り付けます。
- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

パノラマ・ルーフ・システムおよびサン・ブラインドの停止位置の保存

バッテリー上がり、緊急操作、ヒューズの交換、またはバッテリーの切り離し/再接続を行うと、パノラマ・ルーフ・システムおよびサンブラインドの停止位置のメモリーが消去されます。



警告

停止位置の保存


停止位置の保存時はパノラマ・ルーフ・システムおよびサンブラインドが最大の力で閉じます。

▶ 停止位置の保存作業を行うときは乗員がケガをしないように注意してください。

▶ パノラマ・ルーフおよびサンブラインドの停止位置の保存はそれぞれ個別に、所定の順番に行ってください。

停止位置の保存が中断された場合、もう一方の停止位置の保存ができません。

✓ 停車しているとき

1. イグニッションをONにしてください。
2. ルーフを閉じる方向にスイッチ  を押し続けてください。

約10秒後に停止位置を保存するプロセスが開始されます。

パノラマ・ルーフの動きが完全に停止するまで、そのままスイッチを押し続けてください。この開作動と保存のプロセスは最大45秒で完了します。

パノラマ・ルーフ・システムが完全に停止する前にスイッチから手を放した場合：


- ▶ 保存手順をもう一度やり直してください。
- ▶ 該当するスイッチを使用して、サンブラインドの手順2を繰り返します(237ページ：図175)。

サンブラインドの清掃

✓ 停車しているとき

1. イグニッションをONにしてください。
2. パノラマ・ルーフを全開にしてください。
3. ロールアップ式サンブラインドを可能な限り閉じてください。
4. サンブラインド・スイッチ(237ページ：図175)を前方に押してください。サンブラインドが3秒後に閉じ始めます。サンブラインドが完全に閉じるまで、そのままスイッチを押し続けてください。
5. ゴミ(落ち葉など)を取り除いてください。

清掃機能を終了するには：

- ▶ 走行しはじめると、サンブラインドが自動的に開きます。**または**
- ▶  ボタンを押してください。サンブラインドが自動的に開きます。**または**
- ▶ サンブラインドを開きます。
 - ▷ 「サン・ブラインドの開閉」(237ページ)を参照してください。

ヒューズ

▲ 警告

ショート

車両電気系統への作業が原因で、ショートする恐れがあります。回路のショートが原因で火災が発生する恐れがあります。

- ▶ 電気系統の作業を行うときは、必ずバッテリー・マイナスケーブルの端子を外してください。

▲ 警告

不適切な処置および不適切なアクセサリ

ヒューズボックスへの不適切な処置、または不適切なアクセサリの使用は、電気/電子回路に損傷や不具合を発生させる恐れがあります。

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ ポルシェ社が承認した電装品（アクセサリ）のみを使用してください。認定アクセサリに関するインフォメーション：ポルシェ正規販売店にご相談ください。

リレー

ポルシェ正規販売店で点検を受けてください。

- ▶ ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ヒューズの点検および交換

ショートや過負荷による電気系統の損傷を防ぐために、各々の回路がヒューズで保護されています。ラゲッジ・コンパートメントの右側にヒューズ・ボックスが1個あります。ヒューズ・ボックスは運転席側、助手席側両方のダッシュボード端部にあります。

プラスチック製のヒューズ・リムーバーと交換用ヒューズは運転席側、助手席側両方のダッシュボード端部のヒューズ・ボックス・カバーに入っています。

i インフォメーション

ヒューズ・ボックス・カバーにある交換用ヒューズ：

- 運転席側：7.5 A ■と10 A ■
- 助手席側：20 A ■と25 A ■

1. 可能であれば交換するヒューズと関係のある電装品をOFFにしてください。
2. ヒューズ・ボックス・カバーを開いてください。
3. ヒューズを点検するため、プラスチック製のヒューズ・リムーバー D (図179) を使用して、スロットから対応するヒューズを引き抜いてください。切れたヒューズは、内部の金属線が溶けていることで判別できます。
4. 新しいヒューズを差し込んでください。交換するヒューズは、必ず同じ容量のものを使用してください。

i インフォメーション

同じヒューズが何度も切れる場合は、不具合原因を早急に修理してください。

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

運転席側ダッシュボードのヒューズ・ボックスを開く

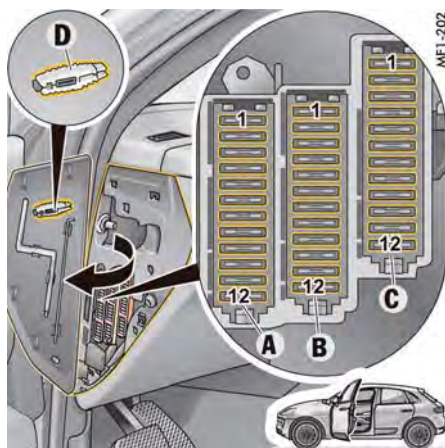


図179: 運転席側ダッシュボードのヒューズ・ボックス

1. 適切な道具（ドライバーなど）でプラスチック・カバーを慎重にこじって取り外してください。
2. プラスチック製のヒューズ・リムーバー D を使用して、慎重にヒューズを抜き取ってください。必要に応じてヒューズを交換してください。

A列

- | | |
|---|--|
| 1 駐車アシスト・コントロール・ユ7.5 A ■ | ニット
フロント・カメラ・コントロール・
ユニット |
| 2 シート・センサー・コントロール・10 A ■ | ユニット
エアバッグ・コントロール・ユニット
助手席エアバッグOFF/ON警告灯 |
| 3 フロントBCM、 | 5 A ■ |
| ポルシェ・スタビリティ・マネージ
メント(PSM)・コントロール・ユニット、
HomeLink® コントロール・ユニット
(車庫ドア開閉)、空気センサー、ディ
スプレイ付きルーム・ミラー (日本
仕様)、防眩ルーム・ミラー、インテ
リア・サウンド用サウンド・アク
チュエーター (シェーカー) | |
| 4 シート・ベンチレーション・モー | 5 A ■ |
| ーター、フロント・シート | |
| 5 ヘッドライト・レベリング | 5 A ■ |
| ハロゲン・ヘッドライト左/右、
オート・ドライビング・ライト・アシ
スタント・コントロール・ユニット | |
| 6 バイキセノン・ヘッドライト、右 | 7.5 A ■ |
| 7 キセノン・ヘッドライト、左 | 7.5 A ■ |
| 8 リヤBCM、 | 5 A ■ |
| ポルシェ車両追跡システム・プラス
(PVTプラス)・コントロール・ユ
ニット*
DMEコントロール・ユニット | |
| 9 未使用 | |
| 10 冷媒圧力センサー | 5 A ■ |
| 11 レーン・チェンジ・アシスト(LCA) | 5 A ■ |
| 12 エンジン・エレクトリック | 15 A ■ |

B列

- | | |
|---|--------|
| 1 ターミナル・レジスター | |
| 2 未使用 | |
| 3 未使用 | |
| 4 未使用 | |
| 5 故障診断用ソケット、 | 30 A ■ |
| コンパス*
ステアリング・コラム・スイッチ・
モジュールおよびステアリング・
ホイール・ヒーター
インストルメント・パネル | |
| 6 ブレーキ・ブースター (トレーラー | 30 A ■ |
| けん引、USA、オーストラリア) | |
| 7 ホーン | 15 A ■ |
| 8 運転席ドア・コントロール・ユニット | 20 A ■ |
| 9 未使用 | |
| 10 ポルシェ・スタビリティ・マネージ | 30 A ■ |
| メント(PSM)・コントロール・ユニット | |
| 11 左リヤドア・コントロール・ユニット | 20 A ■ |
| 12 レイン・センサー、電動パーキング・ | 5 A ■ |
| ブレーキ、ポルシェ車両追跡シス
テム・プラス (PVTプラス)・コント
ロール・ユニット* | |

C列

- | | |
|----------------------------|--------|
| 1 使用不可 | |
| 2 使用不可 | |
| 3 未使用 | |
| 4 運転席シート・コントロール・ユ | 20 A ■ |
| ニット、運転席シート調節コン
ロール・ユニット | |
| 5 タンク漏れ自己診断 | 5 A ■ |

- | | |
|------------------|--------|
| 6 フロントBCM | 30 A ■ |
| 7 フロントBCM | 30 A ■ |
| 8 フロントBCM | 30 A ■ |
| 9 パノラマ・ルーフ・システム | 20 A ■ |
| 10 フロントBCM | 30 A ■ |
| 11 パノラマ・ルーフ・システム | 20 A ■ |
| 12 アラーム・ホーン | 5 A ■ |

助手席側のダッシュボードのヒューズ・ボックス・カバーを開く

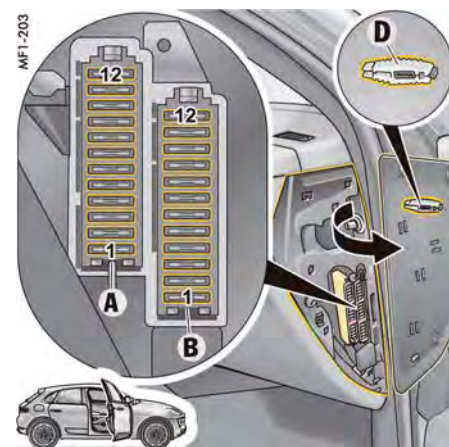


図180: 助手席側ダッシュボードのヒューズ・ボックス

* 日本仕様に設定はありません。

- 適切な道具（ドライバーなど）でプラスチック・カバーを慎重にこじって取り外してください。
- プラスチック製のヒューズ・リムーバー（D）を使用して、慎重にヒューズを抜き取ってください。必要に応じてヒューズを交換してください。

A列

- | | | |
|-------------------------|------|---|
| 1 故障診断用ソケット | 5 A | ■ |
| 2 イグニッション・ロック | 5 A | ■ |
| 3 ライト・スイッチ | 5 A | ■ |
| 4 ステアリング・コラム・ロック | 5 A | ■ |
| 5 ステアリング・コラム調整 | 15 A | ■ |
| 6 未使用 | | |
| 7 ステアリング・コラム・スイッチ・モジュール | 5 A | ■ |
| 8 故障診断用ソケット | 5 A | ■ |
| 9 PTCコイル1および2 | 5 A | ■ |
| 10 使用不可 | | |
| 11 スペア・ヒューズ | 5 A | ■ |
| 12 スペア・ヒューズ | 10 A | ■ |

B列

- | | | |
|--|------|---|
| 1 未使用 | | |
| 2 コンパス* | 5 A | ■ |
| 3 ステアリング・コラム・スイッチ・モジュールおよびステアリング・ホイール・ヒーター | 10 A | ■ |
| 4 インstrument・パネル | 5 A | ■ |
| 5 スペア・ヒューズ | 20 A | ■ |
| 6 スペア・ヒューズ | 30 A | ■ |

- | | | |
|------------------------|------|---|
| 7 補助ヒーター・コントロール・ユニット* | 30 A | ■ |
| 8 フレッシュ・エア・ブロー・モーター | 30 A | ■ |
| 9 フロント・ワイパー | 30 A | ■ |
| 10 シート・バックレスト調節、運転席シート | 20 A | ■ |
| 11 シート・バックレスト調節、助手席シート | 20 A | ■ |
| 12 未使用 | | |

ラゲッジ・コンパートメントのヒューズ・ボックスを開く

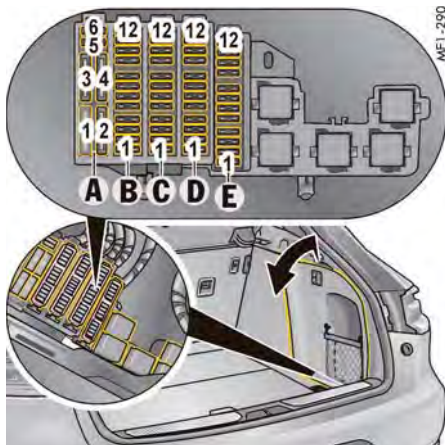


図181: トランク・ルームのヒューズ・ボックス

- サイド・トリム・パネルを引いて（矢印）外してください。
- プラスチック製のヒューズ・リムーバーを使用して、慎重にヒューズを抜き取ってください。必要に応じてヒューズを交換してください。

A列

- | | | |
|--|------|---|
| 1 ボルシェ・アクティブ・サスペンション・マネージメント(PASM)・コンプレッサー・リレー | 40 A | ■ |
| 2 プラグ・ソケット・リレー | 50 A | ■ |
| 3 主電源回路 | 40 A | ■ |
| 4 AdBlue®リレー* | 40 A | ■ |
| 5 未使用 | | |
| 6 クラッシュ CANターミナル・レジスタンス | | |

B列

- | | | |
|---|------|---|
| 1 イグニッション・リレー・コイル、ゲートウェイ | 5 A | ■ |
| 2 トレーラー・ヒッチ・コントロール・ユニット | 20 A | ■ |
| 3 トレーラー・ヒッチ・コントロール・ユニット | 20 A | ■ |
| 4 トレーラー・ヒッチ・コントロール・ユニット | 20 A | ■ |
| 5 助手席シートコントロール・ユニット、助手席シート調節コントロール・ユニット | 20 A | ■ |
| 6 未使用 | | |
| 7 エレクトリック・パーキング・ブレーキ用コントロール・ユニット | 30 A | ■ |
| 8 リヤBCM | 20 A | ■ |
| 9 リヤBCM | 20 A | ■ |
| 10 リヤBCM | 25 A | ■ |
| 11 リヤBCM | 25 A | ■ |
| 12 タイヤ空気圧モニタリング(TPM)コントロール・ユニット | 5 A | ■ |

* 日本仕様に設定はありません。

C列			5 AdBlue®モジュール、Macan Sディーゼル* 30 A ■			8 エアコン/シート・ヒーター・コン 30 A ■ トロール・ユニット		
1	トレーラー	30 A ■	6 AdBlue®モジュール、Macan Sディーゼル* 10 A ■			9 オートマチック・リヤ・リッド・ 20 A ■ コントロール・ユニット		
2	未使用		7 未使用			10 ポルシェ・アクティブ・サスペン 15 A ■ ション・マネージメント(PASM)・ コントロール・ユニット		
3	オート・スタート/ストップ用DC/ DCコンバーター	30 A ■	8 オーバーヘッド・コンソール 7.5 A ■			11 リヤ・ディファレンシャル・ロック・ 10 A ■ コントロール・ユニット		
4	ブースターおよびブルーフ・コンソール用電源、 オート・スタート/ストップ用DC/DC コンバーター	30 A ■	9 アダプティブ・クルーズ・コントロー 5 A ■ ル(ACC)・コントロール・ユニット			12 リヤ・ディファレンシャル・ロック・ 30 A ■ コントロール・ユニット		
5	サブ・ウーファー	25 A ■	10 センター・コンソール・シガー・ラ 20 A ■ イター、 センター・コンソール・ソケット					
6	TVチューナー*	5 A ■	11 リヤ・センター・コンソール・ソケット、 20 A ■ ラゲッジ・コンパートメント・ソケット					
7	エレクトリック・パーキング・ブレーキ用コントロール・ユニット	30 A ■	12 ポルシェ・リヤ・シート・エンター 7.5 A ■ テイメント、左/右					
8	リヤ・コントロール・ユニット	30 A ■	<hr/>					
9	助手席ドア・コントロール・ユニット	20 A ■	E列					
10	ラジオ・レシーバー、補助ヒーター*	5 A ■	1 エアコン・コントロール・ユニット、 15 A ■ リヤ・コントロール・ユニット					
11	右リヤ・ドア・コントロール・ユニット	20 A ■	2 Boseアンプ・(日本仕様)、 10 A ■ CANアダプター、 ナビゲーション(日本仕様)、 ポルシェ・コミュニケーション・ マネージメント(PCM)*					
12	Bluetoothハンドセット充電器、 ラゲッジ・コンパートメント・ライト	5 A ■	3 未使用					
<hr/>			4 未使用					
D列			5 未使用					
1	未使用		6 リバース・カメラ・コントロール・ 5 A ■ ユニット、 サラウンド・ビュー・コントロール・ ユニット					
2	エレクトリック・パーキング・ブレーキ・コントロール・ユニット、 トレーラー・ヒッチ・コントロール・ ユニット リヤ・ディファレンシャル・ロック・ コントロール・ユニット ゲートウェイ アダプティブ・クルーズ・コントロー ル(ACC)・リレー	5 A ■	7 リヤ・ウィンドウ・ヒーター・リ 25 A ■ レー					
3	リヤ・ワイパー・モーター	15 A ■						
4	ダッシュボード・エレクトリクス	15 A ■						

* 日本仕様に設定はありません。

ブレーキ

エレクトリック・パーキング・ブレーキ

エレクトリック・パーキング・ブレーキは後輪に作用し、停車中に車両が動き出さないように固定します。



図182: エレクトリック・パーキング・ブレーキ・ボタン

パーキング・ブレーキを作動させる

- ▶ (P) ボタンを引いてください。
 - (P) ボタンのインジケーター・ライトおよびブレーキ警告灯(ⓘ)が点灯します。
- 警告灯およびインジケーター・ライトに関するインフォメーション：
- ▶ 「インストルメント・パネル」(48 ページ)を参照してください。

パーキング・ブレーキを手動で解除する

✓ イグニッションをONにしてください。

1. ブレーキ・ペダルを踏んでください。
2. (P) ボタンを押してください。
ブレーキ警告灯(ⓘ)が消灯します。

パーキング・ブレーキの自動解除

パーキング・ブレーキをかけたままでも通常のように発進することができます。

- ✓ エンジンが作動している
- ✓ 運転席ドアを閉じている
- ✓ 運転席シートベルトを着用している

エレクトリック・パーキング・ブレーキはドライバーの発進操作を検出し、パーキング・ブレーキを自動解除します。

これらの条件のいずれかが満たされていない場合は、ドライバーが発進操作を行ってもエレクトリック・パーキング・ブレーキが自動解除されません。

マルチファンクション・ディスプレイにメッセージが表示されます。ブレーキ警告灯(ⓘ)および(P)ボタンのインジケーター・ライトが点滅します。

マルチファンクション・ディスプレイに表示される警告メッセージに関するインフォメーション：

- ▶ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」(98ページ)を参照してください。

緊急ブレーキ機能を作動させる

通常のブレーキ操作のみでは車両を停車できない場合、エレクトリック・パーキング・ブレーキを使用して急制動をかけ、停車させることができます。

- ▶ (P) ボタンを引き続けてください。
ブレーキ警告灯(ⓘ)および(P)ボタンのインジケーター・ライトが点滅します。

緊急ブレーキ機能を解除するには：

- ▶ (P) ボタンから手を放してください。



警告

急激な減速

緊急ブレーキ機能が作動すると非常に高い制動力が発揮されます。周囲の走行を妨げたり、車両のコントロールを失う恐れがあります。

- ▶ 緊急ブレーキ機能は緊急時にのみ使用してください。
- ▶ 通常走行時に緊急ブレーキ機能を使用しないでください。

警告シンボルへの対応

停車中にエレクトリック・パーキング・ブレーキが確実に動かからない場合、(P)ボタンのインジケーター・ライトおよびブレーキ警告灯(ⓘ)が点滅します。

- ▶ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」(98ページ)を参照してください。

フット・ブレーキ



警告

ペダル操作の妨げ

不適切なフロア・マット、正しく固定されていないフロア・マット、またはその他の障害物はペダルの可動域を制限したり、ペダル操作の妨げになる可能性があります。

- ▶ フロア・マットなどでペダルの動きを妨げないようにしてください。



警告

ブレーキ・ブースターの機能停止

ブレーキ・ブースターは、エンジンが作動しているときのみ作動します。エンジンOFF時やブレーキ・ブースターの負圧が低下している場合は、ブレーキ・ペダルを踏み込むときに強い力が必要になります。

- ▶ ブレーキが故障した車両をけん引しないでください。
- ▶ 「けん引およびけん引によるエンジンの始動」(119ページ)を参照してください。



警告

ブレーキ・ディスクに付着した水膜

激しい降雨時や水たまりを通過したとき、または洗車後は、ブレーキの効きが悪くなり、ペダルを強く踏まなければならない場合があります。

- ▶ 後方の安全を確認した上で定期的にブレーキをかけ、ブレーキを乾かしてください。このとき、後方の交通状況に注意してください。



警告

制動力の低下

凍結防止剤(塩分)が撒かれた道路や砂塵の多い道路を長距離にわたって走行すると、ブレーキ・ディスクやパッドが塩や砂で覆われて摩擦力が大幅に低下し、ブレーキの効きが悪くなる場合があります。

車両を長期に渡り駐車したまま放置した場合、ブレーキ・ディスクの腐食は避けられません。その結果、ブレーキは「引きずり」を発生します。

- ▶ ブレーキ・ディスクの腐食を避けるため、「ブレーキを乾燥させてから」駐車してください(ボルシェ・セラミック・コンポジット・ブレーキ装備車を除く)。
- ▶ ブレーキに気になるほどの不快感がある場合は、ボルシェ正規販売店でブレーキ・システムを点検してください。ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

- ▶ ブレーキの効きを持続するため、下り坂を走行するときは、タイミング良くギヤを落とし、エンジン・ブレーキを利用してください。

急な下り坂でエンジン・ブレーキの効果のみでは不十分な場合、間隔をおいてブレーキ・ペダルを踏んでください。ブレーキ・ペダルを連続して踏み続けると、ブレーキが過熱して効きが悪くなります。

ブレーキ液とブレーキ液レベルに関するインフォメーション：

- ▶ 「ブレーキ・フルード」(247ページ)を参照してください。


ブレーキ・パッドおよびブレーキ・ディスク

ブレーキ・パッドやブレーキ・ディスクの摩耗は、ユーザーの運転の仕方或使用環境によって大きく左右されるため、必ずしも走行距離には依存しません。

この車両の高性能ブレーキ・システムは、すべての速度域および温度下で、最適な制動効果が得られるように設計されています。

特定の速度、制動力や車両を取り巻く環境(気温、湿度等)によってブレーキから異音が発生することがあります。

警告シンボルへの対応

ブレーキ・パッドが摩耗限度に達すると、警告シンボルが表示されます

- ▶ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」(98ページ)を参照してください。
- ▶ 直ちにボルシェ正規販売店でブレーキ・パッドを交換してください。ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ボルシェ・セラミック・コンポジット・ブレーキ(PCCB)

この車両の高性能ブレーキ・システムは、すべての速度域および温度下で、最適な制動効果が得られるように設計されています。

このため、特定の速度、制動力や車両を取り巻く環境(気温、湿度等)によってブレーキから異音が発生する場合があります。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

ブレーキ・パッドやブレーキ・ディスクなどのブレーキ・システムおよび関連部品の摩耗は、ユーザーの運転の仕方或使用環境によって大きく左右されるため、必ずしも走行距離には依存しません。

ボルシェ社が使用している数値は、交通状況に合わせた通常の運転操作に基づいています。サーキット走行や過激な運転スタイルは、摩耗を大幅に促進させます。

- ▶ 車両をサーキット走行などに使用する場合は、現在のガイドラインについてボルシェ正規販売店にお問い合わせください。

ブレーキ・フルード

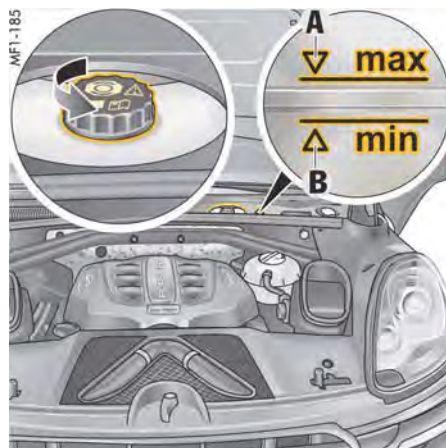


図183: ブレーキ液タンク

ブレーキ液量の点検

- ▶ ブレーキ液タンクのブレーキ液量を読み取ってください（図183）。フルード液量は常にMINマークとMAXマークの間に維持されなければなりません。

ブレーキ・フルードの交換

ブレーキ・フルードを定期的に点検および交換することは、メンテナンスの一部です。

警告シンボルへの対応

ブレーキ液量が許容範囲を下回ると、インストルメント・パネルに(⚠)のシンボルが表示され、マルチファンクション・ディスプレイにメッセージが表示されます。ブレーキ・ペダルの踏み代が過大になる他、警告灯が点灯してブレーキ・システムの故障を示す場合もあります。

- ▶ 直ちに安全な場所に停車し、運転を続けしないでください。
- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」（98ページ）を参照してください。

フロント・ワイパー

概要

この概要説明は「フロント・ワイパー」で記載された情報に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく、「警告」を必ずお読みください。

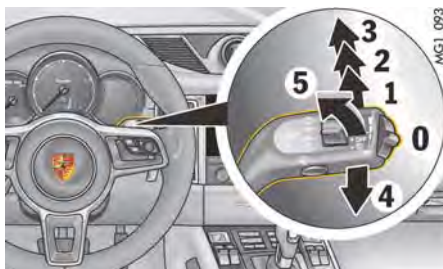


図184: フロント・ワイパー操作レバー

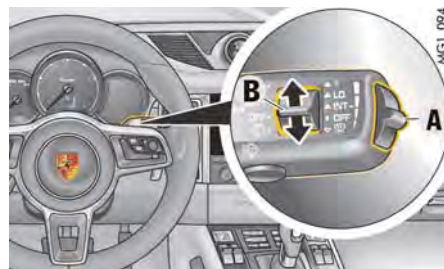


図185: レイン・センサー/間欠作動感度のスイッチ(A)およびリヤ・ワイパーのスイッチ(B)

運転者が何をしたいか？	その操作方法は？	ページ
フロント・ワイパー・オート作動 (レイン・センサー/間欠作動)	操作レバーを 1 の位置にしてください。	250
レイン・センサー/間欠作動の感度設定	操作レバー右部のスイッチ A を上(作動回数が増える)または下(作動回数が減る)方向に押してください。	250
フロント・ワイパー作動	低速: 操作レバーを 2 の位置にしてください。 高速: 操作レバーを 3 の位置にしてください。 ワンタッチ: 操作レバーを 4 の位置に短く押してください(4の位置で保持すると、ワイパーの動きが速くなります)。	249
フロント・ワイパー & ウォッシャー作動	操作レバーをステアリング・ホイール方向 5 に引いて、保持してください。	249
リヤ・ワイパー(間欠作動)	ワイパー・レバーのスイッチ B を上方向 INT 位置まで押してください。	251
リヤ・ワイパー(ワンタッチ)	スイッチ B を上または下方向いっぱい押ししてください。	251
フロント・ワイパーを立てる	イグニッションをOFFにして、ワイパー・レバーを1回下方 4 に押ししてください。フロント・ワイパーが上方に約45°移動します。	249

⚠ 警告

ワイパーの不意の作動

レイン・センサー・モードでは、フロント・ウィンドウに水滴を検出すると自動的にワイパー作動を行います。

- ▶ (レイン・センサー機能により) 不意に作動することのないよう、フロント・ウィンドウを清掃する前に必ずワイパーをOFFにしてください。

知識

ボンネット、フロント・ウィンドウ、およびワイパー・システムを損傷する恐れがあります。

- ▶ フロント・ウィンドウが十分に濡れた状態でワイパーを作動させてください。乾いた状態での使用はウィンドウの擦り傷の原因になります。
- ▶ 運転前にワイパーの凍結を溶かしてください。
- ▶ 凍結時はヘッドライト・ウォッシャーを操作しないでください。
- ▶ (レイン・センサー機能により) 不意に作動することのないよう、洗車機で洗車する前に必ずフロント・ワイパーをOFFにしてください。
- ▶ 洗車機での洗車中はヘッドライト・ウォッシャーを操作しないでください。
- ▶ ワイパー・ブレードを交換する場合は、ワイパー・アームをしっかり保持してください。
- ▶ ワイパー・ブレードを交換する場合は、ワイパー・ブレードの長さが異なるので注意してください。
- ▶ ボンネットを開く前に、必ずフロント・ワイパーをOFF (ワイパー・レバーを 0 の位置) にしてください。イグニッション・スイッチがOFFで、ワイパー・アームが停止位置にない場合、ボンネットを開くとワイパー・アームが停止します。エンジン・コンパートメント・リッドを閉じ、ワイパーシステムをOFFにしてから再度ONにするまで、この位置が保持されます。

フロント・ワイパーの使用



図186: フロント・ワイパー操作レバー

0 フロント・ワイパー OFF

フロント・ワイパーまたはイグニッションをOFFにすると、ワイパー・アームが通常位置からわずかに上方に動きます。この動きにより、ワイパー・ブレードのウィンドウ接触面の向きを整えます。

1 レイン・センサー / 間欠作動

フロント・ワイパー

- ▶ ワイパー・レバーを上方向に1段階動かしてください。

2 フロント・ワイパー低速

- ▶ ワイパー・レバーを上方向に2段階動かしてください。

3 フロント・ワイパー高速

- ▶ ワイパー・レバーを上方向に3段階動かしてください。

4 フロント・ワイパーのワンタッチ機能

- ▶ ワイパー・レバーを下側に動かしてください。フロント・ワイパーが1回作動します。

5 ワイパー / ウォッシャー・システム

- ▶ ワイパー・レバーをステアリング・ホイールの方向に引いてください。レバーを手前に引いている間、ウォッシャー・システムとワイパーが作動します。レバーを放すとウォッシャー・システムが停止し、その後ワイパーが数回作動します。なお、フロント・ウィンドウのウォッシャーが10回作動することにより、ヘッドライト・ウォッシャー・システムが自動的に作動します。

i インフォメーション

- ▶ 汚れが激しい場合はウォッシャーを繰り返し作動させてください。
- ▶ 頑固な汚れ (昆虫の死骸など) は定期的に清掃してください。

車両のお手入れに関するインフォメーション:

- ▶ 「車両のお手入れ」(124ページ) を参照してください。

良好な視界を確保するためには、完全な状態のワイパー・ブレードが不可欠です。

- ▶ 「ワイパー・ブレード」(364ページ) を参照してください。

アイス/サン・シールドの装着とワイパー・ブレードの交換

- ▶ イグニッションをOFFにして、ワイパー・レバーを1回下方 4 に押してください。フロント・ワイパーが上方に約45°移動します。

ワイパー作動間隔の調整



図187: レイン・センサー / 間欠作動感度の切り替えスイッチ

レイン・センサー非装備車では、フロント・ワイパーの作動間隔を4段階で調節することができます。

ワイパー作動間隔を短くする

- ▶ スイッチ **A** を上方向に押してください。フロント・ワイパーが1回ワイプ作動を行い、感度が切り替わったことを知らせます。

ワイパーの作動間隔を長くする

- ▶ スイッチ **A** を下方向に押してください。

レイン・センサー作動の調節

レイン・センサー装備車の場合、フロント・ウィンドウに付着する水滴の量を検知して、ワイパーの作動速度を自動調節します。ワイパーの作動間隔は、状況に応じて自動的に調節されます。

フロント・ワイパーを作動させているときに速度が約4km/h以下になると、レイン・センサーが自動的に作動します。

速度が約8km/hを超えると、システムが設定したワイパー作動に切り替わります。

i インフォメーション

- イグニッションをONにしたとき、ワイパー・レバーが既に1の位置にあった場合、速度が4km/hを超えるまでレイン・センサーは作動しません。
- イグニッションをONにしたときに、すでにワイパー・レバーが2または3の位置にある場合、フロント・ワイパーはワイパー・レバーを操作しなければ作動しません。

レイン・センサー感度の手動調節

ワイパー速度を手動で設定することができます：

- ▶ スイッチ **A** を上方向に押してください - センサー感度が高くなります。フロント・ワイパーが1回ワイプ作動を行い、感度が切り替わったことを知らせます。
- ▶ スイッチ **A** を下方向に押してください - センサー感度が低くなります。

マルチファンクション・ディスプレイ上でのレイン・センサー自動モードの作動/解除

レイン・センサーの自動モードに関するインフォメーション：

- ▶ 「レイン・センサー作動の調節」(250ページ)を参照してください。

ヘッドライト・ウォッシャー・システムの操作



図188: ヘッドライト・ウォッシャー・システムのボタン

- ✓ ロー/ハイ・ビームが作動します。
- ▶ ワイパー・レバーの下側のボタン **C** を押してください。

i インフォメーション

なお、フロント・ウィンドウのウォッシャーが10回作動するごとに、ヘッドライト・ウォッシャー・システムが自動的に作動します。ロー・ビームを消灯すると、フロント・ウィンドウ・ウォッシャーの作動回数カウントがリセットされ、再度ゼロからカウントします。

リヤ・ワイパーの使用

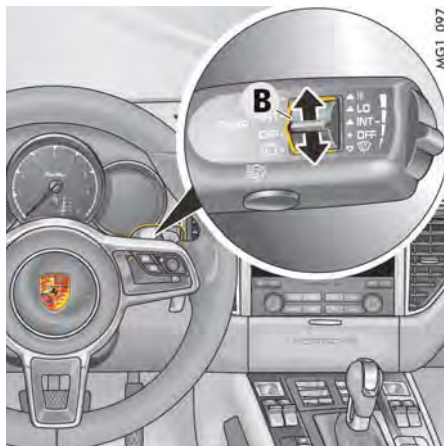


図189: リヤ・ワイパーのスイッチ

リヤ・ワイパーの間欠作動を

- ▶ スイッチを **B** 位置まで上方向に押ししてください **INT**。

リヤ・ワイパーの間欠作動をOFFにする

- ▶ スイッチを **B** 位置まで下方向に押ししてください **OFF**。

ワイパー手動操作

- ▶ スイッチを **B** 位置から下方向に、または **OFF** 位置から上方向に **INT** まで押し、**LO**, **HI** その位置で保持してください。

リバース機能をONにする

雨天時やフロント・ワイパーを作動させているときにリバース（後退）ギヤを選択した場合に、リヤ・ワイパーが自動的に作動するかどうかをマルチファンクション・ディスプレイで切り替えることができます。

リバース（後退）ギヤ選択時のリヤ・ワイパーの作動設定に関するインフォメーション：

- ▶ 「リバース（後退）ギヤ選択時のリヤ・ワイパーの作動設定」（311ページ）を参照してください。

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

ヘッドライト

知識

摩擦や過熱によりヘッドライトが損傷する恐れがあります。

- ▶ ヘッドライトにカバー（ストーン・ガードやフィルムなど）を装着しないでください。

i インフォメーション

気温と湿度により、ヘッドライトが曇ることがあります。十分な距離を走行すると、この曇りは取れます。

- ▶ 通気を確保するため、ヘッドライトとボディの隙間にカバーをしないでください。

ヘッドライト調整

- ▶ ヘッドライトの調整は、専用の調整装置を使用している整備工場のみで実施してください。

ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

右側/左側通行でダイナミック・コーナリング・ライト付きヘッドライトを切り替える

- ✓ ポルシェ・ダイナミック・ライト・システム (PDLS) またはポルシェ・ダイナミック・ライト・システム・プラス (PDLSプラス) 装備車

車両通行帯（右側通行または左側通行）が異なる国で走行する場合は、ヘッドライトをマルチファンクション・ディスプレイで切り替える必要があります。これによりロー・ビームの照射方向が左右対称に切り替わり、対向車のドライバーの幻惑を防ぐことができます。

- ▶ 「左側/右側通行でヘッドライトを切り替える」(310ページ) を参照してください。

i インフォメーション

変更後は、イグニッションをONにするたびにマルチファンクション・ディスプレイにメッセージが表示されます。

- ▶ 帰国した時は、ヘッドライトを元に戻すことを忘れないでください。

i インフォメーション

ダイナミック・コーナリング・ライト (PDLS/PDLS Plus) 非装備車のバイキセノン・ヘッドライトは左側または右側通行用に切り替えできません。このタイプのヘッドライトの配光は両方の通行帯に共通で、対向車の眩惑を防止します。

左側/右側通行でハロゲン・ヘッドライトを切り替える

車両通行帯（右側通行または左側通行）が異なる国で走行する場合は、ヘッドライトを手作業で切り替える必要があります。これによりロー・ビームの照射方向が左右対称に切り替わり、対向車のドライバーの幻惑を防ぐことができます。

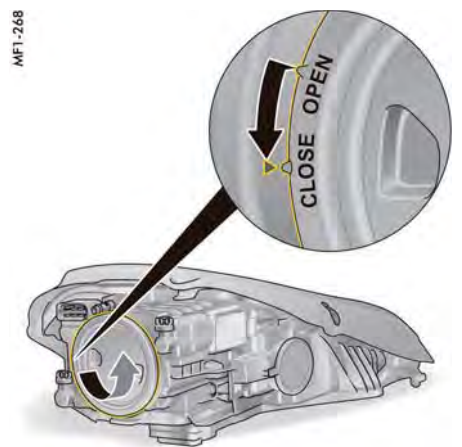


図190: カバーを開く

1. ヘッドライトを取り外してください。
 - ▶ 「ヘッドライトの取り外し」(253ページ) を参照してください。
2. カバーを開閉位置まで回し、取り外してください。

* 日本仕様に設定はありません。

MG1-341

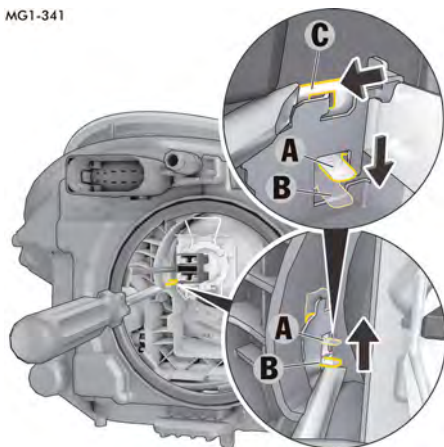


図191: ヘッドライトの切り替え

- A 左側通行用メタル・タブの位置
 B 右側通行用メタル・タブの位置
 C リリース・タブ

3. **左側通行の場合**: 適切な道具 (ドライバーなど) を使用して、位置にロックされるまで、メタル・タブを押し上げてください。A
- 右側通行の場合**: 適切な道具 (ドライバーなど) を使用して C 位置にロックされる音が聞こえるまで、メタル・タブ B を横に押ししてください。
4. ヘッドライトのカバーを取り付け、ロック位置まで回してください。カバーが確実に固定されていることを確認してください。
5. ヘッドライトを取り付けて、作動を点検してください。
 - ▶ 「ヘッドライトの取り付け」(254ページ) を参照してください。
6. もう一方のヘッドライトにも同じ作業を行います。

ヘッドライトの取り外し

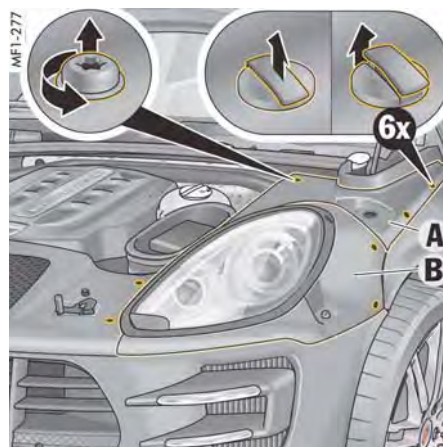


図192: エンジン・コンパートメント・トリム・パネル・パーツ

1. イグニッションを OFF にしてキーを抜き取ってください。ボルシェ・エントリー & ドライブ装備車はコントロール・ユニットを取り外してください。
 - ▶ 「キー/コントロール・ユニットの緊急ロック解除」(86ページ) を参照してください。
2. ポンネットを開いてください。
3. ヘッドライト周辺のエンジン・コンパートメント・トリムのクリップまたはスクリューを取り外してください。
 - ▶ 「工具セットの取り外し」(331ページ) を参照してください。
4. エンジン・コンパートメント・トリム・パネル A および B を取り外してください。

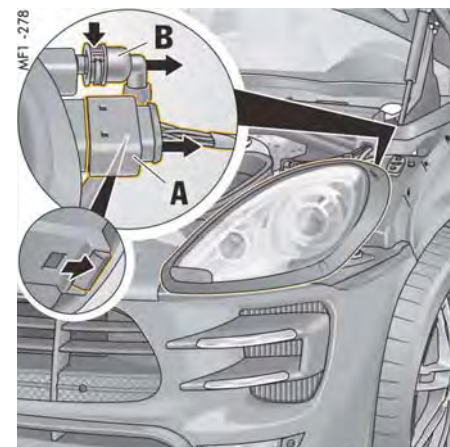


図193: コネクターおよびブリーザー・ホースをはずしてください。

5. コネクター A のリリース・タブを押してコネクターをはずしてください。
6. ブリーザー・ホース B のクイックコネクティング・ロックのリリース・タブを押し、クイックコネクティング・ロックを引き出してください。

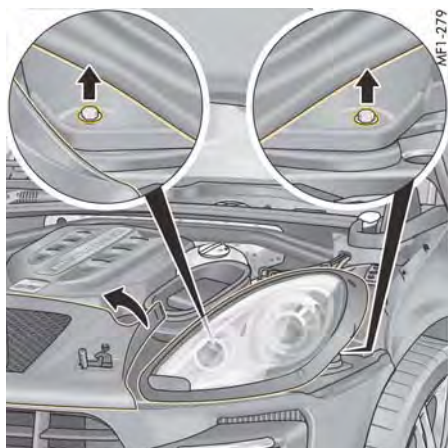


図194: ヘッドライトのファスニング・スクリューを取り外してください。

7. ヘッドライト・マウントのスクリューを反時計回りに回して外してください。この作業を行うため、エンジン・コンパートメント・トリム・パネルを少し持ち上げてください (矢印)。

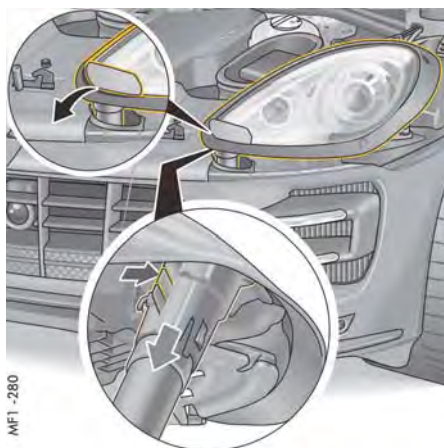


図195: ヘッドライトの取り外し

8. ヘッドライト前方をゆっくり持ち上げてください。
9. ヘッドライト・ウォッシャー・システム周りのヘッドライト・シールを外してください。
10. ヘッドライト・ウォッシャー・システムを下方方向に引いて取り外してください。
11. ヘッドライトを完全に取り外してください。

ヘッドライトの取り付け

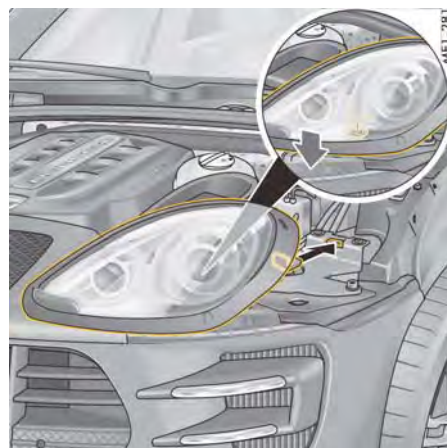


図196: ヘッドライトの挿入

1. ヘッドライトを2箇所ロック位置に挿入してください。

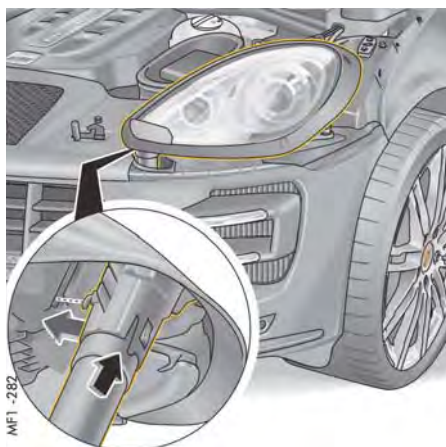


図197: ヘッドライトの固定クリップを取り付けてください。

2. ヘッドライト前方をゆっくり持ち上げてください。
3. ヘッドライト・ウォッシャー・システムをヘッドライトの下から挿入し、固定してください。
4. ヘッドライト・ウォッシャー・システムの周りにヘッドライト・シールを取り付けてください。

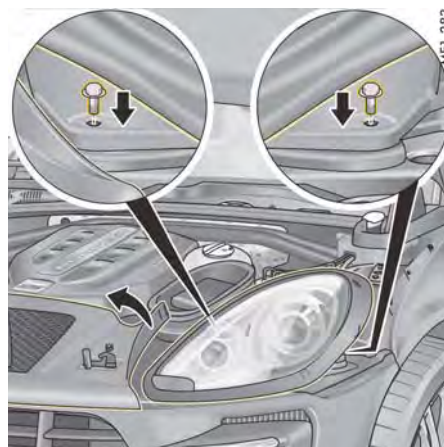


図198: ヘッドライトのファスニング・スクリューを締め付けてください。

5. ヘッドライト・マウントの両方のスクリューを時計回りにねじ込み、締め付けてください。この作業を行うため、エンジン・コンパートメント・トリム・パネルを少し持ち上げてください (矢印)。

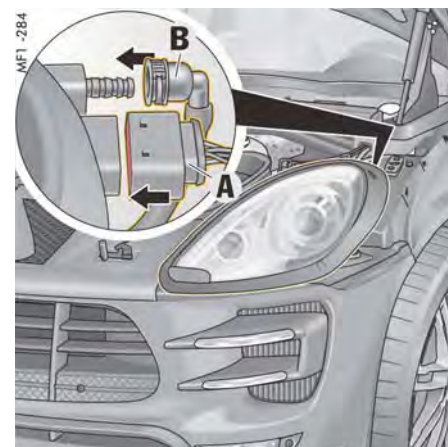


図199: コネクターおよびブリーザー・ホースを接続してください。

6. コネクターAおよびブリーザー・ホースBを音がするまでしっかり接続してください。

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

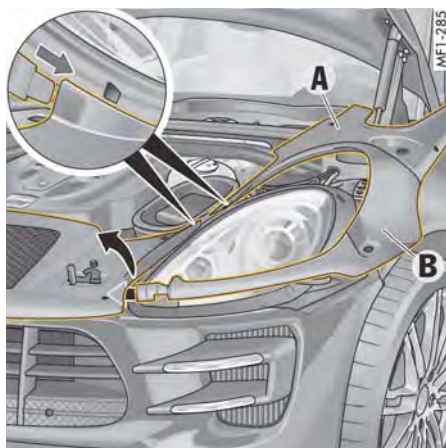


図200: ヘッドライトの取り付け

7. エンジン・コンパートメント・トリム・パネル **A** および **B** を、ヘッドライトの位置に合わせて取り付け、クリップおよびスクリューで確実に固定してください。ヘッドライトおよびエンジン・コンパートメント・トリム・パネルが確実に取り付けられていることを確認してください。
8. ライトの作動を確認してください。
9. ボンネットを閉じてください。

発光ダイオード(LED)とロングライフ・バルブの交換

方向指示灯、バイキセノン・ヘッドライトのガス・ディスチャージ・バルブ、テール・ライト、ライセンス・ライト、およびインテリア・ライトには、発光ダイオード(LED)とロングライフ・バルブが使用されています。

LEDは個別に交換できません。

ロングライフ・バルブの交換には専門知識が必要です。

- ▶ 発光ダイオード(LED)とロングライフ・バルブの交換はポルシェ正規販売店にお任せください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ 「スタティック・コーナリング・ライト (バイキセノン・ヘッドライト) のバルブ交換」(259ページ) を参照してください。

バルブの交換

知識

高出力 (ハイ・ワット) バルブを使用すると、ライト・ハウジングが損傷する恐れがあります。

- ▶ 必ず取扱説明書に記載されているバルブを使用してください。

知識

ショートによる損傷の恐れがあります。

- ▶ バルブを交換するときは、必ず電装関係のスイッチをOFFにしてください。

i インフォメーション

- ▶ バルブに素手で触れないでください。バルブ交換時は、汚れや油脂が付着しないよう、布かやわらかい紙でバルブを包んでください。
- ▶ 常にスペア・バルブを携行してください。国によってはスペア・バルブの携行が義務付けられています。

適用	形状	ワット数
ロー・ビーム (ハロゲン・ヘッドライト)	H7	55W
ハイ・ビームおよびデイトタイム・ドライビング・ライト* (ハロゲン・ヘッドライト)	H15	55W
スタティック・コーナリング・ライト (PDLS 付きバイキセノン・ヘッドライト)	H7	55W

* 日本仕様に設定はありません。

ロー・ビームのバルブ (H7、55W) 交換
(ハロゲン・ヘッドライト)

MF1-268



図201: カバーを開く

1. ヘッドライトを取り外してください。
▷ 「ヘッドライトの取り外し」(253ページ)を参照してください。
2. カバーを開位置まで回し、取り外してください。

MF1-269

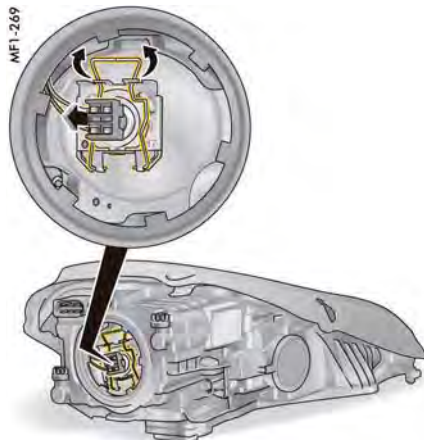


図202: 不具合のあるバルブを取り外してください。

3. メタル・クリップを上方向に引いてください。
4. バルブ・ソケットから不具合のあるバルブを取り外してください。

MF1-270

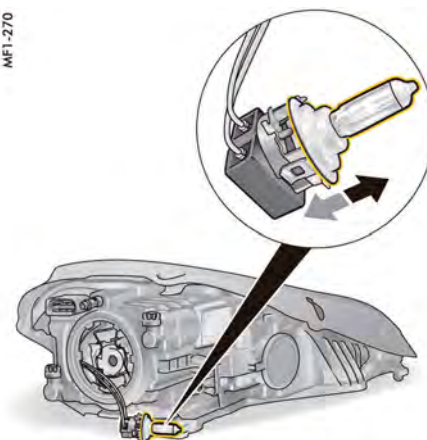


図203: バルブの交換

5. バルブをバルブ・ソケットから取り外し、交換してください。
6. バルブ・ソケットをブラケットに差し込み、メタル・クリップを押し下げて確実に取り付けてください。バルブが正しい位置にセットされたことを確認してください。

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

MFI-271

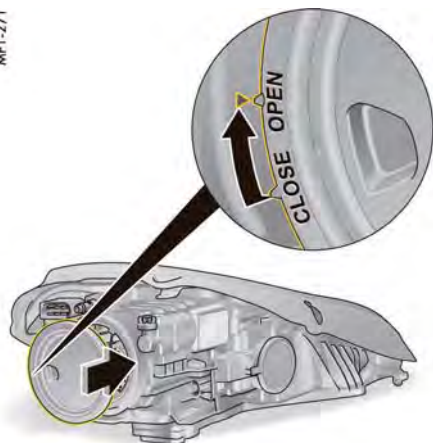


図204: カバーを閉じる

7. ヘッドライトのカバーを取り付け、ロック位置まで回してください。カバーが確実に固定されていることを確認してください。
8. ヘッドライトを取り付けてください。
▷ 「ヘッドライトの取り付け」(254ページ)を参照してください。
9. ライトの作動を確認してください。

MFI-272

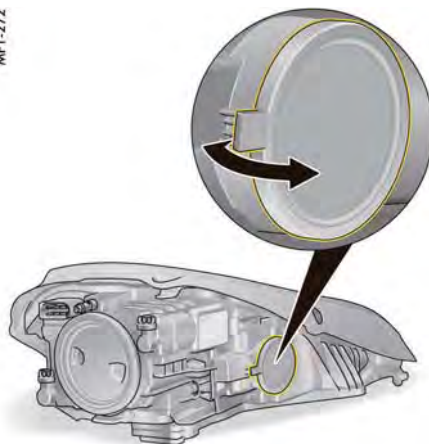


図205: カバーを開く

1. ヘッドライトを取り外してください。
- ▷ 「ヘッドライトの取り外し」(253ページ)を参照してください。
2. タブを引いて(矢印)カバーを取り外してください。

ハイ・ビームおよびデイトタイム・ドライビング・ライト* (ハロゲン・ヘッドライト) のバルブ交換

MFI-273

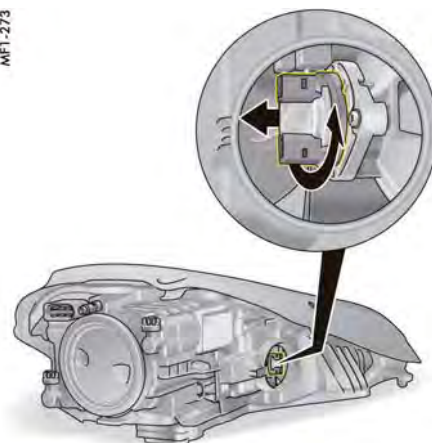


図206: 不具合のあるバルブを取り外してください。

3. バルブ・ソケットを反時計回りに回してください。
4. バルブ・ソケットから不具合のあるバルブを取り外してください。

* 日本仕様に設定はありません。

MF1-274

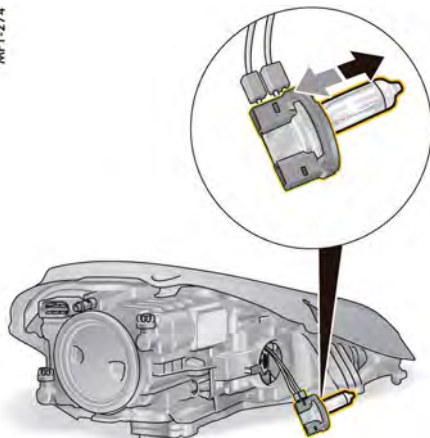


図207: バルブの交換

5. バルブをバルブ・ソケットから取り外し、交換してください。
6. バルブ・ソケットを再挿入し、ブラケットにしっかり固定してください。バルブが正しい位置にセットされたことを確認してください。
7. ヘッドライトのカバーを閉じてください。タブを完全に噛み合わせてください。
8. ヘッドライトを取り付けてください。
 - ▶ 「ヘッドライトの取り付け」(254ページ)を参照してください。
9. ライトの作動を確認してください。

スタティック・コーナリング・ライト (バイキセノン・ヘッドライト) のバルブ交換

危険

バイキセノン・ヘッドライトの関連部品による感電

高電圧によって生命が危険にさらされることがあります。

- ▶ バルブ交換の前に、ライトをOFFにし、イグニッションをOFFにしてください。
- ▶ ヘッドライト周辺の作業を行うときは、感電しないように十分注意してください。

MF1-272

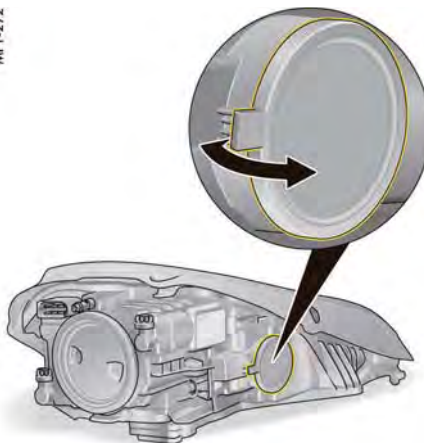


図208: カバーを開く

1. ヘッドライトを取り外してください。
 - ▶ 「ヘッドライトの取り外し」(253ページ)を参照してください。
2. タブを引いて (矢印) カバーを取り外してください。

MF1-275

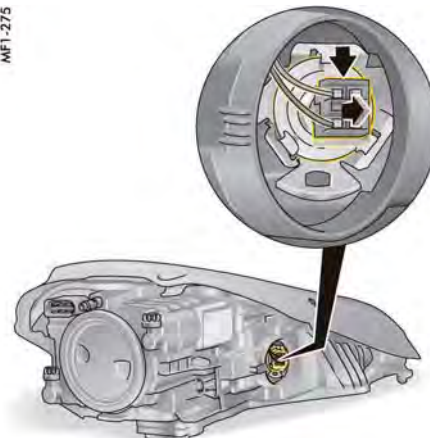


図209: 不具合のあるバルブを取り外してください。

3. バルブ・ソケットを押し下げ、後方へ引いてブラケットから取り外してください。
4. バルブ・ソケットから不具合のあるバルブを取り外してください。

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

MF1-276

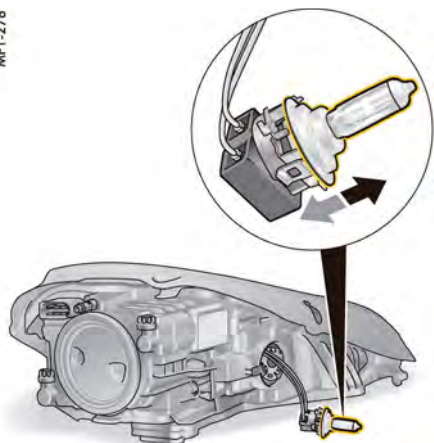


図210: バルブの交換

5. バルブをバルブ・ソケットから取り外し、交換してください。
6. バルブ・ソケットを再挿入し、ブラケットにしっかり固定してください。バルブが正しい位置にセットされたことを確認してください。
7. ヘッドライトのカバーを閉じてください。タブを完全に噛み合わせてください。
8. ヘッドライトを取り付けてください。
 - ▷ 「ヘッドライトの取り付け」(254ページ)を参照してください。
9. ライトの作動を確認してください。

ボンネット

ボンネットの開閉

ボンネットを開く

知識

ボンネットを開くときにフロント・ワイパー・アームが起きていると、ワイパーまたはボンネットが損傷する恐れがあります。

- ▶ ボンネットを開くときは、ワイパーが起きていることを確認してください。
- ▶ ボンネットを開く前に、必ずフロント・ワイパーをOFF（ワイパー・レバーをの位置）にしてください 0.イグニッション・スイッチがOFFで、ワイパー・アームが停止位置にない場合、ボンネットを開くと自動的にワイパー・アームが停止位置まで移動します。
- ▶ ボンネットを閉じ、ワイパーをOFFにしてから再度ONにするまで、この位置が保持されます。
- ▶ 「フロント・ワイパー」（248ページ）を参照してください。

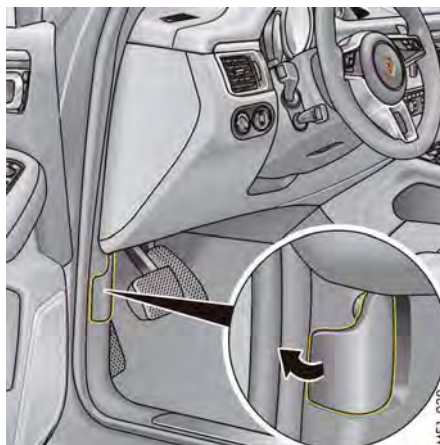


図211: ボンネットのロックを解除する

1. 運転席ドアを開いてください。
2. リリース・レバー（図211）を引いてください。



図212: ボンネットを開く

3. ボンネットを少し持ち上げ、リリース・レバー（図212）を押してください。
4. ボンネットを完全に開いてください。

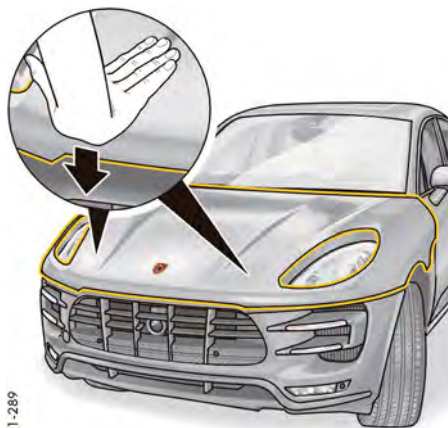
ボンネットを閉じる

▲ 注意

ボンネットは落下することがあります。

ボンネットを閉じるときは、ボンネットを半分開いた位置まで引き下げた状態から落とし、ボンネットの重さを利用して2箇所のロック部をロックします。

- ▶ ボンネットの可動部品（ヒンジ）の近くに物を置いたり、指を近づけないでください。



MF1-289

図213: ボンネットを閉じる

1. ボンネットを半分開いた状態まで引き下げ、その後2箇所のロック部にはまるようにボンネットを降ろしてください。必要に応じて、2箇所のロック部を手のひらで押し、ボンネットを確実に閉じてください(図213)。
2. ボンネットが両方のロック部に確実にハマり、リリース・レバー(図211)が初期位置に戻っていることを確認してください。
 - ▶ ボンネットが正しく閉じていない場合、車両の発進時にマルチファンクション・ディスプレイに警告が表示されます。車両を安全な場所に停車し、ボンネットを再度開いて、2箇所のロック部に落としてロックしてください。必要に応じて、2箇所のロック部を手のひらで押し、ボンネットを確実に閉じてください。

補助ヒーター*

補助ヒーターの使用

補助ヒーターはエンジンが作動していない状態でも、車室内を暖めたり、フロント・ウィンドウの氷結を溶かしたりすることができます。

⚠ 危険

有毒な排気ガスの吸引

補助ヒーターをONにすると燃料を燃焼します。このときに発生する有毒な排気ガスは、車両の床下から排出されます。

- ▶ 補助ヒーターは換気の悪い場所（ガレージの中など）で作動させないでください。

⚠ 警告

高温の排気ガス

補助ヒーターの作動中に排出される排気ガスは非常に高温になっています。

- ▶ 燃料を給油する前に補助ヒーターを停止してください。
- ▶ ボディー下側から高温の排気ガスを十分に換気できる場所、草や葉など燃えやすい物と接触しない場所に駐車してください。

i インフォメーション

- 十分な余熱が利用できる場合、余熱を使いきってから補助ヒーターのパーナーがONになります。
- まれに補助ヒーターを長期間使用せず（夏季を過ぎた後など）、最初にスイッチを入れたときに作動しなかった場合、2度目を試す必要がある場合があります。
- 外気温度が低いときに補助ヒーターを作動させると、水蒸気がエンジン・コンパートメントまたは車両下部から出ることがあります。これは正常な状態であり、故障ではありません。

補助ヒーターのON/OFF

補助ヒーターはイグニッションの位置に関係なく使用できます：


- ✓ エンジンが停止しているとき
- ✓ 外気温度が約15 °Cを下回るとき
- ✓ 十分な量の燃料が燃料タンクに入っているとき（燃料が少ないときは作動しません）
- ✓ バッテリーが十分に充電されているとき

マルチファンクション・ディスプレイでの補助ヒーターのON/OFF

補助ヒーターはマルチファンクション・ディスプレイの補助ヒーターメニューで操作できます。

- ▶ 「補助ヒーター*の設定」（300ページ）を参照してください。

補助ヒーターはリモート・コントロールでも操作できます。

補助ヒーターをONにすると、マルチファンクション・ディスプレイのインジケーター・ライト  が点灯します。


i インフォメーション

- イグニッションがOFFのとき、補助ヒーターはフロント・ウィンドウの曇りや氷結を取り、車室内の温度を快適な状態に保ちます。車両が停止しているときは設定に関係なく、補助ヒーターが送風量、送風口および温度を自動的に調節します。
- イグニッションがONで補助ヒーターが作動中の場合、送風量、送風口、および温度を個別に調節することができます。
- 補助ヒーターは、エンジンが始動してから約2分後、またはエンジンをOFFにしてから最長で30分後に自動的にOFFになります。

補助ヒーター/タイマーのプログラミング

補助ヒーターの自動作動開始時間をマルチファンクション・ディスプレイで設定できます。

- ▶ 「補助ヒーター*の設定」（300ページ）を参照してください。

タイマーが作動すると、マルチファンクション・ディスプレイのインジケーター・ライト  が、イグニッションをOFFにすると点滅を開始し、車両をロックするか、30秒間経過するまで点滅し続けます。

リモート・コントロールによる補助ヒーターのON/OFF



UA1-257

図214: 補助ヒーターのリモート・コントロールによる操作

ONにする

- ▶ リモート・コントロールのボタンAを押してください。
リモート・コントロールのインジケータ・ライトが緑色に点灯します。

OFFにする

- ▶ リモート・コントロールのボタンBを押してください。
リモート・コントロールのインジケータ・ライトが赤色に点灯します。

補助ヒーター用のリモート・コントロールの作動範囲は最大500mです。建物など周囲の状況により、電波の届く範囲が狭くなることがあります。

故障を検出しています

リモート・コントロールのインジケータ・ライトの色と点滅速度で命令が正しく送信されたかどうかを表示します。

補助ヒーターをONにしたときにインジケータ・ライトが緑色に点灯し、その後点滅し始めた場合、信号は正しく送信されています。作動準備状態の点検が正しく完了すると、補助ヒーターは自動的にOFFになります。

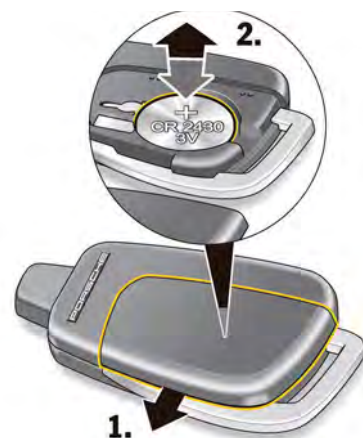
リモート・コントロールのインジケータ・ライトが緑色に点灯した後、赤色に変わって点滅した場合、

- 車両が作動範囲外にある
- 補助ヒーターの作動準備ができていない（燃料が少ない、バッテリーが弱っているなど）
- 故障している可能性があります。
- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

補助ヒーターをOFFにしたときにインジケータ・ライトが赤色に点灯し、その後点滅し始めた場合、信号は正しく送信されています。補助ヒーターが停止します。

リモート・コントロールの電池交換

リモート・コントロールのインジケータ・ライトが点灯しない場合、リモート・コントロールの電池が弱っています。



UA1-355

図215: リモート・コントロールの電池交換

1. バッテリー・カバーを取り外してください。
2. 電池を交換してください（電極の向きに注意してください）。
3. バッテリー・カバーを押し込んでください。

i インフォメーション

- ▶ 電池の廃棄に関する指示を遵守してください。

ボイス・コントロール

警告

事故を起こす恐れがあります

緊急時は緊張のために声が変わり、ボイス・コントロールが指示を認識できなくなる恐れがあります。これにより電話接続の要求が認識できずに失敗したり、接続に時間を要してしまう恐れがあります。

▶ PCM経由で緊急電話にダイヤルしてください。

メイン・メニューの **PHONE**、**TUNER**、**NAV** および **MEDIA** の各機能は音声コマンドで呼び出すことができます。ボイス・コントロールはスピーカーに適応し、最初の会話から登録を開始します。

▶ ボイス・コマンドの例は268ページを参照してください。

i インフォメーション

- **Sound**および**CAR**のメイン・メニューはボイス・コントロールでは操作できません。
- ボイス・コントロールはすべてのシステム言語に対応しているわけではありません。

i インフォメーション

ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント (PCM) の操作に関するインフォメーション:
▶ 「ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント (PCM) の操作」(273ページ) を参照してください。

ボイス・コントロールの呼び出し

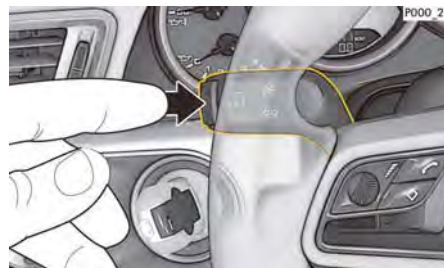


図216: 操作レバーのボイス・コントロール・ボタン

ボイス・コントロールの作動

- ✓ イグニッションがONになっていること。
- ✓ 通話中でないこと。
- ✓ パーキング・アシストを使用していないこと

1. 操作レバーの **MC** を押してください (図216)。起動音が鳴り、ボイス・コントロールのアイコン **MC** がPCMに表示されます。
2. 音声コマンドを発話してください。

ボイス・コントロールを無効にする

- ✓ ボイス・コントロールが作動していること。

- ▶ 操作レバーの **MC** を押してください (図216)。終了音が鳴ります。

または

- ▶ ボイス・コマンドキャンセルまたは終了を発話してください。

または



- ▶ PCMの任意のボタンを押してください。

ボイス・コマンド・ボタンのその他の機能
操作レバーの **MC** (図216) ボタンは、アプリケーションに応じて様々な機能を開始することができます。

- 短く押すと、PCM のボイス・コントロールが有効になります。
- 長押しすると、Sirius®ボイス・コントロール・システムが起動します。
 - ▶ 「Apple® CarPlay」(365ページ) を参照してください。
- ボイス・コントロールの現在のアナウンスを終了します。
- アナウンスを次のパートにスキップします。
- 現在の会話を中止します。

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z



i インフォメーション

- 電話で通話中、またはパーキング操作中は、レバーのボタン  は機能しません。
- 通話中、ナビゲーション案内は中断します。
- ボイス・コントロールが有効のとき、リスト項目をボイス・コントロール、ロータリー・プッシュ・ボタン、またはタッチスクリーンによって選択することができます。
- 発話されたボイス・コマンドが理解できない場合、または意味が解釈できなかった場合、ボイス・コントロールはもう一度お願いしますと応答するので、再度ボイス・コマンドを繰り返してください。2回目以降はPCMが操作を支援します。
- 選択したメニュー言語および選択した国によっては ( ボタン ▶ メニュー **目的地入力** で)、必要に応じて目的地入力時に目的地の綴りを発話する必要があります。

ボイス・コントロールによる対話を円滑に行うために、以下の点に注意してください。

- 通常通りの声量で、はっきりと分かりやすく発話してください。高速走行時は少し大きな声で発話してください。
- 長い間をおかずにむらなくボイス・コマンドを強調してください。
- ボイス・コントロールがアナウンスをしているときは発話しないでください。
- ドア、ウインドウ、スライディング・ルーフを閉じ、混乱の原因となる雑音を低減してください。
- ハンズフリー・マイクはドライバー側に向いているため、ドライバーのみがボイス・コントロールを操作してください。



ボイス・コントロールの調節

1.  ボタン ▶ Set (設定)  ▶ システム ▶ ボイスコントロール
2. 以下から希望の設定を選択してください。


- **ショートダイアログ**: この機能が有効のときは、音声応答に短いアナウンスが含まれます。
- **ヘルプテキスト**: この機能が有効のとき、発話可能なコマンドが表示されます。

ヘルプの呼び出し

文字による入力支援の呼び出し

1. 操作レバーの  を押してください (265 ページ: 図216)。コマンド例のリストが表示されます。
2. フッターの  を選択してください。
3. 各メイン・メニューでコマンド例を表示させるには、アイコンまたはそれぞれのメイン・メニューのコマンド例を選択してください。

i インフォメーション

ヘルプテキスト機能が無効になっている場合は、ヘッドラインのアイコン  で視覚的な入力支援を表示することができます。

▷ 「ボイス・コントロールの調節」(266ページ)を参照してください。

Calling up acoustic input assistance (音声による入力支援) の呼び出し

- ✓ ボイス・コントロールが作動していること。
 - ▷ ヘルプと発話してください。またはヘルプ ボイス コマンドと発話してください。またはラジオのヘルプ、ヘルプ メディアと発話してください。各メイン・メニューで入力支援が得られます。

ボイス・コマンドの発話

基本的に、使用可能なボイス・コマンドは3種類あります。

- グローバル・ボイス・コマンド
- 一般ボイス・コマンド
- ダイアログ関連ボイス・コマンド

表示されるボイス・コマンドは使用可能なすべてのコマンド集です。システムは同義語でも認識します。例えば、**Call Smith (スミスに電話)** と言う代わりに、**Telephone Smith (スミスに電話)** または **Dial Smith (スミスに電話)** と発話することもできます。

- ▶ ボイス・コマンドの例は268ページを参照してください。

グローバル・ボイス・コマンドの発話

特定の機能呼び出すために使用可能なすべてのボイス・コマンドは、グローバル・ボイス・コマンドです。グローバル・ボイス・コマンドは、選択したメイン・メニューに関係なく、いつでも使用することができます。これによって、対応するメイン・メニューに事前に切り替える必要なく、任意の機能を直接呼び出すことができます。例えばNAVメイン・メニューが表示されているときに、ボイス・コマンド **Transmitter station 1 (トランスミッター 放送局1)** と発話しても指示した放送局が呼び出されます。

以下はグローバル・ボイス・コマンドの例です。

- **Transmitter station 1 (トランスミッター 放送局1)**
- **Call Smith (スミスに電話)**

一般ボイス・コマンドの発話

一般ボイス・コマンドは会話中にいつでも発話することが可能です。

以下は一般ボイス・コマンドの例です。

- **新規項目** ボイス・コントロールを再開します。
- **修正**: 例えば、電話番号をいくつかのブロックに分けて発話した場合 (0711 911など)、ボイス・コマンドは最後に発話したブロックを取り消します。
- **ヘルプ**: 可能なボイス・コマンドを示す入力支援が表示されます。
- **キャンセル**: 会話を中断します。

ダイアログ関連ボイス・コマンドの発話

ダイアログ関連ボイス・コマンドは、PCMとの会話が始まるとすぐに必要になります。例えば、これには以下のボイス・コマンドが含まれています。

- **行 1**
- **次のページ/前のページ**
- **はい/いいえ**

音声でリストを使用する

リストをブラウズする

- ▶ リストを前/後にブラウズするには、**次のページ/前のページ**と発話してください。**または** タッチスクリーンまたはロータリー・プッシュ・ボタンでリストを使用します。

リスト項目の発話

青いリスト項目を発話することができます。別の方法として、リスト項目を青い行番号で呼び出すこともできます。

- ▶ ボイス・コマンド **Line 1 (行1)** と発話してください。

ラジオのボイス・コマンド

運転者が何をしたいか？	どのように発話するのか？	知識
受信範囲を切り替える	チューナー例えばFM/AM/TV（調節/作動）	
放送局を選択する	選択 放送局	現在受信が可能な放送局のみを発話することができます。
現在受信が可能な放送局を選局する	放送局 例えば放送局 1（選局）	
周波数の入力	周波数 例えば107.7（選択）	必要な場合は、周波数の直接選択により、受信範囲が変更されます。
ヘルプの呼び出し	ラジオのヘルプ	チューナー機能で役に立つ音声ヘルプです。

メディアのボイス・コマンド

運転者が何をしたいか？	どのように発話するのか？	知識
メディア・ソースを変更する	選択 例えばディスク/SDカード/USB/AUX/Jukebox/Bluetooth	
アーティストの直接選択	再生するアーティスト 例えばAllan Taylor	有効なメディア・ソース内にあるアーティスト/アルバム/トラック/ジャンルのみを発話することができます。
アルバムの直接選択	再生するアルバム 例えばSongs for the Road	
トラックの直接選択	再生するトラック 例えば Let the Music Flow	
ジャンルを直接選択する	再生するジャンル 例えばロック	
現在再生している曲に似ている音楽を選択する	これと似たもの (さらに ((これ 同じもの) から [選択 再生]) 同じようなもの 同じような音楽)	
ヘルプの呼び出し	ヘルプメディア	メディア機能で役に立つ音声ヘルプです。

電話のボイス・コマンド

✓ 電話がPCMに接続されていること。

▷ 「電話」(192ページ)を参照してください。

運転者が何をしたいか？	どのように発話するのか？	知識
リダイヤル機能を開く	リダイヤル	
電話番号を入力する	番号をダイヤル	
ボイスメールに電話する	電話 ボイスメール	
連絡先に発信する	Call contact (電話 連絡先)	
通話履歴の呼び出し	通話履歴	ボイス・コマンドは、選択または通話が可能な項目から通話履歴全般を表示します。
保存されている連絡先を選択する	連絡先	連絡先が1つ以上の場合、このコマンドにより会話が開始します。名、姓、またはその両方を発話することができます。連絡先の特定の電話番号を選択することも可能です。
保存されている連絡先に発信する	電話 例えばSmith (携帯/プライベート/仕事/一般)	
Eメールを読み上げる	読む (新しい) Eメール	
テキスト・メッセージを読み上げる	読む (新しい) SMS	
ヘルプの呼び出し	ヘルプ(電話) (電話)ヘルプ	電話機能で役に立つ音声ヘルプです。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

ナビゲーションのボイス・コマンド

	運転者が何をしたいか？	どのように発話するのか？	知識
あ			
か	新しい目的地を入力する	目的地を入力	ルート案内は段階的に実施されます。
さ	目的地として自宅/オフィスを選択する	自宅に帰る 仕事に行く	保存されている住所へのナビゲーションが開始されます。住所の保存方法に関するインフォメーション： ▷ 「目的地の保存（お気に入り）」（216ページ）を参照してください。
た			
な	目的地または施設情報を検索する	検索（施設情報）例えばポルシェ・サービス	ブランド名や施設情報のカテゴリーを発話することができます（例えば、検索 施設情報 空港）。
は	市町村を選択する	入力 市	
ま	レストラン/休憩所/トイレ/ガソリンスタンドを検索する	次のレストラン/休憩所/トイレ/ガソリンスタンド	ルート沿いまたは近隣のそれぞれの検索基準を表示します。
や	ルート案内を開始/終了する	ルート案内開始/ルート案内中止	
	残りの燃料を計算する	走行可能距離/タンク情報	
ら	到着時間を要求する	予想到着時間 (到着までの残り時間) (いつ到着しますか)	ルート案内が開始している場合、残り走行時間のお知らせします。
わ	ヘルプの呼び出し	ヘルプ(ナビゲーション ナビ) ナビゲーション ナビ ヘルプ	ナビゲーション機能で役立つ音声ヘルプを呼び出します。
A-Z			

ボルシェ・アクティブ・サスペンション・マネージメント (PASM)

PASMはショック・アブソーバーをアクティブに調整します。アジャスタブル・ダンパー・システムは、走行状態や条件に応じて各タイヤの適切なダンパー・レベルを選択します。走行安全性、俊敏性、および快適性が最適化されます。ボタンの操作で、3種類のシャーシ設定を選択できます：

- 「コンフォート」
- スポーツ
- スポーツ・プラス

コンフォート・モードでは快適な乗り心地のシャーシ設定になります。


あの **スポーツ** シャーシ設定ではスポーティーなショック・アブソーバー設定になります。

スポーツ・プラス モードでは、サーキットでの走行などに特化したよりスポーティーなショック・アブソーバー設定になります。走行状況に合わせて、マニュアル・モードに加えて、PASMもショック・アブソーバーを調整し、スポーティーまたは快適な走行を可能にします。

PASMモードの選択



図217: センター・コンソールのPASMボタン

1. イグニッションをONにしてください。
2.  ボタンを（繰り返し）押してください。

ボタンのインジケーター：

- 「コンフォート」（初期設定）を選択した場合、インジケーター・ライトは点灯しません。
- 「スポーツ」を選択すると、インジケーター・ライトが1つ点灯します。
- 「PASMスポーツ・プラス」を選択すると、インジケーター・ライトが2カ所点灯します。

更に、選択したシャーシ設定はマルチファンクション・ディスプレイに短時間表示されます。

インフォメーション

イグニッションをOFFにすると、そのとき選択しているシャーシ設定がメモリーに保存されます。

警告シンボルへの対応

PASMの故障がマルチファンクション・ディスプレイに表示されます。

マルチファンクション・ディスプレイに表示される警告シンボルに関するインフォメーション：

- ▷ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」（98ページ）を参照してください。

ポルシェ・カー・コネクト*

スマートフォン・アプリケーション「ポルシェ・カー・コネクト」を使用して、移动通信システムを利用して車両に接続することが可能です。これにより、車両の情報をスマートフォン経由で直接読み取ることが可能になり、アプリを使用して選択した設定を車両で実行することが可能になります。

ポルシェ・カー・コネクト・アプリのインストール、機能、管理、契約およびサービスに関する詳細情報はwww.porsche.com/connectまたはポルシェ正規販売店から入手できます。

車両とアプリケーション間の通信の停止

車両とポルシェ・カー・コネクト・アプリ間の通信は、マルチファンクション・ディスプレイから停止できます。

- ▷ 「ポルシェ・カー・コネクトの設定*」(312ページ)を参照してください。



警告

走行時の設定と操作

運転中にアプリの設定を変更したりアプリを使用したりすると、運転に対する注意力が低下することがあります。車両のコントロールを失う恐れがあります。

- ▶ 操作、設定は必ず車両を停車させてから行ってください。

i インフォメーション

ポルシェ・カー・コネクト・アプリケーションを使用して車両固有データおよびその他の機能にアクセスすることができます。第三者の不正なアクセスからデータを保護してください。

i インフォメーション

ポルシェ・カー・コネクト・アプリを使用すると、データは移动通信システムにより送信されるため、サービス・プロバイダーから追加費用を請求される場合があります。

ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント (PCM) の操作

概要

この概要説明は「ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント (PCM) の操作」の章に記載された情報に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく安全に関する指示および警告を必ずお読みください。



図218: PCM



図219: タッチスクリーン、ホーム・メニュー

運転者が何をしたいか？	その操作方法は？	ページ
PCMをONにする	▶ イグニッションをONにするか、ボリューム・スイッチAを押してください。	
PCMをOFFにする	▶ イグニッションをOFFにするか、ボリューム・スイッチAを押し続けてください。	
音量を調節する	▶ ボリューム・スイッチAを回してください。	
オーディオ・ソースのミュート	▶ ボリューム・スイッチAを短く押してください。	
メイン・メニュー (ラジオなど) を開く	▶ ボタン (例: TUNER) を押してください。	
音質設定を表示する	▶ HOME ボタン ▶ OPT ボタン ▶ 設定SOUND ▶ スピードリミッター または	281
接続マネージャーを開く/接続を確立する	▶ フッターの または (Bを参照) を選択してください。	159
日付と時刻を変更する	▶ フッターの時刻 9:34 (Cを参照) を選択してください。	274
MyScreenを開いて設定する	▶ HOME ボタン ▶ MyScreen	277
システム設定を変更する	▶ HOME ボタン ▶ Set (設定)	281
CD/DVDまたはSDカードから音楽を再生する	▶ CD/DVDまたはSDカードを挿入してください。▶ SOURCE ボタン ▶ 希望のメディア・ソースを選択してください。	278
外部機器から音楽を再生する	▶ 外部機器をUSB、AUXまたはBluetooth®を介して接続してください。▶ SOURCE ボタン ▶ 希望のメディア・ソースを選択してください。	280

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

操作に関する重要なインフォメーション

ボルシェ・コミュニケーション・マネージメント (PCM) は、ラジオ、TVチューナー、サウンド設定、ナビゲーション・システム、様々なメディアや電話を操作するためのセンター・コントロール・ユニットです。

PCMの操作時に運転者や同乗者がケガをしたり、危険にさらされたりすることがないように、常に以下の安全に関する指示を遵守してください。

警告 事故を起こす恐れがあります

PCMを操作すると、道路状況から注意が逸らされる恐れがあります。

- ▶ 周囲の交通状況が安全を確保できる場合に限ってPCMの操作を行ってください。安全を確保できない場合は、車両を適切な場所に停車してからPCMの操作を行ってください。
- ▶ 緊急車両（パトカー、救急車など）のサイレンなど、常に車外の音が聞こえる程度の音量に設定してください。

警告 事故を起こす恐れがあります

機器を固定しなかったり不適切な位置に載せると、ブレーキやステアリングを操作したとき、急加速時または事故の際に、飛び出して乗員がケガをする恐れがあります。

- ▶ 車内に固定していない物を載せて走行しないでください。
- ▶ 走行中は必ず小物入れを閉じてください。

注意 負傷する恐れがあります

ハウジングが開いている場合や損傷した場合は、目に見えないレーザーが照射される危険があります。

- ▶ PCMはクラス1レーザー製品です。ハウジングを分解しないでください。メンテナンス作業が必要になった場合は、必ずボルシェ正規販売店で実施してください。

インフォメーション

バッテリーを保護するため、PCMはイグニッションをOFFにしてから数分経過すると自動的にOFFになります。

PCMのON/OFF



図220: PCMのON/OFF

- ▶ PCMはイグニッションをONにすると作動します。
- ▶ イグニッションの位置に関係なく、ボリュウム・スイッチAを長押しするとPCMのON/OFFを切り替えることができます。

日付と時刻の設定

時刻表示から、日付と時刻の設定に素早くアクセスできます。

- ▶ フッターの時刻 **9:34** を選択してください。

- ▶ 「全般的なシステム設定を変更する」(281ページ) を参照してください。

タッチスクリーンの操作ボタン

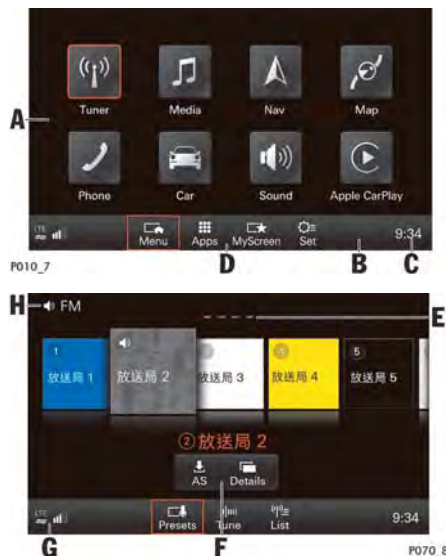


図221: タッチスクリーンの操作ボタン

A ホーム画面

HOME ボタンを押すと、使用可能な機能が表示されます。

B フッター

有効なメイン・メニューの機能、接続シンボルおよび設定可能な温度または時刻を表示します。

C 時刻または外気温ディスプレイ

「日付と時刻の設定」(274ページ)を参照してください。

D 有効なメイン・メニューの機能

どのメイン・メニューが有効になっているかに応じて、ツールバーには異なるメニューが表示されます。

E 他のページを表示

スクロール (スワイプ) すると、他のページが開きます。

F コントローラー

タッチスクリーンに接近すると追加機能を表示します。

G 接続マネージャーを開く

(電話を接続する、WiFi設定を表示しWiFiホットスポットを設定する、Bluetooth® 機器を接続する、Apple® CarPlayおよびPorsche Connect Appの接続状態を表示する)

▷ 「接続マネージャー」(159ページ)を参照してください。

H ヘッドライン

例えば、選択されたラジオまたはメディア・ソースが表示されます。

タッチスクリーンでPCMを操作する



図222: タッチスクリーンでPCMを操作する

A タッチ (選択)

タッチスクリーンを指で素早くタッチしてください。例: 機能を選択する、またはボックスをチェックする/チェックを外す。

B 長押し

タッチスクリーンを長くタッチしてください。例: メイン・メニュー

TUNER で放送局を保存する。

C スワイプ

タッチスクリーンを指で左右にスワイプしてください。例: ラジオ放送局を含む他のページを表示する。

D スクロール

タッチスクリーンを指で上下にスワイプしてください。例: リストを手動でスクロールする。

E ズーム

2本の指をディスプレイに触れたまま指を広げる、または指を狭めてください。タッチスクリーンを2回タップすると、そのセクションが拡大表示されます。例: 地図を拡大表示する。

ロータリー・プッシュ・ボタンでPCMを操作する



図223: ロータリー・プッシュ・ボタン

1. 希望の機能がハイライトされるまで、ロータリー・プッシュ・ボタンを回してください。
2. ハイライトされた機能を有効にするには、ロータリー・プッシュ・ボタンを押してください。

メニューを開く

直接メイン・メニューを開く

- ▶ PCMのボタン (例: **TUNER**) を押してください。

i インフォメーション

いずれかのメイン・メニューから別のメニューにいつでも切り替えることができます。メイン・メニューに戻ると、前に開いていた内容が再び表示されます。

ホーム・メニューからメイン・メニューを開く

1. **HOME** ボタン ▶ Menu (メニュー)
2. メイン・メニュー (例: チューナー) を選択してください。

有効な機能の設定を開く

- ✓ 希望のメイン・メニューが選択されている (例: **TUNER**)。

- ▶ **OPT** ボタンを押してください。
該当するメニューの設定および他の機能が表示されます。

テキストおよび文字を入力する

ナビゲーション目的地や検索語句の入力など、テキストや文字を入力する必要があるときは、入力フィールドが表示されます。



図224: タッチスクリーン・キーボード

- A 現在のカーソル位置
- B 大文字と小文字の切り替え
- C キーボードを表示する/隠す
- D 文字、数字および特殊文字の入力を切り替える

- E 手書き文字認識機能 (タッチスクリーンを使用してアルファベットや文字を入力する)
- F キーボードの調整
- G スペースを挿入する
- H 入力を決定する
- I 入力データを削除する
- J 候補のリスト

テキストおよび文字を入力するには、3種類の方法があります。

キーパッドによる入力

1. 入力フィールドを選択して、タッチスクリーン・キーパッドを開いてください。
2. 希望のテキストまたは文字を入力してください。

ロータリー・プッシュ・ボタンによる入力


1. 希望のアルファベットや文字がハイライトされるまで、ロータリー・プッシュ・ボタン (図 223を参照) を回してください。
2. ロータリー・プッシュ・ボタンを押して、ハイライトされたアルファベットまたは文字を決定してください。

手書き入力

手書き入力では、手書き文字認識機能により指でテキストや文字を書くことができます。



図225: 手書き入力

1.  を選択して入力フィールドを開いてください。
2. 指で希望のテキストや文字を書いてください。

- ▶ スペースを入れるには、左から右に指でスワイプしてください。
- ▶ 入力データを削除するには、右から左に指でスワイプしてください。

インフォメーション

PCMはひらがな/カタカナ/ローマ字/漢字の手書き入力に対応しており、該当する文字を表示します。


ボイス・コントロールを使用して、テキストや数字を入力することも可能です (例: 電話番号をダイヤルするときや、ナビゲーション目的地を入力するときなど)。

- ▶ 「車線逸脱警告システム」(122ページ) を参照してください。

接続マネージャーを開く

- ▶ 「接続マネージャー」(159ページ) を参照してください。

アプリを開く

アプリ  メニューからPorsche Connect App機能にアクセスすることができます。

- ▶ **HOME** ボタン ▶ **アプリ** 

- ▶ 「Porsche Connect App」(371ページ) を参照してください。

バックグラウンド・イメージを表示する

バックグラウンド・イメージは、**HOME** メニューで表示/非表示を切り替えることができます。

- ▶ **HOME** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **バックグラウンドイメージを表示**

MyScreenの設定

In the **MyScreen** メニューでは、様々なカテゴリ (例: **NAV** や **PHONE**) のタッチスクリーンのコンテンツを希望により個別にグループ分けすることができます。

合計3種類のMyScreenを設定できます。

MyScreenを作成する





1. **HOME** ボタン ▶ **MyScreen**  ▶ **OPT** ボタン ▶ **設定 MyScreen**
2. を選択してください **MyScreen 1**, **MyScreen 2** または **MyScreen 3**.



図226: MyScreenの設定

3. カテゴリ (例: **SOURCE**) を選択して、選択可能なタイルのリストを開いてください。
4. 必要なタイルを左側のプレビューにある任意のコンテナにドラッグ&ドロップしてください。タイルは、緑色のエッジが見えるときにコンテナに挿入できます。
5. メニューを終了します **を使用して**, MyScreenの設定  または .

MyScreenを開く

1. **HOME** ボタンを押してください。
2. **MyScreen**  を選択してください。直前に有効にした **MyScreen** が表示されます。

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

MyScreenをリセットする

1. **HOME** ボタン ▶ MyScreen
OPT ボタン ▶ 設定 MyScreen
2. MyScreenをリセットを選択してください。
MyScreenの2ページおよび3ページのコンテンツが削除されます。MyScreenの1ページのコンテンツが初期設定にリセットされます。

MyScreenからタイトルを削除する

✓ タイルが左側のプレビューにある

1. **HOME** ボタン ▶ MyScreen
OPT ボタン ▶ 設定 MyScreen
2. を選択してください **MyScreen 1**, **MyScreen 2** または **MyScreen 3**。
3. 左側のプレビューで、ドラッグ&ドロップで削除したいタイトルをコンテナから取り除いてください。

電話のお気に入りの追加に関するインフォメーション：

- ▶ 「MyScreenにお気に入りの追加」(197ページ)を参照してください。

各種ドライブおよび外部接続機器に関する諸注意

対応するメディアおよびファイル形式に関するインフォメーション：

- ▶ 「テクニカル・データ」(374ページ)を参照してください。
- 記憶媒体に多くのファイル、フォルダーまたはプレイリストが含まれている場合、最初にトラックを読み込むのに時間がかかる場合があります。
- オーディオ・ファイルの再生時は、記録された追加情報(アーティスト、タイトル、アルバム・カバーなど)が自動的に表示されます。該当する情報が媒体に記録されていない場合は、Gracenote^{®1)} データベースが利用されます。それでも個々の追加情報が表示されない場合があります。
- USB 延長ケーブルまたはアダプターを使用しないでください。性能が損なわれる原因になります。
- USBハブには対応していません。
- ポルシェ社は、ファイルやメディアの損傷や紛失に対していかなる責任も負いかねます。大切なデータは、SDカード、ジュークボックス、CD/DVDまたはポータブル・プレーヤーに決して保存しないでください。
- 外気温が異常に高いまたは低いときは、一時的にCD/DVDが再生できなくなる場合があります。CD/DVDおよび走査レーザーを保護するために、熱保護回路が搭載されています。
- PCMは、コピー・プロテクト機能付きのCD/DVDまたは規格に準拠していないCD/DVDを再生できない場合があります。

- 原則として私的使用を目的とする場合にのみ、CD/DVDのコピーを作成することが認められています。コピーされたCD/DVDを第三者に譲渡した場合は、著作権法に定められた例外の対象になりません。MP3で再生するために作成された音楽トラック、およびMP3にコピー可能な音楽トラックは、一般的に該当する国際的および国内の規制に従って著作権保護の対象となります。多くの国では、私的使用が目的であっても著作権保有者に事前の承諾なくしてコピーすることはできません。該当する著作権法を遵守してください。お客様自身が作曲およびレコーディングの著作権保有者である場合、あるいは著作権保有者によって権利を付与された場合は、これらの制約は適用されません。如何なる場合においても、現行の法的な見解が適用されます。

CD/DVDドライブにロードする

知識

CD/DVDを正しく使用しないと、PCMを損傷する恐れがあります。

- ▶ 直径12cmの丸型、標準タイプのCD/DVDのみを使用してください。
- ▶ CD/DVDに触れるときは、必ず端を持ってください。ラベル面に手で触れないでください。
- ▶ CD/DVDが汚れていないことを確認してください。必要に応じて汚れを拭き取ってください。
- ▶ CD/DVDには何も貼り付けしないでください。
- ▶ CD/DVDを変形させないでください。
- ▶ CD/DVDをドライブに無理に押し込んだり、取り出したりしないでください。

1) Gracenoteロゴおよび「Powered by Gracenote」ロゴは、米国またはその他の国におけるGracenote Inc.の登録商標または商標です。

CD/DVDを挿入する

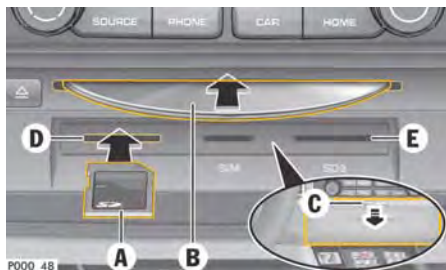


図227: CD/DVDまたはSDカードのロード

1. カバー **C** が自動的に固定されるまで押し続けてください (矢印) を参照
2. CD/DVDのラベル面を上にして、自動的に引き込まれるまでスロット **B** に挿入してください。
3. **SOURCE** ボタンを押し、希望のメディア・ソースを選択してください。

CD/DVDを取り出す

1. ボタンを押し、CD/DVDを取り出してください。
2. 固定されているカバーのハンドル **C** を軽く押し続けてください。
カバーが自動的に閉じます。

SDカードをロードする

知識

SDカードを正しく使用しないと、PCMを損傷する恐れがあります。

一体型以外のSDカードを使用すると、振動によりSDカードがアダプターから外れて各カードがSDカード・リーダーに詰まる恐れがあります。

▶ SDカード・アダプターは使用しないでください。

SDカードを挿入する

1. カバー **C** が自動的に固定されるまで押し続けてください (図 227 矢印を参照)。
2. SDカード **A** のラベル面を上にして、SDカード・リーダー 1 (**D**) または 2 (**E**) にロックされるまで差し込んでください。

メモリー・カードを取り出す

✓ SDおよびSIMカード・リーダー・カバーが開いている。

1. 挿入されたカードを押し、取り出してください。
2. 固定されているカバーのハンドル **C** を軽く押し続けてください。
カバーが自動的に閉じます。

DVDチェンジャーのロード

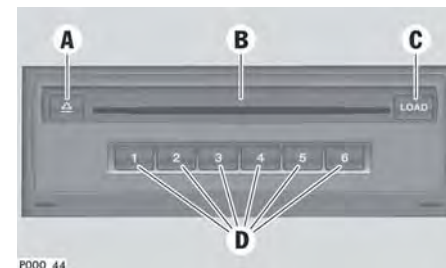


図228: グローブ・ボックス内のDVDチェンジャー

- A** CD/DVDイジェクト・ボタン
- B** CD/DVDスロット
- C** CD/DVDロード・ボタン
- D** CD/DVDポジション・ボタン

CD/DVDをロード

✓ グローブ・ボックスが開きます。

1. ボタン **LOAD** を押し続けてください (**C** を参照)。
CD/DVDのロードの準備ができたなら、CD/DVDスロットのインジケーター・ライト **B** が緑色で点滅します。CD/DVDチェンジャーの準備ができていない場合は、スロットのインジケーター・ライト **B** が赤色で点灯します。
2. CD/DVDのラベル面を上にして、自動的に引き込まれるまでスロット **B** に挿入してください。
CD/DVDが自動的に最初のポジションにロードされます。該当するポジション・ボタンのインジケーター・ライトが点滅します。
または
CD/DVDを特定のポジションにロードするには、該当するポジション・ボタン **D** を押し、CD/DVDをスロット **B** に差し込んでください。

あ
か
さ
た
な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

複数のCD/DVDのロード

✓ グローブ・ボックスが開きます。

1. **LOAD** ボタン (C) 約3秒間押し続けてください。
2. 各CD/DVDのラベル面を上にして、自動的に引き込まれるまでスロットBに挿入してください。
CD/DVDが自動的に最初のポジションにロードされます。

CD/DVDを取り出す

✓ グローブ・ボックスが開きます。

1. **△** ボタンを押してください。
 2. 取り出したいCD/DVDのボタンを押してください。
- ▶ すべてのCDを取り出すには、**△** ボタンを約3秒間押し続けてください。

SIMカードの挿入および取り出し

▶ 「ポルシェ専用SIMカードを使用してデータ接続を確立する」(160ページ)を参照してください。

外部機器の接続

対応するメディアおよびファイル形式に関するインフォメーション:

▶ 「テクニカル・データ」(374ページ)を参照してください。

i インフォメーション

一部の外部機器では、音量の個別調節が必要になる場合があります。

1. 外部機器の音量を調節してください。
2. PCMで希望の音量に設定してください。

USBまたはAUXを介して外部機器を接続する

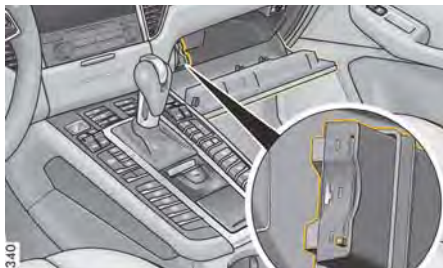


図229: グローブ・ボックス内のB-CASカード・リーダー



図230: センター・コンソールのUSBポート

1. センター・アームレストを開いてください。
2. 外部機器 (例: iPod、USBフラッシュ・ドライブ) をUSBまたはオーディオ (AUX) ポートに接続してください。
3. **SOURCE** ボタンを押し、希望のメディア・ソースを選択してください。

i インフォメーション

Apple® CarPlayは、センター・コンソールのUSBポートを介してのみ使用できます。

▶ 「センター・コンソールのUSBポート」(365ページ)を参照してください。

i インフォメーション

外部機器 (携帯電話など) は、USB充電ケーブルを使用して車内で充電することができます。



外部機器をBluetooth®を介して接続する

1. フッターの **Bluetooth** または **Bluetooth** を選択してください (接続状態により異なる)。
または
PHONE ボタン ▶ **OPT** ▶ 接続
2. を選択してください **Bluetoothオーディオ** ▶ **新しいデバイスを検索**。
6桁のBluetooth®コードが生成され、PCMおよび携帯電話に表示されます。
3. PCMおよび携帯電話のBluetooth®コードを確認し、一致していれば決定してください。
機器の接続に成功すると、機器の概要に表示されます。

Bluetooth®機器の管理に関するインフォメーション:



▶ 「Bluetooth®デバイスの削除、またはBluetooth®インフォメーションの表示」(194ページ)を参照してください。

全般的なシステム設定を変更する

1. **HOME** ボタン ▶ **Set (設定)**  ▶ システム
または
CAR ボタン ▶ **Set (設定)**  ▶ システム
2. 希望のオプションを選択してください。
 - 言語：システム言語を選択してください。
 - Japanese
 - 日本語
 - ボイスコントロール：
 - ショートダイアログ：ボイス・コントロールはショート・ボイス・コマンド・テキストを使用します。
 - ヘルプテキスト：アクティブ・ボイス・コントロールで可能なコマンドの表示
 - 工場出荷時の設定
 - 工場出荷時の設定：すべての設定値が規定値にリセットされます。個人データは保持されます。
 - 車両の引き渡し：すべての設定値が規定値にリセットされます。住所、目的地、電話番号など、すべての個人データが削除されます。
 - 単位
 - 走行速度
 - 温度
 - 圧力 (タイヤ空気圧)
 - 消費量

- 日付と時刻
 - オートタイム：GPS信号で時刻、日付、サマータイムを同期
 - 時刻
 - 日付
 - 自動タイムゾーン：オートタイム・モードでは、タイムゾーンも自動的に設定されます。
 - タイムゾーン
 - 時刻表示形式
 - 日付の表示形式

PCMディスプレイの設定を変更する

1. **HOME** ボタン ▶ **Set (設定)**  ▶ **PCMを表示**
または
CAR ボタン ▶ **Set (設定)**  ▶ **PCMを表示**
2. 希望のオプションを選択してください。


- ディスプレイを OFF にする：次にタッチするまでタッチスクリーンがOFFになります。
- ディスプレイの明るさ
- フッター
- 温度：フッターへの温度表示
- 時刻：フッターへの時刻表示
- 近接センサー：近接センサーを有効/無効にする
- タッチ操作音設定：ディスプレイにタッチした時の操作音を有効/無効にします。

音量および音質の変更


音量の調節

ボリューム・スイッチA (274ページ：図220を参照) を回すと、音量を調節できます。

オーディオ・ソースのミュート

- ▶ ボリューム・スイッチA (274ページ：図220を参照) を短く押してください。フッターにミュートのシンボル  が表示されます。運転アドバイス、電話の会話および交通情報は聞くことができます。
- ▶ ミュート機能を解除するには、ボリューム・スイッチAを再び短く押してください。

音質設定を変更する

1. **HOME** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **設定 SOUND** ▶ **SOUND** 
 2. オプションを選択して、設定を変更してください。
- Bass (ベース)：低音域の調節
 - Treble (トレブル)：高音域の調節
 - フェーダー：前後スピーカーの音量調節
 - バランス：左右スピーカーの音量調節

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

音量設定を変更する

1. **HOME** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **設定 SOUND** ▶ **音量** 
2. 希望のオプションを選択してください。

- **ナビゲーション案内**：ナビゲーション案内の音量を設定
- **速度警告音量**：車速に応じた音量調節
- **AUX**：AUXオーディオ再生用の音量を設定
- **Bluetoothオーディオ**：Bluetooth®オーディオ再生用の音量を設定
- **マイク音量**：通話中のマイク音量を調整
- **着信音量**：着信音の音量を設定
- **電話中のナビゲーションをミュート**：通話中はナビゲーションアナウンスを再生しない
- **タッチ操作音設定**：ディスプレイにタッチした時の操作音
- **メッセージの受信音**：テキスト・メッセージおよびEメール受信時のサウンドON/OFFを切り替える

Burmester® ハイエンド・サラウンド・サウンド・システムのトーン設定の変更

1. **HOME** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **設定 SOUND**
2. **Burmester**を選択してください。
3. 希望のオプションを選択してください。

- **Pure (ピュア)**：純粋で忠実な音響設定
- **Smooth (スムーズ)**：リラックスした長時間のリスニングに適した音響設定
- **Surround (サラウンド)**：非常に開放感を感じる音響設定
- **Live (ライブ)**：ライブの臨場感を伴う広がりのある音響設定
- **ポジション**：座席別の音質調整
- **サウンド・コンディショナー**：音響を周囲の音量に合わせて適応させます。

BOSE® サラウンド・サウンド・システムのトーン設定の変更

1. **HOME** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **設定 SOUND**
2. **BOSE**を選択してください。
3. 希望のオプションを選択してください。

- **Surround (サラウンド)**：非常に開放感を感じる音響設定
- **Linear (リニア)**：低音重視の音質設定 (リニアOFF) からニュートラルでバランスのよい音質 (リニアON) に変更
- **AudioPilot (オーディオパイロット)®**：この機能をONにすると、車内のノイズ・レベルをモニターし、その変化に合わせて最適なオーディオ再生を行います。

ボルシェ・ヒル・コントロール(PHC)

ボルシェ・ヒル・コントロール(PHC)は、急な坂道、冬場の山道などで下り坂を前進または後退でゆっくり走行するときにドライバーを支援するアシスタンス・システムです。

システムは4つのホイールすべてにブレーキをかけて、速度を制限します。ABSは作動を継続し、ホイールのロックを防ぎます。



警告

制動力の低下

通常のブレーキと同様にブレーキ性能はすべりやすい路面状況（凍結路やぬかるみなど）によって制限され、事故につながる可能性があります。

- ▶ 常に走行状況に応じた適切な運転を心がけてください。

ボルシェ・ヒル・コントロール(PHC)の使用

ボルシェ・ヒル・コントロールは以下の条件が揃った場合のみ使用できます。

- ✓ ボルシェ・ヒル・コントロール(PHC)がONになっている
- ✓ 約3km/h~30km/hの速度で走行している
- ✓ 坂道の勾配率が約12%以上
- ✓ ドライバーがアクセルまたはブレーキを踏んでいない

PHCの起動

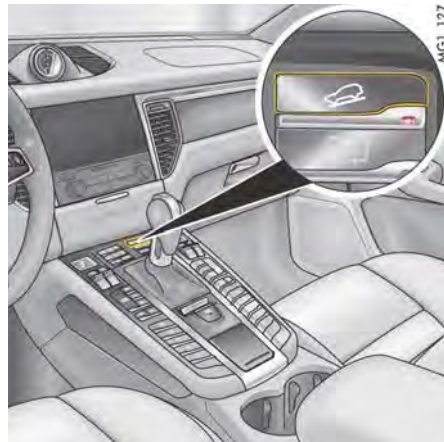



図231: ボルシェ・ヒル・コントロール(PHC)ボタン

- ▶  ボタンを押してください。ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。マルチファンクション・ディスプレイに以下のいずれかのシンボルが表示されます。



PHCスタンバイ

マルチファンクション・ディスプレイのグレーのPHCアイコンは使用可能な状態(スタンバイ)を示します。



PHCコントロール作動/設定速度

設定速度がPHCシンボルの下に橙色で表示され、その後白色に変わります。




インフォメーション

作動状態のシステムはもう一度作動スタンバイ状態になります。

坂道の勾配率が約6%未満の場合

PHCの解除

- ▶  ボタンを再度押してください。ボタンのインジケーター・ライトが消灯します。

速度の変更

- ✓ PHCが作動している
- ▶ ブレーキまたはアクセル・ペダルを踏んでください。
または

クルーズ・コントロールまたはアダプティブ・クルーズ・コントロールがONの場合、クルーズ・コントロール操作レバーを使用して設定します。

ブレーキまたはアクセル・ペダルを放したとき、およびクルーズ・コントロールまたはアダプティブ・クルーズ・コントロール操作レバーを使用して希望する速度を設定したときに、新しい速度が保存されます。

- ▶ 「クルーズ・コントロール」(95ページ)を参照してください。
- ▶ 「アダプティブ・クルーズ・コントロール (ACC)」(37ページ)を参照してください。

ボルシェ・スタビリティ・マネージメント (PSM)

PSMは、過酷な走行条件下で車体を安定させるためのアクティブ・コントロール・システムです。エンジンが始動すると自動的に有効になります。PSMは、アンチロック・ブレーキ・システム (ABS) とエンジン・ドラッグ・トルク・コントロール・システム (MSR) の機能と同様にオートマチック・ブレーキ・ディファレンシャル (ABD) とアンチスリップ・コントロール (ASR) システムの両方を利用します。



警告

車両コントロールの喪失

PSMを過信せず、路面状況、天候条件、交通状況に応じた責任ある運転を心がけてください。走行安全性は向上しますが、無謀な運転は避けてください。PSMが装備されていても、物理的限界を超えて車両をコントロールすることはできません。

PSMは危険なスピードによる事故のリスクを減らすことはできません。

以下の条件でPSMコントロールの作動を知ることができます。

- インストルメント・パネルのPSM警告灯が点滅します。
- 油圧作動音が聞こえます。
- PSM がブレーキを制御することで、減速の度合いやステアリング操作力が変化します。
- エンジン出力が低下します。
- ブレーキ・ペダルが振動し、ペダルの位置が変化します。

最大の制動力を得るため、ブレーキ・ペダルに振動を感じたら更に強く踏み込んでください。

オートマチック・ブレーキ・ディファレンシャル (ABD)

いずれかのアクスルで一方のホイールが空転し始めると、そのホイールにブレーキをかけて、反対側のホイールの駆動力を確保します。

アンチ・スリップ・コントロール (ASR)

アンチ・スリップ・コントロールがエンジン出力を制御することで、ホイールのスリップを防ぎ、直進安定性やハンドリング性能が維持されます。

エンジン・ドラッグ・トルク・コントロール (MSR)

オーバーラン時、ホイールのスリップが激しい場合、エンジン・ドラッグ・トルク・コントロールが駆動輪のロックアップを防ぎます。滑りやすい路面でシフトダウンした場合も同様です。

ステアリング・トルク・パルス

ステアリング・トルク・パルスは摩擦値が異なる路面でブレーキをかけた場合に運転者のステアリング・アシストを行います。カウンターステアリング中も操舵力を追加して運転者を支援します。

PSMスポーツの作動

- ✓ スポーツ・クロノ・パッケージ装備車
- PSMスポーツ・モードでは、システムが特定のスポーツ・モードに切り替わります。



警告

PSMサポート制限

PSMスポーツ・モードの場合、ABS制御の範囲外になるような過酷な走行状況ではPSMサポートが制限されます。

- ▶ 「通常」走行では常にPSMスポーツをOFFにすることを勧めます。
- ▶ コラプシブル・スベア・ホイールを装着して走行している場合は、絶対にPSMスポーツを有効にしないでください。
- ▶ ボタンを短く押してください。ボタンのインジケーター・ライトとインストルメント・パネルのPSM OFF警告灯が点灯します。マルチファンクション・ディスプレイにPSMスポーツが作動していることを示す警告が表示されます。

PSMをOFFにする



図232: センター・コンソールのPSM OFFボタン




警告

PSMアシストの停止

PSMをOFFにすると、ABS制御範囲外の走行状態でPSMサポートが行われません。

- ▶ 「通常」走行では常にPSMをONにすることを推奨いたします。
- ▶ コラプシブル・スベア・ホイールを装着して走行している場合は、PSMをOFFにしないでください。

- ▶  ボタンを短く押してください(スポーツ・クロノ・パッケージ装備車: ボタンを2秒以上押してください)。ボタンを押してから実際にPSMがOFFになるまでには、若干の遅れがあります。ボタンのインジケーター・ライトとインストルメント・パネルのPSM OFF警告灯が点灯します。マルチファンクション・ディスプレイにPSMがOFFに切り替わったことを示す警告が表示されます。





インフォメーション

ABSコントロール範囲内でブレーキをかけた場合、PSMがOFFの状態でも車両は安定性を維持します。片方の駆動輪が空転すると、PSMをOFFにしても空転を抑制します。

ただし次の場合は、例外として一時的にPSMをOFFにすることが有効です：

- ぬかるんだ路面、または積雪が多い場合
- スタックした車両を脱出させる場合


PSMを再度ONにする

- ▶  ボタンを押してください。直ちにPSMが復帰します。ボタンのインジケーター・ライトとインストルメント・パネルのPSM OFF警告灯 が消灯します。マルチファンクション・ディスプレイにPSMがONに切り替わったことを示すメッセージが表示されます。

オフロードPSM (オフロード走行プログラムのPSM) を有効にする

- オフロード・モードが作動した場合、特にオフロード走行に適したオフロードPSMが作動し、自動的にトラクションを強化します。オフロード・モードが設定されている場合、低速走行時にオフロードPSMの反応が遅くなり、様々な地形に対する安定性を向上させます。
- ▶ 「オフロード・モード」(77ページ)を参照してください。

警告シンボルへの対応

PSM警告灯に関するインフォメーション：

- ▶ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」(98ページ)を参照してください。

ABSブレーキ・システム (アンチロック・ブレーキ・システム)



警告

車両コントロールの喪失

ABSを過信せず、路面状況、天候条件、交通状況に応じた責任ある運転を心がけてください。走行安全性は向上しますが、無謀な運転は避けてください。ABSが装備されていても、物理的限界を超えて車両をコントロールすることはできません。

ABSは危険なスピードによる事故のリスクを減らすことはできません。

ABSの特徴：

- ステアリングの操作性の確保：安定したステアリング・コントロール性能を維持します。
- 優れた走行安定性：ホイール・ロックによるスリップを回避します。
- 制動距離の短縮：ほとんどの状況で、ブレーキをかけたときの制動距離が短くなります。
- ホイール・ロックの回避：ホイールがロックしたときに生じるタイヤのフラット・スポットを回避できます。

機能

ABSは緊急回避が必要な状況で最も効果を発揮し、走行安定性とステアリング・コントロール性を維持します。

ABSは、あらゆる路面状況下での急ブレーキ時、車両が停止する直前までホイール・ロックを回避します。

ホイールのロック点付近でブレーキをかけたときにABSは作動し始めます。

このブレーキ・コントロールは、大変小刻みなポンピング・ブレーキをかけるのと同じような状態です。

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

この脈動やノイズは、ドライバーが道路状況に対してスピードを調整する警告の役目をします。

最大制動力が必要な場合：

- ▶ 急ブレーキ操作が必要な場面では、ブレーキ・ペダルが振動してもしっかりとブレーキ・ペダルを踏み続けてください。ペダルを踏む力をゆるめないでください。

警告シンボルへの対応

ABS警告灯に関するインフォメーション (🚗)：

- ▶ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」(98ページ)を参照してください。

オフロードABS (オフロード・モードでのABS) を有効にする

オフロード・モードが作動した場合、特にオフロード走行に適したABS設定が自動的に作動します。

- ぬかるんだ路面上でブレーキをかけた場合、ABSの許容スリップ値が上がり、オフロードでの制動距離が短縮されます (ホイールが路面に食い込む)。
- ドライバーがステアリングを操作する必要がある場合、オフロード・モードが自動的に解除され、ステアリング操作ができるようになります。
- ▶ 「オフロード・モード」(77ページ)を参照してください。

マルチコリジョン・ブレーキング

マルチコリジョン・ブレーキングは、事故が起こった際に自動的にブレーキをかけ、衝突後の車両の横滑りや多重事故のリスクを軽減し、ドライバーを補助します。

前提条件

マルチコリジョン・ブレーキングは以下の場合にのみ作動します：

- 車両の前方、横方向および後ろからの衝突時

- エアバッグ・コントロール・ユニットが事故の際に作動しきい値を検出したとき
- 車速約10km/h以上で走行しているときに事故に遭った場合

i インフォメーション

事故後にPSMや電気系統に損傷がなく、作動可能な場合、PSMが自動的に油圧ブレーキを作動させます。

例外

以下の状況では事故の際に自動的にブレーキが作動しません：

- ドライバーが急激にアクセル・ペダルを踏んだとき
- ドライバーがブレーキ・ペダルを踏み込んだときのブレーキ油圧がシステムのブレーキ油圧より高いとき

トレーラー・スタビリティ・マネージメント

(国によって異なります)

トレーラー・スタビリティ・マネージメントは、PSMの機能の一部です。

トレーラー・スタビリティ・マネージメントは、トレーラー車両の不安定な横揺れを検出します。

このような危険な走行状況を検出すると、挙動が安定するまでフロント・アクスルのブレーキに個別にブレーキをかけます。ドライバーはこの時点ではまだトレーラー車両を加速させることができます。より大きな横揺れが発生した場合、トレーラー・スタビリティ・マネージメント機能は挙動が安定するまで車両にブレーキをかけます。

ただし、トレーラー・スタビリティ・マネージメントはあらゆる状況で走行安定性を確保できるものではありません。例えば滑りやすい路面やぬかるんだ路面では、トレーラー車両のジャックナイフ現象が発生する恐れがあります。トレーラー車両の重心位置が高いと、転倒する恐れがあります。

- ▶ この制御が作動したときは、慎重にステアリングを操作してください。

- ▶ 「トレーラーを連結しての運転」(205ページ)を参照してください。

▲ 警告 車両コントロールの喪失

トレーラー・スタビリティ・マネージメントを過信せず、路面状況、天候条件、交通状況に応じた責任ある運転を心がけてください。

走行安全性は向上しますが、無謀な運転は避けてください。トレーラー・スタビリティ・マネージメントが装備されていても、物理的限界を超えて車両をコントロールすることはできません。

トレーラー・スタビリティ・マネージメントは危険なスピードによる事故のリスクを減らすことはできません。

▲ 警告 トレーラーのジャックナイフ現象

滑りやすい路面やぬかるみなどで、トレーラー車両のジャックナイフ現象が発生した場合、トレーラー・スタビリティ・マネージメントは、走行安定性を維持することができません。

- ▶ 路面状況に応じた適切な運転を心がけてください。

▲ 警告 トレーラーの横転

トレーラー車両の重心位置が高いと、転倒する恐れがあります。

- ▶ 慎重に運転してください。

▲ 警告

速度超過

トレーラー車両をけん引するとき、道路条件、交通状況、路面状態、車両/トレーラー車両重量に合わせて適切な速度で運転してください。トレーラーけん引中の速度の出し過ぎは、車両およびトレーラーのコントロールを失う可能性があります。

- ▶ 地域の法律等を遵守してトレーラー車両をけん引してください。
- ▶ トレーラー車両を連結した場合の走行安定性は、速度が上がるにつれて悪化します。下り坂や悪路、悪天候（強風）のときは特に速度を落として運転してください。
- ▶ 長い下り坂では適切な低速ギヤに入れ、エンジン・ブレーキを使用してください。
- ▶ トレーラー車両のみに荷物を積まないでください。重量バランスを考慮し、けん引する車両にも荷物を積んでください。
- ▶ やむを得ず、トレーラー車両のみに荷物を積載する場合は、低速で走行してください。
- ▶ トレーラー車両が軌道から外れたときは、直ちに減速してください。カウンターステップで走行姿勢を保たないでください。必要に応じてブレーキをかけてください。車両とトレーラー車両の姿勢をまっすぐに立て直すために加速しないでください。

- ▶ 「重量（メーカー発表値）」（378ページ）を参照してください。
- ✓ トレーラー・コネクタが接続され、トレーラー車両が検出されていること。
- ✓ トレーラーのライト類（ライト、ブレーキ・ライト、インジケーター）が正常に作動すること。トレーラーが完璧に機能していること。
- ✓ 方向指示灯をONにすると、トレーラーの方向指示灯インジケーター・パイロット・ライトが作動すること。
- ▶ 「警告灯および表示灯」（49ページ）を参照してください。

作動準備

- ✓ トレーラー・スタビリティ・マネージメントは、PSMがONのときに約65km/h以上の速度で作動します。
- ▶ 地域の法律等を遵守してトレーラー車両をけん引してください。

i インフォメーション

- PSMをOFFにすると、トレーラー・スタビリティ・マネージメントの作動もOFFになります。
- ブレーキ・ペダルを踏むと、PSMがOFFでもトレーラー・スタビリティ・マネージメントがONになります。
- 電動可倒式トレーラー・ヒッチ装備車両では、ヒッチを完全に拡張させ、作動位置にしてください。

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

ポルシェ車両追跡システム・プラス (PVTS プラス) *

ポルシェ車両追跡システム(PVTS)プラス*はGPS/GPSベースの追跡システムです。車両が盗難された場合、セキュリティ・オペレーティング・センター(SOC)はこのシステムを使用して車両の位置を特定し、警察などの関係当局が車両の確保を行います。

PVTSプラスは、車両盗難時の警告を検出すると、直ちに当該車両の位置をSOCに送信します。

PVTSプラス*には3つの異なる装備仕様があります：

- ドライバー・カード付きPVTSプラス*
- リモート・キーパッド付きPVTSプラス*
- ドライバー・カード/リモート・キーパッドなしのPVTSプラス*

各国の車両保険および法律に応じて、PVTSプラスの装備仕様が異なります。車両に装備されているPVTSプラスの仕様についてご不明な点は、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

i インフォメーション

スマートフォン・アプリ「ポルシェ・カー・コネクト」装備車では、アプリを使用して直接PVTSプラスを設定することができます。アプリのインストール、機能、および管理に関する詳細情報は以下から入手できます。
www.porsche.com/connect

付属品およびシステムの初回アクティベーション

PVTSプラスはポルシェ正規販売店にてテストを行っています。アクティベーションに関するご質問はポルシェ正規販売店までお問い合わせください。

システムのアクティベーション後、お近くのセキュリティ・オペレーティング・センター(SOC)およびサービス・プロバイダーの電話番号などの重要な情報が与えられます。

システムのアクティベーションに関する更に詳しい情報はwww.porsche.com/connectまたはポルシェ正規販売店から入手できます。

機能

車両の位置特定は、盗難にあった場合にのみ実施されます。盗難が発生した場合、登録した携帯電話にメッセージが送信されます。車両の位置は安全上の理由からメッセージには記載されません。

- ▶ 車両の盗難が発生した際はコントロール・センターにご相談ください。盗難が発生したときは、最寄りの警察に届け出る必要があります。

以下の場合、警報が作動します：

- **車両の不正な移動**：イグニッションがOFFの状態でも車両が移動された場合(ドライバー・カード/リモート・キーパッド装備車：ドライバー・カード/リモート・キーパッドがない状態で車両が移動された場合)
- **妨害**：PVTSプラス*が許可されていない何者かに使用された場合
- **侵入警報**：警報システムが作動し、警報が15秒間以上作動し続けます。
- **イグニッション・ロック警報**(リモート・キーパッド付きPVTSプラス用)：イグニッションをONにした後、3分以内にリモート・キーパッドにコードが入力されなかった場合
- **コード警報**(リモート・キーパッド付きPVTSプラス用)：間違ったコードがリモート・キーパッドで連続5回入力された場合

i インフォメーション

- どのような場合でも必ず車両の盗難を検出できるわけではありません。
- PVTSプラス警報は、バッテリーが上がった場合にも起動します。

バッテリーに関するインフォメーション：

- ▶ 「バッテリー」(229ページ)を参照してください。

i インフォメーション

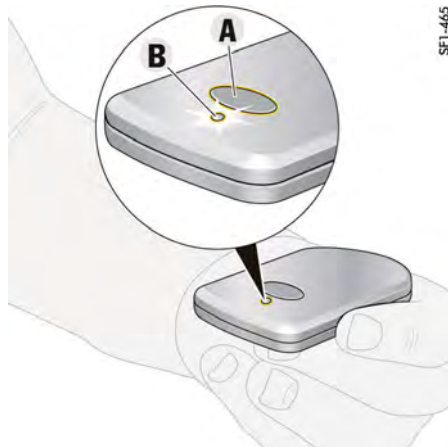
- 車両が盗難された場合、SOC は当該車両のエンジンを始動できないように操作することができます。
- スマートフォン・アプリ「ポルシェ・カー・コネクト*」装備車では、盗難された際にアプリを使用しての車両へのアクセスを禁止できます。

ドライバー・カード/リモート・キーパッドなしのPVTSプラス*の操作

PVTSプラスが通常作動していれば、お客様が操作を行う必要はありません。

ドライバー・カードによる PVTSプラス*の操作

作動中のドライバー・カードにより、PVTSプラスが自動的に作動を停止します。



SF1-465

図233: ドライバー・カードのボタン A およびインジケータ・ライト B

ドライバー・カードのスイッチON

- ▶ ドライバー・カードのボタンAを押してください。

インジケータ・ライトBが速く点滅します。ボタンAから手を離すと、インジケータ・ライトが約3秒間隔で点滅します。

作動中のドライバー・カードのインジケータ・ライトが3秒間隔で点滅しなくなった、またはドライバー・カードのボタンAを押したときに点滅しない場合は、電池が消耗しています。電池を交換してください。

電池交換に関するインフォメーション:

- ▶ 「ドライバー・カード/リモート・キーパッド用電池の交換」(291ページ)を参照してください。

* 日本仕様に設定はありません。

ドライバー・カードのスイッチOFF

- ▶ ドライバー・カードのボタンAを押し、インジケータ・ライトBが消灯するまで約8秒間押し続けてください。
- ▶ 電池の寿命を延ばすため、長期間使用しない場合はドライバー・カードの電源をOFFにしてください。

i インフォメーション

航空便で輸送する場合、ドライバー・カードは航空便で適用されるガイドラインに従ってOFFにする必要があります。

ドライバー・カードでPVTSプラス*を作動させる

- ▶ 車両から離れるときはイグニッションをOFFにし、ドライバー・カードを持って降りてください。
- ▶ ドライバー・カードが車両から十分離れたとき、PVTSプラスが約70秒後に作動します。車両の盗難を検出します。

ドライバー・カードでPVTSプラス*を停止する

- ▶ 車両のセンター・コンソールにドライバー・カードを置か、常に携帯してください。作動中のドライバー・カードが車内、または車両のすぐ近くにある場合にPVTSプラスが停止します。

i インフォメーション

- ドライバー・カードをラゲッジ・コンパートメントやエンジン・コンパートメントに置いたり、コインなどの金属の近くに置かないでください。
- 盗難されたキーを使用して車両が盗難されることがあります。キーにドライバー・カードを取り付けしないでください。

i インフォメーション

PVTSプラス*は、1車両につき最高7個のドライバー・カードを検出できます。ドライバー・カードの追加、消去、または交換を希望される場合は、ボルシェ正規販売店にご相談ください。車両には作動中のドライバー・カードを1枚のみ置いてください。

ドライバー・カードの不具合

特別な状況下では(電波干渉を受けるなど)、ドライバー・カードが検出できないことがあります。マルチファンクション・ディスプレイに警告が表示されます。

- ▶ ドライバー・カードのボタンAを押して、ドライバーの検出を開始してください。マルチファンクション・ディスプレイに表示される警告メッセージに関するインフォメーション:
- ▶ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」(98ページ)を参照してください。

ドライバー・カードの緊急停止

- ▶ ドライバー・カードを使用してPVTSプラスが停止できない場合(ドライバー・カードの電池が消耗している、またはドライバー・カードを紛失した場合は、SOCにシステムの停止を要請してください。

リモート・キーパッドによる PVTSプラス*の操作

PVTS プラスを停止するためにはリモート・キーパッドの数字キーを使用してコードを入力しなければなりません。PVTSプラスが作動するとすぐに、メッセージによりコードを受信します。

56-463

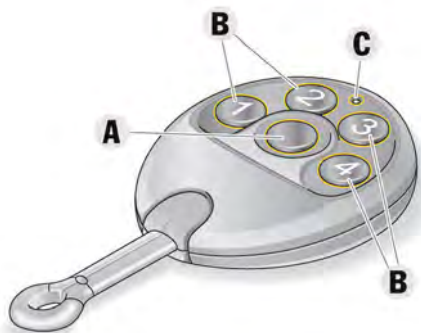


図234: PVTSプラス・リモート・キーパッド

- A プログラミング・ボタン
- B コード入力用数字キー
- C インジケーター・ライト

リモート・キーパッドでPVTSプラス*を 作動させる

- ▶ 車両から離れるときはイグニッションをOFFにし、リモート・キーパッドを携帯してください。

PVTSプラスは約3分後に作動します。

車両の盗難を検出します。

リモート・キーパッドでPVTSプラス*を 停止させる

1. ボタンAを押してください。
リモート・キーパッドのインジケーター・ライト C が点滅し始めます。
2. キーパッドの数字キー B を使用してコードを入力し、ボタンAを押して、決定してください。
インジケーター・ライトが消灯します。PVTSプラスが停止します。

コードを入力してもシステムが停止しない場合、もう一度やり直してください。5回入力に失敗すると、警報がSOCに送信されます。

イグニッションをONにした後、3分以内にPVTSプラスを停止しなかった場合、警報がSOCに送信されます。コントロール・センターはお客様に電話で連絡します。

マルチファンクション・ディスプレイの メッセージ

イグニッションONの後1分以内に正しいコードが入力されなかった場合、マルチファンクション・ディスプレイに警告が表示されます。正しいコードが入力されていない状態にある場合、1分後に再度警告メッセージが表示されます。

マルチファンクション・ディスプレイに表示される警告メッセージに関するインフォメーション:

- ▶ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」(98ページ)を参照してください。

i インフォメーション

- コードを変更しなければならない場合(コードを忘れた、または不正な人がコードにアクセスしようとしたなど)、サービス・プロバイダーにお問い合わせください。新しいコードがテキスト・メッセージで登録した携帯電話に送信されます。
- PVTSプラスは1車両につき最高7個のリモート・キーパッドを検出できます。リモート・キーパッドの追加、消去、または交換を希望される場合は、ポルシェ正規販売店にご相談ください。

リモート・キーパッドの緊急停止

- ▶ リモート・キーパッドを使用してPVTSプラスが停止できない場合(リモート・キーパッドの電池が消耗している、またはリモート・キーパッドを紛失した場合)は、SOCにシステムの停止を要請してください。

輸送

イグニッションをOFFにして車両を輸送する場合(フェリーなど)、トランスポート・モードを作動させてください。

車両をトランスポート・モードを作動させて車両をx輸送しなかった場合、警報システムの誤作動の原因となり、それに対する支払いが発生します(更に詳しい情報はwww.porsche.com/connectから入手できます)。

トランスポート・モードの作動/停止

- ▶ 車両の輸送前および車両の輸送が完了した時にコントロール・センターにご連絡ください。

サービス

PVTS プラスは以下の状況で車両サービス・モードに設定してください：

- 既定のカスタマー・サービス（定期点検など）の実施時
 - バッテリーの接続を外している場合
- 車両のサービス点検中に、車両をサービス・モードにしていなかった場合、警報システムが誤作動することがあり、警報システムが誤作動したときは、支払い義務が発生します（更に詳しい情報はwww.porsche.com/connectから入手できます）。

車両サービス・モードの作動/停止

- ▶ 車両の修理実施前後にコントロール・センターにご連絡ください。
- ▶ サービス点検時は、ポルシェ正規販売店にPVTSプラスが装備されていることをお知らせください。

更に：

- ▶ ドライバー・カード付き PVTS プラス*：PVTSプラスを停止するため、サービス点検時はドライバー・カードを車両に残してください。
- ▶ リモート・キーパッド付きPVTSプラス*：サービス点検時は、リモート・キーパッドをポルシェ正規販売店にお渡しください。コードを知らせる必要はありません。

i インフォメーション

サービス点検後、ドライバー・カード/リモート・キーパッドが返却されたことを確認してください。

ドライバー・カード/リモート・キーパッド用電池の交換



図235: ドライバー・カード用電池の交換

ドライバー・カード/リモート・キーパッドの電池が消耗した場合、登録した携帯電話に自動的にメッセージが送信されます。マルチファンクション・ディスプレイにメッセージが表示されます。

- ▶ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」(98ページ)を参照してください。

ドライバー・カード用電池の交換

1. ドライバー・カードをOFFにし、適切な道具（ドライバーなど）を使用して慎重に開いてください。
▶ 「ドライバー・カードのスイッチOFF」(289ページ)を参照してください。
2. 電池を交換してください（電極の向きに注意してください）。
3. ドライバー・カードを組み立てて、確実にはめ合わせてください。

リモート・キーパッド用電池の交換

SFI-466

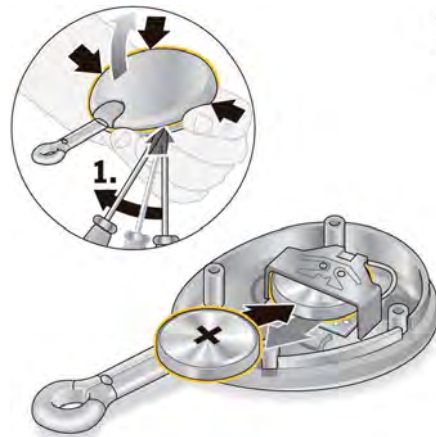


図236: リモート・キーパッド用電池の交換

1. 適切な道具（ドライバーなど）を使用してリモート・コントロールを慎重に開いてください。
2. 電池を交換してください（電極の向きに注意してください）。
3. リモート・キーパッドを組み立てて、確実に関じてください。

* 日本仕様には設定はありません。

規格との適合

ポルシェ車両追跡システム・プラス (PVTS プラス) *は、現在の欧州規格に準拠しており、関連するEU指令に従って操作することができます。この装置は最新の電磁波規制に適合しています。この装置の他の電気機器への電波干渉および他の電気機器からこの装置への電波干渉はほぼ完全に回避されています。

ドライバー・カード/リモート・キーパッド

Vodafone Automotive s.P.A.は、装置2781および8015は使用上の義務であるEU指令の基本的要件に適合しており、特に「R&TTE理事会指令1999/5/EG」および他の関連規約の基本要件に適合していることを承認します。装置にはCE 0678マークが付いています。

テレマチック・ユニット

Vodafone Automotive SpAは、装置ICD45(2145)が使用上の義務であるECガイドラインの基本的要件に適合しており、特に「R&TTE理事会指令1999/5/EC、ECER10」および他の関連規約の基本要件に適合していることを承認します。関連法規にしたがって装置にはE24 10R-04 1146 CE 0678マークが付いています。

GSM認可国 (抜粋)

アルバニア、アンドラ、オーストリア、ベルギー、ボスニア・ヘルツェゴビナ、ブルガリア、カナダ、中国、クロアチア、キプロス、チェコ共和国、デンマーク、エストニア、フィンランド、フランス、ジョージア、ドイツ、英国、ギリシャ、ガーンジー、ハンガリー、アイスランド、アイルランド、マン島、イタリア、ジャージー、ラトビア、リトアニア、ルクセンブルク、マケドニア、マルタ、モルドバ、モナコ、モンテネグロ、オランダ、ノルウェー、ポーランド、ポルトガル、レユニオン、ルーマニア、ロシア、セルビア、スロバキア、スロベニア、スペイン、スウェーデン、スイス、トルコ、米国
PVTSの使用に関する詳細情報は
www.porsche.com/connectから入手できます。

CE 0678

保管

荷物の収納

▲ 警告

固定されていない、または不適切な位置に積載された荷物

荷物を固定しなかったり不適切な位置に積載すると、ブレーキをかけたりステアリングを操作したとき、または事故の際に飛び出して、乗員がケガをする恐れがあります。

- ▶ 乗員スペースに荷物や固定していない物を載せて走行しないでください。
- ▶ 重量物を開いたままの小物入れの中に入れて運搬しないでください。
- ▶ 走行中は必ず小物入れを閉じてください。

知識

重く大きな荷物は収納ネットを損傷する恐れがあります。

- ▶ 収納ネット内には重たい荷物や大きな荷物を積載しないでください。

車両の装備仕様により、次のような収納オプションが利用できる場合があります。

- ペン・ホルダー付きグローブ・ボックス
- フロント・シート間のセンター・コンソール内の収納ボックス
- 助手席ドアのドア・ハンドルの小物入れ
- フロント・ドア・パネルの小物入れおよび書類入れ
- フロントおよびリヤ・ドア・パネルの小物入れおよびポトル・ホルダー
- フロント・センター・コンソール内の収納ボックス（スモーカーパッケージ非装備車）
- リヤ・センター・コンソールの小物入れ（2ゾーン・オート・エアコン装備車）

- フロント・シート下の小物入れ
- フロントおよびリヤのカップ・ホルダー
- フロント・シートのバックレスト背面のマップ・ポケット
- リヤ・グローブ・ハンドルの衣類用フック
- ラゲッジ・コンパートメントの進行方向右側にある鞆かけ
- ラゲッジ・コンパートメント・カバー下側のラゲッジ・ネット
- ラゲッジ・コンパートメントの進行方向右側にある収納ネット
- ラゲッジ・コンパートメント・フロア下の収納スペース

グローブ・ボックスの開閉

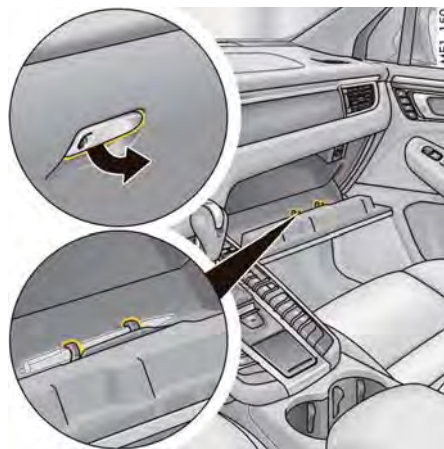


図237: グローブ・ボックスを開く

グローブ・ボックスを開く

- ▶ ハンドル（図237）を引いて、リッドを開いてください。

i インフォメーション

グローブ・ボックス・リッドの内側にはペン・ホルダーがあります。

グローブ・ボックスを閉じる

- ▶ 盗難防止のため、エマージェンシー・キーでハンドルを常にロックしてください。
 - ▷ 「エマージェンシー・キーを使用する場合」（85ページ）を参照してください。

グローブ・ボックスのクーラー機能に関するインフォメーション：

- ▶ 「グローブ・ボックスの冷却（3ゾーン・エアコン）」（65ページ）を参照してください。

ETC受信機



ETC本体、およびETC受信機は日本仕様では標準で装備されています。

ETC本体はグローブ・ボックス内に取り付けられています。ご利用前にETC専用カードの利用期限を確認し、カードがスロットに確実に挿入されているか確認してください。

センター・コンソール・アームレストの収納ボックスを開く



図238: センター・コンソール・アームレストの収納ボックス

アームレストの移動

1. アームレストのハンドルの取っ手(矢印)を挿入してください。
2. アームレストを前後に動かし、前方位置または後方位置でロックしてください。

収納ボックスを開く

1. アームレストのハンドルの取っ手(矢印)を挿入してください。
2. 収納ボックスを引き上げる

国別仕様に依じて、小物入れにスマートフォン・トレーが内蔵されているものもあります。
 ▷ 「設定の変更」(199ページ)を参照してください。

フロント・シート下の小物入れの開閉



図239: フロント・シート下の小物入れ

小物入れを開く

- ▶ ハンドル(矢印)を引いて、小物入れを開いてください。

小物入れを閉じる

- ▶ 音が聞こえるまで小物入れを起こしてください。

鞆かけの使用

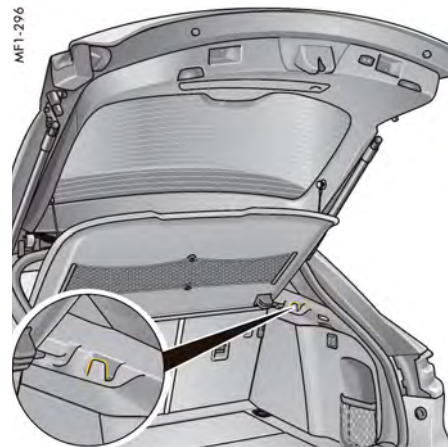


図240: 鞆かけ

荷室に小さな荷物(買い物袋など)をかけておくための鞆かけが、ラゲッジ・コンパートメントの進行方向右側に取り付けられています。

知識

重い荷物によって鞆かけを損傷する恐れがあります。

- ▶ 鞆かけは約7.5kgまでのみ保持できます。

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

ラゲッジ・ネットの使用

▲ 警告

ラゲッジ・ネット内の
重く大きな荷物

ブレーキやステアリングの操作時、または事故の際に、ラゲッジ・ネットに収納した重く大きな荷物が飛び出して、乗員がケガをする恐れがあります。

- ▶ ラゲッジ・ネットには重量が約1.5kg未満で柔らかいもののみを収納してください。

知識

尖った荷物によりラゲッジ・ネットを損傷する恐れがあります。

- ▶ ラゲッジ・ネットの中には尖った荷物を収納しないでください。

ラゲッジ・コンパートメント・カバー下側のラゲッジ・ネットは、柔らかく、小さな荷物を積載するときに便利です。

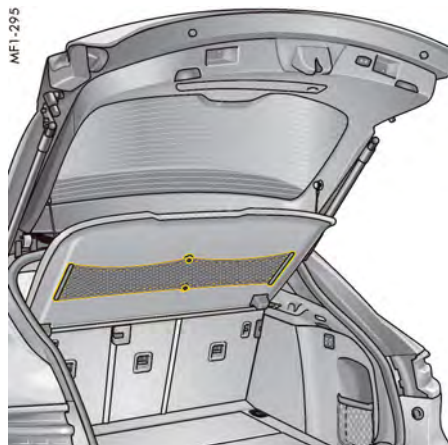


図241: ラゲッジ・ネット

マルチファンクション・ディスプレイ

この取扱説明書には機能の一部のみが記載されています。ここではメニューの構成や、主な機能を例示し、操作方法をわかりやすく説明します。

▲ 警告

走行時の設定と操作

運転中にマルチファンクション・ディスプレイ、ラジオ、ナビゲーション・システム、電話などの機器の操作、設定を行うと、注意力が散漫になり、車両のコントロールを失う恐れがあります。

- ▶ 周囲の交通状況が安全を確保できる場合に限り、運転中の操作を行ってください。（*運転中のナビゲーションの操作、注視は道路交通法で禁止されています。）
- ▶ 複雑な操作、設定は必ず車両を停止してから行ってください。



図242: マルチファンクション・ディスプレイの位置

i インフォメーション

マルチファンクション・ディスプレイはイグニッションがONのときのみ操作できます。

マルチファンクション・ステアリング・ホイールでのマルチファンクション・ディスプレイの操作

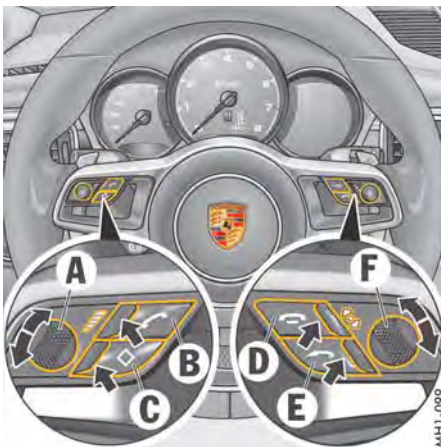


図243: マルチファンクション・ステアリング・ホイールのファンクション・ボタンの機能

i インフォメーション

マルチファンクション・ステアリング・ホイールの操作では、ポルシェ・コミュニケーション・システムをON/OFFできません。

音量の調整

- ▶ ボリューム・スイッチAを上または下に回してください。

ミュート機能のON/OFFを切り替える

- ▶ ボリューム・スイッチAを押してください。

メニューおよび機能/オプションを選択する(スクロール)

- ▶ ロータリー・ノブFを上方向または下方向に回してください。

電話およびラジオのリストから希望する項目の冒頭までスキップする

- ▶ ロータリー・ノブFを上方向または下方向に素早く回してください。
頭文字を選択する画面が表示されます。
- ▶ 任意の頭文字を選択してください。
選択した頭文字ではじまる登録情報の、最初の項目にスキップします。

選択の決定(Enter)

- ▶ ロータリー・ノブFを押してください。

保存した機能呼び出す

- ▶ MFSボタンCを押してください。
ボタンは個別に割り当てることができます。初期設定ではオーディオ・ソースの選択に設定されています。

ボタンのパーソナル設定に関するインフォメーション:

- ▶ 「マルチファンクション・ステアリング・ホイールのボタンの割り当て変更」(311ページ)を参照してください。

1つ前、または複数前のメニューに戻る

- ▶ バック・ボタンEを押してください。

着信を受ける

- ▶ ピックアップ・ボタンBを押してください。

通話を終了する、または着信を拒否する

- ▶ ハングアップ・ボタンDを押してください。

マルチファンクション・ディスプレイの表示エリア

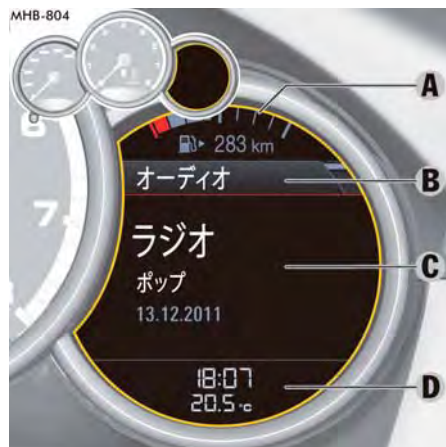


図244: マルチファンクション・ディスプレイの表示エリア

A/D - 上部/下部ステータス・エリア

上部/下部ステータス・エリアには、コンパス、時刻、温度などの基本情報が表示されます。ステータス・エリア表示は個別の設定ができます。
 ▶ 「マルチファンクション・ディスプレイの表示を変更する」(305ページ)を参照してください。

B - タイトル・エリア/メニュー・インジケータ

タイトル・エリアには、現在選択しているメニュー項目が表示されます。
 右側のメニュー・インジケータ(灰色のバー)には、選択可能な全メニューにおける現在のメニュー項目の位置および、選択できるメニュー項目の数が表示されます。
 メニュー・インジケータの幅が広いほど、選択できるメニュー項目の数が少ないことを意味します。

C - インフォメーション・エリア

インフォメーション・エリアには、現在選択できるメニュー項目が表示されます。メニュー項目を選択した後は、そのメニュー項目に関する情報や、その他の選択肢が表示されます。

オプションの選択および機能の有効化

各オプションの項目名の前に付いているシンボル・マークは、その項目が選択されているか、またはその機能が有効になっているかを示します。

複数のオプションから1つを選択する

- 選択されたオプション
- 選択されていないオプション

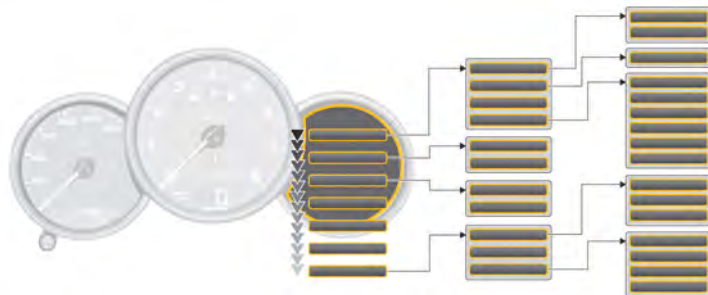
機能の作動/停止

- 機能が作動している
- 機能が停止している

メニュー概要

車両の装備仕様により、様々な車両情報の確認、オーディオ（ラジオ、CD、iPod®など）やナビゲーション・システムの操作*、オイル・レベルやタイヤ空気圧の点検、ストップウォッチの使用などが行えます。また、様々な車両設定を変更することができます。タイヤ空気圧モニタリング・システム (TPM) の設定など一部のメニューは停車中のみ利用できます。

M000_40



メニュー	何ができるか	ページ
▶ 車両 ▶ 情報	車両情報の確認（メッセージ、サービス間隔、平均燃費、シャーシ設定）	299
▶ 車両 ▶ オイル測定	エンジン・オイル・レベルのチェックと表示	299
▶ 車両 ▶ 制限	速度制限の設定	300
▶ 車両 ▶ 設定 ▶ 表示	マルチファンクション・ディスプレイの表示を変更する	305
▶ 車両 ▶ 設定 ▶ 日付 & 時刻	日付と時刻を変更する	307
▶ 車両 ▶ 設定 ▶ アシストシステム	アシスタンス・システムの調整	308
▶ 車両 ▶ 設定 ▶ ライト & ビュー	エクステリア・ライト、インテリア・ライト、バック・モニター、およびフロント・ワイパー設定の調整	310
▶ 車両 ▶ 設定 ▶ ハンドル操作 ▶ 0 キー（MFSボキー）	マルチファンクション・ステアリング・ホイールのMFSボタンを割り当てる	311
▶ 車両 ▶ 設定 ▶ ロック	ロック/ロック解除設定の調整	312
▶ 車両 ▶ 設定 ▶ エアコン	エアコンの設定	312
▶ 車両 ▶ 設定 ▶ 音量	警告音量および駐車アシストの調節	312
▶ 車両 ▶ 設定 ▶ Car Connect	車両とポルシェ・カー・コネクト・アプリ間の通信の設定	312
▶ 車両 ▶ 設定 ▶ 単位	車両ディスプレイ用単位の変更	313
▶ 車両 ▶ 設定 ▶ 言語	言語の設定設定	313
▶ 車両 ▶ 設定 ▶ リセット	工場出荷時の設定に戻す	314

* 日本仕様に設定はありません。

メニュー	何ができるか	ページ
▶ オーディオ	有効なオーディオ・ソースから放送局またはトラックを選択する	342/322
▶ 電話	電話を使用する	196
▶ 地図	地図画面を表示/調整する	218
▶ ナビ	ナビゲーション・システムを使用する	215
▶ トリップ	走行データを表示/リセットする	202
▶ タイヤ空気圧	タイヤ空気圧を表示してタイヤ設定を調整する	301
▶ 4輪駆動	4輪駆動情報を確認する	304
▶ クロノ	ストップウォッチで時間を計る	144
▶ ACC	アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)の使用	37
▶ 制限速度*	制限速度の表示	157

車両メニュー

メッセージの表示

▶ 車両 ▶ 情報 ▶ メッセージ

未解決の警告メッセージまたは車両メッセージが表示されます。

下部のステータス・エリアに表示される警告シンボル・マークは、未解決の警告メッセージの数を示しています。

複数の警告メッセージが未解決の場合、メッセージ・リストで閲覧できます。

サービス・インターバルの表示

次回のサービス（点検）の情報や時期が表示されます。

1. 車両 ▶ 情報 ▶ サービス間隔

2. 任意のサービス・インターバルを選択してください。

選択したシャーシ設定の表示

▶ 車両 ▶ 情報 ▶ レベル

平均燃費の表示

▶ Vehicle (車両) ▶ Info (インフォメーション) ▶ 平均燃費

エンジン・オイル・レベルのチェックと表示

知識

オイル・レベルが下限マークを下回っている場合、エンジン・オイルが不足しており、適切な潤滑ができません。エンジンを損傷する恐れがあります。

- ▶ オイル・レベルを定期的に点検してください。
- ▶ オイル・レベルが下限マークを下回らないように注意してください。

エンジン・オイル・レベルの点検

i インフォメーション

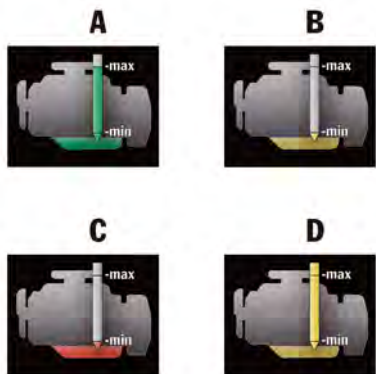
状況により、オイル・レベルが表示されないことがあります。例えば、以下のような状況が考えられます。

- エンジン冷間時
 - フルスロットで高速走行後の停車時
 - エンジン油温が高すぎる場合
- マルチファンクション・ディスプレイに該当するメッセージが表示されます。

- ✓ 車両を平坦な場所に駐車してください。
- ✓ エンジンが作動温度に達した状態で、1分間以上停止してください。

▶ 車両 ▶ オイル測定

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z



SA1-357

図245: オイル・レベル・ゲージ

- A オイル・レベルは適正 - 上限に達している
- B オイル・レベルは下限に達している
- C オイル・レベルが下限を下回っている
- D オイル・レベルが上限を超えている

表示が緑色 **A** の場合、オイル・レベルは最高水準にあり、適正です。

最下部が黄色 **B** で表示されている場合、オイル・レベルが下限まで低下しています。オイル・レベルが低下していることを知らせるメッセージが表示されます。

- ▶ 可能な際にマルチファンクション・ディスプレイに表示されているエンジン・オイルの量を補充してください。
- ▶ 表示された補充量以上のエンジン・オイルを補充しないでください。

最下部が赤色 **C** で表示されている場合は、オイル・レベルが下限を下回っています。オイル・レベルが低過ぎることを知らせるメッセージが表示されます。

- ▶ 運転を続けしないでください。

- ▶ マルチファンクション・ディスプレイに表示されている量のエンジン・オイルを今すぐ補充してください。
- ▶ 表示された補充量以上のエンジン・オイルを補充しないでください。

最上部 **D** まで黄色で表示されている場合、エンジン・オイルが容量の上限を超えて補充されていることを示しています。これによって車両が損傷するおそれがあります。

エンジン・オイルの補充量が多すぎたときは、オイルレベルが上限を超えていることを知らせるメッセージが表示されます。

次の機会にオイル・レベルを適正に戻してください。

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

エンジン・オイルの補充

- ▶ 「エンジン・オイルの選択と補充」(69ページ)を参照してください。

故障

オイル・レベル測定が失敗した場合、オイル測定機能に不具合があることを知らせるメッセージが表示されます。

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

制限速度の設定

制限速度を設定して機能を作動させると、その速度を超えたときに警告メッセージが表示されます。

例えば、装着しているタイヤの許容最高速度に合わせて制限速度を設定し、運転者に注意を喚起したいときに利用できます。

1. 車両 ▶ 制限 ▶ 制限1 または 制限2
2. 任意の制限を選択してください。

- **現在の速度**: 現在の速度を設定してください。
- **手動**: 制限速度を設定してください。
- **作動**: 制限速度作動中
 制限速度無効

補助ヒーター*の設定

補助ヒーターのON/OFF

- ✓ イグニッションをONにしてください。

- ▶ 車両 ▶ 補助ヒーター ▶ すぐに作動 or すぐに停止

補助ヒーターをONにすると、マルチファンクション・ディスプレイのインジケーター・ライト^①が点灯します。

補助ヒーターのタイマーのプログラミング

- ▶ 車両 ▶ 補助ヒーター ▶ タイマー 1 または タイマー 2 または タイマー 3

- **調節**スイッチONの日付と時刻を設定する最初のデジタル・スペースは時刻、次のスペースは日付を表します。プログラムする日時は未来の時刻になるようにしてください。
- **Activate (作動)**タイマーの有効/無効を切り替えてください。1回に1つのタイマー設定のみが作動します。タイマーが作動すると、マルチファンクション・ディスプレイのインジケーター・ライト^②が、イグニッションをOFFにする点滅を開始し、車両をロックするまで、または最大30秒間点滅し続けます。

* 日本仕様に設定はありません。

- 消去タイマーがリセットされると、日時は表示されません。

車両設定の調節

- ▷ 「マルチファンクション・ディスプレイを使用した車両設定」(305ページ)を参照してください。

オーディオ・メニュー

- ▷ 「マルチファンクション・ディスプレイを使用して放送局を選択する」(342ページ)を参照してください。
- ▷ 「マルチファンクション・ディスプレイを使用して、有効なオーディオ・ソースからトラックを選択する」(322ページ)を参照してください。

電話メニュー

- ▷ 「マルチファンクション・ディスプレイで電話を使用する」(196ページ)を参照してください。

地図メニュー

- ▷ 「マルチファンクション・ディスプレイによるマップ・ビューの表示および設定」(218ページ)を参照してください。

ナビゲーション・メニュー

- ▷ 「マルチファンクション・ディスプレイでの目的地の入力」(215ページ)を参照してください。
- ▷ 「マルチファンクション・ディスプレイによるルート案内の開始および停止」(215ページ)を参照してください。

トリップ・メニュー

- ▷ 「マルチファンクション・ディスプレイにドライビング・データを表示する」(202ページ)を参照してください。

タイヤ空気圧メニュー (タイヤ空気圧モニタリング、TPM)

タイヤ空気圧モニタリング・システムには次の機能があります：

- タイヤ空気圧および温度を常時監視します。
- 走行中の実際のタイヤ空気圧を表示します。
- 空気圧の低下を2段階（黄色/赤色）で警告します。
- 停車しているとき規定空気圧との差を表示し、タイヤ種類および積載状態を選択することができます。

警告

不適切なタイヤ空気圧

タイヤ空気圧が低いまたは高いと、タイヤおよびホイールに修復不可能な損傷を与えるだけでなく、制動距離が長くなり、事故を起こす危険が大幅に高まります。タイヤ空気圧モニタリング・システムの有無にかかわらず、タイヤ空気圧を適切に維持し、タイヤ空気圧メニューを適切に設定することは運転者の責務です。

- ▷ ご使用のタイヤの種類および積載重量に適したタイヤ空気圧に調整してください。
- ▷ 「タイヤ空気圧」(381ページ)を参照してください。
- ▷ マルチファンクション・ディスプレイのタイヤ圧力 (TPM) メニューの設定が、車両に装着されているタイヤおよび積載重量と一致していることを確認してください。タイヤを交換したときや、積載荷重が変化したときは、タイヤ空気圧メニューの設定を更新してください。


▲ 警告

不適切なタイヤ空気圧

- ▶ タイヤ/ホイールを交換したときは、新しく装着したタイヤ/ホイールの種類とサイズが従来と同一であっても、マルチファンクション・ディスプレイで改めて選択しなければなりません。
- ▶ マルチファンクション・ディスプレイへの入力情報が不足していたり、タイヤの選択を誤ると、警告とメッセージ表示の正確さに悪影響を及ぼします。
- ▶ マルチファンクション・ディスプレイに赤色のタイヤ空気圧警告が表示された場合は、速やかに適切な場所に停車し、タイヤに損傷がないか点検してください。必要に応じてパンク修理剤で応急処置を行ってください。
- ▶ 「パンクしたとき」(232ページ)を参照してください。
- ▶ 損傷したタイヤを装着したままで運転を続け**ない**でください。損傷したタイヤは速やかに交換してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ 空気圧を調整しても短時間で空気が抜ける場合、そのタイヤでの運転を続け**ない**でください。ポルシェ正規販売店で点検を受けてください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

タイヤ空気圧モニタリング・システムの故障

故障が発生すると、タイヤ空気圧モニタリング・システムはタイヤ空気圧の監視を行うことができません。

インストルメント・パネルのタイヤ空気圧警告灯  が点灯し、マルチファンクション・ディスプレイにメッセージが表示されます。

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

次のような状況では、TPM機能は利用できません:

- タイヤ空気圧モニタリング・システムが故障している場合
- タイヤ空気圧モニタリング・システム用のホイール・トランスミッターが取り付けられていない場合
- タイヤの設定を更新した直後の登録プロセス中
- ホイールを交換した後、設定を更新しなかった場合
- タイヤの温度が高すぎる場合
- ▶ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」(98ページ)を参照してください。
- ▶ 「警告灯および表示灯」(49ページ)を参照してください。

タイヤ空気圧表示

i インフォメーション

イグニッションをONにした後、車両の速度が約25km/hを超えたときのみタイヤ空気圧が登録されて表示されます。空気圧を表示するまではダッシュ記号「-」を表示します。イグニッションをOFFにして再度ONにした場合、または車両を約10分以上停止した場合、タイヤ空気圧は表示されなくなります。タイヤに0.1bar以上の空気を補充した場合、該当するタイヤ空気圧が更新されて表示されます。

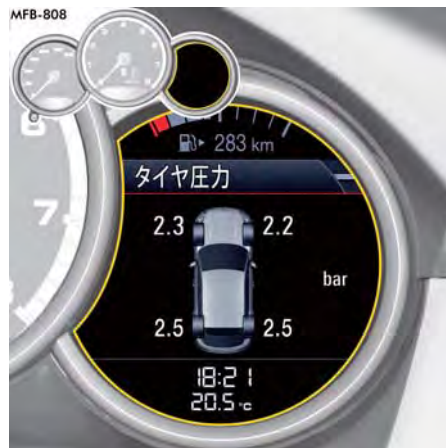


図246: タイヤ空気圧表示

- ▶ TPM メニュー を選択してください。

i インフォメーション

タイヤ空気圧モニタリング・システムは、自然放散による空気圧低下や、タイヤに異物が刺さったときなどの空気圧のゆっくりとした低下を検出して警告します。

その一方、突発的な外的要因によるタイヤのパンクなど、急激な空気圧の低下は検出できず、警告しません。

この空気圧表示は、情報としてのみ利用してください。タイヤ空気圧は温度によって変化します。

- ▶ いかなる場合も、この表示を元にタイヤ空気圧を調整しないでください。

充填情報表示

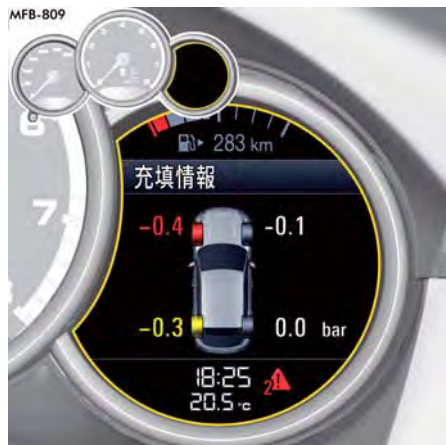


図247: 充填情報の例

- ✓ 停車しているとき

▶ TPM ▶ 充填情報

該当するホイールの規定圧との差が表示されます。

例：右リヤ・タイヤの位置に「-0.1 bar (-1.5 psi)」と表示された場合は、このタイヤに0.1barの空気を補充してください。

表示されている空気圧は、タイヤ温度を考慮した結果の数値です。

- ▶ タイヤ空気圧を補正するときは、充填情報ディスプレイまたは該当するタイヤ空気圧警告に表示される圧力差のみを使用してください。

タイヤをまだ登録していない場合、現在の圧力差の代わりに、新しい規定空気圧が表示されます。

- ▶ 「タイヤ空気圧モニタリングシステム (TPM) 登録中」(304ページ)を参照してください。

タイヤ種類の選択 (装着タイヤの種類とサイズ)

i インフォメーション

利用できる項目は、車両のモデル・タイプにより異なります。このため本書で説明している選択項目の中には、マルチファンクション・ディスプレイで利用できないものが含まれることがあります。

- ▶ マルチファンクション・ディスプレイに登録されていないサイズのタイヤを装着するときは、そのタイヤを装着する前に、マルチファンクション・ディスプレイに不足情報を追加する必要があります。

ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

- ▶ ポルシェ社が承認したタイヤのみを使用してください。

- ✓ 停車しているとき

▶ TPM ▶ タイヤ種類

選択できる設定と略語：

- 18" サマー：18" (S)
- 18" ウィンター：18" (W)
- 18" All Season (オール・シーズン)：18" (AS)
- 19" サマー：19" (S)
- 19" ウィンター：19" (W)
- 19" All Season (オール・シーズン)：19" (AS)
- 20" サマー：20" (S)
- 20" ウィンター：20" (W)
- 20" All Season (オール・シーズン)：20" (AS)
- 21" サマー：21" (S)

タイヤ圧力 メイン・メニューのタイヤ種類 TPM の行に選択された設定の略語が表示されます。

全積載または部分積載の選択

- ✓ 停車しているとき

▶ TPM ▶ 全積載

- **全積載**: 全積載が選択されます。
- **全積載**: 部分積載が選択されます。
- ▶ 選択した荷重タイプに応じてタイヤ空気圧を調整してください。
- ▶ 「充填情報表示」(303ページ)を参照してください。


i インフォメーション

全積載が表示されない場合は、荷重タイプに応じてタイヤ空気圧の調整が必要ないことを意味します。

タイヤ空気圧モニタリングシステム (TPM) 登録中


タイヤ/ホイールを交換、ホイール・トランスミッターを交換、またはタイヤの設定を更新すると、タイヤ空気圧モニタリング・システムがタイヤの登録を開始します。このプロセスによって、タイヤ空気圧モニタリング・システムが各タイヤとその装着位置を認識します。タイヤ空気圧モニタリング・システムが各タイヤの装着位置を割り当てると、直ちにタイヤの位置と空気圧情報が表示されます。

登録中に冷間時のタイヤ (20 °C) の規定圧力が充填情報ディスプレイに表示され、メッセージ **No monitoring, system learns over 25 km/h (モニターシステムは25km/h以上でないと学習しません)** がマルチファンクション・ディスプレイに表示されます。

すべてのタイヤの登録が完了するまで、インストルメント・パネルのタイヤ空気圧警告灯  が点灯したままになります。

▶ 「警告灯および表示灯」 (49ページ) を参照してください。

タイヤ空気圧警告

インストルメント・パネルのタイヤ空気圧警告灯 、およびマルチファンクション・ディスプレイの警告メッセージは、空気圧低下の程度に応じて2段階 (黄色/赤色) で異常を知らせます。

インフォメーション

タイヤ空気圧を適正値に調整すると、タイヤ空気圧警告灯が消灯します。

車両を停止してイグニッションをOFFにする、または再びイグニッションをONにすると黄色のタイヤ空気圧警告が約10秒間表示されます。イグニッションをONにすると黄色のタイヤ空気圧警告を確認できます。

この赤色のタイヤ空気圧警告は走行中でも表示され、異常を知ることができます。

▶ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」 (98ページ) を参照してください。

4WDメニュー・ポルシェ・トラクション・マネージメント (PTM)

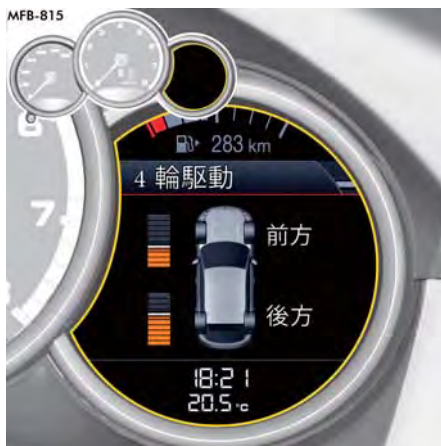


図248: トルク配分の例

▶ **4WD メニュー** を選択してください。

現在のトルク配分が棒グラフ形式で表示されます。橙色のバーは、フロント・アクスルとリヤ・アクスル間の現在のトルク配分を表しています。

クロノメニュー

▶ 「スポーツ・クロノ・ストップウォッチ」 (144ページ) を参照してください。

制限速度表示メニュー*

▶ 「制限速度表示*」 (157ページ) を参照してください。

ACCメニュー

▶ 「アダプティブ・クルーズ・コントロール (ACC)」 (37ページ) を参照してください。

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

マルチファンクション・ディスプレイを使用した車両設定

モデル、国別仕様および装備仕様に応じて、様々な車両設定を調整できます。ここではすべての車両設定について記載していますが、これらがすべてのモデル、国別仕様および装備仕様に対して利用可能なわけではありません。

車両設定はイグニッションをOFFにしても保存され続けます。

メモリー・パッケージ装備車では、この設定をキーや運転席ドアのメモリー・ボタンに保存することができます。

▷ 「パーソナル設定」(226ページ)を参照してください。

オプションの選択および機能の有効化

▷ 「マルチファンクション・ステアリング・ホイールでのマルチファンクション・ディスプレイの操作」(296ページ)を参照してください。

各オプションの項目名の前に付いているシンボル・マークは、その項目が選択されているか、またはその機能が作動しているかを示しています。

複数のオプションから1つを選択してください



選択されたオプション



選択されていないオプション

機能の作動/停止




機能が作動します



機能が停止します

PCMを介した車両設定

特定の車両設定はPCMからも行うことができます。

▷ **CAR** ボタン ▶ Set (設定)  ▶ 車両機能

マルチファンクション・ディスプレイの表示を変更する

▷ 「マルチファンクション・ディスプレイの表示エリア」(297ページ)を参照してください。

上部のステータス・エリアの表示を変更する

1. 車両 ▶ 設定 ▶ 表示 ▶ 上のライン
2. 希望する表示項目を選択してください。

- 残可走距離
- 表示なし

情報エリアを変更する

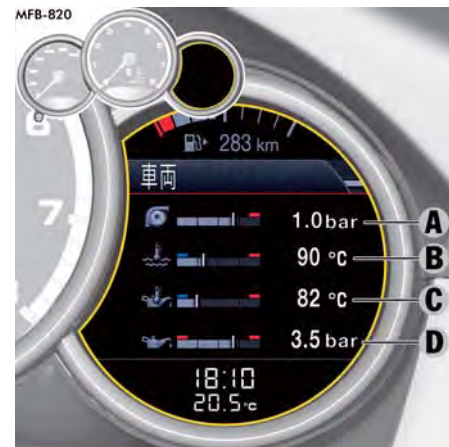


図249: 情報エリアの構成例

- A フィールド1: ここでは、ブースト圧
- B フィールド2: ここでは、冷却水温度
- C フィールド3: ここでは、エンジン油温
- D フィールド4: ここでは、エンジン油圧

様々な車両情報の中から4つを選択して、フィールド1、2、3および4に表示できます。車両情報の1つの項目を複数のフィールドに同時に割り当てることはできません。

B - 冷却水温度

バーが左にあるとき - エンジン冷間時

▶ エンジンを高回転域まで回さないでください。また、大きな負荷をかけないでください。

バーが中央にあるとき - エンジン通常作動温度

外気温が高いときにエンジンに大きな負荷をかけるとレッド・ゾーンを示すことがあります。

バーがレッド・ゾーンにあるとき - 作動温度が高すぎる

知識

エンジンを損傷する恐れがあります。

冷却水温度が異常に高くなると、水温計の指針が最高温度マークまで動きます。エンジン油温の警告シンボルがマルチファンクション・ディスプレイに表示され、警告灯が点灯または点滅します。

▶ レッド・ゾーンに達した場合は、直ちに安全な場所に停車してエンジンをOFFにしてください。運転を続けしないでください。

▶ 冷却水温度が高すぎる場合と同じ手順を踏んでください。

▶ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」(98ページ)を参照してください。

クーラント・レベルが低い場合、急な坂道など車両が急角度で傾いたり、円状に走行するなどして長いカーブで横加速度が発生したりすると、警告メッセージが表示されることがあります。車両が「通常」の状態に戻ったときに警告メッセージが消えない場合、クーラント・レベルを点検してください。

▶ 「クーラント・レベルの点検と補充」(93ページ)を参照してください。

C - エンジン油温

エンジン油温が高温になりすぎると、マルチファンクション・ディスプレイに警告メッセージが表示されます。

▶ 直ちにエンジンの回転数を下げ、エンジンの負荷を軽減してください。

「警告およびインフォメーション・メッセージ」(98ページ)を参照してください。

D - エンジン油圧

エンジン油圧は、エンジンの作動状態に応じて制御されており、エンジン回転数が3,000rpmのときは少なくとも2.0bar、5,000rpmのときは少なくとも3.0barでなければなりません。

エンジン油圧は、エンジンの回転数や油温、エンジンの負荷によって変化します。

知識

エンジンを損傷する恐れがあります。

オイル圧力が低くなりすぎると、マルチファンクション・ディスプレイに警告シンボルが表示されます。

▶ オイル圧力が低すぎる場合は、直ちに安全な場所に停車してエンジンをOFFにしてください。運転を続けしないでください。

▶ オイル圧力が低すぎる場合と同じ手順を踏んでください。

▶ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」(98ページ)を参照してください。

1. 車両 ▶ 設定 ▶ 表示 ▶ 車両メニュー ▶ フィールド1 または フィールド2 または フィールド3 または フィールド4

2. 希望の表示項目を選択してください。

- ボード電圧
- ブースト圧
- オイル圧力: エンジン油圧
- オイル温度: エンジン油温
- 冷却水温度: 冷却水温度
- 残可走距離
- 目的地: 到着: 目的地または立ち寄り地への到着時刻および距離
- 目的地: 走行時間: 目的地または立ち寄り地までの走行時間および距離
- コンパス*
- GPS height (GPS高さ): 車両の海拔標高
- 時刻
- 日付
- 放送局/曲: 現在のラジオ放送局または音楽トラック
- Phone info (電話情報): 信号の強さ/ネットワーク名
- 表示なし: 空白

下部ステータス・エリアの表示を変更する

1. 車両 ▶ 設定 ▶ 表示 ▶ 下のライン

2. 希望の表示項目を選択してください:

- 時刻
- 温度
- 時間 & 温度

メイン・メニューを変更する

メイン・メニューの特定の項目を必要に応じて表示する/非表示にすることができます。

1. 車両 ▶ 設定 ▶ 表示 ▶ Menu scope (メニュー種類)
2. 希望の表示項目を選択してください。

- オーディオ*
- 電話*
- 地図*
- ナビ*
- トリップ
- タイヤ空気圧
- 4輪駆動
- クロノ
- 制限速度

マルチファンクション・ディスプレイにPCM情報を一時的に表示する

1. 車両 ▶ 設定 ▶ 表示 ▶ PCM表示
2. 希望するPCM情報を選択してください。

- **Map info (地図情報)**：ナビゲーション情報を利用すると、ナビゲーション地図が自動的に表示されます。
- **Arrow info (矢印情報)**：ナビゲーション情報を利用すると、進行方向を示す矢印が自動的に表示されます。
- **Phone info (電話情報)**：着信/発信電話の情報が表示されます。
- **音声操作**：ボイス・コントロール・ボタンを押すとヘルプ・テキストが表示されます。
- **速度制限**：制限速度が表示されます。

* 日本仕様に設定はありません。

i インフォメーション

制限速度表示装備車の場合、「速度制限」メニュー項目は表示されず、制限速度が自動的に表示されます。

オーディオ・メイン・メニューを変更する

1. 車両 ▶ 設定 ▶ 表示 ▶ オーディオ
2. 希望の表示項目を選択してください。

- **ラジオ局一覧**：現在受信可能なすべての放送局のリスト
 - **事前設定一覧**：登録されているすべてのラジオ放送局のリスト
- ▷ 「ラジオ」(340ページ)を参照してください。

マルチファンクション・ディスプレイの明るさを調節する

1. 車両 ▶ 設定 ▶ 表示 ▶ Display brightness (ディスプレイの明るさ)
2. 希望の明るさを選択してください。

メニュー項目のヘルプ・テキストの表示/非表示

- ▷ 車両 ▶ 設定 ▶ 表示 ▶ ヘルプテキスト

機能が有効になっているときにメニュー項目を選択すると、ヘルプ・テキストが数秒間表示されます。

日付と時刻の設定

事前設定された日付と時刻の表示は、車両のすべてのディスプレイに採用されます。

時刻の設定

1. 車両 ▶ 設定 ▶ 日付と時刻 ▶ 時刻 ▶ 時間/分
2. 任意の時刻を設定してください。

タイム・ゾーンの設定

1. Vehicle (車両) ▶ 設定 ▶ Date & Time (日付と時刻) ▶ タイム ▶ ゾーン
2. 任意のタイム・ゾーンを設定してください。

時刻表示の設定

1. 車両 ▶ 設定 ▶ 日付と時刻 ▶ 時刻 ▶ 形式
2. 任意の時刻表示形式を選択してください。

- 12h：12時間表示
- 24h：24時間表示

GPS信号により自動的に時刻を同期する

- ▷ 車両 ▶ 設定 ▶ 日付と時刻 ▶ 時刻 ▶ 自動時刻調整

機能が有効なときは、時刻はGPS信号と同期されます。

i インフォメーション

時刻をGPS信号と同期させるよう設定した場合、日時を手動で設定することはできません。衛星電波の受信状態により、いくつかの設定オプションが一時的に利用できないことがあります。

サマー・タイムの設定

▶ 車両 ▶ 設定 ▶ 日付と時刻 ▶ 時刻 クロノ

この機能が有効な場合、時計は夏時間にかわり
ます。

ダッシュボードのストップウォッチの時 時刻表示

▶ 車両 ▶ 設定 ▶ 日付と時刻 ▶ 時刻 クロノ

機能が有効なとき、ダッシュボードのストップ
ウォッチに時刻が表示されます。

ダッシュボードのコンパスの時刻表示*

▶ 車両 ▶ 設定 ▶ 日付と時刻 ▶ 時刻 クロノ

機能が有効なとき、ダッシュボードのコンパス
に時刻が表示されます。

スイッチ・パネルのアナログ時計照明の ON/OFF：

▶ 車両 ▶ 設定 ▶ 日付と時刻 ▶ 時計照明

機能が有効なとき、ダッシュボードの時計の照
明が点灯します。

日付の設定

1. 車両 ▶ 設定 ▶ 日付と時刻 ▶ 日付 ▶ 日付

2. 任意の日付を設定してください。

日付形式の設定

1. 車両 ▶ 設定 ▶ 日付と時刻 ▶ 日付 ▶ 形式

2. 希望の日付表示形式を選択してください。

- DD.MM.YYYY (日・月・西暦年)
- MM/DD/YYYY (月/日/西暦年)
- YYYY/MM/DD (西暦年/月/日)

アシスタンス・システムの設定

インフォメーション

設定はイグニッションのON/OFFを切り替えて
も保存され続けます。

ポルシェ・アクティブ・セーフ (PAS) のON/OFF

✓ アダプティブ・クルーズ・コントロール
(ACC) 装備車

▶ 車両 ▶ 設定 ▶ アシストシステム ▶ アク
ティブセーフ ▶ システム オン

機能が有効なときは、すべてのポルシェ・アク
ティブ・セーフ機能がONになります。



すべてのポルシェ・アクティブ・
セーフ機能をOFFにすると、マルチ
ファンクション・ディスプレイのス
テータス・エリアに灰色のシンボル
が表示されます。

▷ 「アクティブ・セーフティー - ポルシェ・ア
クティブ・セーフ(PAS)」(44ページ)を参
照してください。

ポルシェ・アクティブ・セーフ (PAS) のON/OFFを切り替える前の事前警告

✓ アダプティブ・クルーズ・コントロール
(ACC) 装備車

インフォメーション

潜在的なおよび予期警告機能は初期設定では
OFFになっていません。緊急警告機能は有効に
なっており、解除できません。

▶ 車両 ▶ 設定 ▶ アシストシステム ▶ アク
ティブセーフ (PAS) ▶ 事前警告 オン

機能が有効なとき、ポルシェ・アクティブ・
セーフの潜在的および事前警告機能がONにな
ります。

▷ 「アクティブ・セーフティー - ポルシェ・ア
クティブ・セーフ(PAS)」(44ページ)を参
照してください。

レーン・チェンジ・アシスト (LCA) の ON/OFF

▶ 車両 ▶ 設定 ▶ Assist. systems (アシスタ
ンス・システム) ▶ LCA ▶ システム・オ
ン

機能が有効なとき、レーン・チェンジ・アシ
ストのインフォメーションおよび警告ステー
ジがONになります。

ドア・ミラーのレーン・チェンジ・アシスト (LCA) の表示の明るさを設定する

i インフォメーション

警告インジケータ（インフォメーションおよび警告ステージ）は周囲の明るさによって自動的に調節されます。

1. 車両 ▶ 設定 ▶ アシストシステム ▶ LCA ▶ 明るさ

2. 希望の明るさを選択してください。

- 暗い
- 中
- ライト

設定作業中に新しく設定する明るさが短時間表示されます。これはインフォメーション・ステージで表示される明るさのレベルです。警告ステージの明るさはインフォメーション・ステージの明るさに基づきます。

- ▶ インフォメーション・ステージの明るさは、ドア・ミラーを見た際に警告インジケータの点灯がはっきりと確認でき、まっすぐ前方を見ているときには気を取られないように設定してください。
- ▶ 「レーン・チェンジ・アシスト(LCA)」(352ページ)を参照してください。

速度制限表示のON/OFFを切り替えます。

▶ 車両 ▶ 設定 ▶ アシストシステム ▶ 制限速度 ▶ 制限速度アイコン

この機能を有効にすると、制限速度がマルチファンクション・ディスプレイに表示されます。

トレーラー運転時に速度制限表示のON/OFFを切り替えます。

1. 車両 ▶ 設定 ▶ アシストシステム ▶ 制限速度 ▶ トレーラー運転

2. 希望の項目を選択してください。

- 停止中トレーラーをけん引して **いない** 場合の制限速度が表示されます。この設定は、バイク・ラックなどを装着した車両に使用できます。
- 自動:トレーラーを検出すると（トレーラー・ヒッチおよびトレーラー・コネクタ接続状態）、**レーラーけん引用**の制限速度が表示されます。

i インフォメーション

トレーラーをけん引している車両の最高制限速度は80km/hです。ポルシェ以外のサプライヤーのトレーラー・ヒッチを後付けした車両では、トレーラーけん引用の制限速度は表示できません。

車線逸脱警告 - システムの設定

i インフォメーション

警告タイミングは、気づかないうちに車線を逸脱していることをドライバーに警告するタイミングです。

1. 車両 ▶ 設定 ▶ アシスタンス・システム ▶ LDW ▶ 警告タイミング

2. 希望の項目を選択してください。

- 遅
- 中
- 早

車線を選脱しているときの警告音量の調整

1. 車両 ▶ 設定 ▶ Assist. systems (アシスタンス・システム) ▶ LDW ▶ 警告トーン音量

2. 希望の項目を選択してください。

- 高
- 中
- 低

車線を選脱しているときの警告音量を調整する

1. 車両 ▶ 設定 ▶ Assist. systems (アシスタンス・システム) ▶ LKS ▶ 音量 警報音

2. 希望の項目を選択してください。

- 高
- 中
- 低

- オフ：車両が車線を選脱しても警告音は鳴りません。

i インフォメーション

レーン・キープ・アシストの警告音量設定は、軌道修正のためのステアリング操作とマルチファンクション・ディスプレイの表示による警告には影響しません。

▷ 「レーン・キープ・アシスト」(349ページ)を参照してください。

ライトおよびフロント・ワイパーの調整

ウェルカム・ホーム/エントリー機能の外部ライト遅延消灯の調整

1. 車両 ▶ 設定 ▶ ライトと視界 ▶ エクステリアライト ▶ 遅延消灯

2. 任意の遅延消灯を設定してください。

▷ 「オートマチック・カミング・ホーム・ライト」(326ページ)を参照してください。

左側/右側通行でヘッドライトを切り替える

✓ ポルシェ・ダイナミック・ライト・システム (PDLS) またはポルシェ・ダイナミック・ライト・システム・プラス (PDLSプラス) 装備車

✓ 停車しているとき

1. 車両 ▶ 設定 ▶ ライトと視界 ▶ エクステリアライト ▶ 左/右側通行

2. 希望の項目を選択してください。

- 標準：ヘッドライトが左ハンドル車では右側通行、右ハンドル車では左側通行に最適な位置になります。

- 反転：ヘッドライトが左ハンドル車では左側通行、右ハンドル車では右側通行に最適な位置になります。

i インフォメーション

ヘッドライトの位置を反転に設定すると、イグニッションまたはロー・ビームをONにするたびに、マルチファンクション・ディスプレイにライトが反転されたことを示すメッセージが表示されます。

ダイナミック・ハイ・ビームの作動/停止

✓ ポルシェ・ダイナミック・ライト・システム・プラス (PDLS Plus) 装備車

- ▷ 車両 ▶ 設定 ▶ ライトと視界 ▶ エクステリアライト ▶ 動的前方照明

機能が有効なとき、ダイナミック・ハイ・ビームを使用することができます。

▷ 「ダイナミック・ハイ・ビーム」(327ページ)を参照してください。

ドアを開いたときのインテリア・ライト自動点灯の有効/無効

- ▷ 車両 ▶ 設定 ▶ ライトと視界 ▶ インテリアライト ▶ By opening door (ドアを開く際の車内ライトの設定)

機能が有効なときは、ドアを開くとインテリア・ライトが点灯します。

オリエンテーション・ライトの明るさを調節する

1. 車両 ▶ 設定 ▶ ライトと視界 ▶ インテリアライト ▶ オリエンテーション

2. 希望の明るさを選択してください。

インテリア・ライトの遅延消灯モードを設定する

1. 車両 ▶ 設定 ▶ ライトと視界 ▶ インテリアライト ▶ 遅延消灯

2. 希望の遅延消灯を設定してください。

レイン・センサーの作動/解除

1. 車両 ▶ 設定 ▶ ライトと視界 ▶ ワイパー ▶ レインセンサー
2. 希望の項目を選択してください。

- **自動**：雨天時にフロント・ワイパーの速さが自動調整されます。
- **手動**：ワイパー・レバーを使用してワイパーの速さを手動で調節する必要があります。

リバース（後退）ギヤ選択時のリヤ・ワイパーの作動設定

1. 車両 ▶ 設定 ▶ ライトと視界 ▶ ワイパー ▶ リアワイパー
2. 希望の項目を選択してください。

- **自動**：雨天時にリバース・ギヤを選択すると、リヤ・ワイパーが自動的に作動します。
- **手動**：リバース（後退）ギヤを選択しても、リヤ・ワイパーが自動的に作動しません。

リバース・ギヤ選択時に助手席ドア・ミラーを下向きにする

✓ メモリー・パッケージ装着車

- ▶ 車両 ▶ 設定 ▶ ライトと視界 ▶ リバース・オプション ▶ ミラー下向き

機能が有効なとき、リバース・ギヤが締結すると助手席側のドア・ミラーが下向きになります。

マルチファンクション・ステアリング・ホイールのボタンの割り当て変更

マルチファンクション・ステアリング・ホイールのMFSボタンに、マルチファンクション・ディスプレイ、任意のPCMの機能または一般的な車両機能を個別に割り当てることができます。

1. 車両設定Steering wheel op. (ハンドル操作MFSボタンPCM function (PCM機能) または Cluster function (組み合わせ機能) または 車両機能
2. 希望の項目を選択してください。

PCM機能：

- **オーディオ**：オーディオを切り替えます。
- **音声操作**：ボイス・コントロールの作動
- **音声案内繰返**：ナビゲーションの音声案内を繰返します。
- **放送局/曲** <:前の放送局または曲を選択します。
- **放送局/曲** >:次の放送局または曲を選択します。
- **地図**：PCMにナビゲーション地図を表示します。
- **Menu change (メニュー変更)**：メイン・メニュー・エリアを変更します。
- **Surround View (サラウンド・ビュー)**：PCMのサラウンド・ビュー表示

組み合わせ機能：

- **計時開始/停止**：計時を開始または停止します。
- **車両メニュー**：車両メニューを表示します。
- **オーディオ設定**：オーディオ・メニューを表示します。
- **電話メニュー**：電話メニューを表示します。
- **地図メニュー**：マルチファンクション・ディスプレイにナビゲーション地図を表示します。
- **ナビメニュー**：ナビゲーション・メニューを表示します。
- **トリップメニュー**：トリップ・メニューを表示します。
- **RDKメニュー**：TPMメニューを表示します。
- **4-wheel menu (4WDメニュー)**：4輪駆動メニューを表示します。
- **クロノメニュー**：スポーツ・クロノ・メニューを表示します。
- **ACCメニュー**：ACCメニューを表示します。
- **速度制限**：交通標識を表示します。

i インフォメーション

制限速度表示装備車の場合、「速度制限」メニュー項目は表示されません。制限速度が自動的に表示されます。

▶ 「制限速度表示*」(157ページ)を参照してください。

車両機能：

- **スタート/ストップ**：オート・スタート/ストップ機能のON/OFF切り替え
- **SES**：スポーツ・エキゾースト・システムのON/OFF切り替え
- **レーン・キープ・アシスト**：レーン・キープ・アシストのON/OFF
- 「Lane Dep. Warn. (車線逸脱警告)」：車線逸脱警告システムのON/OFF

ダッシュボードのコンパス・ディスプレイを設定する

▶ 車両 ▶ 設定 ▶ コンパス ▶ 表示なし

機能が有効なとき、ダッシュボードのコンパス表示がOFFになります。

警告音量およびパーキング・アシスタントの調節

1. 車両 ▶ 設定 ▶ 音量 ▶ パークアシストまたは警告トーン

2. 希望の項目を選択してください。

- 高
- 中
- 低

ドア・ロック機能を設定する

ドアのロック解除機能の設定

1. 車両 ▶ 設定 ▶ ロック ▶ ロック解除

2. 希望の項目を選択してください。

- **すべてのドア**：車両のロックを解除すると、すべてのドアとリヤ・リッドのロックが解除されます。
- **運転席ドア**：車両のロックを解除すると、運転席ドアとリヤ・リッドのロックが解除されます。

ドアのロック機能の設定

1. 車両 ▶ 設定 ▶ ロック ▶ Door locking (ドアロック)

2. 希望の項目を選択してください。

- **オフ**：乗車後にドアは自動でロックされません。
- **After ign. on (イグニッションONの後)**：イグニッションをと、ドアが自動的にロックされます。
- **After drive-off (発進後)**：車両を発進させると、ドアが自動的にロックされます。

イージー・エントリーのON/OFF

▶ 車両 ▶ 設定 ▶ ロック ▶ イージーエントリー

機能を有効にすると、運転者の乗降性を高めるために運転席シートとステアリング・ホイールを自動的に遠ざけることができます。

オート・メモリーのON/OFF

▶ 車両 ▶ 設定 ▶ ロック ▶ オートメモリ

この機能が有効な場合、車両をロックしたときにパーソナル設定が自動的にキーに保存されます。

▷ 「パーソナル設定の保存と呼び出し」(227ページ)を参照してください。

エアコン設定

送風の強さと送風量を調節する

1. 車両 ▶ 設定 ▶ エアコン ▶ 風量

2. 希望の項目を選択してください。

- **Soft (弱)**：エア・ベントからの送風が和らぎます。空気の流れに敏感な乗員に適しています。
- **ノーマル**：標準の設定です。
- **Strong (強)**：車内への送風が強くなります。風の流れをはっきりと感じられるようになります。

内気循環モードのON/OFF

▶ 車両 ▶ 設定 ▶ エアコン ▶ 自動内気循環

機能を有効にすると、空気の状態に応じて自動的に外気導入と内気循環を切り替えます。

ポルシェ・カー・コネクトの設定*

▶ 車両 ▶ 設定 ▶ カーコネクト ▶ プライバシー

機能を有効にすると、車両とポルシェ・カー・コネクト・アプリ間の通信が無効になります。車両固有の情報がポルシェ・カー・コネクト・アプリに送信されません。このアプリを使用した車両の設定変更はできません。

* 日本仕様に設定はありません。

契約が有効でない場合、Car Connect メニュー項目は使用できません。

▷ 「ポルシェ・カー・コネクト*」(272ページ)を参照してください。

詳しい情報は、www.porsche.com/connectまたはポルシェ正規販売店から入手できます。

i インフォメーション

プライバシー 機能を有効にしても、故障時、緊急電話をかけたとき、または盗難に遭遇したときなどは車両の位置情報が送信されます。

▷ 車両を使用するすべての人に、プライバシー機能が解除される可能性があることを伝えてください。

単位の設定

スピードメーターおよびコンパスの単位設定

1. 車両 ▶ 設定 ▶ 単位 ▶ スピードメーター
2. 希望の項目を選択してください。

- km / km/h
- マイル / mph

i インフォメーション

単位は以下のディスプレイで調整されます。

- 積算距離計/トリップ・メーター
- デジタル・スピードメーター
- マルチファンクション・ディスプレイ
- ダッシュボードのコンパス

温度計の単位の設定

1. 車両 ▶ 設定 ▶ 単位 ▶ 温度
2. 希望の項目を選択してください。

- °C (摂氏)
- °F (華氏)

i インフォメーション

マルチファンクション・ディスプレイの単位が調整されます。

圧力計の単位の設定

1. 車両 ▶ 設定 ▶ 単位 ▶ 圧力
2. 希望の項目を選択してください。

- bar
- psi

i インフォメーション

マルチファンクション・ディスプレイの単位が調整されます。

油圧計の単位の設定

1. 車両 ▶ 設定 ▶ 単位 ▶ 圧力
2. 希望の項目を選択してください。

- bar
- psi

i インフォメーション

マルチファンクション・ディスプレイの単位が調整されます。

平均燃費の表示単位の設定

1. 車両 ▶ 設定 ▶ 単位 ▶ 消費量
2. 希望の項目を選択してください。

- L/100 km
- mpg (米国)
- mpg (英国)
- km/L

i インフォメーション

マルチファンクション・ディスプレイの単位が調整されます。

言語設定

1. 車両 ▶ 設定 ▶ 言語
2. 任意の言語を選択してください。

i インフォメーション

マルチファンクション・ディスプレイの言語が調整されます。

あ

工場出荷時の設定に戻す

か

i インフォメーション

工場出荷時の設定に戻すと、マルチファンクション・ディスプレイで選択したすべての設定が削除されます。

さ

た

▶ 車両 ▶ 設定 ▶ リセット ▶ 工場設定 ▶ はい

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

ミラー

ドア・ミラーの使用

後方視野を広くするため、助手席ドア・ミラーは凸面形、運転席ドア・ミラーは非球面形になっています。

警告

ドア・ミラーに映る周囲の様子は、実際の大きさより小さく、距離が離れているように見えます

凸面形ミラーでは、車両や物が小さく写るため、実際の距離よりも遠く感じられます。

- ▶ 後続車との距離を判断するときや、後退して駐車するときなどは、歪みを念頭に置いてください。
- ▶ 距離の判断はルーム・ミラーと併用して行ってください。

注意

自動防眩ミラーのガラスが破損すると、電解液が漏れ出すことがあります

ミラーのガラスが破損すると、電解液が漏れ出す恐れがあります。この液体には皮膚や目への刺激性があります。

- ▶ 電解液が目や皮膚に触れた場合は、速やかにきれいな水で洗い流してください。
- ▶ 必要に応じて医師の診察を受けてください。

知識

塗装、レザー、プラスチック、布を損傷する恐れがあります。

電解液は乾くと取り除けなくなるため、濡れている間に取り除いてください。

- ▶ 電解液が付着した部品は水で洗い流してください。

知識

洗車機で洗車を行う場合にドア・ミラーを損傷する恐れがあります。

- ▶ 洗車機を使用する前にドア・ミラーを格納してください。

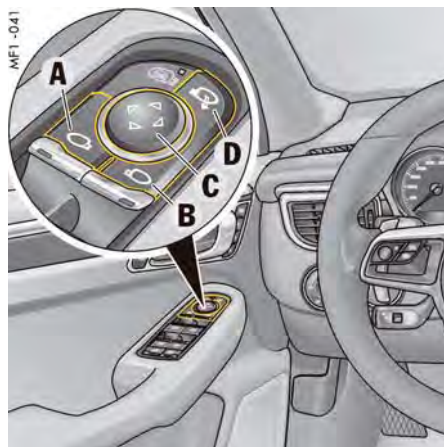


図250: ドア・ミラーの操作

- A ドア・ミラーの選択 - 運転席側
- B ドア・ミラーの選択 - 助手席側
- C ドア・ミラーの調節
- D ドア・ミラーの格納/復帰

ドア・ミラーの調節

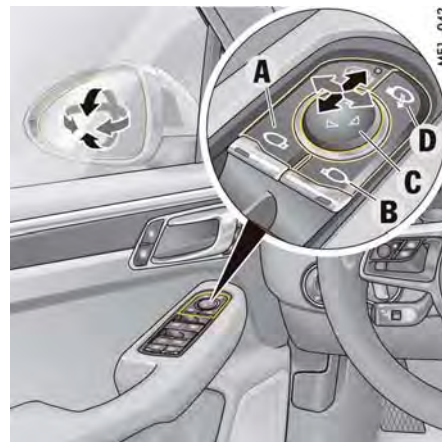


図251: ドア・ミラーの調節

- ✓ イグニッションをONにしてください。
または
- ✓ イグニッションをOFFにして、運転席ドアまたは助手席ドアをまだ開けていない状態（最大10分以内）。
 1. 運転席側は選択ボタンAを、助手席側は選択ボタンBを押してください。選択したボタンのインジケータ・ライトが点灯します。
 2. 調節ボタンCを操作して、ドア・ミラーの角度を希望の位置に調節してください。

電動調節機能が故障した場合

- ▶ ミラー表面を手で押して角度を調節してください。

ドア・ミラーの格納/復帰

ドア・ミラーの手動格納

- ▶ ミラー・ハウジングを手でいっぱいまで上方に回転させてください。

ドア・ミラーの手動復帰

- ▶ ミラー・ハウジングを手でいっぱいまで下方に回転させてください。

車内からのドア・ミラーの格納/復帰

- ✓ 速度が50km/h以下のとき。
- ▶ ボタンDを押してください(315ページ:図250)。両方のドア・ミラーが格納または復帰します。

電動格納機能が故障した場合

- ▶ ドア・ミラーを手で格納または復帰してください。

車外からのドア・ミラーの格納/復帰

車両をロックするときに、ドア・ミラーを自動的に格納することができます。

- ▶ キーのⓂボタンを少なくとも1秒間押し続けてください。
ポルシェ・エントリー&ドライブ装備車:運転席側のドア・ハンドルタッチ・センサーに1秒以上触れてください。
ドア・ミラーが格納されます。

ドア・ミラーの自動復帰

- ▶ イグニッションをONにしてください。
ドア・ミラーが自動的に復帰します。

i インフォメーション

ボタンを押して手動でドア・ミラーを格納した場合は、イグニッションをONにした後、自動的に元の位置には復帰しませんD(315ページ:図250)。

ドア・ミラー設定の保存

運転席メモリーまたはコンフォート・メモリー装備車の場合、調節したドア・ミラーの位置を、運転席ドアのメモリー・ボタンとキーに保存することができます。

- ▶ 「パーソナル設定」(226ページ)を参照してください。

ドア・ミラーの自動防眩機能のON/OFF

ルーム・ミラーの自動防眩機能の切り替えに合わせて、ドア・ミラーの防眩機能が作動します。

- ▶ 「ルーム・ミラーの自動防眩機能のON/OFF」(317ページ)を参照してください。

駐車時の助手席ドア・ミラー下向き自動切り替え

運転席メモリーまたはコンフォート・メモリー装備車は、リバース(後退)ギヤを選択した場合に、助手席ドア・ミラーが自動的に下向きになり、助手席側の車体後方下部にある障害物を視認しやすくなります。

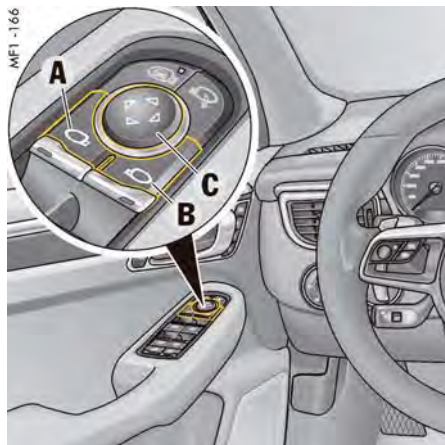


図252: 駐車時の助手席ドア・ミラー下向き自動切り替え

ドア・ミラーを自動で下向きにする

- ✓ イグニッションをONにしてください。
- ✓ 機能が作動していること。
- ▶ 「リバース・ギヤ選択時に助手席ドア・ミラーを下向きにする」(311ページ)を参照してください。

ドア・ミラーを手動で下向きにする

1. ギヤをリバース（後退）に入れてください。
運転席ドア・ミラーを調節するためのボタンAのインジケータ・ライトが点灯します。
2. 助手席ドア・ミラーを調節するためのボタンBを押してください。
助手席のドア・ミラーが下向きになります。

ドア・ミラーの下向き角度の個別調整：

- ▶ 調節ボタンCを操作して、ドア・ミラーの角度を希望の位置に調節してください。

運転席メモリーまたはコンフォート・メモリー装備車は、この設定をキーや運転席ドアのメモリー・ボタンに保存することができます。復帰および車両設定の保存に関するインフォメーション：

- ▶ 「パーソナル設定」(226ページ)を参照してください。

ドア・ミラーを通常位置に戻す

次の場合、ドア・ミラーが通常の位置に戻ります：

- リバース（後退）以外のギヤを選択してから一定時間が経過した後、または
- 速度が15km/h以上になったとき

手動操作で助手席のドア・ミラーを通常位置に戻す：

- ▶ 運転席ドア・ミラーのボタンAを押してください。

ルーム・ミラー防眩機能の手動操作

ミラーを調節するときは、防眩機能のレバーを車内側に向けてください。

- ▶ 基本設定 - レバーを車内側に向けます。
- ▶ 防眩位置 - レバーをフロント・ウィンドウ側に向けます。

ルーム・ミラーの自動防眩機能のON/OFF

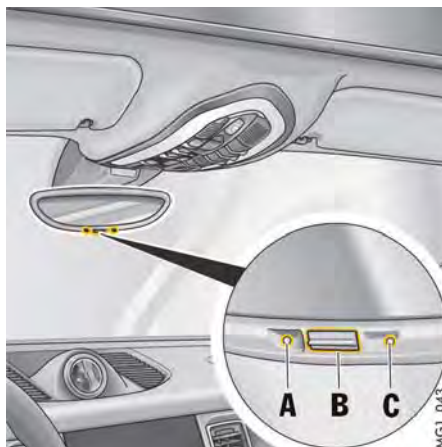


図253: ルーム・ミラーの自動防眩機能

自動防眩機能をONにする

- ▶ ボタンBを押してください。
インジケータ・ライトAが点灯します。
光の強さに応じて防眩機能が自動的に作動し、ルーム・ミラーが暗くなったり、明るくなったりします。

i インフォメーション

リバース・ギヤに入れた場合、またはインテリア・ライトが点灯している場合は、ルーム・ミラーの自動防眩機能は作動しません。

自動防眩機能をOFFにする

- ▶ ボタンBを押してください。
インジケータ・ライトAが消灯します。

▲ 注意

自動防眩ミラーのガラスが破損すると、電解液が漏れ出すことがあります。

ミラーのガラスが破損すると、電解液が漏れ出す恐れがあります。この液体には皮膚や目への刺激性があります。

- ▶ 電解液が目や皮膚に触れた場合は、速やかにきれいな水で洗い流してください。
- ▶ 必要に応じて医師の診察を受けてください。

知識

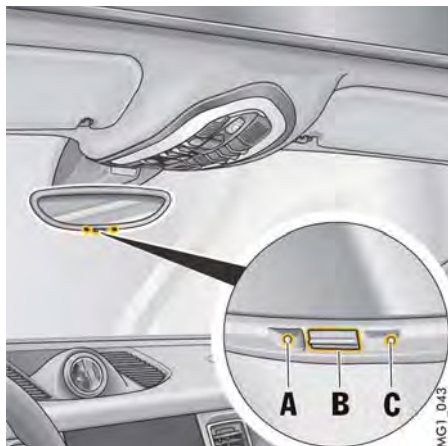
塗装、レザー、プラスチック、布を損傷する恐れがあります。

電解液は乾くと取り除けなくなるため、濡れている間に取り除いてください。

- ▶ 電解液が付着した部品は水で洗い流してください。

i インフォメーション

照度センサーCの検知エリアに当たる光を妨げないでください（リヤ・ウィンドウにステッカーを貼り付ける、後方視界を妨げるほど多くの荷物をラゲッジ・コンパートメントまたはラゲッジ・コンパートメント・カバーに積むなど）。同様に、フロント・ウィンドウを通してフロント照度センサーに当たる光をステッカー等で妨げないようにしてください。



1. 明るさ調節ノブ
2. 電源ボタン

サイドビュー・モニター付きルーム・ミラー

サイドビュー・モニターは、助手席の死角を補うための補助的な装備です。助手席側ドア・ミラー・カバーに小型のカメラが取り付けられており、ルーム・ミラーにはTFT液晶を使ったディスプレイが組み込まれています。電源をONにすると、カメラの映像をルーム・ミラーで見ることができます。

▲ 注意

サイドビュー・モニターは視野を完全に補うものではありません

サイドビュー・モニターはドライバーの死角を補うための補助的な装備であり、その視野を完全に補うものではありません。サイドビュー・モニターが装備されていても、直接目視するなど安全確認を怠らないでください。

- ▷ サイドビュー・モニターはドライバーの注意力を補うものではありません。サイドビュー・モニターを装備していても、車の周囲の安全を常に確認することは運転者の責務です。
- ▷ にルーム・ミラーの映像が見えにくいときや、画像で識別できない物体があるときは、周囲の安全を必ず目視で確認してください。細い電柱や杭など、障害物の形状によっては解像度が不足して画像が鮮明に表示されなかったり、まったく表示されないこともあります。状況によっては車から降りて、周囲の人や物に危険を及ぼす恐れがないか確認してください。
- ▷ サイドビュー・モニターは高感度で、夜間など周囲の明るさが不足しているときでも使用できますが、照明などが暗闇では映像が見えにくくなります。必要に応じて目視で安全を確認してください。
- ▷ システムの特性上、ルーム・ミラーには2次元の平面画像を表示します。したがって立体的な障害物や奥行きがある突起物などは実際の形状と異なって見えたり、画像に映らないことがあります。
- ▷ 行中は、サイドビュー・モニターの明るさ調節や電源のON/OFFを行わないでください。また、ルーム・ミラーの画像を必要以上に注視しないでください。注意力が散漫になって事故を起こす恐れがあります。

- ▷ サイドビュー・モニターが故障した状態で運転するときは、周囲の安全に特に気を使ってください。またカメラの画像に異常を感じたときは使用しないでください。
- ▷ サイドビュー・モニターが故障したときや、障害物との接触などでカメラの取り付け状態に異常があるときは直ちに修理してください。ポルシェ車に関する全ての整備点検は、ポルシェ正規販売店での実施を推奨します。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

▲ 注意

サイドビュー・モニターを損傷する恐れがあります

- ▷ 圧洗車装置などを使用するときは、高圧の水をカメラに直接かけないでください。
- ▷ レンズの汚れにより画像が曇ったときは、湿らせた布でレンズの表面を丁寧に拭き取ってください。洗浄剤や溶剤、研磨剤入りのクリーナーなどは使用しないでください。レンズ表面の耐水コーティングが剥がれる恐れがあります。
- ▷ 水や熱水をカメラにかけないでください。レンズに亀裂が入る恐れがあります。

memo

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

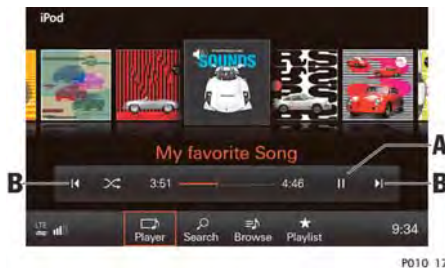
メディア

概要

この概要説明は「メディア」に記載された情報に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく安全に関する指示および警告を必ずお読みください。

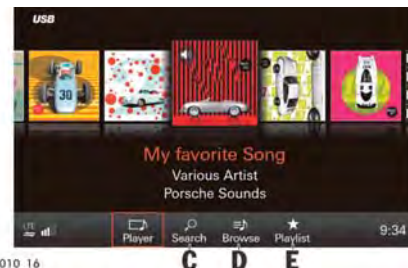
ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント (PCM) の操作に関するインフォメーション:

- ▷ 「ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント (PCM) の操作」(273ページ) を参照してください。



P010_17

図254: メディア・ソース、iPod®など



P010_16

図255: メディア・ソース、USBなど

運転者が何をしたいか?	その操作方法は?	ページ
メディア・ソースから音楽やビデオ・ファイルを再生する	<ul style="list-style-type: none"> ▶ CD/DVDドライブにCD/DVDを挿入してください。 ▶ CD/DVDチェンジャーにCD/DVDを挿入してください。 ▶ メディア・コンテンツをジュークボックス (内部メモリー) にインポートしてください。 ▶ SDカードを挿入してください。 ▶ 外部機器をUSBまたはAUXを介して接続してください。 ▶ 外部デバイスをBluetooth®を介して接続してください。 ▶ オンライン・ラジオ・サービスをPorsche Connect Appを介して開いてください。 	278 279 323 279 279 280 372
メディア・ソースを選択する	▶ SOURCE ボタン ▶希望のメディア・ソースを選択してください。 または MEDIA ボタンを繰り返し押してください。	321
音楽を再生/一時停止する	▶ MEDIA ボタン ▶ Player (プレーヤー) ▶▶ または (を参照 A)	321
再生中に次の/前のトラックの頭出しをする	▶ MEDIA ボタン ▶ Player (プレーヤー) ▶◀ または ▶▶ (を参照 B)	321
メディア・ライブラリーを検索する	▶ MEDIA ボタン ▶検索 を参照) または 🔍 Browse (閲覧) C) or を参照) ⇒ を選択してください。D)	322
プレイリストを開く	▶ MEDIA ボタン ▶プレイリスト を参照) ★ を選択してください。E)	323
類似の音楽を聴く	▶ MEDIA ボタン ▶ OPT ボタン ▶More like this (類似の音楽)	322
オーディオ/ビデオ・ファイルをジュークボックスにインポートする	▶ MEDIA ボタン ▶ OPT ボタン ▶Jukeboxへインポート	323

対応するメディアおよびファイル形式

メディア機能を使用して再生するには、オーディオおよびビデオ・フォーマットが特定の要件を満たしている必要があります。

- ▶ 「ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント (PCM) の操作」(273ページ) を参照してください。

メディア・ソースの挿入/接続

- ▶ 「各種ドライブおよび外部接続機器に関する諸注意」(278ページ) を参照してください。
- ▶ 「SDカードをロードする」(279ページ) を参照してください。
- ▶ 「外部機器の接続」(280ページ) を参照してください。

メディア・ソースの選択

- ▶ **SOURCE** ボタンを押して、希望のメディア・ソースを選択してください。

または

- ▶ 希望のメディア・ソースが選択されるまで **MEDIA** ボタンを押してください。

または

1. ヘッドラインに表示されたメディア・ソースを押してください。
選択可能なソースが表示されます。
2. メディア・ソースを選択してください。

メディアの再生

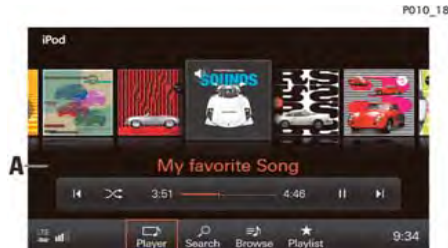


図256: 音楽の再生

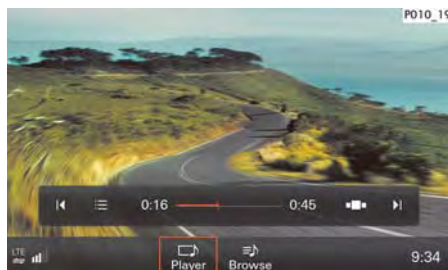


図257: ビデオの再生

機能	ボタン
メディアを再生する	
メディアを一時停止する	
次のトラック/チャプターへ進む	
前のトラック/チャプターに戻る	
音楽をランダムに再生する	
カバーフロー・ビューを表示する	

機能	ボタン
ビデオをフルスクリーン・モードで表示する	
カバーフロー・ビューまたは用意されたビデオ・ソースを開く	
ビデオ・メイン・メニューに戻る	

音楽を再生する



- ✓ オーディオ・ソースが選択されている。



1. **MEDIA** ボタン ▶ **Player** (プレーヤー)
2. カバーフロー・ビュー A (図256) で、希望のアルバムが中央に拡大表示されるまで左または右にスワイプしてください。
または
アルバムを再生するには、 を選択してください。
または
ロータリー・プッシュ・ボタンを押してください。
または
アルバムおよび希望の楽曲を選択してください。
オーディオ・ソースを選択すると、メディアの最初の曲が自動的に再生されます。ジュークボックスを使用する場合は、最近再生された曲が再生されます。

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

次の/前のトラックの頭出しをする





✓ メディア・ソースが選択されている

▶ 前にスキップするには、を選択するかスキップ・ボタンを押してください。トラックの再生が始まった直後であれば、前のトラックの先頭に戻ります。トラックの再生が始まって3秒以上経過していれば、再生中のトラックの先頭に戻ります。

▶ 次にスキップするには、を選択するかスキップ・ボタンを押してください。


早送り/早戻し

✓ メディア・ソースが選択されている

▶ 希望の位置になるまで/または/ボタンを押し続けてください。または
タイム・バーを希望の位置までスライドさせてください。

ランダム再生のON/OFF

✓ メディア・ソースが選択されている


▶ を選択してください。ランダム再生がONになります。

▶ ランダム再生をOFFにするには、もう一度ボタンを押してください。

類似の音楽を表示する1. ボタンを押してください。2. **More Like This (類似の音楽)** を選択してください。**曲を繰り返し再生する**

✓ メディア・ソースが選択されている

✓ アルバムまたはプレイリストが選択されている

1. ボタンを押してください。2. **トラックをリピート**を選択してください。ヘッドラインに**リピート・モード**が表示されます。▶ リピート・モードをOFFにするには、ボタンを押して**リピートOFF**を選択してください。**ビデオの再生**


✓ ビデオ・ソースが選択されている

▶ を選択してください。

または

希望するビデオを選択してください。

または



および希望のチャプターを選択してください。▶ ビデオのメイン・メニューに戻るには、を選択してください。**マルチファンクション・ディスプレイを使用して、有効なオーディオ・ソースからトラックを選択する**

マルチファンクション・ディスプレイの使用に関するインフォメーション：


▶ 「マルチファンクション・ステアリング・ホイールでのマルチファンクション・ディスプレイの操作」(296ページ)を参照してください。

1. **オーディオ**メニューを選択してください。

2. 有効なオーディオ・ソース(ディスクなど)からトラックを選択してください。

メディア・ソースの検索各メディア・ソースのオーディオおよびビデオ・ファイルを検索することができます。トラックを検索するには、**検索**機能を使用してカテゴリーを選択するか、**Browse (閲覧)**を押して再生可能なトラックを表示・閲覧します。**トラックまたはビデオを検索する**

✓ メディア・ソースが選択されている


1. **検索**を選択してください。2. **検索**を選択し、テキスト検索フィールドに希望のトラックを入力してください。または

検索に使用するカテゴリー(ジャンル、アーティスト、アルバム、トラック、ビデオ)を選択してください。

3. 希望のトラックを選択してください。

メディアの閲覧

✓ メディア・ソースが選択されている

1. **Browse (閲覧)**を選択してください。

2. 希望のフォルダーおよびメディア・トラックを選択してください。

▶ フォルダー構成に戻るには、ヘッドラインにある希望のメディア・フォルダーを選択してください。

プレイリストを開く

選択したメディア・ソースに応じて、追加のプレイリストを使用してメディアを再生できます。

プレイリストを開く

✓ オーディオ・ソースが選択されている

1. **プレイリスト**  を選択してください。
2. 希望のオプションを選択してください。

- **現在の再生リスト**：選択したソースのフォルダ構成またはトラック/チャプター・リストが表示されます。
- **最近再生された曲**
- **再生回数が多い曲**
- 星評価を含むトラック

ジュークボックスのオーディオ/ビデオ・ファイルのインポートおよび削除

USBフラッシュ・ドライブまたはSDカードのオーディオおよびビデオ・ファイルをジュークボックスにインポートすることができます。

現在のトラックまたはアルバム

- ✓ ジュークボックスにコピーするトラックまたはアルバムが含まれるメディア・ソースを選択している
- ✓ 希望のトラックまたはアルバムが選択されている

1. **OPT** ボタン ▶ **Jukebox**ヘインポート
2. **現在のトラックをインポート** または **現在のアルバムをインポート** を選択してください。
トラックまたはアルバムがインポートされます。

フォルダーまたはファイル

✓ メディア・ソースが選択されている

1. **OPT** ボタン ▶ **Jukebox**ヘインポート
2. **ファイル/フォルダをインポート** を選択してください。
使用可能なすべてのフォルダおよびファイルが表示されます。
3. **選択/選択解除** により、希望のファイルまたはフォルダを選択してください。
4. メディアのインポートを開始するには、**コピー** を選択してください。

ジュークボックスからメディア・コンテンツを削除する

✓ ジュークボックスがメディア・ソースとして選択されている

1. **MEDIA** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **Jukebox**設定
2. 希望のオプションを選択してください。

- **現在のトラックを消去**
- **現在のアルバムを消去**
- **ファイル/フォルダを消去** **選択解除** / **によりファイルまたはフォルダを選択し、消去** を押して決定してください。

記憶容量（空き領域/使用領域）を表示する

✓ ジュークボックスがメディア・ソースとして選択されている

1. **MEDIA** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **Jukebox**設定
2. **ソースの詳細** を選択してください。

設定の変更

全般的なメディア設定

1. **MEDIA** ボタン ▶ **OPT** ボタン
2. **設定 MEDIA/設定 SOUND** を選択してください。
3. 希望のオプションを選択してください。

- 設定 MEDIA :

- **Apple CarPlay**: USBで接続されたスマートフォンを管理します。
- **AUX**: 汎用オーディオ・インターフェース (AUX) のON/OFFを切り替えます。
- **Bluetoothオーディオ**: Bluetooth®接続のON/OFFを切り替えます。
- **Bluetooth**: Bluetooth®機能およびデバイスを管理します。
▷ 「Bluetooth®デバイスの削除、またはBluetooth®インフォメーションの表示」(194ページ) を参照してください。

- 設定 SOUND : 基本的な音質設定

- ▷ 「日付と時刻の設定」(274ページ) を参照してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

ビデオの設定

✓ ビデオ・ファイルを含むDVDが挿入されている

1. **MEDIA** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **DVD** 設定

2. 希望のオプション選択してください。

- **アスペクト比**：アスペクト比を設定します。
- **サウンドトラック**：サウンドトラックおよび音質を設定します。
- **字幕**：機能を有効化すると、字幕が表示されます（利用可能な場合）。

ライト

ライト・スイッチの設定

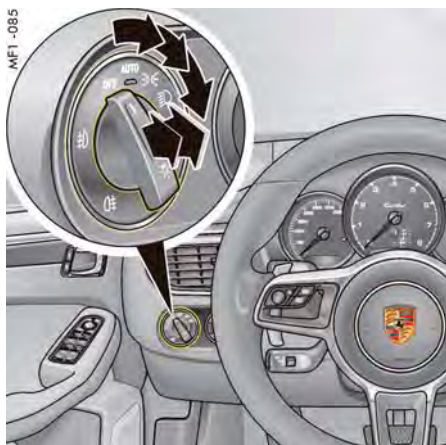


図258: ライト・スイッチ

- ライト・スイッチ**
- OFF** ライト オフ
- AUTO** オートマチック・ドライビング・ライト・アシスタント
- 車幅灯**
ライセンス・ライト、インストルメント・ライト、車幅灯が点灯します。

ロー・ビーム/ドライビング・ライト
イグニッションがONのときのみ。フォグ・ライト、モーターウェイ・ライト、ダイナミック・ハイ・ビームが消灯します。

フォグ・ライト
ロー・ビームの位置でスイッチを1段階引いてください。引いてください。インジケーター・ライトが点灯します。

リヤ・フォグ・ライト
ロー・ビーム位置でスイッチを引いてください。インジケーター・ライトが点灯します。

インフォメーション

- 灯火類が点灯した状態でキーを抜いてドアを開くと、警告音が鳴り、バッテリー上がりを防止します。
各国の法律等に準拠して、ライトの仕様異なる場合があります。
- 気温と湿度により、車両のエクステリア・ライトが曇ることがあります。十分な距離を走行すると、この曇りは取れます。

ロー・ビーム/ドライビング・ライト

ライト・スイッチを**AUTO**の位置にすると、次の状況でヘッドライト・ロー・ビームが自動的に点灯します：

- 夕暮れ時
- 夜間
- トンネル内走行時
- 雨天時
- 高速走行（ポルシェ・ダイナミック・ライト・システムPDLS装備車）

ロー・ビームの点灯時には、スピードメーター内のインジケーター・ライトが点灯します。

インフォメーション

オートマチック・ヘッドライトは、霧を感知することができません。

▶ 霧が発生したときは、手でドライビング・ライトを点灯させてください。

日中の高速道路走行時の作動

周囲が明るいときは、速度が約140km/hを超えるとドライビング・ライトが自動的に点灯します。その後、周囲が明るいときは、速度が約65km/h以下になると約4分後にドライビング・ライトが消灯します。

雨天時の作動

ワイパーを連続作動に切り替えてから5秒が経過すると、ドライビング・ライトが自動的に点灯します。

ワイパーを停止してから約4分が経過すると、ドライビング・ライトが消灯します。

オート・ドライビング・ライト・アシスタント

オートマチック・ドライビング・ライト・アシスタントはコンフォート機能の1つです。この車両のドライビング・ライト（ロー・ビーム）は、周囲の明るさに応じて自動的に点灯/消灯します。オートマチック・ドライビング・ライト・アシスタントは、オートマチック・カミングホーム・ライト、およびダイナミック・コーナリング・ライト（装備仕様による）の作動も制御します。

オートマチック・ドライビング・ライト・アシスタントを有効にするには：

▶ ライト・スイッチを**AUTO**の位置に回してください。

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

i インフォメーション

なおオートマチック・ドライビング・ライト・アシスタントを作動させているときも、関連法律等を遵守して通常のライト・スイッチでドライビング・ライトを点灯することは運転者の責務です。

したがって、オートマチック・ドライビング・ライト・アシスタント機能によるヘッドライトの点灯は、運転者がドライビング・ライトを正しく操作することろ免除するものではありません。

⚠ 警告 無灯火での走行

ライトを点灯しないで走行すると、ドライバーの視界を大きく制限するのみでなく、他のドライバーに対する視認性を大きく妨げることになります。

- ▶ オートマチック・ドライビング・ライトの作動状況を常に監視してください。

オートマチック・カミング・ホーム・ライト

▶ ライトのスイッチをAUTOにしてください。一定時間、次のライトが点灯したままになり、車両に乗降するときの足元を明るく照らして安全性を高めます：

- カミング・ホーム・ライト
- 展開されているドア・ミラーのカーテシー・ライト（コンフォート・メモリーおよび格納ドア・ミラー装備車）
- フロントおよびリヤのポジション・ライト
- ライセンス・ライト

ウェルカム・ホーム機能（遅延消灯）

車両をロックすると、マルチファンクション・ディスプレイで設定した遅延消灯時間の間、ライトが点灯したままになり、遅延消灯時間が経過すると自動的に消灯します。

エクステリア・ライトの遅延消灯時間設定に関するインフォメーション：

- ▶ 「ウェルカム・ホーム/エントリー機能の外部ライト遅延消灯の調整」（310ページ）を参照してください。

エントリー/イグジット機能

車両をロック解除すると、マルチファンクション・ディスプレイで設定した遅延消灯時間の間、車両の周囲が照らされます。

以下の場合は、ライトが消灯します：

- イグニッションがONになっていること。
- ライト・スイッチをAUTOの位置から動かしたとき

エクステリア・ライトの遅延消灯時間設定に関するインフォメーション：

- ▶ 「ウェルカム・ホーム/エントリー機能の外部ライト遅延消灯の調整」（310ページ）を参照してください。

ポルシェ・ダイナミック・ライト・システム(PDLS)


スタティックおよびダイナミック・コーナリング・ライトと夜間の高速道路機能を作動させるには：

- ▶ ライト・スイッチをAUTOの位置に回してください。

スタティック・コーナリング・ライト

この機能は速度が約130km/hを超えて走行中、ステアリング・ホイールを操作するとONになります。

i インフォメーション

ライト・スイッチが（ヘッドライト・ロー・ビーム/ドライビング・ライト）の位置にあるときも、スタティック・コーナリング・ライトを使用できます。

ダイナミック・コーナリング・ライト

約8km/h以上の速度で走行している場合、そのときの速度やステアリング・ホイールの切れ角によって、コーナーに向けてロー・ビームが向きを変え、進行方向の路面を照らします。ダイナミック・コーナリング・ライトが故障した場合、インストルメント・パネルのPDLS警告灯が点滅します。

夜間の高速道路走行時の作動

夜間は速度が約130km/hを超えるとドライビング・ライトの配光特性が変化します。

このときドライビング・ライトは、より遠くが見渡せるように照射距離を長くします。

フォグ・ライト

速度が約60km/h未満でリヤ・フォグ・ライトが点灯している場合、ドライビング・ライトの配光特性が変化します。

このときドライビング・ライトは、眩しさを抑えるように照射され、より広範囲が見えるように照射エリアが広がります。

ポルシェ・ダイナミック・ライト・システム・プラス(PDLS Plus)

ジャンクション・ライト*

ジャンクション・ライト機能は、ナビゲーション・データを使用して交差点や分岐点を検出し、他の車両や歩行者の確認を容易にしてくれます。左右スタティック・ライトが交差点や分岐点で点灯し、最適な明るさで照らしてくれます。

周囲が暗い状態で以下の条件が揃うと、ジャンクション・ライト機能が作動します：

* 日本仕様に設定はありません。

- ✓ ライト・スイッチが**AUTO**位置に選択されている
- ✓ 車両が約40km/h（スポーツ走行時は約60km/h）未満の速度で走行している
- ✓ 分岐点または交差点までの距離が約60m以下である

分岐点や交差点を通過した後、速度が約60km/hを超えるか、または次の交差点までの距離が約150mを超えると、ジャンクション・ライトは自動的に消灯します。

i インフォメーション

高速道路を走行している場合、または交差点と交わっている道路が高速道路の場合、ジャンクション・ライト機能は作動しません。

ダイナミック・ハイ・ビーム



図259: カメラの取り付け位置

ダイナミック・ハイ・ビーム装備車では、ルーム・ミラー付近に取り付けられたカメラAで前方の走行車および対向車の光源を検知し、ドライビング・ライトの遮光ポイントをハイ・ビームからロー・ビームの間で段階的に調節します。ドライビング・ライトの遮光ラインは、検出された車両が認識できるように調節されます。周囲が暗い状態で以下の条件が揃うと、この機能が作動します：

- ✓ ライト・スイッチが**AUTO**位置に選択されている
- ✓ 速度が約60km/h以上
- ✓ マルチファンクション・ディスプレイでダイナミック・ハイビームを有効にする
 - ▶ 「ダイナミック・ハイ・ビームの作動/停止」(310ページ)を参照してください。
- ✓ ダイナミック・ハイ・ビームがONになっている
 - ▶ 「ヘッドライト・パッシングを作動する」(328ページ)を参照してください。

市街地走行時にハイ・ビームに切り替わらないようにするため、ダイナミック・ハイ・ビームは約35km/h以下の速度では作動しません。また、カメラが複数の街路灯を検出した場合も自動的にハイ・ビームからロー・ビームに切り替わります。

⚠ 警告

集中力の低下

ダイナミック・ハイ・ビームを過信せず、走行時の周囲の明るさ、視界、交通状況に応じてハイ・ビームを手動で調節し、責任ある運転を心がけてください。このシステムは、あくまでも補助的な機能のため運転時には細心の注意を払ってください。次のような場合には手動での設定が必要になることがあります：

- 雨、霧、雪、氷、または多量の水しぶきなどの悪天候時
- 対向車を確認しにくい道路（高速道路など）
- 明るさが弱いライトの他車（自転車など）が走行している場合
- 急カーブ、起伏の激しい路面、坂道
- 明かりが少ない市街地
- 光を強く反射する物体（看板など）がある道路
- フロント・ウィンドウのカメラの視界が曇り、汚れ、凍結、またはステッカーで覆われている
 - ▶ 十分注意して運転してください。
 - ▶ 交通状況と車両周囲には常に注意を払ってください。
 - ▶ 必要な場合、ハイ・ビームを周囲の明るさ、視界、交通状況に合わせて手動で調節してください。

i インフォメーション

- ▶ カメラの作動を干渉する物がないことを確認してください：ルーム・ミラーのカメラの視界（327ページ：図259を参照）をステッカーなどで遮らないでください。
- ▶ 正常な機能を維持するために、カメラの視界に付着した汚れ、氷、雪などを取り除いてください。
 - ▶ 車両のお手入れについて：「車両のお手入れ」(124ページ)を参照してください。

方向指示灯/ハイ・ビーム・レバーの操作

このレバーを使用して、方向指示灯およびハイ・ビーム・ヘッドライトに加えて、パーキング・ライトおよびヘッドライト・パッシングも操作できます。



図260: 方向指示灯/ハイ・ビーム・レバー


- 1 方向指示灯、左
- 2 方向指示灯、右
- 3 ハイ・ビーム、ダイナミック・ハイ・ビーム
- 4 ヘッドライト・パッシング

方向指示灯の操作

- ▶ 操作レバーを下方向1または上方向2に抵抗を感じる位置を超えて動かしてください。方向指示灯は、操作レバーを手動で初期位置に戻すか、ステアリング・ホイールを回したときに自動的に初期位置に戻るまで、作動したままになります。
- ▶ 抵抗を感じる位置まで操作レバーを下方向1または上方向2に動かしてください。方向指示灯が3回点滅します。

ハイ・ビーム・ヘッドライトの操作




ハイ・ビームの点灯/消灯 (ダイナミック・ハイ・ビーム非装備車)

- ▶ **点灯**: 抵抗を感じる位置まで操作レバーを前方向3に1回動かしてください。インジケーター・ライト  が点灯します。
- ▶ **消灯**: 抵抗を感じる位置まで操作レバーを手前4に1回動かしてください。

ダイナミック・ハイ・ビームの作動/停止

ダイナミック・ハイ・ビームを作動させるには、次の条件を満たさなければなりません:


- ✓ 夜間
- ✓ ライト・スイッチが**AUTO**位置に選択されている
- ✓ 速度が約60km/h以上
- ✓ マルチファンクション・ディスプレイでダイナミック・ハイビームを有効にする
 - ▷ 「ダイナミック・ハイ・ビームの作動/停止」(310ページ)を参照してください。

- ▶ **作動**: 抵抗を感じる位置まで操作レバーを前方向3に1回動かしてください。インジケーター・ライト  が点灯します。ロー・ビームとハイ・ビームの間で段階的に配光が自動調節されます。ハイ・ビームの一時的に点灯または完全に点灯した時には、インジケーター・ライト  が点灯します。
- ▶ **停止**: 抵抗を感じる位置まで操作レバーを手前4に1回動かしてください。インジケーター・ライト  が点灯しているときのみダイナミック・ハイ・ビームを解除できます。


ダイナミック・ハイ・ビームの手動点灯/消灯

ダイナミック・ハイ・ビームを停止した場合、または作動条件が満たされなかった場合、手動でハイ・ビームを点灯および消灯できます。

以下の条件を満たさなければなりません:

- ✓ 夜間
- ✓ ライト・スイッチが**AUTO**位置に選択されている
- ▶ **点灯**: 抵抗を感じる位置まで操作レバーを前方向3に2回動かしてください。インジケーター・ライト  が点灯します。
- ▶ **消灯**: 抵抗を感じる位置まで操作レバーを手前4に1回動かしてください。

ヘッドライト・パッシングを作動する

- ▶ 抵抗を感じる位置まで操作レバーを手前4に1回動かしてください。インジケーター・ライト  が短時間点灯します。

パーキング・ライトの点灯/消灯

- ✓ イグニッションがONのとき
- ▶ 操作レバーを上方向**2**または下方向**1**に動かすと右または左側のパーキング・ライトが点灯します。

パーキング・ライトが点灯している場合は、イグニッションをオフにしてドアを開くとマルチファンクション・ディスプレイにメッセージが表示されます。

- ▶ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」(98ページ)を参照してください。

アダプティブ・ブレーキ・ライト

急制動(パニック・ブレーキ)時、減速中にブレーキ・ライトが点滅します。

ハザード・ライトのON/OFF

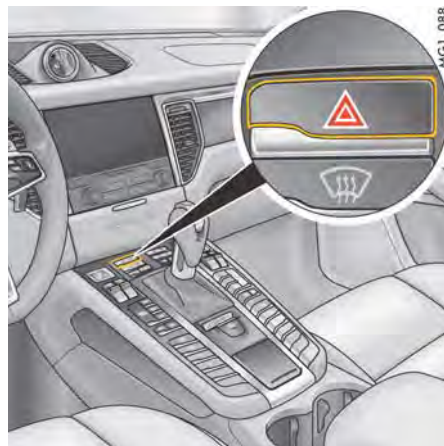


図261: センター・コンソールのハザード・ライト・ボタン

ハザード・ライトはイグニッションがオフのときでも機能します。

ハザード・ライトのON/OFF

- ▶ センター・コンソールのハザード・ライト・ボタンを押してください。
すべての方向指示灯とボタンのインジケーター・ライトが同時に点滅します。

緊急ブレーキ後のハザード・ライトの解除

約70km/hを超えた速度で走行中、目前に渋滞の最後尾が現れたときなどに、停車するために急ブレーキをかけると、ハザード・ライトが自動的に作動し、制動中にブレーキ・ライトが点滅します。

- ▶ センター・コンソールのボタンを押して、ハザード・ライトを停止させてください。
車両が動き出すと、ハザード・ライトが自動的に停止します。

事故後のハザード・ライトの解除

衝突時、ハザード・ライトが自動的に作動します。

- ▶ ハザード・ライトを停止するためには、イグニッションをOFFにした後、再度イグニッションをONにしてください。

発光ダイオード(LED)とロングライフ・バルブの交換

デイトタイム・ドライビング・ライト、フロント・パーキング・ライト、方向指示器、バイキセノン・ヘッドライトのガス・ディスチャージ電球、テール・ライト、ライセンス・ライト、ハイマウント・ブレーキ・ライトおよびインテリア・ライトには、発光ダイオード(LED)およびロングライフ・バルブが装着されています。

LEDは個別に交換できません。

ロングライフ・バルブの交換には専門知識が必要です。

- ▶ 不良の発光ダイオード(LED)とロングライフ・バルブの交換はポルシェ正規販売店にお任せください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ラゲッジ・コンパートメント

荷物の積載

荷室フロアの最大許容積載量は400kgです。床面全体に荷重がかかるように荷物を積載してください。

⚠ 危険

有毒な排気ガスの吸引

エンジンが作動している状態、または正しく閉じられていない場合でリヤ・リッドを開いていると、排気ガスが室内に侵入する危険があります。

- ▶ エンジンが作動しているときは、必ずリヤ・リッドを閉じてください。
- ▶ リヤ・リッドを開いたまま走行しないでください。

⚠ 警告

積載時の車両操縦性の変化

車両の操縦性は積載量によって変化します。

- ▶ ハンドリング特性の変化に合わせた運転をしてください。
- ▶ 最大総重量および最大軸荷重を超過しないでください。
- ▶ 「重量（メーカー発表値）」（378ページ）を参照してください。

⚠ 警告

固定されていない、正しく固定されていない、または不適切な位置にある荷物

荷物を固定していない、正しく固定していない、または不適切な位置にしていると、ブレーキやステアリングの操作時や、事故の際に荷物が飛び出して、乗員がケガをする恐れがあります。

- ▶ ブレーキやハンドル操作、事故等の際に飛び出さないように、積み荷は必ず固定してください。
- ▶ 荷物は常にラゲッジ・コンパートメントに積載してください。乗員スペース（シート前方やシートの上など）には置かないでください。
- ▶ 荷物は可能な限りシート・バックレストで支えてください。バックレストは常に所定の位置でロックしてください。
- ▶ 重い荷物は必ずリヤ・シート・バックレストを立てて、ロックした状態で積載してください。
- ▶ 荷物は可能な限り乗員が着座していないシートの後方に積載してください。
- ▶ 重い荷物はできるだけフロアの前方に寄せ、軽い荷物はその後ろに置いてください。
- ▶ 荷物はシート・バックレストの上端を越えないように置いてください。
- ▶ ラゲッジ・コンパートメント・パーテーション・ネットで乗員スペースを常に保護してください。
- ▶ ラゲッジ・コンパートメント・カバーの上に物を置いたまま走行しないでください。
- ▶ リヤ・シートに乗員がいない場合は、シートベルトを使用してシート・バックレストを補助的に支えることができます。外側座席のシートベルトを斜めに渡し、反対側のバックルにはめてください。
- ▶ 重量物を開いたままの小物入れの中に入れて運搬しないでください。
- ▶ 走行中は必ず小物入れのカバーを閉じてください。

⚠ 警告

不適切なタイヤ空気圧

タイヤ空気圧が正常でない場合、安全な走行に支障をきたす恐れがあります。

- ▶ 荷重に合わせてタイヤ空気圧を調整してください。
- ▶ タイヤ空気圧を変更した場合、タイヤ空気圧モニタリングの設定を更新してください。
- ▶ 「タイヤ空気圧メニュー（タイヤ空気圧モニタリング、TPM）」（301ページ）を参照してください。
- ▶ 「タイヤ空気圧」（381ページ）を参照してください。

知識

リヤ・ウィンドウ・ヒーターの熱線およびアンテナ・ワイヤーを損傷する恐れがあります。

- ▶ 荷物によるリヤ・ウィンドウ・ヒーターの熱線およびサイド・ウィンドウのTVアンテナの損傷に注意してください。

タイダウン・ベルトで荷物を固定する

- ▶ 荷物を固定するために、伸縮性のあるベルトやストラップを使用しないでください。
- ▶ ベルトやストラップを鋭利な部分にかけないでください。
- ▶ タイダウン装置を使用する方向、および注意事項を遵守してください。
- ▶ せん断強さが700kg以上、幅が25mm以内のベルトのみを使用してください。
- ▶ 荷物の上でベルトを交差させてください。

リヤ・リッドの開閉

- ▶ 「リヤ・リッドの開閉」（330ページ）を参照してください。

停止表示板の取り外し*

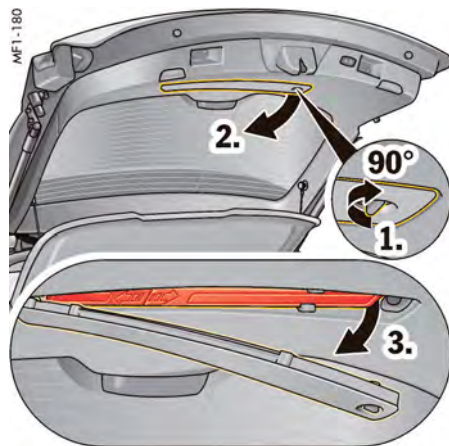


図262: 停止表示板の取り外し

停止表示板は、リヤ・リッド・カバーの裏側に収納されています。

1. ツイスト・ロックを90°回してください。
2. カバーを開いてください。
3. 停止表示板を慎重に外してください。

i インフォメーション

国別の仕様によっては、2個目の停止表示板がラゲッジ・コンパートメントのロード・シル下に収納されています。

応急処置セットの取り外し*

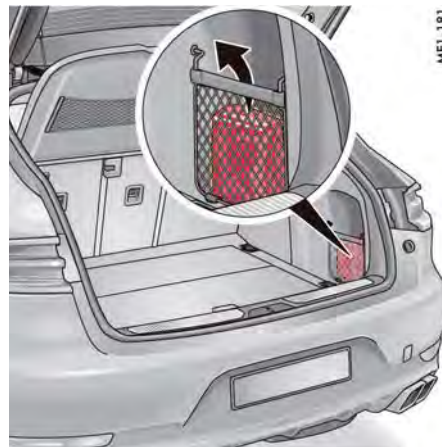


図263: 応急処置セットの取り外し

応急処置セット（国別仕様による）は、ラゲッジ・コンパートメントの進行方向右側に収納されています。

工具セットの取り外し

コラプシブル・スペア・ホイール装備車での工具セットの取り外し

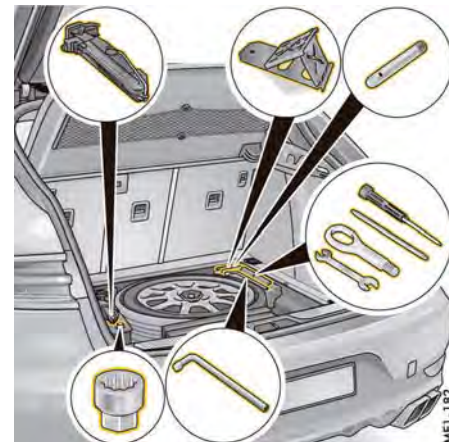


図264: コラプシブル・スペア・ホイール装備車の工具セット

コラプシブル・スペア・ホイール装備車では、工具セットはラゲッジ・コンパートメント・フロア下に収納されています。タイヤ交換に必要な工具（ジャッキ、ホイール・ボルト・レンチ、組付け補助工具、フォールディング・ウエッジなど）が入っています。

* 日本仕様に設定はありません。

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら

コラapsible・スペア・ホイール非装備車での工具セットの取り外し

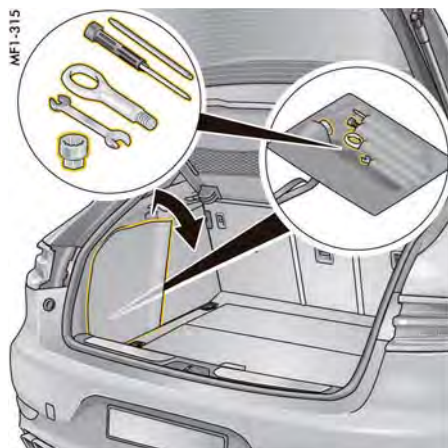


図265: コラapsible・スペア・ホイール非装備車の工具セット

コラapsible・スペア・ホイール非装備車では、工具セットは左側のサイド・トリム・パネル内に収納されています。

i インフォメーション

コラapsible・スペア・ホイール非装備のMacan Sディーゼルでは、AdBlue[®]タンク用のレンチが工具セットに含まれています。*

コンプレッサー/タイヤ・シーラントの取り外し



図266: コンプレッサー/タイヤ・シーラント

- A 空気圧計付きコンプレッサー
- B タイヤ・シーラント・カートリッジ

コラapsible・スペア・ホイール非装着車では、付きコンプレッサー **A** およびタイヤ・シーラント・カートリッジ **B** が装備されています。コンプレッサーを使用したタイヤ空気充填に関するインフォメーション:

▷ 「タイヤ空気充填」(170ページ)を参照してください。

タイヤ・シーラントの使用に関するインフォメーション:

▷ 「タイヤ・シーラントの充填」(233ページ)を参照してください。

ラゲッジ・コンパートメント・フロアの開閉

ラゲッジ・コンパートメント・フロアを開く

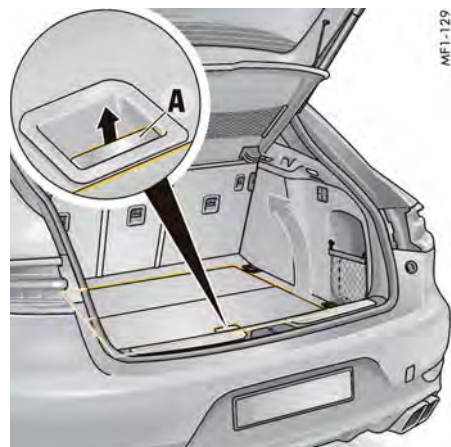


図267: ラゲッジ・コンパートメント・フロアを開く

1. ハンドル**A**を引いて、ラゲッジ・コンパートメント・フロアを半分折りたたんでください。
2. 半分に折りたたんだラゲッジ・コンパートメント・フロアをホルダー **B** から外し、取り外してください。

* 日本仕様に設定はありません。

ラゲッジ・コンパートメント・フロアを閉じる

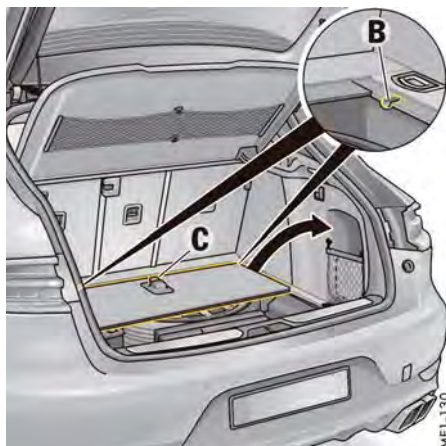


図268: ラゲッジ・コンパートメント・フロアを閉じる

1. 半分に折りたたんだラゲッジ・コンパートメント・フロアをホルダーBに差し込み、車両の床面に取り付けてください。
2. ハンドルCを引いて、ラゲッジ・コンパートメント・フロアを元に戻してください。

タイダウン・リングの使用

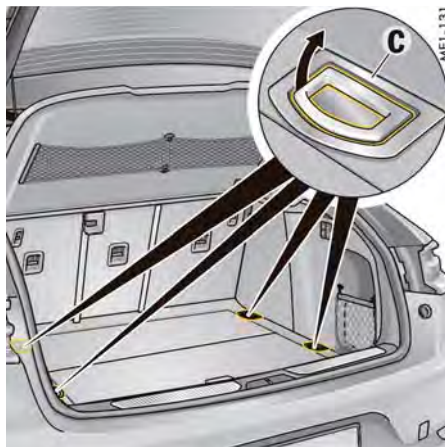


図269: タイダウン・リングの使用

タイダウン・ストラップをタイダウン・リングCに固定して、ラゲッジ・コンパートメント内の荷物を固定して移動することを防止できます。

▶ 荷物を固定するときは各リングに均等に荷重がかかっていることを確認してください。

i インフォメーション

タイダウン・リングは事故の際に重量物を支えることはできません。

カーゴ・マネージメントの使用

カーゴ・マネージメント・システムはラゲッジ・コンパートメントに荷物を固定する可変システムで、以下が含まれます。

- トランク・ルームにあるマウント・レール
- テレスコピック・バー 1本
- タイダウン・リング4個
- ストラップ・リール1個
- ラゲッジ・コンパートメント・パーテーション・ネット1枚
- リバーシブル・マット1枚

荷物の積載に関するインフォメーション:

- ▶ 「荷物の積載」(330ページ)を参照してください。

i インフォメーション

ラゲッジ・コンパートメント内のリバーシブル・マットは底面が滑り止め加工されており、濡れた荷物、重い荷物を積載するときに使用します。

- ▶ 濡れた荷物または重い荷物(ケースに入った飲み物など)を輸送するときは、リバーシブル・マットに埃や傷が付くのを防ぐため、滑り止め加工が施された底面を使用してください。

テレスコピック・バーを差し込み、調整する

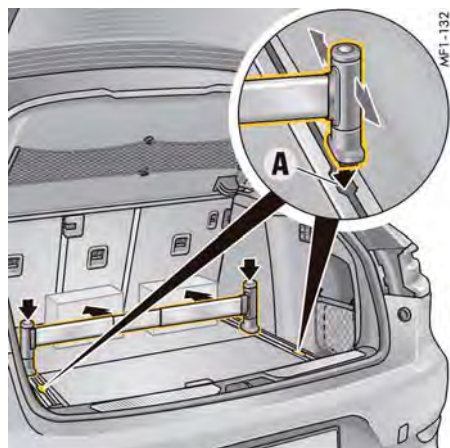


図270: テレスコピック・バーの使用

1. テレスコピック・バーの2個のエンド・エレメントをマウント・レールの開口部Aに差し込んでください。
2. エンド・エレメントを押し込み、荷物側に押ししてください。バーが正しく位置決めされると、荷物はそれ以上動きません。
3. エンド・エレメントを放してください。
4. エレメントを押し、エレメントが所定の位置にロックされていることを確認してください。

ストラップ・リールを差し込み、調整する

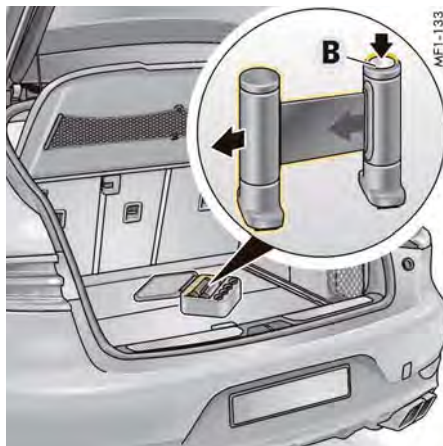


図271: ストラップ・リールの使用

ストラップ・リールはタイダウン・リングと共に供給バッグに収納されて、ラゲッジ・コンパートメントまたはスペア・ホイールの中に収納されています。

1. バッグからストラップ・リールを取り出してください。
2. ストラップ・リールのエンド・エレメントのボタンBを押し、両方のエレメントを2個のマウント・レールの幅まで引き出してください。

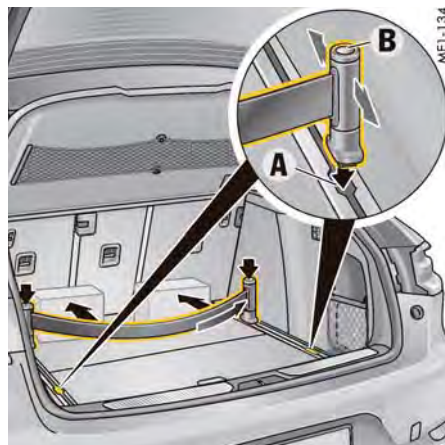


図272: ストラップ・リールの調節

3. ストラップ・リールの2個のエンド・エレメントをマウント・レールの開口部Aに差し込んでください。
4. 両方のエンド・エレメントを押し込み、荷物側に押しってください。
5. エンド・エレメントを放してください。
6. エレメントを押し、エレメントが所定の位置にロックされていることを確認してください。
7. ボタンBを押し、荷物が動かないようにストラップを張ってください。
8. ボタンBを放してください。

ストラップ・リール - 片方のレールに差し込む

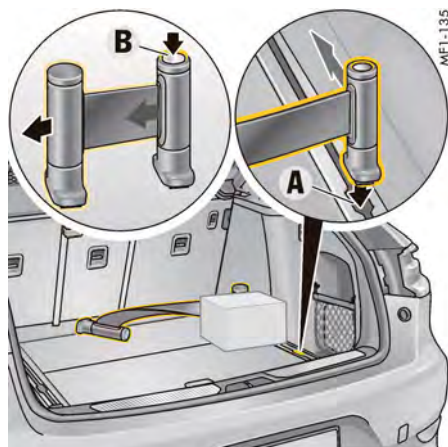


図273: ストラップ・リール - 片方のレールに差し込む

1. エンド・エレメントのボタンBを押して、両方のエレメントを少し引き出してください。
2. ストラップ・リールの片方のエンド・エレメントをマウント・レールの開口部Aに差し込み、押し込んで所定の位置までスライドさせてください。

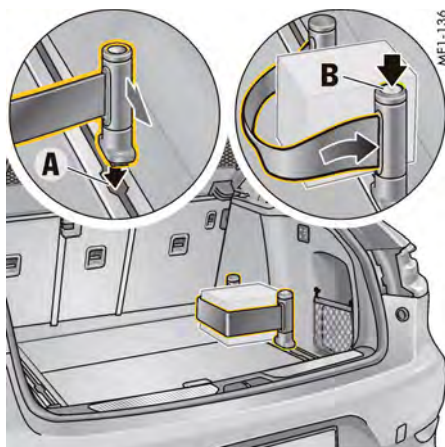


図274: ベルトを締め付けてください。

3. 2つ目のエレメントを同じ開口部 Aに差し込み、押し込んで反対方向にスライドさせてください。
4. エレメントを押して、エレメントが所定の位置にロックされていることを確認してください。
5. ボタンBを押して、ストラップを荷物の周囲に取り回してください。
荷物が動かないようにストラップを張ってください。
6. ボタンBを放してください。

タイダウン・リングを差し込み、調整する

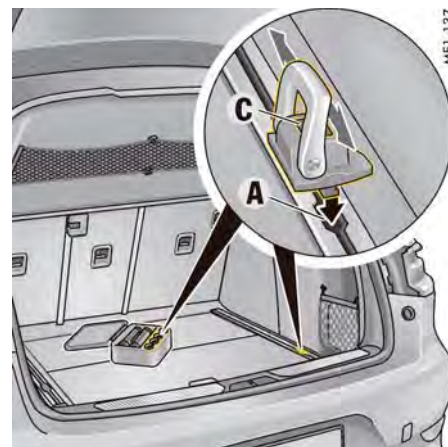


図275: タイダウン・リングの調整

- タイダウン・ストラップまたはラゲッジ・コンパートメント・パーテーションはタイダウン・リングに固定することができます。荷物を固定するときは各リングに均等に荷重がかかっていることを確認してください。タイダウン・リングは事故の際に重量物を支えることはできません。
1. タイダウン・リングをマウント・レールの開口部Aに差し込んでください。
 2. ボタンCを押し込んで、タイダウン・リングを対応する方向にスライドさせてください。
 3. ボタンCを放してください。
 4. タイダウン・リングを押して、エレメントが所定の位置にロックされていることを確認してください。

i インフォメーション

反対側のタイダウン・リングは必ず反対向きに差し込んでください。

ラゲッジ・コンパートメント・カバーの使用

ラゲッジ・コンパートメント・カバーは、リヤ・シート後方の左右に固定された取り外し可能な装備です。ラゲッジ・コンパートメント・カバーは必要に応じて取り外すことができます(清掃時など)、開いたテール・ゲートから車外に取り出すことができます。

⚠ 警告

ブレーキをかけたリステアリングを操作したとき、または事故の際に荷物が乗員スペースに飛び出して、乗員がケガをする恐れがあります。

▶ ラゲッジ・コンパートメント・カバーの上に物を置かないでください。

ラゲッジ・コンパートメント・カバーを取り外す

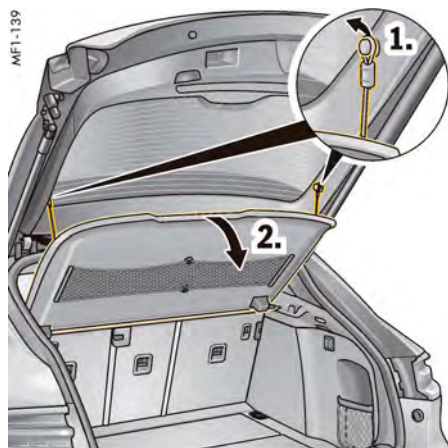


図276: ラゲッジ・コンパートメント・カバーの解放

1. 両側のリテーニング・ストラップを外します。
2. ラゲッジ・コンパートメント・カバーをサイド・サポートの上に置いてください。

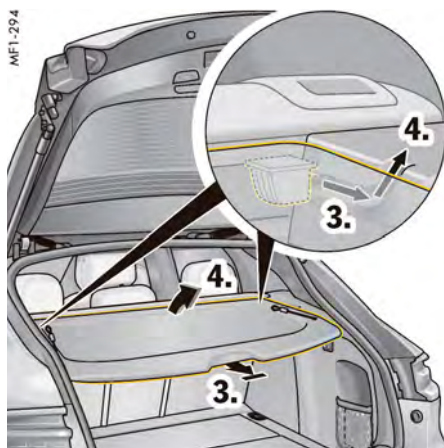


図277: ラゲッジ・コンパートメント・カバーの取り外し

3. ラゲッジ・コンパートメント・カバーを矢印の方向に引いてラッチ・メカニズムから外してください。
4. ラゲッジ・コンパートメントを取り外してください。

ラゲッジ・コンパートメント・カバーを取り付ける

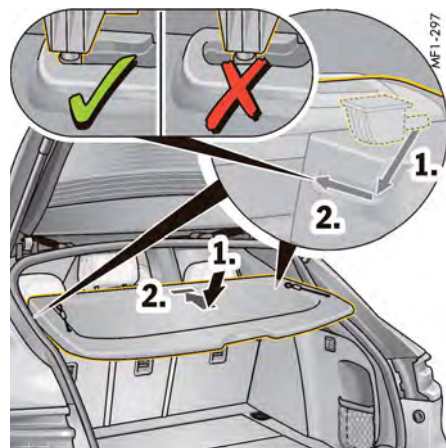


図278: ラゲッジ・コンパートメント・カバーの取り付け

1. ラゲッジ・コンパートメント・カバーをマウントに上から押し込んでください。
2. ラゲッジ・コンパートメント・カバーの左右にあるピンがフロント位置にはまるまで、矢印の方向にスライドさせてください。

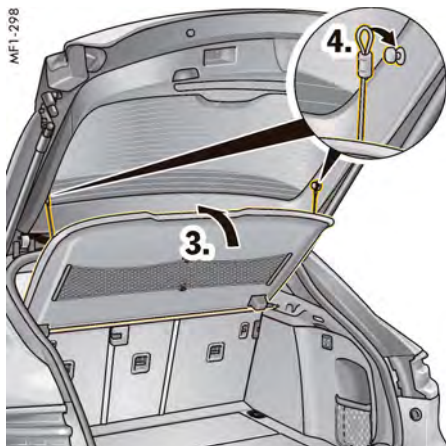


図279: ラゲッジ・コンパートメント・カバーの取り付け

3. ラゲッジ・コンパートメント・カバーを持ち上げてください。
4. 両側のリテーニング・ストラップをはめてください。

ラゲッジ・コンパートメント・パーテーション・ネットの使用

ラゲッジ・コンパートメント・パーテーション・ネットにより、ブレーキをかけたりステアリングを操作したとき、または事故の際に軽い荷物が荷室から飛び出すのを防ぐことができます。

荷物の積載に関するインフォメーション:

- ▶ 「荷物の積載」(330ページ)を参照してください。

▲ 警告

固定されていない荷物または損傷したラゲッジ・コンパートメント・パーテーション・ネット

ブレーキをかけたりステアリングを操作したとき、または事故の際に、固定されていない荷物が飛び出して、乗員がケガをする恐れがあります。

- ▶ ラゲッジ・コンパートメント・パーテーション・ネットを使用し乗員スペースを常に保護してください。
- ▶ 荷物は必ずタイダウン・リングで固定してください。
- ▶ 荷物はシート・バックレストの上端を越えないように置いてください。
- ▶ ラゲッジ・コンパートメント・パーテーション・ネットに大きな力がかかったり損傷した場合、パーテーション・ネットとリテーニング・ブラケットをボルシェ正規販売店で点検してください。
ボルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ラゲッジ・コンパートメント・パーテーション・ネットの取り付け

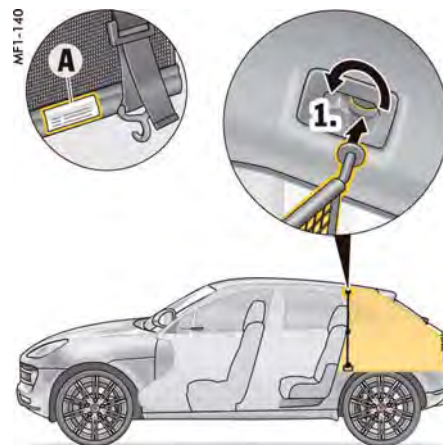


図280: ラゲッジ・コンパートメント・パーテーション・ネットの天井への取り付け

i インフォメーション

- ▶ ラゲッジ・コンパートメント・パーテーション・ネットを取り付ける際、ネットの適切な面が後ろ向きになっているか確認してください(ネットのラベルAを参照)。

リア・シート・バックレストを倒していない状態でのネット設置

1. ラゲッジ・コンパートメント・パーテーション・ネットの左右の固定フックを天井の後ろ側固定リングに掛けてください。

MF1-141

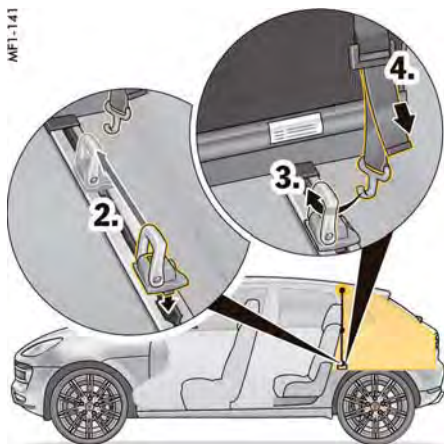


図281: ラゲッジ・コンパートメント・パーテーション・ネットの床への取り付け

左右のタイダウン・リングが、ラゲッジ・コンパートメント・フロアのレールの端からの距離が同じになるように位置決めしてください。できるだけネットを垂直に張り、またネットがリア・シート周辺にからまないようにしてください。

- ラゲッジ・コンパートメント・パーテーション・ネットの下部フックをラゲッジ・コンパートメント・フロアの位置決めしたタイダウン・リングに掛けてください。
- ベルト・ストラップを引いてネットを張ってください。

MF1-142

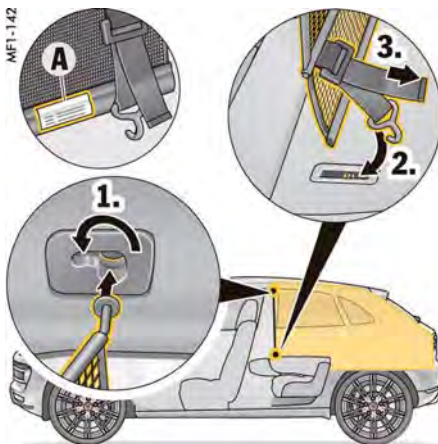


図282: リヤ・シートのバックレストを倒した状態でラゲッジ・コンパートメント・パーテーション・ネットを取り付ける

リア・シート・バックレストを倒した状態のネット設置

▷ リヤ・シート・バックレストを前方に倒すには:「リヤ・シート・バックレストを前方に倒す」(137ページ)を参照してください。

- ラゲッジ・コンパートメント・パーテーション・ネットの左右の固定フックを天井のフロント固定リングにはめ込んでください。
- ラゲッジ・コンパートメント・パーテーション・ネットの下部フックをバックレストにはめ込んでください。
- ベルト・ストラップを引いてネットを張ってください。

i インフォメーション

ラゲッジ・コンパートメント・パーテーション・ネットは、荷物を積んだときの位置やシート・バックレストの位置などに応じて張ってください。

スキー・バッグの使用

スキー板やスノー・ボードなどを車室内を損傷することなく、安全に運搬することができます。

知識

荷物の鋭い端(スノー・ボードなど)によってスキー・バッグが損傷する恐れがあります。

▶ 荷物の鋭い端部を保護してください。

スノー・ボードやスキー板をスキー・バッグに収納する

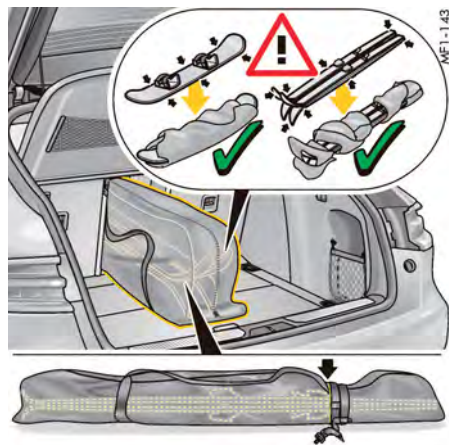


図283: スキー・バッグを収納する

スキー・バッグはトランク・ルーム内の所定のギア・バッグの中に収納されています。

- スノー・ボードやスキー板の端部にプロテクターを取り付けてください。
- スノー・ボードやスキー板をスキー・バッグに入れて、バッグを閉じてください。スキー板の後端を前方に向けてスキー・バッグに入れてください。スキー・バッグのファスナーは車両後方に向けてください。

- スキー板を締め付けストラップで締め付けてください。スキー・ピンディングはこのストラップの後方になければなりません。

スキー・バッグの積載と固定

- 中央のリヤ・シートのベルト・バックルを収納位置から移動してください。
- 中央のリヤ・シートのバックレストを前方に折りたたんでください：「中央のリヤ・シートのバックレストを前方に折りたたむ」(137ページ)を参照してください。
- スキー・バッグを荷室側から折りたたんだシート・バックレスト越しに押し込んでください。
スキー・バッグでセンター・コンソールを損傷しないように注意してください。



図284: スキー・バッグを保持する

- スキー・バッグのベルト・ラッチをバックルに差し込んでください。
- ベルトを締め付けてください。

スキー・バッグを収納する

- 中央のシートのベルト・バックルを外してください。
- スキー・バッグを取り外し、収容物を取り出してください。
- 中央のリヤ・シートのバックレストを垂直位置に調整してください：
▷ 「リヤ・シートのバックレストを垂直位置に戻す」(137ページ)を参照してください。
- スキー・バッグは必ず乾かしてから折りたたみ、ギア・バッグに収納してください。
- ギア・バッグをラゲッジ・コンパートメントにマジック・テープで固定してください。

i インフォメーション

スキー・バッグの最大積載量：34 kg (総重量)

ラジオ

概要

この概要説明は「ラジオ」に記載された情報に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく安全に関する指示および警告を必ずお読みください。

ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント (PCM) の操作に関するインフォメーション:
▷ 「ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント (PCM) の操作」 (273ページ) を参照してください。



図285:FM周波数帯

運転者が何をしたいか?	その操作方法は?	ページ
周波数帯の設定	▶ TUNER ボタンを何度か押して希望する周波数帯 (AMまたはFM) をヘッドラインに表示させてください。	341
放送局リストから放送局を選択する	▶ TUNER ボタン ▶ List (リスト) ▶ 選択 放送局	341
放送局リストをスクロール	▶ 希望の局が再生されるまでボタン または を押し続けてください。	
放送局リストから放送局を保存	▶ ボタン TUNER ▶ List (リスト) ▶ Store (保存) ▶ Store (保存) / 放送局ボタンを押してください。	342
保存した局を選択する	▶ ボタン TUNER ▶ Presets (プリセット) ▶ を押して、希望の放送局ボタンを押してください (A)。	341
放送局の詳細を表示する	▶ ボタン TUNER ▶ Presets (プリセット) ▶ 詳細を押してください。	342

周波数帯を設定する

1. **SOURCE** ボタンを押してください。

2. **AM** または **FM** を選択してください。

または

▶ **TUNER** ボタンを何度か押し、希望の周波数帯 (**AM** または **FM**) を設定してください。

または

1. **TUNER** ボタンを押してください。

2. ヘッドラインに表示された周波数帯を選択してください。

3. **SOURCE** メニューから希望する周波数帯 **AM** または **FM** を選択してください。

選局

保存した放送局を表示および選択する (プリセット)



図286:放送局ボタン (プリセット)

1. **TUNER** ボタン ▶ **Presets (プリセット)**

2. 放送局を選択してください。
選択した局のボタン (A など) が強調表示され、スピーカー・シンボルが表示されます。

合計20個の放送局ボタン (プリセット) が用意されており、最初の3ページに15個の放送局を自由に割り当てることができます (現在選択されているページの表示については、B を参照)。受信電波の最も強い5つのラジオ放送局が、自動的に4ページの放送局ボタンに割り当てられます (ベストFMレベル)。

スキップ・ボタンで選局する

▶ 選択したメイン・メニューに関わらず、**◀** および **▶** ボタンを使用して選局することができます。
放送局一覧の次/前の放送局、利用可能な周波数、またはアンサンブルが設定されます。

手動で選局する

✓ FM または AM 周波数帯が設定されます。

1. **TUNER** ボタン ▶ **Tune (チューン)**
2. 周波数バーを使用して周波数を選択してください。

放送局リストから放送局を選択する

1. **TUNER** ボタン ▶ 「**List (リスト)**」
2. 放送局を選択してください。
現在の周波数帯にあるすべての放送局が放送局リストに表示されます (最高100局まで)。

放送局のスクアンと選局

1. **TUNER** ボタン ▶ **OPT** ボタン
2. **Start scan (スクアン開始)** を選択してください。
周波数帯の各放送局のスクアンには約5秒かかります。
3. 放送局を選択して選局する：
▶ **OPT** ボタン。▶ **スクアン停止** を選択してください。
放送局がスクアン後に選局されます。

マルチファンクション・ディスプレイを使用して放送局を選択する





マルチファンクション・ディスプレイの使用に関するインフォメーション：

- ▶ 「マルチファンクション・ステアリング・ホイールでのマルチファンクション・ディスプレイの操作」(296ページ)を参照してください。



1. **オーディオメニュー** を選択してください。
2. 放送局リストから放送局を選択してください。

放送局の保存

選局した放送局を手動で保存する

1. **TUNER** ボタン ▶ **Tune (チューン)** 
2. 放送局を選局してください。
3. 放送局を保存する：
 - a. **Store (保存)**  を選択してください。
Presets (プリセット)  メニューが表示されます。
 - b. **Store (保存)**  または希望の放送局ボタン。
放送局が選択した放送局ボタンに保存されます。



または

- a. **Presets (プリセット)**  メニューを選択してください。
- b. **Store (保存)**  を3秒間押し続けてください。
放送局が選択した放送局ボタンに保存されます。


放送局を保存する

1. **TUNER** ボタン ▶ **OPT** ボタン
2. **放送局を保存** ▶ 放送局ボタンを押してください。
放送局が保存されます。

放送局リストから放送局を保存する

1. **TUNER** ボタン ▶ **List (リスト)** 
2. 放送局を選択して、 を選択してください。
3. 希望の放送局ボタンを押してください。
放送局が選択した放送局ボタンに保存されます。

放送局を自動で保存する


1. **TUNER** ボタン ▶ **Presets (プリセット)** 
2. **AS**を1秒以上押し続けてください。
検索が開始されます。受信電波の最も強い5つのラジオ放送局が、4ページ目に保存され(ベストFMレベル)、最も強い電波で受信された放送局が設定されます。

放送局情報の表示

ラジオ・テキストの表示

1. **TUNER** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **S** 設定 **FM**
2. **ラジオテキスト** を選択してください。
 ラジオ・テキスト がONに切り替わります。
 ラジオ・テキスト がOFFに切り替わります。
各放送局のプログラムに関する情報が利用可能な場合は「**詳細**」に表示されます。

放送局の詳細を表示する

1. **TUNER** ボタンを押してください。
2. 放送局の詳細を表示する：
 - a. **詳細** を選択してください。
または
 - a. **List (リスト)**  ▶ **OPT**
 - b. **放送局の詳細** を選択してください。
プログラム関連情報が表示されます。

設定の変更

放送局トラッキングのON/OFF

FM周波数帯の電波品質が低い場合、チューナーが自動的に選局した放送局の代替周波数への切り替えを試みます。

1. **TUNER** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **設定 FM**
2. 放送局トラッキングを選択してください。
 - 放送局トラッキングがONになります。
 - 放送局トラッキングがOFFになります。

リージョン適応のON/OFF

地域によって、FM周波数帯のプログラムは一部異っており、内容は地域別のプログラムでそれぞれ配信されています。

この機能をONにすると、その地域の代替周波数帯に切り替えることができません。

1. **TUNER** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **設定 FM**
2. リージョン適応を選択してください。
 - リージョン適応がONに切り替わります。
 - リージョン適応がOFFに切り替わります。

放送局リストのソート条件を設定する

1. **TUNER** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **SET FM ▶ ソート条件**
2. 希望の項目を選択してください。

- **放送局名** (FM)：放送局リストがアルファベット順に並び替えられます。
- **周波数** (FM、AM)：放送局リストは周波数帯内の放送局の順番で並び替えられます。

- **ジャンル** (FM)：放送局リストはプログラムの種類、またはジャンルによって並び替えられます。(ポップス、ロックなど)
- **電波品質** (FM、AM)：放送局リストは放送局の電波の強さによって並び替えられます。受信状態の良い放送局がリストの最上部に表示されます。

放送局表示の設定

1. **TUNER** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **設定 FM ▶ 放送局表示**
2. 希望の項目を選択してください。

- **放送局名**：放送局名が表示されます。
- **周波数**：放送局の周波数が表示されます。

放送局名の固定

1. **TUNER** ボタン ▶ **OPT** ボタン
2. **固定名**を選択してください。
現在表示されている放送局名を固定することができます。このときラジオ局のテキスト放送は表示できなくなります。
 - ▶ 再度テキストを表示するには、**リリース名**を選択してください。

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ


リヤ・ウィンドウ・ヒーター/ドア・ミラー・ヒーター

リヤ・ウィンドウ・ヒーターおよびドア・ミラー・ヒーター




図287: リヤ・ウィンドウ・ヒーター/ドア・ミラー・ヒーター

リヤ・ウィンドウ・ヒーターおよびドア・ミラー・ヒーターをONにする


- ✓ エンジンを作動状態にします。
- ▶  ボタンを押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。

外気温度によって、約5~20分後にリヤ・ウィンドウ/ドア・ミラー・ヒーターのスイッチが自動的にOFFになります。

再度ONにする

- ▶  ボタンを再度押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。

リヤ・ウィンドウ・ヒーターおよびドア・ミラー・ヒーターをOFFにする

- ▶  ボタンを押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが消灯します。

i インフォメーション

バッテリー電圧が低すぎると、リヤ・ウィンドウ・ヒーター/ドア・ミラー・ヒーターの作動が制限され、その後OFFになります。

A-Z

ルーフ・トランスポート・システム

ルーフに荷物を積載して運ぶ

ルーフ・トランスポート・システムは、車両のルーフに取り付けて様々な物を輸送することができます。

荷物を安全に確実に運ぶにはルーフ・トランスポート・システムや他の補助アタッチメント（スキー・ラック、バイク・ラック、サーフボード・ラック、ルーフ・ボックス、スノーボード・ホルダーなど）を使用してください。

- ▶ ポルシェ社がテストを行い、承認したルーフ・トランスポート・システムのみを使用してください。市販のルーフ・ラック・システムは装着できません。

ルーフ・トランスポート・システムに関するインフォメーション：

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。

▲ 警告

固定されていないまたは不適切な位置に固定したルーフ・トランスポート・システムまたは積載機器

適切に固定されていないルーフ・トランスポート・システムが走行中に外れ、重大事故を起こす恐れがあります。

- ▶ スキー・ラックやルーフ・ボックスなどの積載機器は、サポートに対してできる限り中央になるように取り付けてください。
- ▶ 走行を開始する前に、ルーフ・トランスポート・システムと積載機器が正しく確実に固定されていることを必ず確認してください。
- ▶ 長距離走行時は、途中で定期的に確認してください。
- ▶ すべてのファスニング・スクリューを再度締め付けてください。

▲ 警告

ルーフ・トランスポート・システムを装着した積載時の操縦性の变化

ルーフ・トランスポート・システムを装着し、荷積みした場合、車両のハンドリング特性が変化します（重心が高くなり、空気抵抗が大きくなります）。

- ▶ 慎重な運転を心がけてください。
- ▶ ルーフ・トランスポート・システムを装着して荷物を積載しているときは、130km/h以上の車速で走行しないでください。
- ▶ ルーフ・トランスポート・システムを装着して何も積んでいない場合、180km/h以上の速度で走行しないでください。
- ▶ ルーフ・トランスポート・システムに荷物を積載する際は、積み荷がルーフ・トランスポート・システムの側面からはみ出さないように注意してください。車両幅より幅が広いルーフ・トランスポート・システムは絶対に取り付けしないでください。
- ▶ 荷物の重心をできる限り低い位置にしてください。ルーフ・トランスポート・システムの積載エリア全体に、均等に荷重がかかるように荷物を載せてください。

▲ 警告

固定されていない、または不適切に固定した荷物

固定されていない、または不適切な位置に固定した荷物が走行中にルーフ・トランスポート・システムから外れ、重大事故を起こす恐れがあります。

- ▶ 走行中にずれないように、積み荷は適切な方法で固定してください。
- ▶ 伸縮性があるゴム製の固定具は使用しないでください。
- ▶ 荷物の重心をできる限り低い位置にしてください。ルーフ・トランスポート・システムの積載エリア全体に、均等に荷重がかかるように荷物を載せてください。

知識

ルーフ・トランスポート・システムを装着している場合に、スライディング/チルティング・ルーフを開くまたは上げると、ルーフや荷物が損傷します。

- ▶ ルーフ・トランスポート・システムを装着している場合は、スライディング/チルティング・ルーフを開いたり、上げたりしないでください。

知識

ルーフ・トランスポート・システムを装着したまま自動洗濯機を使用したり、車高に注意を払わなかったり、許容最大荷重を超過すると、車両やルーフ・トランスポート・システムを損傷する恐れがあります。

- ▶ 自動洗濯機を使用する前に、ルーフ・トランスポート・システムを完全に取り外してください。
- ▶ 立体駐車場など、高さが限られた場所に進入する前に、ルーフ・トランスポート・システムを含めた全高を確認してください。
- ▶ 最大ルーフ積載荷重、最大総重量および最大軸荷重の限度を超えないようにしてください。
 - ▷ 「重量（メーカー発表値）」（378ページ）を参照してください。
- ▶ ルーフ・トランスポート・システムの最大許容荷重を超えないようにしてください。

i インフォメーション

- ▶ ルーフ・トランスポート・システムを装着した状態では、燃費が悪化し、騒音が大きくなるため、使用しないときは車両から取り外すようにしてください。

ルーフ・トランスポート・システムの取り付け

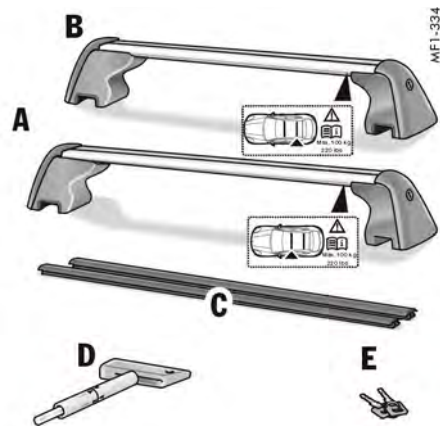


図288: ルーフ・トランスポート・システムの構成部品

- A フロント・キャリア (ロング)
- B リヤ・キャリア (ショート)
- C カバー・トリム
- D トルク・レンチ
- E キー

初めて取り付ける場合：

- ▶ フロントおよびリヤ・キャリアを車両幅に合わせて調節してください。

ルーフ・トランスポート・システムのキャリア・バーの下側にあるステッカーによりフロント・バーとリヤ・バーを識別してください (図288)。

- ▶ ステッカーが車両の左側になるようにキャリア・バーを取り付けてください。
- ▶ 取り付ける前に、ルーフ・レールのキャリア・バーのサポート部分を清掃してください。



図289: ルーフ・レールの穴

1. マークが付いた箇所のみキャリア・バーを固定してください。各ルーフ・レールの内側に穴が1つあります (図289)。サポート・アームのロック・ピンをこの穴にはめ込んでください。

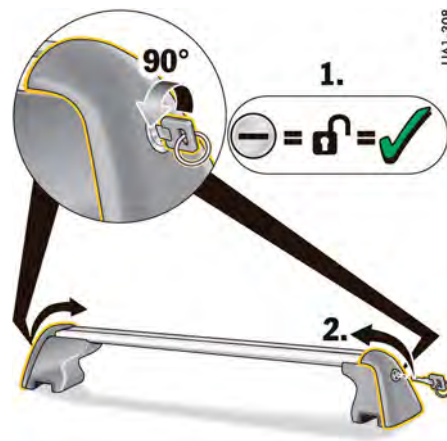


図290: サポートを開く

2. キャリア・バーを取り付けるため、サポートのカバーを開いてください。このとき、キーを差し込み、反時計回りに水平位置まで回してください。
3. カバーを持ち上げてください。

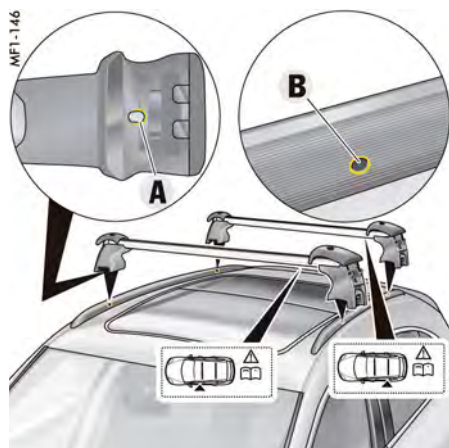


図291: ルーフ・レール上でのキャリア・バーの位置決め

- キャリア・バーを取り付ける前に、できるだけファスニング・スクリューをゆるめてください。
- キャリア・バーをルーフ・レールに慎重に位置決めし、まっすぐはめ込んでください。ロック・ピンAをルーフ・レールの該当する穴Bに差し込み、この位置で固定してください。

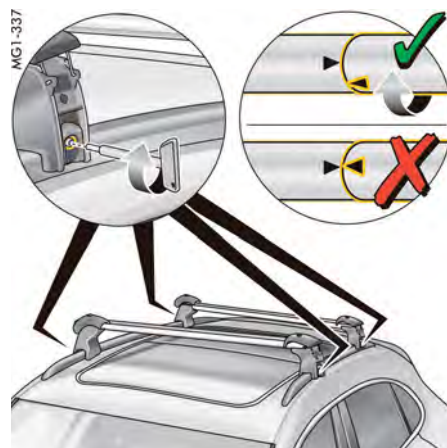


図292: サポートのファスニング・スクリューを締め付ける

- 両方のキャリアのサポートにあるファスニング・スクリューを対角の順に軽締めしてください。まだ完全な締め付けはしないでください。ロック・ピンが確実に固定され、キャリア・バーがスリップしないことを確認してください。

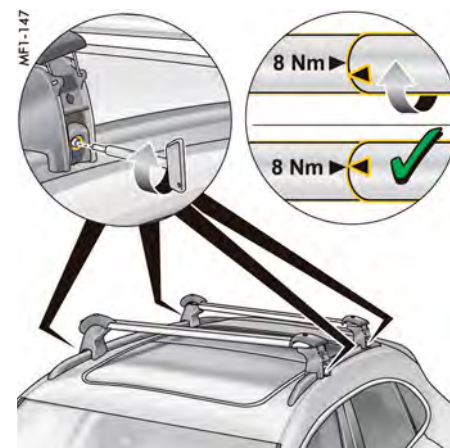


図293: サポートのファスニング・スクリューを締め付ける

- トルク・レンチを使用して、ファスニング・スクリューを対角の順に8Nmのトルクで完全に締め付けてください。このとき、トルク・レンチの2つの矢印マークが完全に一致するまで締め付けてください。これにより、2つのキャリア・バーは縦方向、横方向ともに固定されます。

あ
か
さ
た
な
は
ま
や

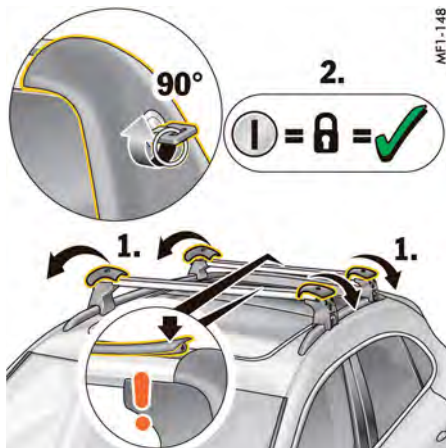


図294: カバーを閉じ、ロックする

8. すべてのカバーを閉じ、ロックしてください。そのために、キーを時計回りに垂直位置まで回して抜き取ってください。必要に応じてカバー・トリムを取り付けてください。

i インフォメーション

- ▶ 短距離を走行させた後、スクリューと留め具を点検してください。必要であれば締め直し、定期的に点検してください。
- ▶ 悪路ではスクリューをより頻繁に点検してください。点検を行わなかった場合、ルーフ・トランスポート・システムがゆるんで脱落し、他の運転者や歩行者などを負傷させる恐れがあります。

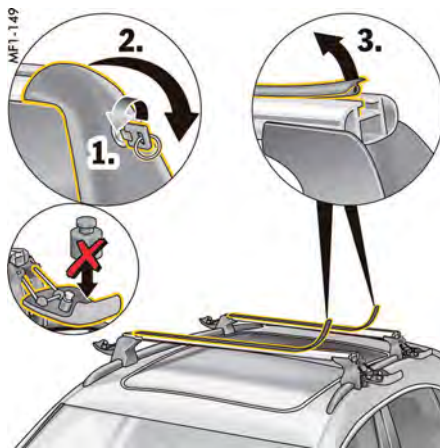


図295: アクセサリーの取り付け

アクセサリーの取り付け

1. アクセサリーを取り付けるには、サポート・カバーを開いて引き下げてください。引き下げたカバーに負荷をかけないでください。
2. キャリア・バー上のプロファイル・トリムを取り外し、アクセサリーをT溝にはめ込んでください。サポート・カバーを再度閉じてください。
3. アクセサリーの取り付けと固定に関する注意事項を遵守してください。

レーン・キープ・アシスト

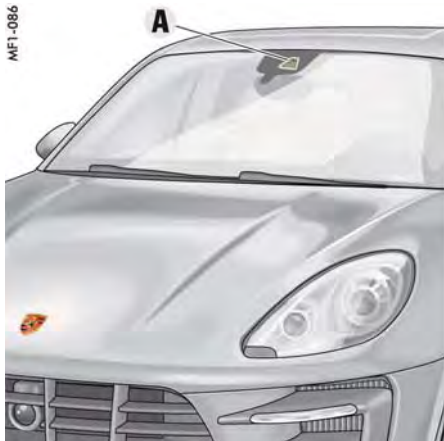


図296: ルーム・ミラー・カメラ

レーン・キープ・アシスト・システムは、ドライバーが意図せず車線を逸脱したり、方向指示灯を操作せずに車線変更をしたことを検出すると、元の車線に戻すためにステアリングの補正を行います。システムは警告音と警告表示によってドライバーに注意を促します。ドライバーはいつでも思い通りにステアリングを操作することができます。

フロント・ウインドウのカメラ(図296)が車線区分線を検出し、車線のコースを継続して再計算します。

約65km/h以上で走行中、システムが車線区分線との距離が危険な状態になったことを検出すると、車両を元の車線に戻すためにステアリングの補正を行います。更に警告音が鳴り、マルチファンクション・ディスプレイの該当する区分線がハイライトされます。

レーン・キープ・アシストの例外

以下の場合、レーン・キープ・アシストは利用できません：

- 方向指示灯がON
- PSM作動中およびPSMがOFFのとき
- 走行しているカーブの半径が小さすぎる(約300m以下)
- ブレーキを踏む力が強すぎる
- ステアリング操作が連続的に検出できない
- 速度が約60km/h以下
- 車線区分線が隠れている、はっきり見えない、または消えている
- カメラの視界に汚れ、凍結、またはステッカーなどによる遮断がある
- 悪天候(豪雨、薄暮など)

警告

集中力の低下

ドライバーは走行中、レーン・キープ・アシストが有効な場合であっても常に安全運転に努めてください。このシステムは、あくまでも補助的な機能のため運転時には細心の注意を払ってください。

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ 交通状況と車両周囲には常に注意を払ってください。
- ▶ 交通状況に応じた速度で運転してください。

警告

車線を検出するカメラの不良

雨水、雪、氷、多量の水しぶき、対向車のヘッドライトなどでカメラの視界が低下すると、カメラは車線を検出できない、または正しく検出できない場合があります。そのため、ステアリングの補正が行われなかったり、予期しない補正を行う場合があります。

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ ハンドルをしっかりと持ち、車線区分線に常に注意を払ってください。
- ▶ ルーム・ミラーのカメラの視界(図296)をステッカーなどで遮らないでください。
- ▶ 正常な機能を維持するために、カメラの視界に付着した汚れ、氷、雪などを取り除いてください。
 - ▷ 車両のお手入れについて:「車両のお手入れ」(124ページ)を参照してください。

警告

急カーブではステアリングの補正は行われません

急カーブでは、ステアリング補正機能は車線を維持するために十分ではありません。レーン・キープ・アシストが作動せず、ステアリングの補正は **ノ**ん行われません

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ ステアリング・ホイールは、必ず両手で持つようにしてください。

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

i インフォメーション

レーン・キープ・アシストがONの場合、ドライバーのステアリング操作は監視されています。ステアリングが動かない場合、短時間でマルチファンクション・ディスプレイに警告メッセージが表示されます。LKS 現在 使用不可ドライバーがステアリングを操作することで、レーン・キープ・アシストは再びONになります。

▶ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」(98ページ)を参照してください。

レーン・キープ・アシストのON/OFF



図297: LKS ボタン

レーン・キープ・アシストをONにする

▶ ボタンを押してください。ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。

車両が車線から外れると、レーン・キープ・アシストによるステアリング補正によって、走行していた車線に戻されます。更に警告音が鳴り、インストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイの該当する区分線が橙色になります。

レーン・キープ・アシストをOFFにする

▶ ボタンを再度押してください。ボタンのインジケーター・ライトが消灯します。ドライバーが車線を逸脱しても警告は行われません。

レーン・キープ・アシスト・ディスプレイの呼び出しと読み上げ



図298: レーン・キープ・アシストの表示

- A ACCメイン・メニュー
- B 車線区分線の表示
- C ステータス表示

アダプティブ・クルーズ・コントロール (ACC) 装備車

「ACC」メイン・メニュー (A) は車線区分線を表示します (B)。「ACC」メイン・メニューを選択していない場合、車線区分線はステータス・ディスプレイCに表示されます。

ACCメイン・メニュー呼び出し

▶ 「マルチファンクション・ステアリング・ホイールでのマルチファンクション・ディスプレイの操作」(296ページ)を参照してください。

▶ メイン・メニュー: 「ACC」を選択してください。

アダプティブ・クルーズ・コントロール (ACC) 非装備車 (ACC):

車線区分線はステータス・ディスプレイ (C)にのみ表示されます。

マルチファンクション・ディスプレイの 読み上げ

下の表は、マルチファンクション・ディスプレイに表示されるシンボルに関する情報をまとめたものです。

「ACC」メイ ステータス意味 ン・メニュー 表示



レーン・キープ・アシストがONで、無効になっています。



レーン・キープ・アシストがONで、有効になっています。



車両は、車線区分線から逸脱しました (オレンジ)。



レーン・キープ・アシストとアダプティブ・クルーズ・コントロールは有効になっています。

i インフォメーション

レーン・チェンジ・アシストに加えレーン・キープ・アシストがONのときに、車線変更を行うには危険とみなされる車両を検出すると、警告インジケーターが点灯している状態でもステアリングの補正を行います。

- ▷ 「レーン・チェンジ・アシスト(LCA) (352ページ) を参照してください。

警告音量の調節

警告音量は個別に調節することができます。

- ▷ 「車線を逸脱しているときの警告音量を調整する」(310ページ) を参照してください。

レーン・チェンジ・アシスト (LCA)

レーン・チェンジ・アシスト (LCA) は、後方から接近する車両や死角にある車両をドライバーに警告します。これは、他車を追い越すときや追い越されるときにも作動します。危険な状況や車線変更が不可避な状況を検出すると、両側のドア・ミラーの警告インジケーターが直ちに点灯します。

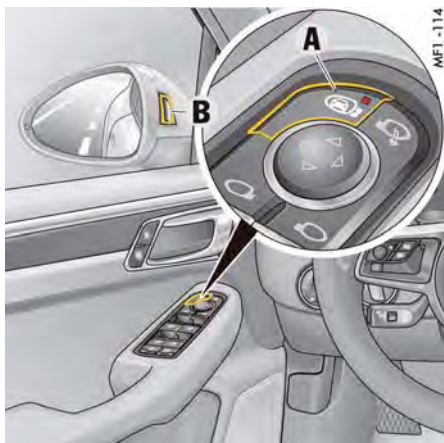


図299: ドア・ミラーの B 警告インジケーター A と ON/OFF ボタン

レーン・チェンジ・アシストの ON/OFF

レーン・チェンジ・アシストをONにする

- ▶ ボタンAを押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。

レーン・チェンジ・アシストをOFFにする

- ▶ ボタンAを再度押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが消灯します。

警告 集中力の低下

レーン・チェンジ・アシストが装備されていても、走行中は周囲の状況に注意し、責任ある運転を心がけてください。車線変更の際は、特に注意を払ってください。

- ▶ ハンドルをしっかり持ち、周囲の交通状況に常に注意を払ってください。

警告 レーダー・センサーの視界不良

レーダー・センサーの視界は急カーブ、凹凸のある道路、および悪天候（雨、雪、氷、強い水しぶき）では低下することがあります。車両を正しく検出できないことや、まったく検出できなくなることがあります。

- ▶ ハンドルをしっかり持ち、周囲の交通状況に常に注意を払ってください。

警告 LCAの車両検出不良

- レーン・チェンジ・アシストは高速で後方から接近する車両や遠ざかる車両に対しては、タイミング良く警告できない場合があります。
- レーン・チェンジ・アシストは急カーブ（半径約100m未満のカーブ）では機能しません。
- レーン・チェンジ・アシストは約30 km/h以上の速度で走行しているときにのみ、接近車両や死角エリアの車両をドライバーに警告します。

危険な状況に陥る恐れがあります。

- ▶ ハンドルをしっかり持ち、周囲の交通状況に常に注意を払ってください。

一般的なインフォメーション

- レーン・チェンジ・アシストは高速道路や郊外道路での走行に役立ちます。このためシステムは約30～250km/hの車速で走行する場合に機能します。
- このインジケーターはドライバーがドア・ミラーを一目見ただけで気づくよう設計されています。
- レーン・チェンジ・アシストのレーダー・センサーが覆われていることをシステムが検出した場合は、レーン・チェンジ・アシストは利用できません。
- レーダー・センサーは車両以外の他の障害物（高いまたは隆起した中央分離帯など）を検出することがあります。
- このインジケーターはドライバーがドア・ミラーを一目見ただけで気づくよう設計されています。

i インフォメーション

- ▶ 衝突修理後などレーダー・センサーの位置が変更された場合は、安全上の理由から必ずボルシェ正規販売店でレーン・チェンジ・アシスト・システムを点検してください。

i インフォメーション

レーン・チェンジ・アシストを適切に機能させるには：

- ▶ リヤ・バンパーのレーダー・センサー部（図300）をステッカーなどで塞がないでください。この周囲から汚れや雪、氷も取り除いてください。
- ▶ ドア・ミラーの警告インジケーターをステッカーなどで覆わないでください。



MF1-T15

図300: リヤ・バンパー内のレーダー・センサー

作動原理

レーン・チェンジ・アシストは、リヤ・バンパー内に組み込まれたレーダー・センサーを使用して、自車と検出した車両との距離および速度差を測定します。レーダー・センサーは後方約70m（近接ゾーン）の範囲および死角を監視しています。

レーン・チェンジ・アシストがその速度差および距離から車線変更が危険と判断した場合、該当するドア・ミラーに表示します。

車両の右側および左側は個別に表示されます。例えば、左ドア・ミラーの警告インジケータはドライバーが左車線に車線変更する際に役立ちます。

ドライバーが方向指示灯を操作した際、危険とみなす車両を検出すると、該当するドア・ミラーの警告インジケータが数回明るく点滅します。

他車をゆっくり（速度差約15km/h未満）と追い越す場合、他車が死角エリアに入ったことをレーン・チェンジ・アシストが検出すると、直ちに警告インジケータが点灯します。速度差がそれ以上の場合、ドア・ミラーには表示されません。

インフォメーション

レーダー・センサーは左右の隣接する車線を検出します。その他の車線は、レーダー・センサーで検出されません。

インフォメーションおよび警告ステージ

レーン・チェンジ・アシストには方向指示灯を操作するかしないかによって、2段階の警告インジケータ作動ステージがあります。

インフォメーション・ステージ

ドライバーが方向指示灯を操作していない場合、レーン・チェンジ・アシストは、検出した車両が車線変更の際に危険となりうると判断すると、ドライバーに知らせます。レーン・チェンジ・アシストが検出した車両との速度差および距離を危険と判断すると、該当するドア・ミラーの警告インジケータが弱い光で点灯します。

警告ステージ

レーン・チェンジ・アシストは、ドライバーが方向指示灯を操作した側に危険と見なされる車両を検出した場合、検出した側のドア・ミラーの警告インジケータが**明るく**点滅を開始します。警告ステージの数回の明るい点滅は、ドア・ミラーを見るかまたは肩越しに確認するなど、再度周囲の交通状況を確認するよう促しています。

インフォメーション

ドア・ミラーの警告インジケータの明るさは調節可能です。

▷ 「ドア・ミラーのレーン・チェンジ・アシスト (LCA) の表示の明るさを設定する」(309ページ)を参照してください。

インフォメーション

- 車両がより高速で接近してくると、ドア・ミラーの警告インジケータはより早いタイミングで点灯します。レーン・チェンジ・アシストによって検出されたすべての車両は、遅くとも「死角エリア」に入るまでにドライバーに警告されます。
- ドア・ミラーの警告インジケータがまだ表示されていない場合、高速で接近する車両がある場合、車線変更は危険と考えられます。

運転状況：

起こりうるケースとそれに関連するレーン・チェンジ・アシストの警告インジケータを、運転状況に応じて以下に説明します。

運転状況 - 高速で接近する車両

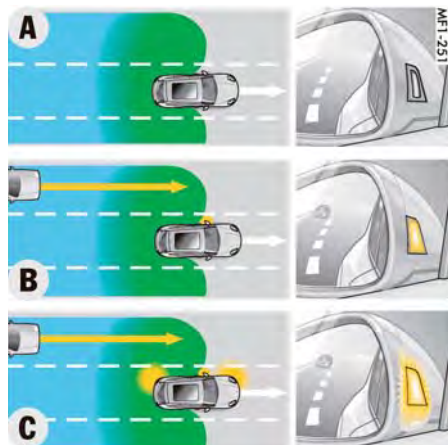


図301: 高速で接近する車両

A - ドア・ミラーの警告インジケータは点灯しない

センサーは車両を検出していません。ドア・ミラーの警告インジケータは点灯しません。

B - 警告インジケータがインフォメーション・ステージで点灯する

センサーが高速で接近する車両を検出しました (図の例は左車線を示しています)。車両との距離はまだ離れていますが、著しい速度差があるため、この車両はすでに車速変更を行うには危険と判断されます。ドア・ミラーの警告インジケータが点灯します。

C - 警告インジケータが警告ステージで点滅する

運転状況 Bでドライバーが方向指示灯を操作すると、ドア・ミラーの警告インジケータが数回明るく点滅します。レーン・チェンジ・アシストはドライバーが車両を見落としている可能性があることを知らせます。

運転状況 - ゆっくりと接近する車両

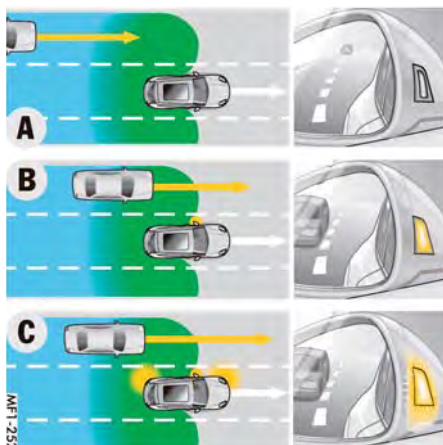


図302: ゆっくりと接近する車両

A - ドア・ミラーの警告インジケータは点灯しない

センサーがゆっくりと接近する車両を検出しました (図の例は左レーンを示す)。速度差が小さくて車間距離が長い場合は、ドア・ミラーに表示されません。

B - 警告インジケータがインフォメーション・ステージで点灯する

車両がゆっくりと接近してきています。ドア・ミラーの警告インジケータが点灯します。レーン・チェンジ・アシストがその速度差および距離から車線変更は危険と判断する場合のみ、ドア・ミラーに表示されます。レーン・チェンジ・アシストによって検出されたすべての車両は、遅くとも「死角エリア」に入るまでにドライバーに警告されます。

C - 警告インジケータが警告ステージで点滅する

運転状況 Bでドライバーが方向指示灯を操作すると、ドア・ミラーの警告インジケータが数回明るく点滅します。レーン・チェンジ・アシストはドライバーが車両を見落としている可能性があることを知らせます。

運転状況 - ゆっくりと遠ざかる車両

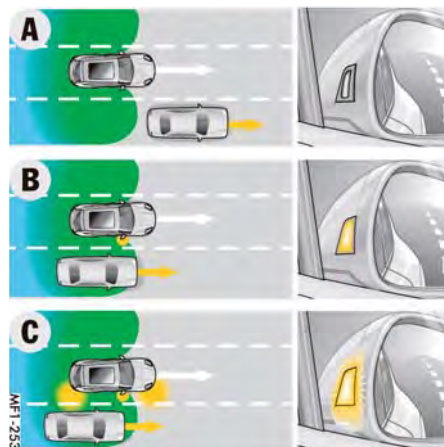


図303: ゆっくりと遠ざかる車両

あ
か
さ
た
な
は
ま
や

ら

わ

A-Z

A - ドア・ミラーの警告インジケーターは点灯しない

レーン・チェンジ・アシストは追い越される車両をまだ検出していません。ドア・ミラーの警告インジケーターは点灯しません。

B - 警告インジケーターがインフォメーション・ステージで点灯する

レーン・チェンジ・アシストはゆっくりと遠ざかる車両（速度差約15km/h未満）を右側車線で検出しました。ドア・ミラーの警告インジケーターが点灯します。

C - 警告インジケーターが警告ステージで点滅する

運転状況 **B**でドライバーが方向指示灯を操作すると、ドア・ミラーの警告インジケーターが数回明るく点滅します。レーン・チェンジ・アシストはドライバーが車両を見落としている可能性があることを知らせます。

走行状況 - 高速で遠ざかる車両

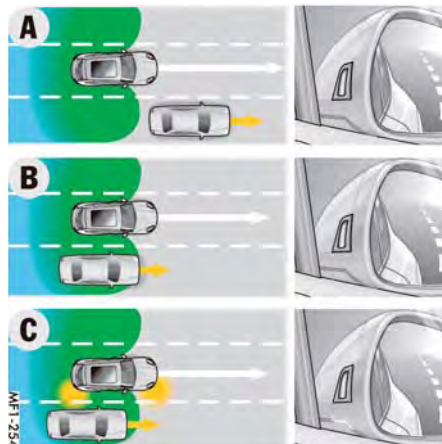


図304: 速く遠ざかる車両

A - ドア・ミラーの警告インジケーターは点灯しない

レーン・チェンジ・アシストは追い越される車両をまだ検出していません。ドア・ミラーの警告インジケーターは点灯しません。

B - ドア・ミラーの警告インジケーターは点灯しない

この例では、レーン・チェンジ・アシストは高速で遠ざかる車両（速度差約15km/h以上）を右側車線で検出しますが、高速で遠ざかっているため車線変更を行う際の危険とはみなされません。ドア・ミラーの警告インジケーターは点灯しません。

C - ドア・ミラーの警告インジケーターは点灯しない

運転状況 **B**でドライバーが方向指示灯を操作しても、ドア・ミラーの警告インジケーターは作動しません。

カーブを走行する

カーブを走行する場合、レーン・チェンジ・アシストは1つ離れたレーンを走行する車両に反応し、ドア・ミラーの警告インジケーターを点灯することがあります。

レーン・チェンジ・アシストは急カーブでは車両を検出できません（約100m未満の半径のカーブ）。

▶ カーブを走行するとき、および標準的な幅でない車線を走行するときは特に注意してください。

車線の幅

標準的な幅の車線の場合、ドライバーが車線の中央部または車線の端を走行していても、レーン・チェンジ・アシスト検出エリアには隣接した車線（左/右）が含まれます。

狭い車線を走行する場合、検出エリアにはより多くの車線が含まれます（特に車線の端を走行している場合）。このような状況では1つ離れたレーンを走行する車両が検出されることもあり、レーン・チェンジ・アシストがインフォメーションまたは警告ステージに切り替わる可能性があります。

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら

同様に、非常に幅の広い車線の場合、隣の車線の車両であっても、検出エリアの範囲外であれば検出されないことがあります。

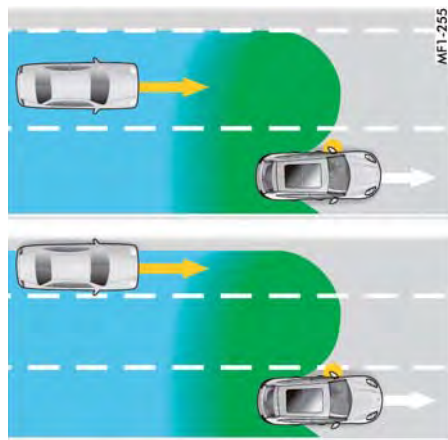


図305: 車線の幅と検出エリア

ドア・ミラーの警告インジケータの明るさ設定

警告インジケータ（インフォメーションおよび警告）は周囲の明るさによって自動的に調節されます。

必要に応じて、基本となる明るさをマルチファンクション・ディスプレイで調節することもできます：

- ▷ 「ドア・ミラーのレーン・チェンジ・アシスト (LCA) の表示の明るさを設定する」(309ページ)を参照してください。

i インフォメーション

明るさを調整している間はレーン・チェンジ・アシストが作動しません。警告インジケータは明るさ設定の補助として短時間のみ点灯します。

A-Z

リヤ・リッド

リヤ・リッドにはエレクトリック・ドライブ・メカニズムが組み込まれています。

リヤ・リッドを自動開閉する

⚠ 危険

有毒な排気ガスの吸引

エンジンが作動している状態、または正しく閉じられていない場合でリヤ・リッドを開いていると、排気ガスが室内に侵入する危険があります。

- ▶ エンジンが作動しているときは、リヤ・リッドを完全に閉じてください。

⚠ 警告

オートマチック・リヤ・リッドの不用意な開閉

オートマチック・リヤ・リッドが不用意に開閉することによりケガを負う恐れがあります。

- ▶ 停車中のみリヤ・リッドを開閉してください。
- ▶ リヤ・リッドの作動範囲内に人や動物がないことを確認してからリヤ・リッドを開閉してください。
- ▶ 万一のときはいつでも作動を中断できるように、リヤ・リッドの開閉作動から目を離さないでください。
- ▶ 「緊急時の開閉作動の中断」(359ページ)を参照してください。

知識

オートマチック・リヤ・リッドが不用意に開閉することにより損傷する恐れがあります。

開閉時、リヤ・リッドがガレージの天井や荷物に衝突することがあります。

- ▶ 車両の後方や上方に十分なスペースがあることを確認してください(ルーフ・トランスポート・システムやガレージの天井など)。
- ▶ 積み荷がラゲッジ・コンパートメントから突き出したり、はみ出したりしないようにしてください。

リヤ・リッドを自動で開く



図306: リヤ・リッドのロック解除ボタン


ボタンでリヤ・リッドを車外から開閉する

- ✓ ロックされていない車両(ボルシェ・エントリー&ドライブ非装備車)

または

- ✓ キーを携行します(ボルシェ・エントリー&ドライブ装備車)。
- ▶ ボタンを押してください(図306)。リヤ・リッドは、設定した高さまで開きます。
 - ▷ 「リヤ・リッドの開く高さの設定」(358ページ)を参照してください。

キーでリヤ・リッドを開く


- ✓ イグニッションがOFFである。
- ▶ キーのボタンを押してください。車両がロックされている場合、リヤ・リッドのロックが解除されると運転席ドアまたは車両全体のロックが解除されます(設定により異なります)。リヤ・リッドは、設定した高さまで開きます。
 - ▷ 「リヤ・リッドの開く高さの設定」(358ページ)を参照してください。

WF1-243



図307: 運転席ドアのリヤ・リッド・ボタン

運転席ドアのボタンを操作してリヤ・リッドを開く

- ▶ 運転席ドアの  ボタンを押してください。リヤ・リッドは、設定した高さまで開きます。
 - ▷ 「リヤ・リッドの開く高さの設定」(358ページ)を参照してください。


リヤ・リッド開作動中の障害物の検出

リヤ・リッドの開作動中に障害物によって作動が妨げられると、作動が中断されます。警告音が鳴り、リヤ・リッドが作動を停止します。

1. 障害物を取り除いてください。
2. リヤ・リッドを自動で開く

リヤ・リッドの開く高さの設定

リヤ・リッドを開く高さは個別に設定できます。

1. レベル・コントロール装備車*：
オートマチック・リヤ・リッドを開く高さを常に最高に設定してください。
2. 車両の後方に立ってリヤ・リッドを開いてください。
3. リヤ・リッドが全開時の約2/3の高さまで開いたときに、キーの  ボタンを押して自動開作動を中断してください。
4. そこから、設定したい高さになるまでリッドを手で持ち上げてください。
5. リヤ・リッドのトリム・パネルのボタンA (358ページ：図308)を約3秒間押ししてください。

リヤ・リッドを開く高さが保存されると確認音が鳴ります。リヤ・リッドはボタンAを押して閉じることができます。

リヤ・リッドが不意に作動した場合の自動停止
リヤ・リッドが降り積もった雪の重みなどで開いた状態から不意に下がると、パワー・メカニズムのブレーキ機能が作動してリッドの動きを制止するとともに、リッドの動きが止まるまで警告音が鳴ります。

- ▶ リヤ・リッドの動きが止まってから約1秒が経過すると、パワー・メカニズムのブレーキ機能が解除されます。

リヤ・リッドを自動で閉じる



注意

パワー・クロー징ング・メカニズム

リヤ・リッドは、引き下げると自動的に閉じ、ロックされます。

- ▶ リヤ・リッドの下や、ロックの近くに物を置いたり、指で触れないでください。
- ▶ お子様のみを車内に残さないでください。

運転席ドアのボタンを操作してリヤ・リッドを閉じる


- ✓ イグニッションをONにしてください。
- ▶ 運転席ドアの  ボタンを押してください。警告音が鳴り、リヤ・リッドが閉じます。



図308: リヤ・リッドのトリム・パネルのボタン

- A リヤ・リッドを閉じてください。
- B ポルシェ・エントリー&ドライブでリア・リッドを閉じてロックする

リヤ・リッドのトリム・パネルのボタンを操作してリヤ・リッドを閉じる

- ▶ リヤ・リッドのトリム・パネルのボタンAを押してください。リヤ・リッドが閉じます。

リヤ・リッドのトリム・パネルのボタンを操作して、リヤ・リッドを閉じてロックする（ポルシェ・エントリー&ドライブ装備車）

✓ 車両キーは車両の後部（車外）にある状態にします。

- ▶ リヤ・リッドのトリム・パネルのボタン **B** (358ページ：図308) を押してください。
リヤ・リッドが閉じて、車両がロックされます。

i インフォメーション

キーを車内に残した状態でボタン **B** を押した場合、リヤ・リッドの閉作動が自動的に中断されます。警告音が鳴り、リヤ・リッドが作動を停止します。

i インフォメーション

ポルシェ・エントリー&ドライブ装備車はキーが作動範囲外にある場合、リヤ・リッドを開くことができません。



リヤ・リッド閉作動中の障害物の検出

リヤ・リッドの閉作動中に障害物によって作動が妨げられると、作動が中断されます。警告音が鳴り、リヤ・リッドが作動を停止します。


1. 障害物を取り除いてください。
2. リヤ・リッドを自動または手でゆっくり閉じてください。

緊急時の開閉作動の中断

次のいずれかのボタンを押すと、リヤ・リッドの開閉作動をすぐに中断できます：

- ▶ キーの  ボタンを押してください。
または
運転席ドアの  ボタンを押してください。
または

リヤ・リッドのトリム・パネルのボタン **A** またはボタン **B** を押してください (358ページ：図308)

または
リヤ・ワイパーのリリース・ボタン  を押してください (357ページ：図306)。

自動開閉作動はいつでも再開することができます。

- ▶ 適切なボタンを押してください。

リヤ・リッドの緊急操作

リヤ・リッド・ドライブ・メカニズムの作動不良

バッテリーの電圧が低下するとリヤ・リッドの自動開閉機能は作動しません。この場合、ボタンを押すとリヤ・リッドのロックのみが解除され、警告音が短く3回鳴ります。リヤ・リッドは手で開くことができます。

- ▶ バッテリーを充電してください。

または

メカニズムの故障などでリヤ・リッドの自動開閉作動が中断した場合：



- ▶ リヤ・リッドを手でゆっくり開閉してください。

オーバーロード・プロテクション（過負荷時の保護機能）


リヤ・リッド・ドライブの過負荷を検出すると、警告音が短く鳴ります。このとき自動開閉機能が約30秒間作動しなくなります。

リヤ・リッドの緊急ロック解除

キーでの操作でリヤ・リッドのロックを解除できないとき（リモート・コントロールの電池が弱くなったときなど）：

1. エマージェンシー・キーを使用して運転席ドアのロックを解除し、ドアを開いてください。
2. ドア・パネルの  ボタンを押してください。リヤ・リッドのロックが解除されます。
3. 運転席ドアの  ボタンを押してください。

または

リヤ・ワイパーのリリース・ボタン  を押してください (357ページ：図306)。

または

リヤ・リッドの下端を握り、手で開いてください。



図309: リヤ・リッドの緊急ロック解除

あ

バッテリーがあがっている場合などでリヤ・リッドが開かないときは、リヤ・リッドの緊急操作を行う必要があります：

か

1. リヤ・シート・バックレストを前方に倒してください。

さ

▷ 「リヤ・シート・バックレストを前方に倒す」(137ページ)を参照してください。

た

2. 倒したシートの上を通過して、ラゲッジ・コンパートメントに入ってください。

な

3. リヤ・リッド内側の緊急ロック解除機構のカバーを適切な道具(ドライバーなど)で取り外してください。

は

4. リヤ・リッドのロックを、適切な道具(ドライバーなど)を使用して矢印の方向へ動かし、ロックを解除してください。

ま

リヤ・リッドのロックが解除され、その時には音が聞こえます。

や

5. リヤ・リッドは手で開くことができます。

ら

わ

A-Z

ログブック

概要

この概要説明は「ログブック」の記載内容に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく安全に関する指示および警告を必ずお読みください。

ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント (PCM) の操作に関するインフォメーション:

- ▷ 「ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント (PCM) の操作」(273ページ) を参照してください。



図310: ログブックの表示

運転者が何をしたいか?	その操作方法は?	ページ
ログブックの表示	▷ CAR ボタン ▶ トリップ ▶ ログブック ページを閲覧する	
ログブックの有効化	▷ CAR ボタン ▶ トリップ ▶ ログブック Logbook ページを閲覧 (スワイプ) する ▶ OPT ボタン ▶ ログブック設定 ▶ ログブックを作動	362
トリップ・カテゴリーの選択	▷ CAR ボタン ▶ トリップ ▶ 仕事、職場、またはプライベートを選択する	362
最後のトリップを継続	▷ CAR ボタン ▶ トリップ ▶ 継続 ▶ 継続を選択する	
給油地の追加	▷ CAR ボタン ▶ トリップ ▶ 停車 ▶ 保存を選択する	362
現在のトリップ・データの編集	▷ CAR ボタン ▶ トリップ ▶ 編集 ▶ 希望の項目を選択する	362
標準トリップを設定	▷ CAR ボタン ▶ トリップ ▶ ログブック ▶ OPT ボタン ▶ ログブック設定 ▶ 標準トリップを設定	362
キーまたはコントロール・ユニットをドライバーに割り当てる	▷ CAR ボタン ▶ トリップ ▶ ログブック ▶ OPT ボタン ▶ ログブック設定 ▶ Edit driver (ドライバーの編集) ▶ キーの割り当て ▶ Select driver (ドライバーの選択) ▶ 現在のキーを割り当てる	363
保存されたトリップの表示	▷ CAR ボタン ▶ トリップ ▶ ログブック ▶ OPT ボタン ▶ トリップ一覧を表示	363
保存したトリップを外部記憶装置に転送	▷ CAR ボタン ▶ トリップ ▶ ログブック ▶ OPT ボタン ▶ トリップを移動	363
保存したトリップを削除	▷ CAR ボタン ▶ トリップ ▶ ログブック ▶ OPT ボタン ▶ トリップを削除 ▶ 移動したトリップを消去 または すべてのトリップを消去	363

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

ログブック

ログブックは自動的にすべてのトリップを記録し、以下のデータとともに保存します。

- カテゴリー（仕事、通勤またはプライベート・トリップ）
- 日付と時刻
- ドライバー
- 目的地（仕事）
- 目的（仕事）
- 連絡先（仕事）
- 備考
- 出発地および目的地での走行距離

ログブックの有効化および無効化

1. **CAR** ボタン ▶トリップ



図311: ログブックの有効化

2. ログブック ページを閲覧（スワイプ）してください。
3. **OPT** ボタン ▶ログブック設定 を選択してください。
4. ログブックを作動を選択してください。
 - ログブック有効
 - ログブック無効

記録の開始

- ✓ イグニッションがONのとき。
- ✓ ログブックが有効になっている。
 - ▶ システムが自動的にトリップを記録し始めます。新しいトリップごとに個別に記録が行われます。

最後のトリップを継続する

1. **CAR** ボタン ▶トリップ ▶ログブック ▶継続
2. 継続を選択してください。最後のトリップを継続します。

インフォメーション

走行距離が100mに満たない場合は、記録されることなく次のトリップに追加されます。

現在のトリップのカテゴリーの変更

- ✓ ログブックが有効になっている。

1. **CAR** ボタン ▶トリップ ▶ログブック
2. 仕事、職場 または プライベートを選択してください。
トリップの目的に応じて、様々なドライビング・データが用意されています。初期設定では、標準トリップの設定 で定義されたカテゴリーが有効になります。
 - ▶ 「標準トリップを設定する」(362ページ)を参照してください。

給油地の追加

1. **CAR** ボタン ▶トリップ ▶ログブック ▶Stop（給油地）
2. 保存を選択してください。
日付と時刻および走行距離が保存されます。

現在のトリップの編集

1. **CAR** ボタン ▶トリップ ▶ログブック ▶編集
2. 希望のカテゴリーを選択してください。
 - ドライバー
 - 目的地
 - 目的
 - 連絡先
 - 備考
3. 現在の項目を選択または追加するには、追加を選択してください。


キーを抜き取るまでの間、現在のトリップを編集することができます。キーを抜くと、記録は停止し、保存されます。(ボルシェ・エントリー&ドライブ装備車では運転席ドアを開くまで)。

ログブックの設定

標準トリップを設定する


1. **CAR** ボタン ▶トリップ ▶ログブック
2. **OPT** ボタン ▶ログブック設定 ▶標準トリップを設定 を選択してください
トリップ開始時に初期設定で設定されたカテゴリー（仕事、職場、プライベートまたは 前回のトリップ）が選択されます。

キーをドライバーに割り当てる/割り当てを削除する

1. **CAR** ボタン ▶トリップ  ▶ログブック
2. **OPT** ボタン ▶ログブック設定 ▶Edit driver (ドライバーの編集) ▶キーの割り当て
3. ドライバーを選択してください。
4. 現在のキーを割り当てるを選択してください。
または
キーを消去を選択してください。


キーまたはコントロール・ユニットをドライバーに割り当てると、そのキーまたはコントロール・ユニットを使用した際にドライバーの名前が自動的にログブックで選択されます。

ドライビング・データを追加する、データ名を変更する、または削除する

1. **CAR** ボタン ▶トリップ  ▶ログブック
2. **OPT** ボタン ▶ログブック設定
3. 希望のカテゴリーを選択してください。
 - ドライバー
 - 目的地
 - 目的
 - 連絡先
4. 希望の機能を選択してください。
 - 追加
 - 名前の変更
 - 削除

保存したトリップの表示


最大1,500件のトリップを保存できます。

1. **CAR** ボタン ▶トリップ  ▶ログブック
2. **OPT** ボタン ▶トリップ一覧を表示
3. 希望の項目を選択してください。
4. 詳細ビューで次のトリップを表示するには、矢印ボタンを押してください。


保存したトリップの移動

付属のソフトウェアを使用して、ログブックのデータをPCに表示し編集することができます。


✓ SDカードが挿入されている、またはUSBメモリーが接続されている

1. **CAR** ボタン ▶トリップ  ▶ログブック
2. **OPT** ボタン ▶トリップを移動
3. SD または USB を選択して、保存したトリップを記憶装置に移動してください。
4. エクスポートを選択してください。
保存したすべてのトリップがエクスポートされます。

保存したトリップの削除

1. **CAR** ボタン ▶トリップ  ▶ログブック
2. **OPT** ボタン ▶トリップを消去
3. 移動したトリップを消去を選択してください。
または
PCMに保存されたすべてのトリップを消去するには、すべてのトリップを消去を選択してください。

リマインダーのON/OFF

1. **CAR** ボタン ▶トリップ  ▶ログブック
2. **OPT** ボタン ▶ログブック設定
3. PCMの起動時にリマインダーを数秒間表示したい場合は、リマインダーを表示を選択してください。
 - a. リマインダーを閉じるには、OK を選択してください。
 - b. ログブックを開くには、編集 を選択してください。

ワイパー・ブレード


知識

ワイパー・アームが不意に倒れるとフロント・ウィンドウを損傷する恐れがあります。

- ▶ ワイパー・ブレードを交換する場合は、ワイパー・アームをしっかりと保持してください。

知識

ワイパー・ブレードおよびワイパー・モーターは低温で凍結することがあります。

- ▶ 運転を開始する前に、ワイパーの凍結を溶かすには  ボタンを押してください。

知識

清掃が不適切な場合、ワイパー・ブレードのグライフット・コーティングが損傷する恐れがあります。

- ▶ 布またはスポンジでワイパー・ブレードを拭き取らないでください。きれいな水で洗い流すのみにしてください。

ワイパー・ブレードのお手入れ

良好な視界を確保するためには、完全な状態のワイパー・ブレードが不可欠です。

- ▶ ウィンドウ・クリーナーを使用してフロント・ウィンドウを定期的に清掃してください（「ウィンドウの清掃」（126ページ）を参照してください。）。特に洗車機を使用した後は清掃してください。ポルシェ社では、ポルシェ・テクニク製品のカークケア用品を使用することを推奨いたします。
- ▶ フロント・ウィンドウの汚れが激しいとき（昆虫の死骸が頑固に付着しているときな

ど）は、スポンジまたは布で拭き取ってください。

ワイパー・ブレードの交換

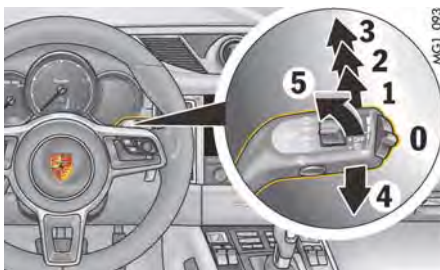


図312: ワイパー・レバー

知識

ワイパー・ブレードを交換したときに、ブレードが確実に取り付けられていないと、走行中に脱落することがあります。

- ▶ ワイパー・ブレードは、ワイパー・アームに正しく固定されていなければなりません。
- ▶ ワイパー・ブレードがしっかり取り付けられているか確認してください。

ワイパー・ブレードは1年に2回（冬季の前後）またはワイパーの払拭性能が低下したときや、ワイパー・ブレードが損傷した場合に交換してください。

- ✓ イグニッションをOFFにしてください。
- 1. ワイパー・レバーを下方向（図312, 4）に1回、動かしてください。ワイパーが上方に約45°移動します。
- 2. ワイパー・ブレードの交換は、ワイパー・ブレードに付属の取扱説明書を参照してください。ワイパー・ブレードを交換する場合は、左右でワイパー・ブレードの長さが異なるので注意してください。

i インフォメーション

必要な場合は、ポルシェ正規販売店で交換作業を行ってください。

ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。


Apple® CarPlay

PCMで Apple CarPlay® を開く



図313:センター・コンソールのUSBポート

- ✓ iPhone5®以降、iOS® 7.1以上
- ✓ Siri® およびApple® CarPlayがお使いのiPhone®の設定で有効になっている。
- ✓ iPhone®がセンター・コンソールのUSBポートに接続されている。
 - ▷ 「USB または AUX を介して外部機器を接続する」(280ページ)を参照してください。

1. **HOME** ボタン ▶メニュー  ▶スマホインテグレーション
2. Apple® CarPlayの使用を希望していることを確認してください。
利用可能なアプリが表示されます。

i インフォメーション

- Apple® CarPlayに対応しているiPhone® 内のアプリのみが表示されます。対応アプリに関するインフォメーション：
 - ▷ www.Apple.com/ios/carplayを開きます。
- Apple® CarPlayの表示コンテンツおよび機能は、接続済みのiPhone®でのみ提供されます。
- Apple® CarPlayを使用すると、接続されたiPhone®は通話機能のみに利用が制限されます。PCMにBluetooth®経由で接続された携帯電話は、自動的に接続が切断されます。
- 一部のアプリは、有効なデータ接続を必要とします。お使いの携帯電話の料金体系に応じて、また特に海外で携帯電話を使用する場合は、追加料金が発生する場合があります。定額データ・プランのご利用をお勧めします。

i インフォメーション

- ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント (PCM) の操作に関するインフォメーション：
- ▷ 「ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント (PCM) の操作」(273ページ)を参照してください。

PCMでApple® CarPlayを操作する

利用可能なすべてのアプリは、PCMのタッチスクリーン、ロータリー・プッシュ・ボタンおよびバック・ボタンで操作できます。

- ▶ Apple CarPlayのメイン・メニューを開くには、PCMのタッチスクリーンでホーム・ボタン  を押してください。
- ▶ PCMのメイン・メニューに切り替えるには、**HOME** ボタン ▶Porscheを押してください。
または
いずれかのワンタッチ・ボタン (例：**TUNER**) を押してください。

Siri®の音声認識機能を使用して CarPlay Apple®を操作する

Siri®を有効にする

- ✓ イグニッションおよびPCMをONにしている。
- ✓ 通話中でない。
- ✓ パーキング・エイドを使用していない。
- ✓ PCMボイス・コントロールを無効にしている。

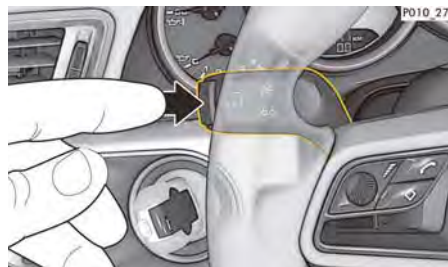





図314:操作レバーのボイス・コントロール・ボタン

1. 操作レバーの  ボタンを押し続けてください。
または
PCMタッチスクリーンのホーム・ボタン  を押し続けてください。
2. 希望の音声コマンドを発話してください。

Siri®を解除する

- ✓ 音声認識が有効で、音声コマンドを待機している

- ▶ 操作レバーのボタン  を押してください。終了音が鳴ります。
または
ボイス・コマンド キャンセル または 終了 を発話してください。
または
PCMの任意のボタンを押してください。該当する機能が開きます。

インフォメーション

操作レバーのボタン  を素早く押すと、PCMの音声認識機能が有効になります。

- ▶ 「ボイス・コントロール」(265ページ)を参照してください。



iPhone®をiPod®として使用する 場合およびApple® CarPlayモード で使用する場合の切り替え

iPhone®をセンター・コンソールのUSBポートに接続した後にiPod®として接続した場合、Apple® CarPlayは使用できません。

iPhone®をiPod®として使用する、またはApple® CarPlayモードで使用する場合の切り替えは、接続マネージャーを使用します。



図315:接続マネージャーを開く

1. フッターの  または  を選択してください (接続状態により異なる)。
2. スマホインテグレーションを選択してください。
3. お使いのiPhone®を選択してください。
4. iPodとして使用を選択してください。
または
Apple CarPlayモードで使用を選択してください。

ETCアンテナ

MF1-247



図316: ETC受信器の位置

受信状態を最適にするために、ETCアンテナはフロント・ウィンドウの内側のマーク位置(図316)に合わせて取り付けてください。

i インフォメーション

耐熱防音ガラスを装備した車両のフロント・ウィンドウの内側にETCアンテナを取り付けた場合、受信状態が制限され、作動に影響します。

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ

A-Z

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ

HOLD機能：発進アシスタント、停止制御

HOLD機能は、上り坂での停車時や発進時に、ドライバーの運転操作を支援します。

この機能により、車両の思わぬ後退を自動的に防ぎます。

HOLD機能が作動すると、インストルメント・パネルのインジケーター・ライト **HOLD** が点灯します。

アダプティブ・クルーズ・コントロールが正常に機能している場合、HOLD機能は自動ブレーキの後、停止した車両を保持します。

HOLD機能が作動中にドライバーが運転席シートベルトを外し、運転席ドアを開いた場合、エレクトリック・パーキング・ブレーキが自動的に作動します。

i インフォメーション

車両がエレクトリック・パーキング・ブレーキで坂道に停止している場合、通常の運転操作で発進します。

エレクトリック・パーキング・ブレーキはドライバーの発進操作を検出し、パーキング・ブレーキを自動解除します。

▷ 「エレクトリック・パーキング・ブレーキ」(244ページ)を参照してください。

i インフォメーション

発進アシスタントが機能しない場合：

- PDKセクター・レバーが**P**または**N**の位置にあるときHOLD機能が作動中にPDKセクター・レバーを操作すると、HOLD機能は解除されます。
- 車両が停止していない
- エンジンが停止している
- 坂道の勾配率が5%以下のとき
- 運転席ドアが開き、運転席シートベルトを着用していない
- ブレーキ・ペダルを踏む力が弱すぎる

停止制御を使用した発進操作

この機能により、ブレーキ・ペダルを踏んでいないときでも、車両の思わぬ後退を自動的に防ぐことができます。

i インフォメーション

車両が停止している間に素早くブレーキ・ペダルを踏み込むと、勾配に関係なくHOLD機能が作動します。この機能により、ブレーキ・ペダルを踏んでいないときでも、車両が動き出すことを防ぎます。この場合、PDKセクター・レバーを操作しても、HOLD機能は解除されません。

⚠ 警告

上り坂での車両の後退

ブレーキを使用せずに急な上り坂で車両を停止する場合、HOLD機能で車両が維持される前に後退する恐れがあります。このような状況の際、ドライバーはフット・ブレーキを踏んで後退を抑制することができます。

▶ フット・ブレーキをかけて制動力を上げることで、車両の停止維持を補助してください。

i インフォメーション

HOLD機能が作動したときは、ブレーキ・ペダルの感触が変化したり、ブレーキ・システムの油圧作動音が聞こえることがあります。これはシステムの正常な作動であり、故障ではありません。

▲ 警告**車両コントロールの喪失**

HOLD機能が装備されていても、物理的限界を超えて車両をコントロールすることはできません。上り坂で発進するときは、HOLD機能を過信せず、常に責任ある運転を心がけてください。

HOLD機能によるアシスタントは、滑りやすい路面（凍結路やぬかるみなど）で停止および発進するときは役立たないことがあります。この場合、発進時に車両がスリップする恐れがあります。

- ▶ 常に路面状況や車両負荷に応じた適切な運転を心がけてください。必要に応じてフット・ブレーキを使用してください。

発進アシスタントが機能していない場合、坂道での発進時に運転操作を支援しません。

- ▶ フット・ブレーキをかけて停車してください。

PDKセレクター・レバーの解除

知識

PDKセレクター・レバーが緊急解除されている状態においては、車両が固定されずに傾斜で動き出してしまうため、人身事故や損害を引き起こす場合があります。

- ▶ 緊急解除を行う前に、エレクトリック・パーキング・ブレーキを作動させ、さらに輪止めなどにより車両が動き出すのを防止してください。
- ▶ 「エレクトリック・パーキング・ブレーキ」(244ページ)を参照してください。
- ▶ 「車両が動き出さないように固定してください。」(232ページ)を参照してください。

PDK装備車両で電気系統に故障が発生した場合、セレクター・レバーを **N** 位置に動かすためには、セレクター・レバーの緊急解除を行う必要があります。(車両をけん引するときなど)

PDKセレクター・レバーの緊急解除

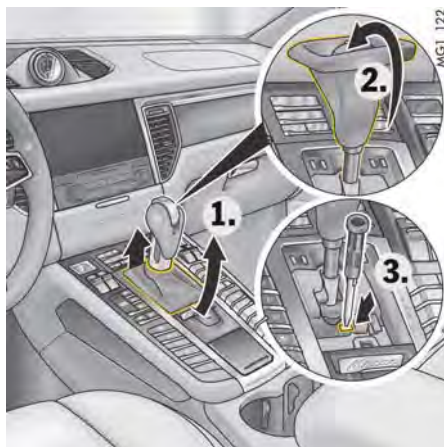


図317: PDKセレクター・レバーの緊急解除

1. 最初に、シフト・カバーのフレームを握って前側のクリップを外し、後ろ側のクリップを外してください。
 2. シフト・カバーを引き上げてセレクター・レバーから外してください。
 3. 適切な道具(スクレュードライバー)などを緊急解除用の開口部(黄色のプラスチック部分)に差し込み、スプリングの反発力に対抗して押し下げてください。
 4. 同時にセレクター・レバーの解除ボタンをしっかりと押し、セレクター・レバーを **N** の位置にしてください。
- ▶ 「工具セットの取り外し」(331ページ)を参照してください。

Porsche Connect App

Porsche Connect Appにより、個人的に設定したPOI（施設情報）や目的地を携帯電話の住所録やカレンダーからPCMに転送することができます。

i インフォメーション

ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント (PCM) の操作に関するインフォメーション:


- ▷ 「ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント (PCM) の操作」(273ページ) を参照してください。

WiFiを使用してPorsche Connect AppをPCMに接続し、PCMで開く

- ✓ Porsche Connect Appが携帯電話にインストールされている (Apple® App StoreまたはGoogle® Play Storeからダウンロード)
- ✓ Porsche Connect Appを起動している
- ✓ 携帯電話でWiFiを有効にしている
- ✓ PCMでWiFiを有効にしている
 - ▷ 「WiFi設定の設定」(199ページ) を参照してください。



図318: 接続マネージャーを開く



1. 携帯電話とPCMとのWiFi接続を確立してください。
 - a. 接続マネージャーを使用して、**Porsche Connect App** ▶PCMのWiFiホットスポット設定を順に選択し、フッターのPCMのWiFiアクセス・データを表示してください (図318)。
 - b. 携帯電話のWiFi設定にPCMのWiFiデータ (ホットスポット名 および ホットスポット・パスワード) を入力してください。
2. **HOME** ボタンを押してください。
3. **アプリ**  を選択してください。Porsche Connect Appの利用可能なコンテンツが表示されます。

i インフォメーション

- **PHONE** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **SET PHONE** ▶ **WiFi 設定** ▶ **PCM のWiFiホットスポット設定**を順に選択して、PCMのWiFiアクセス・データを表示することもできます。
- 接続マネージャーに関するインフォメーション:
 - ▷ 「接続マネージャー」(159ページ) を参照してください。


ナビゲーション目的地およびカレンダー入力をPCMに転送する

✓ Porsche Connect AppがPCMに接続されている。

- アプリで、ナビゲーション目的地またはカレンダー入力を選択してください。
 - オンライン検索**：オンライン検索機能を使用して、目的地を選択してください。
 - 連絡先**：住所の詳細を含む連絡先を選択してください。
 - カレンダー**：住所の詳細を含むカレンダーを選択してください。
 - 画像**：保存された画像を使用して、目的地を選択してください。
- アイコンを使用して、目的地をお気に入りリスト  **登録施設情報** に追加してください。
お気に入りリストに追加済みの項目にはチェックマークが付きます。
- Porsche Connect AppがPCMに接続されている場合は、お気に入りリストに保存されている **登録施設情報** の内容がPCMに転送されます。
必要に応じて、**HOME** ボタン▶**アプリ**  を選択してPCMディスプレイを手動で更新してください。
- HOME** ボタン▶**アプリ**▶**登録施設情報** または **カレンダー** を選択してください。
または
を選択してください **NAV** ボタン▶**保存した目的地**▶**登録施設情報**。
- 転送された目的地へのルート案内を開始してください。

PCMを使用して音楽を再生する

- ✓ 別途音楽サービス・アプリをダウンロードし、音楽サービスの登録手続きを済ませている。
- ▶ 音楽サービスのプロバイダーが提供する情報に従ってください。
- ✓ Porsche Connect AppがPCMに接続されている。

▶ **HOME** ボタン▶**アプリ** ▶希望の音楽サービスを選択してください。
または
SOURCE ボタン▶希望の音楽サービスを選択してください。
または
希望の音楽サービスが表示されるまで
MEDIA ボタンを押し続けてください。

インフォメーション

MyMusic (マイ・ミュージック) **MEDIA** のメニューでは、ユーザーはオフラインで保存された既存のプレイリストおよび楽曲を再生することができます。

テクニカル・データ

以降のページには、車両に関するテクニカル・データが掲載されています。

テクニカル・データ

車両の識別データ

車台番号



図319: 車台番号

車台番号はフロント・ウィンドウ枠の左下と助手席足元のカーペットのカバー下にあります。

- ▶ スペア・パーツの注文をする場合は、必ず車台番号を明示してください。

ビークル・プレート

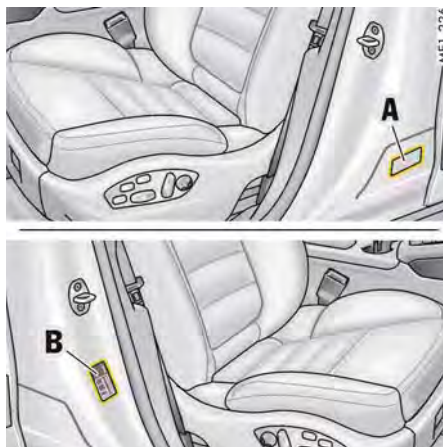


図320: タイヤ空気圧プレートとビークル・プレート固定位置

ビークル・プレートBは助手席側ドア・シル（ドア開口部）に取り付けられています。

タイヤ空気圧プレート

タイヤ空気圧プレートAは運転席側ドア・シル（ドア開口部）に取り付けられています。

データ・バンク

車両の大切な情報が記載されているデータ・バンクは、整備手帳の中に添付されています。

データ・バンクは紛失したり、破損したりしても再注文することはできません。

エンジン・データ（メーカー発表値）

	Macan Turbo	Macan GTS	Macan S
シリンダー数	6	6	6
総排気量	3,604 cm ³	2,997 cm ³	2,997 cm ³
最高出力 (ECE-R 85)	294 kW (400 hp)	265 kW (360 hp)	250 kW (340 hp)
エンジン回転数	6,000 rpm	6,000 rpm	5,500–6,500 rpm
最大トルク (ECE-R 85)	550 Nm	500 Nm	460 Nm
エンジン回転数	1,350–4,500 rpm	1,650–4,000 rpm	1,450–5,000 rpm
エンジン・オイル消費量	最大0.8 L/1,000 km	最大0.8 L/1,000 km	最大0.8 L/1,000 km
エンジン許容最高回転数	6,700 rpm	6,700 rpm	6,700 rpm

	Macan	Macan Sディーゼル*
シリンダー数	4	6
総排気量	1,984 cm ³	2,967 cm ³
最高出力 (ECE-R 85)	185 kW (252 hp)	(国によって異なります) 190 kW (258 hp) 184 kW (250 hp) 180 kW (245 hp) 155 kW (211 hp)
エンジン回転数	5,000–6,800 rpm	(国によって異なります) 4,000–4,250 rpm 3,500–4,500 rpm 4,000–4,500 rpm 2,750–5,000 rpm
最大トルク (ECE-R 85)	370 Nm	580 Nm
エンジン回転数	1,600–4,500 rpm	1,750–2,500 rpm
エンジン・オイル消費量	0.5 ℓ/1,000 km以下	最大0.3 ℓ/1,000 km
エンジン許容最高回転数	6,800 rpm	5,200 rpm

* 日本仕様に設定はありません。

充填容量

▶ ポルシェ社が承認したフルード、燃料のみを使用してください。詳細なインフォメーションについては：ポルシェ正規販売店にご相談ください。

	Macan Turbo	Macan GTS	Macan S	Macan	Macan Sディーゼル*
オイル・フィルターを含むエンジン・オイルの交換量（最大）	約8リットル	約8リットル	約8リットル	約4.7リットル	約6.4リットル
エンジン・オイル規格 ▶ 「エンジン・オイルの選択と補充」（69ページ）を参照してください。	Porsche A40 : SAE 0W-40 SAE 5W-40 SAE 5W-50	Porsche A40 : SAE 0W-40 SAE 5W-40 SAE 5W-50	Porsche A40 : SAE 0W-40 SAE 5W-40 SAE 5W-50	Porsche C30 または VW 504 00 : SAE 0W-30 SAE 5W-30	Porsche C30 または VW 507 00 : SAE 0W-30, SAE 5W-30
燃料タンク	約75リットル （予備用の約10リットルを含む）	約65リットル（予備用の約9リットルを含む） （オプション：約75リットル（予備用の約10リットルを含む）	約65リットル（予備用の約9リットルを含む） （オプション：約75リットル（予備用の約10リットルを含む）	約60リットル（予備用の約8リットルを含む）（オプション：約75リットル（予備用の約10リットルを含む）	約60リットル（予備用の約8リットルを含む）（オプション：約75リットル（予備用の約10リットルを含む）
燃料品質 ▶ 「給油」（88ページ）を参照してください。	この車両のエンジンは、 金属系添加物を含まない、オクタン価が98RON/88MONの無鉛プレミアム・ガソリンを使用したときに、最高の性能と燃費を達成するように設計されています。 (Macan:95 RON/85 MON)			ディーゼル燃料はヨーロッパ規格EN 590に準拠している必要があります。セタン価が51以上のものを使用してください。	
AdBlue®タンク	-	-	-	-	約23.3リットル
フロント・ウィンドウ/ヘッドライト・ウォッシャー液	約4.5リットルまたは6リットル（ヘッドライト・ウォッシャー・システム装備車）				

* 日本仕様に設定はありません。

燃料消費量とCO₂排出量

所定の測定方法による値を表示しています（規則 (Euro 5 および Euro 6:現行バージョンのRegulation (EC) 715/2007; Euro 4:現行バージョンのECE-R 101とECE-R.83。このデータは、すべての仕様の車両に合致するものではありません。また、メーカーがそれを保証するものでもありません。これらのデータは各仕様別のモデル比較のための情報です。個々の車両に関する詳細なインフォメーション：ポルシェ正規販売店にご相談ください。

車両タイプ	市街地走行 (L/100 km)	ハイウェイ走行 (L/100 km)	コンビネーション (統合作動) (L/100 km)	CO ₂ 総排気量 (g/km)
Euro 6のオート・スタート/ストップ機能装備車の燃費				
Macan Turbo	11.5 – 11.8	7.5 – 7.8	8.9 – 9.2	208 – 216
Macan GTS	11.4 – 11.8	7.4 – 7.8	8.8 – 9.2	207 – 215
Macan S	11.3 – 11.6	7.3 – 7.6	8.7 – 9.0	204 – 212
Macan	8.4 – 8.6	6.4 – 6.6	7.2 – 7.4	167 – 172
Macan Sディーゼル*	6.7 – 6.9	5.7 – 5.9	6.1 – 6.3	159 – 164
Euro 4およびEuro 5のオート・スタート/ストップ機能装備車の燃費				
Macan Turbo	11.5	7.5	8.9	208
Macan GTS	11.4	7.4	8.8	207
Macan S	11.3	7.3	8.7	204
Macan	8.4	6.4	7.2	167
Euro 4のオート・スタート/ストップ機能非装備車の燃費				
Macan Sディーゼル*	8.1	6.0	6.9	182

* 日本仕様に設定はありません。

重量（メーカー発表値）

EU規格1230/2012に基づく空車重量（運転者1名+荷物分(75kg)を含む）

- ▶ 最大総重量と最大軸荷重の限度を超えないようにしてください。追加アクセサリなどが装備されている場合は、それに応じて積載重量が減少します。
- ▶ Porsche Tequipmentの製品またはポルシェ社がテストを実施し、承認したルーフ・トランスポート・システムのみを使用してください。
- ▶ ルーフ・トランスポート・システムに荷物を積載しているときは、130km/h以上の速度で走行しないでください。

	Macan Turbo	Macan GTS	Macan S	Macan	Macan S ディーゼル*
空車重量（装備仕様により異なる）					
DIN 70020規格	1,925-2,110 kg	1,895-2,135 kg	1,865-2,105 kg	1,770-2,025 kg	1,880-2,120 kg
EC規格1230/2012に基づく	2,000-2,185 kg	1,970-2,210 kg	1,940-2,180 kg	1,845-2,100 kg	1,955-2,195 kg
最大軸荷重、フロント	1,290 kg	1,290 kg	1,290 kg	1,260 kg	1,290 kg
最大軸荷重、リヤ¹⁾	1,340 kg	1,340 kg	1,340 kg	1,310 kg	1,340 kg
最大総重量²⁾	2,550 kg	2,550 kg	2,550 kg	2,445 kg	2,575 kg
最大ルーフ積載荷重	75 kg	75 kg	75 kg	75 kg	75 kg
最大けん引重量、ブレーキ付き³⁾	2,400 kg	2,400 kg	2,400 kg	2,000 kg	2,400 kg
最大けん引重量、ブレーキなし	750 kg	750 kg	750 kg	750 kg	750 kg
車両とトレーラーを組み合わせた総重量 (トレーラーを含む)レーティング	4,950 kg	4,950 kg	4,950 kg	4,945 kg	4,975 kg
最大垂直連結荷重	96 kg	96 kg	96 kg	80 kg	96 kg

1) EUのみ：100 km/h以下で、135 kg積載+トレーラーけん引 (Macan：130 kg積載)

2) EUのみ：100 km/h以下で、100 kg積載+トレーラーけん引

3) 坂道の勾配率が12%以下のとき

* 日本仕様に設定はありません。

車両寸法（メーカー発表値）

	Macan Turbo	Macan GTS	Macan S	Macan	Macan S ディーゼル*
全長（装備仕様により異なる）	4,699 ~ 4,692 mm	4,692 mm	4,699 ~ 4,697 mm	4,699 ~ 4,697 mm	4,699 ~ 4,697 mm
全幅（装備仕様により異なる）	1,923 ~ 1,926 mm	1,926 mm	1,923 ~ 1,926 mm	1,923 ~ 1,926 mm	1,923 ~ 1,926 mm
ドア・ミラーを含む全幅	2,098 mm	2,098 mm	2,098 mm	2,098 mm	2,098 mm
DIN規格空車重量での車高 （装備によって異なります）	1,609 ~ 1,655 mm	1,609 mm	1,609 ~ 1,655 mm	1,609 ~ 1,655 mm	1,609 ~ 1,655 mm
リヤ・リッド・オープン時の全高	2,052 ~ 2,127 mm	2,112 mm	2,052 ~ 2,127 mm	2,052 ~ 2,127 mm	2,052 ~ 2,127 mm
最大渡河能力	300 mm	285 mm	300 mm	300 mm	300 mm

動力性能（メーカー発表値）

DIN規定の空車重量で計測しています。なお動力性能を損なう付加装置（特殊タイヤなど）は使用していません。

▶ 地域の法律等を遵守してトレーラー車両をけん引してください。

車両タイプ	最高速度	0~100 km/h発進加速 （括弧内の数値はスポーツ・プラス・モード）
Macan Turbo	266 km/h	4.8秒（4.6秒）
Macan GTS	256 km/h / 159 mph	5.2秒（5.0秒）
Macan S	254 km/h	5.4秒（5.2秒）
Macan	229 km/h / 142 mph	6.7秒（6.5秒）
Macan Sディーゼル*	230 km/h ¹⁾	6.3秒（6.1秒） / 7.7秒（7.5秒） ¹⁾

1) 出力155 kW (211 hp) のMacan Sディーゼル

* 日本仕様に設定はありません。

タイヤとホイール

タイヤ/ホイール・サイズ

ポルシェ社が承認したタイヤにより、最適な走行性能が得られます。記載されている荷重指数（91など）と速度記号（Yなど）以上の性能のタイヤを使用してください。新しいタイヤを装着するときやタイヤ交換時は：

▷ 「タイヤとホイール」（170ページ）を参照してください。

- ▷ スノー・チェーンは適切なマークが付いたタイヤ/ホイール・サイズにのみ、またリヤ・ホイールにのみ装着してください。スノー・チェーンを装着したときの最高速度については各国の法規に従ってください。ポルシェ社が認可したファインリンク・エッジ・チェーンのみを使用してください。
- ▷ 交換するタイヤ/ホイールがEU規格に適合しているか確認してください。必要であればホイール/タイヤの組み合わせがこの車両に適合するか参照してください。詳細なインフォメーションについては：ポルシェ正規販売店にご相談ください。

タイヤ種類	タイヤ・サイズ	ホイール・サイズ	スノー・チェーンの装着
全モデル			
クラブシブル・スベア・ホイール	195/75-18 106P ¹⁾	6B x 18、RO 14 ¹⁾	不可
	195/65-19 106P	6B x 19、RO 14	不可
Macan S、Macan、Macan S ディーゼル*			
サマー・タイヤ	FA : 235/60 R 18 103W ¹⁾ RA : 255/55 R 18 105W ¹⁾	FA : 8J x 18、RO 21 ¹⁾ RA : 9J x 18、RO 21 ¹⁾	不可
	FA : 235/55 R 19 101Y RA : 255/50 R 19 103Y	FA : 8J x 19、RO 21 RA : 9J x 19、RO 21	不可
	FA : 265/45 R 20 104Y ²⁾ RA : 295/40 R 20 106Y ²⁾	FA : 9J x 20、RO 26 ²⁾ RA : 10J x 20、RO 19 ²⁾	不可
	FA : 265/40 R 21 101Y ²⁾ RA : 295/35 R 21 103Y ²⁾	FA : 9J x 21、RO 26 ²⁾ RA : 10J x 21、RO 19 ²⁾	不可
ウインター/オール・シーズン・タイヤ	FA : 235/60 R 18 103V M+S ¹⁾ RA : 255/55 R 18 105V M+S ¹⁾	FA : 8J x 18、RO 21 ¹⁾ RA : 9J x 18、RO 21 ¹⁾	はい、リヤ・アクスルのみです。
	FA : 235/55 R 19 101V M+S RA : 255/50 R 19 103V M+S	FA : 8J x 19、RO 21 RA : 9J x 19、RO 21	はい、リヤ・アクスルのみです。
	FA : 265/45 R 20 104V M+S ²⁾ RA : 295/40 R 20 106V M+S ²⁾	FA : 9J x 20、RO 26 ²⁾ RA : 10J x 20、RO 19 ²⁾	不可

* 日本仕様に設定はありません。

タイヤ種類	タイヤ・サイズ	ホイール・サイズ	スノー・チェーンの装着
Macan GTS、Macan Turbo			
サマー・タイヤ	FA : 235/55 R 19 101Y RA : 255/50 R 19 103Y	FA : 8J x 19, RO 21 RA : 9J x 19, RO 21	不可
	FA : 265/45 R 20 104Y ²⁾ RA : 295/40 R 20 106Y ²⁾	FA : 9J x 20, RO 26 ²⁾ RA : 10J x 20, RO 19 ²⁾	不可
	FA : 265/40 R 21 101Y ²⁾ RA : 295/35 R 21 103Y ²⁾	FA : 9J x 21, RO 26 ²⁾ RA : 10J x 21, RO 19 ²⁾	不可
ウインター / オール・シーズン・タイヤ	FA : 235/60 R 18 103V M+S ^{1) 3)} RA : 255/55 R 18 105V M+S ^{1) 3)}	FA : 8J x 18, RO 21 ^{1) 3)} RA : 9J x 18, RO 21 ^{1) 3)}	はい、リヤ・アクスルのみです。
	FA : 235/55 R 19 101V M+S RA : 255/50 R 19 103V M+S	FA : 8J x 19, RO 21 RA : 9J x 19, RO 21	はい、リヤ・アクスルのみです。
	FA : 265/45 R 20 104V M+S ²⁾ RA : 295/40 R 20 106V M+S ²⁾	FA : 9J x 20, RO 26 ²⁾ RA : 10J x 20, RO 19 ²⁾	不可

- 1) ボルシェ・セラミック・コンポジット・ブレーキ (CCB) 非装備車のみ
 2) リヤ・アクスルにホイール・アーチ・エクステンションを装備した車両のみ
 3) Macan GTSのみ

タイヤ空気圧

これらの空気圧は、冷間時のタイヤ空気圧 (20°C) として、ボルシェ社が認可したメーカーおよび仕様のタイヤのみに適用します。車両の積載荷重はマルチファンクション・ディスプレイで設定してください。車両重量に応じてタイヤ空気圧を変更してください。
 ▶ 「タイヤ空気圧メニュー (タイヤ空気圧モニタリング、TPM)」 (301ページ) を参照してください。

タイヤ FA = フロント・アクスル、RA = リヤ・アクスル	部分積載時		全積載時	
	FA	RA	FA	RA
Macan GTS 夏用タイヤ、オール・シーズン・タイヤを除くすべての夏用タイヤ、冬用タイヤ、およびオール・シーズン・タイヤ (235/55 R 19 / 255/50 R 19)	2.3 bar / 230 kPa / 33 psi	2.5 bar / 250 kPa / 36 psi	2.5 bar / 250 kPa / 36 psi	2.7 bar / 270 kPa / 39 psi
Macan GTS 夏用タイヤ、オール・シーズン・タイヤ 235/55 R 19 / 255/50 R 19	2.3 bar / 230 kPa / 33 psi	2.8 bar / 280 kPa / 40 psi	2.5 bar / 250 kPa / 36 psi	3.0 bar / 300 kPa / 44 psi
コラブシブル・スペア・ホイール 6B x 18, RO 14 / 6B x 19, RO 14	3.5 bar / 350 kPa / 50 psi			

ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント (PCM)

テクニカル・データ	オーディオ・ファイル	ビデオ・ファイル					
対応するメディア	SDカード (最大128 GB) DVDドライブ オーディオCD (最大80分)、CD-ROM (最大700 MB)、DVD±R/RW、標準ビデオDVD、DVDオーディオ互換ビデオDVD ポータブル・プレーヤー MTPプレーヤー、サブクラス1および6のUSB-2.0デバイス：例えば、USBスティックメモリ、特別なドライバーが不要なUSB MP3プレーヤー、外付けUSBフラッシュメモリ、外付けUSBハードディスクドライブなど DVDオートチェンジャー オーディオCD (最大80分)、標準ビデオDVD、DVDオーディオ互換ビデオDVD						
ファイル・システム	SD/SDHC/SDXC/MMC メモリー・カード USB大容量記憶装置 exFAT、FAT、またはFAT32、NTFSファイル・システム (最大4パーティション) DVDドライブ ISO9660、Joliet、UDF						
フォーマット	MPEG 1/2 Layer 3	Windows Media Audio 9および10	MPEG 2/4	MPEG 1/2	ISO-MPEG4 ; DivX 3、4および5 ; Xvid	ISO-MPEG4 H.264 (MPEG4 AVC)	Windows Media Audio 9
ファイル拡張子	.mp3 (DVDチェンジャー以外)	.wma ; .asf	.m4a ; .m4b ; .aac	.mpg ; .mpeg	.avi	.mp4 ; .m4v ; .mov	.wmv
再生リスト	.M3U ; .PLS ; .WPL ; .M3U8 ; .ASX						
特徴	最大320 kbit/s およびサンプリング周波数 48 kHz		最大2,000 kbit/s および 720x576 px. (最大25 fps時)				
ファイル数	DVDドライブ DVDごとに最大1,000ファイル Jukebox (最大11 GB ストレージ容量) 最大3,000ファイルをコピー可 USB大容量記憶装置 および メモリー・カード 最大10,000ファイル/メディア						
メタデータ	アルバム・カバー最大800 x 800ピクセル ; GIF、JPG、およびPNGフォーマット、またはGracenoteデータベース経由		-				
ビデオDVDリージョン・コード	-	コード1 : USA、カナダおよび米国自治領 コード2 : ヨーロッパ、グリーンランド、南アフリカ、エジプトおよび中東、日本 コード3 : 東南アジア、韓国、香港、インドネシア、フィリピン、台湾 コード4 : オーストラリア、ニュージーランド、メキシコ、中央アメリカ、南アメリカ コード5 : ロシアおよび他の旧ソ連諸国、東ヨーロッパ、インド、アフリカ コード6 : 中華人民共和国 コード8 : 国際領土 (クルーズ船、飛行機)					

テクニカル・データ：接続

携帯ネットワーク	GSM/GPRS/EDGE：デュアル・バンド、900 MHz/1800 MHz UMTS/HSPA+：トリプル・バンド、900 MHz (Band VIII)/1800 MHz (Band III)/2100 MHz (Band I) LTE：クワッド・バンド、800 MHz (Band 20)/900 MHz (Band 8) /1800 MHz (Band 3)/2600 MHz (Band 7)
WiFi	IEEE 802.11a/b/g/n (2.4 GHz)
Bluetooth®	Bluetooth® 2.1、IEEE 802.15.1、クラス2、通信範囲約10 m

テクニカル・データ：ラジオ

周波数範囲/規格	UKW (FM)：87.5～108 MHz (100 kHzごとの手動調節) MW (AM)：531～1,602 KHz (1 kHzごとの手動調節) デジタル・ラジオ：DAB、DAB+、DMB；L-Band
自動選局付きチューニング・グリッド	UKW (FM)：100 kHz MW (AM)：9 kHz

テクニカル・データ：TV

規格	DVB-T/DVB-H/DVB-T2
-----------	--------------------

テクニカル・データ：CD/DVDドライブ

一般的なインフォメーション	この製品は製造時においてドイツ/国際規格DIN EN 60825-1に準拠したClass 1レーザー製品です。2008-05 および DHHS 規則 21 CFR サブチャプター J-クラス1レーザー製品のレーザー光線は、通常の作動条件下では危険を生じない程度の弱いものです。この製品は、レーザー光線がデバイス内部に完全に密閉されるように設計されています。
レーザー光線出力	DVD：0.68 mW CD：0.85 mW
レーザー光線波長	DVD：665 nm CD：795 nm

検査マークおよび適合宣言書

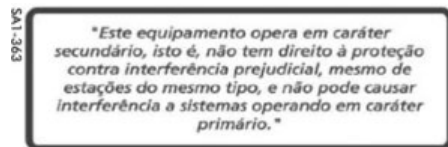
欧州連合 (EU)

ポルシェ社では、当社車両に装着されているラジオおよびレーダー・システムが、用途に基づいて使用する場合、指令1999/5/ECの基本要件および他の関連規約に適合していることを承認します。

オーストラリア



ブラジル



香港

HKCA 1035: Automotive radar: radio equipment exempted from licensing.



インドネシア

21962/SDPPI/2011
22097/SDPPI/2011 2181

イスラエル

Model name: TSSRE4Dg
Manufacturer: Huf Electronics Bretten

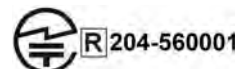
שם הדגם (Hebrew :Model name)
28416031/2 / 28-4003-61004-3-00 / 7PP905865

SA1-366

שם היצרן וכתובתו (Hebrew : Manufacturer and address)
Continental AG
Siemensstraße 12
93055 Regensburg

SA1-367

日本



Japanese Radio Law Compliance. This device is granted pursuant to the Japanese Radio Law. This device should not be modified (otherwise the granted designation number will become invalid).

ヨルダン

Type approval No.:TRC/LPD/2009/15
Type approval No.:TRC/LPD/2011/106

マレーシア

Continental
28416032 / 28416031
RAAW/33A/0512/S(12-0755)

モロッコ

AGREE PAR L'ANRT MAROC
Numéro d'agrément : MR 5371 ANRT 2010
Date d'agrément : 02 / 02 / 2010

メキシコ

Radar de largo alcance, 77GHz,
MARCA : BOSCH, MODELO : LRR3,
COFETEL : (RCPBOLR09-0828)

モルドバ



オマーン

Oman - TRA R/0686/12 D090016
Oman - TRA/TA-R/2609/15

カタール

ictQATAR Type Approval reg. No.: R-2419
Approval Ref.: CRA/SA/2015/R-4714

セルビア



シンガポール

Complies with IDA Standards DB01752.
Complies with IDA Standards DB03227.
Complies with IDA Standards DA103858.

南アフリカ



韓国



This equipment has been approved under EMC Registration as a Class B device (for domestic use) and can be used in both residential and commercial areas.

台湾

CCAB10LP3800T1
CCAK15LP0801T1

Regulations for the low-power radio wave radiation devices:

Without permission for the approved low-power radio-frequency devices, any companies, firms or users are not allowed to change the frequency band, increase the power or change the specifications and functionality of the original design.

The low power radio-frequency devices are not allowed to influence aircraft safety or interfere with any legal communications. In case any interference phenomenon is detected, the use of this device should stop immediately, and cannot continue being used until it is improved so that it no longer causes any interference.

The term “legal communications” stated in the last paragraph refers to the operating radio communication system which is in compliance with the Regulations for the Telecommunications.

Low power radio-frequency devices must be able to tolerate interference from legal communication or from any industrial, scientific or medical radiation devices or equipment.

ウクライナ



アラブ首長国連邦

TRA REGISTERED No: ER0075624/11,
DEALER No: DA0053436/10
TRA REGISTERED No: 0016889/09,
DEALER No: 0014972/08
TRA REGISTERED No: 0016889/09,
DEALER No: DA36785/14
TRA REGISTERED No: ER38964/15,
DEALER: HUF ELECTRONICS GmbH

Bluetooth® 認証 (抜粋)

- Albania
- Andorra
- Angola
- Aruba
- Australia
- Austria
- Bahamas
- Bahrain
- Barbados
- Belarus
- Belgium
- Belize
- Bolivia
- Bonaire
- Bosnia and Herzegovina
- Brazil
- Brunei
- Bulgaria
- Burkina Faso
- Canada
- Chile
- China
- Colombia
- Costa Rica
- Croatia
- Curacao
- Cyprus
- Czech Republic
- Denmark
- Dominican Republic
- Ecuador
- Egypt
- El Salvador
- Estonia
- Ethiopia
- Finland
- France
- French Guyana
- French Polynesia
- Gabon
- Germany
- Ghana
- Gibraltar
- Guadeloupe
- Guatemala
- Greece
- Greenland
- Hong Kong
- Hungary
- Iceland
- India
- Indonesia
- Ireland
- Iraq
- Israel
- Italy
- Ivory Coast
- Jamaica
- Japan
- Jordan
- Kenya
- Kosovo
- Kuwait
- Latvia
- Lebanon
- Lesotho
- Liberia
- Libya
- Liechtenstein
- Lithuania
- Luxembourg
- Macau
- Macedonia
- Madagascar
- Malaysia
- Malta
- Martinique
- Mauritius
- Mexico
- Monaco
- Mongolia
- Morocco
- Mozambique
- Netherlands
- New Caledonia
- New Zealand
- Nigeria
- Norway
- Oman
- Pakistan
- Panama
- Peru
- Poland
- Portugal
- Puerto Rico
- Qatar
- Reunion
- Romania
- Russia
- San Marino
- Saudi Arabia
- Senegal
- Serbia
- Singapore
- Slovakia
- South Africa
- Spain

- St. Lucia
- Sweden
- Switzerland
- Tahiti
- Taiwan
- Thailand
- United Arab Emirates
- United Kingdom
- Uruguay
- USA
- Venezuela
- Vietnam
- Yemen
- Zimbabwe

リサイクル

車両の廃車

EU加盟国のみ：

ボルシェ社の車両はリサイクル性を考慮して開発されています。

車両の返還および対応する廃棄証書の発行について：

- ▶ ボルシェ正規販売店にご相談ください。

エアバッグおよびシート・ベルト・テンションナー・ユニット

未作動のガス発生器、エアバッグが付いたままの車両、エアバッグ・ユニット、シートベルト・テンションナー・ユニットは、一般の廃棄物やスクラップとして処分できません。

適切な廃棄に関する詳細情報について：

- ▶ ボルシェ正規販売店にご相談ください。

使用済みバッテリー

使用済みバッテリーは、一般の廃棄物やスクラップとして処分できません。

- ▶ 地域の廃棄指示を遵守してください。
- ▶ 使用済みバッテリーは、適切な廃棄場にて廃棄してください。

適切な廃棄に関する詳細情報について：

- ▶ ボルシェ正規販売店にご相談ください。

索引

符号

4WD	
4輪駆動ディスプレイ	304
トルク配分	304

A-Z

A/C MAXボタン	
エアコン・システム	63
A/Cボタン	
エアコン・システム	62
ABS (アンチロック・ブレーキ・システム)	
機能説明	285
ACC	
アダプティブ・クルーズ・コントロール	37
AdBlue®	
タンク容量	90
燃料タンクの容量	376
AdBlue®の補充 (ディーゼル・エンジン) *	90
Alcantara®のお手入れの諸注意	128
Apple CarPlay®	
PCMで開く	365
Siri®	366
Assist. systems (アシスタンス・システム)	
Porsche Active Safe (ボルシェ・アクティブ・セーフ) の設定	308
トレーラーけん引時の設定	309
レーン・チェンジ・アシスト (LCA) 設定	308
AUTO (ライト・スイッチ)	325
ドライビング・ライト・アシスタント	325
Bluetooth®	
デバイスの管理	194
電話を接続する	193
CarPlay®	
PCMで開く	365
Siri®	366
CD/DVDチェンジャーのロード	279
CD/DVDドライブにロードする	278
ETC受信機	293
ETC受信器の取り付け	367
Eメール	
作成	198
表示および消去	198
Google Street View®の起動	217
HOLD機能	7895157352368

ISOFIXシステム	
規定のチャイルド・シート取り付け方向	178
推奨するチャイルド・シート	181
トップ・テザー	185
MFSボタンの設定	311
MyScreen	
電話のお気に入りを追加する (PCM)	197
MyScreen (PCM)	
設定 (PCM)	277
OFF/ONの切り替え (PCM)	274
ON/OFFの切り替え (PCM)	274
PASM	271
PASM (ボルシェ・アクティブ・サスペンション・マネージメント)	
シャーシ設定の選択	67271
PCCB (ボルシェ・セラミック・コンポジット・ブレーキ)	
一般的なインフォメーション	245
PCM	
Apple CarPlay®	365
CD/DVDチェンジャーのロード	279
CD/DVDドライブにロードする	278
MyScreenの設定	277
SDカードの挿入および取り出し	279
外部機器の接続	280
システム設定	281
パーキング・アシスタント	222
PCM*	
Porsche Connect App	371
お手入れの諸注意	129
接続 (データ接続)	160
テレビ (TV)	187
電話	192
ドライビング・データ (トリップ情報) を表示する	202
ナビ*	213
ボイス・コントロール	265
メディア	320
ラジオ	340
ログブック	361
PCMシステム設定	281
PCM設定	
概要	281
地図 (地図)	220
ナビ*	220
PCMドライブ	
CD/DVDチェンジャーのロード	279
CD/DVDをロード	278

SDカードの挿入および取り出し	279
外部機器の接続	280
知識	278
PCMドライブに関する諸注意	278
PCMにドライビング・データを表示する	202
PCMにバックグラウンド・イメージを表示する	277
PCMの設定	
音量および音質	281
テレビ	189
電話*	199
日付と時刻	274
メディア	323
ラジオ	343
PCMの操作	
ON/OFFの切り替え	274
概要	273
タッチスクリーンで	275
タッチスクリーンの要素	275
テキストおよび文字を入力する	276
ボイス・コントロール	265
ロータリー・ブッシュ・ボタンで	276
PDKトランスミッション	208
シフトアップ・インジケーター	210
ステアリング・ホイールでのギヤ・シフト	209
Porsche Connect App	371
接続マネージャー	159
Porsche Doppelkupplung(PDK)	208
ステアリング・ホイールでのギヤ・シフト	209
セレクター・レバー・ポジション	208
PSM (ボルシェ・スタビリティ・マネージメント)	
OFFにする	284
機能説明	284
PSMスポーツ	284
ONにする	284285
PTVプラス	212
PVTS (ボルシェ車両追跡システム)	
機能説明	288
ドライバー・カード/リモート・キーパッドなしの操作	288
ドライバー・カード/リモート・キーパッド	
用電池の交換	291
ドライバー・カードによる操作	289
輸送	290
リモート・キーパッドによる操作	290
SCR*	
AdBlue®の補充*	91
AdBlue®補充後の測定	92
選択式触媒還元 (ディーゼル・エンジン) *	90

タンク容量	90
燃料タンクの容量	376
SDカードの挿入および取り出し	279
SIMカード	
挿入および取り出し	194
Siri®	366
SMS	
作成	198
表示および消去	198
Speed Limit Info (制限速度情報) *	157
制限速度の表示 *	158
TPM (タイヤ空気圧モニタリング)	301
WiFi (PCM)	
PCM WiFiホットスポットの使用	161
WiFiを使用してPorsche Connect AppをPCMに	
接続する	371
設定	199

あ

アームレスト	
フロント収納ボックスを開く	294
アイス/サン・シールドの装着	249
アシスタンス・システム	
車線逸脱警告の設定	309
レーン・キープ・アシストの設定	310
アダプティブ・クルーズ・コントロール	37
ON/OFF	39
機能説明	37
クルーズ・コントロールの中断/再開	42
作動原理	38
車間距離の設定	40
操作ステータス	39
速度の設定/設定速度の変更	40
ボルシェ・アクティブ・セーフ	44
レーダー・センサー	37
例外	42
アダプティブ・ライト・システム、ドライビング・	
ライト・アシスタント	325
アップパー・ベンチレーション・パネル	62
アプリ	
Porsche Connect	371
接続マネージャー	159
ボルシェ・カー・コネクト	272
アルミニウム・リム	
お手入れの諸注意	127
安全に関する指示	
警告ラベル台湾のみ	1177183185
アンダーコーティング、お手入れの諸注意	126
アンチロック・ブレーキ・システム(ABS)	
機能説明	285

い

イグニッション・ロック	
キーの緊急操作	86
機能説明	71
移動データ (接続)	160
イモビライザー	
機能説明	201
インジケーター・ライト	49
インストールメント・クラスター	
オドメーター (積算距離計)	48
概要	48
クーリング・システム、水温計	306
警告灯および表示灯	49
スピードメーター	48
積算距離計/トリップ・メーター	48
タコメーター (回転計)	48
燃料計	49
油温表示	306
インストールメント・パネル	
オドメーター (積算距離計)	48
概要	48
クーリング・システム、水温計	306
警告灯および表示灯	49
スピードメーター	48
積算距離計/トリップ・メーター	48
タコメーター (回転計)	48
燃料計	49
油温表示	306
ライト調節	46
インストールメント・ライト	46
ディスプレイの明るさを調節する	48
インターネット	
データ接続を確立する (PCM)	160
インテリア・ライト	
ON/OFFと調光	46
オリエンテーション・ライト	47

う

ウインター・タイヤ	
一般的なインフォメーション	173
タイヤ交換	174
ウィンドウ	
お手入れの諸注意	126
開閉操作	51
キーによる開閉操作 (リモート・コントロール)	52
停止位置の保存	53
ドア・ハンドルのタッチ・センサーでウィン	
ドウを閉じる (ボルシェ・エントリー&ドライブ	
装備車)	52

ウェルカム・ホーム機能	
ONにする	326
ウォッシャー液	
不凍液	54
補充	54
運転席	
オドメーター (積算距離計)	48
クーリング・システム、水温計	306
警告灯および表示灯	49
スピードメーター	48
積算距離計/トリップ・メーター	48
タコメーター (回転計)	48
燃料計	49
油温表示	306
ライト調節	46
運搬 (カー・トレイン、フェリーなど)	
車両の固定	120

え

エア・サスペンション	
概要	66
ローディング・レベル	68
エア・サスペンションおよびレベル・コントロール	
付きPASM	66
エア・ベント	
開閉操作	62
調整	62
エアコン・コンプレッサー	60
エアコン・システム	
A/C MAXモードのON/OFF	63
A/C MAXモードのオン/オフ	63
A/CモードのON/OFF	62
アップパー・ベンチレーション・パネル	62
エアコン・コンプレッサーに関するインフォ	
メーション	60
エアコン・コンプレッサーのON/OFF	62
オート・モードのON/OFF	60
温度の設定	60
自動内気循環モードの設定	63
送風量の設定	60
内気循環モードのON/OFF	63
バッテリー電圧低下時の自動OFF	60
フロント・ウィンドウ・デフロスター	65
冷房機能のオン/オフ	62
エアバッグ	
安全に関する指示	55
お手入れの諸注意	128
機能	55
タコメーターの警告灯	56
取り付け位置	55
廃棄	387

エキゾースト・システム		表示	80	シートベルト	128
スポーツ	149	例外	78	シール	127
エマーゲンシー・キー	85	オート・スタート/ストップ機能および惰性走行モード ON/OFF	79	車両の長期保管	129
エミッション・コントロール (チェック・エンジン)		オートマチック・カミング・ホーム・ライト	326	洗車	124
機能説明	50	オートマチック・ドライビング・ライト・アシス		塗装	125
エミッション・コントロール警告灯	50	タント	325	ファブリック・ライニング	128
エレクトリック・パーキング・ブレーキ		ジャンクション・ライト*	326	ホイール・ボルト	175
解除する	244	ダイナミック・コーナリング・ライト	326	マット	128
緊急ブレーキ機能	244	オートマチック・トランスミッション	208	オドメーター (積算距離計)	
警告灯	244	オートメモリ	226	表示	48
操作	244	オイル		リセット	48
発進時のパーキング・ブレーキ自動解除	244	圧力計	306	オフロード・モード	77
ブレーキ・テスト・スタンドでの測定	190	一般的なインフォメーション	69	ナビ*	219
エンジン		温度計	306	オリエンテーション・ライト	47
オイル・レベル・ゲージ	299	給油口	70	折り畳み式輪止め	232
オイル・レベルのチェックと表示	299	補充	69	オルタネーター	
オイルの補充	69	マルチファンクション・ディスプレイでの オイル圧力の警告	104	車両エレクトロニカル・システムの警告	107
始動	72	マルチファンクション・ディスプレイの オイル・レベル・ゲージ	300	音楽 (PCM)	
自動停止 (オート・スタート/ストップ機能)	78	レベル・ゲージ	299	CD/DVDチェンジャーのロード	279
停止	72	レベルの点検	299	CD/DVDをロード	278
冷却システム	306	応急処置セット*	331	SDカードの挿入および取り出し	279
エンジン・オイル		オクタン価、燃料	88	音楽 (PCM)	
圧力計	306	お手入れ		外部機器の接続	280
一般的なインフォメーション	69	Alcantara®	128	音楽 (PCM)	
温度計	306	アンダーコーティング	126	再生	321
給油口	70	ウィンドウ	126	ジュークボックスに入れる	323
補充	69	エアバッグ	128	設定	323
マルチファンクション・ディスプレイでの オイル圧力の警告	104	革製品	127	ブレイリストを開く	323
マルチファンクション・ディスプレイの オイル・レベル・ゲージ	300	軽合金製ホイール	127	メディア・ソースの検索	322
レベル・ゲージ	299	高圧洗浄機の使用	124	メディア・ソースの選択	321
レベルの点検	299	シートベルト	128	音質と音量の調節 (PCM)	281
エンジン・カバー	261	シール	127	温度の設定	
エンジン・コンパートメント・リッド	261	車両の長期保管	129	エアコン・システム	60
エントリー&ドライブ		諸注意	124	オンボード・コンピューター	
ボルシェ・エントリー&ドライブによるドアの ロック	164	洗車	124	オイル・レベルの測定	299
作動原理	163	塗装	125	項目数の多いリストの閲覧	296
エントリー機能、乗車時のカーテシー・ライトの 点灯	326	ファブリック・ライニング	128	作動原理	296
お		ヘッドライト、プラスチック製部品	126	タイヤ空気圧モニタリング	301
オート・エアコン	60	ホイール・ボルト	175	電話の使用	196
オート・スタート/ストップ機能		お手入れの諸注意		ドライビング・データの表示 (トリップ 情報)	202
ON/OFF	79	PCM*	129	パーソナル設定の保存と呼び出し	226
エンジンの自動始動	78	アルカンターラ	128	マップ・ビュー	218
エンジンの自動停止	78	アンダーコーティング	126	マルチファンクション・ディスプレイ	296
作動原理	78	ウィンドウ	126	メニュー概要	298
前提条件	78	エアバッグ	128	ラジオ放送局の選択	342
		カーペット	128	オンライン・サービス	
		革製品	127	データ接続を確立する (PCM)	160
		軽合金製ホイール	127	ボルシェ・カー・コネクト	272
				音量と音質の調節 (PCM)	281

か			
カーゴ・マネージメント	333	ギヤ・シフト・インジケーター	
カーテシー・ライト、エントリー機能	326	PDKトランスミッション	49
カーペット、お手入れの諸注意	128	ギヤ・ポジション・ディスプレイ	49
会議（電話）	196	ギヤシフト	
開操作とロック		シフトアップ・インジケーター	48
パーソナル設定の保存/呼び出し	226	給油	88
外部機器（PCM）の接続	280	フィルター・フラップ位置の表示	49
開閉操作		曲の再生（PCM）	321
ウィンドウ	51	緊急解除	
パノラマ・ルーフ・システム	236	リヤ・リッド	359
ロールアップ式サンブラインド	237	緊急ブレーキ機能	244
開閉操作とロック		く	
概要	162	クーラント（冷却水）	
キーによるドアのロック解除（リモート・		不凍液	93
コントロール）	163	レベルの点検	93
車内からのドアの開閉操作とロック	165	クルーズ・コントロール	
ボルシェ・エントリー&ドライブによるドアの		ONにする	95
ロック	164	解除	96
ボルシェ・エントリー&ドライブ装備車	164	機能説明	95
概要		スピード・リミッター*	154
ドアの開閉操作とロック	162	速度の設定	95
カップ・ホルダー	81	中断操作	95
ガレージ・ドア・オープナー*		け	
再プログラミング	84	軽合金製ホイール	
信号をボタンに登録する（可変コード式		お手入れの諸注意	127
システム）	83	警告およびインフォメーション・メッセージ	
信号をボタンに登録する（固定コード式		安全	98
システム）	83	エンジン	103
操作	82	車両	107
プログラミング	82	ドライビング・システム	113
プログラミングした信号の消去	83	警告灯	49
革、お手入れの諸注意	127	警告メッセージ	
		タイヤ空気圧	304
		警告ラベル	
		台湾のみ	1177183185
		警報システム	
		ON/OFF	97
		機能説明	97
		室内モニタリング・システムおよび傾斜セン	
		サー*をOFFにする	97
		言語	
		PCMの設定	281
		マルチファンクション・ディスプレイで変更	
		する	313
		けん引	
		一般的なインフォメーション	119
		けん引フック	120
		けん引ロープまたはけん引バーの使用	119
		こ	
		コーナーリング・ライト	
		ダイナミック	326
		高圧洗浄機	
		取扱説明書	124
		工具セット	
		取り外し	331
		輪止め	232
		交通（交通情報の表示）	218
		交通情報の表示（ナビゲーション）	218
		交通標識表示	157
		故障	
		ウィンドウ停止位置の保存	53
		オートマチック・リヤ・リッド	359
		サンブラインド停止位置の保存	239
		電動格納式トレーラー・ヒッチ	205
		パノラマ・ルーフ・システム	238
		パノラマ・ルーフの緊急操作	238
		パノラマ・ルーフの停止位置	239
		パワー・ウィンドウ	53
		小物入れ	
		保管	293
		コントローラー（PCM）	275
		コントロール・システム	
		概要（PSM、PASM、PADM、PDCC、	
		PTVプラス）	212
		さ	
		サイド・ロールアップ式サンブラインド	53
		作動不良	
		イグニッション・ロック内のイグニッション・	
		キー/コントロール・ユニットの緊急操作	86
		警告およびインフォメーション・メッセージ	98
		ディーゼル・パティキュレート・フィル	
		ター*	109
		フィルター・フラップの緊急操作	90
		サマー・タイヤ	
		タイヤ交換	174
		保管	174
		サンバイザー	130
		サンブラインド停止位置の保存	239
		し	
		シート	
		シート位置の調節	134
		シート位置の保存/呼び出し	226
		推奨するチャイルド・シート	179
		チャイルド・シート	177
		フロント・シートの調節	134
		ベビー・シート、ベビー・キャリア	183

* 日本仕様には設定はありません。

シート・ヒーターをON/OFFにする	138	車両固定用輪止め	232	パーキング・エイドの調節	316
シート・ベンチレーターをON/OFFにする	139	車両情報		す	
シート・メモリー	226	マルチファンクション・ディスプレイの呼び出し	299	スキー・バッグ	338
シート位置の調節	134	車両設定		スタート/ストップ機能	78
シートベルト		アシスタンス・システムの設定	308	ステアリング・コラム・ロック	201
お手入れの諸注意	128	エアコン設定	312	ステアリング・ホイール	
シートベルト・バックルを解除してシートベルトを外す	132	キーへの保存	226	MFSボタンの設定	311
シートベルト・プリテンショナー	131	警告音量およびパーキング・アシスタントの調節	312	ステアリング・ロック	71
シートベルトの高さを調節する	133	言語設定	313	調整	143
諸注意	131	工場出荷時の設定に戻す	314	ヒーターのON/OFF	143
高さ調節	133	車線逸脱警告の設定	309	ステアリング・ホイール・ヒーターのON/OFF	143
着用	132	制限速度表示の設定	309	ステアリング・ロック	201
シートベルト・プリテンショナー	131	単位の設定	313	ステンレス・テール・パイプ	
廃棄	387	ドア・ロック機能を設定する	312	お手入れの諸注意	127
シーラント/シーラント・セット		パーソナル・ボタンへの保存	226	ストップウォッチ	144
バンクしたタイヤ用	233	日付と時刻の設定	307	スノー・チェーン	
シール、車両のお手入れ	127	ボルシェ・アクティブ・セーフの設定	308	一般的なインフォメーション	173
シガー・ライター	152	ボルシェ・カー・コネクトの設定	312	スピード・リミッター*	
施設情報の入力 (ナビゲーション、PCM)	215	マルチファンクション・ステアリング・ホイールのボタンの割り当て変更*	311	ONにする	155
始動		マルチファンクション・ディスプレイの調節	305	機能説明	154
エンジン	72	マルチファンクション・ディスプレイの表示を変更する	305	最高速度の保存	155
自動車電話		ライトおよびフロント・ワイパーの調整	310	中断操作	155
Bluetooth®経由で接続する	193	レーン・キープ・アシストの設定	310	保存された最高速度の再開	156
接続ステータスの表示	194	レーン・チェンジ・アシスト (LCA) 設定	308	スピードメーター	48
荷物	199	車両ドア		スベア・キー	87
自動内気循環モードの設定		キーによるロック (リモート・コントロール)	164	スベア・ホイール	
エアコン・システム	63	緊急ロック	167	ラゲッジ・コンパートメント内のコラプシブル・スベア・ホイール	234
自動防眩機能のON/OFF	317	車内からの開閉操作とロック	165	ラゲッジ・コンパートメント内のスベア・ホイール/コラプシブル・スベア・ホイール	234
シフト・ギヤ		車内からのロック	165	スポーツ・エキゾースト・システム・ボタン	149
Porsche Doppelkupplung (PDK)	208	車内からのロック解除	165	スポーツ・クロノ	
シフトアップ・インジケータ	48	開く	166	PCMでのスポーツ・クロノ・ストップウォッチの表示	146
締め付けトルク		ボルシェ・エントリー & ドライブによるロック (キーレス操作)	164	スポーツ・クロノ・ストップウォッチ	144
ホイール・ボルト	175	車両の洗浄	124	スポーツ・モード	
シャーシ・コントロール・システム		車両の長期保管	129	ON/OFFの切り替え	150
概要 (PSM、PASM、PADM、PDCC、PTVプラス)	212	ジャンクション・ライト*	326	機能説明	150
シャーシ設定		ジャンパー・ケーブルによる始動、外部電源	141	スマートフォン	
選択	67271	ジュークボックスに入れ管理する (PCM)	323	Bluetooth®経由で接続する	193
車線逸脱警告システム	122	渋滞メッセージ	218	接続ステータスの表示	194
警告音量を設定する	310	収納スペース	330	スマートフォン・トレイ	199
警告タイミングの設定	309	収納ボックス		スモーカーズ・パッケージ	152
作動原理	122	フロント・アームレスト、開く	294		
表示	123	消火器の収納位置	142		
例外	122	助手席エアバッグ オフ インジケータ	56		
ジャッキ		助手席ミラー			
エア・サスペンション装備車のリフトアップに関するインフォメーション	67	格納/復帰する	316		
車両のリフト・アップ	140	調整	315		
車幅灯					
ONにする	325				

せ

セーフロック	164
制限速度表示*	
トレーラー車両をけん引するとき	309

* 日本仕様に設定はありません。

積載重量	
荷物	330
ルーフに積載して運ぶ	345
積算距離計/トリップ・メーター	
表示	48
リセット	48
接続	
ボルシェ・カー・コネクト・アプリ	272
接続ステータスの表示 (PCM)	194
接続する	
接続マネージャー	159
接続マネージャー	159
設定	
MyScreen (PCM)	277
キーへの保存	226
車両ドアを開いたときに呼び出す	228
パーソナル設定の保存	226
マルチファンクション・ディスプレイの調節	305
セレクトター・レバー・ポジション	49
セレクトター・レバー・ポジションのインジケーター	49
セレクトター・レバー位置表示、PDKトランスミッション	209
選局 (テレビ)	188
選局 (ラジオ)	341
洗車	124
センター・アームレスト	
フロント収納ボックスを開く	294
センター・ロック	
概要	162
キーによるドアのロック解除 (リモート・コントロール)	163
機能説明	163
車内からのドアの開閉操作とロック	165
セーフロック	164
ボルシェ・エントリー&ドライブによるドアのロック	164
選択式触媒還元(SCR)*	
AdBlue®の補充*	91
AdBlue®補充後の測定	92
ディーゼル・エンジン*	90
そ	
ソース (PCMメディア) の選択	321
ソースの検索 (PCMメディア)	322
走行距離の表示	202
走行時間の表示	202
送風量の設定	
エアコン・システム	60
ソケット・レンチ (盗難防止ホイール・ボルト)	175

た

タイヤダウン・リング	333
ダイナミック・コーナリング・ライト	326
タイヤ	
ウインター・タイヤ (一般的なインフォメーション)	173
交換	174
シーラント	233
スノー・チェーン (一般的なインフォメーション)	173
全積載または部分積載の設定	303
タイヤ空気圧プレート	170
タイヤ空気圧モニタリング・システム (TPM)	
に新しいタイヤを登録する	304
タイヤ交換 (一般的なインフォメーション)	172
パンク修理	232
ホイール・ボルトの締め付けトルク	175
保管	174
マルチファンクション・ディスプレイで種類およびサイズを設定する	303
ラジアル・タイヤの見方	171
タイヤ・シーラント/シーラント・セット	
パンクしたタイヤ用	233
タイヤ・バルブ	173
タイヤ空気圧	
警告	304
現在の設定	301
システムの登録	304
車速警告	304
マルチファンクション・ディスプレイの呼び出し	301
タイヤ空気圧警告灯	49
タイヤ空気圧モニタリング(TPM)	301
登録	304
タイヤ充填コンプレッサー	
取り外し	332
タイヤの速度記号	171
高さ調節	
概要	66
ローディング・レベル	68
タコメーター (回転計)	
表示	48
ダッシュボードのコンパス	148
ち	
チェック・エンジン (エミッション・コントロール)	
機能説明	50
遅延消灯	
ONにする	326
地図 (ナビゲーション、PCM)	

Google Street View®の起動	217
設定	220
地図からの目的地入力	215
マップ・ビューを開いて設定する	217
マルチファンクション・ディスプレイのマップ・ビューの設定	218
チャイルド・シート	177
ISOFIXチャイルド・シートの取り付け	184
推奨するチャイルド・シート	179
トップ・テザー	185
チャイルド・プロテクションのON/OFF	139
着信に応答する/通話を終了する (電話)	195
駐車	
PDKトランスミッション	208
機能説明、パーキング・アシスタント	222

つ

ツール	
輪止め	232
通話の保留	196
通話履歴 (電話)	196

て

データ接続 (PCM)	
WiFi設定	199
WiFiホットスポットの使用	160
確立する	160
接続マネージャー	159
設定	200
テール・パイプ	
ステンレス、お手入れの諸注意	127
ディーゼル	
AdBlue®の補充*	91
AdBlue®補充後の測定	92
給油	88
セタン価	89
選択式触媒還元(SCR)*	90
ディーゼル予熱インジケーター・ライト	49
品質	88
ディーゼル・パティキュレート・フィルター*	
機能説明	109
マルチファンクション・ディスプレイの警告メッセージ	109
ディーゼル燃料のセタン価	89
ディーゼル予熱インジケーター・ライト (ディーゼル車) *	49
停止	
エンジン	72
エンジンの自動停止 (オート・スタート/ストップ機能)	78

停止制御.....368
 停止表示板*.....331
 デジタル・スピードメーター.....48
 テスト・スタンド
 ブレーキ・テスト.....190
 テレビ (TV)
 設定の変更.....189
 選局.....188
 プログラム・ガイド (EPG) の呼び出し.....189
 放送局の保存.....188
 呼び出し.....188
 電池
 一般的なインフォメーション.....229
 交換.....229
 車両電気リカル・システムの警告.....107
 ジャンパー・ケーブルによるエンジンの始動.....141
 充電.....229
 接続後の作業.....231
 取り付け位置.....229
 バッテリーの注意事項.....229
 電話 (PCM)
 設定.....199
 電話*
 Bluetooth®経由で接続する.....193
 SIMカードでの使用.....194
 会議.....196
 接続ステータスの表示.....194
 着信に応答する/通話を終了する.....195
 通話の保留.....196
 通話履歴.....196
 荷物.....199
 番号をダイヤルする.....195
 ボイスメールを聞く.....195
 マルチファンクション・ディスプレイで使用
 する.....196
 メッセージの作成.....198
 メッセージの表示および消去.....198
 連絡先.....197
 と
 ドア
 キーによるロック解除 (リモート・コント
 ロール).....163
 キーによるロック (リモート・コントロール).....164
 緊急ロック.....167
 車内からの開閉操作とロック.....165
 車内からのロック解除.....165
 ドアのロックの解氷.....124
 開く.....166
 ボルシェ・エントリー & ドライブによるロック
 (キーレス操作).....164

ドア・ミラー
 格納/復帰する.....316
 設定の保存 (メモリー).....316
 調整.....315
 パーキング・エイドの調節.....316
 ドア・ミラー・ヒーターのON/OFFを切り替える.....344
 盗難防止
 イモビライザー、ステアリング・コラム・
 ロック.....97201288
 盗難防止ホイール・ボルト用ソケット・レンチ
 使用.....175
 時計
 スポーツ・クロノ・ストップウォッチ.....144
 塗装
 お手入れの諸注意.....125
 傷の補修.....125
 つや出し (ポリッシュ).....125
 保護する.....125
 汚れ、染みの除去.....125
 塗装面のお手入れ.....125
 トップ・テザー
 ISOFIXトップ・テザー付きチャイルド・シートの
 取り付け.....185
 トップ・テザー付きチャイルド・シートの取り
 付け.....185
 ドライビング・ライト・アシスタント
 ONにする.....325
 ロー・ビーム.....325
 エントリー & ドライブ
 作動原理.....163
 ボルシェ・エントリー & ドライブによるドアの
 ロック.....164
 ボルシェ・エントリー & ドライブ
 作動原理.....163
 車両のロック.....164
 ロック
 車両ドアとボルシェ・エントリー & ドライブ
 (キーレス操作).....164
 ボルシェ・エントリー & ドライブ 装備車.....164
 開閉操作とロック
 ボルシェ・エントリー & ドライブ 装備車.....164
 ウィンドウ
 ドア・ハンドルのタッチ・センサーでウィンド
 ウを閉じる (ボルシェ・エントリー & ドライブ
 装備車).....52
 パワー・ウィンドウ
 ドア・ハンドルのタッチ・センサーでウィンド
 ウを閉じる (ボルシェ・エントリー & ドライブ
 装備車).....52
 エントリー & ドライブ
 ボルシェ・エントリー & ドライブによるドアの
 ロック.....164

センター・ロック
 ボルシェ・エントリー & ドライブによるドアの
 ロック.....164
 ロック
 ボルシェ・エントリー & ドライブによるドアの
 ロック.....164
 開閉操作とロック
 ボルシェ・エントリー & ドライブによるドアの
 ロック.....164
 ドア
 ボルシェ・エントリー & ドライブによるロック
 (キーレス操作).....164
 車両ドア
 ボルシェ・エントリー & ドライブによるロック
 (キーレス操作).....164
 キー (リモート・コントロール)
 ウィンドウの開閉 (ボルシェ・エントリー &
 ドライブ 非装備車).....52
 トランク・ルーム.....330
 開く.....357
 トランスミッション
 Porsche Doppelkupplung (PDK).....208
 トランスミッションおよびシャーシ・コントロール・
 システム
 概要 (PSM、PASM、PADM、PDCC、
 PTVプラス).....212
 トリップ・メーター
 表示.....48
 リセット.....48
 トルク
 ホイール・ボルトの締め付けトルク.....175
 トレーラー
 けん引、安全に関する指示.....203
 定義.....203
 トレーラー・ヒッチ
 電動格納式トレーラー・ヒッチの故障.....205

な

内気循環ボタン.....63
 内気循環モードのON/OFF.....63
 ナビ*
 Google Street View®の起動.....217
 オフロード・モード.....219
 交通情報の表示.....218
 施設情報の入力.....215
 設定.....220
 前回の目的地の使用.....214
 地図からの目的地入力.....215
 マップ・ビューを開いて設定する.....217
 マルチファンクション・ディスプレイの
 マップ・ビューの設定.....218

* 日本仕様に設定はありません。

ほ

ホームリンク®	
信号をボタンに登録する（可変コード式システム）	83
信号をボタンに登録する（固定コード式システム）	83
操作	82
プログラミング	82
プログラミングした信号の消去	83
ホイール	
ウインター・タイヤ（一般的なインフォメーション）	173
交換	174
締め付けトルク	175
スノー・チェーン（一般的なインフォメーション）	173
タイヤ・シールド	233
タイヤ空気圧プレート	170
タイヤ交換（一般的なインフォメーション）	172
盗難防止ホイール・ボルト（ソケット・レンチ）	175
パンク修理	232
ホイール・バランス	174
ホイール・ボルト（お手入れの諸注意）	175
保管	174
ラジアル・タイヤの見方	171
ホイール・ボルト	175
ホイールのお手入れ	127
ボイス・コントロール	
Sirius®	366
調整	266
電話のボイス・コマンド	269
ナビゲーションのボイス・コマンド	270
メディアのボイス・コマンド	268
呼び出し	265
ラジオのボイス・コマンド	268
ボイスメール（電話）を聞く	195
方向指示灯、操作レバー	328
方向指示灯操作レバー	328
放送局情報の表示（ラジオ）	342
放送局の保存（テレビ）	188
放送局を保存する（ラジオ）	342
保管	
収納オプション	293
フロント・アームレストの収納ボックスを開く	294
補充	
AdBlue®	90
補助ヒーター	
ON/OFFの切り替え	263
機能説明	263

プログラミング	263300
リモート・コントロールによるON/OFF	264
リモート・コントロールの電池交換	264
保存	
パーソナル設定	226
ホットスポット	
PCM WiFiホットスポットの使用	161
ボルシェ・アクティブ・サスペンション・マネージメント(PASM)	66
機能説明	271
ボルシェ・アクティブ・セーフ	44
ボルシェ・エントリー&ドライブ	
作動原理	163
車両のロック	164
ボルシェ・カー・コネク	272
設定	312
ボルシェ・スタビリティ・マネージメント(PSM)	
OFFにする	284
機能説明	284
ボルシェ・セラミック・コンポジット・ブレーキ(PCCB)	
一般的なインフォメーション	245
ボルシェ・ダイナミック・ライト・システム・プラス(PDLS Plus)	326
ボルシェ・ダイナミック・ライト・システム(PDLS)	326
ボルシェ車両追跡システム(PVTS)	
機能説明	288
ドライバー・カード/リモート・キーパッドなしの操作	288
ドライバー・カード/リモート・キーパッド	
用電池の交換	291
ドライバー・カードによる操作	289
輸送	290
リモート・キーパッドによる操作	290
ボンネット	261
ま	
マルチコリジョン・ブレーキング	
機能説明	286
マルチファンクション・ステアリング・ホイール	
MFSボタンの設定	311
マルチファンクション・ステアリング・ホイールのボタンの割り当て変更*	311
マルチファンクション・ディスプレイ	
オイル・レベルの点検	299
オプションの選択および機能の有効化	297
項目数の多いリストの閲覧	296
作動原理	296
車両情報の呼び出し	299
スポーツ・クロノ	144
タイヤ空気圧警告	304

タイヤ空気圧モニタリング	301
電話の使用	196
ドライビング・データの表示（トリップ情報）	202
表示エリア	297
マップ・ビュー	218
メニュー概要	298
ラジオ放送局の選択	342
マルチファンクション・ディスプレイのドライビング・データ	202
万一のときは	
けん引	119
車両が動き出さないように固定してください	232
さい	232
パンクしたとき	232
み	
右側通行（ヘッドライトの切り替え）	252
ミラー	
自動防眩機能のON/OFF	317
ドア・ミラー・ヒーター	344
ドア・ミラー設定の保存（メモリー機能）	316
ドア・ミラーの格納/復帰	316
ドア・ミラーの調節	315
パーキング・エイド使用時のドア・ミラーの調節	316
パニティー・ミラー	130

め

メッセージ	
作成	198
表示および消去	198
メディア（PCM）	
CD/DVDチェンジャーのロード	279
CD/DVDをロード	278
SDカードの挿入および取り出し	279
外部機器の接続	280
再生	321
ジュークボックスに入れる	323
設定	323
プレイリストを開く	323
メディア・ソースの検索	322
メディア・ソースの選択	321
メモリー	226
メモリー・パッケージ	226
メンテナンス	
ウォッシャー液の補充	54
エンジン・オイル・レベルの点検	299
エンジン・オイルの補充	69
クーラント・レベルの点検と補充	93

メンテナンス位置.....	249	リヤ・フォグ・ライト		リヤ・サイド・ウィンドウの上昇/下降.....	53
も		ONにする.....	325	ローンチ・コントロール.....	211
目的地住所の入力 (ナビゲーション、PCM).....	214	ドライビング・ライトの調節.....	326	ログブック (PCM)	
目的地の検索 (ナビゲーション、PCM).....	214	リヤ・リッド		作動/解除.....	362
目的地の保存および使用 (お気に入り)		緊急解除.....	359	設定.....	362
(ナビゲーション、PCM).....	216	開く.....	357	ロック	
よ		リヤ・リッドを開く高さの設定.....	358	キーによるドアのロック解除 (リモート・	
予熱インジケーター・ライトの点灯		リヤ・ワイパー.....	251	コントロール).....	164
(Macan Sディーゼル) *.....	72	リパース機能.....	251	車内からのドア・ロック.....	165
ら		リレー		車両ドアとキー (リモート・コントロール).....	164
ライト		交換.....	240	車両ドアとボルシェ・エントリー&ドライブ	
雨天時の作動.....	325	履歴 (電話).....	196	(キーレス操作).....	164
お手入れの諸注意.....	126	リング.....	333	ボルシェ・エントリー&ドライブによるドアの	
高速道路走行時の機能.....	325	る		ロック.....	164
車両から離れるときに点灯する.....	326	ルート情報の表示 (ナビゲーション、PCM).....	216	ボルシェ・エントリー&ドライブ装備車.....	164
乗車時に点灯.....	326	ルーフ・トランスポート・システム		ロック解除	
乗車時のカーテシー・ライトの点灯.....	326	知識.....	345	キーからパーソナル設定を呼び出す.....	226
バルブの交換.....	329	ベーシック・キャリアの取り付け.....	346	キーによるドアのロック解除 (リモート・	
ヘッドライト・パッシング.....	328	ルーム・ミラー		コントロール).....	163
ライト・スイッチ		減光.....	317	車内からのドア・ロックの解除.....	165
AUTO機能.....	325	自動防眩機能のON/OFF.....	317	リヤ・リッドをロック解除して開く.....	357
概要.....	325	調整.....	317	わ	
ラゲッジ・コンパートメント・カバー.....	336	れ		ワイパー・ブレード	
ラゲッジ・コンパートメント・パーテーション・		レーダー・センサー.....	37	お手入れの諸注意.....	364
ネット.....	337	レーン・キープ・アシスト.....	349	交換.....	364
ラゲッジ・コンパートメント内のコラボシブル・		ON/OFF.....	350	接続	
スベア・ホイール.....	234	警告音量を設定する.....	310	Porsche Connect App.....	371
ラゲッジ・コンパートメント内のスベア・		作動原理.....	349		
ホイール.....	234	作動条件.....	122		
ラジオ (PCM)		表示.....	350		
周波数帯を設定する.....	341	例外.....	349		
設定.....	343	レーン・チェンジ・アシスト(LCA).....	352		
選局.....	341	ドア・ミラーの警告表示の明るさを調節する.....	309		
放送局情報の表示.....	342	冷却システム			
放送局を保存する.....	342	マルチファンクション・ディスプレイの警告.....	105		
り		冷房機能			
リモート・コントロール.....	85	エアコン・システム.....	62		
ドアのロック.....	164	レベル・コントロール			
ドアのロック解除.....	163	概要.....	66		
パノラマ・ルーフの開閉.....	237	ローディング・レベル.....	68		
リヤ・ウィンドウ・ヒーターのON/OFFを切り替		連絡先 (電話).....	197		
える.....	344	ろ			
リヤ・シート		ロード・シルを下げる.....	68		
バックレストを前方に折り畳む.....	137	ロールアップ式サンブラインド.....	53		
ヘッドレストの取り外しと取り付け.....	136	開閉操作.....	237		
		清掃.....	239		
		停止位置の保存.....	239		

- 車両の仕様およびオプションの変更により、この取扱説明書の内容の一部が車両と一致しない場合があります。
- 説明図は一部日本仕様と異なる点があります。
- この取扱説明書に関してのお問い合わせは下記までお願い致します。

ポルシェ・カスタマーケアセンター

フリーダイヤル：0120-846-911

車両受領証
(販売店で保管)

VIN：車両識別ナンバー

エンジンナンバー

上記車両については、取扱説明書および整備手帳に記載されている車両の取扱い、および保証内容、並びに納車点検内容の説明を受け了承の上、車両およびツールキットを完全な状態で受領しました。

販売店スタンプ

日時

お客様の署名